

四街道市嶋越遺跡(2)

旧石器時代～弥生時代編

— 物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書 XX —

平成 28 年 3 月

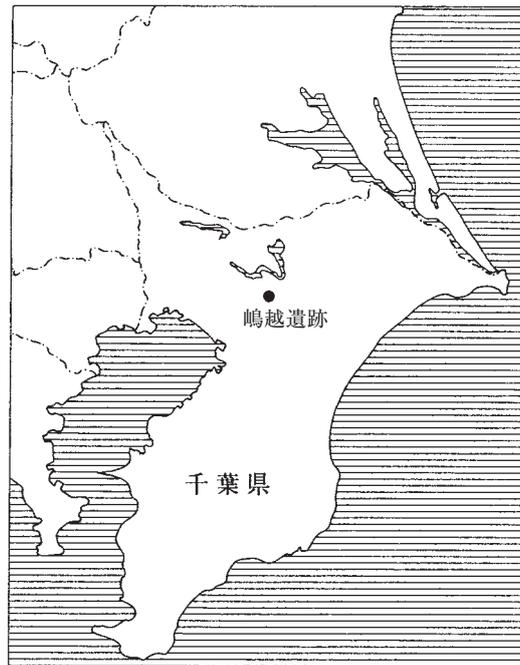
独立行政法人 都市再生機構

公益財団法人 千葉県教育振興財団

よつ かい どう し しま こし い せき
四街道市嶋越遺跡(2)

旧石器時代～弥生時代編

— 物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XX —



序 文

公益財団法人千葉県教育振興財団（文化財センター）は、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立されて以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県教育振興財団調査報告第749集として、独立行政法人都市再生機構の物井地区土地区画整理事業に伴って実施した四街道市嶋越遺跡の2冊目の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、縄文時代後期～晩期にかけての多量の土器が発見されるなど、この地域の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

この報告書が、学術資料として、また埋蔵文化財の保護に対する理解を深めるための資料として広く活用されることを願ってやみません。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関、また発掘から整理まで御苦勞をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成28年3月

公益財団法人 千葉県教育振興財団
理 事 長 堀 田 弘 文

凡 例

- 1 本書は、独立行政法人都市再生機構による物井地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書である。
- 2 本書に収録した遺跡は、千葉県四街道市物井字嶋越 464 ほかに所在する嶋越遺跡（遺跡コード 228 - 023）である。
- 3 発掘調査から報告書刊行に至る業務は、独立行政法人都市再生機構の委託を受け、公益財団法人千葉県教育振興財団が実施した。
- 4 発掘調査および整理作業の組織、担当者及び実施期間は、第 1 章に記載した。
- 5 本書の執筆は上席文化財主事 池田大助が第 1 章、第 3 章 第 1 節・第 2 節を、上席文化財主事（平成 26 年度）宮 重行が第 2 章、第 3 章 第 3 節・第 4 節、第 5 章（2）（3）と行った。編集は池田が担当した。
- 6 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、千葉県教育庁教育振興部文化財課、四街道市教育委員会、独立行政法人都市再生機構の御協力・御指導を得た。
- 7 本書で使用した地形図は、下記のとおりである。
第 1 図 国土地理院発行「佐倉」1/25,000（NI-54-19-9-2）
- 8 本書で使用した航空写真は京葉測量株式会社による昭和 44 年撮影のものを使用した。
- 9 本書で使用した図面の方位は、すべて座標北であり、日本測地系に基づいている。

本文目次

第1章 はじめに	1
第1節 調査の概要	1
1 調査の経緯	1
2 調査の方法	8
第2節 遺跡の位置と周辺の遺跡	8
第3節 遺跡の概要	10
第2章 旧石器時代	20
第1節 概要	20
第2節 遺物	20
第3章 縄文時代	26
第1節 竪穴住居跡	26
第2節 その他の遺構と遺物	26
第3節 縄文土器	29
第4節 土偶及び土製品	135
1 土偶	135
2 土版	137
3 土製品	149
第5節 縄文時代の石器	163
第4章 弥生時代	190
第1節 竪穴住居跡	190
第2節 その他の遺構と遺物	190
第3節 遺構外出土遺物	192
第5章 まとめ	194
第1節 縄文時代	194
第2節 弥生時代	197

報告書抄録

挿図目次

第1図 遺跡の位置と周辺の地形	3	第4図 嶋越遺跡グリッド・トレンチ配置図	6
第2図 物井地区遺跡分布図	4	第5図 周辺の遺跡分布図	7
第3図 嶋越遺跡年度別調査区域図	5	第6図 遺構検出状況部分図（遺跡北半部）	11

第7図	遺構検出状況部分図（遺跡南半部）	12	第42図	縄文土器（24）	60
第8図	縄文土器（大洞系）出土状況図	13	第43図	縄文土器（25）	61
第9図	ミニチュア土器，特殊土器， 耳飾り出土状況図	14	第44図	縄文土器（26）	62
第10図	土偶出土状況図	15	第45図	縄文土器（27）	63
第11図	土器片錘，土製円板 出土状況図	16	第46図	縄文土器（28）	64
第12図	遺物集中区土層	17	第47図	縄文土器（29）	65
第13図	下層確認調査区・出土石器	20	第48図	縄文土器（30）	66
第14図	旧石器時代石器（1）	22	第49図	縄文土器（31）	67
第15図	旧石器時代石器（2）	23	第50図	縄文土器（32）	68
第16図	旧石器時代石器（3）	24	第51図	縄文土器（33）	69
第17図	SI-026・出土遺物（1）	27	第52図	縄文土器（34）	70
第18図	SI-026出土遺物（2）	28	第53図	縄文土器（35）	72
第19図	縄文土器（1）	30	第54図	縄文土器（36）	73
第20図	縄文土器（2）	31	第55図	縄文土器（37）	75
第21図	縄文土器（3）	32	第56図	縄文土器（38）	76
第22図	縄文土器（4）	33	第57図	縄文土器（39）	77
第23図	縄文土器（5）	35	第58図	縄文土器（40）	78
第24図	縄文土器（6）	36	第59図	縄文土器（41）	79
第25図	縄文土器（7）	37	第60図	縄文土器（42）	80
第26図	縄文土器（8）	39	第61図	縄文土器（43）	81
第27図	縄文土器（9）	40	第62図	縄文土器（44）	82
第28図	縄文土器（10）	41	第63図	縄文土器（45）	84
第29図	縄文土器（11）	42	第64図	縄文土器（46）	85
第30図	縄文土器（12）	44	第65図	縄文土器（47）	86
第31図	縄文土器（13）	46	第66図	縄文土器（48）	87
第32図	縄文土器（14）	47	第67図	縄文土器（49）	90
第33図	縄文土器（15）	48	第68図	縄文土器（50）	91
第34図	縄文土器（16）	49	第69図	縄文土器（51）	92
第35図	縄文土器（17）	50	第70図	縄文土器（52）	93
第36図	縄文土器（18）	51	第71図	縄文土器（53）	94
第37図	縄文土器（19）	55	第72図	縄文土器（54）	95
第38図	縄文土器（20）	56	第73図	縄文土器（55）	96
第39図	縄文土器（21）	57	第74図	縄文土器（56）	97
第40図	縄文土器（22）	58	第75図	縄文土器（57）	98
第41図	縄文土器（23）	59	第76図	縄文土器（58）	99
			第77図	縄文土器（59）	100
			第78図	縄文土器（60）	101

第79図	ミニチュア土器（1）	103	第102図	土製円板（2）	157
第80図	ミニチュア土器（2）	104	第103図	縄文時代石器（1）石鏃	165
第81図	ミニチュア土器（3）	105	第104図	縄文時代石器（2）	
第82図	ミニチュア土器（4）	106		石匙，搔器，尖頭状石器，剥片類	166
第83図	特殊土器（1）	108	第105図	縄文時代石器（3）	
第84図	特殊土器（2）	109		石核，楔形石器	167
第85図	特殊土器（3）	110	第106図	縄文時代石器（4）石斧	169
第86図	土偶（1）	138	第107図	縄文時代石器（5）石斧	170
第87図	土偶（2）	139	第108図	縄文時代石器（6）石斧	171
第88図	土偶（3）	140	第109図	縄文時代石器（7）磨石類	176
第89図	土偶（4）	141	第110図	縄文時代石器（8）磨石類	177
第90図	土偶（5）	142	第111図	縄文時代石器（9）磨石類	178
第91図	土偶（6）	143	第112図	縄文時代石器（10）磨石類	179
第92図	土偶（7）	144	第113図	縄文時代石器（11）磨石類	180
第93図	土偶（8）	145	第114図	縄文時代石器（12）砥石	181
第94図	土偶（9）土版	146	第115図	縄文時代石器（13）砥石	182
第95図	耳飾り（1）	150	第116図	縄文時代石器（14）石皿	183
第96図	耳飾り（2）	151	第117図	縄文時代石器（15）石皿，台石	184
第97図	耳飾り（3）耳栓，スタンプ形 土製品	152	第118図	縄文時代石器石製品（1） 独鈷石，石棒，玉，石錘	185
第98図	土器片錘（1）	153	第119図	縄文時代石器石製品（2） 板状石製品，浮子，軽石	186
第99図	土器片錘（2）	154	第120図	弥生時代SI-004・出土遺物，SI-005	191
第100図	土器片錘（3）	155	第121図	弥生時代遺構外出土遺物	193
第101図	土製円板（1）	156			

表目次

第1表	周辺の遺跡一覧	9	第10表	土器片錘・土製円板観察表	159
第2表	旧石器時代石器観察表	25	第11表	縄文時代石器（1）石鏃類観察表	168
第3表	SI-026遺構内出土縄文土器観察表	25	第12表	縄文時代石器（2）石斧観察表	172
第4表	縄文土器観察表	111	第13表	縄文時代石器（3）磨石類観察表	187
第5表	ミニチュア土器観察表	133	第14表	縄文時代石器（4）砥石観察表	188
第6表	特殊土器観察表	134	第15表	縄文時代石器（5）石皿類観察表	188
第7表	土偶・土版観察表	147	第16表	縄文時代石器（6）石製品観察表	189
第8表	土製品・耳飾り観察表	158	第17表	弥生土器観察表	192
第9表	土器片錘・土製円板平均値	158			

図版目次

- 図版1 遺跡周辺航空写真
図版2 調査区近景, 調査状況
図版3 調査状況, 出土石器
図版4 調査状況, SI-026
図版5 SI-004・005
図版6 旧石器時代石器
図版7 SI-026 出土遺物
図版8 縄文土器 (1)・(2)
図版9 縄文土器 (3)・(4)
図版10 縄文土器 (5)・(6)
図版11 縄文土器 (7)・(8)
図版12 縄文土器 (9)・(10)
図版13 縄文土器 (11)・(12)
図版14 縄文土器 (13)・(14)
図版15 縄文土器 (15)・(16)
図版16 縄文土器 (17)
図版17 縄文土器 (18)・(19)
図版18 縄文土器 (20)・(21)
図版19 縄文土器 (22)・(23)
図版20 縄文土器 (24)
図版21 縄文土器 (25)
図版22 縄文土器 (26)
図版23 縄文土器 (27)
図版24 縄文土器 (28)
図版25 縄文土器 (29)
図版26 縄文土器 (30)
図版27 縄文土器 (31)
図版28 縄文土器 (32)
図版29 縄文土器 (33)
図版30 縄文土器 (34)
図版31 縄文土器 (35)
図版32 縄文土器 (36)
図版33 縄文土器 (37)・(38)
図版34 縄文土器 (39)・(40)
図版35 縄文土器 (41)・(42)
図版36 縄文土器 (43)・(44)
図版37 縄文土器 (45)・(46)
図版38 縄文土器 (47)・(48)
図版39 ミニチュア土器
図版40 特殊土器
図版41 土偶 (1)
図版42 土偶 (2)
図版43 土偶 (3)
図版44 土偶 (4)
図版45 土偶 (5)
図版46 土偶 (6) 土版
図版47 耳飾り・耳栓・スタンプ形土製品
図版48 土器片錘 (1)
図版49 土器片錘 (2)
図版50 土器片錘 (3)
図版51 土製円板 (1)
図版52 土製円板 (2)
図版53 縄文時代石器 (1)
石鏃・石匙・搔器・尖頭状石器
図版54 縄文時代石器 (2)
石鏃未製品・剥片・石核・楔形石器
図版55 縄文時代石器 (3) 石斧・磨石類
図版56 縄文時代石器 (4) 磨石類
図版57 縄文時代石器 (5) 磨石類
図版58 縄文時代石器 (6) 砥石
図版59 縄文時代石器 (7) 石皿
図版60 縄文時代石器 (8) 石皿・台石
図版61 縄文時代石器 (9) 石製品
図版62 弥生時代SI-004, 遺構外出土遺物

第1章 はじめに

第1節 調査の概要

1 調査の経緯

物井地区（第2図）では千代田団地と物井駅との間96ヘクタールという広大な開発が行われ、用地内に所在する14遺跡の発掘調査を昭和59年度より順次実施した。

これらの開発計画の概要および経緯については、当財団より刊行されている『物井地区埋蔵文化財調査報告書I～XVII』にそれぞれ詳細に記載されているのでそちらを参照されたい。

また嶋越遺跡に関しては、『嶋越遺跡（1）古墳時代以降編－物井地区埋蔵文化財報告書XVII－』において報告されているが、本報告書作成に至るまでを簡単に記述する。

（発掘調査）

調査対象総面積13,602㎡、上層確認調査面積789㎡、上層の本調査面積は7,560㎡、下層確認調査は25㎡で下層本調査面積は0㎡であった。

発掘調査は平成20年度から平成22年度にかけて4次にわたり実施（第3図）された。

平成20年度 調査区（1）

調査研究部長 大原正義

北部調査事務所 所長 豊田佳伸

調査期間 平成21年2月16日～平成21年3月25日

調査面積 （規模）1,652㎡（確認調査）上層167㎡／1,652㎡（本調査）上層260㎡

調査担当者 上席研究員 土屋潤一郎

平成21年度 調査区（1）

調査研究部長 及川淳一

北部調査事務所 所長 野口行雄

調査期間 平成21年4月6日～平成22年5月20日

調査面積 （規模）990㎡（本調査）上層990㎡

調査担当者 上席研究員 土屋潤一郎

平成21年度 調査区（2）

調査研究部長 及川淳一

北部調査事務所 所長 野口行雄

調査期間 平成21年7月1日～平成22年2月26日

調査面積 （規模）5,850㎡（本調査）上層3,820㎡

調査担当者 上席研究員 土屋潤一郎・糸川道行・薮 淳一

平成22年度 調査区（3）

調査研究部長 及川淳一

北部調査事務所 所長 野口行雄

調査期間 平成 22 年 7 月 1 日～平成 22 年 7 月 30 日
平成 22 年 8 月 31 日～平成 22 年 12 月 8 日
調査面積 (規模) 6,100㎡ (確認調査) 上層 622㎡／6,100㎡・下層 25㎡／920㎡
(本調査) 上層 2,490㎡
調査担当者 上席研究員 田井知二

現地での発掘調査終了後、嶋越遺跡の基本的な時代が古墳時代～平安時代にかけての集落跡および縄文時代後・晩期の包含層出土の大量の土器群とに分かれるため、整理作業は旧石器時代～縄文・弥生時代までと古墳時代以降とにわけて実施することとし、平成 23 年度より先行して古墳時代～奈良・平安時代までの報告書作成作業に着手した。

(整理・報告書作成)

平成 23 年度 調査研究部長 及川淳一
北部調査事務所 所長 野口行雄
整理期間 平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
整理内容 水洗・注記～接合・実測の一部
整理担当者 主任主事 大岩桂子

平成 25 年度 調査研究部長 伊藤智樹
整理課長 今泉 潔
整理期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
整理内容 接合・実測・トレースの一部
整理担当者 主任上席文化財主事 部 淳一・森 尚登

平成 26 年度 調査研究部長 伊藤智樹
整理課長 今泉 潔
整理期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
整理内容 実測・トレースの一部～原稿執筆の一部
整理担当者 上席文化財主事 池田大助・宮 重行

平成 27 年度 文化財センター長 小久貫隆史
整理課長 岸本雅人
整理期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
整理内容 原稿執筆の一部～報告書印刷・刊行
整理担当者 上席文化財主事 池田大助



第1図 遺跡の位置と周辺の地形



第2図 物井地区遺跡分布図



印旛郡市文化財センター
調査区域

第3図 鳴越遺跡年度別調査区域図

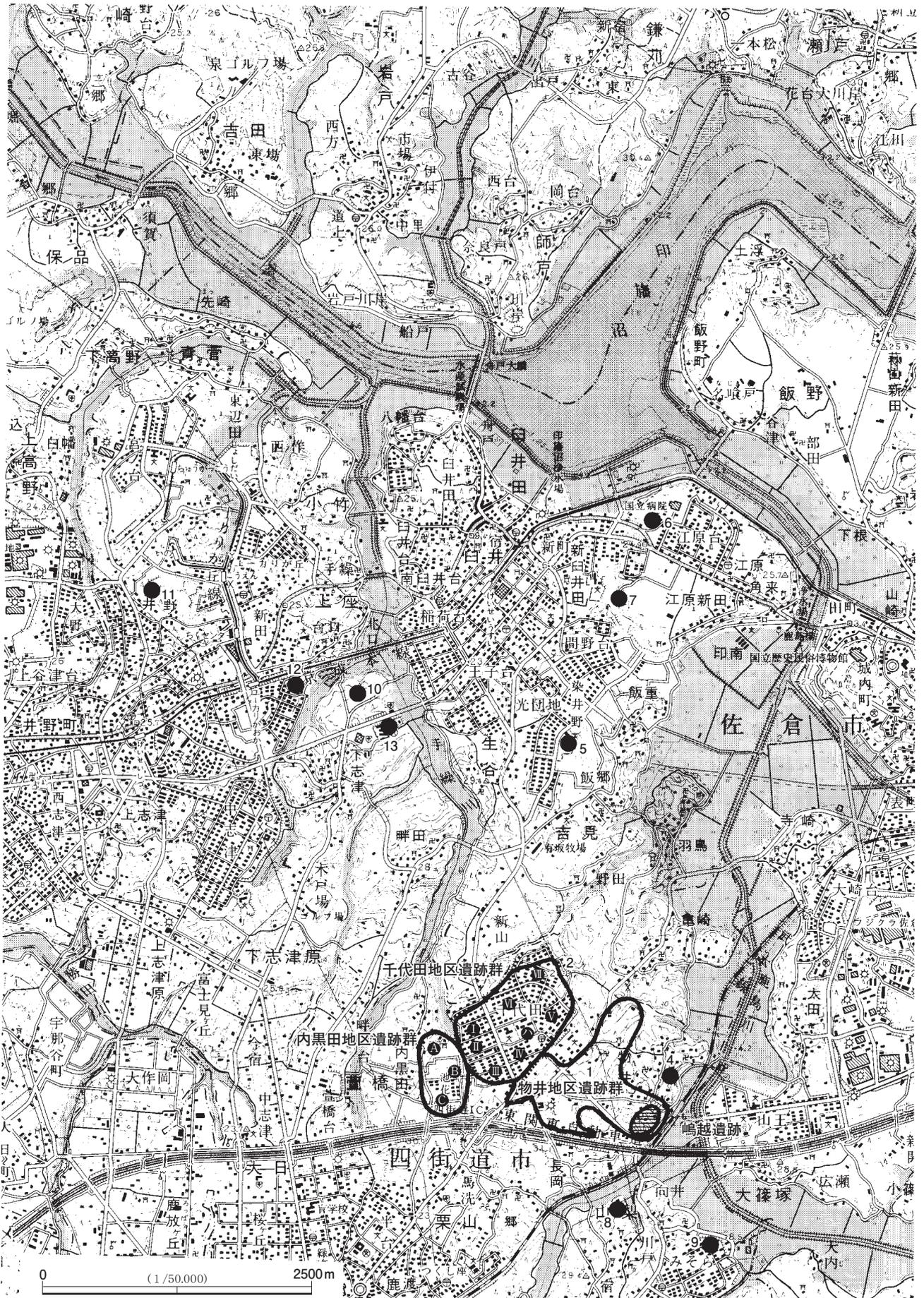
0 (1/1000) 50m



00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11								
20	22								
30		33							
40			44						
50				55					
60					66				
70						77			
80							88		
90								99	

第4図 鳴越遺跡グリッド・トレンチ配置図

0 (1/1000) 50m



第5図 周辺の遺跡分布図

2 調査の方法

物井地区における埋蔵文化財調査においては、事業範囲全域を公共座標に基づく方眼網（日本測地系・国家標準直角座標第Ⅸ系）で覆い、全遺跡の遺構・遺物についてその所在を確実なものとしている。方眼は第4図のように50m×50mを大グリッドを設定し西から東へ1・2・3・・・、北から南へA・B・C・・・と名付け両者を組み合わせて使用している。またその中を5m×5mで100分割し、西から東へ00・10・20・・・、北から南へ10・20・30・・・と名付け、両者を組み合わせて名称を付し、遺構・遺物に関する記録はすべてこの方眼網によった。記録類に表示した標高は東京湾平均海面（TP）による海拔である。

第2節 遺跡の位置と周辺の遺跡（第1・2図）

遺跡の位置と地理的・歴史的環境は嶋越遺跡（1）第1章第2節において取りまとめており、またすでに周辺において関連する物井地区文化財報告書Ⅰ～ⅩⅩのみならず、隣接台地上において調査を実施した内黒田特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書（1991）に詳しい。

本書においては、その位置（第1図）および今回報告の主体となる縄文時代後期～晩期にかけての周辺遺跡（第5図）の状況と発掘調査の概要を示す。

当遺跡はJR東日本総武本線物井駅の北西に近接し、鹿島川を望む標高28m～29mの台地上に位置する。この台地下はかつては香取の海と呼ばれ、印旛地域の原始から古代文化の醸成に大きくその生産力を養ってきた内海に面する台地上にある。

台地は鹿島川に注ぐ支流により樹枝状に開析され、複雑な地形を示している（第1図）。台地上は図に見るとおり相当の開発が進んでおり、旧来の地形と大きく改変されているものの、台地縁辺は鹿島川にともなう水田として、印旛沼あるいは鹿島川との地形を大きく変えることなくその景観を残している。

嶋越遺跡は北に向かって香取の海に開き、東から南にかけては現千葉・八街方面へ広く広がる内湾に面している。またこの内湾より西に向かう樹枝状の谷を進めば、同時期の遺跡群とも言うべき内黒田地区が存在する。この内黒田遺跡群からすれば谷筋を下って印旛沼へ向かう出口に所在する。

またこれらの遺跡群はもう一本の川、現在の四街道市役所周辺を起点とする手練川水系と鹿島川水系に挟まれた台地上の南端に位置するエリアでもある。この台地上には数多くの遺跡が存在する（第5図）。

物井地区（1）・千代田地区（2）・内黒田地区（3）の遺跡群は、旧石器時代および縄文時代後期を中心とする遺跡として知られる。特にこれらの遺跡群においては旧石器時代の環状ブロックの特異な集中を示す遺跡群としても知られる。その中でも池花南遺跡の環状ブロック出土遺物は千葉県指定文化財ともなっているほか、本遺跡と隣接する台地上に位置する出口・鐘塚遺跡では、21か所の石器集中地点から2,700点以上の石器が出土し、出口遺跡においても29ブロックの石器集中地点から多数の石器が検出されている。台地縁辺北側には嶋越台貝塚（4）がある。調査時に周辺確認をした時点においては、薄い貝層の縄文時代では、本遺跡と同一散布する地点が確認できたものの、主体部は消滅した可能性が高い。加曽利B式期のハマグリを主とする主鹹貝塚であるとされる。本遺跡から千代田遺跡群を抜け北上すると、佐倉市吉見台遺跡（5）にいたる。直線距離で3kmほどの距離である。600点を超える土偶の出土や中期から後・晩期にかけて集積された土器塚で知られる。鹿島川を印旛沼に下りきった印旛沼（香取海）を望む台地上には、考古学史上著名かつ代表的な遺跡として江原台遺跡群がある。大規模な土器塚で知られる遠部台遺跡（6）、曲輪内貝塚（7）などを代表とする。学史上の初見は1894年（明治27年）である。遠部台遺

跡はその後、大山史前学研究所の発掘（1923年）や東京大学人類学教室の発掘調査（1939年）に基づき堀之内式～加曾利B式～安行式の相位的な相互関係を実証し、また後には山内清男により当遺跡の調査に基づいた加曾利B式および安行1式の標識資料が抽出されるなど、考古学史上重要な遺跡である。

千葉・八街方面に上がって行けば、対面する台地上には相ノ谷遺跡（8）が存在する。主に加曾利B式期～安行3式期までの遺物を出土している。他にも、弥生時代中期の土器も出土しており、縄文晩期～弥生中期という時期的に当遺跡との関係も考えられる。前広遺跡（9）からは堀之内式期～安行2式期の遺物の他、多数の動物遺存体が出土している。貝層自体は薄いとされる。なおこれより鹿島川をさかのぼれば、粘土採掘坑の底面から安行3b式期の土器が出土した南作遺跡や、分布調査の時点で土偶や石棒、玉類のほか、ヤマトシジミを詰めた安行1式期の土器などの遺物の採集で知られる坂戸草刈堀込遺跡などが所在する。現鹿島川流域の谷筋には、東京湾に注ぐ谷筋に比べると、思いのほか貝塚の存在が薄く感じられる。

北に向かう手繰川流域には、吉見台遺跡と川を挟んで対岸の台地上に堀之内式期の柄鏡型住居を検出した神楽場遺跡（10）、さらに台地先端に向かって進めば国指定遺跡でもある井野長割遺跡（11）が存在する。当遺跡からは直線距離で7km～8kmほどである。この遺跡は、後期～晩期中葉にかけての一大集落であり、墓坑と考えられる土坑群、後・晩期の住居の検出のほか、縄文時代後期～晩期にかけての「環状盛土遺構」の存在があげられる。全国でも10数例という遺構であり、この遺跡を特徴付けている。

これらの遺跡のほかに、茅山式期の貝塚として保存された上座貝塚（12）、時期は異なるものの前方後方墳が保存された飯合作遺跡（13）など幾多の遺跡が同じ流域に存在しており、この周辺地域は香取海に育まれていたことが知れる。

第1表 周辺の遺跡一覧（第5図）

No.	遺 跡 名	主要な時代	概 要	文 献
1	物井地区遺跡群	旧石器～中近世	本遺跡の後背する台地に所在する御山遺跡からは浮線文系の遺構が確認されている。	(財)千葉県文化財センター 物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ～ⅩⅨ
2	千代田地区遺跡群	旧石器～中近世	千代田Ⅰ～Ⅶの各遺跡から縄文時代後期～晩期の遺構遺物が出土。保存された八木原貝塚①は加曾利B式期の鹹水産の貝類を主とする貝塚。	四街道千代田遺跡調査会 千代田 1972
3	内黒田地区遺跡群	旧石器～中近世	縄文時代晩期中葉～弥生期にかけてを主とする。池花遺跡②・池花南遺跡③・大割遺跡④の3遺跡からなり、池花遺跡では荒海式期から弥生時代へと続く可能性のある一群を検出。池花南遺跡では千網式期～須和田式期の包含層を検出している。	(財)千葉県文化財センター 四街道市内黒田遺跡群 1991
4	鳥越台貝塚 (馬場 No1 遺跡)	縄文時代 加曾利B式期	加曾利B式期の貝塚。ハマグリを主として出土。	四街道市教育委員会 四街道市市内遺跡群発掘調査報告書
5	吉見台遺跡	縄文時代 中期末～晩期	大型住居や香炉形土器、土偶の大量出土など。	吉見台遺跡群調査会 吉見台遺跡発掘調査報告書 2011
6	遠部台遺跡	縄文時代 中期～晩期	集落跡、小貝塚群、土器塚など。	自然学雑誌 池上啓介 千葉県印旛郡白井町遠部石器時代遺跡の遺物 1937
7	曲輪ノ内貝塚	縄文時代 前期～晩期	集落跡、土器塚など。	佐倉市教育委員会 佐倉市史「考古編」 2014
8	相ノ谷遺跡	縄文時代 阿玉台式期～ 弥生時代中期	加曾利B式期～安行3式期。5軒の弥生時代中期の集落。	東京電力北総線遺跡調査会 北総線 東京電力北総線設置工事に伴う埋蔵文化財調査報告書 1982
9	前広遺跡	縄文時代 早期～後期・貝塚	茅山式期～安行2式期。安行期住居跡。	中野遺跡調査団 下総国四街道地域の遺跡調査報告書 1986
10	神楽場遺跡	縄文時代 中期～晩期	堀之内式期柄鏡住居跡など。	(財)印旛郡市文化財センター 神楽場遺跡・五反目遺跡 1991
11	井野長割遺跡	縄文時代 後期～晩期	晩期中葉住居跡・環状盛土遺構・土器塚・縄文時代整地跡。国指定遺跡	佐倉市教育委員会 佐倉市埋蔵文化財調査報告書 井野長割遺跡 - 第17次調査報告書・総括報告書 - 2010
12	上座貝塚	縄文時代 早期貝塚	縄文時代早期茅山式期集落、内湾性貝塚。県指定遺跡	明治大学 駿台史学 麻生 優 佐倉市上座貝塚の住居址と炉穴 1959
13	飯合作遺跡	弥生～ 奈良・平安時代	方形周溝墓・前方後方墳。県指定遺跡	(財)千葉県文化財センター 佐倉市飯合作遺跡 1978

第3節 遺跡の概要（第3～12図）

今回の調査範囲においては、確認調査に入った時点で最も標高の高い地点（TP30m～25m付近）がほぼ全面にわたり削平されており、ローム層がわずかに残る状態であった。そのなかで古墳時代以降の竪穴住居跡（第6・7図）などの遺構が確認でき、調査はそのわずかに残るローム層中に残された住居の床面あるいはカマドや柱穴など、遺構最下面の痕跡を確認するような状態で調査が進められた。

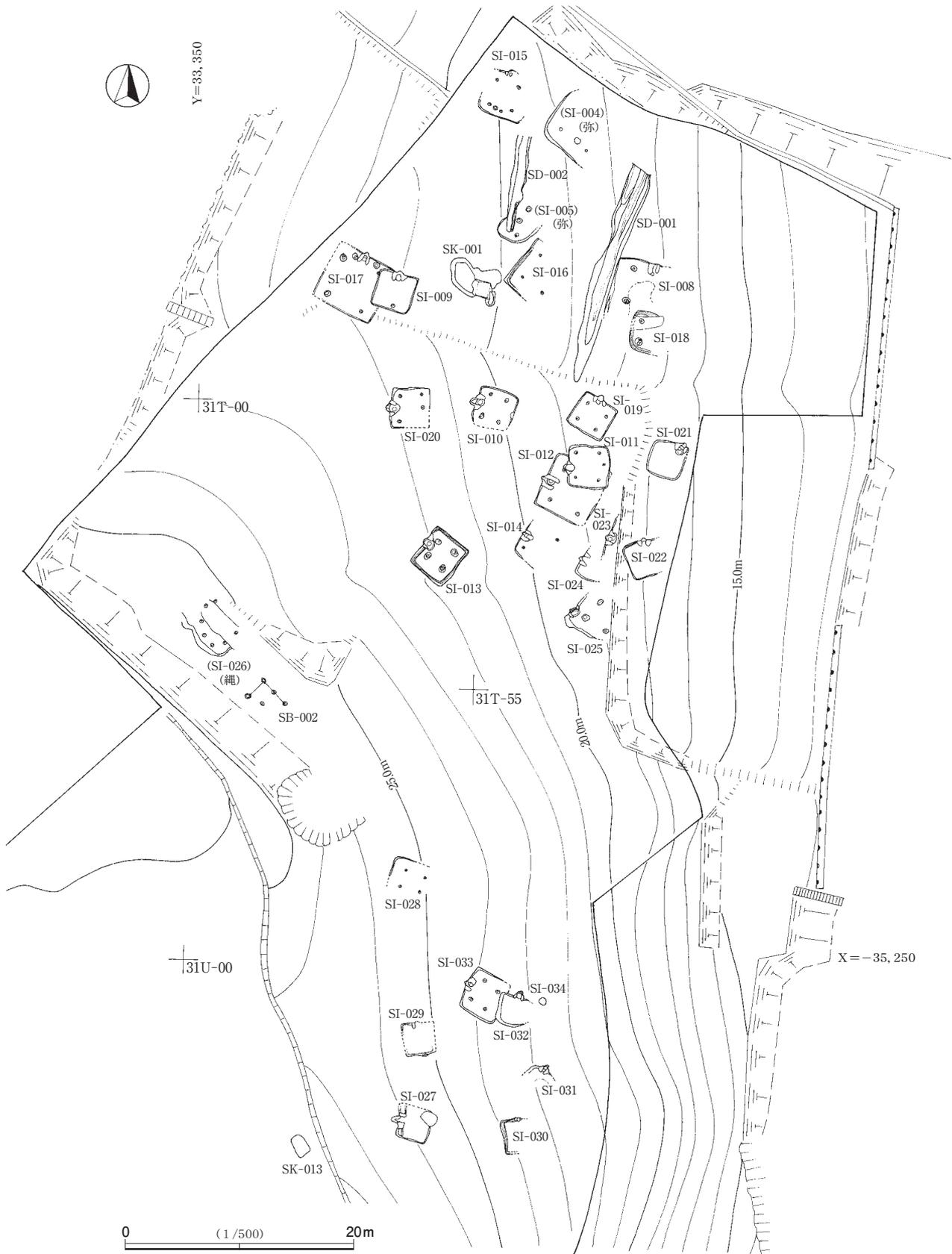
従来より、斜面部には縄文時代後期の土器が散布することが知られており、また斜面部での地形改変の可能性があるため、状況確認のためトレンチ（第4図）を入れたところ、一部段差のある若干の平坦面（25～20m）から奈良・平安時代の竪穴住居跡や中近世の土坑など（第6・7図）が検出されるとともに、南東より入る小支谷の斜面部において縄文時代後・晩期の包含層が検出された。支谷の最大幅は20m、高低差において最上部を約28mとして最下部の標高は平均12mとなり、高低差16m程度の急斜面であった。

これらの斜面流入遺物包含層より出土する遺物類のなかには、平坦部に残される古墳時代～平安時代にかけての土器類はもとより、旧石器時代の石器、縄文時代早期撚糸文系の土器をはじめとして、後期・晩期の土器を中心とした縄文時代全時期の土器群を検出しており、わずかに残る竪穴住居跡のなかには弥生時代中期の住居と想定しうる竪穴住居跡も検出されており（第131図）、本遺跡が旧石器時代～中世に至る大規模な複合遺跡であったことをうかがい知ることができた。残念ながら、今回報告する出土した遺物類のすべてと言える数量が斜面部からの出土であるため、使用後の「投棄」と想定せざるを得ない状況である。また、少量ではあるが、シカ・イノシシの黒色化した焼骨の破片がみられた。

土器群の中では、晩期大洞系の土器、特に東北に直接系譜をもつであろう土器の出土（第8図）も注目される。これらの土器のほか、ミニチュア土器類（第9図）、また126点を数える出土が確認された土偶（第10図）においても、これらの出土状況から特定の位置を目標とした投棄ないしは廃棄の状況を確認することが出来ない。谷の深いところに集中するという内容を報告するのみとなる。土製円板・土錘類（第11図）は概数で1,000点を数え、また土器片錘に至っては確実に分類し得るもののみを抽出してみたが、216点を数えるという状況で、周辺の同時期の遺跡と比べても群を抜いた豊富さである。

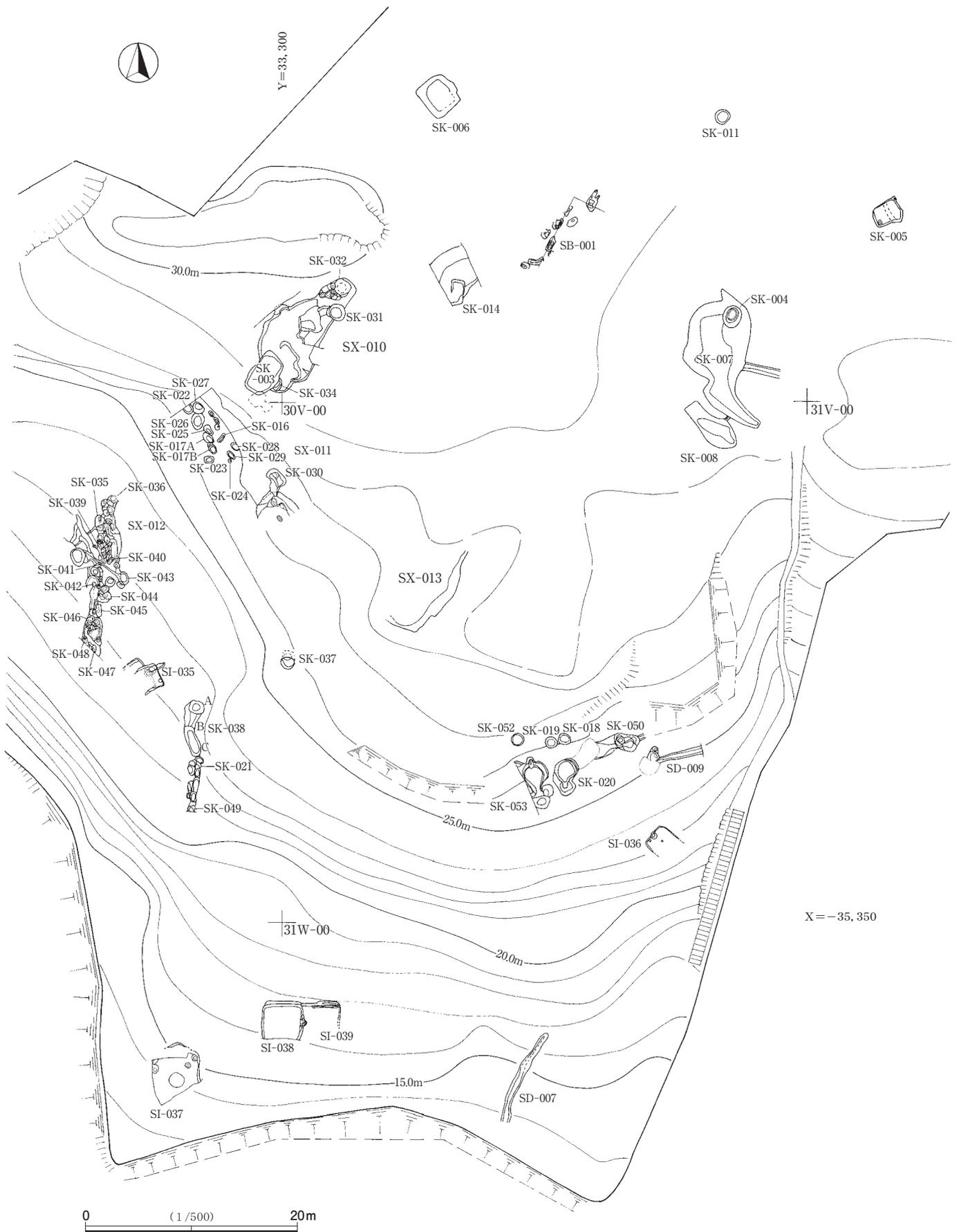
先に記載したように、広大な後背・周辺台地上に類似する遺跡を数々見ることができ、本遺跡を鹿島川への出口とすると、遺跡南側を東へ入る谷筋上北側に館ノ山遺跡、小屋ノ内遺跡と連なって存在する。物井地区遺跡群中最大面積となる小屋ノ内遺跡は、旧石器時代の環状ブロックをはじめとする多数の石器出土地点の検出、縄文時代早期撚糸文系土器群と併せ「木の根系」タイプの土偶を出土する遺跡として知られるが、併せて縄文時代後期安行2式期前後を主として、安行3a式期までを主要な時期とする縄文時代後期～晩期の遺跡でもある。報告されている中で、土製品は土偶3点のほか土製円板10点、土器片錘については少数の出土であり、本遺跡における特定遺物の偏在性が目立つものとなる。

なお、隣接地を（財）印旛郡市文化財センターが平成22年度に発掘調査を実施している。調査対象区全域に縄文土器の散布が見られ、また本調査区と同様に、斜面部より縄文時代の包含層および貝の散布が確認されたが、本調査区と同様に、近年の造成により削平が進んでおり、古墳時代中期後半の竪穴住居跡が1軒検出されたものの、縄文時代の遺構などについては検出されなかったことが報告されている。

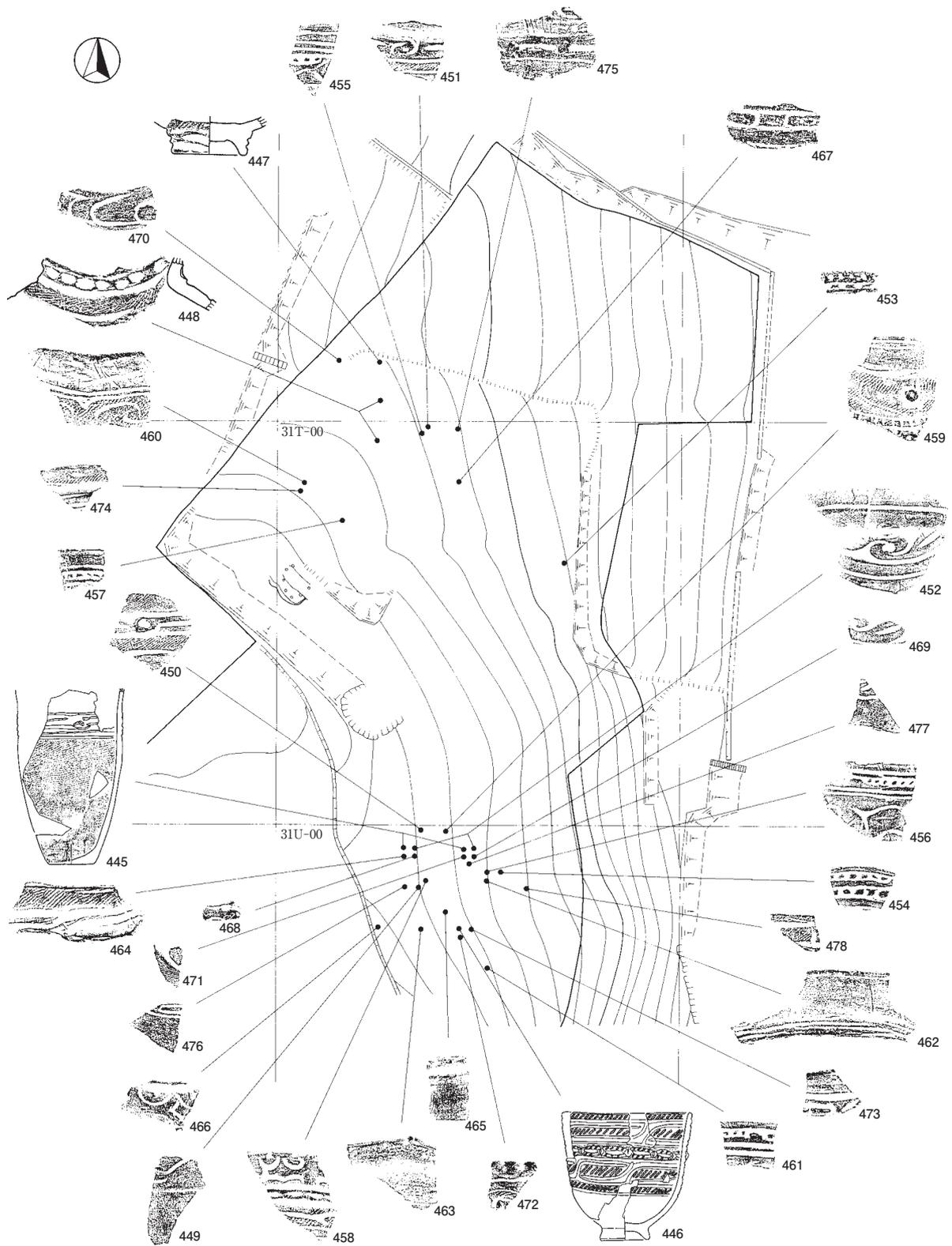


第6図 遺構検出状況部分図（遺跡北半部）

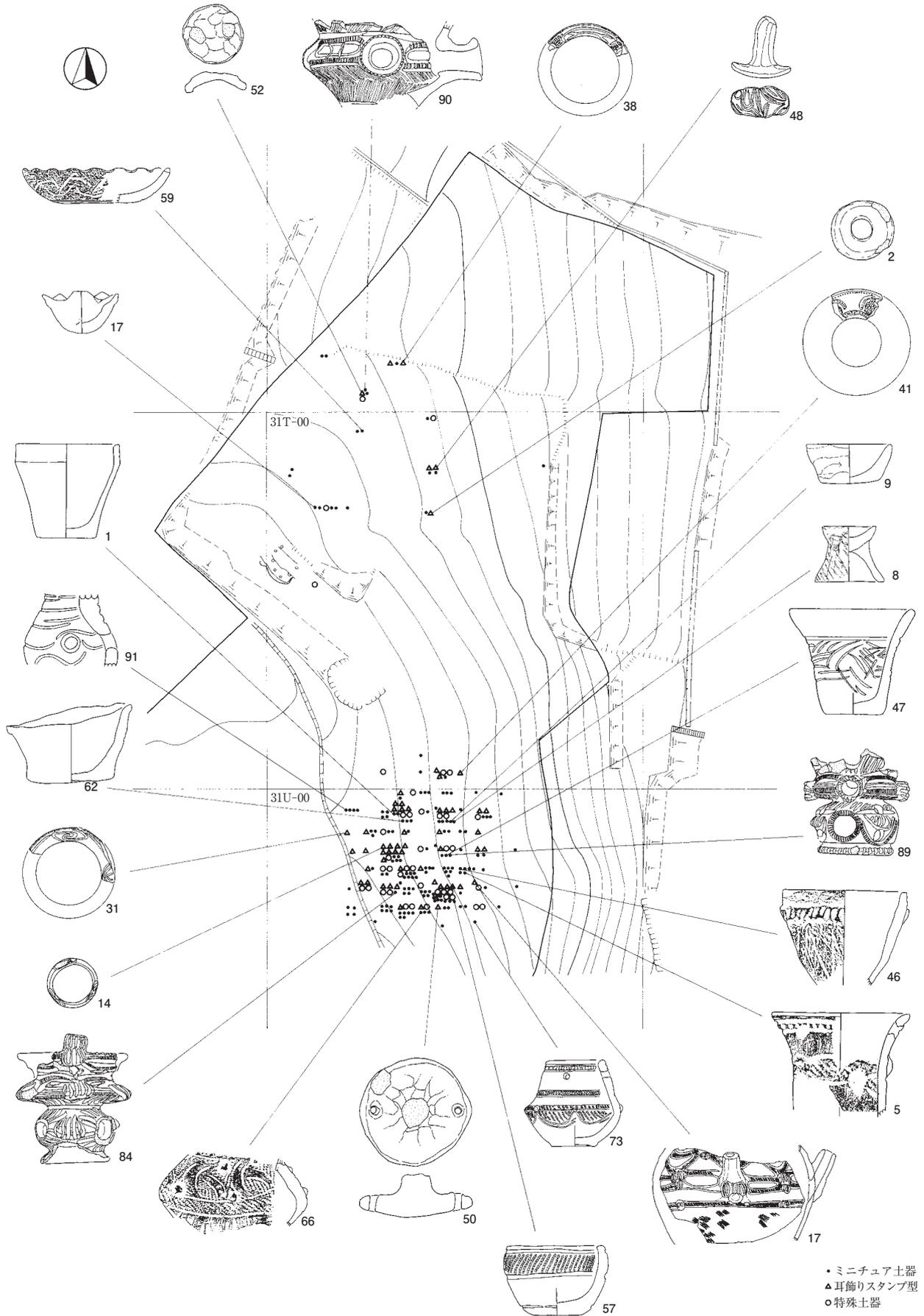
() 付遺構は本書で扱ったものである



第7図 遺構検出状況部分図（遺跡南半部）



第8図 縄文土器(大洞系)出土状況図



第9図 ミニチュア土器，特殊土器，耳飾り出土状況図



第10图 土偶出土状况图



第11図 土器片錘，土製円板出土状況図

縄文時代包含層基本層序（第12図）

台地上の包含層基本層序を確認しておく。

I層：表土（耕作土）で黒灰褐色を呈する。乾燥してすぐに白っぽくなる。

II層：立川ローム以降に降灰した新規テフラ層である。a層～c層に3分される。

II a層：最上部の層。黒色土

表土攪乱が及んでいることが多く、条件が良い場合にしか残らない。古墳下などに旧表土的に残存する。弥生時代（晩期末も含まれるか）以降の層である。

II b層 褐色土

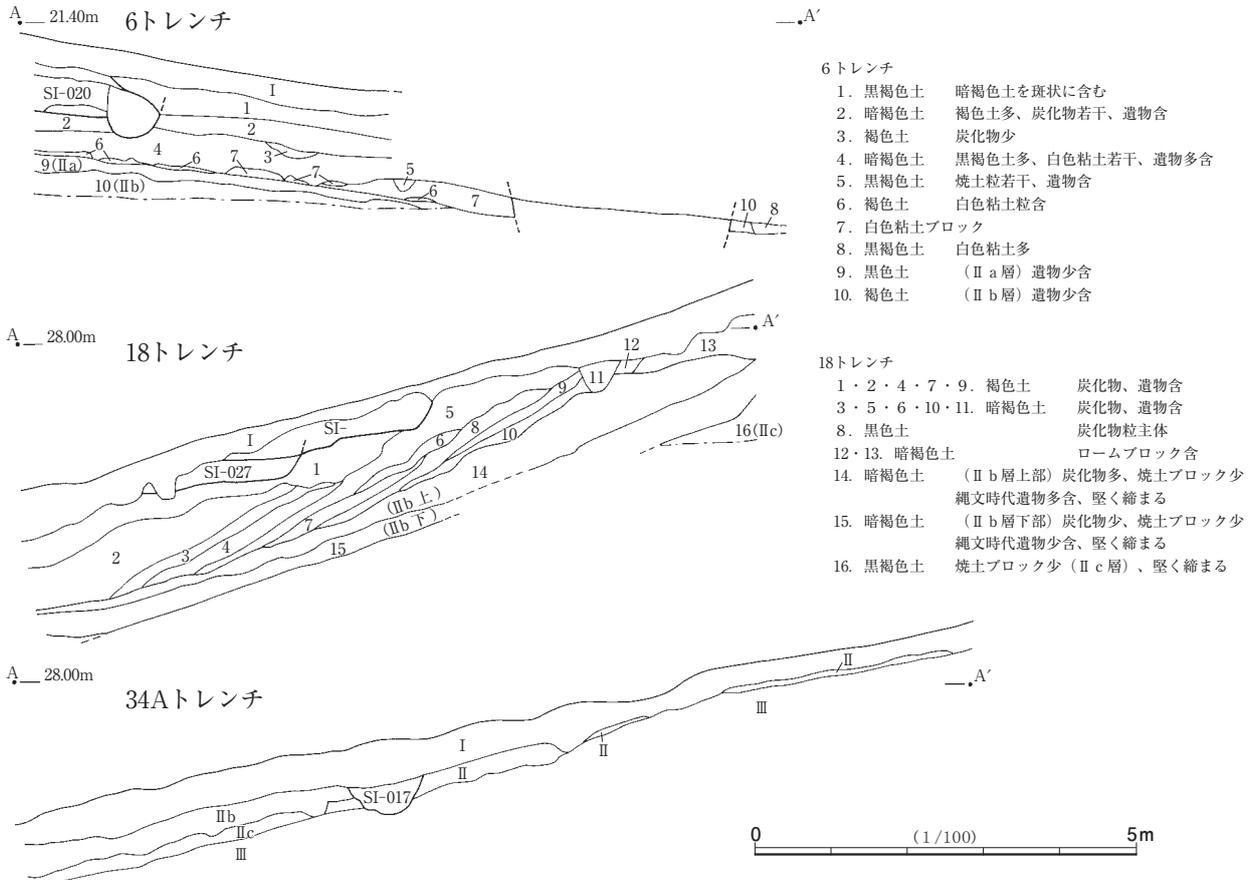
一般に新时期テフラ層といわれるものである。縄文時代後期～晩期頃に降灰し、場所によってはIII層と見間違うくらいであり、厚さが20cmを超すところもある。縄文時代中期（後半頃）から後期・晩期の遺物を主体に包含する。

II c層 暗褐色土

縄文時代中期（前半頃）～早・前期の遺物が包含される。富士黒土層相当である。

III層 黄褐色土

いわゆるソフトローム層である。



第12図 遺物集中区土層

調査区東側の堆積状況

各トレンチの堆積状況を概観する。

1 トレンチ

写真からの判断では、地表下 1.5 m でⅡ a 層～Ⅱ c 層になる。Ⅱ a 層上面に薄い粘土の層がある。

6 トレンチ 標高 20m～21 m。東へ緩傾斜する。

上部の土は奈良・平安期の整地だろう。その層から縄文土器の出土が多いが、周辺の縄文期遺構あるいは包含層を壊しているため、標高が低いにもかかわらず、地表下 1.4 m の深さからⅡ a 層、その下にⅡ b・Ⅱ c 層がみられる。Ⅱ a 層上面に薄い粘土層（地滑り痕跡か）がある。土器集中区は西北西から東北東へやや遺物密度が濃い部分があるので、埋没谷が存在するものと思われる。

14 トレンチ

傾斜地中央部分にある。標高は 25m～26 m と高めで、地山が成田層砂層となっている。

16 トレンチ

平坦地縁辺部、肩に近い部分から斜面部にある。標高 27.5 m～25.5 m。肩近くにはⅡ a 層～Ⅱ c 層までであるが、斜面の低い部分は上が削られ、Ⅱ c 層のみ検出された。Ⅱ 層の上は再堆積土である。

17 トレンチ

斜面最下部にあり、標高 23.5 m～21 m である。きれいにⅡ層が残る。斜面の高い部分（西側）に再堆積土がみられる。

18 トレンチ

16 トレンチの南隣で、包含層を縦断する東西セクションである。標高は 28.5 m～26.0 m で、傾斜がやや急である。上部から下部へ厚くなる（最深 1.3 m）。整地跡及び二次堆積土がみられる。Ⅱ a 層は標高の低い東側は流されている。西側も動いているようで、層の乱れがある。Ⅱ b 層は堆積が厚く、上面が堅く締まっている（地滑り痕跡か）。更に下位に黒っぽいⅡ c 層がある。遺物は上部から下部までであるが、混入が多い。ただ下位に行くほど時期の古いものが多くなる。

19 トレンチ

斜面最下部にあたる。17 トレンチの南に隣接し、ほぼ同様の堆積を示す。

21 トレンチ

平坦地肩部。標高 28 m～26.5m。西側は常総粘土層で東側は谷となって褐色土（Ⅱ層ないし再堆積土）が落ち込む。

23 トレンチ

標高 28 m の平坦地で、地山は常総粘土層まで削平されている。

調査区西側部の堆積状況

平坦部は粘土層まで削られている。斜面はⅡ層以下が残されている。

31 トレンチ

台地縁辺、平坦地。標高 29m。地山は粘土層である。

34 トレンチ

北東から南西方向に、標高 28m～22m に配置した。Ⅱ層はあるが、上部のⅡ a 層は消失している。立

川ロームの堆積もある。

29V08 区北西壁（第13図）

旧石器時代尖頭器出土地点。立川層を含む。基本層序が残されている。

参考文献

- 1 栗本佳弘ほか 1971 東関東自動車道（千葉－成田線）関係埋蔵文化財発掘調査報告書 千葉県文化財保護協会
- 2 米内邦雄ほか 1972 千代田遺跡－千葉県印旛郡四街道町－ 四街道千代田遺跡調査会
- 3 埼玉県教育委員会 1974 高井東－埼玉県埋蔵文化財調査報告書4集－ 埼玉県教育委員会
- 4 米内邦雄ほか 1978 八木原貝塚調査報告書 四街道遺跡調査会
- 5 芹沢長介・坪井清足監修 1981・1982 縄文土器大成 講談社
- 6 渡邊修一 1991 四街道市内黒田遺跡群－内黒田特定土地地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書－（財）千葉県文化財センター
- 7 小林行雄編 1994 縄文土器の研究 小学館
- 8 林田利之 1999 千葉県佐倉市吉見台遺跡A地点（財）印旛郡市文化財センター
- 9 大内千年ほか 2001 主要地方道松戸野田線住宅地地帯埋蔵文化財調査報告書－流山市三輪野山貝塚・宮前・道六神・八幡前－（財）千葉県文化財センター
- 10 飯島伸一ほか 2002 郷野遺跡－四街道市成台中土地地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書（1）－（財）印旛郡市文化財センター
- 11 猪股佳二ほか 2003～2014 井野長割遺跡－第1次～第17次発掘調査報告書－（財）印旛郡市文化財センター
- 12 小林信一ほか 2005 印西市西根遺跡－県道船橋印西線埋蔵文化財調査報告書－（財）千葉県文化財センター
- 13 高田 博ほか 2006 東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書7－君津市三直貝塚－（財）千葉県教育振興財団
- 14 西野雅人ほか 2007 千葉東南部ニュータウン37－千葉市六通貝塚－（財）千葉県教育振興財団
- 15 小林達雄編 2008 総覧縄文土器 総覧縄文土器刊行委員会
- 16 栗田則久ほか 2011 東関東自動車道（木更津・富津線）埋蔵文化財調査報告書13－君津市鹿島台遺跡（B区）－（財）千葉県教育振興財団
- 17 川島裕毅 2011 千葉県四街道市嶋越遺跡（第2地点）－物井2号線埋蔵文化財発掘調査委託－（財）印旛郡市文化財センター
- 18 佐倉市史編纂委員会 2014 佐倉市史（考古編） 佐倉市

物井地区埋蔵文化財調査報告書

- 19 渡邊修一ほか 1994 四街道市御山遺跡（1）－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書I－（財）千葉県文化財センター
- 20 岡田誠造 1999 四街道市出口・鐘塚遺跡－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書II－（財）千葉県文化財センター
- 21 古内 茂ほか 2005 四街道市小屋ノ内遺跡（1）旧石器時代編－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書III－（財）千葉県文化財センター
- 22 糸川道行ほか 2006 四街道市小屋ノ内遺跡（2）縄文時代～中・近世編－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書IV－（財）千葉県教育振興財団
- 23 糸川道行ほか 2007 四街道市小屋ノ内遺跡（3）－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書V－（財）千葉県教育振興財団
- 24 沼澤 豊 2008 四街道市郷遺跡・中久喜遺跡－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書VI－（財）千葉県教育振興財団
- 25 古内 茂ほか 2009 四街道市稲荷塚遺跡－物井地区埋蔵文化財調査発掘報告書VII－（財）千葉県教育振興財団
- 26 沼澤 豊 2009 四街道市清水遺跡－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書VIII－（財）千葉県教育振興財団
- 27 糸川道行ほか 2011 四街道市館ノ山遺跡－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書IX－（財）千葉県教育振興財団
- 28 沼澤 豊 2011 四街道市新久遺跡－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書X－（財）千葉県教育振興財団
- 29 落合章雄 2011 四街道市清水遺跡・新久遺跡 旧石器時代編－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XI－（財）千葉県教育振興財団
- 30 沼澤 豊 2012 四街道市出口遺跡－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XII－（財）千葉県教育振興財団
- 31 鳴田浩司ほか 2013 四街道市北ノ作遺跡－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XIII－（財）千葉県教育振興財団
- 32 野口行雄 2013 四街道市出口遺跡 旧石器時代編－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XIV－（財）千葉県教育振興財団
- 33 大岩桂子ほか 2013 四街道市館ノ山遺跡（2）－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XV－（財）千葉県教育振興財団
- 34 沼澤 豊 2013 四街道市御山遺跡（2）－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XVI－（財）千葉県教育振興財団
- 35 大岩桂子ほか 2014 四街道市嶋越遺跡（1）古墳時代以降編－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XVII－（財）千葉県教育振興財団

第2章 旧石器時代

第1節 概要

1 調査の経緯

本遺跡の台地平坦部はほぼ全域常総粘土層まで削平を受けていた。東側（第1次調査）及び中央部（第2次）では立川ローム層残存部がほとんど存在しなかったため、下層調査を省略した。

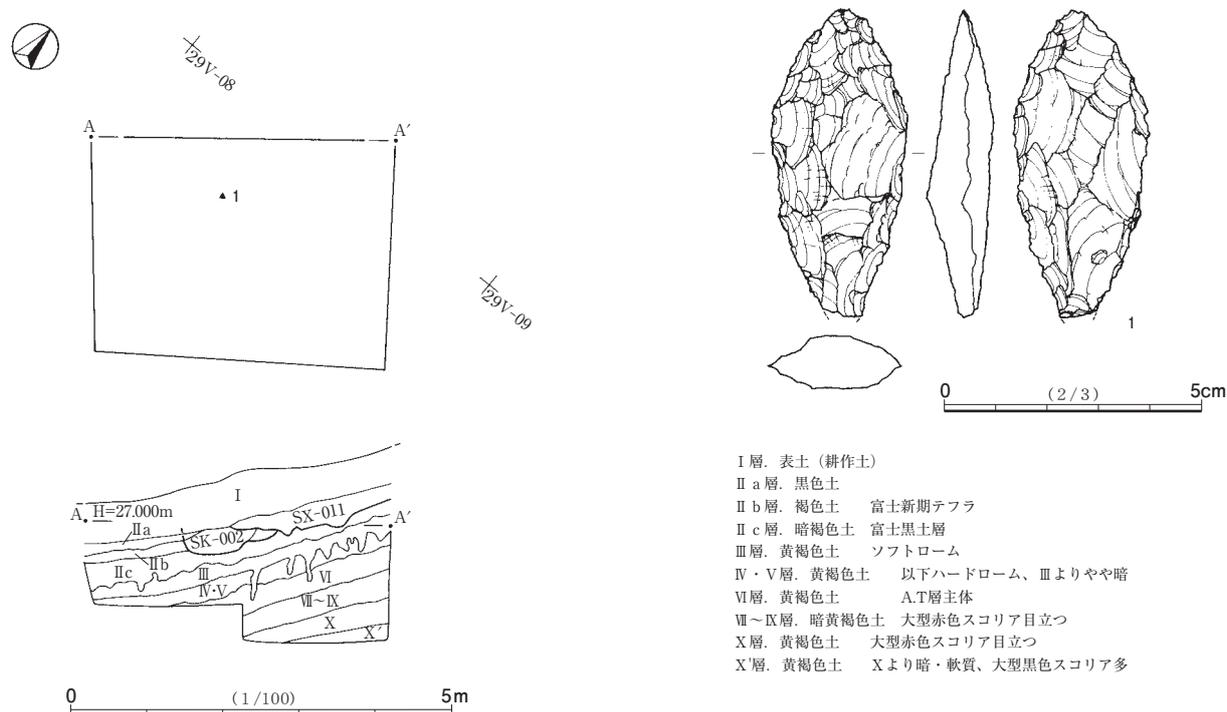
ただ31U区を中心とした縄文時代遺物集中区では、2次堆積土や縄文時代包含層中で旧石器時代の石器が出土しており、西側も平坦部は東側同様の状況であったが、斜面部に立川ローム層の残る部分が920m²ほど認められたため、5か所の確認グリッド（累計面積25m²）を設定し、掘り下げた。

その結果、Ⅲ層（ソフトローム）中で1か所石器の出土があり、周囲を拡張して精査したがほかには発見できなかった。

2 確認調査区出土石器（第13図、第2表、図版3）

西側斜面の肩部、29V08中心に、計約12m²を調査した。Ⅲ層中での単独出土である。

1は中型の木葉形尖頭器で、丁寧な押圧剥離による成形がみられるものである。



第13図 下層確認調査区・出土石器

第2節 遺物

包含層出土石器（第14～16図、第2表、図版6）

ナイフ形石器（第14図1～4）

1は小形薄手で木の葉形をなす。先端・峰・基部に刃潰し的な軽い加工がみられる。2は片面加工の切

り出し形の刃部を持ち、つまみ状の基部をなす。3は大型で厚手である。縦長剥片素材を片面加工している。基部と刃部の境が嘴状に突き出ている。4は先端部を欠く。峰部の加工のみで基部加工がない。

槍先形尖頭器 (第14図5～10)

5は先端部の残存品で、片面加工されている。6は両面押圧剥離の施された木葉形尖頭器である。基部側がやや細めとなっている。細部調整が刃部、先端部、基部に顕著である。7は厚手で断面三角形をなす小形品である。最終的な細部加工が正面から縁に浅く施されている。基本は両面加工だが、厚みのせいか一部片面加工がある。側縁刃部は搔器的である。8は台形断面をなすもので、ナイフ形石器のような形状をなす。先端に彫器の有樋加工的部分がある。1側縁に自然節理面を残し、中央に大きなガジリがある。基部は片面から加工されている。9は木葉形尖頭器中央部の破片で、両面押圧剥離がみられる。10は薄手で端部U字形をなす。槍先形尖頭器の基部破片とみられるが、主要部が欠損しているため断定できない。搔器ないし調整痕のある剥片とすべきであろうか。

有舌尖頭器 (第14図11)

11は細長く、きれいな押圧剥離を持つ。先端と基部を欠損するが、有舌尖頭器とみられる。最終的に表裏で片側縁づつ細部調整が行われている。

石核 (第14図12・第15図16)

12は多面体の小形細石刃核で、打面が2か所があり、1か所は細石刃を剥離し樋状をなす。16は非常に小型のもので、剥片を切断した面を打面とし、小片を剥いでいる。

搔器 (第15図13・17)

13は粗割加工で上・下端に彫器面を作っている。17は厚手の礫面を残す剥片を素材とし、右側縁に粗い剥離、左側縁にやや磨れ痕をもつ。

削器 (第15図14・15・18・第16図21)

14は、左側縁の尖頭部・直線部に片面からのわずかな剥離がある。15は、左側縁下部にノッチ的剥離、右側縁端部に尖頭加工がある。周縁に刃こぼれ状の跡が目立つ。18は右側縁に粗い剥離を有する。下縁はナイフ刃部状をなす。21は横長剥片を利用している。図の左側縁の上部に粗い剥離が、また同下部と右側縁には刃部加工がみられる。

楔形石器 (第15図19)

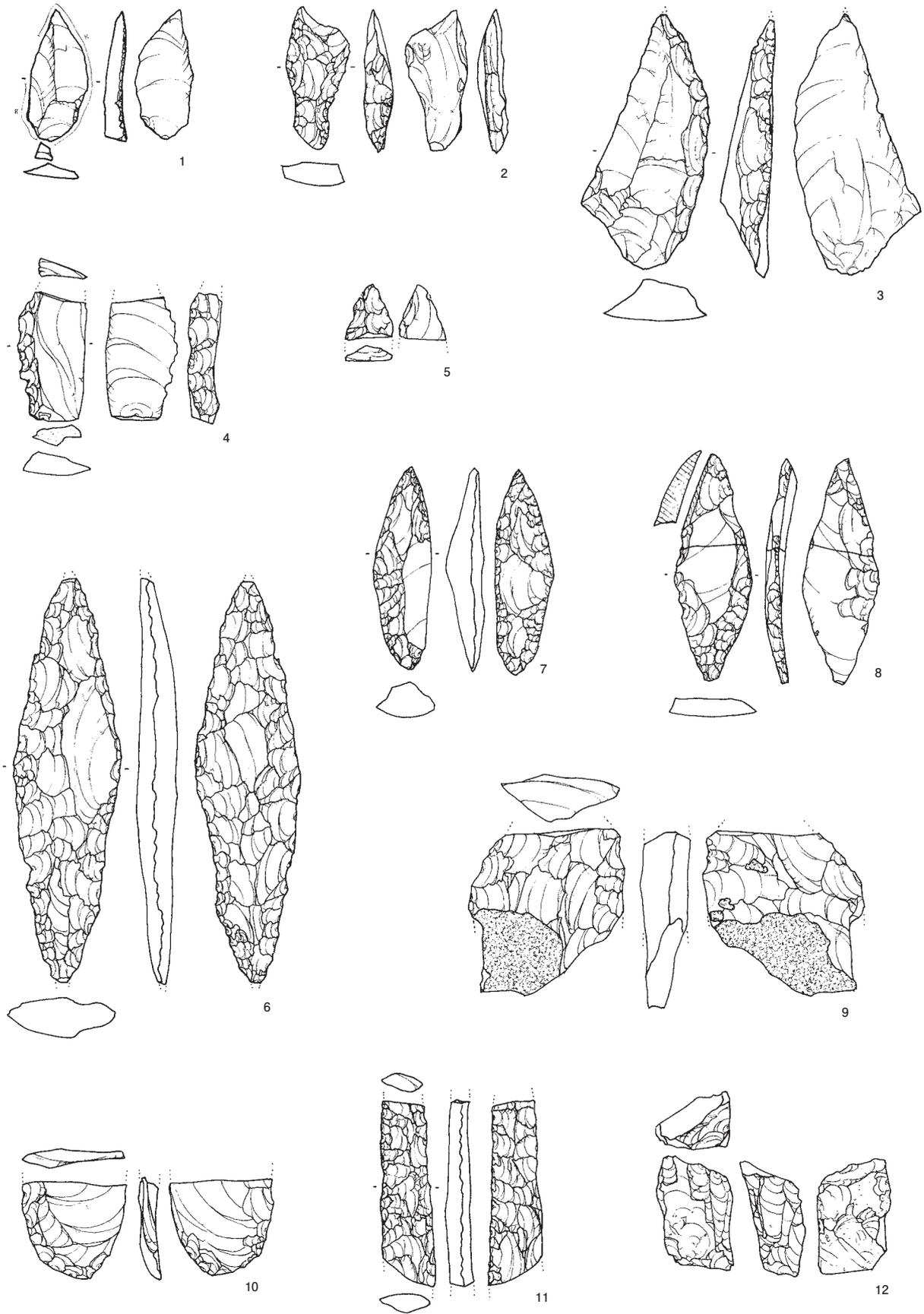
19は両縁に礫面が残る。下部は破損している。上部に両面からの剥離で楔状の加工がされている。

剥片 (第15図20・第16図22～24・27)

20は二次加工ある剥片で、一部を欠損する。片面に礫面を多く残す。左側縁と下縁に細かい剥離がある。22は剥片である。23は剥片で、礫面を多く残す。24は二次加工ある剥片で、礫面を多く残している。左側縁使用痕・ノッチが、下縁にノッチ的剥離および使用痕がみられる。27は縦長剥片で、側縁に刃潰れがみられる。

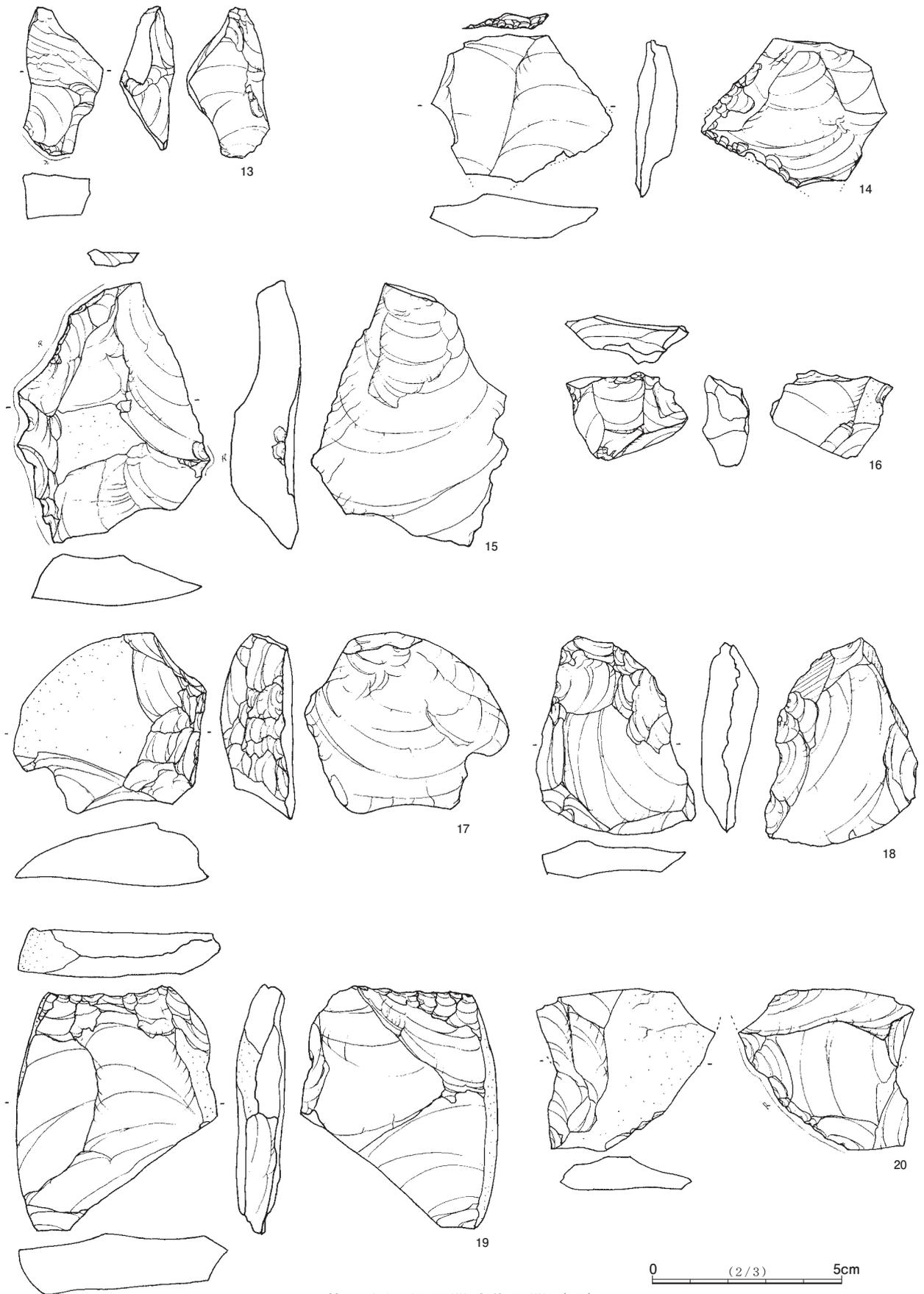
石刃 (第16図25・26・28)

25は細く厚い石刃である。26は右側縁にノッチ・使用痕(刃潰れ)がある。下部は欠損している。28は下部を欠損する石刃で、側縁に刃潰れがみられる。

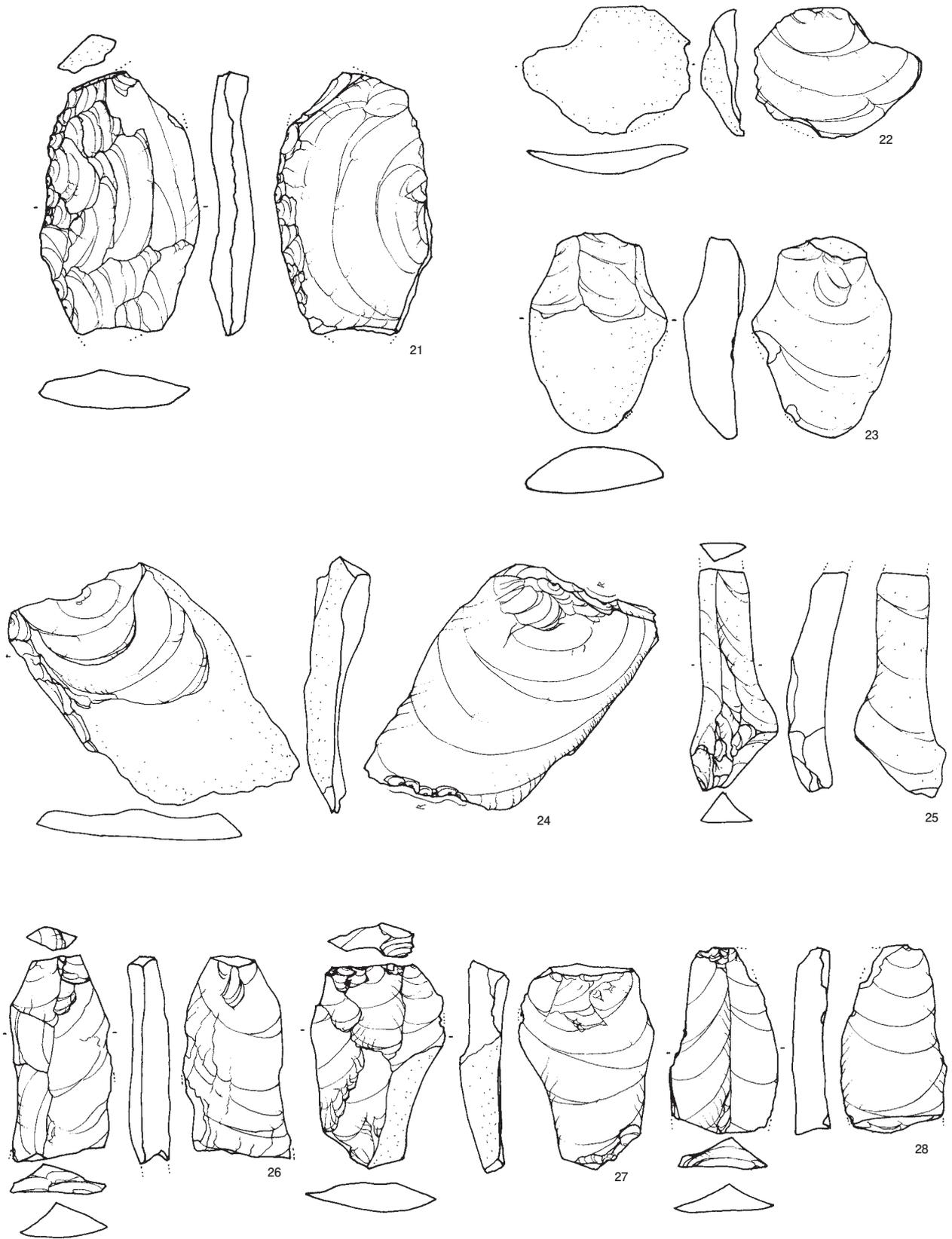


第14图 旧石器时代石器 (1)

0 (2/3) 5cm



第15图 旧石器时代石器(2)



第16图 旧石器时代石器（3）

第2表 旧石器時代石器観察表

挿図	No.	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ (mm)	最大幅 (mm)	厚み (mm)	重さ (g)	備考
13	1	槍先形尖頭器	頁岩	29V-08	1	木葉形	剥片	完形	61	27	13	19.2	端部若干欠
14	1	ナイフ形石器	チャート	31U-33B	4	木葉形	剥片	完形	33	15	4	1.9	
14	2	ナイフ形石器	黒曜石	31U-23B	-	切出し形	剥片	完形	37	16	6	3.3	高原山地黒曜石
14	3	ナイフ形石器	ガラス質黒色安山岩	31U-24D	2	有肩木葉	剥片	完形	66	28	13	20.8	
14	4	ナイフ形石器	メノウ	31U-12A	1	-	剥片	先端欠	33	17	6	4.7	
14	5	槍先形尖頭器	黒曜石	31U-33A	14	木葉形	剥片	先端片	14	12	4	0.6	被熱
14	6	槍先形尖頭器	ガラス質黒色安山岩	31U-13A	12	木葉形	剥片	完形	105	27	10	27.8	旧石器時代終末
14	7	槍先形尖頭器	硬質頁岩	31T-94D	1	木葉形	剥片	完形	53	15	10	6.1	
14	8	槍先形尖頭器	メノウ	31U-25D	3・7	木葉形	剥片	完形	59	20	5	6.4	接合資料
14	9	槍先形尖頭器	黒色頁岩	31U-02C	1	木葉形	剥片	破片	42	41	12	19.6	被熱
14	10	槍先形尖頭器	ガラス質黒色安山岩	31U-04C	2	木葉形?	剥片	基部片	25	27	4	3.5	
14	11	有舌尖頭器	チャート	31U-35A	4	柳葉形	剥片	先端・基部欠	48	13	6	5.1	縄文時代草創期
14	12	細石刃核	黒曜石	SX-010	173	塊状	剥片	完形	27	18	13	7.5	神津島産黒曜石
15	13	掻器	硬質頁岩	SX-010	2	三角形	剥片	完形	40	20	12	9.7	
15	14	削器	硬質頁岩	31T-03C	4	菱形	剥片	一部欠	40	48	10	16.5	
15	15	削器	硬質頁岩	31U-15D	1	台形	剥片	完形	65	48	15	40.9	未製品? 礫面残
15	16	石核	硬質頁岩	31U-36	1	小塊状	剥片	完形	23	30	11	7.5	
15	17	掻器	ガラス質黒色安山岩	31U-24A	6	不整形	剥片	完形	51	50	18	50.0	礫面残
15	18	削器	ガラス質黒色安山岩	31U-25A	2	台形	剥片	完形	57	41	12	24.5	未製品? 下部ガジリ痕
15	19	楔形石器	ガラス質黒色安山岩	31U-05B	3	台形	剥片	一部欠	64	53	12	60.0	両縁礫面
15	20	二次加工ある剥片	ガラス質黒色安山岩	31U-13A	2	逆台形	剥片	半欠	43	48	10	23.0	
16	21	削器	ガラス質黒色安山岩	31U-14B	9	楕円形	縦長剥片	一部欠	69	41	10	35.3	
16	22	剥片	流紋岩	31U-25D	4	不整形楕円形	剥片	完形	34	43	5	8.0	礫面
16	23	剥片	トトロ石	31U-33B	8	楕円形	剥片	完形	52	36	13	21.4	片側礫面
16	24	二次加工ある剥片	硬質頁岩	31U-13C	4	平行四辺形	剥片	完形	63	80	10	39.0	礫面多
16	25	石刃	トトロ石	31U-23C	14	短冊形	縦長剥片	一部欠	56	22	10	11.0	
16	26	石刃	珪質頁岩	31U-24B	8	短冊形	縦長剥片	一部欠	52	26	9	15.3	いわゆる(白滝頁岩)
16	27	剥片	珪質頁岩	31S-72	1	逆長台形	縦長剥片	完形	53	35	10	17.5	礫面残
16	28	石刃	珪質頁岩	SX-012	3	短冊形	縦長剥片	一部欠	49	28	7	10.7	いわゆる(白滝頁岩)

第3表 SI-026遺構内出土縄文土器観察表

() 推定値, < > 現存値

挿図	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
17	1	SI-026	18	深鉢	良	暗褐色	細砂含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	精製
17	2	SI-026	1	深鉢	良	褐色	細砂・白砂含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	精製
17	3	SI-026	79	深鉢	やや粗	暗褐色	細砂・白砂含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	精製
17	4	SI-026	17・19・92	深鉢	良	灰褐色	細砂含む	後期前葉	堀之内1	(22.4)	-	(16.8)	口縁~胴部40%	粗製
17	5	SI-026	74	深鉢	やや粗	赤褐色	細砂含む	後期前葉	堀之内1	(23.2)	-	(18.2)	口縁~胴下半20%	粗製
17	6	SI-026	78・80・81	深鉢	良	赤褐色	細砂・石英粒・微細な雲母含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁~胴部片	粗製
17	7	SI-026	83・84・90・91	深鉢	良	赤褐色	白砂含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁~胴部片	粗製 孔有り
17	8	SI-026	15	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂含む	後期前葉	堀之内1	-	(9.0)	(12.3)	胴部~底部20%	粗製
18	9	SI-026	73	鉢	やや粗	赤褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B2	(15.8)	丸底	8.0	45%	精製
18	10	SI-026	12	鉢	良	灰黄褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B2	-	6.7	(4.3)	胴部~底部60%	精製
18	11	SI-026	69	鉢	良	褐色	白砂含む・微細な雲母含む	後期中葉	加曾利B	-	4.6	(7.5)	胴上半~底部70%	精製
18	12	SI-026	62	深鉢	良	赤褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B2	-	-	-	口縁部片	精製
18	13	SI-026	92	深鉢	良	黄褐色	細かい白砂含む	後期中葉	加曾利B2	-	-	-	口縁部片	精製 内面赤彩
18	14	SI-026	48	深鉢	良	褐色	白砂・細砂・雲母含む	後期中葉	加曾利B2	-	-	-	口縁部片	精製
18	15	SI-026	37・59	深鉢	良	暗褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B	-	-	-	口縁~胴部片	精製
18	16	SI-026	61	深鉢	良	暗褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	-	胴部片	精製
18	17	SI-026	24	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B2	-	-	-	口縁部片	精製
18	18	SI-026	87	深鉢	良	黒褐色	白砂・雲母含む	後期中葉	加曾利B	-	-	-	胴部片	精製
18	19	SI-026	32・36	深鉢	良	暗褐色	白砂含む	後期中葉	加曾利B	-	-	-	胴部片	粗製
18	20	SI-026	75	深鉢	粗	褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B	-	-	-	口縁~胴部片	粗製 内面赤彩
18	21	SI-026	16	深鉢	粗	赤褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	後期	-	9.2	(6.2)	胴下半~底部70%	粗製

第3章 縄文時代

第1節 竪穴住居跡

SI-026 (第17・18図, 第3表, 図版4・7)

確実に縄文時代の竪穴住居跡と確定できるのは本住居1軒のみである。

遺跡北半部31 T区、2 mほど大きく一段削平された地点での検出である。台地頂部平坦面ではなく、標高25 mのラインの斜面に沿って並ぶ遺構群中より確認されたものである。この台地整形における削平とともに、中央部は溝状遺構および中世の土坑により失われている。また斜面部への掘り込みであるため、谷側の半分は流出して柱穴も失われている。現状から想定できるプランとしては、やや隅丸に近い方形となろうか。確実に確認できるのはコーナー1か所であるが、柱穴と考えられる7本の柱状のピットが確認できるため、これらが本竪穴住居跡に伴うものとしてみた場合、一辺が5 m程度のプランとなる。掘り込みは、現状で確認面から床面まで30 cmを測る。柱穴は床面から20 cm～30 cm程度の掘り込みとなる。炉跡は、本来存在したであろう中央部付近を溝状遺構などで破壊されているため確認できなかった。

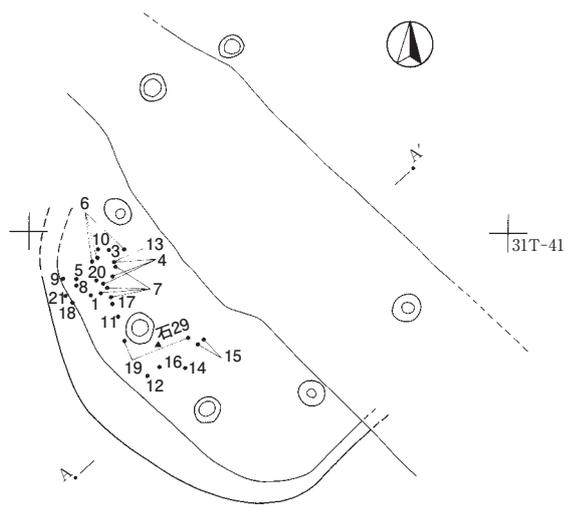
出土遺物は、堀之内式期から加曽利B式期にかけての土器がみられる。本住居からの出土遺物は土器のみである。1～8は堀之内式期の粗製の深鉢である。1は波状の頂部、地文に縄文を施し、沈線で文様を施すもの(1～3)および全体を縄文で施すものとがみられる。9は小型の鉢、無文である。10は沈線により綾杉条に文様が施される。11は小型の鉢である。胴下位を沈線で区画し浅い縄文を磨消している。12～21は後期後半加曽利B式期の深鉢である。口縁部を無文とするもの(12・13・15)、逆に口縁部に縄文を施すもの(14)、斜状に沈線を施すもの(17)などがみられる。15は口縁下を1条の沈線で区切り斜状沈線を1段施し、以下を波状の沈線としている。16は口縁下に無文帯を設けた後、波状の沈線を施している。17は口縁を大きく外反する浅鉢となろうか。19は地文に粗い縄文を施した後、斜位の沈線の組み合わせで格子状に施文を施している。堀之内期から加曽利B式期にかけての遺物が出土するが、調査時の所見に従い、加曽利B式期の住居跡と思われる。

第2節 その他の遺構と遺物

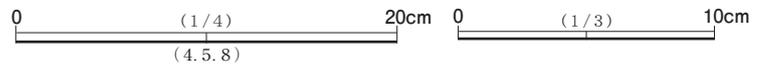
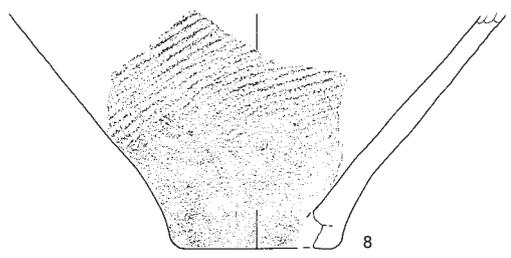
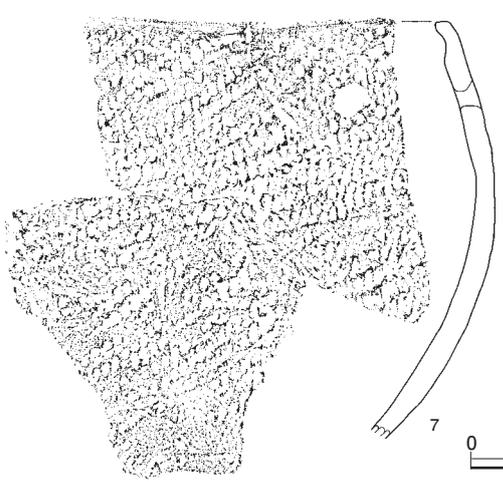
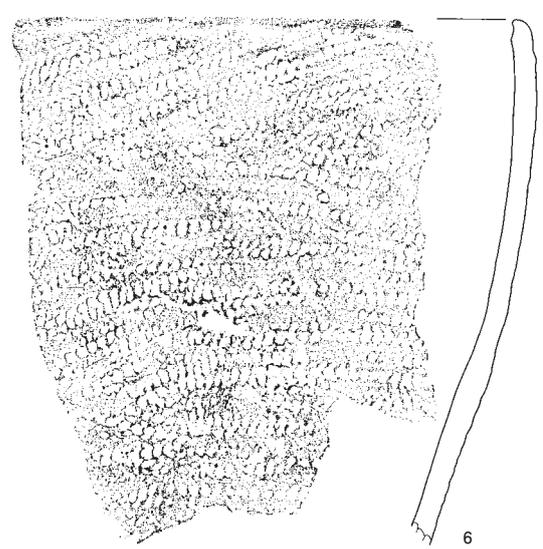
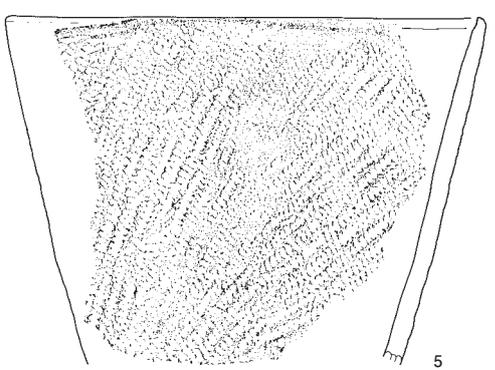
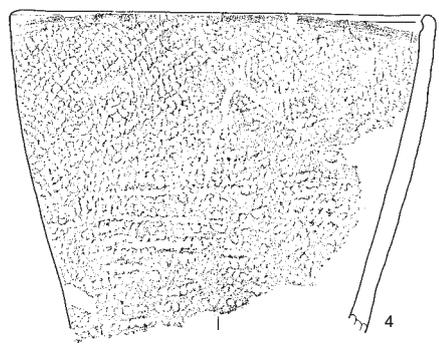
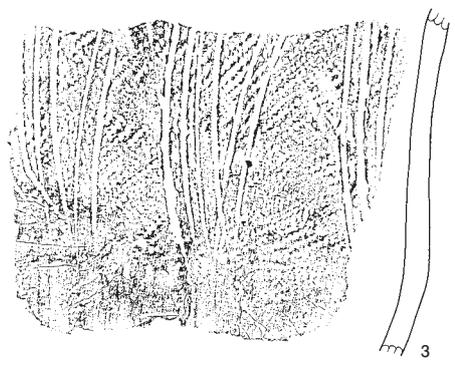
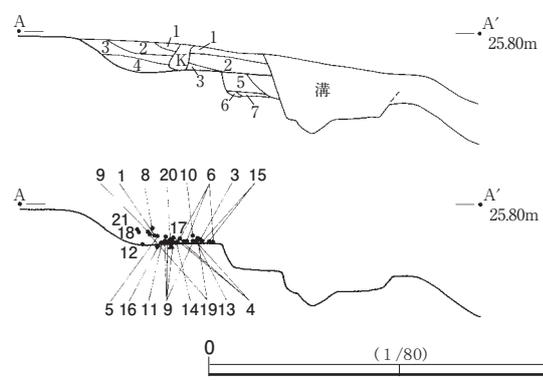
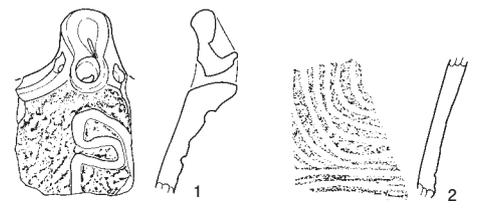
竪穴住居跡以外で土坑あるいは柱穴状の遺構のなかで縄文期の遺構を想定できないわけではないが、確実に縄文時代のものと確定するに至るものはない。

また、これらの遺物に関してもそのほとんどが斜面部より発見、採集されたもので、その主となるものは縄文時代早期撚糸文系から縄文時代晩期にいたる大量の土器群であり、基本的に上部攪乱面からの流れ込みとして、調査時点で10 m×10 mのグリッドでの取り上げを基本として行った。その量としては、標準的な整理箱に8割方の詰め方でおおよそ800箱に上る分量となる。

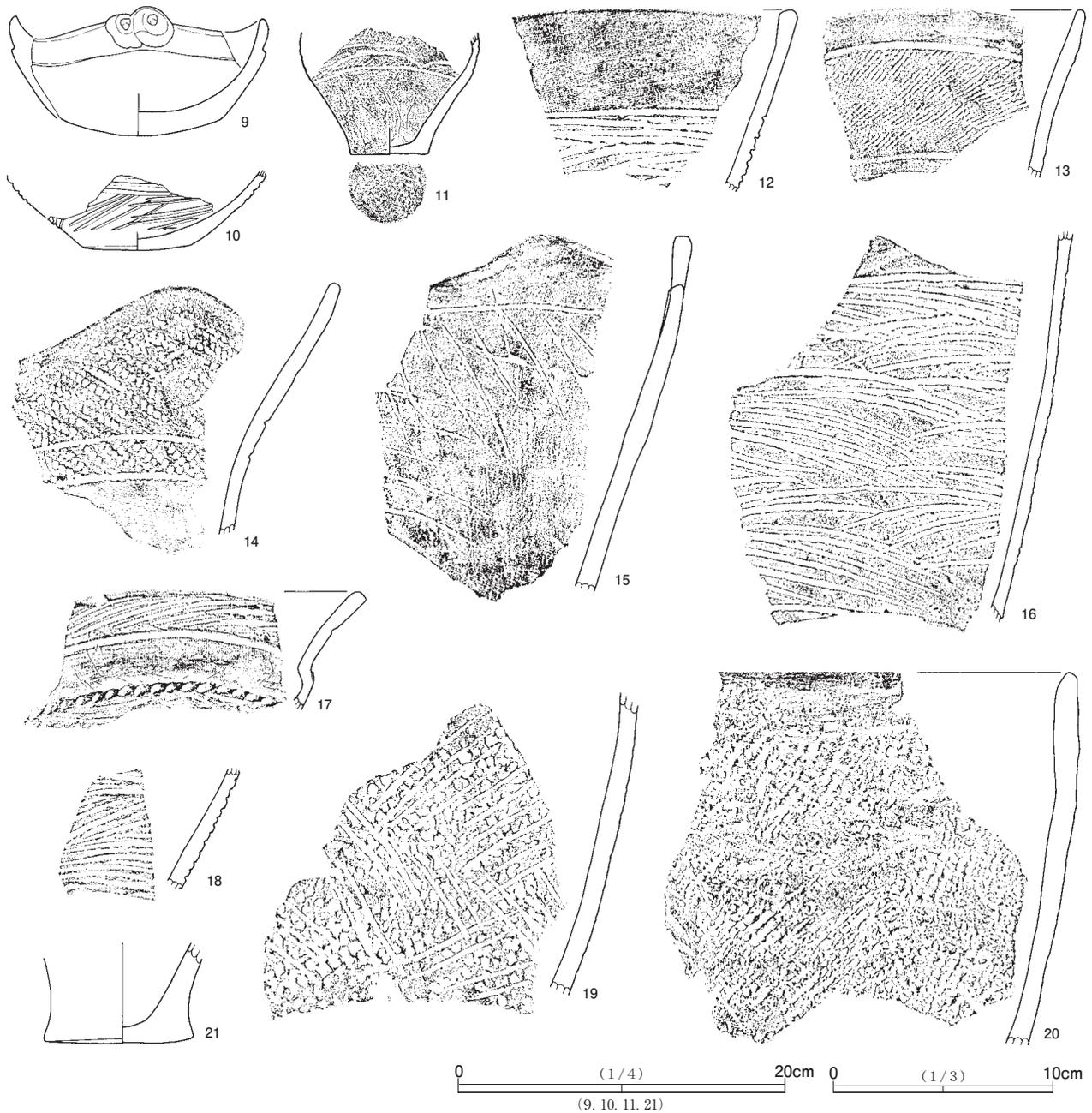
早期から前期にかけては、器面の荒れたものも多く見受けられ、上部平坦部からの流れ込みなどを想定しうるものも多々見受けられるが、縄文時代後期以降の相当量のもの、この検出された斜面部に直接投棄されたのではないかと、言うような状態の良いものも多く見受けられる。数量的には少ないものの、縄文時代早期、条痕文系土器群においては、従来あまり知られることのない、東海系の土器の出土もあり、当遺跡の多様性といったものがみられる。



- SI-026
- 1. 暗褐色
 - 2. 暗褐色
 - 3. 暗黄白色
 - 4. 黑褐色
 - 5. 褐色
 - 6. 黑褐色
 - 7. 暗黄白色
- 白色粘土・プロックやや多
 - 白色砂粒少
 - 白色粘土・プロック多
 - 黄白色砂粒少、炭化物若干
 - 黄白色砂多、白色粘土・小プロックやや多
 - 黄白色砂多
 - 黄白色砂主体、黑褐色土やや多



第17図 SI-026・出土遺物(1)



第18図 SI-026出土遺物(2)

これらの東海系の早期後半の土器群に関しては、東京湾内湾の低湿地貝塚で調査された市川市所在の雷下遺跡においても、類似の土器群が検出され、これらの土器群が内湾部から内陸を通り香取海内湾に面した地域にまで達していることは新たな知見である。

斜面部以外からは、縄文時代早期・前期と思われる縄文土器が散見されたが、攪乱面であり、斜面部からの出土グループとあわせて一括遺物とした。

第3節 縄文土器

1 第1群 縄文時代早期の土器群（第19～27図，第4表，図版8～13）

縄文式土器としては、撚糸文期、井草式期よりみられる。小片が多く、数量的にも報告したものがほとんどである。

第1類 井草式期（第19図1～44，図版8）

流れ込みに伴い、縁辺が摩耗したものがほとんどである。口唇部が肥厚外反し、口縁部に縄文あるいは撚糸文を施すなどこの時期の基本的な形態を示している。焼成は良好なものが多い。ただし流れ込んでいられると考えられるため器面などに荒れが目立つ。

第2類 夏島式期（第19・20図45～90，図版8・12）

縄文、撚糸文、無文と各種施文がみられる。小片および摩耗の著しいものが多い。台地上からの流れ込みが主であると思われる。口縁には、肥厚するものや円頭状を示すもの、外反するものなどのバラエティーがみられる。

第3類 稲荷台式期（第20・21図91～156，図版9）

無文のものから、撚糸文のものなどが基本的な施文である。早期の中ではこの時期の土器がほとんどである。台地平坦面からの流れ込みが主となるため、器面の荒れが目立つ。口唇部においては、外反し無文とするもの（91・92）、円頭状になるもの（93～95）、やや外削状になるものなどがみられる。基本的には、縦位に施される撚糸文が主となる。104～112は、口縁部下に無文帯を設け、口縁部が外反し、肩部から施文を施すもの、あるいは口縁直下から施すものなどがみられる。108は縄文の押圧による格子文を表したのか。109は傷状に見えるが、沈線が施されている。115は縦に4条の縦位の撚糸により施文される。無文部は丁寧に仕上げられている。内面には赤彩痕が残る。

第4類 花輪台式期（第21・22図157～193・第22図194～227，図版9）

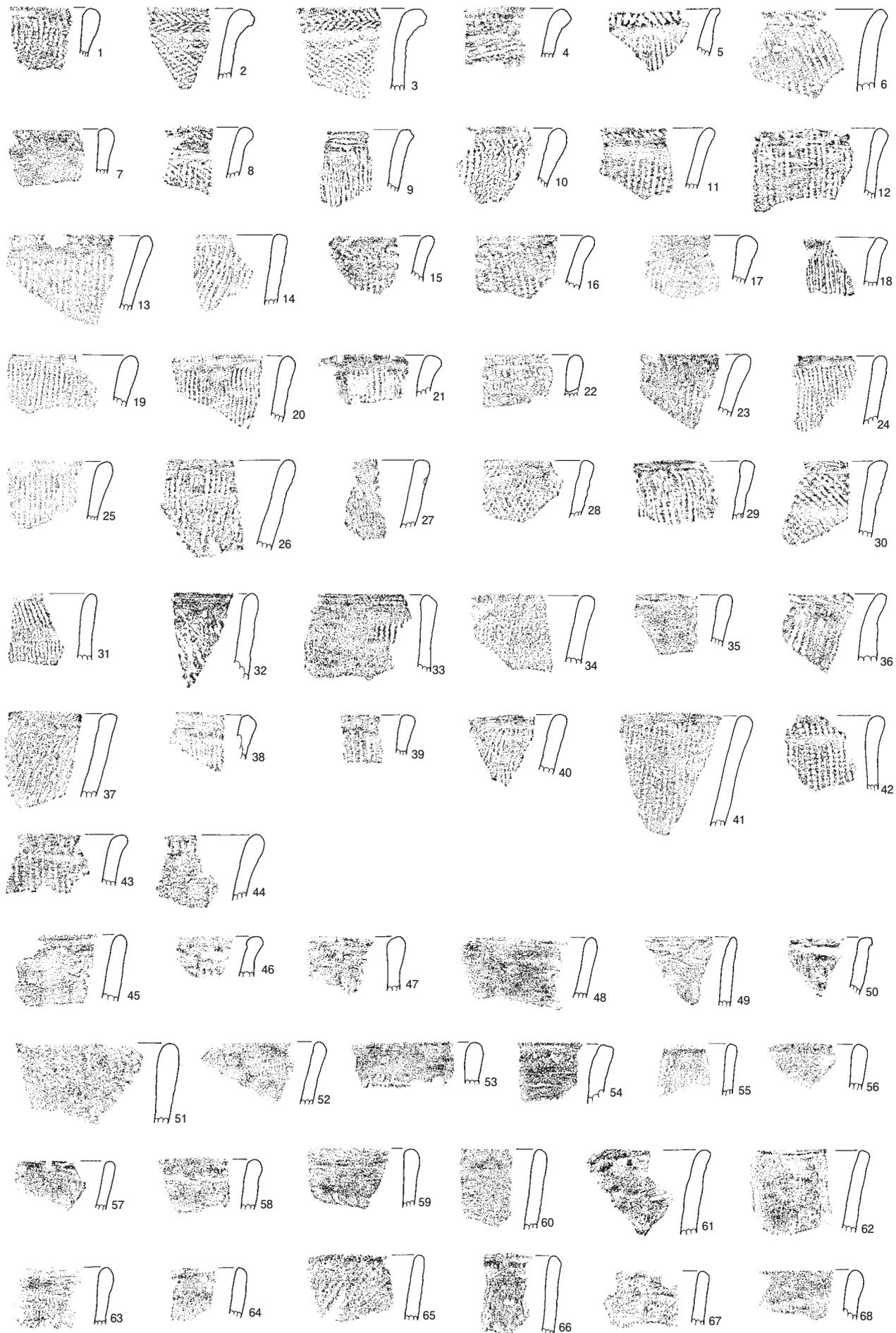
全体に器面の荒れが目立つ。157～172は口縁下に沈線をもって区画が施される。160などはかなり切り立った感じの残る口縁部となるが、167・169などは丸みが強い。基本的には撚糸文と縄文が胴部施文の中心となる。158は撚糸の押圧により文様が施される。172は縄文と撚糸文の組み合わせで、花輪台式でも前半期のものか。178からは沈線での区画ではなく、縄文を横位に施文して口縁部区画を施すグループとなる。208・209は撚糸の押圧によりキャタピラ状に文様を作り出す装飾性の高いものである。逆に210は棒状工具により、粗い縄文を施したかのように文様を施す。

第5類 三戸式期（第22図228～242，図版10）

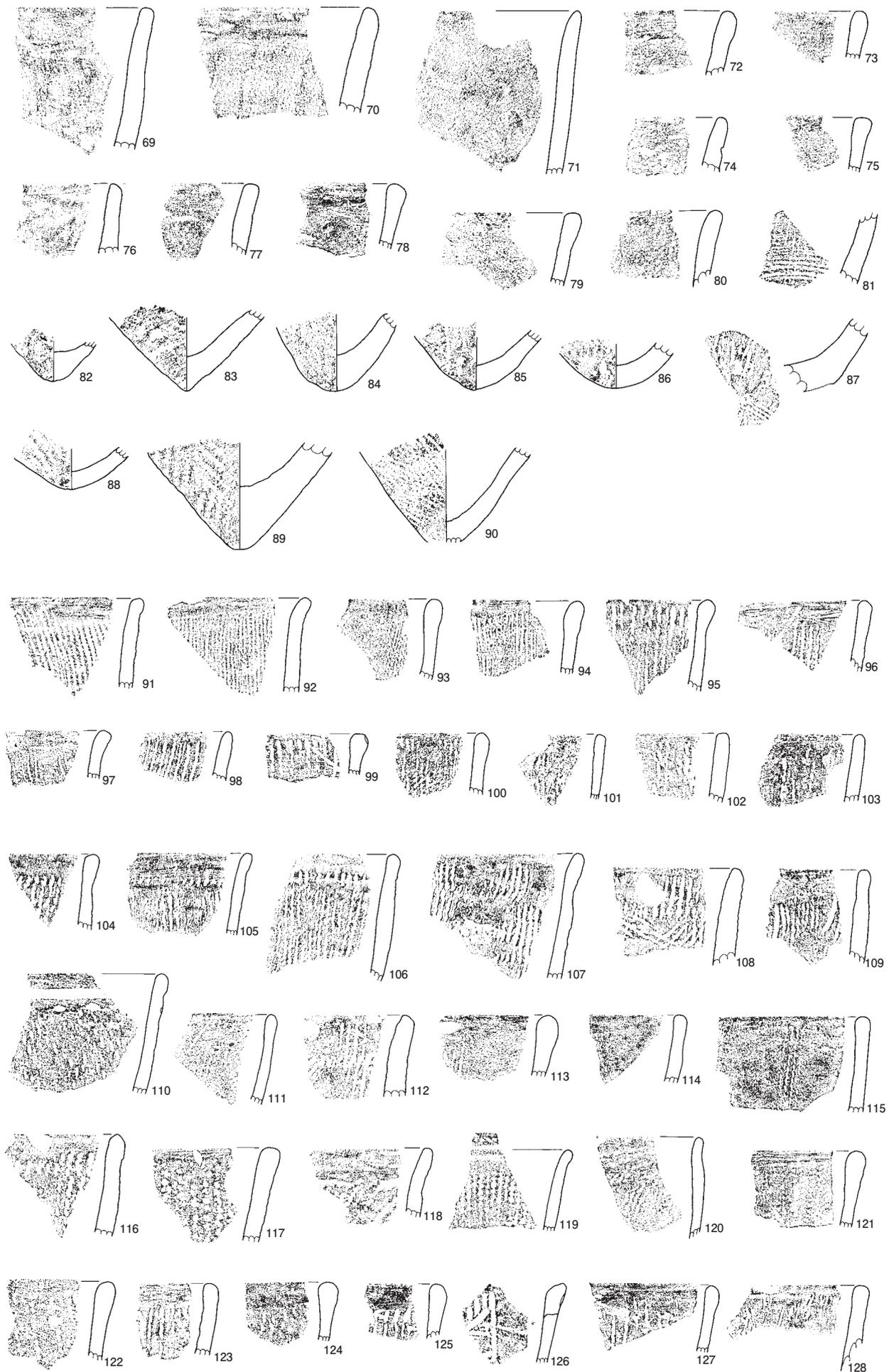
228は口唇が円頭気味で、外反部がそぎ落状の無文であり、花輪台式期に近いものかもしれない。229は横位の条線が施される。230・236は刻目文を口縁直下に配し、以下沈線文が施文される。230は口縁上にも刻みが施されている。235は爪形となるが、胴部は沈線文となる。231は口縁がやや外削ぎ気味となる。口縁下は無文となり、5条の沈線を施した後、斜位の沈線が配せられる。232は口縁直下に2条の沈線と縦の沈線で区画した後、その下位を格子目状の沈線で区画し、数段にわたって文様が繰り返されるものになるとと思われる。238以降は沈線による施文が行われている。

第6類 田戸下層式期（第22図243～256，図版10）

この時期の典型的な太沈線により施文される。この時期も流れ込みであり、表面の摩耗が目立つ。本来は焼成や成型も丁寧にやられていたものとうかがえる。

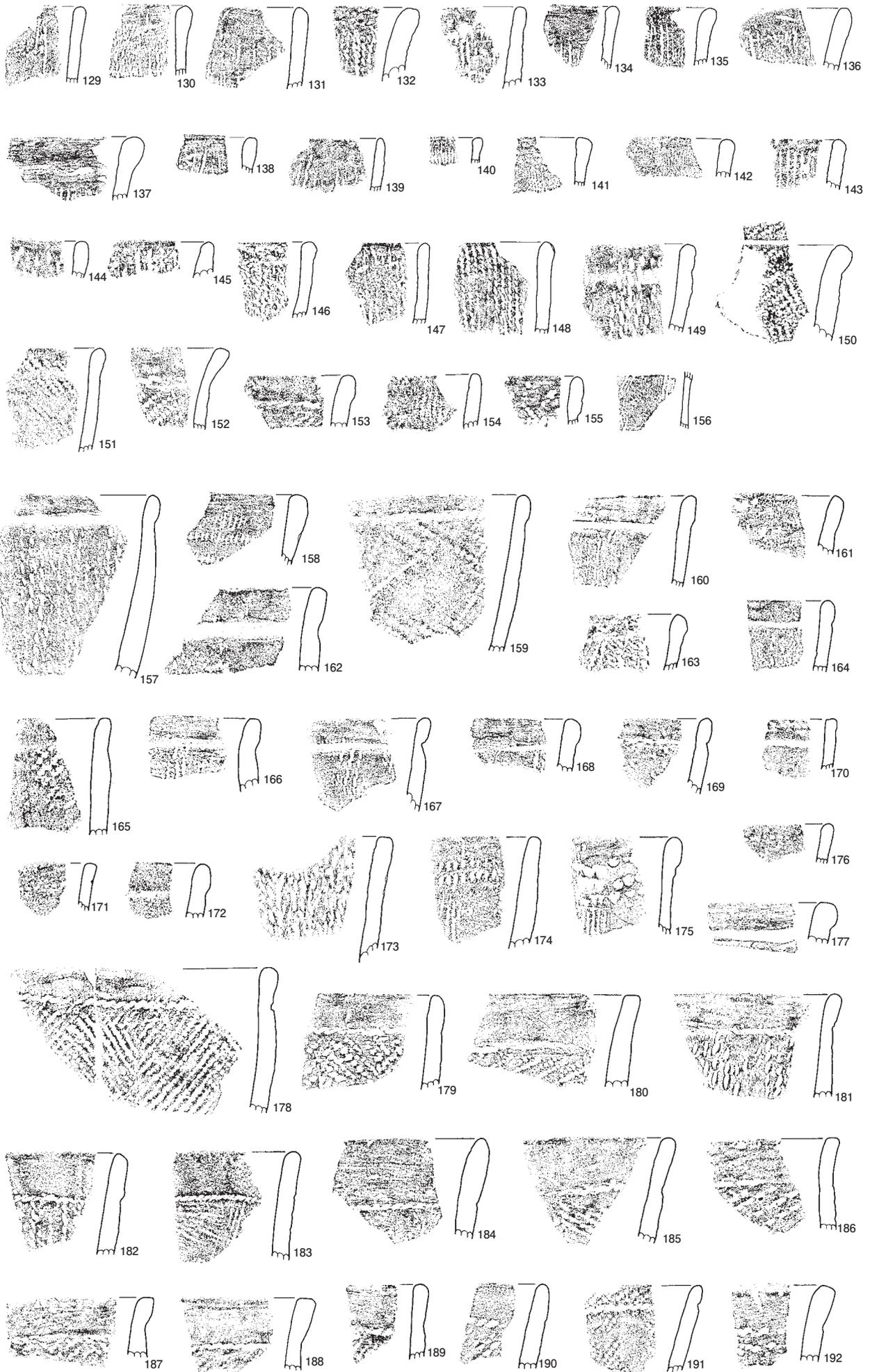


第19図 縄文土器 (1)



第20図 縄文土器(2)

0 (1/3) 10cm



第 21 図 縄文土器 (3)



第22図 縄文土器(4)

0 (1/3) 10cm

第7類 野島式期・鶴ヶ島台式期（第23図257～284・第23・24図285～324，図版10・11）

257は口縁部直下胴部片である。細隆帯と棒状工具による沈線、丸棒状工具による刺突による施文がされる。内面は縦位の条痕が施された後、条痕を磨消している。258は口縁が尖頭状になる。縦位の沈線に横位の隆帯、隆帯上には刺突文が施され、下に向かい斜位の沈線がみえる。259はかなり薄手の土器であり、口縁は薄い角頭状で補修穴が残る。穴は表面よりの穿孔と思われる。内面の条痕は斜位で、繊維などは胎土中には見られない。幾何学文状の施文が施されている。260はやや波状口縁で口縁は円頭状に膨らむ。三角形をモチーフとしたかのような施文が施されていると思われる。摩耗が著しく、内面には条痕ははっきり残らない。施文されていない可能性もある。263は口唇がやや外反し、刻み目が施される。縦位と斜位の沈線の組み合わせで幾何学的な文様が施される。内面は横位の条痕が施される。内面には赤彩痕らしきものが残される。264は波状気味の口縁である。細隆帯により区画され、細沈線で区画内を充填する。内面は縦の条痕が施されている。265は胴部下位、尖底に近い部分である。斜位の沈線と蕨手状の区画とが組み込まれる。267からは沈線文である。主に272のように二等辺三角形に区画し、沈線で埋めるものが多い。276・278は縦位に条線が施され、276や280は円形刺突が見られ、鶴ヶ島台式期に近いと思われる。270・274・276・277・278には赤彩が施されており、赤彩された土器の比率が高く感じられる。285からは鶴ヶ島台式期の一群である。285～299までは口縁部である。器種は深鉢で、肩部に弱い張りをもつ深鉢である。ともに口唇部に刻みを持つ。口縁下には1条の沈線を施し、以下に三角区画が設けられ、また沈線が施される。290は丁寧な作りで、内面も仕上げられている。口縁部の刻みは、細い棒状工具（櫛状のもの）を横に押しつけて施している。293はゆるやかな波状口縁で、頂部には2連の粘土を貼り付けている。右側は頂部の片側のみが残るが、本体からの抓み延ばし、左側は粘土の塊を押しつけている。胴部の沈線はかなり雑で、半截竹管状の工具による施文であろうか。

300以降は胴部上半である。2条の縦または格子状の沈線で区画を施し、その間を沈線により埋めている。307・308のように沈線の交点などに竹管による円形文を施すものが見受けられる。316以降は沈線も雑に施され、地文の条痕が主となるものもある。323・324は棒状の工具を押しつけて施文している。

第8類 茅山式期（第24図325～340・第25図341～379・第26図380～396，図版11・12）

条痕文を主要文様とするものである。器形は深鉢で、胎土中に繊維が含まれる。325の口縁部はやや外反する。横位の条痕が施される。328は横位の条痕が粗く施されるとともに、やや大きめの刺突具による列点が加えられている。口縁はやや外反し、角頭状の頂部には刻みが施される。331～333・336～340の胴部には粗い列点が施されている。326・327の口縁には刻みが施される。332・333は波状気味の口縁となり、突起状のものが作り出されている。

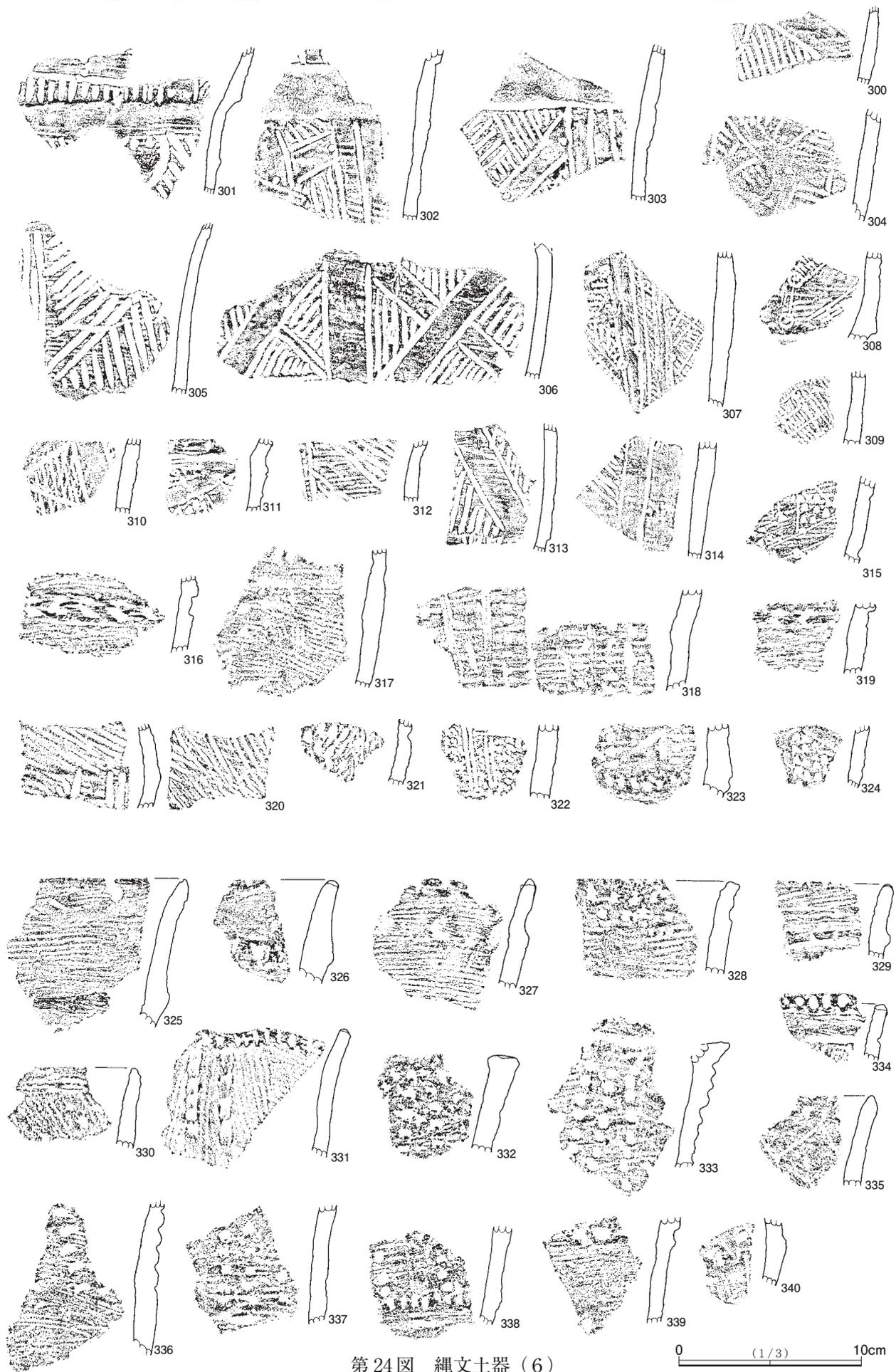
341からは茅山上層式期と思われる。口縁部直下は横位の条痕、胴部に向けて縦位および斜位の条痕を施している。344は外反する口縁で、円頭状となる。口唇部には浅い刻みがみられる。345は施文が浅いため、口縁下に無文帯を設けたかのようにもみえる。346は粘土が生乾きのうちに指先で整形した痕跡が残る。口縁部はやや外反し、尖頭状になる。344の様に円頭状のもの、357・358のように外削ぎ状となり頂部に刻みを入れるものが目立つ。352・355には補修孔が施されている。363・364は列点のように見えるが、口唇部の刻みである。371は口縁が角頭状となり、櫛状の沈線で波状の文様を施す。内面は縦位の条痕が施される。赤彩の土器である。396は早期前半のものか。山形文を持つ口縁部片である。

380～390は尖底部である。391はやや丸底である。393～395は条痕文が施され平底である。395は

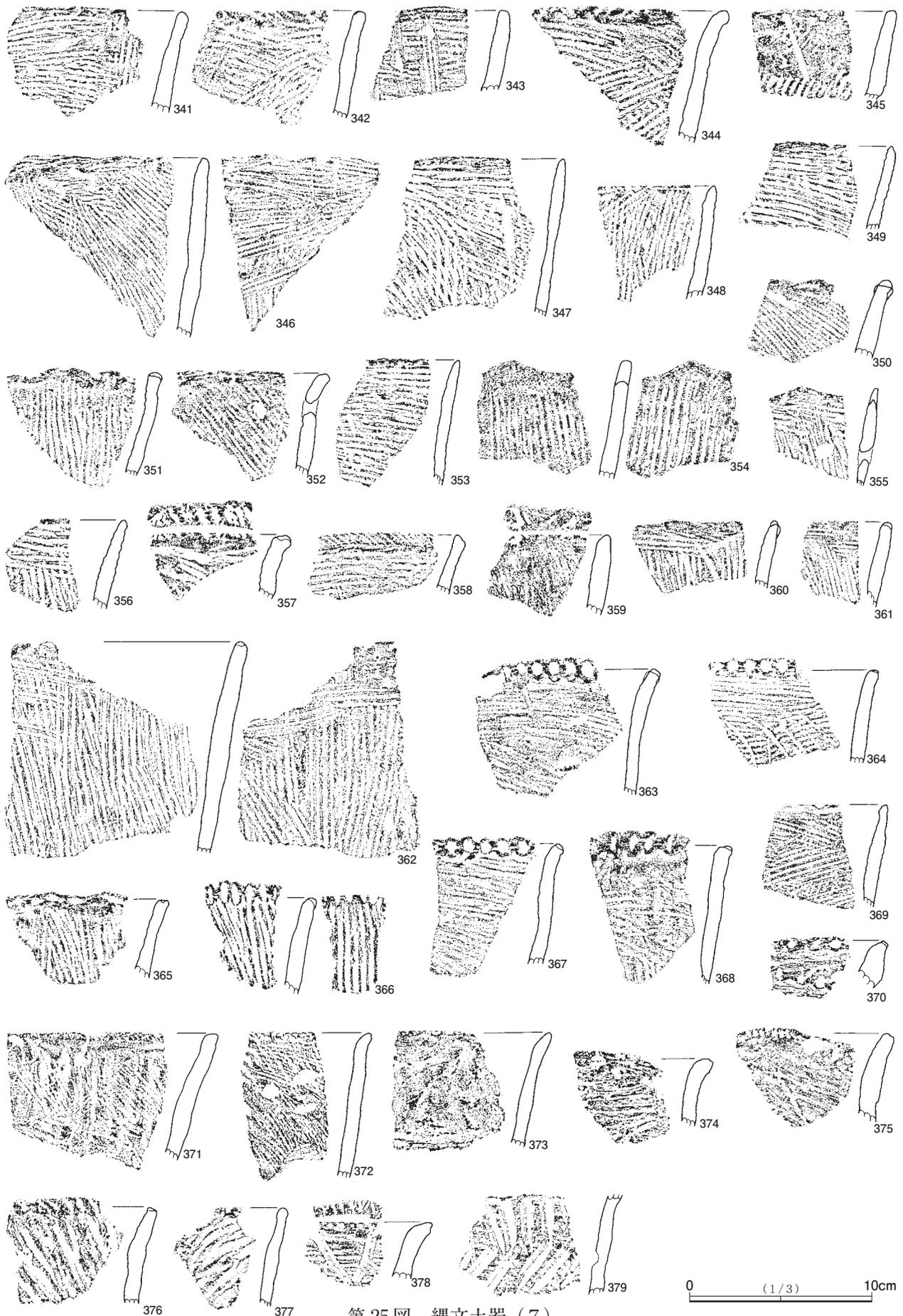


第 23 図 繩文土器 (5)

0 (1/3) 10cm



第24図 繩文土器 (6)



第 25 図 縄文土器 (7)

指頭の押圧による整形が粗く施され、凹凸が目立つものとなっている。

第9類 条痕文系・東海系土器群（第26・27図397～450・第27図451～463，図版13）

条痕文系土器のうち東海系土器の影響のもとに成立したと考えられる土器群を一括した。早期後半の茅山上層式に続く一群の土器で、主体は、東海地方の上ノ山式期から入海1式期の範疇に収まる土器群と思われる。また、関東地方では、この時期の遺跡が少なく、東海地方のような型式設定がなされていないが、いわゆる下沼部式とよばれる土器群に比定される一群と言えよう。

隆帯によって文様が構成される土器、405～407は、粕畑式から受け継ぐ山形波状口縁を持ち、頭頂部から刻み目を入れた短隆帯を放射状に施すことにより文様が構成される。

408～411・414・415・418・419・430・439・447・450・454～459は口縁部に刻み目を持つ隆帯で山型文を構成するもので、413・423・424・425・460のように刻み目の代わりに絡状帯圧痕文が施されるものがある。また403・412のように刻み目を持つ隆帯が渦巻き状になるものもある。これらは上ノ山式期に比定されよう。

また、397・398～402・442～444・448・449・451のように刻み目の持つ隆帯が口縁に数段横走するものや螺旋状に施される土器は、入海1式期に比定されると思われる。

それらと同じく、主に指頭による交互押捺や絡状帯圧痕文で文様が構成され、折り返し口縁や沈線・貝殻腹縁による格子状文や山形文などバラエティー豊かに文様が構成される土器群がみられる。416・417は口縁に指頭による交互押捺と絡状帯圧痕文が施されている。420～422・426～428は口縁以下間隔の詰まった絡状帯圧痕文で文様が構成される。426・427は折り返し口縁となる。また、431・440・446のように折り返し口縁または折り返し口縁様の口縁を持つが、刺突文を巡らして文様を構成するものもある。432～436は口縁に沈線による格子文と刺突文を巡らすことで文様が構成される。437は文様構成が、絡状帯圧痕文から貝殻腹縁文に置換されている。これらはいずれも入海I式期の範疇と考えられる。

2 第2群 縄文時代前期の土器群

第1類 関山式期（第28図1～26・第29図27～58，図版13・14）

羽状縄文系の土器群である。出土した縄文土器の中では少ない分量ではあるが、破片そのものは大きめのものが目立ち、摩耗などは少ない。この時期のものも、谷からの出土となり、一括での提示となる。器種はその大半が深鉢である。1・19は頸部から外反するほか、4・5のようにやや内湾するものもみられる。16・21～23は口縁部が波状を示す。破片での出土のため波状の単位は不明である。6・9・14・15は片口の鉢である。17～20はLR + RLの撚り合わせにより文様を構成する。その他も結節縄文による羽状縄文を幾何学的に組み合わせて文様を構成したり、縄文端をループ状にして施文するなどこの時期の高度な縄文施文構成がみられる。また、1・23～25などは口縁部に串状工具による曲線文を施すものや、第29図28以降にみられるように沈線文による幾何学文など装飾性に富んでいる。28は口唇部の刻み目を鮫の歯（7単位）に作り出している。32は片口となろうか。内面はよく磨かれている。外面は黒褐色で、内面には赤彩が施されているものと思われる。地文は縄文上に半截竹管を用いたかと考えられる浮き上がった文様で仕上がりの良さを示す。43・44は竹管状の工具で○またはC状に組み合わせている。57・58は地文に縄文を粗く施した後、刷毛状のもので円形の施文を施している。

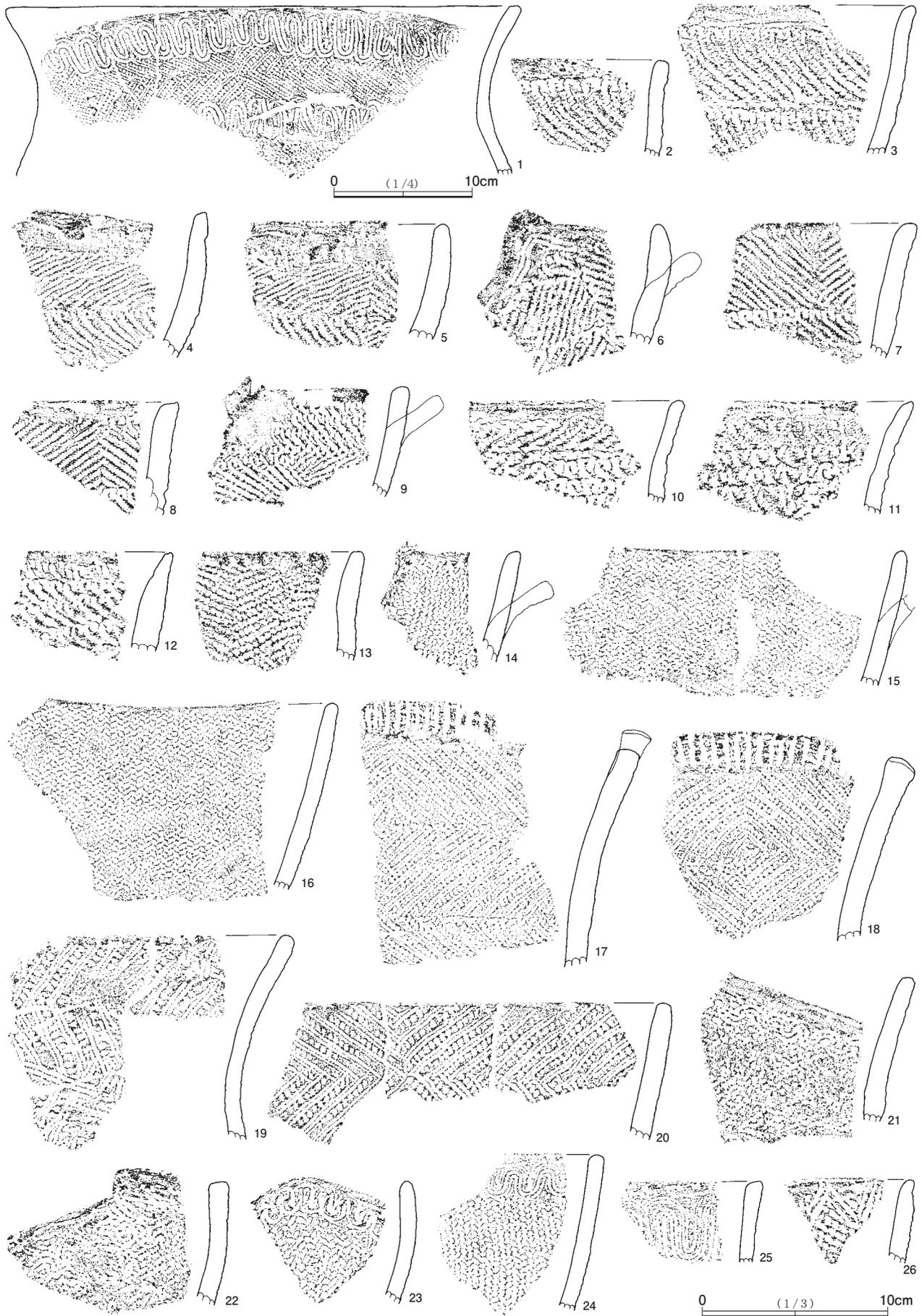


第26図 縄文土器 (8)

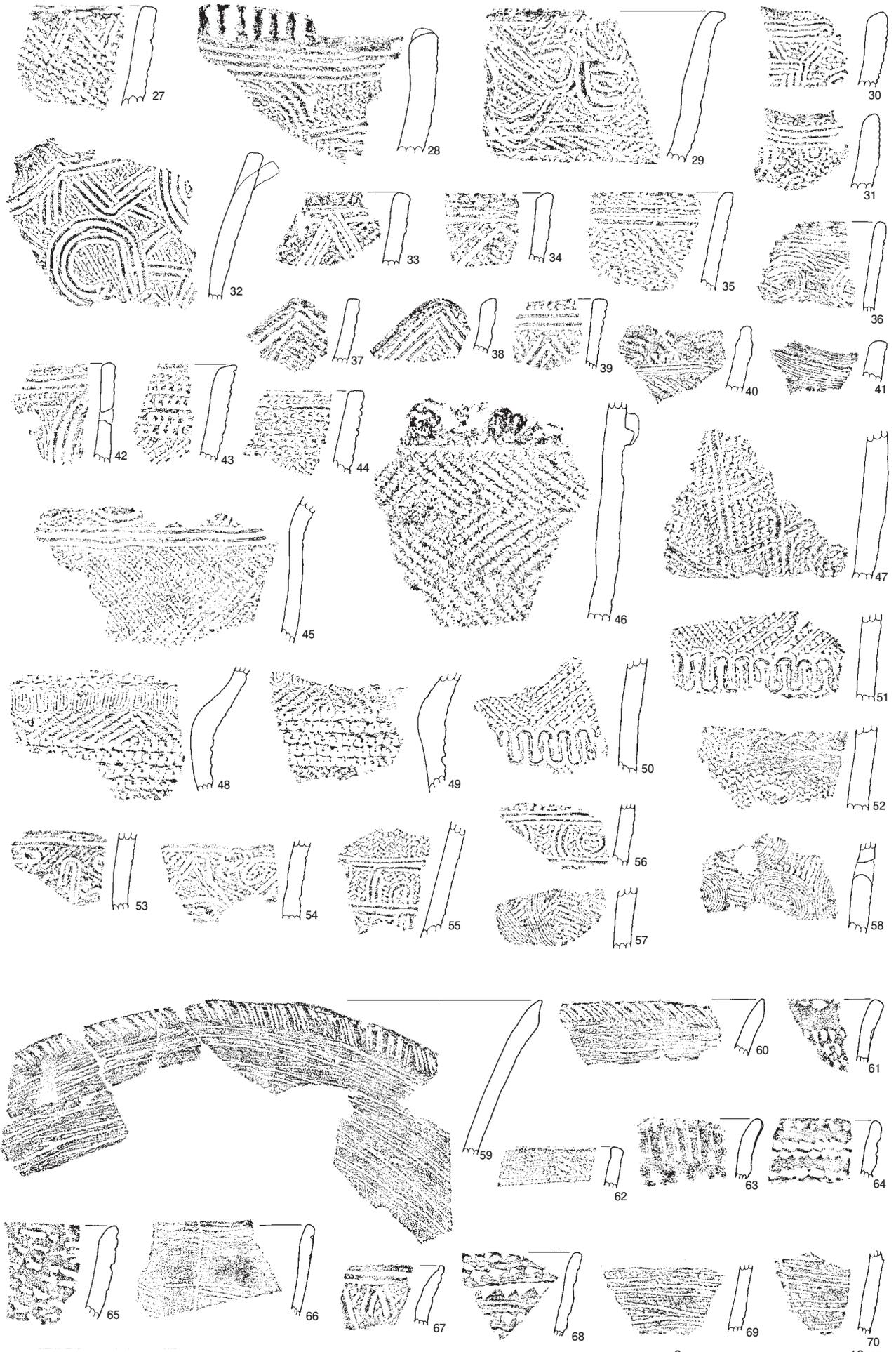
0 (1/3) 10cm



第27図 縄文土器 (9)



第28図 繩文土器 (10)



第 29 図 縄文土器 (11)

0 (1/3) 10cm

第2類 浮島式期 (第29・30図59～80, 図版14・15)

出土量は少ない。59・60は口唇をかなり細く削り出し、口縁部は折り返して段を設け、ヘラ先で沈線による施文が施される。61・63～68・76～80はこの時期の特徴的な棒状工具による押し引きの施文あるいは68のような三角棒状工具による刺突が特徴的である。78は薄手の小型の深鉢であるが、胴部の開きなどキャリパー系に類似する。

3 第3群 縄文時代中期の土器群 (第30図1～23, 図版15)

この時期の土器の出土は少ない。一括して記載する。1～3はいわゆる阿玉台式期。4～23は加曽利E式期のものである。13・17～21にみられる沈線間を列点で充填するものが目立つ。加曽利E2式期か。

4 第4群 縄文時代後期の土器群

第1類 後期前半

堀之内式期 (第31図1～第33図82, 図版15～18)

1は頸部にくびれをもち、横位の沈線で区画し、胴部に蕨手文の文様を施している。正面突起は1単位と思われる。同類のものとしては、太沈線で施文される9～26や第32図43・51・54等がみられる。2は口縁が平縁で、貼り付けの突起が現状で4単位みられる。本個体は全体で6単位想定される。口縁の突起より沈線が下り、この沈線に円形の集合沈線が加えられる。図示した正面のみが3条の沈線で構成されているが、他の突起につながる沈線は4条となっている。地文には細かい縄文が施されている。胴部にも菊紐状の貼り付けがみられる。文様が集合沈線化したものでも、4条を基準として施されるものは36・42・45、50は線としては8線であるが複線を1条と考えると4条となる。50は地文に縄文をしっかりと施し、沈線を施文している。本遺跡におけるこのタイプの基準は4条であろうか。第32図36・45は縄文を施さず3条である。第33図61・75は地文に縄文を施し3条である。

3は、前期の撚りを戻したような粗い縄文が施された粗製の深鉢である。正面には掴みだしたような突起がみられる。内面の口縁直下に横位の沈線が施される。4は無文の深鉢底部。縦の細いヘラ削りで整形されている。5は無文の鉢である。口縁は大きく開く。丁寧に仕上げられ黒色処理されたかのような黒褐色である。11は大きく胴部が張り出す鉢である。上部に蕨手状の施文がなされ、下半は無文となるか。第31図26～28・第33図60・61は文様が太沈線から細密沈線化したものである。緩く口縁が外反する深鉢である。堀之内I式期の中でも後半に位置する類と考えられる。

堀之内II式期 (第34図83～第36図141, 図版16・18・19)

第34～36図は堀之内II式期になるか。第34図83・87は口縁直下に刻みを加えた細紐の貼り付けが施され、以下は磨消し縄文で装飾された平行沈線により区画され、三角文を意匠とする施文が胴部に施される。83は緩やかな波状口縁となり、87は平縁である。ともに横位粘土紐貼り付け部に突起状に作られた部位を意識したかのように横走る平行沈線が、この部分で避けるかのように下がっている。87においては三角文の合流部が緩く渦巻き状に巻かれている。84は頸部がやや長めで、緩やかに口縁が広がる大型の深鉢である。口縁直下に1条の沈線を設け、粘土紐による貼り付けの隆帯が4条1単位で施される。肩部は横位2条の沈線で区切られる。胴部には貼り付けの隆帯から2条の半円の沈線、そして蛸足状に2条一組になった沈線が施される。胴部の隆帯以外は、横位の沈線から2条一組で全体に縦位の沈線が施さ



第 30 図 繩文土器 (12)

れている。86は、三角文を磨消し縄文で施し、胴下半を無文とする。88は椀になろうか。平面形は四角形を示す。二重の円(◎)が3段に施されている。内面はかなり円形に仕上げられており、丁寧に磨き上げられている。

89は波状口縁で3単位である。口縁下には細粘土紐による刻みを施した隆帯が巡り、波頂部に向かい同じく刻みのある貼り付けが行われる。波頂部および口縁下の巡る紐部との交点には、棒状の工具による小孔が施される。胴部は縄文のみ施される。底部にはアンペラ状の織物痕がわずかに残る。90も89と同じサイズの小型の深鉢である。緩やかな波状口縁を示し、現状での突起は1単位と思われる。口縁下には刻みを施した2条の細粘土紐が巡る。この紐が緩やかに上がる部分が残されるので、口縁は緩やかな3単位の波状口縁になる可能性がある。106～123は集合沈線による施文である。縦位の線を中心にかなり奔放な沈線の組み合わせがみられる。110・114は斜位の沈線の組み合わせである。118～124のように曲線を奔放に組み合わせるものなどもみられる。126～141は磨消し縄文による三角文を主とするものである。

第2類 後期中葉(加曾利B式期)(第37図142～第52図358, 図版16・19・20～26)

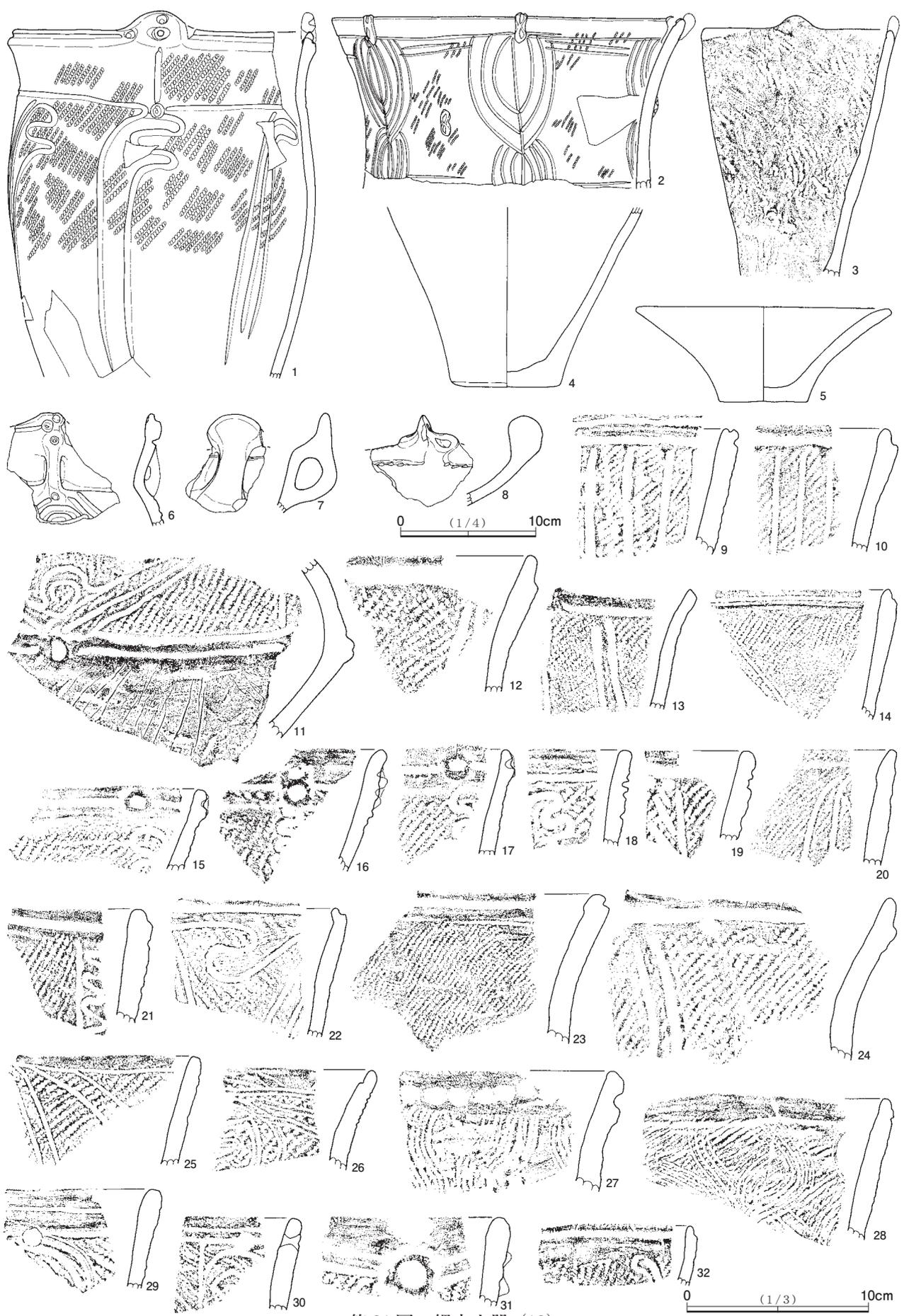
第37・38図に加曾利B I式期を取りまとめた。

142はこの時期の典型的な深鉢である。大きく外反する3単位の波状口縁を作りだしている。口縁直下に無文帯を設け、以下を5条の沈線間に縄文を充填した4段の帯状帯とする。以下は縦位の丁寧なヘラ削りにより無文化されている。図示した部位を正面とするならば、帯縄文帯をつなぐように鎖状沈線で6単位の区切られる。底面も調整されているが、わずかに網代痕が確認できた。143もこの時期の典型的な半精製とも言うべき深鉢である。3単位の波状口縁で6条の沈線で5段の帯状帯を設ける。地文の縄文は施されていない。各帯をつなぐかのような鎖状沈線は、図示した部位を正面として、おおむね均等に4単位施されている。

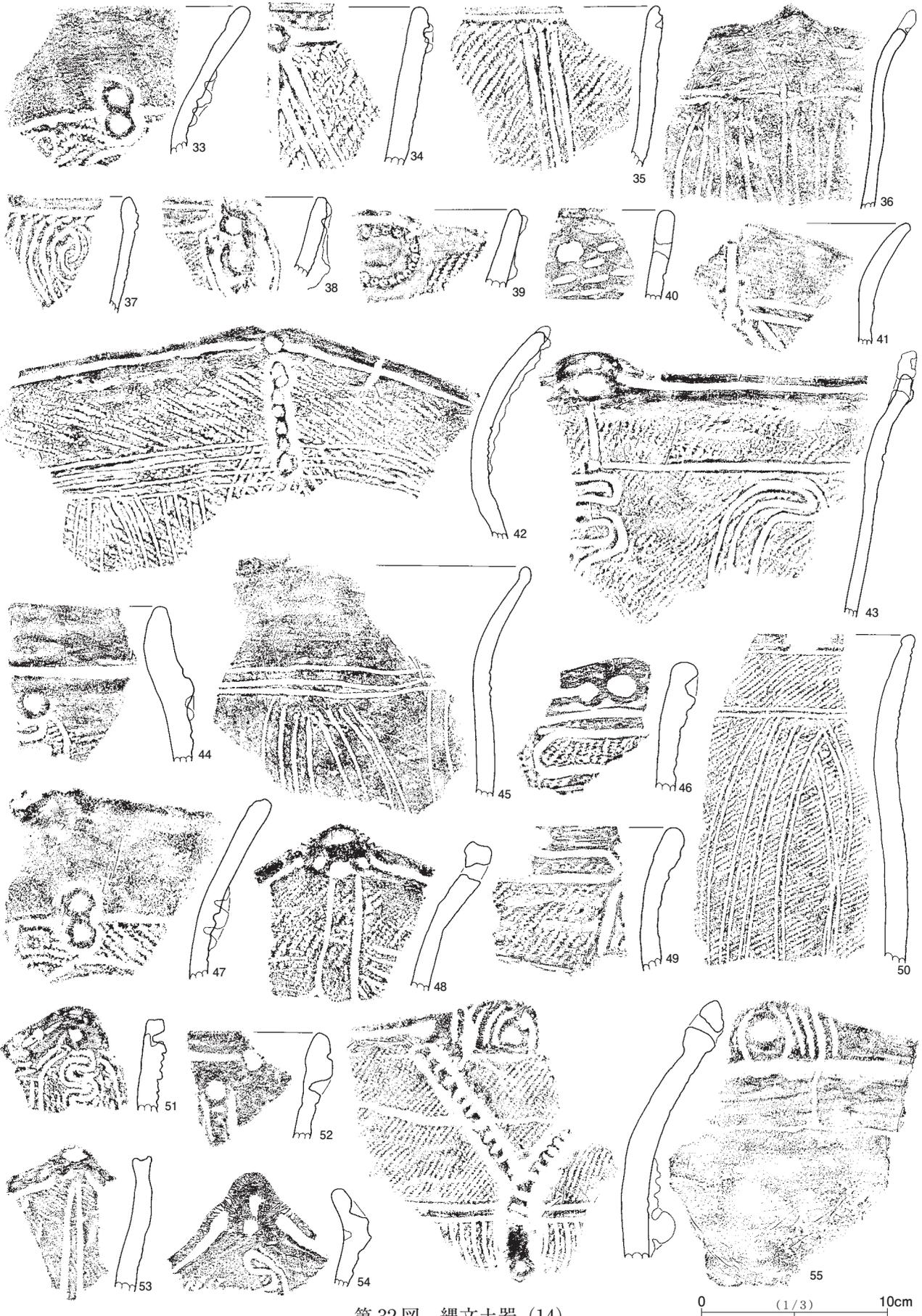
144は、上下の磨消し部を挟んで帯縄文帯が2段に施されている。かなり大型の深鉢となる。中段の磨消しはきわめて雑である。145～148は口縁が平縁のもので、口縁下～頸部の無文帯を設けず縄文を施文する。146は1段の無文帯を設けている。横位沈線は鎖状沈線で区切られる。149は縄文のみ施文されたものである。150は肩部が張り、口縁が内傾する。口縁下には、5条の沈線による4段の帯縄文帯が巡る。胴部は縄文のみ施文される。151は口縁部が波状をなし、頸部で屈曲し胴下半がすぼむ。口縁には棒状工具による刻みが施され、頸部の紐線様の横位線にも刻みを付ける。胴部には帯縄文帯が5条～6条巡る。器面が摩耗しており、単位を確定しきれなかった。

152は粗製の深鉢である。口縁には紐線が巡り、刻みが施される。地文の縄文は粗く雑に施される。153は大型の鉢で、口縁は波状を示すが遺存部から見て4単位になろうか。胴部の帯縄文帯は4段である。口縁下の縄文は浅く施される。胎土中に石英粒などを多く含み、内面の仕上げは丁寧に施される。

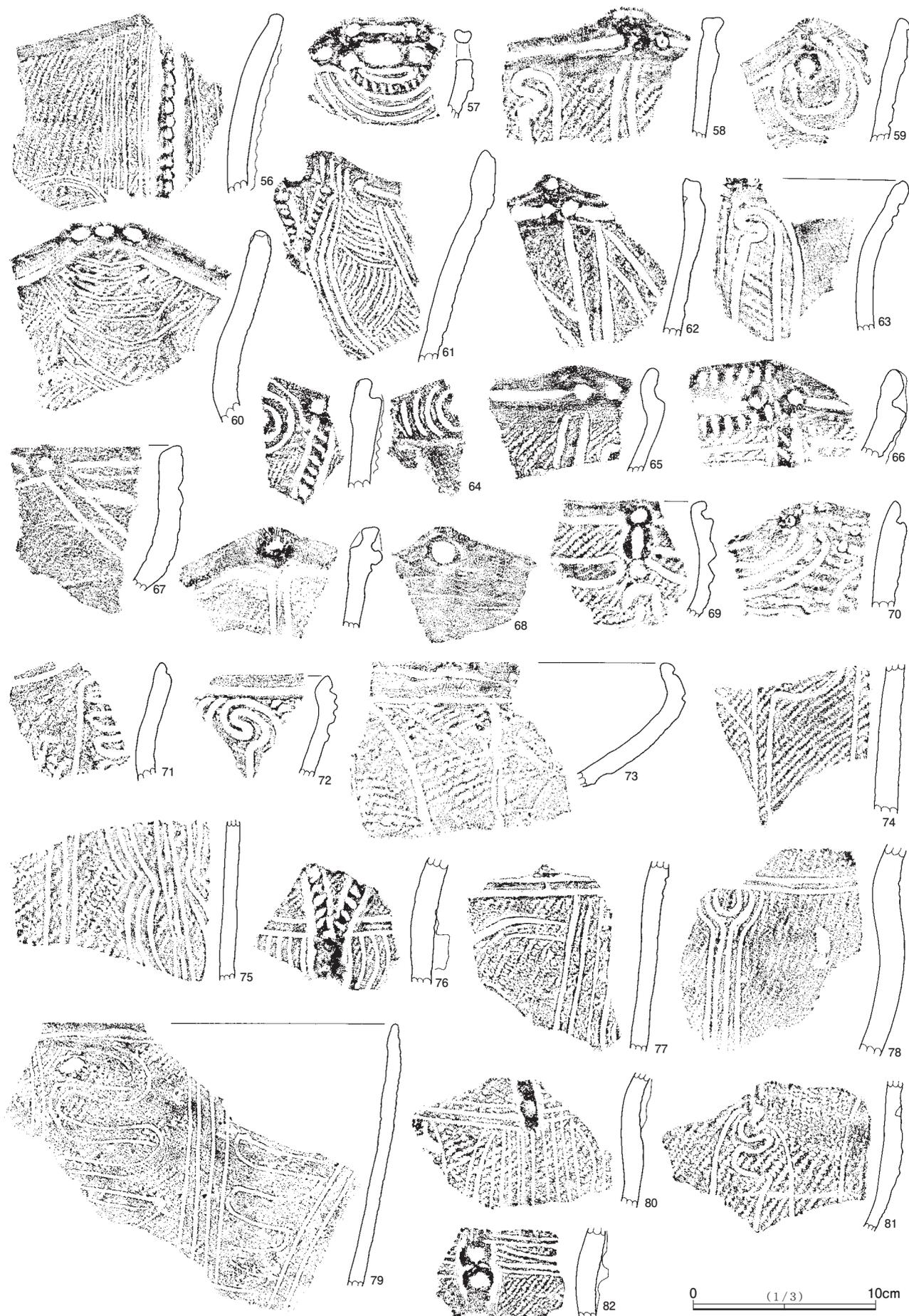
154はほぼ完形の小型の鉢である。肩部から口縁にかけて内湾する。胴部帯縄文帯は1段で、鎖状沈線による区画は6単位である。155は同じく小型の鉢であるが、口縁は外反する。細い帯縄文帯が2段、区画は6単位と思われる。胴部以下の地文の縄文は浅く施文される。内面の仕上げは丁寧だが、外面はいささか雑な感がある。156も小型の鉢である。帯縄文帯は1段、区画はみられない。口縁部突起は4単位か。158は台付きの鉢になるか。159・160は深鉢である。157はほぼ完形の船形鉢である。両端を舳先様につまみ出している。ヘラ整形痕はあるが特に文様等は施されない。検出されたグリッド、共伴遺物などから加曾利B I式期と想定した。



第 31 図 繩文土器 (13)



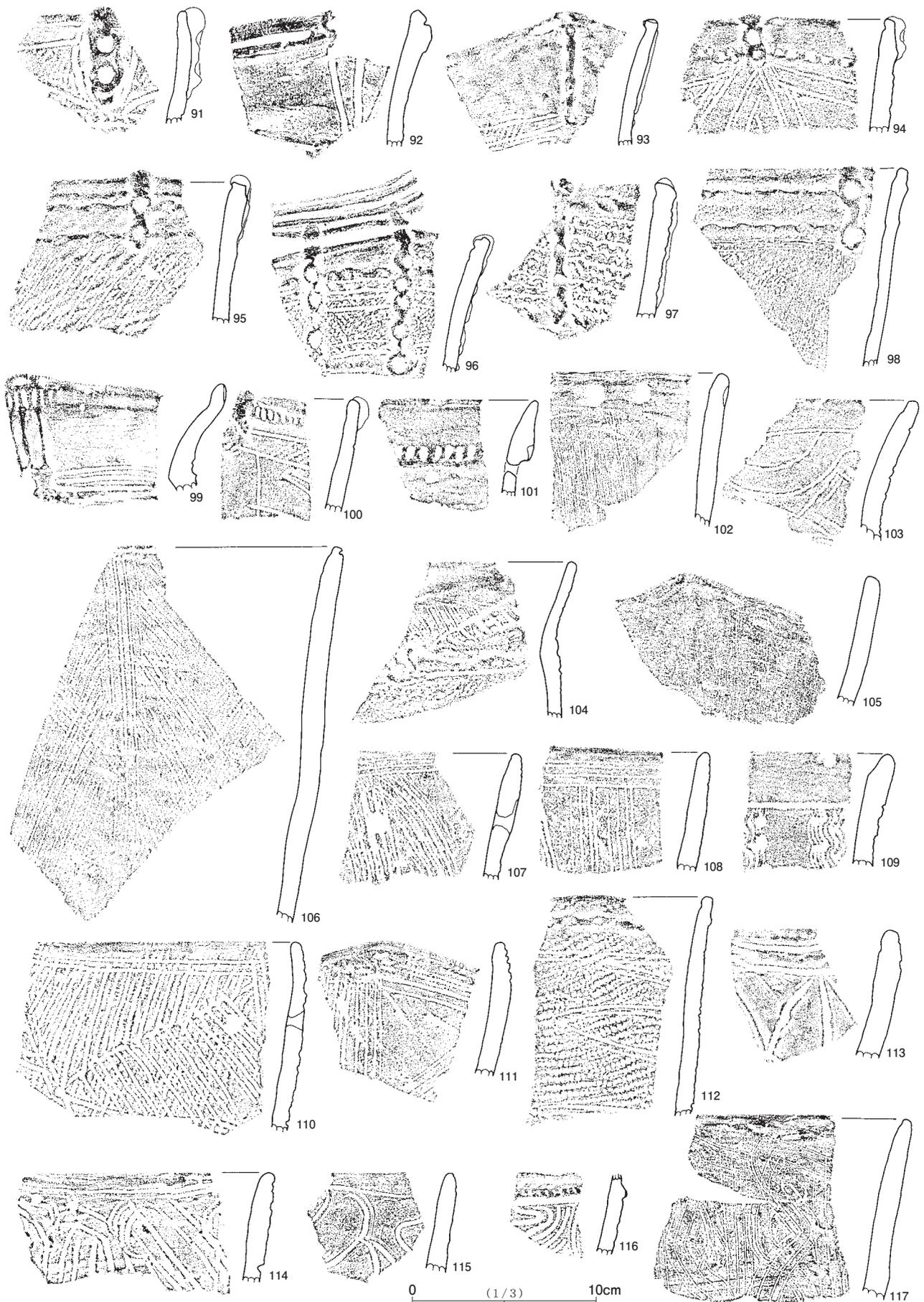
第 32 図 縄文土器 (14)



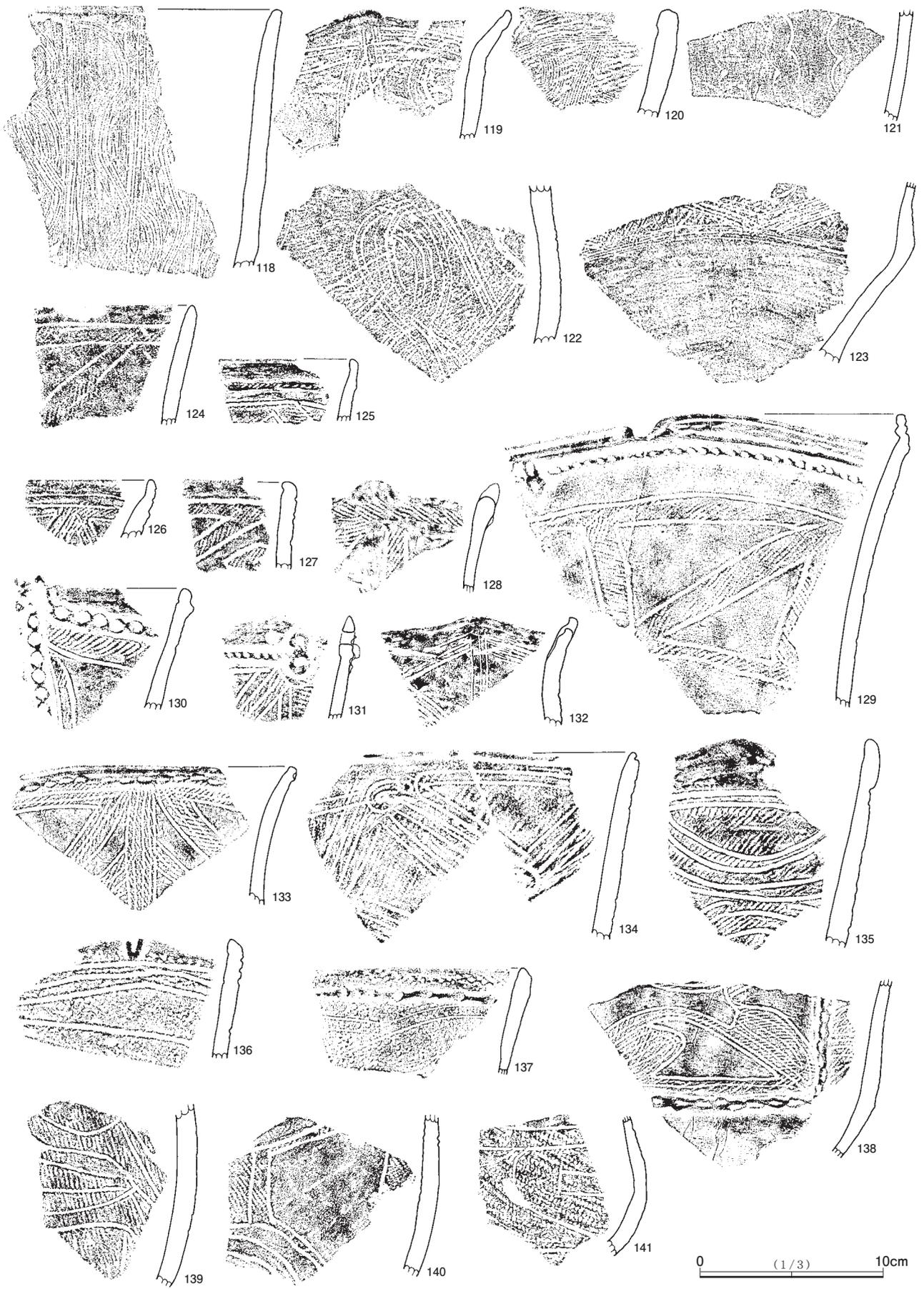
第33図 縄文土器 (15)



第34図 縄文土器 (16)



第35図 縄文土器 (17)



第 36 図 縄文土器 (18)

第 38～41 図は加曾利 B II 式期である。161 は正面に 1 単位の突起を有する平縁の鉢になろうか。口縁下には対弧文が施される。162 は小型の深鉢である。外面口唇直下に棒状工具による刺突が行われ、そのまま縦位に沈線を引いている。頸部から肩部にかけて無文帯を設け、同じように刺突から沈線を作り出している。波状口縁は 5 単位が想定される。163 は 5 単位の波状口縁を持ち、波状間には小突起を作る。この深鉢は加曾利 B III 式期に近いものか。164 は頸部まで無文とし、胴最大径肩部に施文している。

165 は対弧文を施し、胴下半を無文とする。加曾利 B II 式期によく見られるタイプである。166 は粗い縄文を施している。腰高な深鉢で、口縁は開く。189 は口縁下に横位の縄文帯を 1 条設けた後、綾杉文帯を胴部に 1 周させている。胴下半は沈線で区切った後縄文を施す。190 は小型の鉢で、口縁に横位沈線を施し、頸部に 1 条の刺突文、胴部には縄文を施す。191 は口唇部をなで上げ、胴部には粗い縄文を施している。内面の仕上げは丁寧である。

第 39・40 図 167～197 は浅鉢である。167 は地文に細かい縄文を施し、磨消し縄文を多用した文様を作り出す。三角文や葉っぱ様文などが配置される。加曾利 B II 式期の古手かと思われるが、堀之内 2 式期にさかのぼるかもしれない。168 は正面に小突起を設け、波状口縁は 3 単位と思われる。口縁下を 2 条の沈線で区切り、中に棒状工具による刺突列が施される。胴部以下は、弧状に区切られた磨消し縄文が施される。169 は大型の鉢で、口縁から肩部は磨き上げられている。168 と同様、肩部に 2 条の沈線間に刺突列が施される。胴部には縄文の施された横位帯条文が 2 段施されている。火を受けた明瞭な痕跡が底部に残されている。170 は平縁で、169 に準じた横位縄文帯が 2 段みられる。171 は口縁が大きく外反し、肩部を 2 条の沈線で区切り、胴部には弧状の区画に縄文を充填する。172 は方形に近い鉢である。波状口縁は 5 単位で、胴部はほぼ垂直に立つ。口縁から頸部を無文帯とし、胴部には斜線文が施される。173 は口縁がやや内湾する。横位の沈線を口縁から頸部にかけて施し、以下は無文とする。174 は 3 単位の波状口縁が大きく張り上がる。胴部には斜線文が施される。175 は浅い椀状で、正面の貼り付け突起は 1 単位のみである。横位沈線と刺突が施される。176 は 5 単位の波状口縁である。胴部上段が弧状沈線文で区画された縄文帯、下段が横位縄文帯である。177～181 は平縁で、斜線文を施すものである。刺突を施す位置が胴部最大径部にあるもの（177・178）、口縁に刻みを施し無文帯を設けるもの（第 39 図 179・181、第 40 図 194）がある。179 は底部にも刻みを施しているが、沈線の施文は雑である。180 は正面に突起を設けている。182・183 は沈線が浅く、183 は口縁の刻みも粗い。184 は黒色処理をした可能性がある。底部にアンペラ痕がはっきり残っている。

185～188 は無文の大型の鉢である。185・186 は口縁が内湾気味に立ち上がり、口唇内面に刻みを施している。187 は緩やかな波状口縁で、5 単位が想定できる。肩に稜線を設けやや外反する。皿状になるか。188 は細かい波状を設けている。現存する部位で 7 単位を数える。全体の 1/3 の遺存であることから、20 単位前後の波状となろうか。口縁下頸部に稜を作り出し、口縁がやや内湾気味に立ち上がっている。192 は小型のもので、手捏ね感があり厚手である。内外面とも丁寧に磨き上げている。193 は小型の鉢で、4 条の沈線で口縁部文様を作る。口唇部のみに縄文が施されている。内外面・底部とも丁寧に磨き上げられている。195 は丸底に近い椀状で、口唇下に 2 条の横位沈線、その下には縦沈線による文様帯が設けられ、無文帯、斜線文と 4～5 段に文様帯が設けられている。196 はそれに比べ粗雑な作りで、口唇部には雑な刻みが施される。口縁下と胴部下位にそれぞれ 1 条の沈線が施される。197 は 4 単位の波状口縁を持つ鉢である。外面は底部を含めて直径 9 cm の円形であるが、胴部中央より波状部が大きく外反し、平面形は四

角形となる。外面は底部を含めて縄文が施され、口縁内面に2条の沈線が巡り、波頂部内面には半弧の組み合わせによる縦位鎖状文が施される。内面は磨きも含めて丁寧な作りである。198・199は精製の船形の鉢である。198は完形で、時計回りに平行沈線と斜状沈線との組み合わせにより、左右対称に施文される。内外面とも黒色処理されたか。内面の仕上げは丁寧である。底部内面は何かを叩いたか磨りつぶしたかのよう器面が荒れている。199は底面を欠くがほぼ完形である。内面は丁寧に磨きあげられるが、外面は雑な仕上げである。斜状沈線で器面を飾るが、3条を1単位として施す部分と、2条らしき部位もあり定かではない。両端部分を多少つまみ上げている。

第41図200～223は台付鉢である。200は口縁が平縁で、口唇下に斜行沈線による横位施文帯を1段設け、無文帯を挟んで、台の付くあたりに再度横位沈線で区画された斜行沈線文が1段入る。201は5単位の波状口縁である。波状部から胴部上半を無文とし、以下5条の沈線で区画した細い4段の横位縄文帯を設ける。台部は失われている。202・205は平縁で、口縁から文様帯1段目は横位沈線、2段目無文帯、肩部の稜線に刻みを施す。胴部は半弧による沈線により器面を埋める。206は横位沈線ではなく斜行沈線が施される。

203は202に類似するタイプで、1段目文様帯は縄文が施されている。204はラッパ状に口縁が広がる。207はやや大型の台付鉢で、口縁を無文とし、肩部には刻みが入る。胴部には太くはっきりとした斜行沈線による施文が施される。209は口唇部を欠く。口縁は無文で、肩部に刻みを施す。胴部は斜行沈線による格子状の文様が施文され、台上部は無文、中位下には斜行沈線による格子状文を施す。無文部はよく磨かれている。211・214は、胴下半に斜行沈線を羽状に施している。214・215の口縁は緩やかな波状を示すとともに、4または5単位と推定する。213は4単位の波状となろうか。208は基台部のみである。横位沈線により施文される。216～223は基台部である。無文のものや台下端部に刻みを施すもの、横位の沈線を胴部の施文に引き続くように施すものなどがみられる。210は磨消し縄文による入組文で施文される。口縁は基本的に平縁であるが、4単位と思われる弱い波状部がみられる。これは加曽利BⅢ式期に分けるのがふさわしい可能性もある。

第42図～第52図までは、加曽利BⅢ式期と想定されるものをまとめてみた。

第42図・第43図は主に精製と考えられる深鉢類で、波状口縁が多くみられ、波状部は4～5単位が多くみられる。第44図～第49図は粗製の深鉢であるが、平縁のものがほとんどとなる。

224は波状口縁直下に刻みを設け、磨消し縄文、無文帯、横位沈線あるいは細隆帯貼付後刻みを施し、磨消し縄文により入り組み文を施すという類型化したものである。228は224と同じ意匠であるが、磨消しは雑である。236はいわゆる瓢型となるか。

第44図237からは粗製の深鉢である。237・242～244は頸部無文帯を設定後に口縁部および胴部に格子状沈線文を施している。246～252・254も同様であるが、246・247・252の頸部には横位沈線が施されず、無文化している。253ははっきりとしない横位沈線が1条肩部付近にあるものの、斜状沈線文と重複しており、明確な区画としての沈線ではないようである。249・254・255～258は2条の沈線により頸部無文帯が構成される。259は胴部下位に縄文を施文する。口縁部～胴部上位は格子文と横位沈線により文様帯を施している。260～287は紐線文を施した一群である。口縁部に1条、肩部に1条の紐線文を設ける。260は2条の紐線文の間に横位沈線を施す。胴部は、地文の縄文の上から綾杉状に斜行沈線を施している。261～263は、口縁下に波状の横位沈線、胴部は縄文を地文とし、弧状の沈線を引いている。264・265は

一段古い加曾利BⅡ式期の粗製土器になる可能性がある。267は口縁下に紐線を1条設け、上部は横位沈線、下部に斜状沈線をともにかなり粗く施している。270～274・277は口縁～肩部にかけて横位沈線を施し、胴部に縄文を施す一群である。268・270～272は横位の沈線を縦の沈線で区切るように施している。274・277・282は口縁部が長く内湾する。276は壺状とも言うべきか。279は無文で、内外面ともにあまり丁寧な仕上げではない。283・284・286は縄文のみの施文となる。

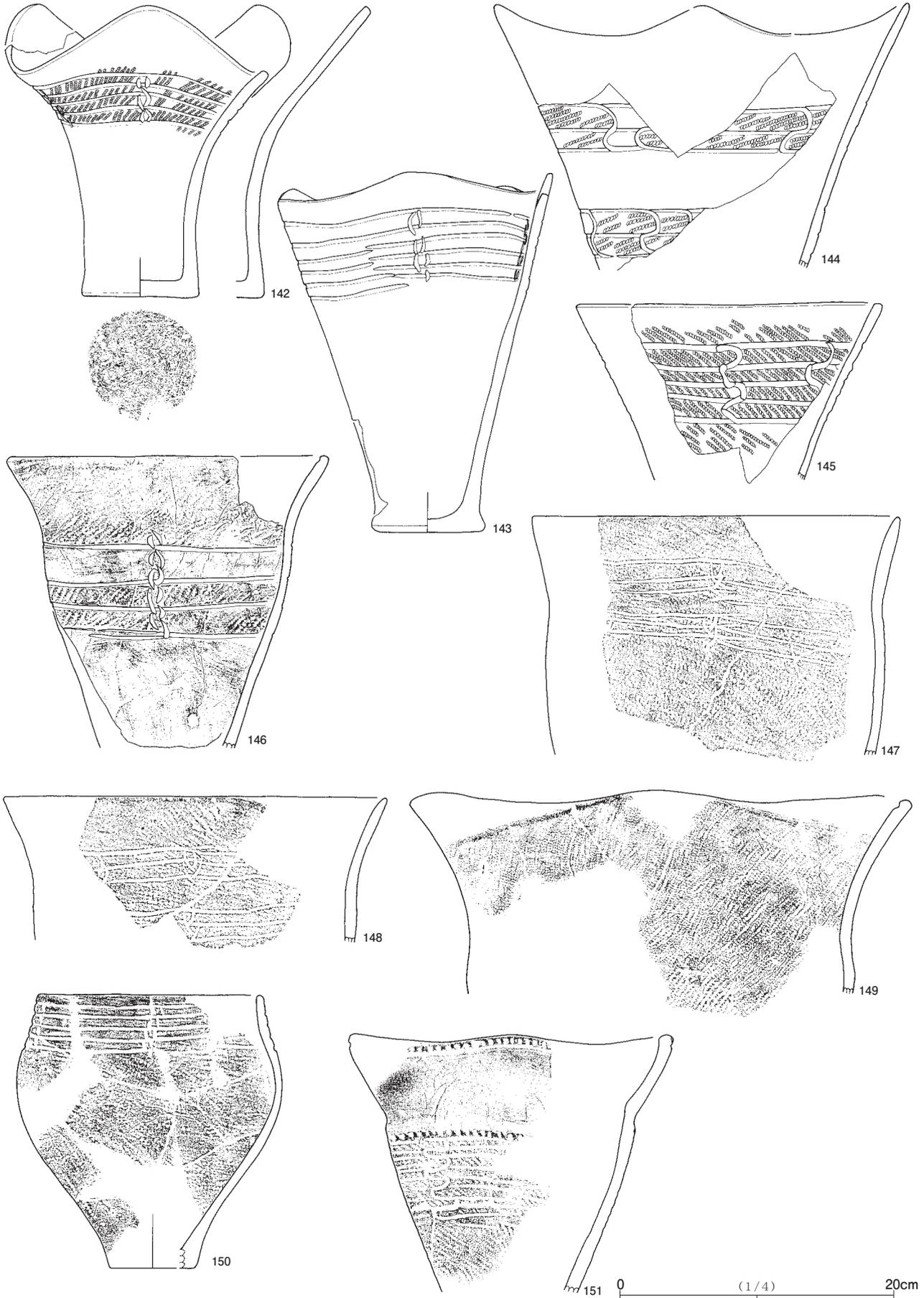
第50図288は、5単位の波状口縁をもち、胴部中位に横位の斜状沈線文を施す。口縁径は30cmとかなり大型の浅鉢である。加曾利BⅡ式期～BⅢ式期となるか。内外面ともによく磨かれている。289も直径が30cmに近い。波状口縁は5単位と想定される。刻み列下に集合沈線を施す。焼成は良好である。292の刻みはヘラ状工具で施し、文様帯内は縄文を施す。294は口縁4単位となろうか。底面を円形で区画し、縄文を施している。297・300・301・302は平縁の浅鉢で、平行沈線で区画し、縄文を施す。297の底面区画は無文で、精製された浅鉢である。300は底面に縄文を施している。摩耗しているせいかわりにやや粗く感じられる。302も底面区画は無文で、内面は丁寧に磨きあげられている。291も30cmに近い浅鉢で、正面に円形の粘土貼り付け文を施す。1単位と想定できるため正面と思われる。磨消し縄文で器面を飾るが、区画する沈線は半弧状あるいは不正円形の組み合わせである。209・299・307は小型の鉢であるが、いわゆる瓢型に類似してややすぼまり気味に口縁が立つ。290は頸部を沈線で区画し、胴部に縄文を施す。303は刺突文が肩部に巡る。305は口縁部に横位沈線を施し、胴部は縄文を施文している。口縁は内返し、やや肥厚する。

295・298は皿状に近くなる。口縁下に撚糸文による文様帯を設け、以下に磨消しを伴う半弧文を施した後、撚糸文を施している。沈線は細い。口唇には3cmほどの粘土紐の貼り付けが行われ、正面から見ると小さな頂部が2か所あるように見える。外面には火にかけられた痕跡があり、内面も煮沸痕がみられることから、煮炊きに使われた可能性がある。

308は椀である。口縁に1単位突起を設ける。文様帯は2段で、区画した凸帯に円形の棒状工具による円形の刺突を施す。口縁下1段目の文様帯は、沈線による三角形および鋸歯状の区画内を交互に磨消す。2段目はV字形に磨消している。底面は無文である。正面突起の右側に補修孔がある。内面は丁寧に磨かれる。312は口縁が高く張り出す。口唇部には刻みが施され、以下は無文となる。胴部には沈線による松葉状の文様が施される。313～316・330・332・345は、口縁部・胴部・胴下部の3段を沈線で区画し縄文を施す。313の胴下部は斜位沈線が施される。317は皿状に近い。318～329・336～339は口縁部に無文帯を設け、以下はほぼ全面に縄文を施す。327は口縁を肥厚させている。327・333の胴部には磨消し縄文を施す。328・329は口縁部に紐線文が施される。

343・344・346は船形の鉢である。343・346は両端が船の舳先様に持ち上げられる。343は黒褐色を呈し、内面はよく磨かれるが、外面は粗いヘラ削りにより整形される。346は底部内面に煮沸様の痕跡が残る。赤褐色で、外面は粗い縄文が施文される。344は船形の両端を失うため正確な形状は不明である。(船体)中央部が高く上げられる。口縁部には刻みが付けられ、346同様に胴部全体に縄文が施される。

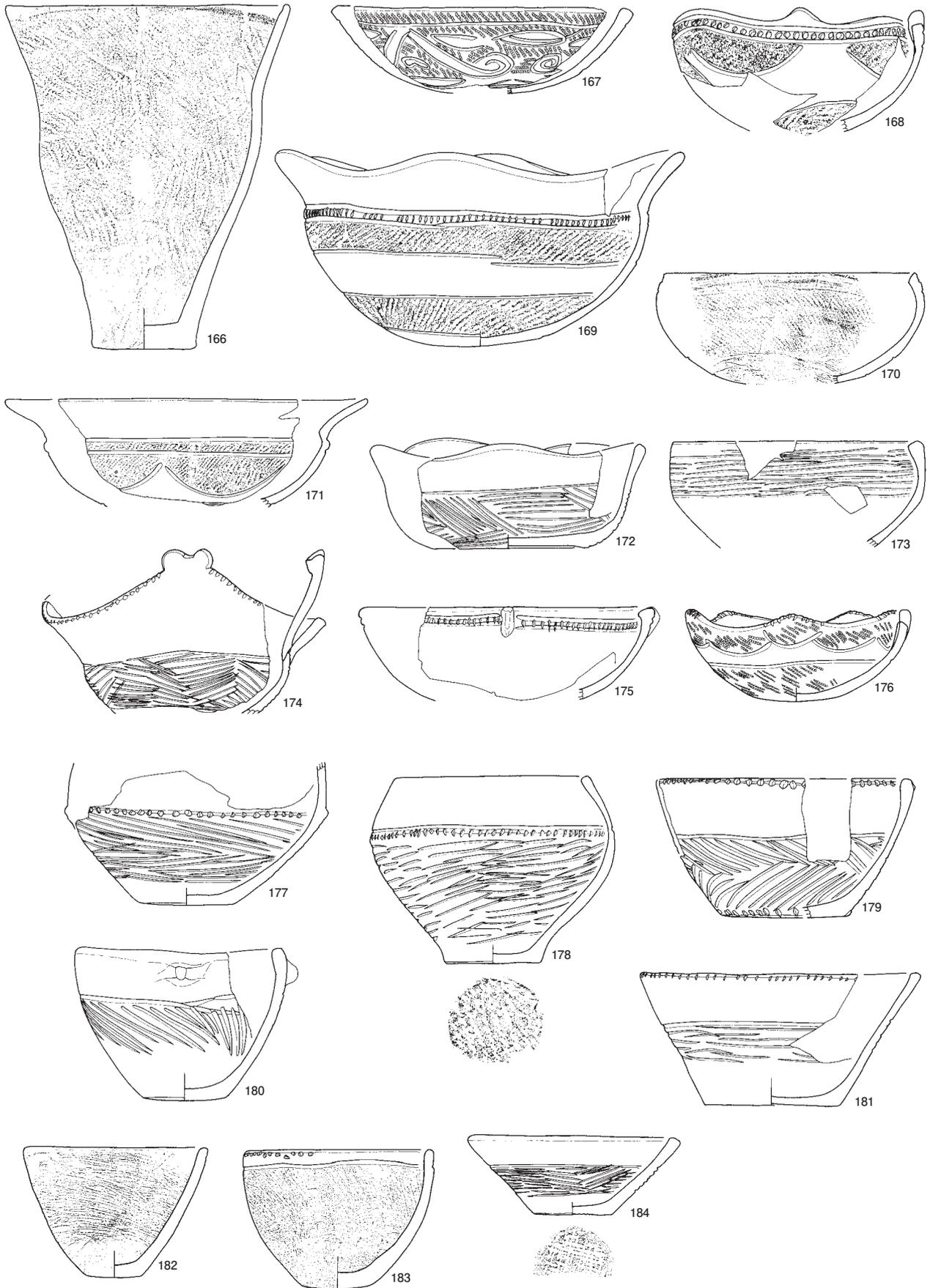
345・348～350は台付きの鉢である。ともに台部を欠く。345は浅鉢に台を付けたという形態である。口縁は弱い波状をしめし、両端で頂部状となる。348は丸みを帯びた胴部である。甕に台を付けたかのようなものである。弧状に組まれた磨消し縄文が胴中央に施され、胴下半は1条の沈線で区切られ縄文が施される。350は台部を欠く。肩が張り出し、口縁が大きく外反する。斜位沈線と無文帯が組み合わせられる。台部は



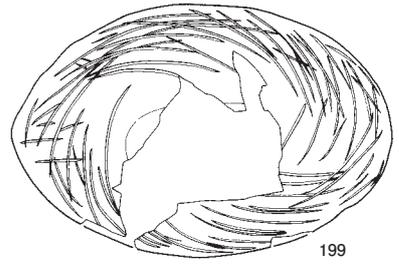
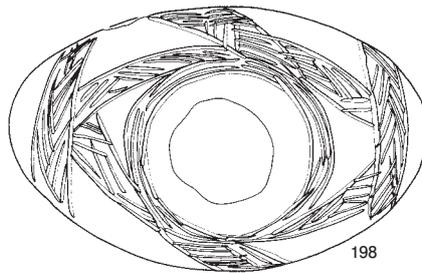
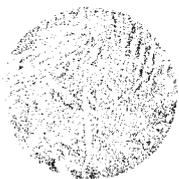
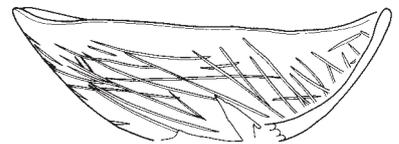
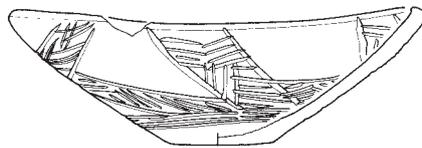
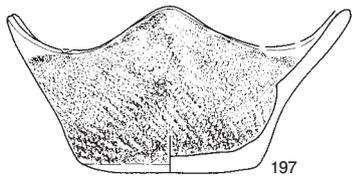
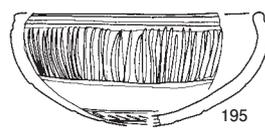
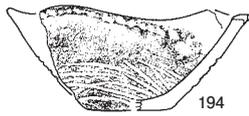
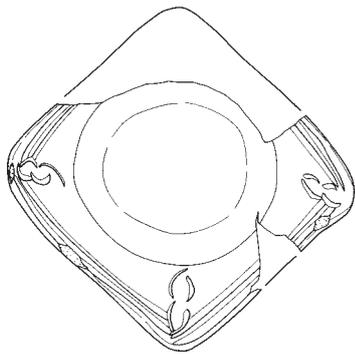
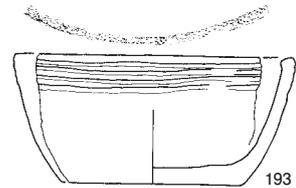
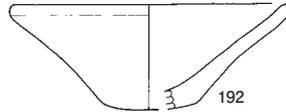
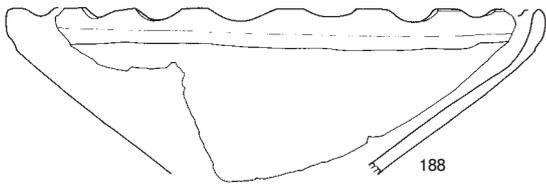
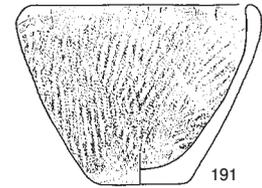
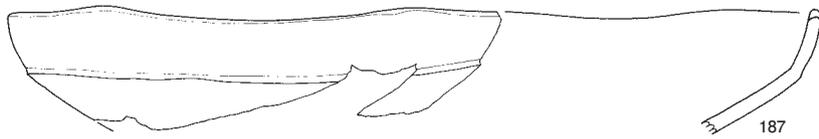
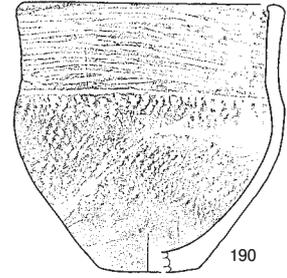
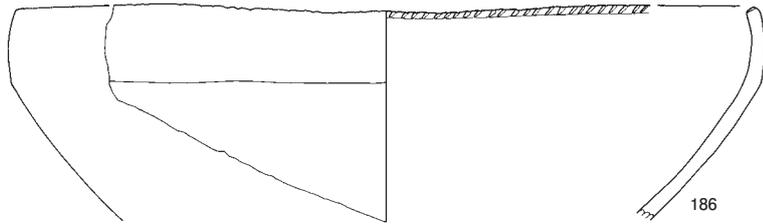
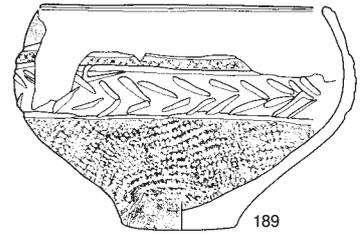
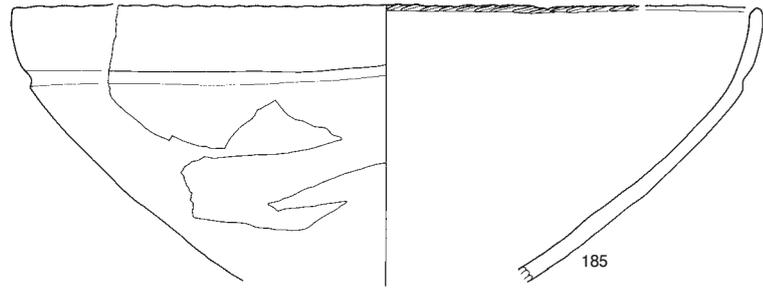
第 37 図 縄文土器 (19)



第 38 図 縄文土器 (20)

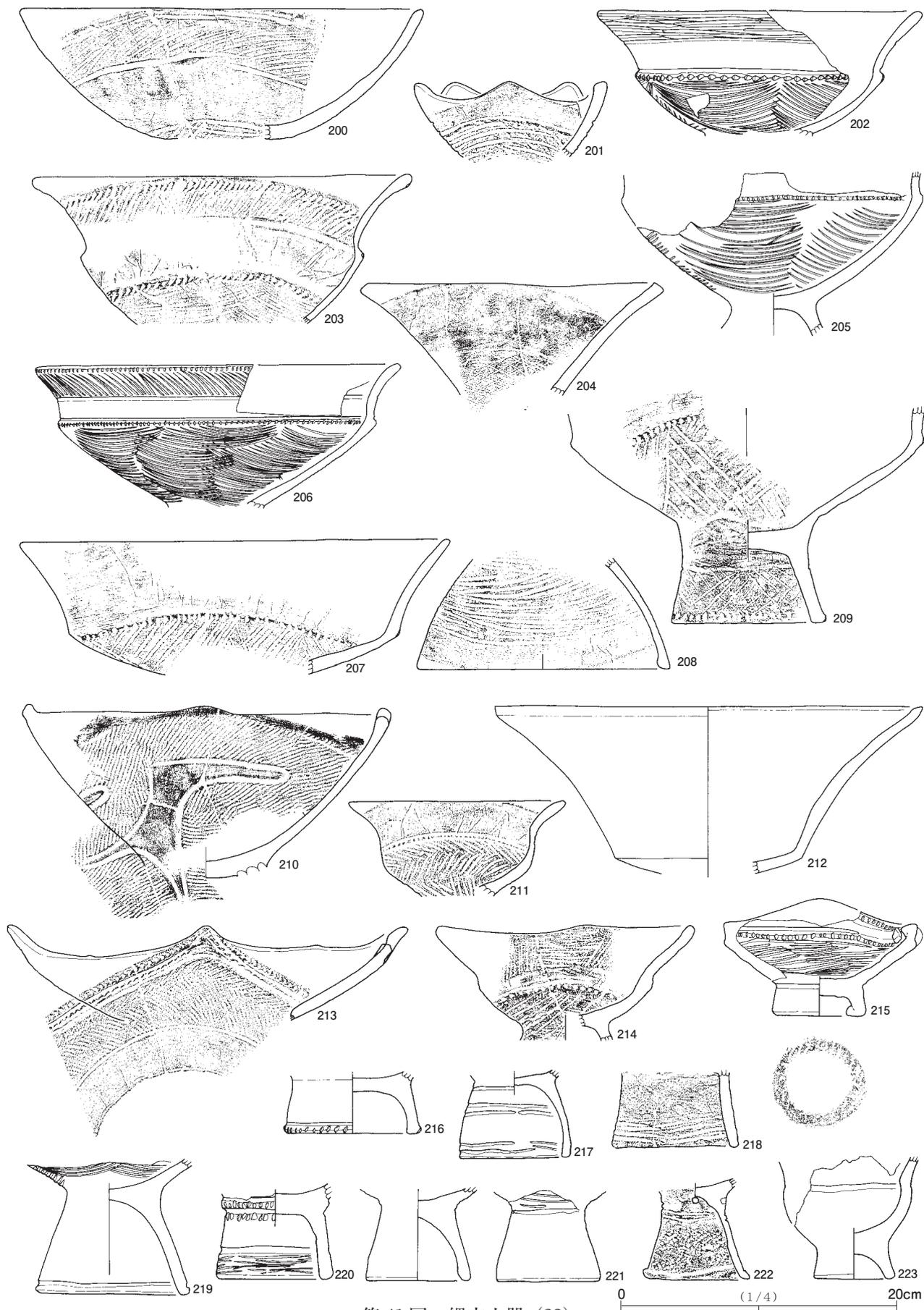


第39図 縄文土器 (21)



0 (1/4) 20cm

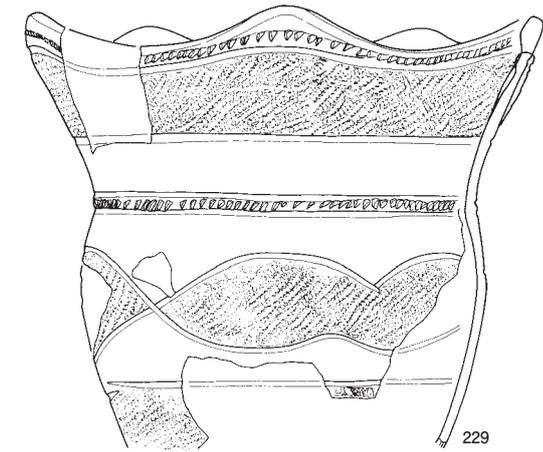
第40図 縄文土器 (22)



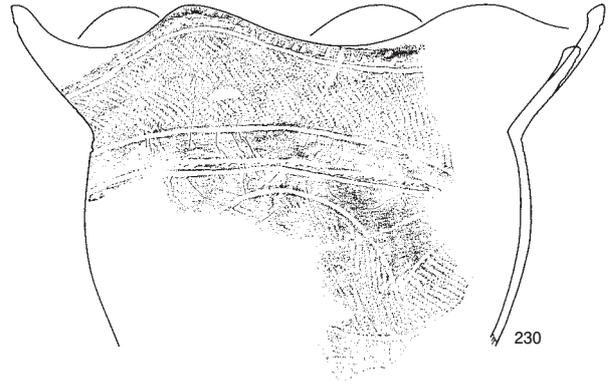
第41図 縄文土器 (23)



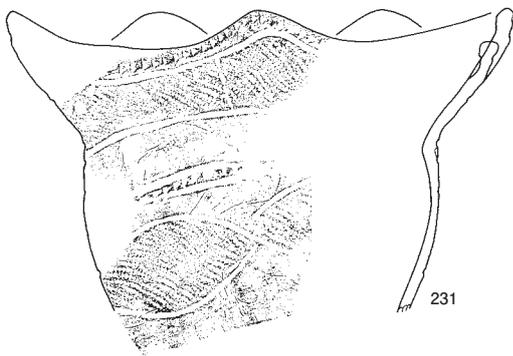
第 42 図 縄文土器 (24)



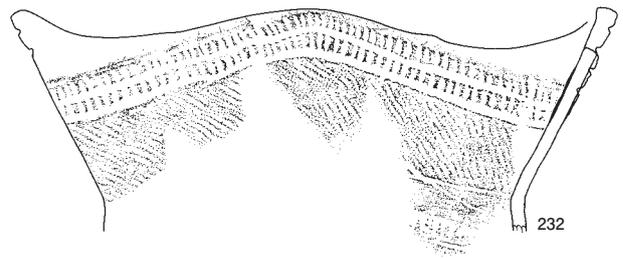
229



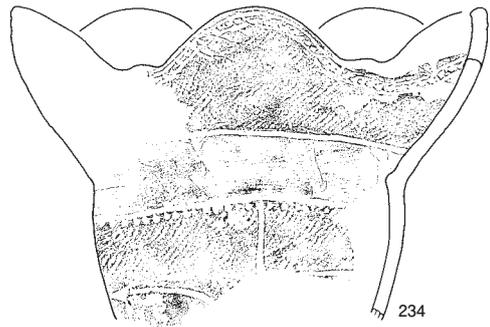
230



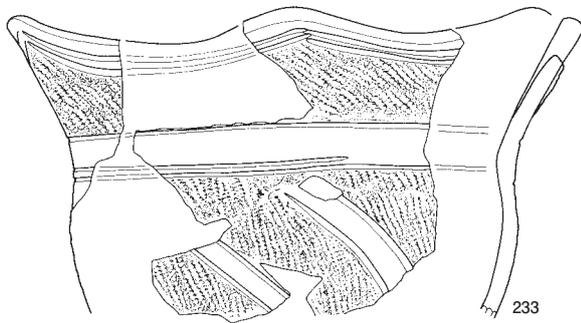
231



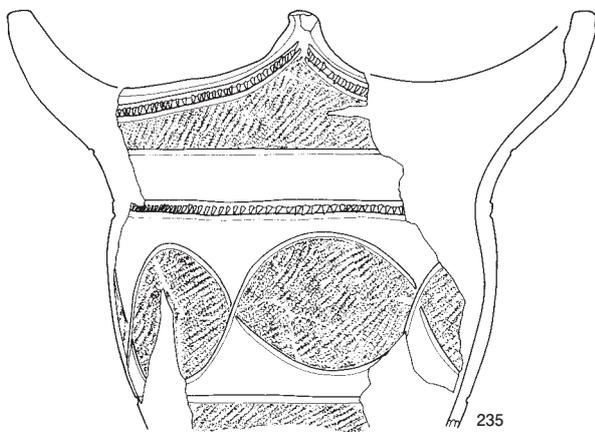
232



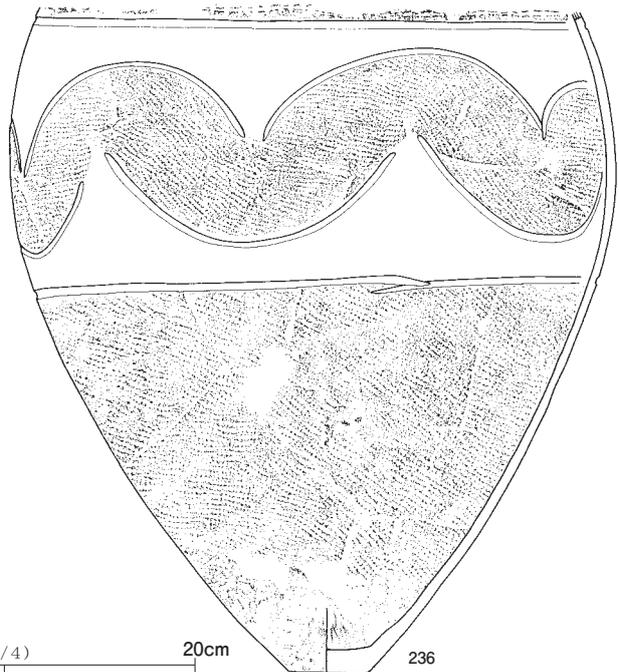
234



233



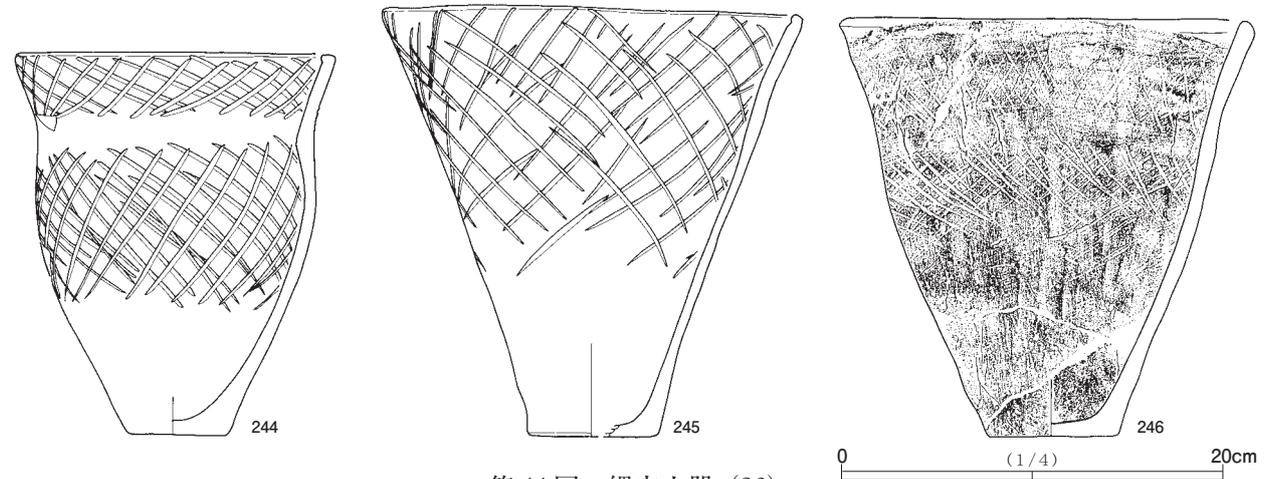
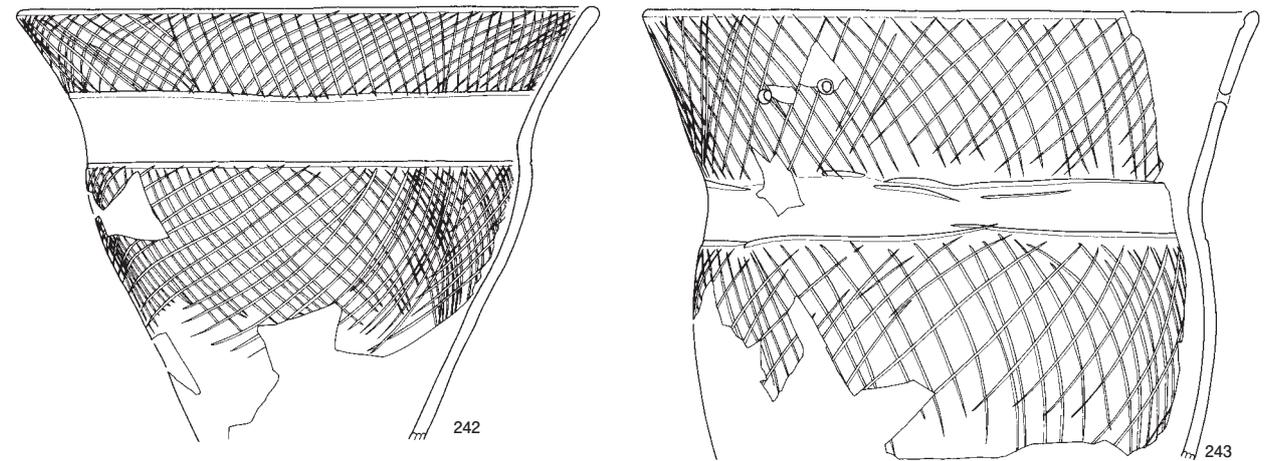
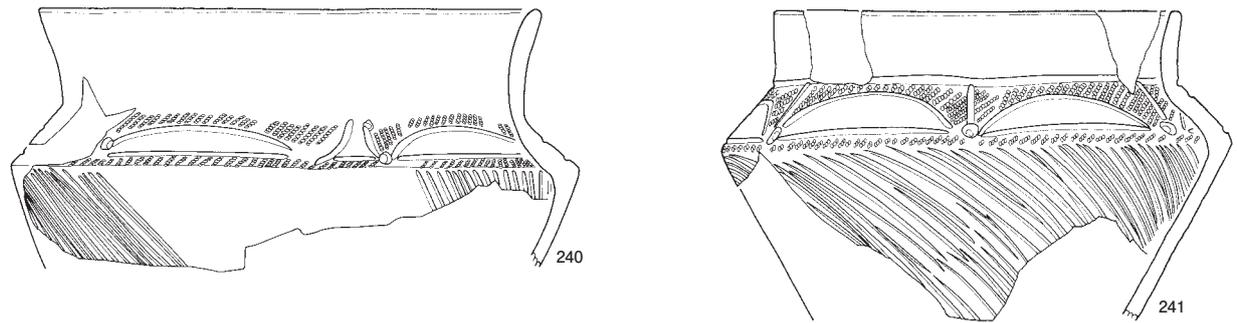
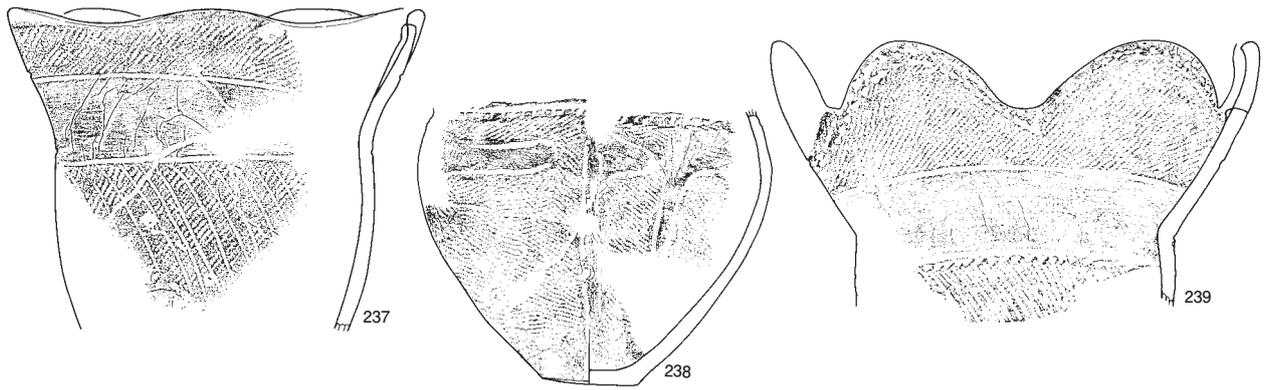
235



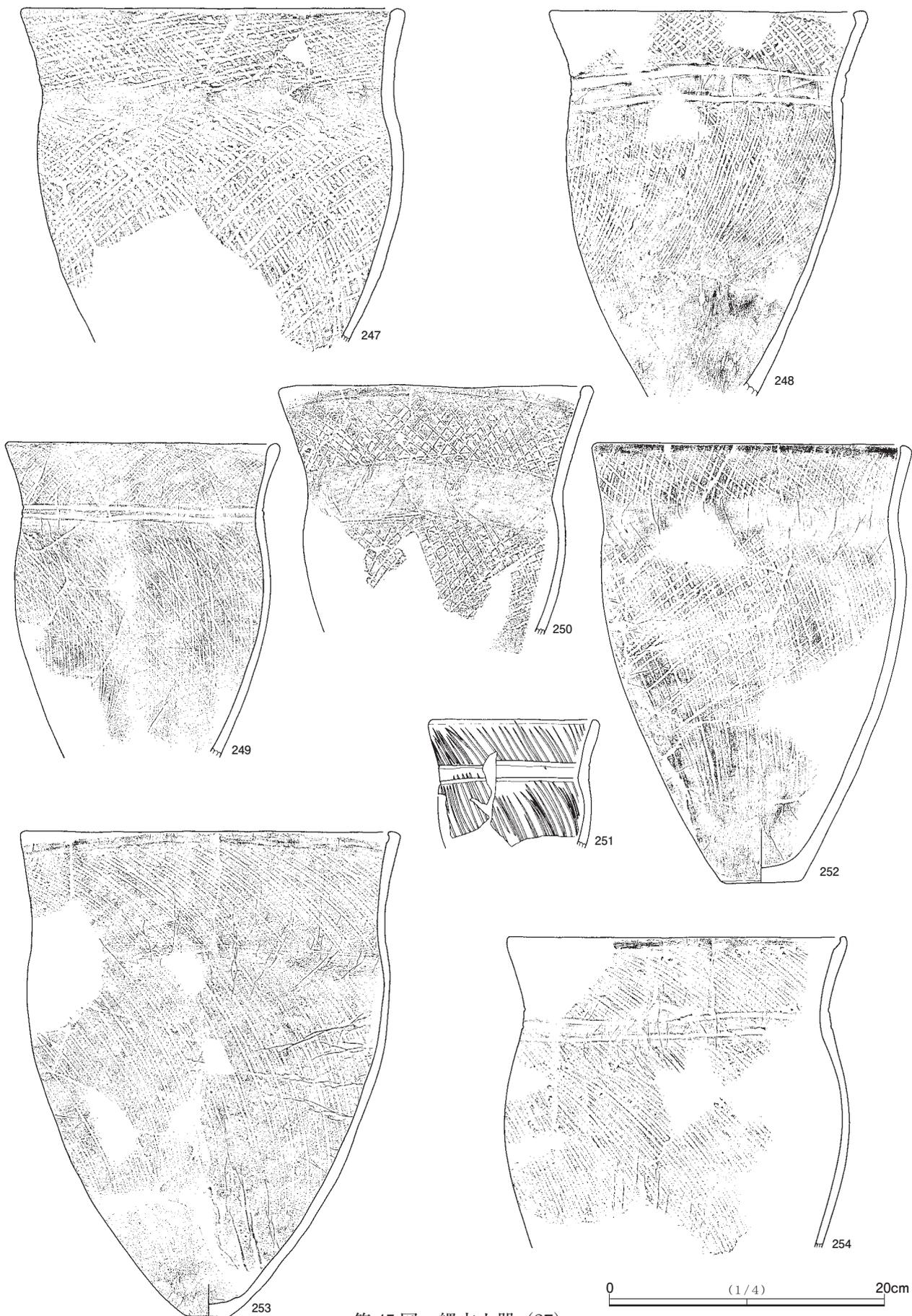
236

0 (1/4) 20cm

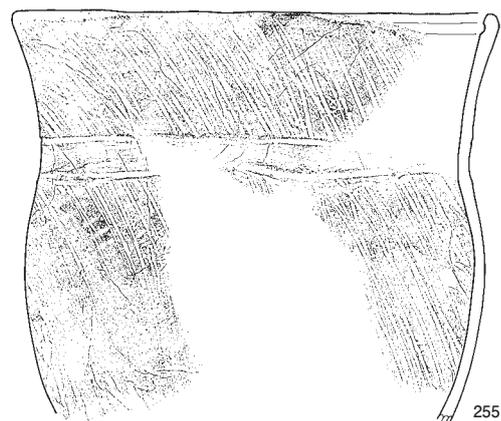
第43図 縄文土器 (25)



第44図 縄文土器 (26)



第45図 縄文土器 (27)



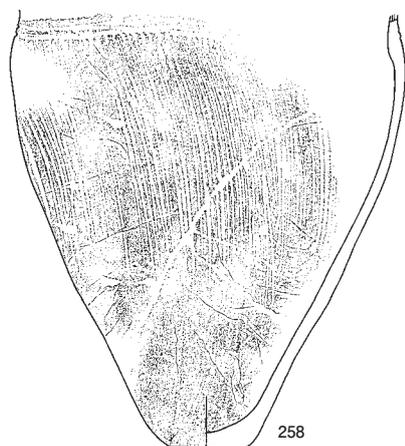
255



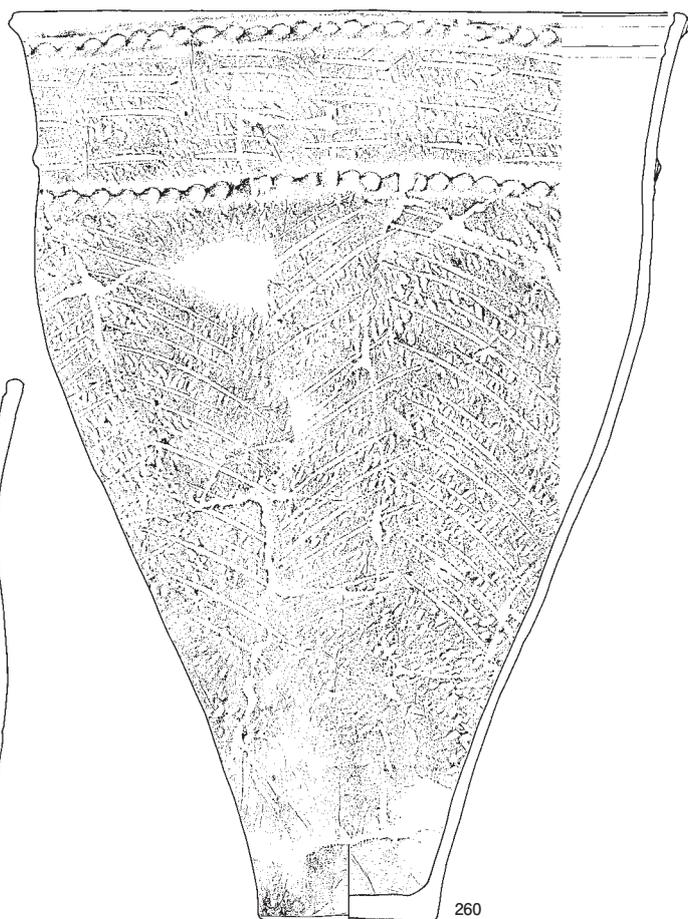
257



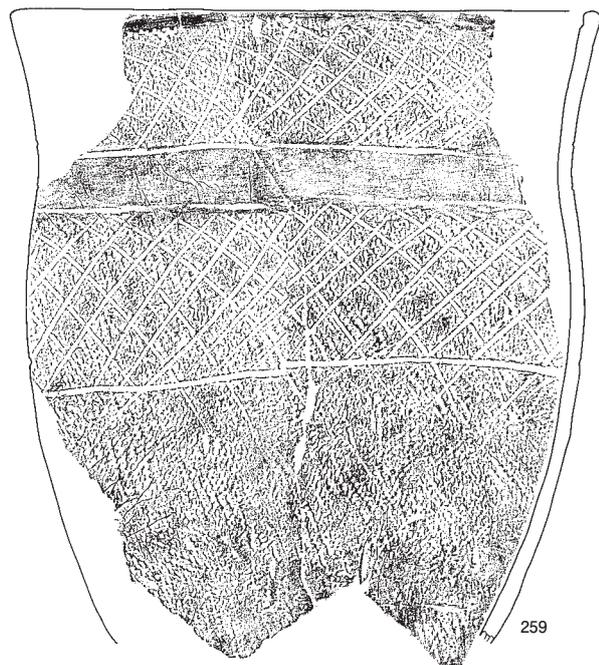
256



258



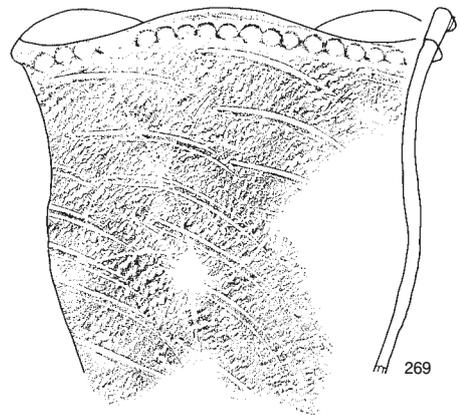
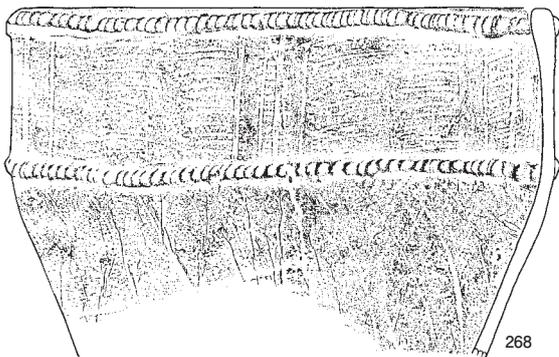
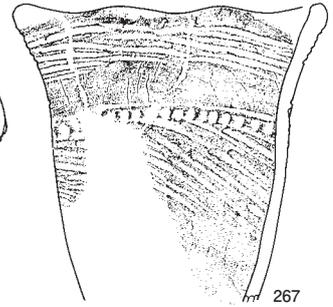
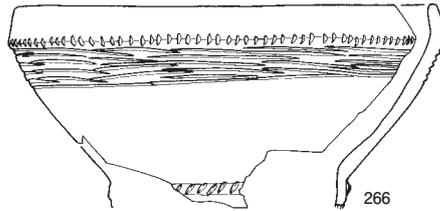
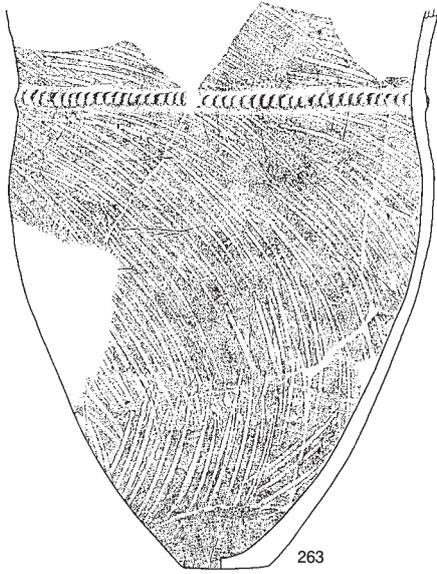
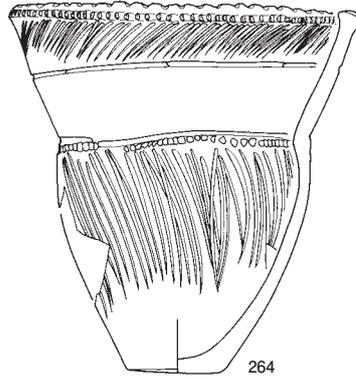
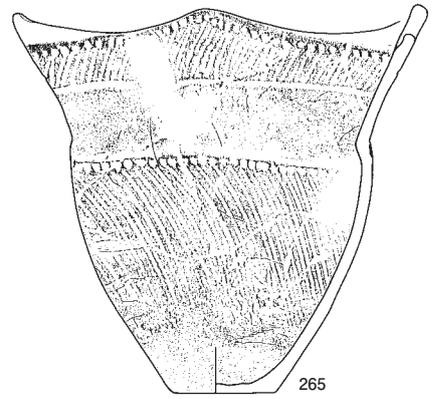
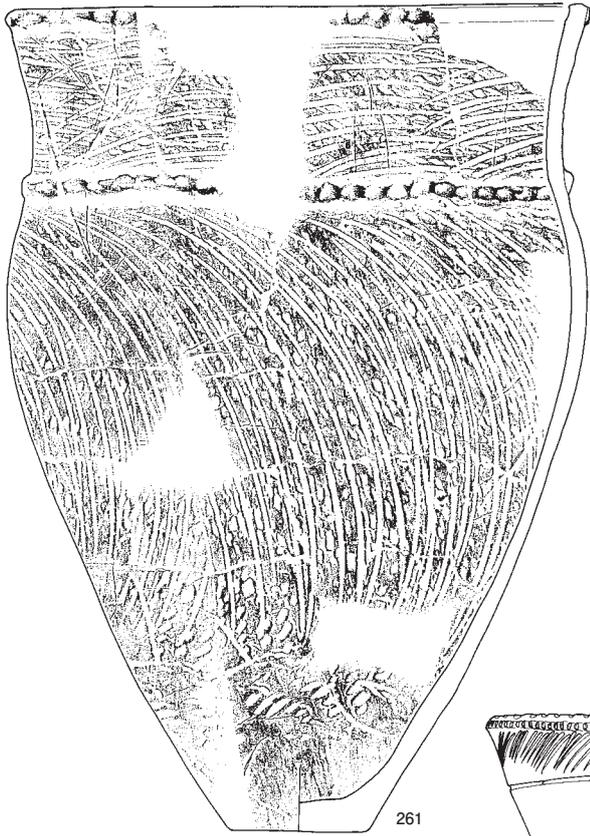
260



259

0 (1/4) 20cm

第46図 縄文土器 (28)



第 47 図 縄文土器 (29)

0 (1/4) 20cm



第48図 繩文土器 (30)

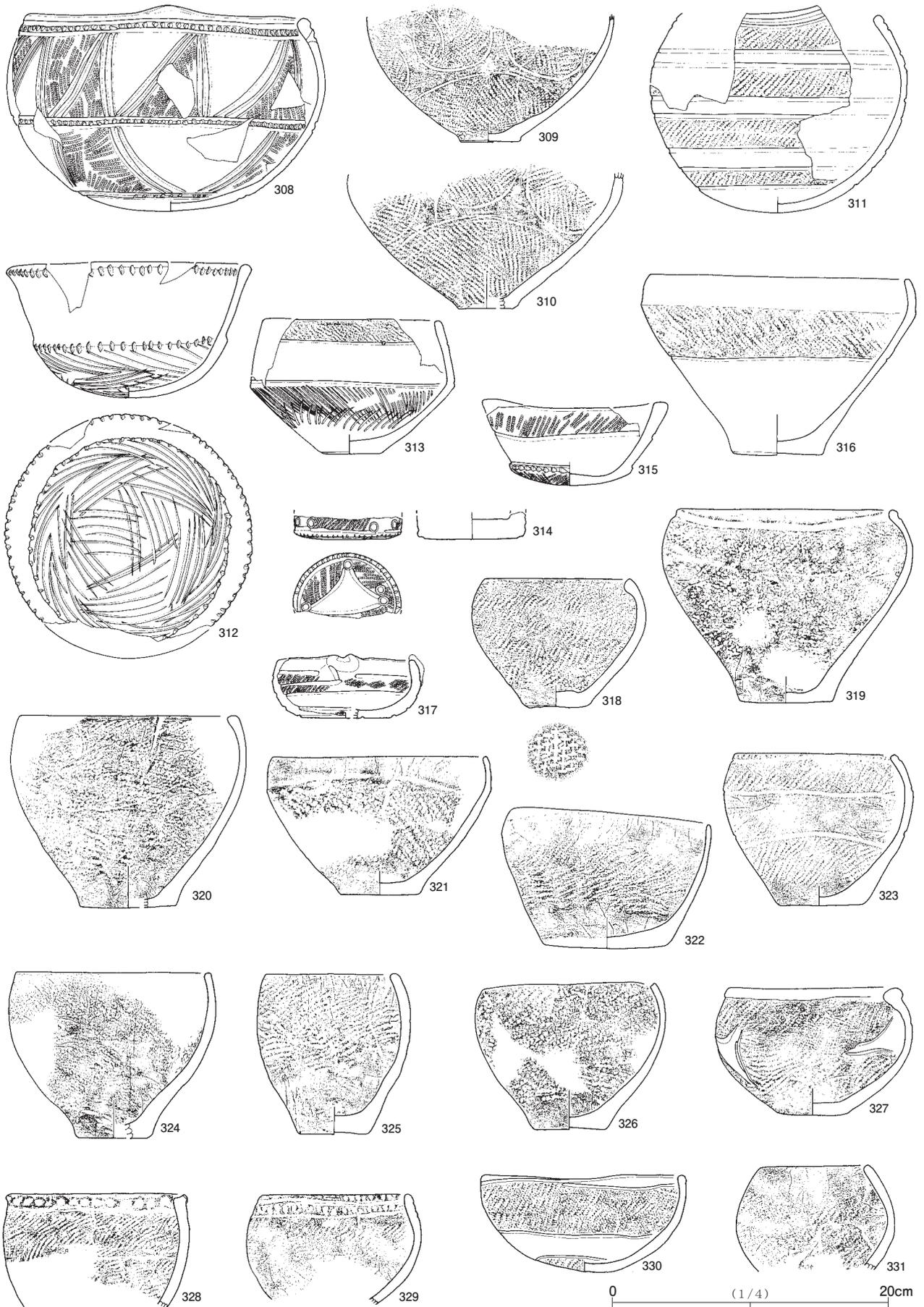


第 49 図 縄文土器 (31)

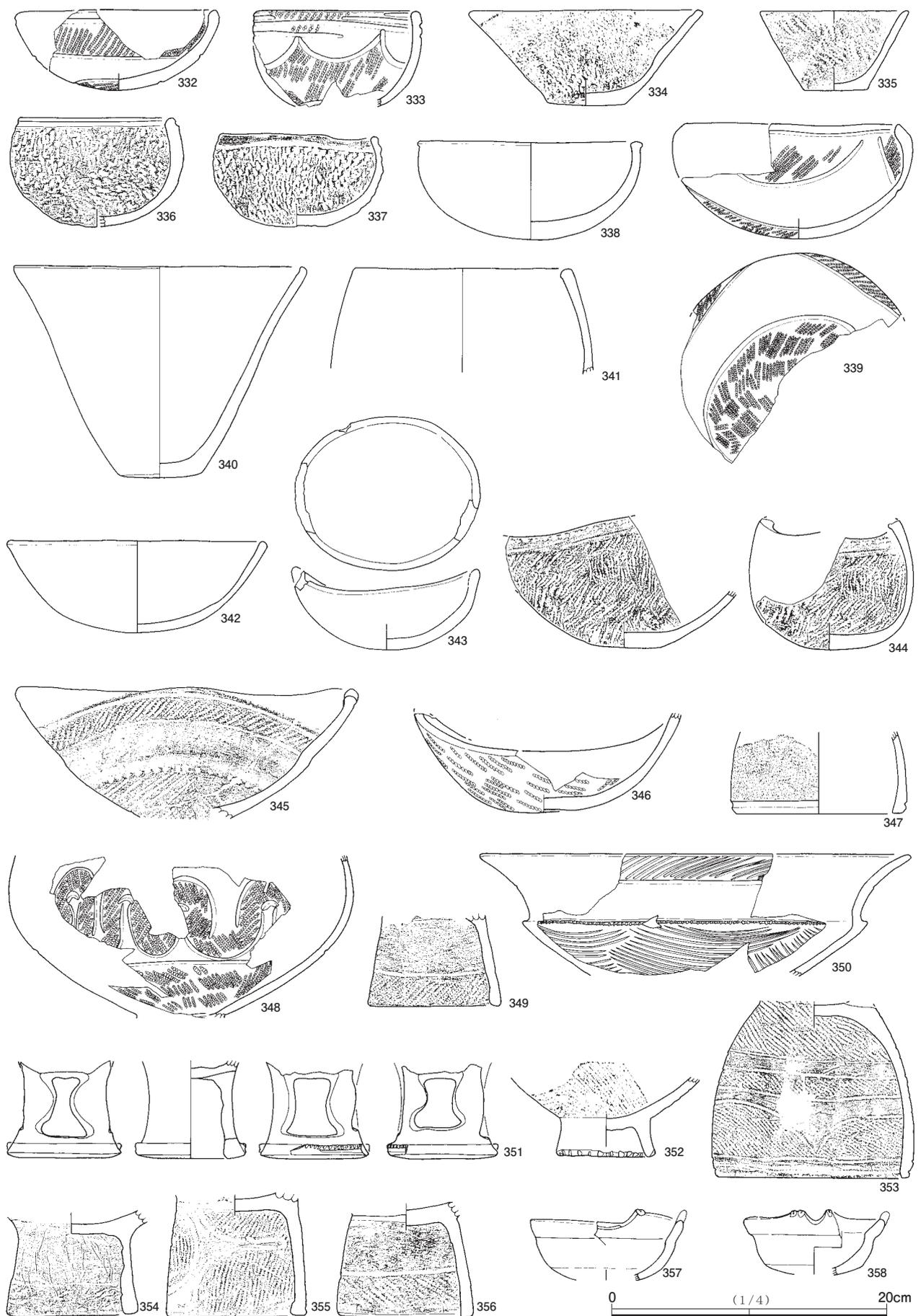
0 (1/4) 20cm



第50図 縄文土器 (32)



第 51 図 縄文土器 (33)



第 52 図 縄文土器 (34)

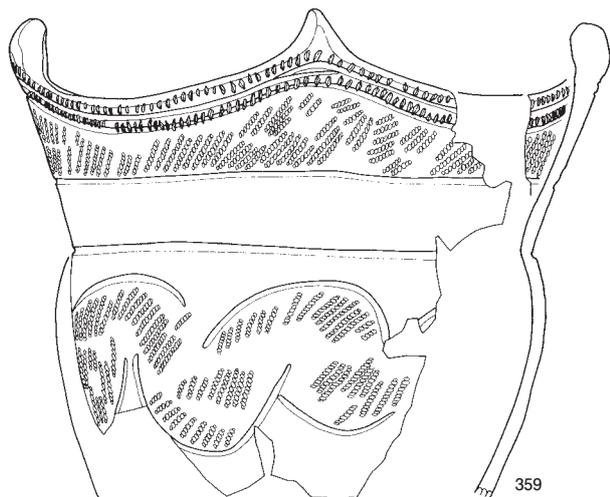
352のように台部取り付け部まで沈線が施されるものと考えられる。347・349・351～356は台付きの脚部である。347は台部最下位に横位沈線が施されている。354は台部中位に横位沈線が施される。349・356は横位沈線で区切り、沈線上は無文、以下は縄文を施す。353・355は磨消し縄文が施されている。351は3方に透かしが入る台部である。台部下端には刻みが施される。357・358は無文の小型の片口鉢である。出土状況などから本類に含めた。

第3類 後期後葉（曾谷式期）（第53図359～第54図379，図版26・27）

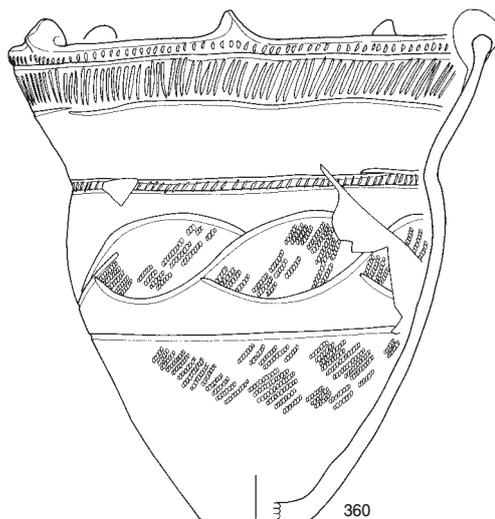
第53図に示したものは曾谷式期の精製の深鉢である。359・361は4単位の波状口縁となる。359は波状部があまり発達せず、口唇下の刻みが2条巡っている。頸部を沈線と無文帯で区画し、胴部は連続半弧状文により区画された磨消し縄文で飾る。361は小型であるが波頂部が大きく円頭状に張り立つ。口縁部の刻みは1条である。頂部間の口縁部の刻みに台形状の貼り付けが附される。胴部を区画する沈線間の刻みは、口縁部と同様の四角いヘラ状工具によりくっきりと施文される。無文部は丁寧な磨きが施されている。

360は、平縁の口縁に波状につまみ上げられた感のある突起を4単位設ける。口縁の刻みは1条巡り、その直下には縦位沈線帯を施す。無文帯を挟んで刻みを持つ2本の横位沈線がみられる。胴部は連続半弧状文を磨消し縄文で飾り、直下に区画の沈線が回り、胴下半を縄文で埋めている。摩耗が著しい。362～366は、口縁が内反しながら立ち上がる。口縁部に刻みを設け、縄文帯、無文帯、頸部区画沈線（刻み付き）、磨消し縄文による連続半弧状文帯、沈線で区画し縄文を施すという類型化した施文がみられる。ただし362は連続半弧状文ではなく、U字状の連続文となっている。連続半弧文の省略形であろうか。365・367は壺状になるものである。

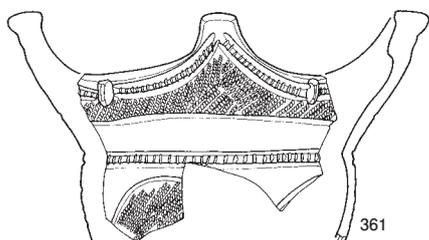
368～371はこの時期の粗製の深鉢である。368は、口縁部と肩部に2条の沈線間に施された半截竹管による爪形状の刻みが巡る。2条の沈線により4～5単位の区画に分けられ、区画内は口縁部文様帯は、羽状沈線文により充填される。この区画の交点には方形の貼り付け文が附される。上下の区画文線と合わせると縦に4個となる。胴部は浅い縦の条線で施文する。369は、胴部を区画する刻み目文の上下に、連続半弧状文による磨消し縄文帯が施される。沈線で区画された胴下半部は縄文により施文される。371はやや深い鉢である。やや大型のつまみ状の貼り付けを1単位取り付けている。口縁部の文様帯は数条のランダムな横位沈線が施される。372は方形に近い鉢である。波状口縁で、頂部は4単位となり、低くなった部位につまみ状の突起を4単位貼り付ける。口縁下には2条の沈線が巡る。沈線の下には磨消し縄文が施される。以下には、沈線で区画した無文部を設け、底面にはさらに縄文を施す。非常に丁寧な作りである。373は口縁部刻みと胴部の縄文がみられる。374は平縁で、372と同様に、口縁部4単位のつまみが附される。口縁直下の2条の沈線、磨消し縄文帯、無文帯、底部円形縄文と施文構成は同じである。375は鉢より椀に近くなるか。沈線に区画された磨消し縄文帯と無文帯の組み合わせとなる。胴下半の磨消し縄文帯には下側に半弧状文が連続してみられる。横位沈線は直線をつないでいるかのようである。底部直上に串先様の工具による刺突が施されている。376は台部である。かなり摩耗しているが赤彩の可能性がある。横位の沈線および縄文帯による区画が数段みられ、取り付け部から縄文帯、沈線、弧状（山形）磨消し縄文帯、隆起縄文帯と言った組み合わせがみられる。377・378は、縄文帯と磨消し弧状文（山形）縄文帯という、この時期に多くみられる典型的な施文となっている。379は取り付け部直下に刻みを付けた沈線を施し、全面に粗い縄文を施した後に連弧文沈線を加える。



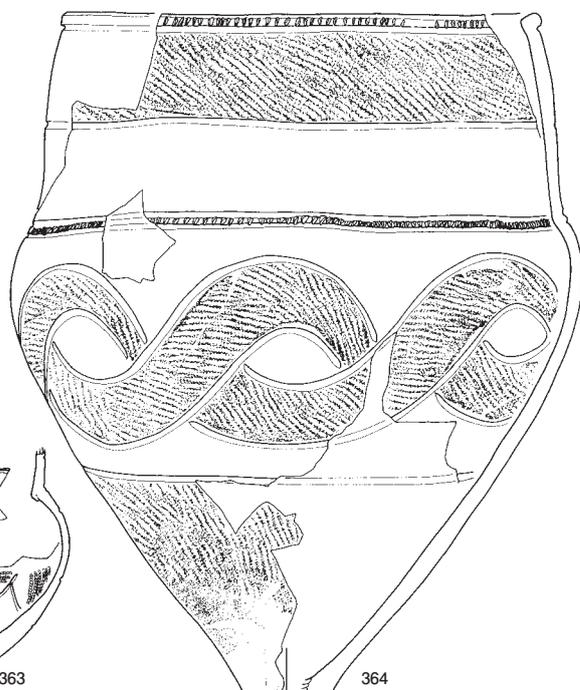
359



360



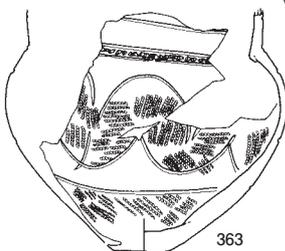
361



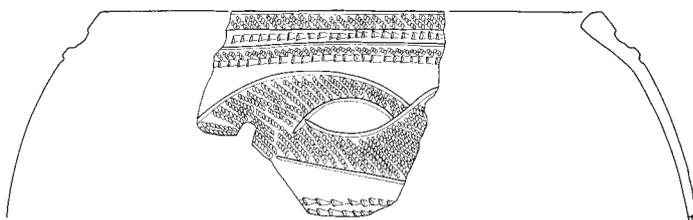
364



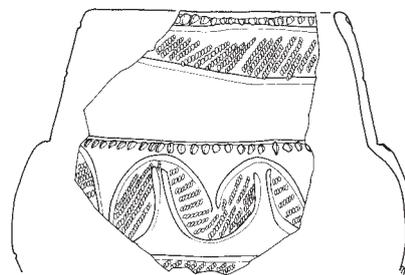
362



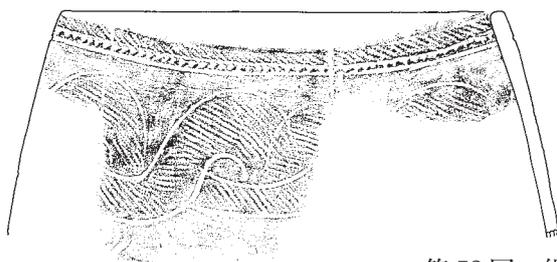
363



365



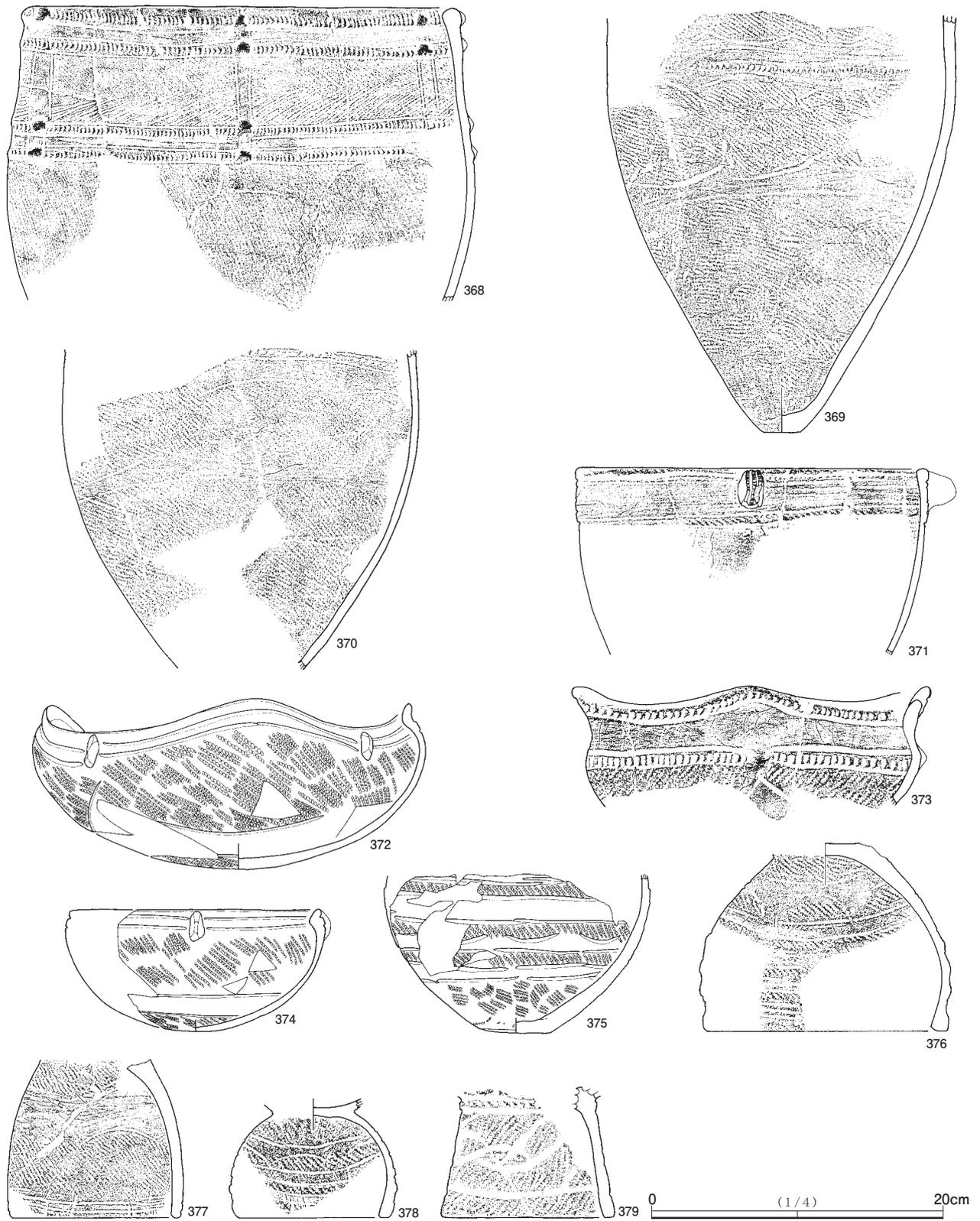
366



367

0 (1/4) 20cm

第 53 図 繩文土器 (35)



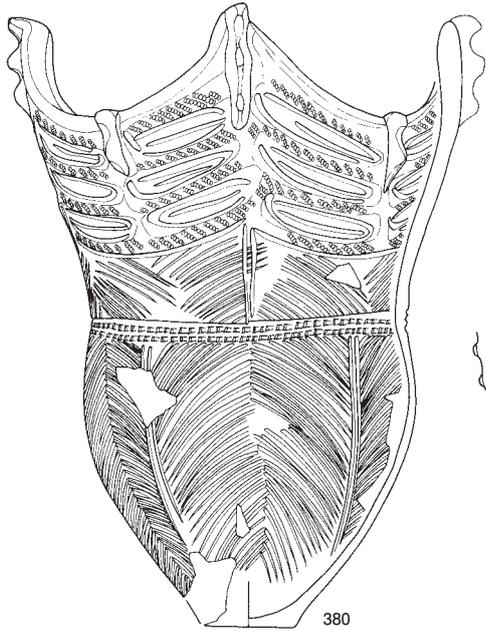
第54図 繩文土器 (36)

第4類 後期後半（安行1式期）（第55図380～第62図455，図版27～29）

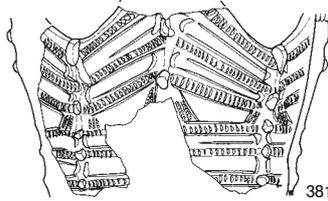
第55図は当該時期の精製された深鉢である。口縁の波状は深く、大型化している。隆帯による区画は規格化されているようである。380は大型の波状口縁4単位、口縁下からの4条の隆起帯が施され、隆起帯には縄文が付加される。この区画によって横長の楕円が作られるが、その中に横位の沈線が引かれる。胴部くびれ部には棒状工具で1条の沈線が引かれ、直下に2条の刺突列が施文される。また縦2条の沈線により、波状に対応するように4区画が設けられ、胴上部、胴下部にはそれぞれ羽状の条線が施される。羽状沈線文を持つものに383・385がある。胴下部はこの区画が45度ずらされている。口縁下隆帯は380が4条なのに対し、他のものは3条で構成されることが多い。また382・383・385・386は、胴部は磨消し縄文による連続半弧状文が施される。385は連弧文（山形）となり、弧状の接続部に突起が貼り付けられる。382・383・386・387は口縁波頂下に穿孔がみられる。また382は波頂下隆起帯区画内を赤彩している可能性がある。

第56図～第61図は安行1式期の半精製のものおよび粗製の土器である。口縁が平縁中心となる。388は口径が40cmに近い大型の深鉢である。口縁は緩やかな波状である。3段の隆起帯下を沈線で区画し、半弧状文を磨消し縄文で飾る。頸部は2条の沈線で刻みを施した隆帯を区画する。胴中央部は連続半弧状文、胴下位は沈線で区画し縄文を施す。波状口縁を持つ精製土器類と同様の施文を行っている。口縁下の3条の隆起帯をつなぐ貼り付けは6単位である。389～405は口縁下の隆起帯文を2条とする。隆帯の器面施文に関しては389～400・402・403はほぼ同類の施文と言えよう。401・404～423は頸部を構成せず、口縁が内反するものである。401はこれらの中でも半精製に近く、施文は他の精製深鉢類と同様の文様構成となる。404～437・439は3～4条の隆帯文を施し、肩部以下を縦または斜状の条線および縄文で施文するものである。412～414は口縁が大きく外反するものである。415～423はいわゆる瓢型の深鉢である。口縁部には2～3条の隆帯文、縄文の他、刻み目を設け、入り組み状の連続半弧状文が上半部に附される。426～440の粗製の深鉢である。424～437は口縁部と肩部に2条の刻みを加えた隆帯を巡らし、胴部には横位・斜位・縦位の条線で器面を飾っている。430は口縁下2段の貼り付け隆帯文である。条線により丁寧に施文した後、隆帯文を貼り付けている。この隆帯文は単純に口縁下を巡るのではなく、左回りで隆帯を廻した後、下段に下るといった意匠をとる。隆帯文に附せられる刻みは指頭文である。類例の見られない施文である。431は斜位の条線文である。隆帯は地文を付けた後施されている。432は3条の縦位沈線の区画と斜位条線である。433～437は条線のみ構成である。434・437は430と同様に横位の波状の条線であるが軽く流すように施文される。436・438は無文である。明確な時期を提示し得ないが焼成・胎土により後期後半期と考えた。薄手でかなりもろい遺存状態である。製塩土器と考えられる。

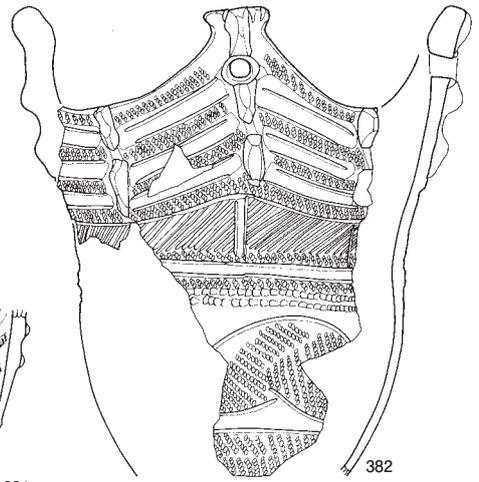
第62図は浅鉢類あるいは台付き土器類などをまとめた。439は口径が30cmを超える大型の浅鉢で、波状口縁は大きく外反する。5単位のゆるやかな波状部かと思われる。肩部には横位の刻み目が施され、胴部は斜位の沈線文で施文する。440は無文の浅鉢で、肩部に稜を作り出し緩やかに口縁が立つ。加曾利BⅢ式期に上るかもしれない。441は小型の椀状の鉢である。平縁の口縁上に5単位の貼り付け瘤が附され、頂部に3条の刻みを施す。口縁下に細い縄文帯を施し、胴中位には連続半弧状文と磨消し縄文で飾り、胴下位は縄文で充填する。442の基本施文は441と同じであるが、貼り付け瘤はやや大型化している。頂部の刻みは6条で、残念ながら欠損のため瘤単位数は不明である。442は平底状となる。446は台付き瓶で、口縁に刻みを施し、直下はヘラ先状の工具による羽状の条線で施文する。隆帯文は3条で、条間は磨かれ



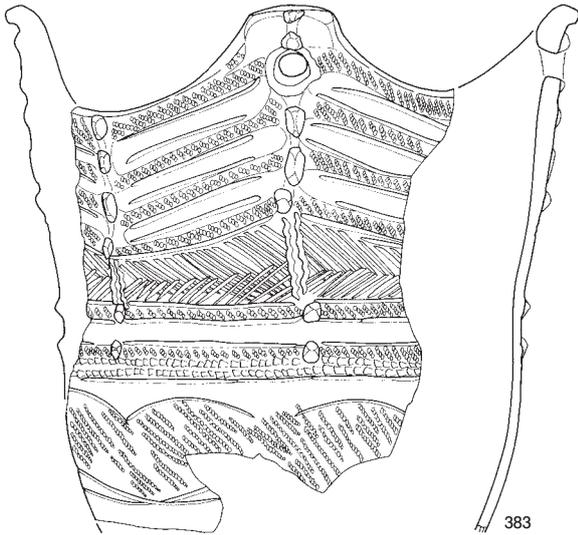
380



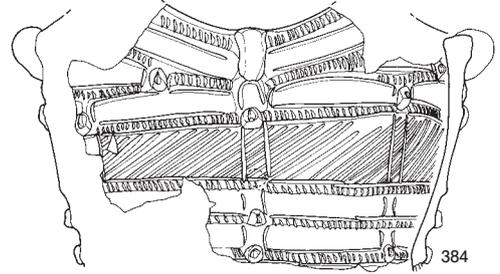
381



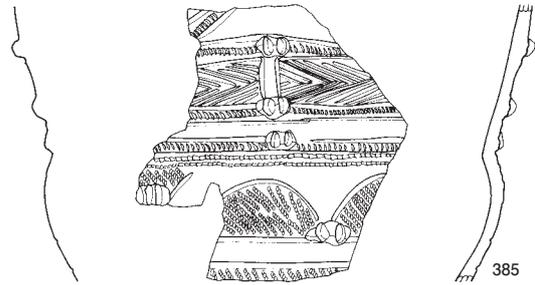
382



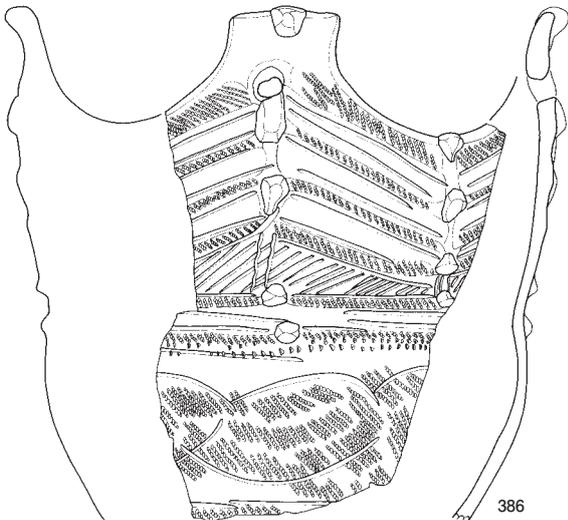
383



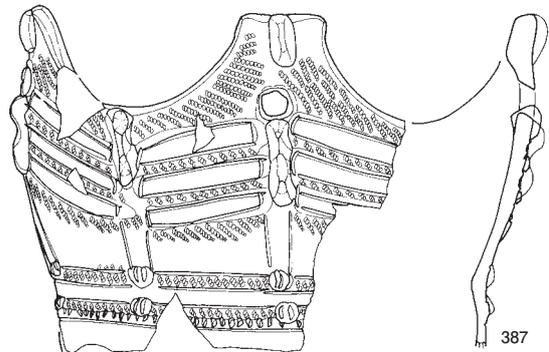
384



385



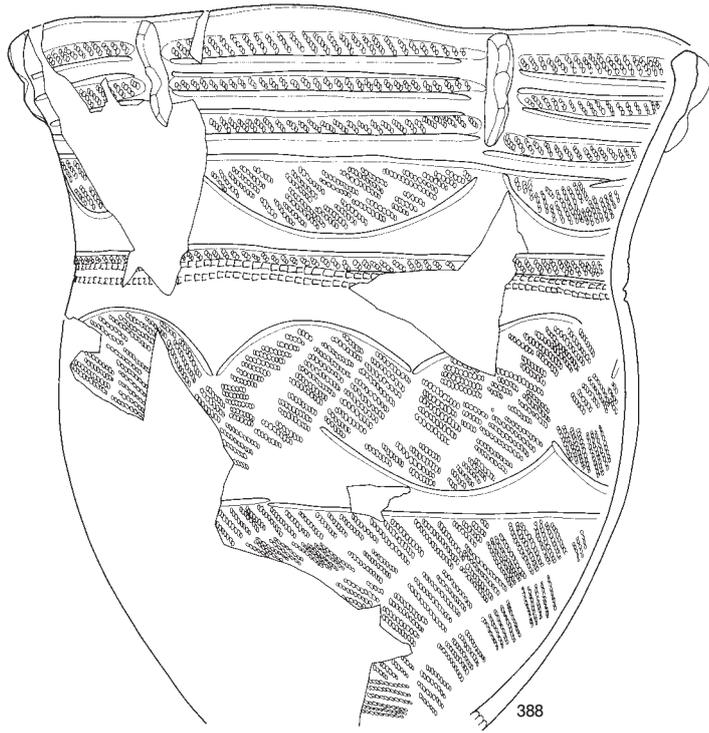
386



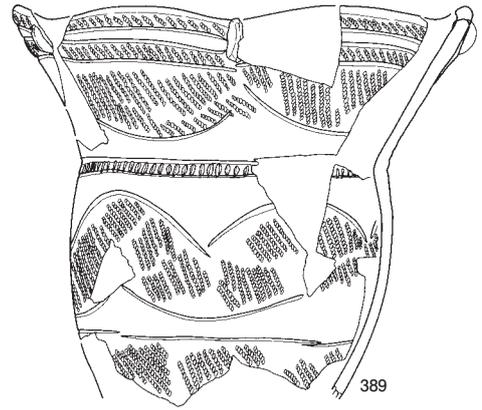
387

0 (1/4) 20cm

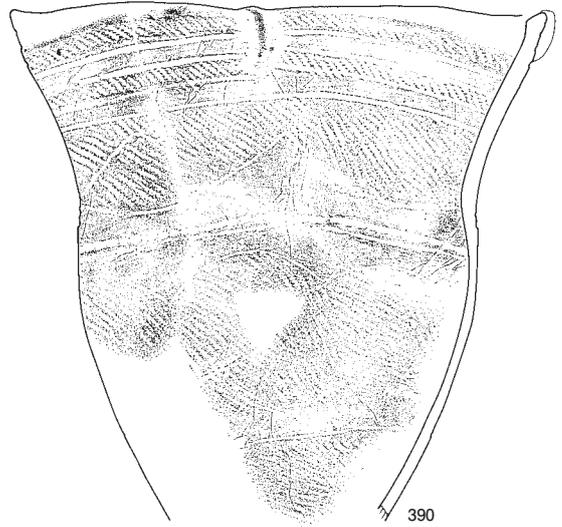
第55図 縄文土器 (37)



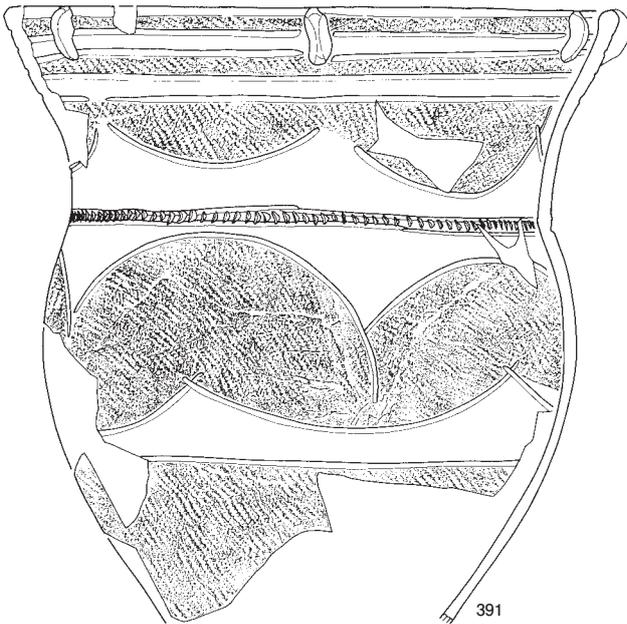
388



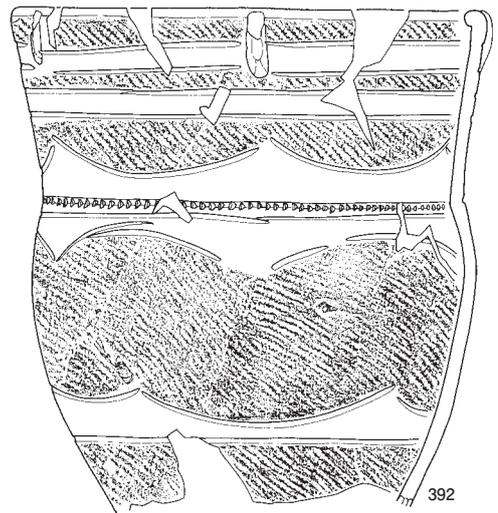
389



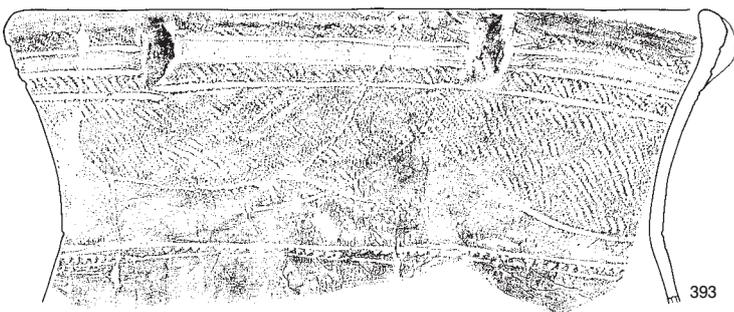
390



391



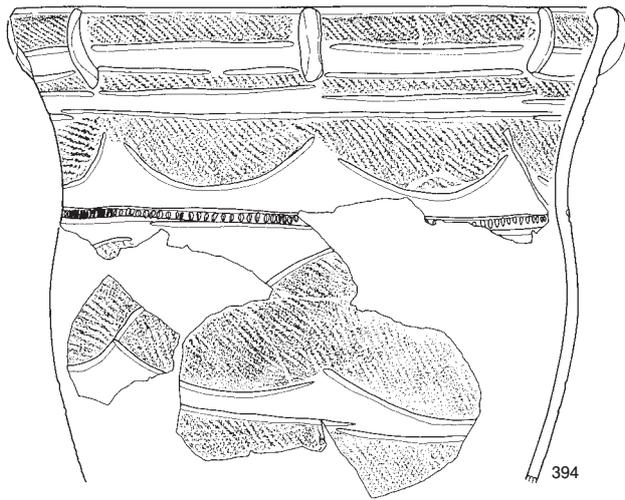
392



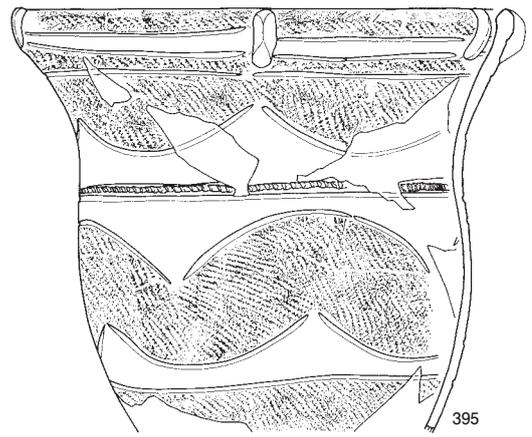
393

0 (1/4) 20cm

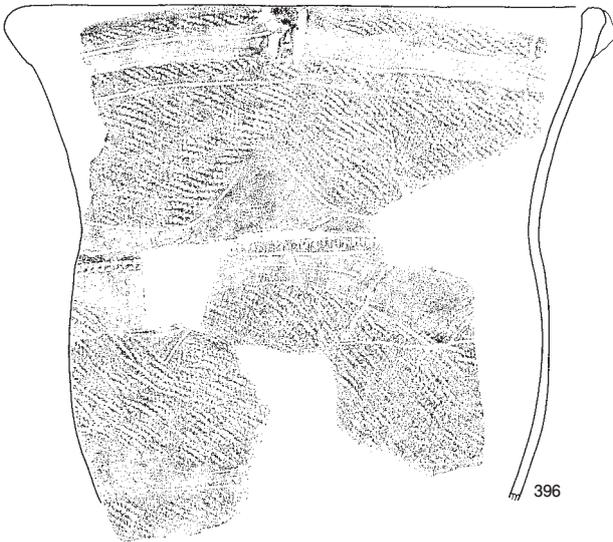
第56図 縄文土器 (38)



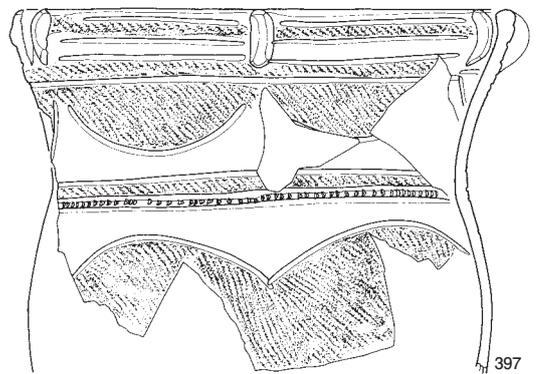
394



395



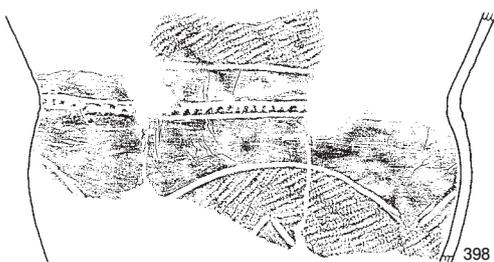
396



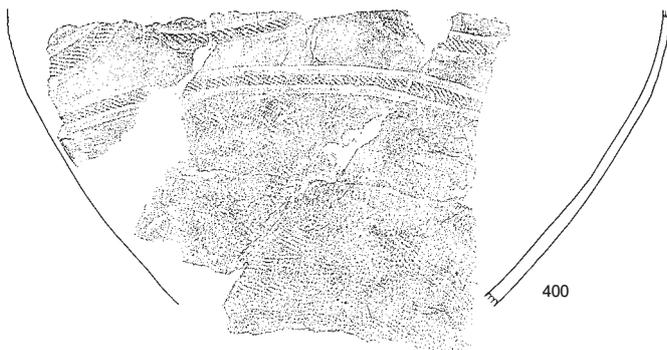
397



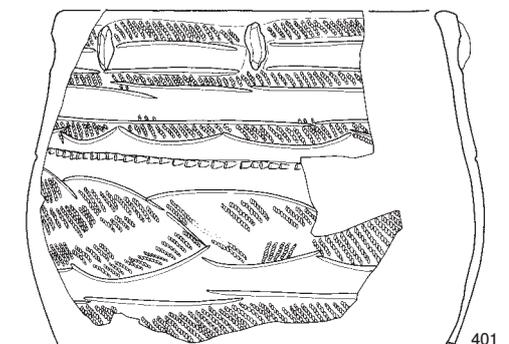
399



398



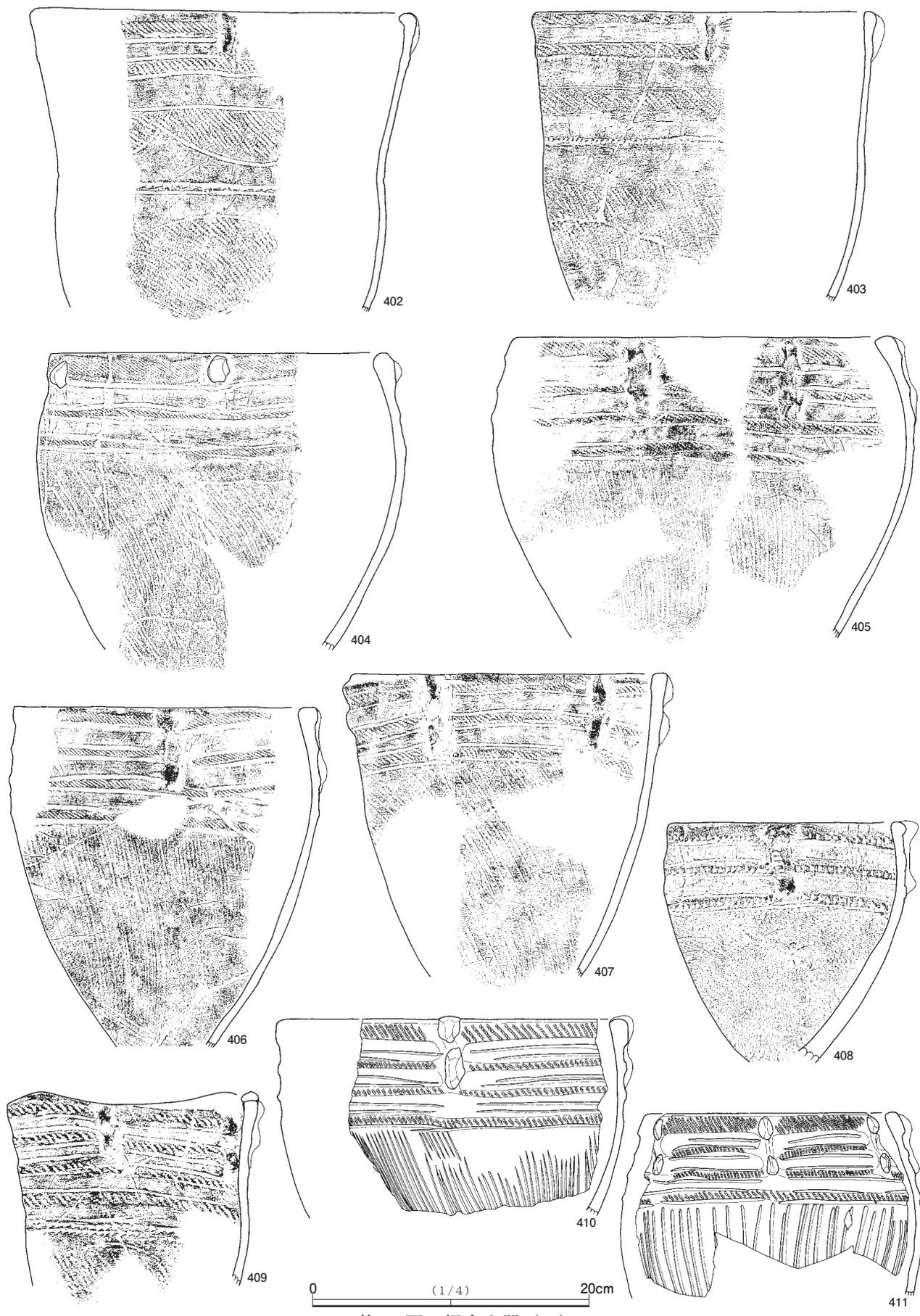
400



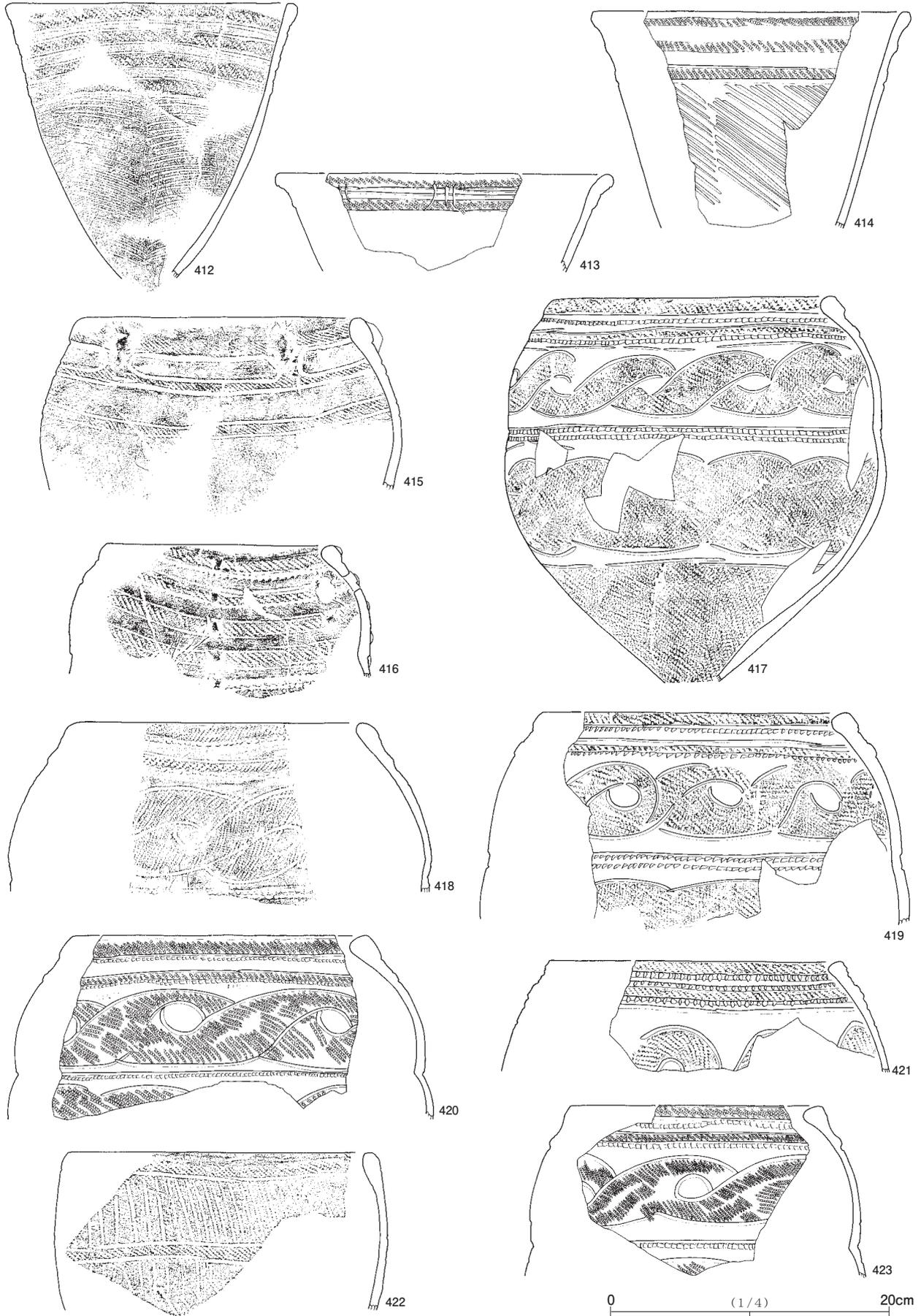
401

0 (1/4) 20cm

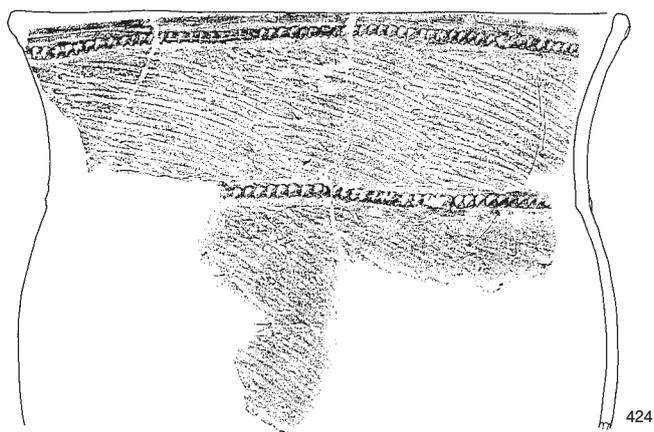
第57図 縄文土器 (39)



第58図 縄文土器 (40)



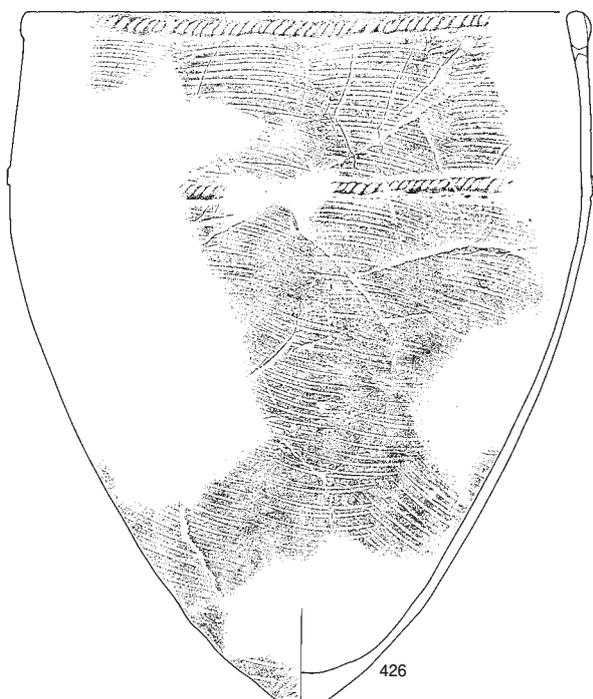
第 59 図 縄文土器 (41)



424



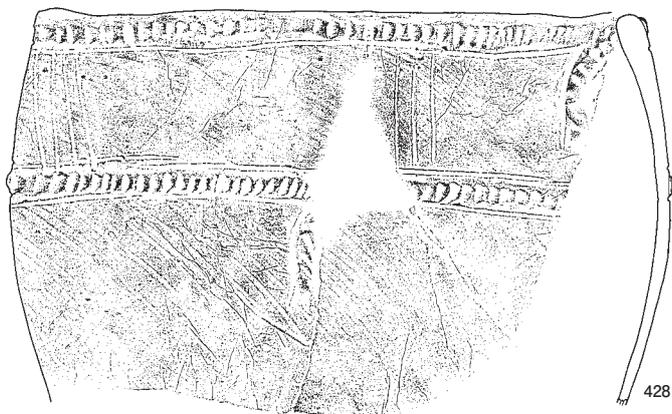
425



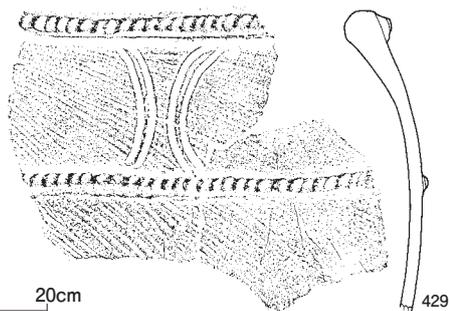
426



427



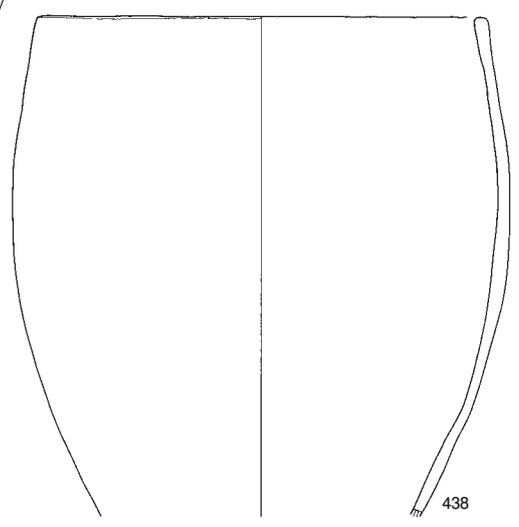
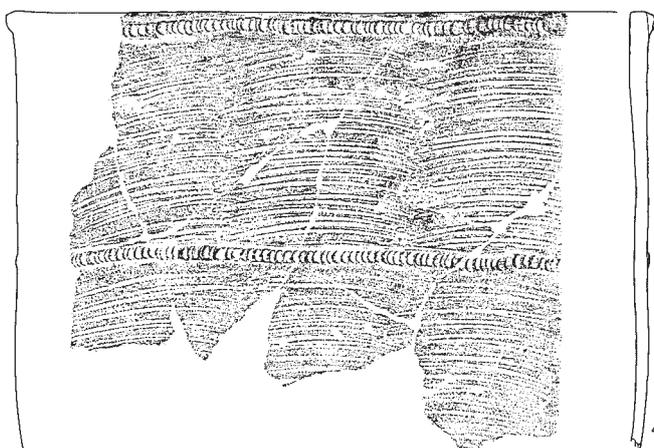
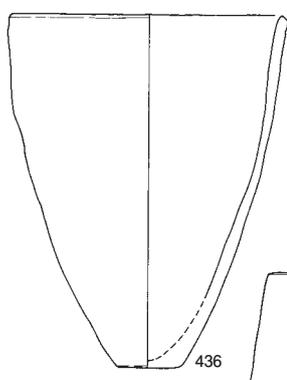
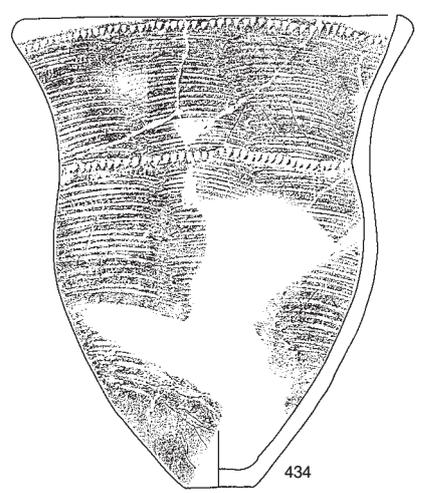
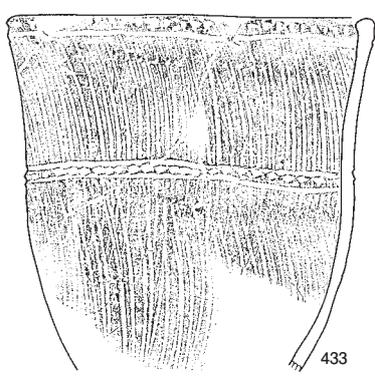
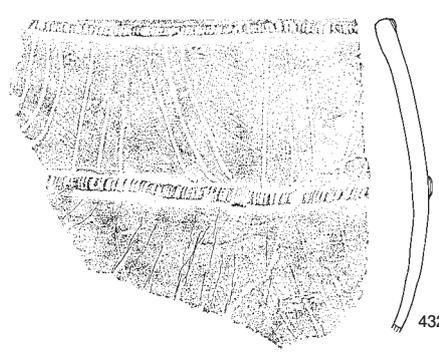
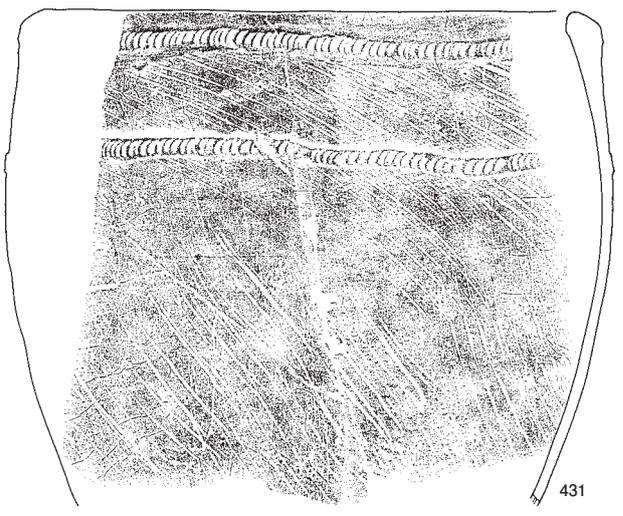
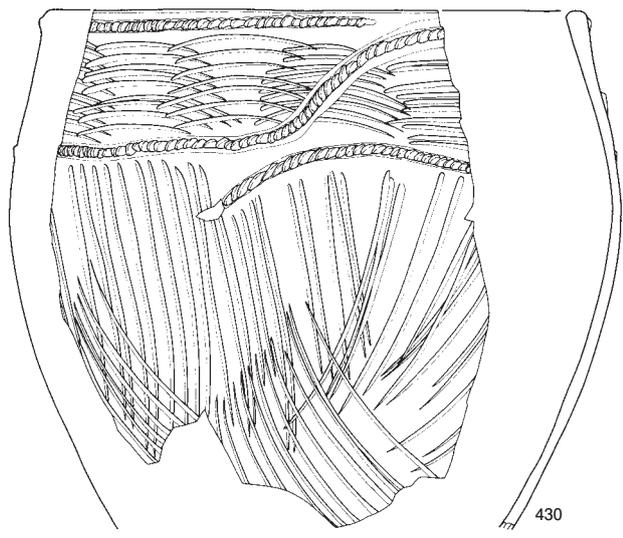
428



429

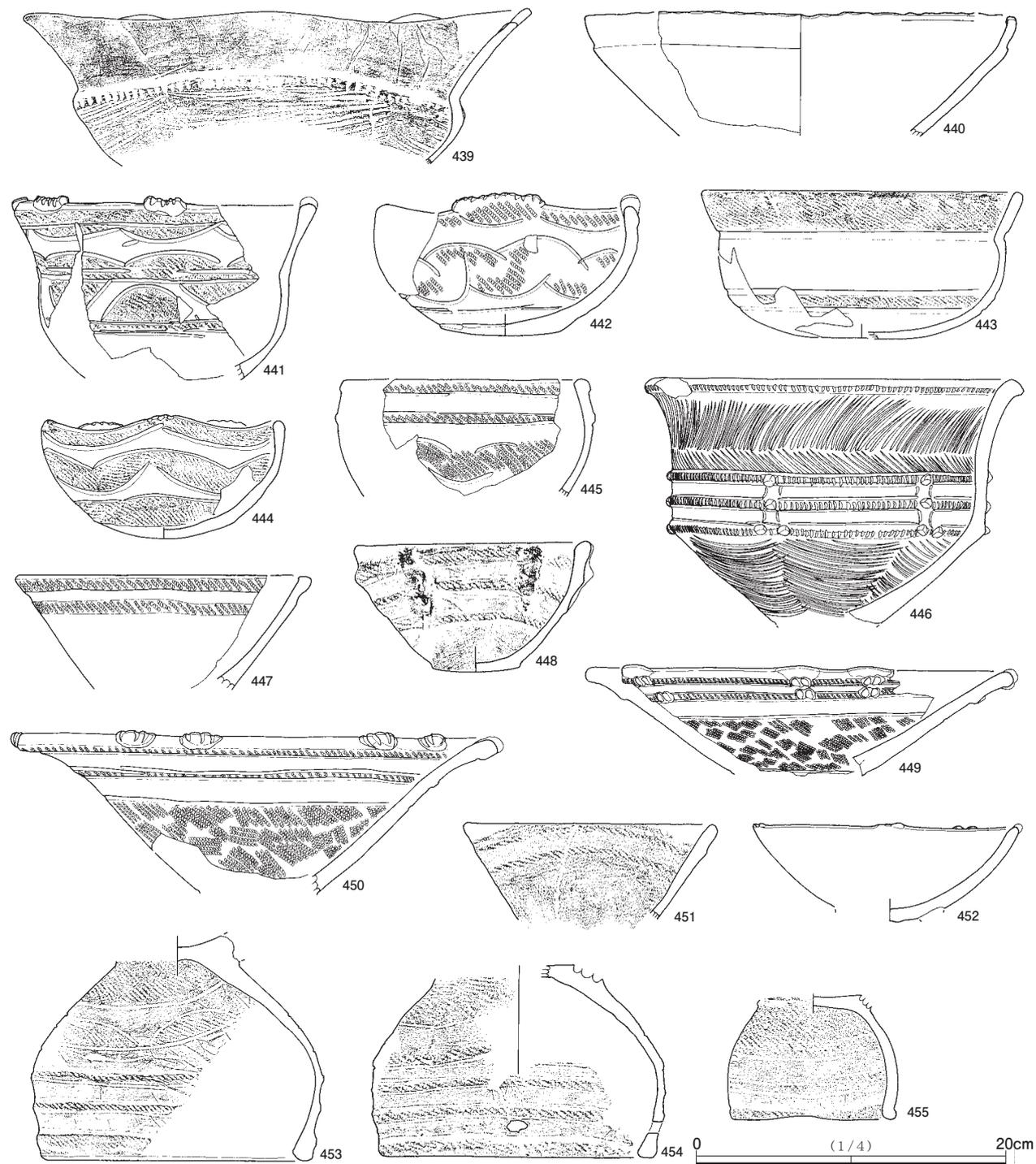
0 (1/4) 20cm

第60図 縄文土器 (42)



0 (1/4) 20cm

第 61 図 縄文土器 (43)



第 62 図 繩文土器 (44)

ている。3条の隆帯をつなぐように弧状の沈線が施され、沈線と隆帯の交点に小さな瘤が貼りつけられる。胴下半は横位（谷）に弧状の条線が施される。台部は欠損する。黒色で仕上がりは丁寧である。隆帯文間には赤彩された可能性がある。447は胴部が無文で、朝顔状に開く器形である。台付きの鉢になる可能性がある。448は第58図にある深鉢類に施文が類似する鉢である。底部はやや丸みを帯びた平底である。

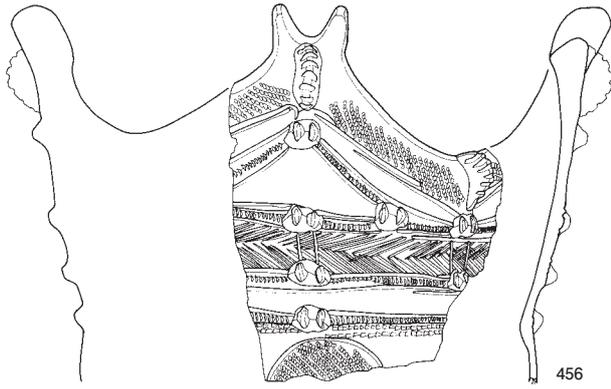
449～455は台付きの鉢の胴部および台部である。449・450はかなり口縁が大きく開く浅い鉢である。口唇部には、2個一対の次期を先取りするかのようなブタ鼻状の突起が設けられる。口縁および口縁下隆帯文には縄文が施される。無文帯以下は細かい縄文が施される。451は口縁部突起が施されていない。452は無文で、口唇部に粘土玉を乗せたかのような小突起が5単位（推定）付される。453は、台部最上段に縄文帯を施し、磨消し連弧文（山）、無文帯、隆帯文2条+脚部縄文帯を加える。454は下位に5～6単位の小孔を持つ。455の台端部は外反する。

第5類 後期後半期（安行2式期）（第63図456～第66図506，図版19・29・30）

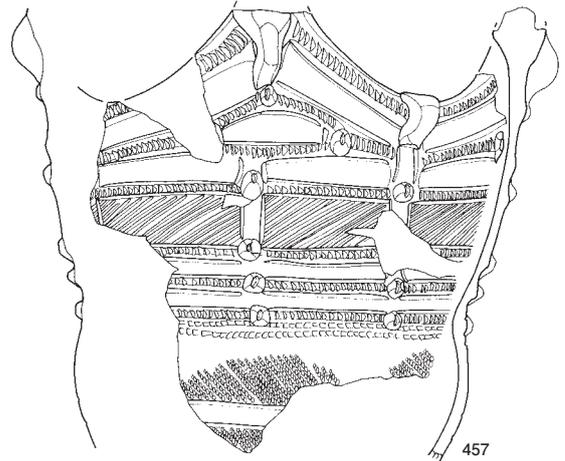
456～461は大きく開く波状口縁を有する深鉢である。456の波頂部はネコ耳状に二つに割れており、5単位になると推測される。波頂部直下には半円形の貼り付け文が7単位の刻みを付けて設けられている。口縁下には縄文帯が巡らされ、細隆帯文により波状部下には三角文がみられる。細隆帯にはヘラ状工具による刻みが附される。この細隆帯により数条に区画され、安行1式系にもみられたヘラによる横位羽状条線が施される。波状部あるいは波状部から降りた交点には貼り付け文が附され、細隆帯には横長の瘤が貼り付けられる。棒状工具による2個一対のいわゆるブタ鼻状の押圧がなされる。胴部中央は連続半弧状文と磨消し縄文による施文が行われているものと思われる。457は波状部5単位で、細隆帯上に付される貼り付け瘤には1個の押圧が施される。458の口縁波状部が4～5単位である。ブタ鼻状の瘤へ付けられる押圧は胴が締まるころまでは2個一対のブタ鼻状瘤であるが、胴下半の連続半弧状磨消し縄文帯に入ると3個の押圧を施しており、ブタ鼻状ではなくなっている。459は細隆帯文上に縄文が施される。貼り付け瘤は小型あるいは崩れたような瘤ではあるが、2個一対のブタ鼻状となっている。胴下半部にはこの貼り付け文が縦位となり、3個の押圧となっている。460は波状部3単位か。頂部に円形の孔が施される。461は大きく伸びる波状部が1か所であるが、この大型波状部の両脇に小波状部があるため、大および小の波状部で全4単位となるかあるいは大1、小2かもしれない。この時期になると、奇数単位が主となる傾向があるため大1、小2の可能性が高い。

464～486は口縁が平縁タイプのものである。口縁直下に楕円を配した磨消し縄文帯を設け、胴部には連続半弧状文帯といった、安行1式期から続くこの型式において、オーソドックスな施文が多くみられる。この平縁型深鉢では、瘤の貼り付けの配置が少ないとされるが、当遺跡においては通常の例として配置される。464は通常用いられる磨消し縄文を用いない連続するJ字様半弧状文のタイプと言えようか。沈線とヘラ状工具（幅8mm程度）による簡素な施文である。無文部の磨きは丁寧に仕上げられている。473は磨消し縄文を用いたものである。465は肩部まで磨消し残しの縄文がみられる。胴下部には煤などの付着および吹きこぼれを思わせる痕跡などが目立つ。467は口縁に一対と思われる2個の貼り付け突起を設ける。

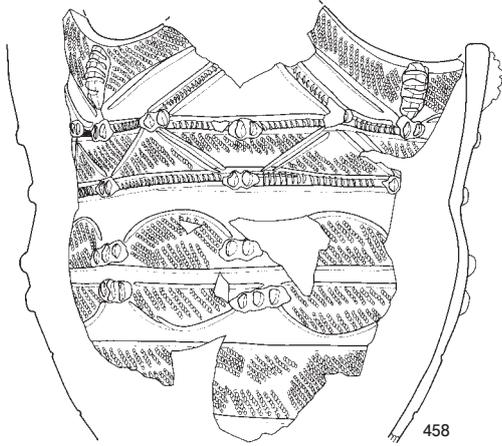
471は口縁部に6単位の貼り付け突起を設け、頸部は無文となり、肩部に縄文帯を設け、胴下半部も無文で仕上げているようである。胴部には口縁の貼り付けに対応するようにブタ鼻状瘤がみられる。475は小型の深鉢で、底径が2.5cmと小さい。476は入り組文様に2段に見えるように組んでいる。最下段の磨



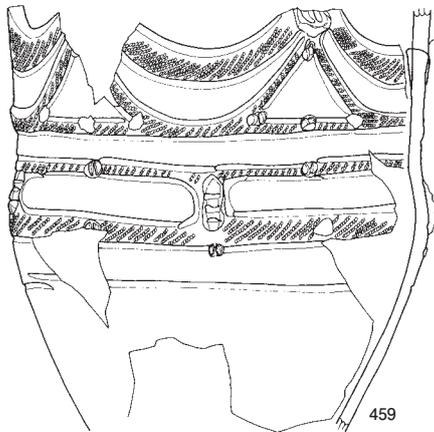
456



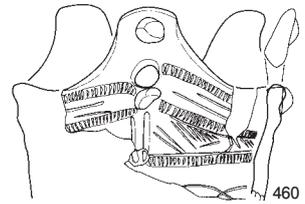
457



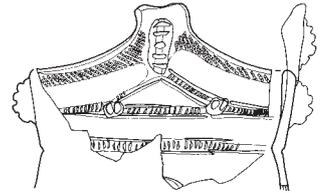
458



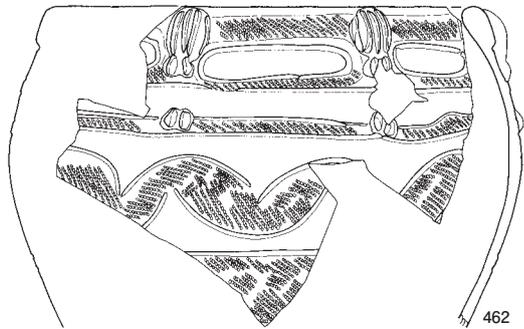
459



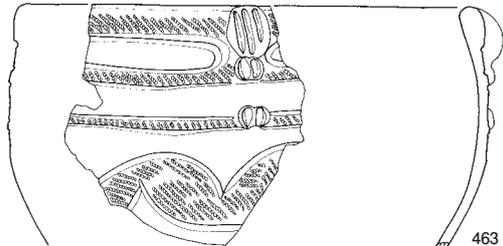
460



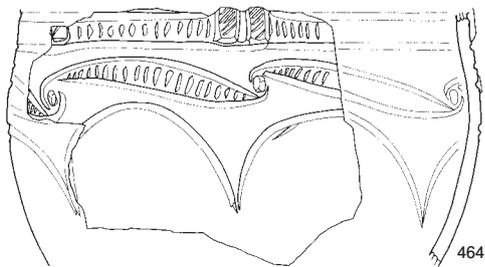
461



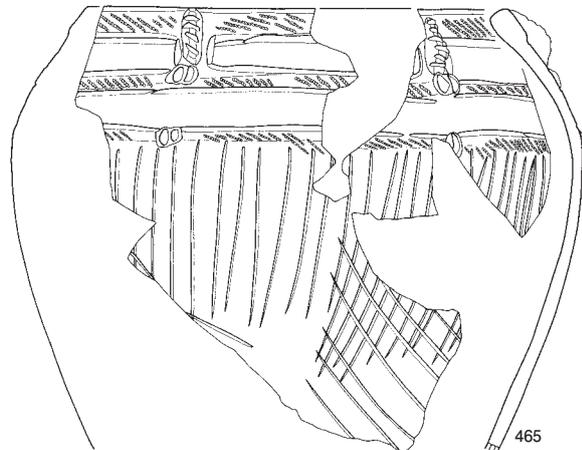
462



463



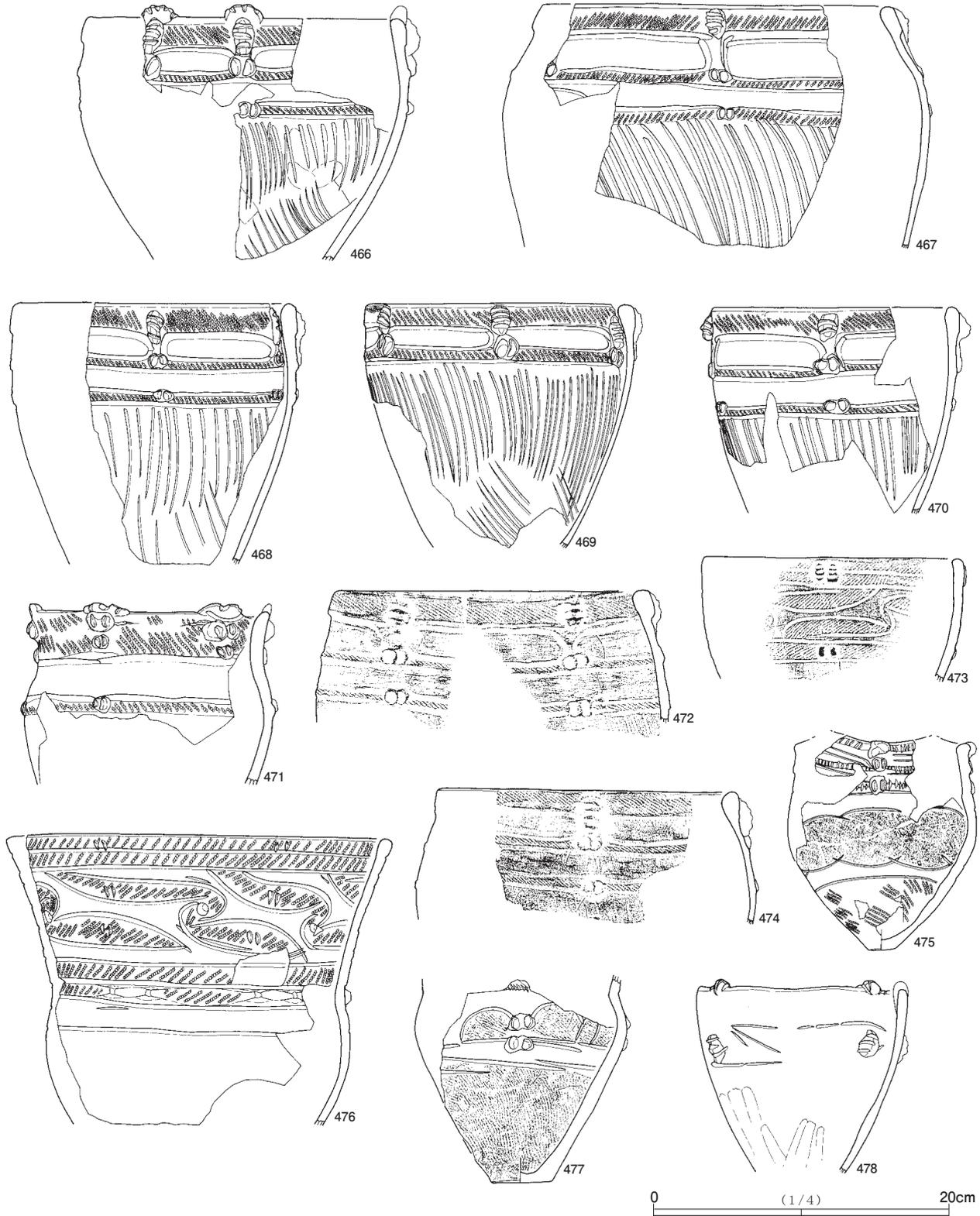
464



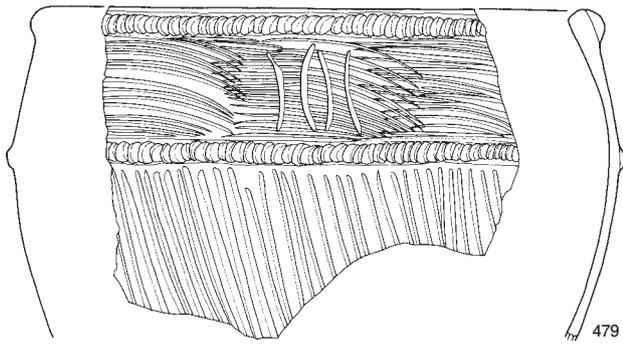
465

0 (1/4) 20cm

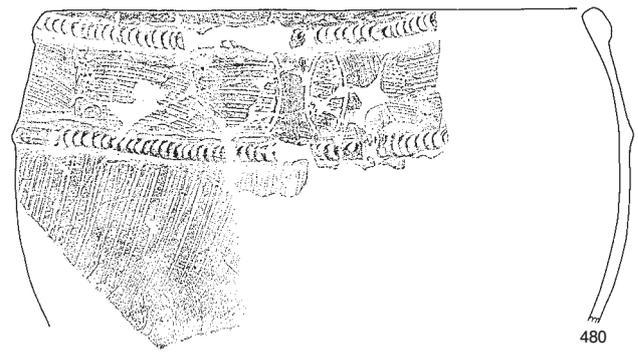
第 63 図 縄文土器 (45)



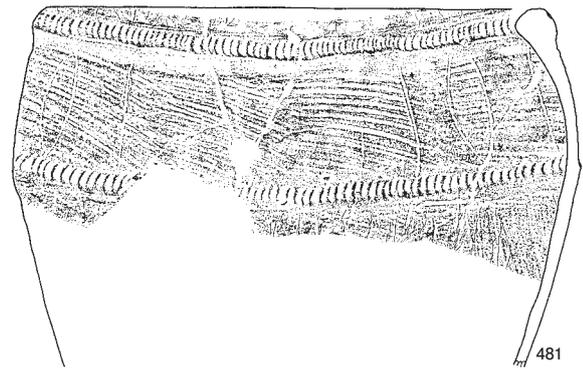
第 64 図 縄文土器 (46)



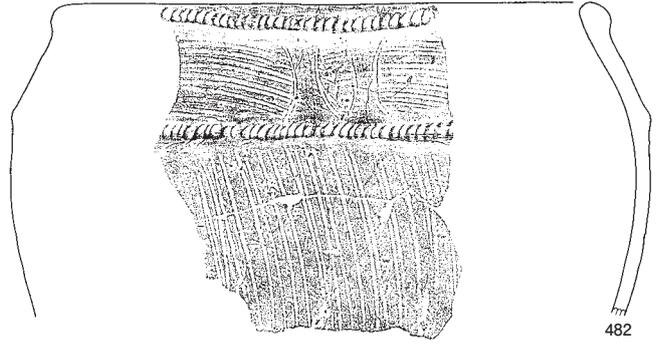
479



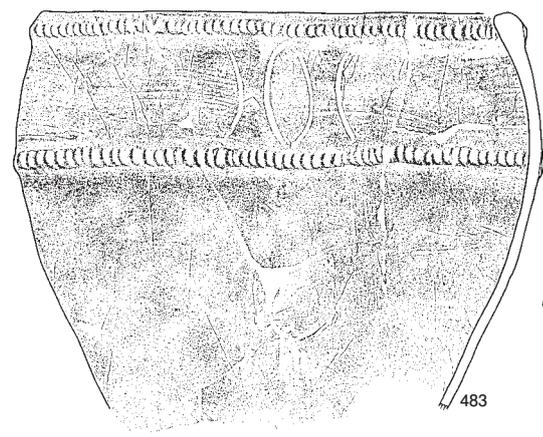
480



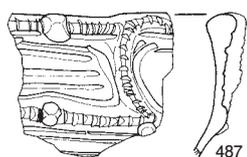
481



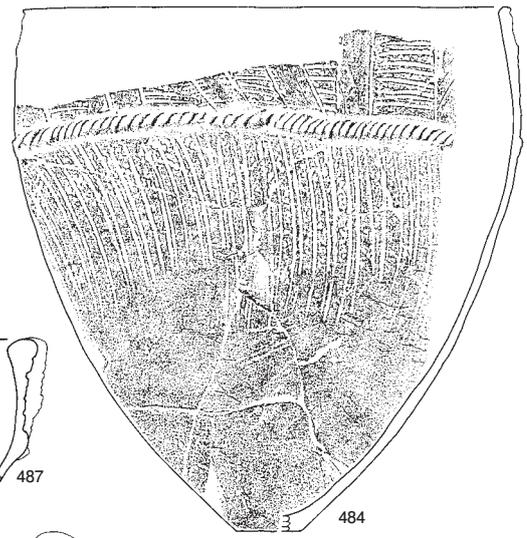
482



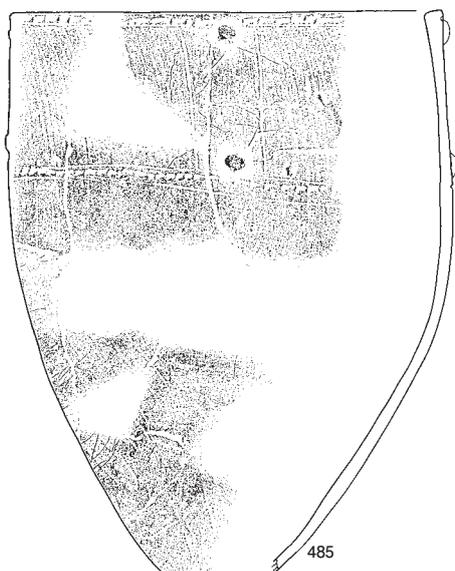
483



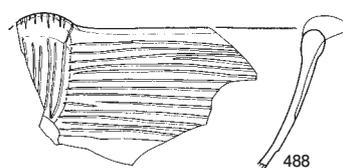
487



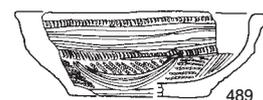
484



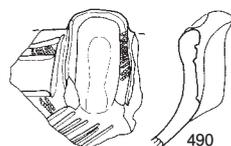
485



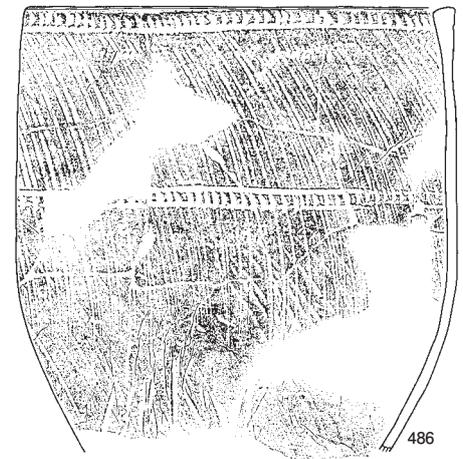
488



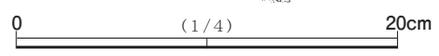
489



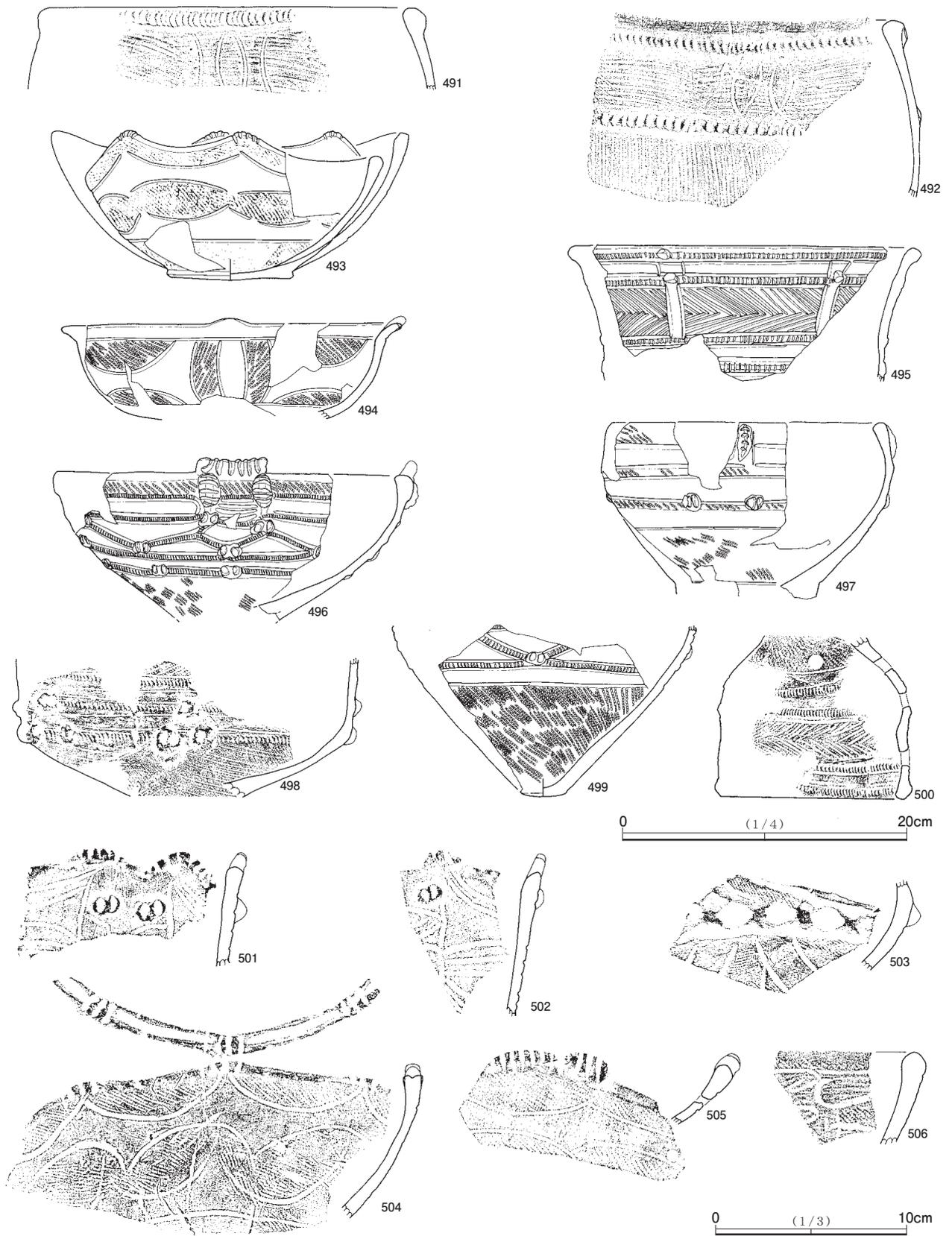
490



486



第 65 図 縄文土器 (47)



第 66 図 縄文土器 (48)

消し縄文帯内に2個一対の縦沈線が付けられる。ブタ鼻瘤の意匠であろうか。465～470は口縁部に楕円区画を設け、頸部から下が斜位の粗い条線による施文である。478は無文で、あまり丁寧とは言えないヘラ削りが全面に施されている。口縁に貼り付け突起が2個残る。4～5単位で突起が付けられていたか。487は雑な仕上がりで、ヘラによる刻みを多用したものである。488は浅鉢状になるか。479～486・491・492は口縁が内湾し、基本的に2条の隆帯（爪形または刺突など付加）を施し、区画内に弧線や縦横の条線を組み合わせた文様を施したものである。485のみ2個一対4単位の丸鋳状の貼り付けがみられる。

499は小型の鉢か。外面に火を受けた様子はないが、内面がかなり荒れている。493は緩やかな楕円状の鉢である。楕円頂部には2個1単位と思われる波状部がみられる。頂部には4ないし5条の沈線を施す。胴部施文は、精製の深鉢類に類する磨消し縄文による連続半弧状文の組み合わせである。磨消し部や内面はよく磨かれている。ただこの文様構成は、安行1式期あるいは曾谷式期にもみられる。495は第66図のグループとなろうか。明瞭な沈線とヘラ状条線による施文である。口縁部を中心に赤彩の痕跡が残る。

494は浅鉢である。半弧状あるいは縦位沈線で区画を施し、磨消し縄文で構成する。496～498は台付きの鉢であろうか。496の細隆帯は非常に細かい刻みで飾られる。無文部の磨消しは丁寧に仕上げられている。498は496等に比べると口縁部が直角に近く立ち上がる。500は台付き鉢の台部である。3段の円形の孔が各段4～5孔開けられている。必ずしも位置が定まっていなかったが、上段と最下段が同じ位置にあり、2段目、3段目をそれぞれずらして開けているようである。

501からは破片であるが、頂部に特徴のあるものを掲載した。501は平縁に2個一対の小波状部を設けたものである。沈線で地文を構成し、ブタ鼻瘤を一対で設定する。502は1個となる。503は隆帯の変形であろうか。太隆帯上に大きく指で押し込んだ刺突がみられる。504は口唇部に沈線を設ける。口縁部半弧状文の頂部ごとに2個一対の小突起を設けている。口縁全体で6対～7対程度と推定される。

5 第5群 縄文時代晩期の土器群（安行3a式期～3b式期）

縄文時代晩期前葉の土器群である。縄文土器群は本類をもって存在を減少させてゆく。安行3b式期以降に関しては東関東圏各時期の破片類を主として残すもののその影は薄くなる。

第1類（安行3a式期）（第67図1～第72図174, 図版31～34）

おおむね安行3a式期と考えられる一群である。1は平縁の深鉢で、最大径はかなり上位にある。口縁は肩部から内傾し、口縁部は直立する。口唇部に設けられる貼り付け状突起は2単位現存する。全体として5～6単位の可能性がある。6・8・10は前時期より続く半弧状文を用い、型式の継続性がみられるとともに、三叉文、入り組み文などの流れを取り入れている。2～5・7は大波状口縁を特徴とする深鉢である。4・7は口縁下の三角文の入り方からすると安行2に近いものか。波状口縁また平縁の貼り付突起とともに、4単位になるものが多くみられる。これら平縁土器・波状土器ともに精製の深鉢は黒褐色で、内面および外面無文部はよく磨かれている。2には赤彩の痕跡が残る。11・12は紐線文系粗製の深鉢である。かなりの大型となり貼り付けられた紐線も大ぶりである。胎土中に小砂粒を含み、粗い胎土である。13～25は精製の鉢類をまとめた。13は浅鉢で、平面形はやや方形にみえる。図示した位置を正面とすると、口縁上の突起は、一対のやや大型の突起に挟まれるように小突起が3個作られ、計5個の突起となる。このためこの位置が幅広となり方形状になる。この正面突起に対応し、裏側には正面同様のやや大型の突

起と、波状の2個の山形突起が付けられ、4個1単位のもので作られる。横面にはこの山形2個一対の突起と同類のもので作られている。以下連続半弧状文、三叉文、入り組み文などが施文される。底面はやや丸みを帯びた平底である。黒褐色で、内外面とも磨きが丁寧になされている。17は口縁部に小突起を7個付ける。正面と意識している部位には2個一対で突起を設け、焼成後であるが小孔を突起下に開けている。底面はやや丸底である。14～21の鉢類は肩部にツバ状の突起が張り出している。

22は小型の鉢で、口縁がやや外反しつつ直立する。口縁部には縄文を附し、肩部には入り組み文が施される。胴下位は地文に縄文を付した後、全面を磨消して無文化している。25の口縁部には突起の貼り付けなどはなく、指頭による凹みを設けている。遺存部から推定して全8単位と考えられる。24は台付き鉢になる。肩部に突起の張り出しが付く。口縁は平縁で、15・18のように大型の口縁突起を設けるものが見受けられる。26は器台であろうか。端部は大きく平坦に外に伸び、口縁部はやや立ち上がり、波状を示す。この波状部に山形の沈線と三叉状文が組み込まれている。この立ち上がり部には縄文が施される。赤彩されていた可能性ある。31は玉抱き三叉文に含めて良いものか。玉部は穿孔である。入組状文から三叉文に付け足しのような魚の目状の小さな点(43・53・102・125)または三叉文をつなぐ点(46)、入組状文(3・34など)を大きな丸に抱かせる(31・38・49)、など三叉文から玉抱き三叉文への過程をみるかのようないくつものバリエーションがみて取れる。破片類は摩耗が目立つため確認しきれないが、48・106・125には赤彩の痕跡が残る。48は三叉文の間にひさし状の貼り付けが施される。台付の可能性もある。

第2類 (安行3b式期以降) (第72図175～第76図402, 図版34～37)

この時期からは全体がみられるような個体の出土は減少し、破片がほとんどである。主に深鉢系の口縁から胴部がみられるが、やや摩耗した小片が主であり、当遺跡において以降存在感が薄くなる。194～198は沈線文により施文が行われ、当該期以前の系統をもつ。これ以降土器の施文は幾何学状施文に依ってゆく。口縁にはヘラで切り込むような刻みが多くみられる(207・208・224・236～240・243)。文様区画内は磨消し縄文による施文はほとんどみられなくなり、細密沈線により施文が施される。安行3c式期になるとその存在はますます薄くなり、第75図338～380までの小片を残すのみである。区画内施文はこの時期の特徴的な列点によるものがほとんどとなる。

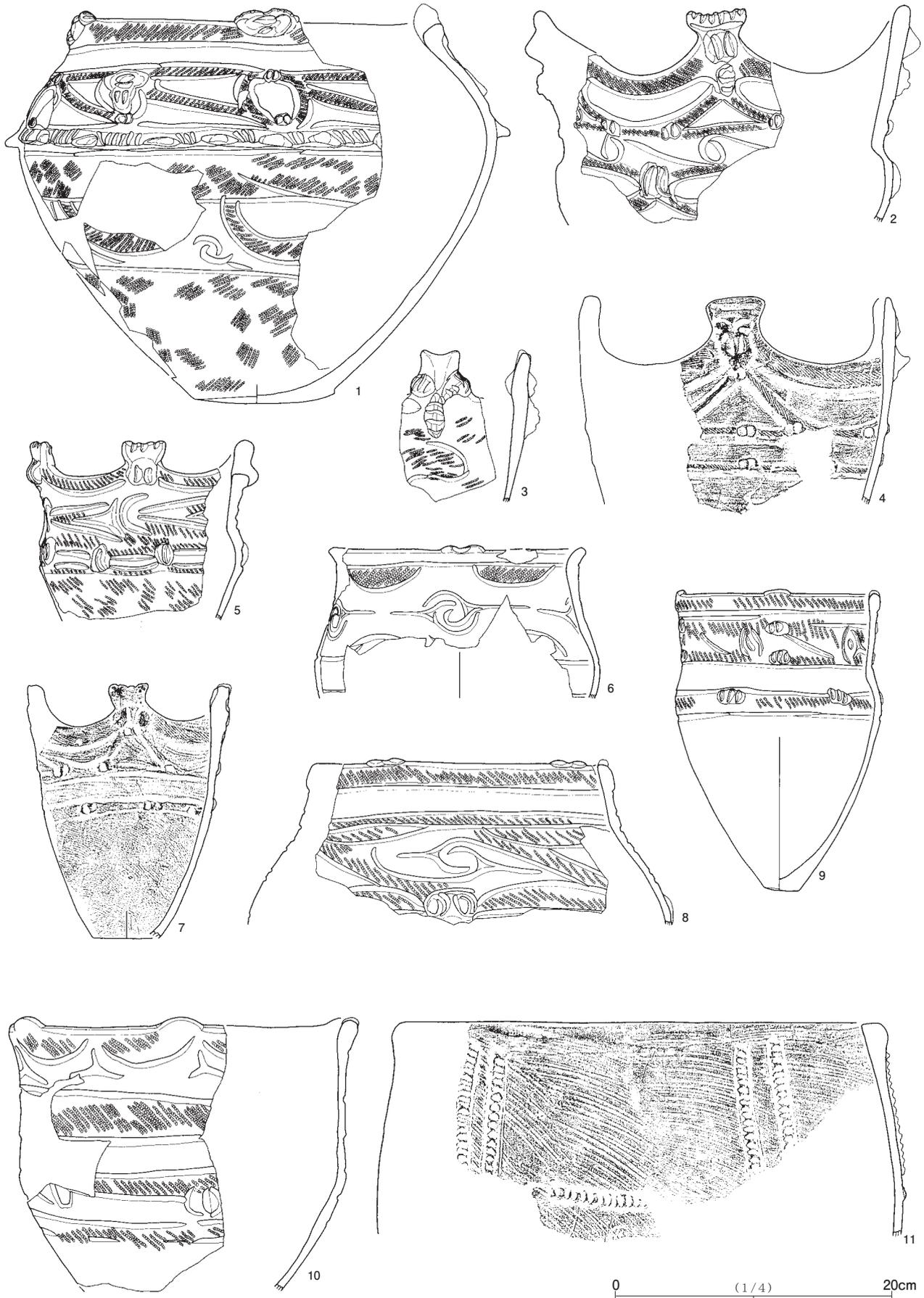
安行3d式期に関しては、381～384が相当する。主に入り組み文系の施文がみられる。

第76図は安行3式期と思われる無文の土器である。391～393のように無文土器にも小突起が付けられる。396は口縁部および口唇部に小突起状の貼り付けらしき痕跡が残る。同一個体ではないと思われるが、399はほぼ底部付近である。尖底状に底部が絞込まれて、煤状のものが付着する。401・402も同様に薄手の土器であり、製塩土器と思われる。

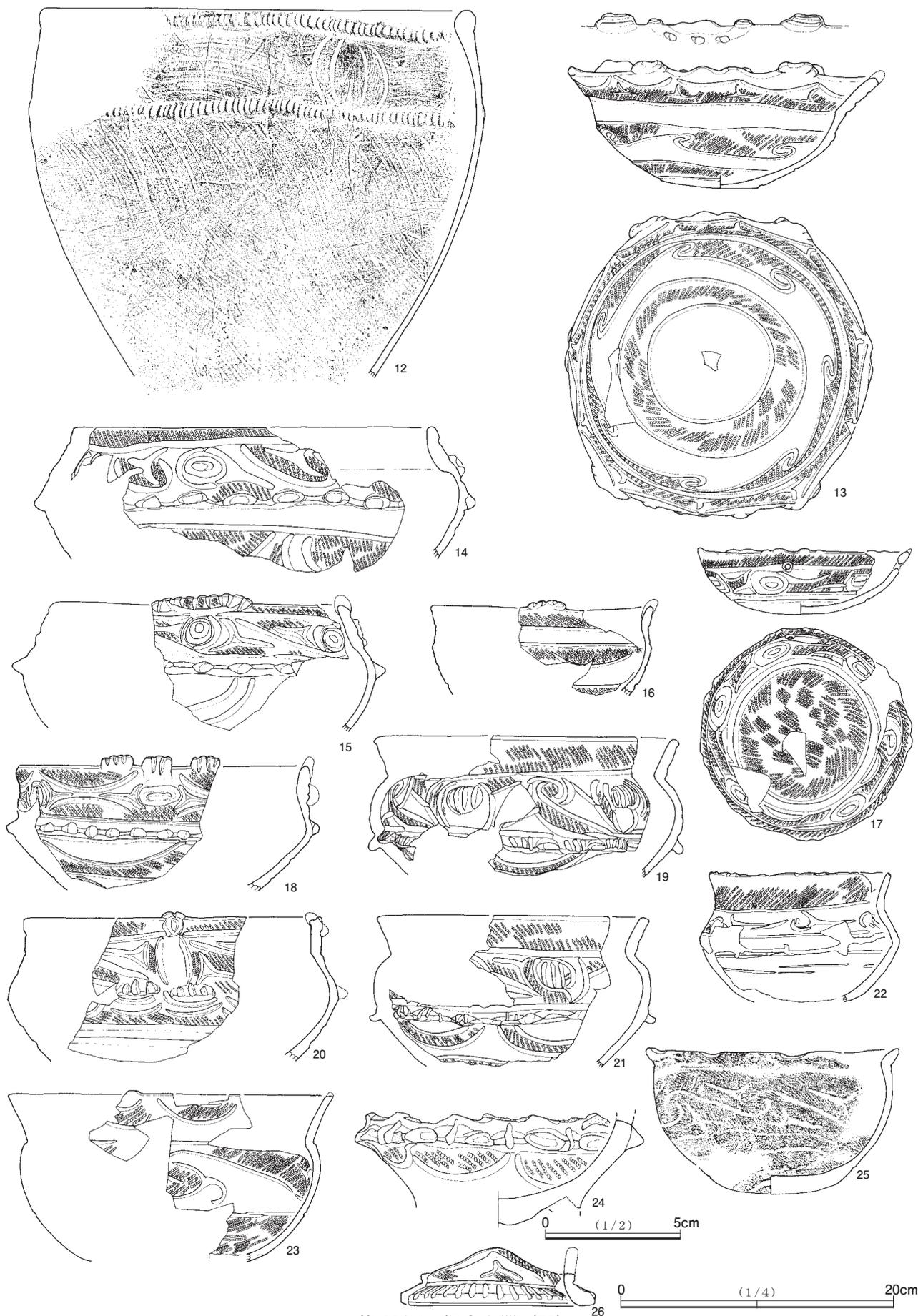
第3類 縄文時代晩期後半 (安行系以外の土器) (第76図403～第78図482, 図版32・37・38)

縄文時代晩期後半においては、姥山式期から前浦式期および、ごく少数ではあるが荒海式期のほか、大洞式系の土器の出土もみられる。破片のみで出土量も少なく、当遺跡においてはごく少ない客体的な存在であったといえよう。

第77図はいわゆる姥山式期の一群である。曲線文、菱形の区画文などが特色にあげられ、また三叉文を持たないなどこのグループの特徴がみられる。規制が強いこの時期ではあるが、線弧文の組み合わせが多様であり、404のように口縁部から胴上半は楕円と曲線、胴下半は条線となる。411のように水かき



第 67 図 繩文土器 (49)



第 68 図 縄文土器 (50)



第 69 図 繩文土器 (51)

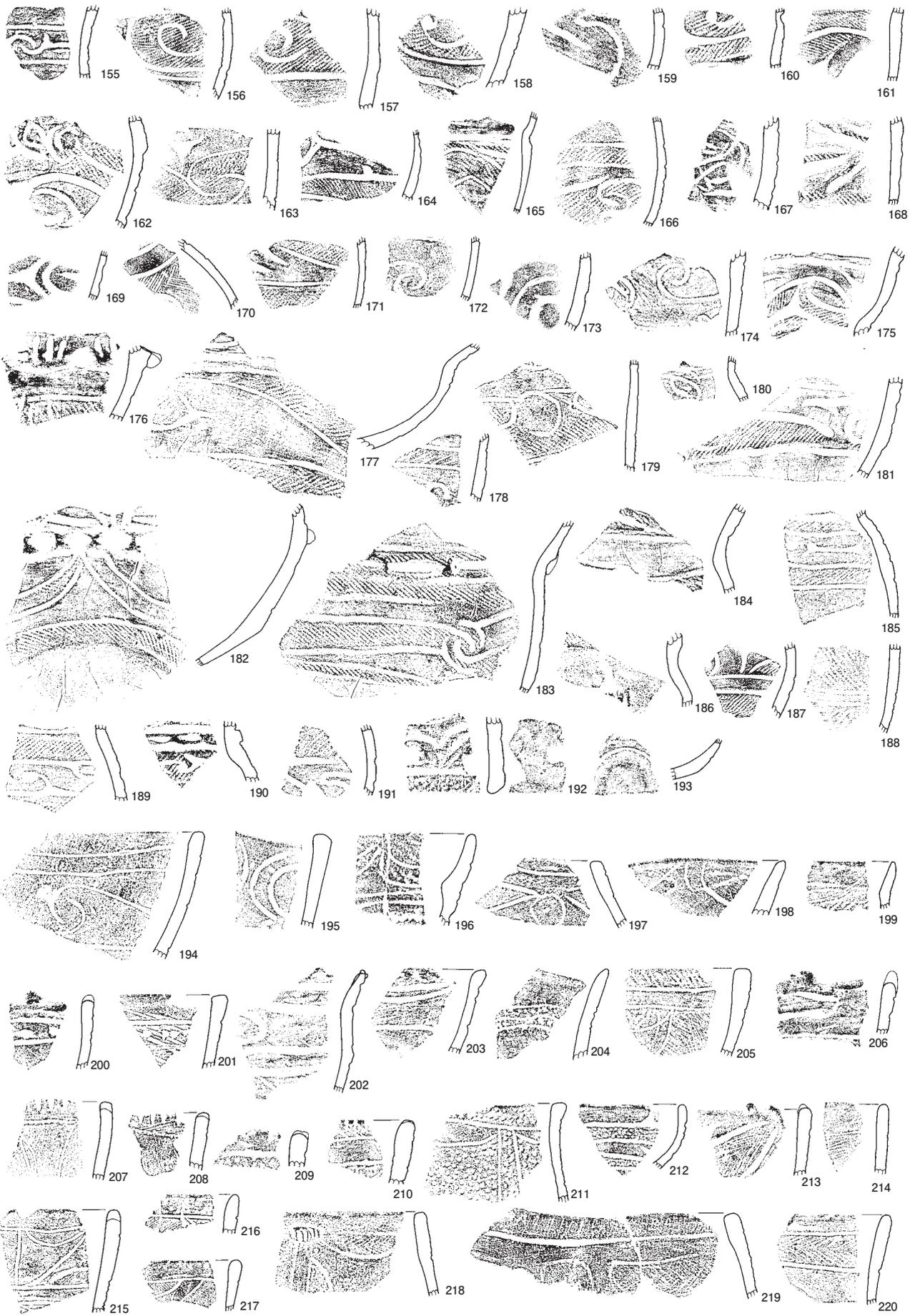


第70図 縄文土器 (52)



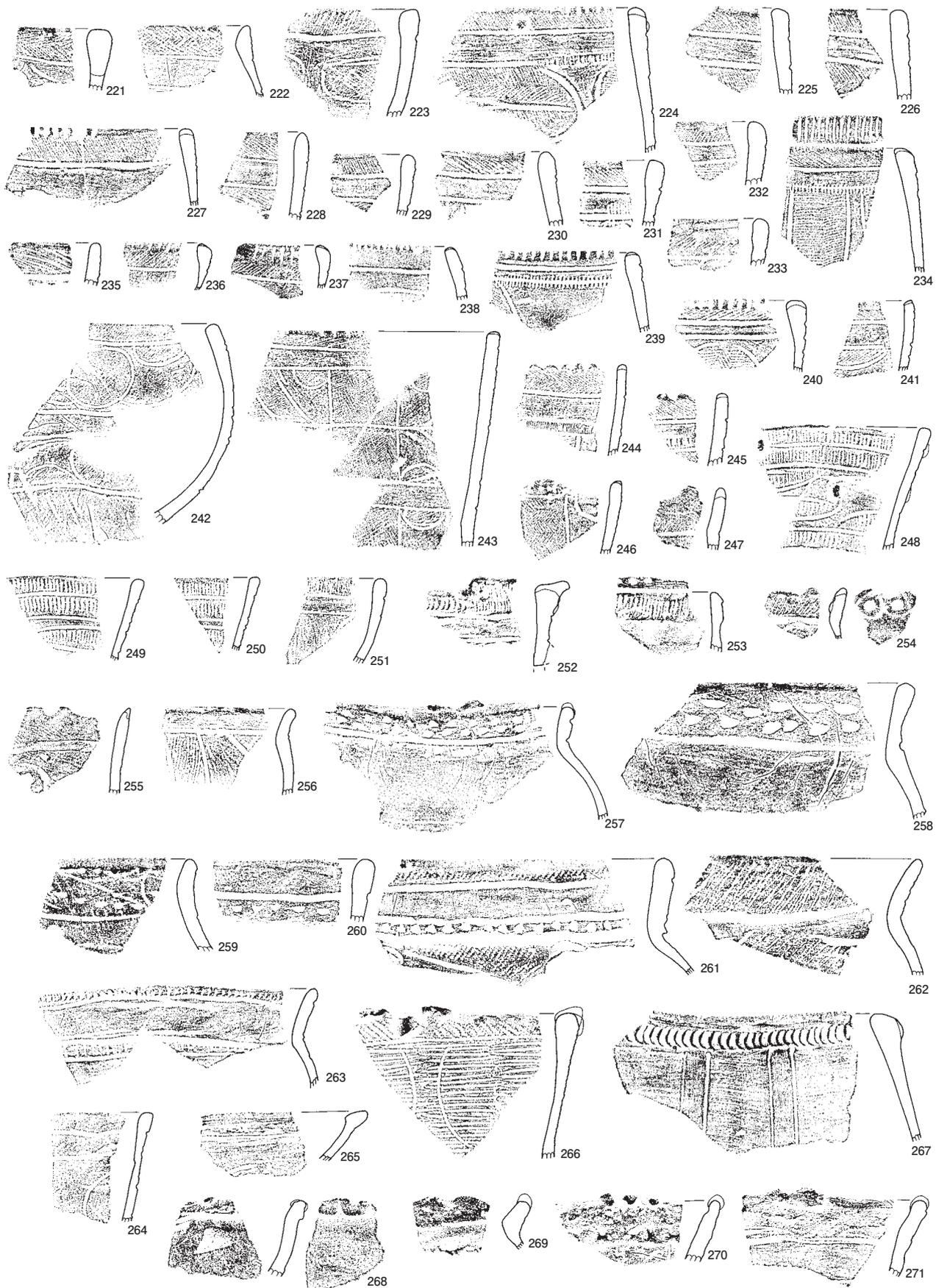
第71図 縄文土器 (53)

0 (1/3) 10cm

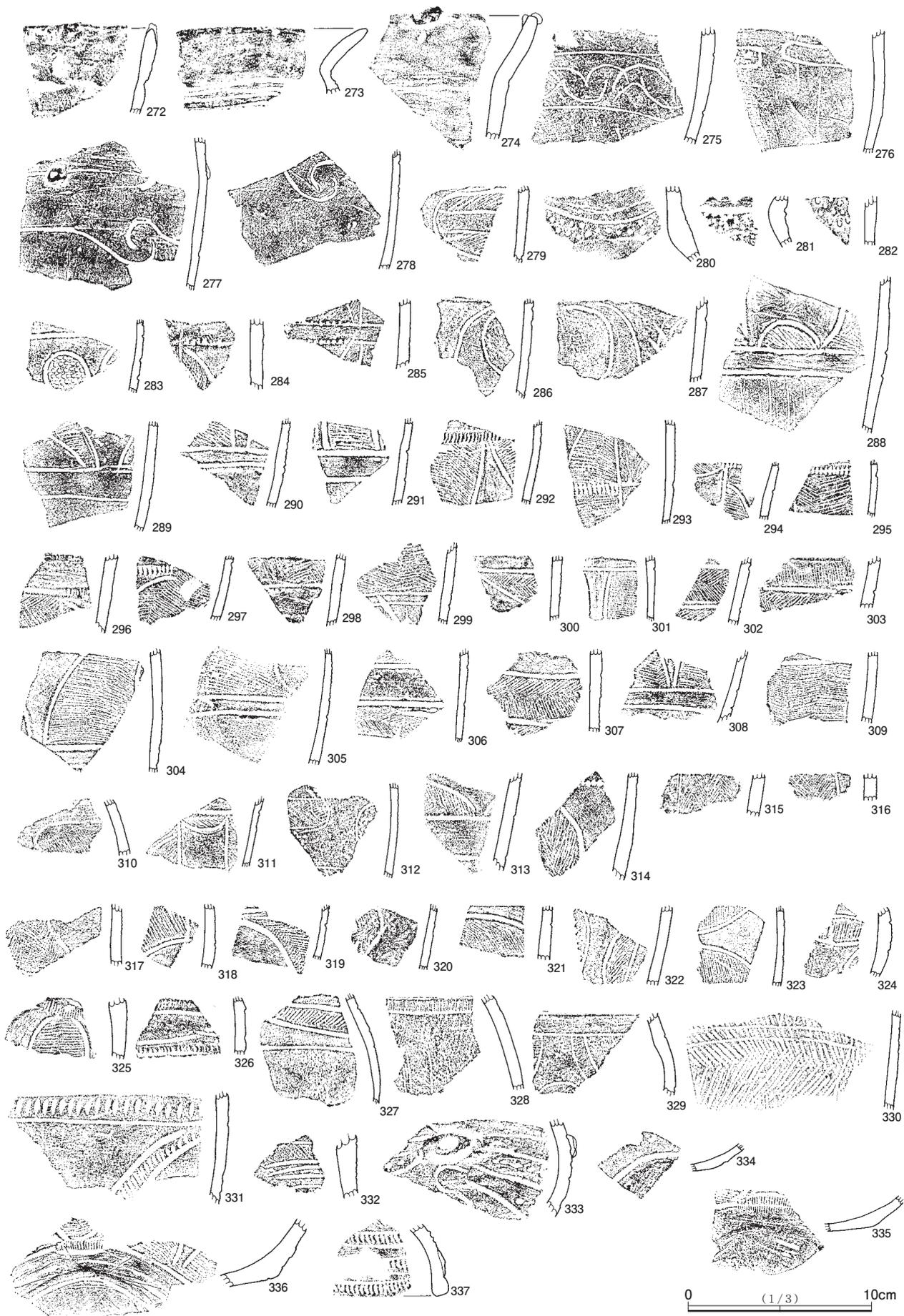


第72図 縄文土器 (54)

0 (1/3) 10cm



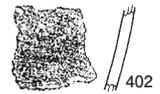
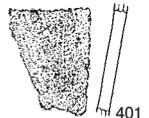
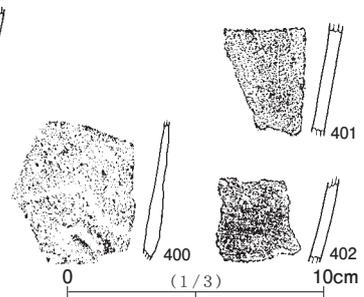
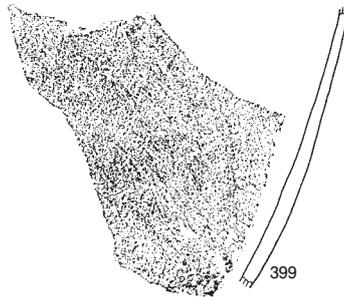
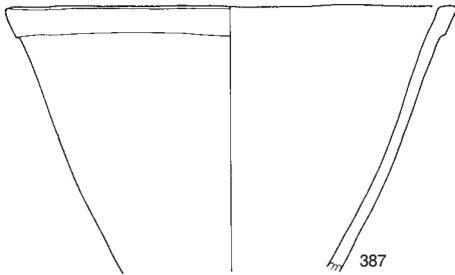
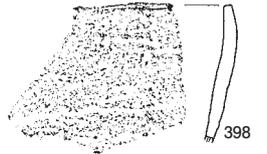
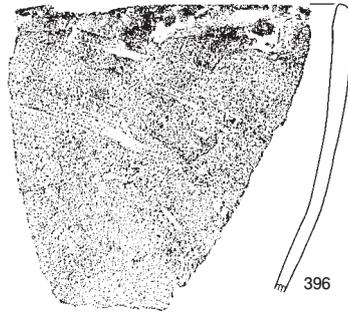
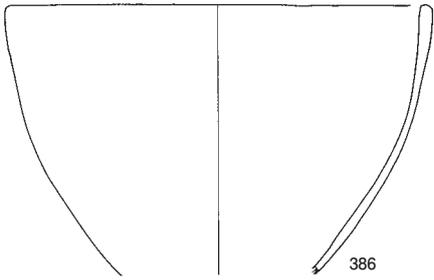
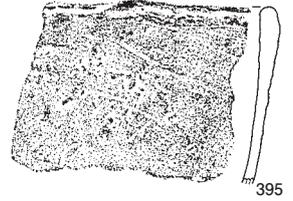
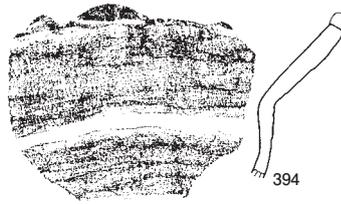
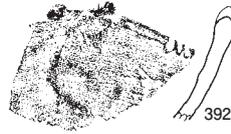
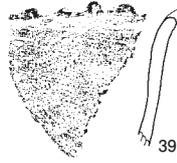
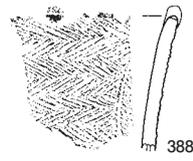
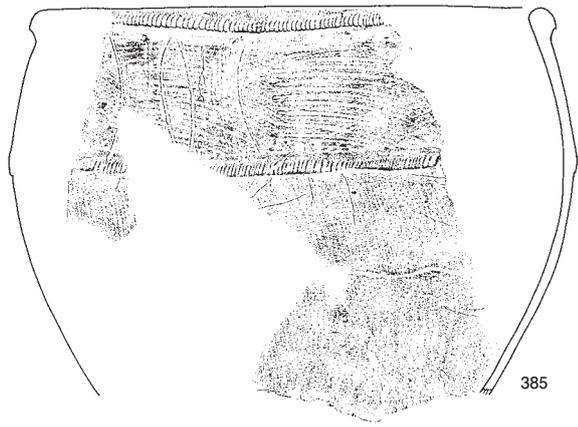
第 73 図 縄文土器 (55)



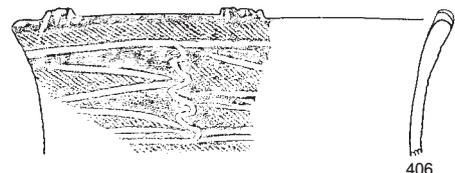
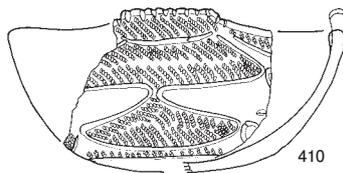
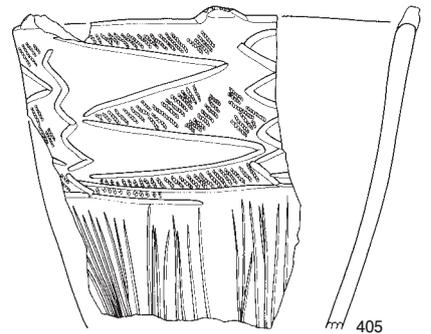
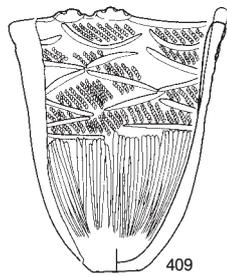
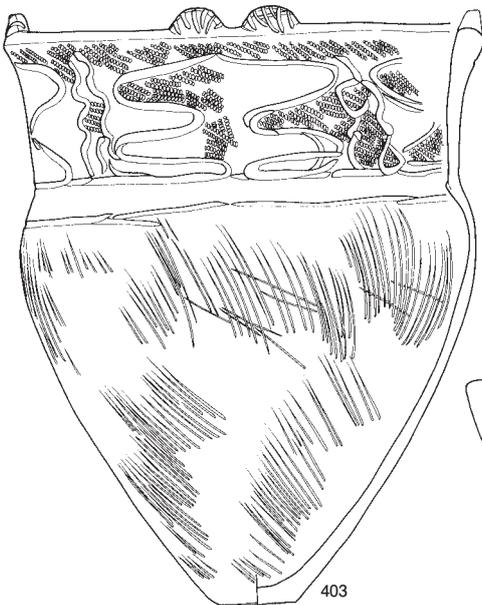
第74図 縄文土器 (56)



第75図 縄文土器 (57)

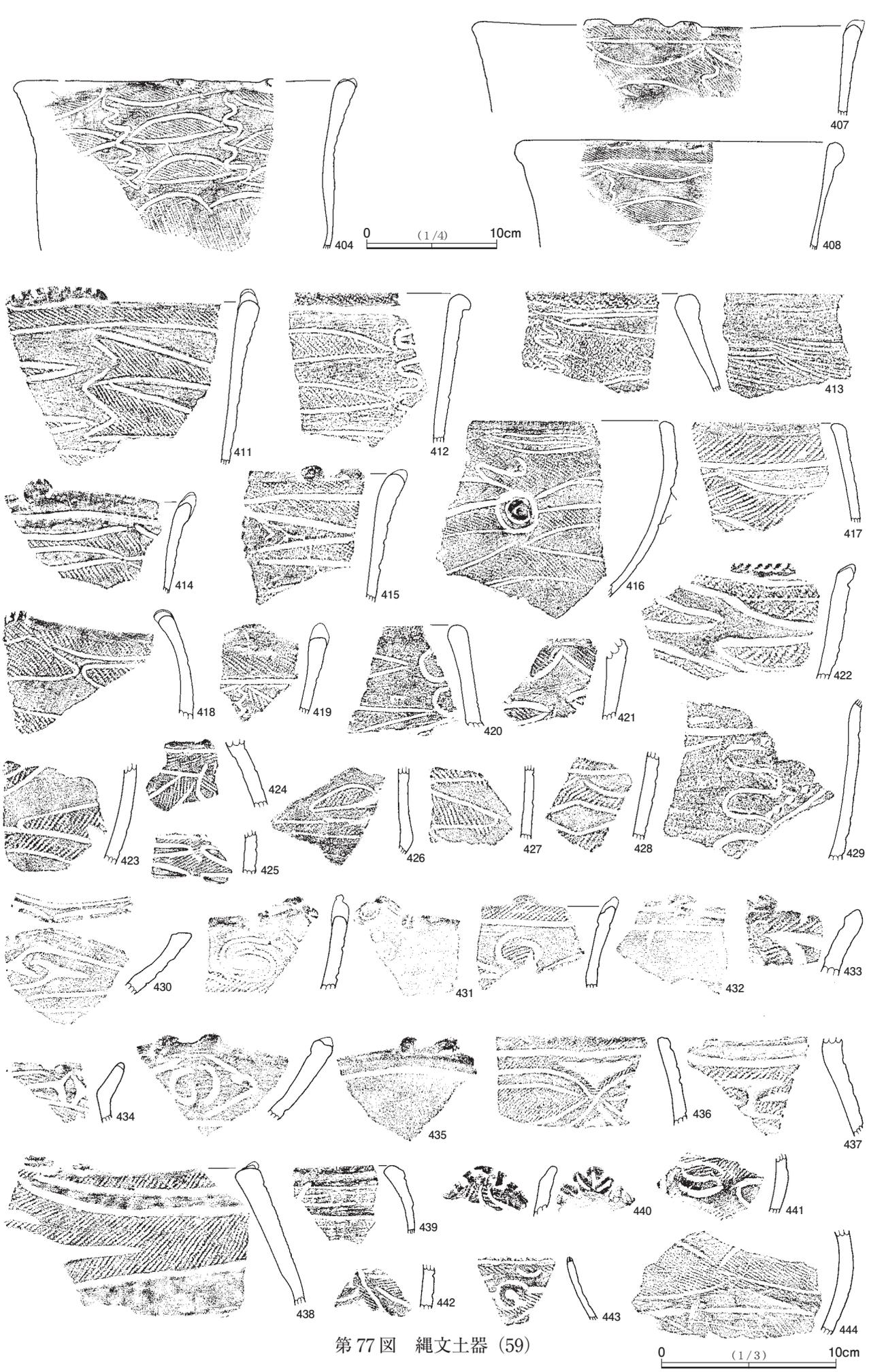


0 (1/3) 10cm



0 (1/4) 20cm

第76図 縄文土器 (58)



第 77 図 縄文土器 (59)



第78図 縄文土器 (60)

状に組み合わせるなど興味深いものもみられる。第77図は前浦式期を一括した。431などのような「の」字状文はこの時期の特徴とされる。453のような入り組み文は、前浦式でも後半期とされるものであろうか。430～434を前浦1式期、435～439を前浦2式期としてみる。440～444は前浦式期と思われるが安行式系後半期とも言える存在である。

第4類 大洞系土器（第8・78図，第4表，図版38）

第78図は大洞式系の土器を一括する。時期的には大洞B式期～大洞A式期か。までがみられる。器種的には鉢あるいは壺系が多いか。図示したものが、出土量のほとんどとなる。445・446・448～451は大洞B式期、452～457は大洞B-C式期にかけてと思われる。羊歯状文が形式化して付けられる。458～471・473・474・476・477は大洞C式系と思われる。447・472は大洞C2式か。475は大洞A(?)式か。469は小型壺と思われ、赤彩が施される。いずれにせよ、小片であり明確に区分しきれないが、縄文時代晩期後半期においては、当遺跡も広く東北圏と関連をもって、存在したことが確認されるものである。

第78図は、縄文時代晩期最終末期とされる、荒海式期のものと思われる土器である。これらも図示したものがすべてである。482は台付の脚部で、粗い縦の条線を器面に施す。粗雑な胎土である。

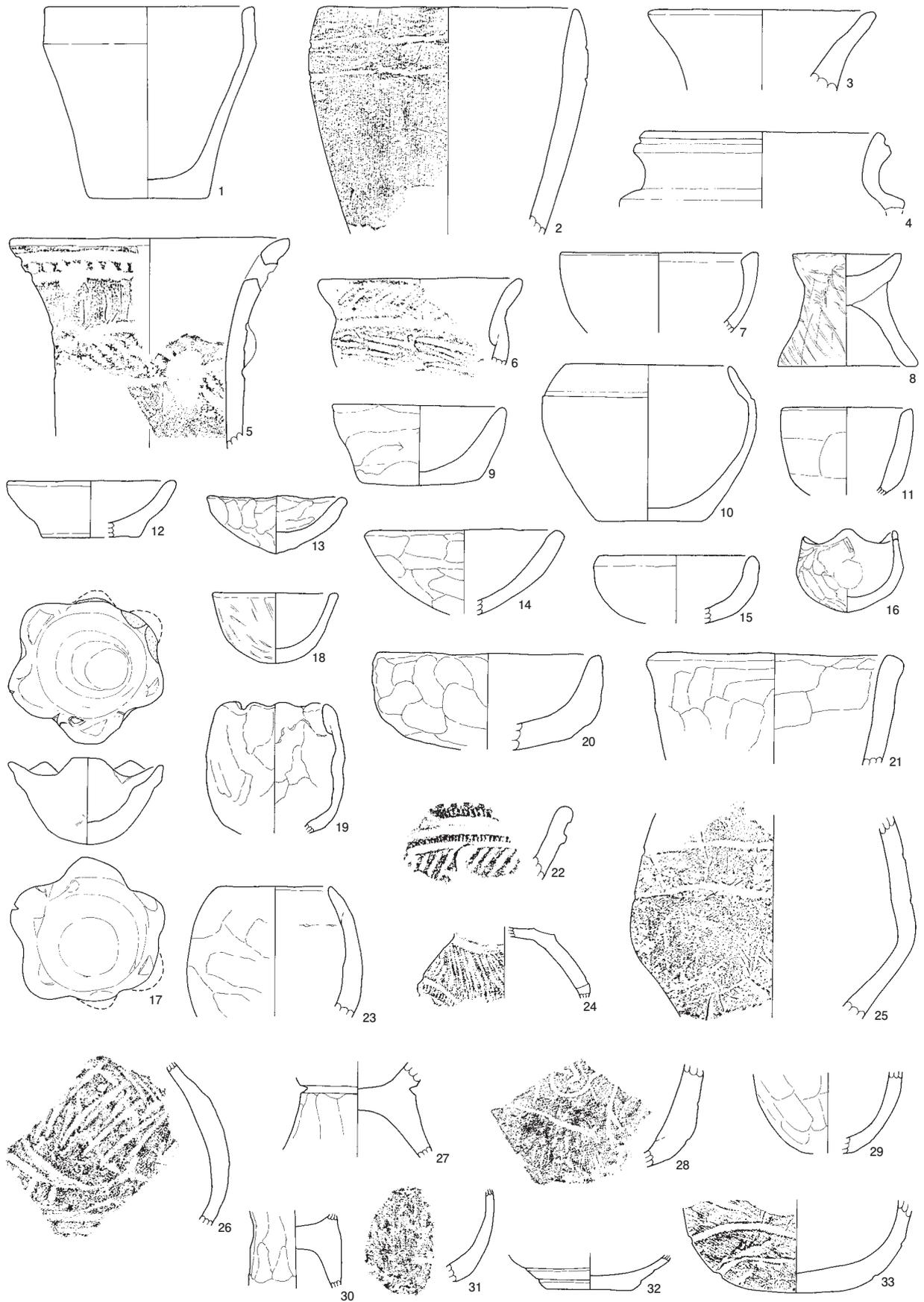
第5類 ミニチュア土器（第9・79～82図，第5表，図版39）

1・2は無文の深鉢である。1の口縁はほぼ直立し、焼成は良好である。2の口縁は緩やかに内湾し、口縁部に横位沈線が2条施される。3・4は壺状の口縁である。5は筒状の胴部に朝顔状に開く口縁が付く。口縁下部に開けられた孔は焼成前に開けられたものである。8は台付きの鉢である。台を作り鉢をあとから貼り付けている。12～15・18・20は手捏ねによるものである。13の外表面は粘土の塊状であるが、内面は指ナデであろうか。手捏ねで明瞭ではないが口縁部は4単位の波状にもみえる。16は小型の壺で、口縁部を4単位の波状としている。17も同様のものであるが、波状部が梅花状に開き、6単位となっている。19は口縁部を内側折り返して波状口縁を作り出す。波状は4単位か。以下、小片であるが本来の日常用いられる土器器種のミニチュアとみられる。

1～44までは時期の特定は明瞭ではないが縄文時代後期とする。45は三十稲場式期の可能性がある。46～72は加曾利B式期と思われる。当期の文様構成を省略して写している。53はスタンプあるいは何らかの把手と考えた方が良くもしいかもしれない。54・55は鉢である。口縁は大きく外反する。55は54ほどではないが外反している。全体の遺存度は低いが、胎土・焼成とも良好である。加曾利B式期と考えられる。56～68は鉢および浅鉢である。58は口縁部に2条の沈線を巡らす。59は皿状となる。口縁は波状をなし、胴部に連弧文を沈線で施している。60は鉢である。粗い縄文が器面に施される。

61は脚付きの鉢である。赤彩の痕跡がある。無文のため時期不詳であるが、後期に区分しておく。62はかなりいびつである。出土地点などから加曾利B式期とした。65～68の小型の鉢は、精製の深鉢に類する施文が施される。72は方形に近い平面形を持つ。器面には沈線により、籠状の文様が施される。73は瓢型で、穿孔は釣り手を通したか。前後一対である。焼成以前に孔は開けられている。73・74は曾谷式期のものか。

以降の土器は安行式系の土器となる。75・76は安行1式期か。78は台付の鉢である。83は船状の浅鉢となる。84～90は異形台付土器である。84は完形に近い。全面に沈線で文様が施される。四方に張り出した胴下部には孔が施される。口縁部の把手は同じく孔が通されている。これらの一群は安行式期と考えられる。91・92は小型の台付鉢と思われる。別個体ではあるが91が胴部、92は台部であろうか。93は

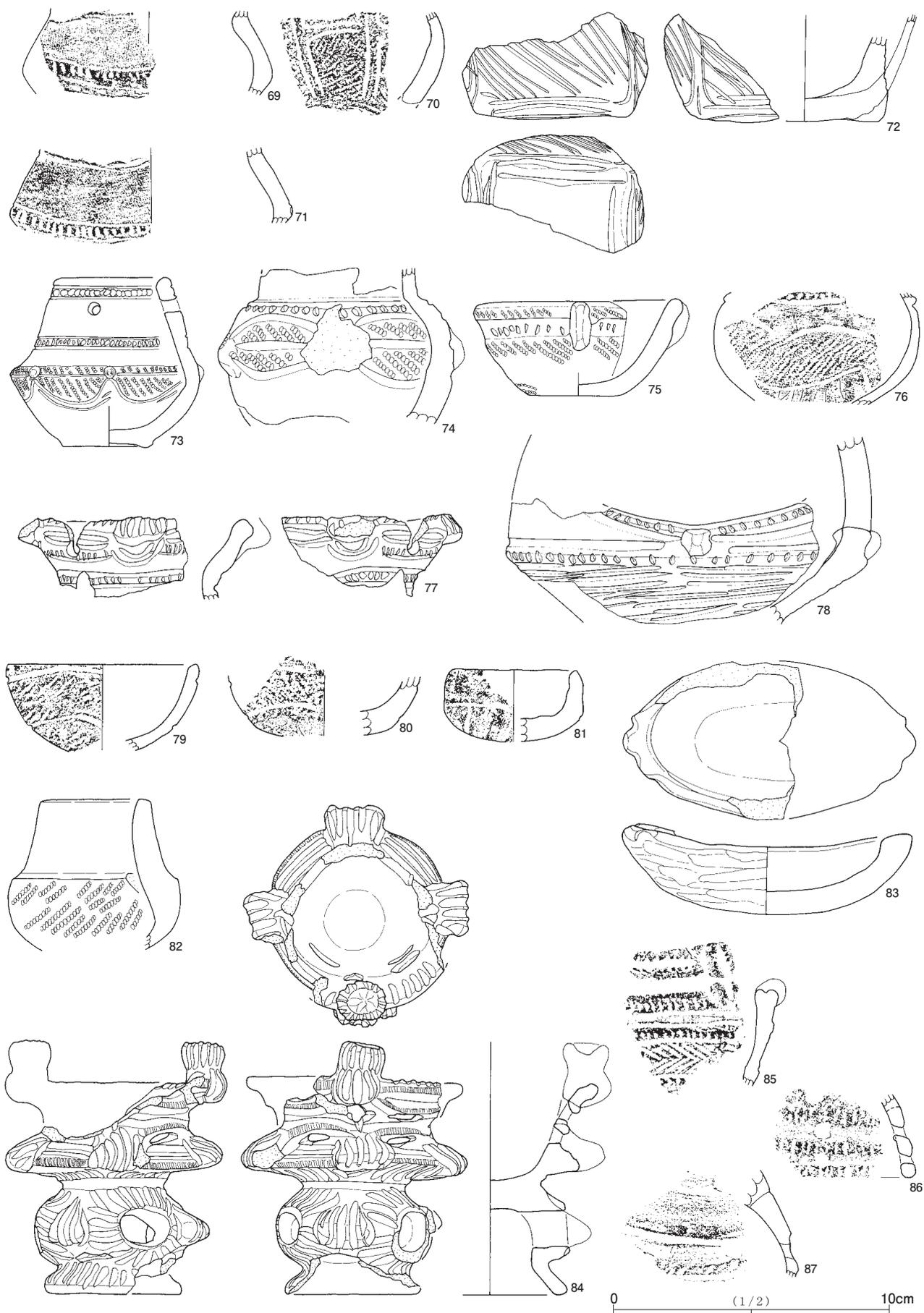


第79図 ミニチュア土器(1)

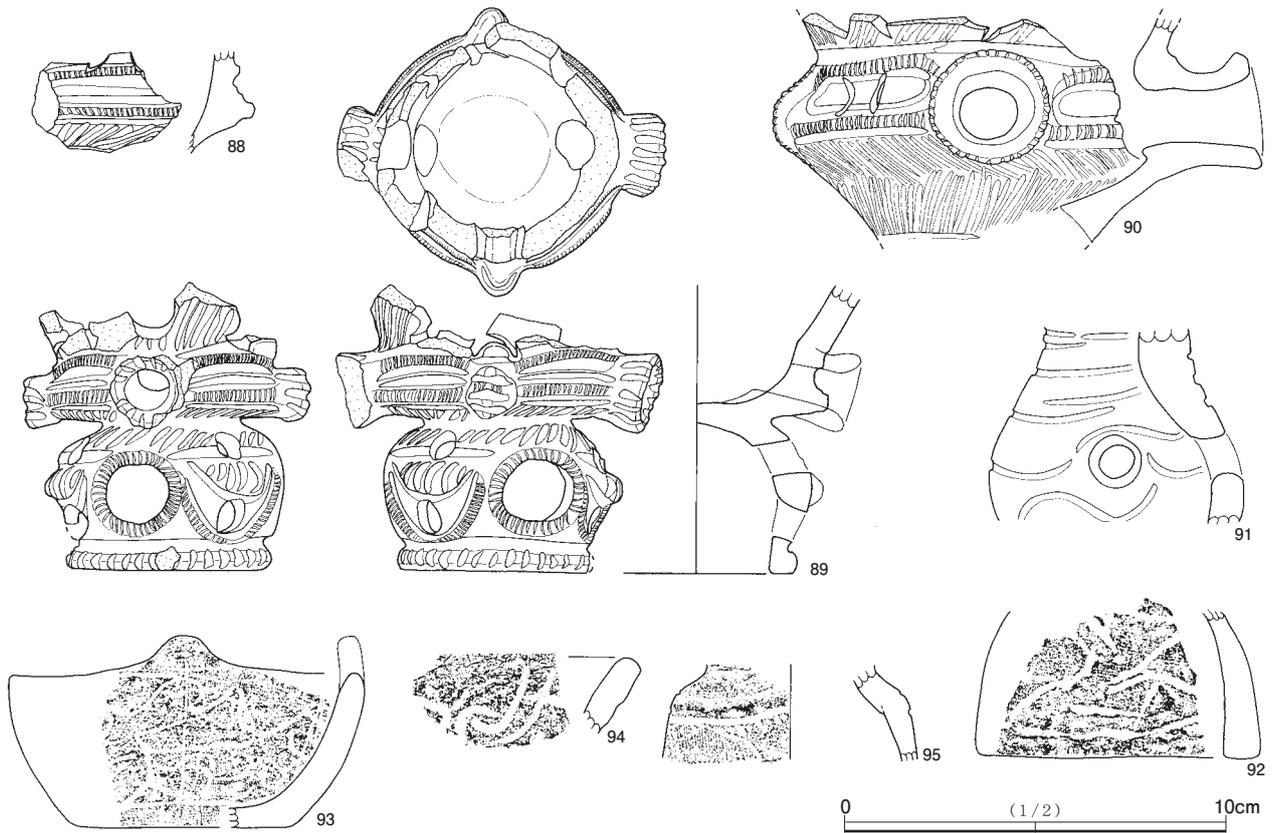


第80図 ミニチュア土器 (2)

0 (1/2) 10cm



第81図 ミニチュア土器 (3)



第 82 図 ミニチュア土器 (4)

正面に小突起を設ける。91～93は安行3b式期になろうか。

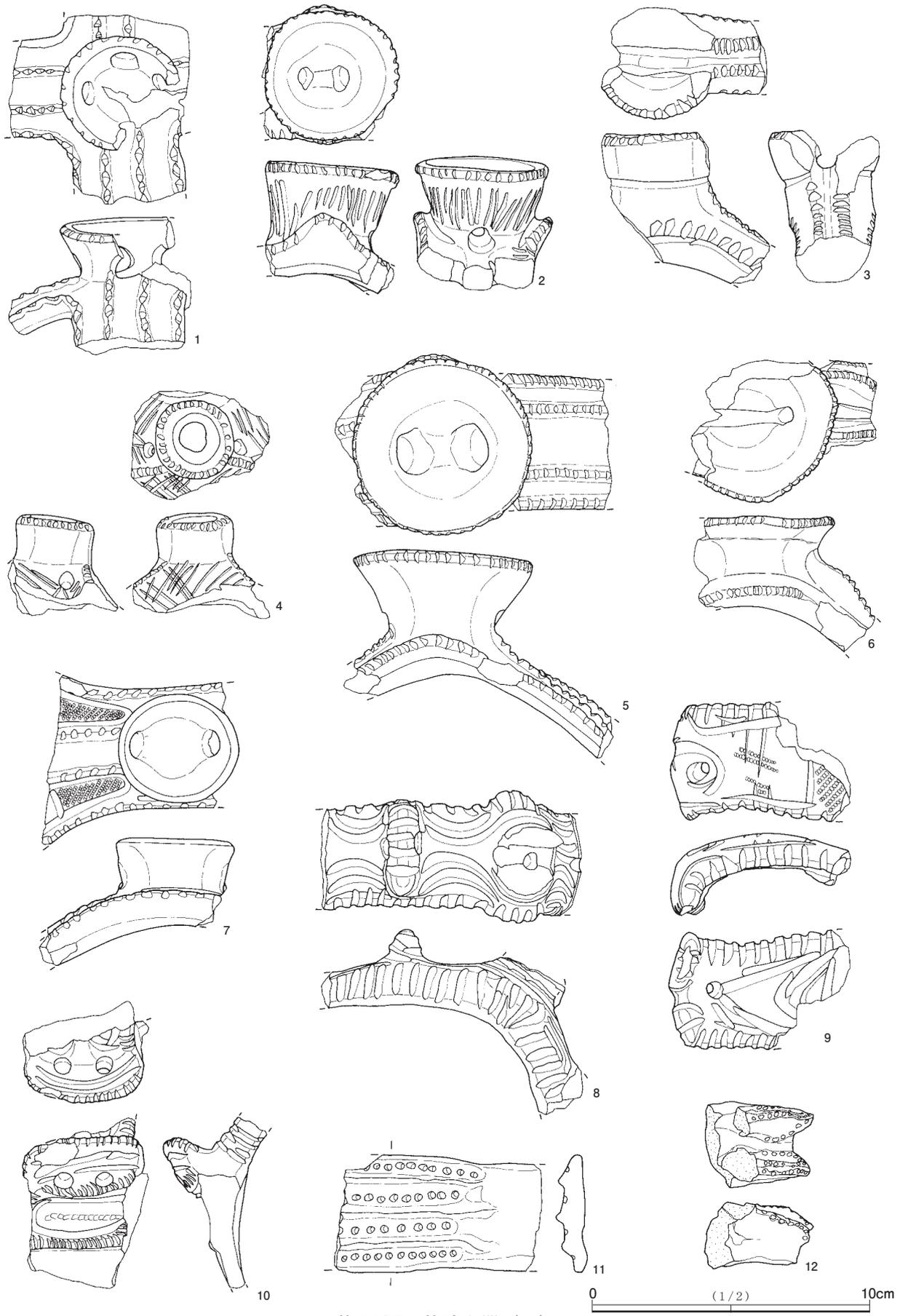
第6類 特殊土器（第9・83～85図，第6表，図版40）

第83図～85図に吊手土器および把手類など特殊土器をまとめた。

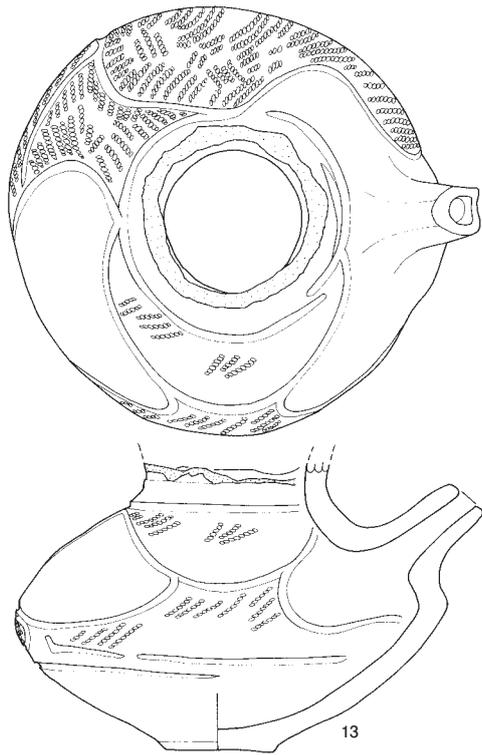
1～3・5～8は吊手部である。紐通しの孔は通常2孔が多くみられるが1は4孔である。紐が沿いやすいように貼り付け隆帯を作るもの（1・2・5～7）、あるいは沈線を彫り込むもの（3）がみられる。8は主となる紐通しの他に左右にもう一つ補助孔を設けている。吊手部には粘土紐による貼り付け文、刻みなどが施文されるが、時期を特定できる施文はみられない。

13は口縁を一部欠くがほぼ完形である。加曾利B式期のものである。14の先端部には孔が通っており、注口的な用途となり得ることが考えられる。施文がされていないこともあり、時期的には縄文時代後期としておく。

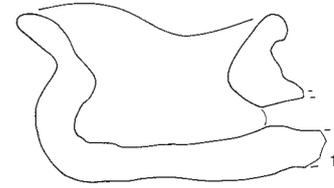
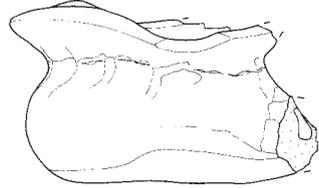
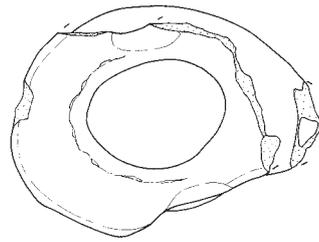
15～26は注口の口部である。安行2式期と考えられる。26は加曾利B式期になるものかもしれない。27は渦巻きを主文様としている。安行3b式期になろうか。28～30・32～35は異形台付土器の一部であろうか。大型波状部の一部とも考えられなくはない形状である。時期は後期としておく。31は釣手土器の把手部か。34は全体に竹管状の施文が「たこの吸盤」状に密集して施されている。加曾利B式期になろう。39は香炉形土器と思われる。赤彩が施される。40は手焙形土器になるか。開けられる孔は焼成前である。39・40ともに後期の所産としておく。



第 83 图 特殊土器 (1)

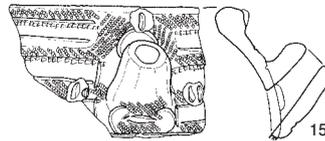


13

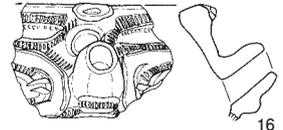


14

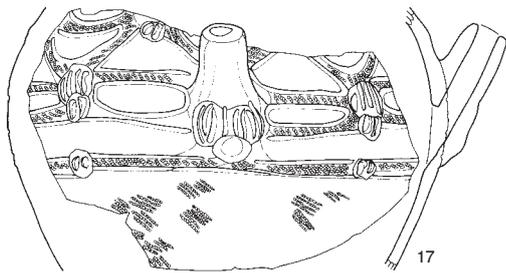
0 (1/2) 10cm
(13, 14)



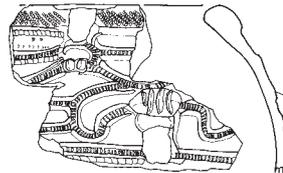
15



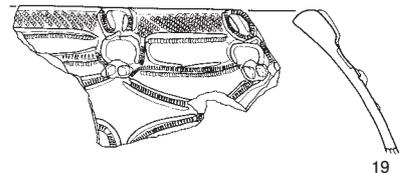
16



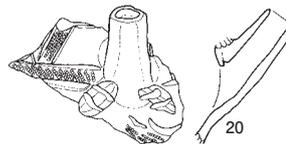
17



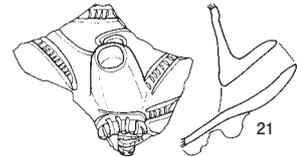
18



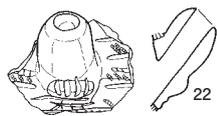
19



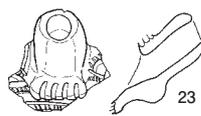
20



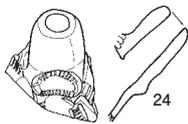
21



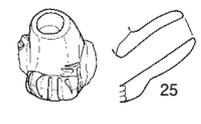
22



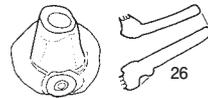
23



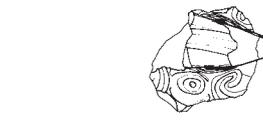
24



25



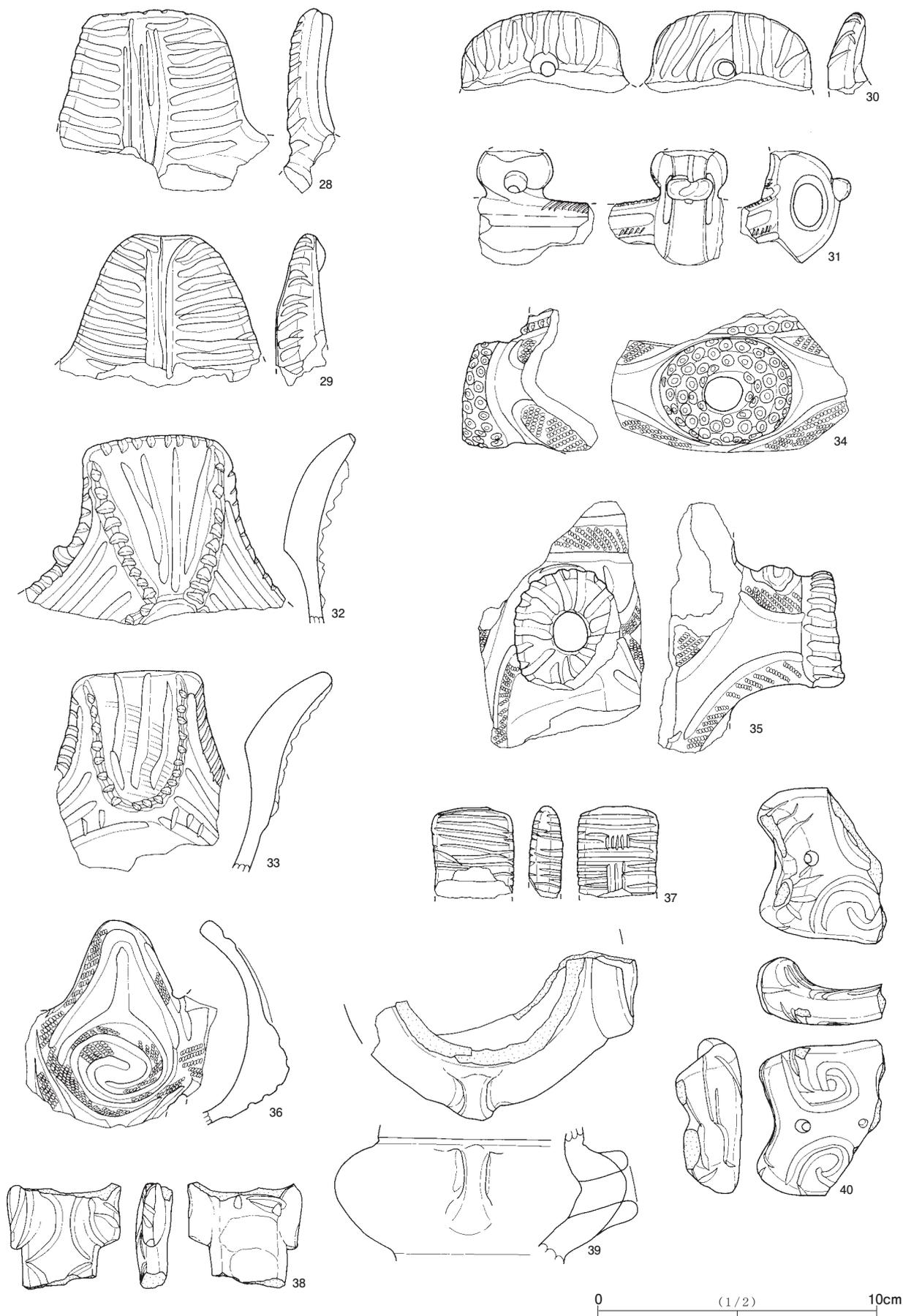
26



27

0 (1/4) 20cm

第84图 特殊土器(2)



第 85 图 特殊土器 (3)

第4表 縄文土器観察表

() 推定値, () 現存値

挿図	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
19	1	31U-24B	5	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	2	31U-22C	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	3	31U-25D	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	4	31U-25A	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	5	31U-35A	6	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	6	31U-4C	6	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	7	31T-93	1	深鉢	粗	暗灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	8	31U-25C	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	9	31U-15D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	10	31U-23A	3	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	11	31U-2C	1	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	12	31T-94	1	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	13	31T-93C	1	深鉢	粗	灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	14	31U-5C	3	深鉢	粗	赤褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	15	31U-14C	4	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	16	31U-3D	2	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	17	31U-14D	4	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	18	31U-45A	2	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	19	31U-35A	6	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	20	31U-25D	3	深鉢	粗	赤褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	21	31U-24D	18	深鉢	粗	赤褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	22	31U-15A	5	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	23	31U-25D	8	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	24	31U-12B	4	深鉢	粗	赤褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	25	31U-12B	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	26	31U-14B	10	深鉢	粗	赤褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	27	31U-4C	7	深鉢	粗	灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	28	31U-43B	2	深鉢	粗	暗灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	29	31U-23C	12	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	30	31U-43B	2	深鉢	粗	黒褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	31	31U-15D	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	32	31U-12A	5	深鉢	粗	灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	33	31U-24D	18	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	34	31U-12A	5	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	35	31U-15D	2	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	36	31U-2D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	37	31U-15A	6	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	38	31U-23D	10	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	39	31T-93	1	深鉢	良	暗灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	40	31U-24A	8	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	41	31T-93	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	42	31T-2	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	43	31T-93C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	44	31U-13A	16	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	井草	-	-	-	口縁部片	
19	45	31U-24C	2	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	46	31U-14C	6	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	赤彩か?
19	47	31U-25B	5	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	48	31T-93C	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	49	31U-15C	5	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	50	31U-13A	16	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	赤彩か?
19	51	31U-12C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	52	31U-12A	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	53	31U-11B	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	54	31U-11C	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	55	31U-2D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	56	31U-13C	14	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	57	31T-91	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	58	31T-93C	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	59	31U-22C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	60	31U-13A	16	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	61	31U-35B	5	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	62	31T-93	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	63	31U-15D	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	64	31U-23D	10	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	65	31U-13A	13	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	66	31U-32B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	67	31U-36A	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
19	68	3トレ	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	69	31U-43B	2	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	70	31U-13A	16	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	71	31U-13A	16	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	72	31U-3C	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	73	31U-3D	14	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	74	31U-14B	9	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	75	31U-35A	6	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	76	31U-3D	14	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
20	77	31U-4D	5	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	78	31U-34A	10	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	79	31U-43C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	80	31U-14B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	口縁部片	
20	81	31U-32D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	胴部片	
20	82	31U-12D	1	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	83	31U-43B	1	尖底土器	良	茶褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	84	31U-23C	7	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	85	31U-2C	6	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	86	31U-13B	7	尖底土器	良	灰褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	87	31U-26C	4	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	88	31U-33A	3	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	89	31U-3B	2	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	90	31U-33A	11	尖底土器	やや粗	黄褐色	細砂	早期前葉	夏島	-	-	-	底部片	
20	91	31U-24C	10	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	92	31U-22D	2	深鉢	良	暗灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	93	31T-93C	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	94	31U-2C	6	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	95	31U-32A	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	96	31U-11C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	97	31U-33A	8	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	98	31U-12B	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	99	31U-15C	6	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	100	31U-23D	15	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	101	31U-33B	13	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	102	31U-14B	10	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	103	3トレ	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	104	31T-93	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	105	31U-22D	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	106	31U-21B	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	107	31U-24C	4	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	108	31U-22B	11	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	109	31U-32A	1	深鉢	粗	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	110	31T一拵	1	深鉢	粗	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	111	31U-34A	11	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	112	31U-12A	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	113	31U-31B	3	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	114	31U-15D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	115	31U-35A	7	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	内面赤彩痕
20	116	31U-11B	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	117	31U-13D	5	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	118	31U-2C	6	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	119	31U-1C	1	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	120	31U-2C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	121	31T-93	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	122	31U-4A	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	123	31U-12A	3	深鉢	粗	赤褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	124	31U-13A	16	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	125	31U-23B	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	126	31U-25D	7	深鉢	良	灰白色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	127	31U-24B	8	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
20	128	31U-32A	1	深鉢	粗	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	129	31U-33B	13	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	130	31U-22C	6	深鉢	粗	暗灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	131	31U-33A	5	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	132	31U-11B	2	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	133	31U-22B	12	深鉢	粗	黒褐色	細砂・石英粒	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	134	31U-33A	13	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	135	31U-24C	10	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	136	31U-22D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	137	31U-22D	2	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	138	31U-15D	2	深鉢	良	暗灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	139	31U-23C	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	140	31U-25A	2	深鉢	良	暗灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	141	31U-11B	1	深鉢	良	暗灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	142	31U-43C	2	深鉢	粗	暗灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	143	31T-92B	1	深鉢	粗	黒褐色	細砂・石英粒	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	144	31U-24C	9	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	145	31U-23A	1	深鉢	良	暗灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	146	31U-34B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	147	31U-11C	2	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	148	31U-33A	6	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	149	31U-12A	4	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	150	31U-24B	8	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	151	31U-43B	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	152	31U-13A	2	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	153	31U-35A	8	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
21	154	31U-12B	2	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	155	31U-15D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	口縁部片	
21	156	31U-13C	15	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	-	-	-	胴部片	
21	157	31U-22D	2	深鉢	良	灰褐色	雲母・少細粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	158	31U-22B	11	深鉢	良	黄褐色	白砂・スコリア・石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	159	31U-43B	2	深鉢	粗	黄褐色	細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	160	31T-9I	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	161	31U-24C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	162	31U-12D	2	深鉢	良	灰褐色	スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	163	31U-26C	1	深鉢	良	赤褐色	スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	164	31U-15A	7	深鉢	良	灰褐色	石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	165	31T-93C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	166	31U-22B	11	深鉢	良	灰褐色	雲母・石英粒・細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	167	31U-43C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	168	31U-43C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	169	31U-4D	5	深鉢	粗	灰褐色	細砂・石英粒・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	170	31U-34B	3	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	171	31U-25D	8	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	172	31U-13B	4	深鉢	粗	灰褐色	細砂・石英粒・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	173	31U-13A	13	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	174	31U-2C	6	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	175	31U-33A	8	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	176	31U-13A	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	177	31U-22B	4	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	178	31U-3I	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・石英粒	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	179	31U-21B	1	深鉢	良	灰褐色	石英粒・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	180	31T-9I	1	深鉢	良	灰褐色	石英粒・雲母・細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	181	31U-35A	7	深鉢	良	灰褐色	石英粒・雲母・細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	182	31T-92B	1	深鉢	粗	灰褐色	石英粒・細砂・雲母・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	183	31U-14A	9	深鉢	良	灰褐色	石英粒・細砂・雲母	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	184	31U-23C	8	深鉢	良	灰褐色	石英粒・細砂・雲母	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	185	31T-93	4	深鉢	良	灰褐色	石英粒・細砂・雲母	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	186	31U-23B	1	深鉢	良	灰褐色	石英粒・細砂・雲母	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	187	31U-23D	14	深鉢	良	黄褐色	石英粒・細砂・雲母・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	188	31U-23C	15	深鉢	良	灰褐色	石英粒・細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	189	31U-25A	5	深鉢	良	赤褐色	石英粒・細砂・雲母・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	190	31U-32A	1	深鉢	良	灰褐色	石英粒・細砂・雲母・スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	191	31U-35A	4	深鉢	粗	灰褐色	石英粒・雲母・細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
21	192	31T-93C	1	深鉢	良	黄褐色	スコリア・細砂	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	193	31U-43C	1	深鉢	良	黄褐色	スコリア	早期前葉	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	194	31U-22B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	195	31U-14	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	196	31U-14C	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂・石英粒	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	197	31U-13A	1	深鉢	良	茶褐色	細砂・白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	198	31U-23D	3	深鉢	良	黄褐色	石英粒	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	199	31U-14B	6	深鉢	良	暗褐色	雲母・白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	200	31U-35A	2	深鉢	良	黒褐色	雲母・白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	201	31U-35A	7	深鉢	良	暗褐色	白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	202	31U-3D	1	深鉢	良	暗褐色	白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	203	31U-12B	4	深鉢	良	黒褐色	白砂・雲母・石英粒	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	204	31U-13A	15	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	205	31U-32A	1	深鉢	良	黄褐色	白砂・雲母・石英粒	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	206	31U-33A	9	深鉢	良	黄褐色	雲母・白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	207	31U-22C	10	深鉢	良	黄褐色	白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	208	31U-23A	12	深鉢	良	黄褐色	白砂・石英粒	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	209	31U-34A	10	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	210	31U-13C	14	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	211	31U-32D	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	212	31U-26D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	213	31U-33A	8	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	214	31U-15D	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・石英粒	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	215	31U-32A	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	口縁部片	
22	216	31U-33B	13	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	217	31U-11C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂・雲母	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	218	31U-23C	15	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	219	31U-12B	4	深鉢	良	赤褐色	白砂・雲母	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	220	31U-22D	2	深鉢	良	茶褐色	白砂・雲母	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	221	31U-25D	3	深鉢	良	黄褐色	白砂・雲母	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	222	31U-13B	8	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	223	31U-13D	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	224	31U-2C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂・雲母	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	225	31U-12B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・雲母	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	226	31U-13D	5	深鉢	良	赤褐色	細砂・石英粒	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	227	31U-3D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期	花輪台	-	-	-	胴部片	
22	228	1トレ	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
22	229	31T-14	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	口縁部片	
22	230	31U-33A	13	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	口縁部片	
22	231	31U-4D	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	口縁部片	
22	232	31U-12B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・雲母・石英粒	早期中葉	三戸	-	-	-	口縁部片	
22	233	31U-3	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	234	31S-83	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	235	31U-12D	1	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	236	31S-83	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	237	31U-25A	6	深鉢	良	黄褐色	雲母・細砂・石英粒	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	238	31U-12B	2	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	239	31U-26D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	240	31U-3D	1	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	241	31U-25	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	242	31U-15D	1	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期中葉	三戸	-	-	-	胴部片	
22	243	31U-15D	1	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	口縁部片	
22	244	31U-23C	5	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	口縁部片	
22	245	31U-32C	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	246	31U-3B	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	247	31U-23D	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	248	31U-13A	11	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	249	31U-25C	3	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	250	31U-33B	7	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	251	31U-33A	13	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	252	31U-11B	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	253	2トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	254	31U-24C	7	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	255	31U-13A	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
22	256	31U-35A	6	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期中葉	田戸下層	-	-	-	胴部片	
23	257	31U-32A	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	口縁部片	
23	258	31U-15D	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	口縁部片	
23	259	31U-12D	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	口縁部片	
23	260	31U-33D	4	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	口縁部片	
23	261	31U-15D	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	262	3トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	263	31T-91	1	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	口縁部片	赤彩
23	264	31U-34A	3	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	口縁部片	
23	265	31U-24B 25A	8.5	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	口縁部片	赤彩
23	266	31U-15A	4	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	267	31U-24C	9	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	268	31U-24D	19	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	269	31U-24A	8	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	270	31U-13C	15	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	赤彩
23	271	31U-23B	15	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	272	31T-93C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	273	31U-23D	11	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	274	31U-13C	1	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	赤彩
23	275	31U-18C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	276	31U-15D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	赤彩
23	277	31U-43B	2	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	赤彩
23	278	31U-23C	5	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	赤彩
23	279	31U-2D	2	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	280	31U-33A	1	深鉢	良	赤褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	281	31U-22B	11	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	282	31U-32A	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	283	31U-2C	2	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	284	31U-4D	5	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	野島	-	-	-	胴部片	
23	285	31U-3D	14	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	286	31U-15D	2	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	287	31U-3C	4	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	288	31U-33B	13	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	289	31U-35A	7	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	290	31T-94C	2	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	291	31U-15A	6	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	292	31U-15D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	赤彩
23	293	31U-4D.15D	5.3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	294	31U-35B	6	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	295	31U-23B	11	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	296	31U-12C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	297	31U-2C	2	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	298	31U-45A	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
23	299	31U-15D		深鉢	良	褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	口縁部片	
24	300	31U-43B	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	301	31U-22C 23D	6.10	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	肩部片	
24	302	31U-33A	13	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	肩～胴部片	
24	303	31U-33B	13	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	304	31U-25D	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
24	305	31U-2C, 2C	2,3	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	306	31U-33A	13	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	307	31U-15D	2	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	308	31U-33A	9	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	309	31U-15B	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	310	31U-24B	5	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	311	31U-35A	6	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	312	31U-3	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	313	31U-4D	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	314	31U-13A	9	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	315	31U-14B	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	316	31U-25D	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	317	31U-25D	8	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	318	31U-25D	5・8	深鉢	粗	黒茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	319	31U-24B	5	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	320	31U-14C	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	321	31U-22C	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	322	31U-12D	2	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	323	31U-24D	19	深鉢	良	赤褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	324	31U-24B	9	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	鶴ヶ島台	-	-	-	胴部片	
24	325	31U-13D	10	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・石英粒	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	326	31U-22B	10	深鉢	粗	褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	327	31U-2C	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	328	31U-35C	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	329	31U-13A	2	深鉢	良	褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	330	31U-3C	4	深鉢	良	褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	331	31U-22C	10	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	332	31U-25D	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	333	31U-33A, 33B	8,12	深鉢	粗	黒茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	334	31U-23D	10	深鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	335	31U-24C	10	深鉢	良	赤褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	口縁部片	
24	336	31U-35A	4	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	胴部片	
24	337	31U-25D	3	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	胴部片	
24	338	31U-25B	1	深鉢	良	褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	胴部片	
24	339	31U-3C	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	胴部片	
24	340	31U-26A	1	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山下層	-	-	-	胴部片	
25	341	31U-33B	13	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	342	31U-25D	3	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	343	31U-15D	2	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	344	31U-35A	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	345	31U-33A	10	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	346	31U-11C	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	347	31U-32C	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	348	31U-12A	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	349	31U-33A	13	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	350	31U-25D	7	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	351	31U-43B	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	352	31U-35A	8	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	353	31U-33A	13	深鉢	良	暗褐色	細砂	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	354	31U-3	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	355	31U-35A	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	356	31U-15D	2	深鉢	良	茶褐色	細砂	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	357	31U-15C	1	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	358	31U-25D	8	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	359	31T-93	1	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	360	31U-32B	4	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	361	31U-24D	20	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	362	31U-12B	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	363	31U-13A	10	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	364	31U-25D	8	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	365	31U-15A	7	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	366	31U-34A	7	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	367	31U-12A	3	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	368	31U-12A	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	369	31T-94D	6	深鉢	良	褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	370	31U-33A	9	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	371	31U-15D, 24C	1,3	深鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	赤彩
25	372	31U-33A	11	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	373	31U-33A	13	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	374	31U-12A	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	375	31U-33B	12	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・石英粒・雲母・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	376	31U-12A	2	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	377	31U-5B	3	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	赤彩か？
25	378	31U-24C	9	深鉢	良	黒褐色	細砂	早期後葉	茅山上層	-	-	-	口縁部片	
25	379	31U-12B	1	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	茅山上層(東海系か?)	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
26	380	31U-22B	11	尖底土器	粗	暗灰褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(5.0)	底部	
26	381	31U-23D	10	尖底土器	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(4.6)	底部	
26	382	31U-14D	2	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期	条痕文	-	-	(5.3)	底部	
26	383	31U-33B	13	尖底土器	やや粗	暗灰褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(4.2)	底部	
26	384	31U-33A	13	尖底土器	良	暗茶褐色	細砂	早期	条痕文	-	-	(4.2)	底部	
26	385	31U-34A	12	尖底土器	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(4.5)	底部	
26	386	31U-3	4	尖底土器	良	黄褐色	細砂	早期	条痕文	-	-	(3.3)	底部	
26	387	31U-13B	8	尖底土器	粗	赤茶褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(3.7)	底部	
26	388	31U-35A	6	尖底土器	良	赤褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(8.8)	胴部片	
26	389	31U-12A	1	尖底土器	やや粗	黄褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(4.9)	底部	
26	390	31U-34A	12	尖底土器	やや粗	赤茶褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(4.5)	底部	
26	391	31U-33B	12	尖底土器	粗	赤茶褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(5.8)	底部	
26	392	31U-23B	15	尖底土器	粗	黄褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	-	(8.3)	底部	
26	393	31U-26	?	深鉢	やや粗	赤茶褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	(6.1)	(2.7)	底部	
26	394	31U-24D	18	深鉢	粗	赤茶褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	(6.0)	(4.2)	底部	
26	395	31U-23A	5	深鉢	粗	赤褐色	細砂・繊維含む	早期	条痕文	-	(6.1)	(7.3)	底部	
26	396	31U-24D	11	深鉢	良	灰褐色	細砂	早期後葉	山型文	-	-	-	口縁部片	
26	397	31U-24C	7	深鉢	良	暗褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
26	398	31U-23C	14	深鉢	良	暗赤褐色	細砂・石英粒	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
26	399	31U-25A	2	深鉢	粗	黒褐色	細砂・石英粒・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
26	400	31U-24B	8	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
26	401	31U-33A	14	深鉢	粗	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
26	402	31U-24D	15	深鉢	良	褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
26	403	31U-34A	10	深鉢	粗	灰褐色	繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
26	404	31U-25A	2	深鉢	粗	黒褐色	大粒砂粒多量・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
26	405	16 トレ	1	深鉢	良	茶褐色	細砂・石英粒・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
26	406	31U-33B	12	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
26	407	31U-23D	10	深鉢	やや粗	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
26	408	31U-12B	2	深鉢	粗	黒茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
26	409	31U-4D	5	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
26	410	31U-32B	4	深鉢	粗	黒茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
26	411	31U-13C	14	深鉢	粗	茶褐色	細砂・石英など・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
26	412	31U-25D	6	深鉢	粗	暗茶褐色	大粒砂・石英粒など・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
26	413	31U-22B	10	深鉢	粗	黒茶褐色	大粒砂・石英粒など・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
26	414	31U-24A	8	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
26	415	31U-22C	4	深鉢	粗	暗灰褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	416	31U-14B	9	深鉢	粗	灰褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	417	31U-13A	2	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	418	31U-22D	2	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	419	31U-22D	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	420	31U-14C	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	421	31U-33C	1	深鉢	良	黒茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	422	31U-15D	2	深鉢	良	赤茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	423	31U-12A	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	424	31U-25D	8	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	胴部片	
27	425	31U-35A	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	胴部片	
27	426	31U-23D	11	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	427	31U-22B	9	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	428	31U-24B	5	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	429	31U-32B	5	深鉢	良	黒茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	430	31U-12A	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	431	31U-12A	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	432	31U-33B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	433	31U-16C	1	深鉢	粗	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	434	31U-35A	6	深鉢	良	赤褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	435	31U-23C	7	深鉢	良	赤褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	436	31U-5D	9	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	補修穴あり
27	437	31U-15D	2	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	438	31U-15D	4	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	439	31U-12B	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	440	31T-93	4	深鉢	粗	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	441	31U-2D	1	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	442	31U-13A	16	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	443	31U-33B	11	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	444	31U-4A	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	445	31U-12D	2	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	446	31U-24A	5	深鉢	粗	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	447	31U-33A	8	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	448	31U-12A	1	深鉢	粗	灰褐色	細砂・繊維多量に含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	449	31U-24C	7	深鉢	やや粗	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
27	450	31U-14D	9	深鉢	やや粗	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	451	31U-25D	8	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	入海1	-	-	-	口縁部片	
27	452	3トレ	1	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	453	31U-13C	4	深鉢	粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	454	31U-24C	10	深鉢	やや粗	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	455	31U-12A	1	深鉢	粗	黒茶褐色	細砂・雲母・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	456	31U-35B	1	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	457	31U-34D	1	深鉢	粗	黒茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	458	31U-24C	10	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	459	31U-33B	11	深鉢	粗	黒茶褐色	砂粒・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	460	31U-23C	12	深鉢	やや粗	茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	上の山	-	-	-	口縁部片	
27	461	31U-3B	3	深鉢	良	赤茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	462	31U-33A	9	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
27	463	31U-25D	6	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	早期後葉	東海系	-	-	-	口縁部片	
28	1	31U-23B, 22D, 14C,23A, 23C,23D	14,25,122・ 7・8・155・7	深鉢	良	黄褐色	白砂・スコリア・繊維	前期前葉	関山	37.4	-	(123)	口縁~胴部 30%	
28	2	31U-33A	9	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	3	31U-33A	10	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	4	31U-33B	11	深鉢	粗	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	5	31U-43B	2	深鉢	粗	黒茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	6	31U-24B	6	片口鉢	良	暗灰褐色	細砂	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	7	31U-33A	9	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	8	31U-33A	10	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	9	31U-15D	1	片口鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	10	31U-24D	19	深鉢	良	暗灰褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	11	31U-33B	11	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	12	31U-3	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	13	31U-24D	7	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	14	31U-23A	6	片口鉢	良	赤褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	15	31U-43B	2	片口鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	16	31U-24D	19	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	17	31U-34A	11	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	外面スス付着
28	18	31U-23D	14	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	19	31U-44B	1・3	深鉢	やや粗	赤茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	20	31U-24D, 33B	19,12	深鉢	良	赤茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	21	31U-25D	6	深鉢	良	黒茶褐色	砂粒多量	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	赤彩か?
28	22	31U-32B	12	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	23	31U-23B	15	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	24	31U-34C	2	深鉢	良	暗灰褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	25	31U-23B	9	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
28	26	31U-33C	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	27	31U-43B	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	28	20トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	赤彩か?
29	29	31U-33A	14	深鉢	良	灰茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	30	31U-23A	13	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	31	31U-23D	10	深鉢	良	黒茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	32	31U-23D	7	深鉢	良	黒茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	33	31U-23D	14	深鉢	良	暗灰褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	34	31U-23D	7	深鉢	粗	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	35	31U-35A	2	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	36	31U-23C	7	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	37	31U-25B	4	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	38	31U-24B	5	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	39	31U-12B	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	40	31U-23D	7	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	41	31U-33A	8	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	42	31U-15D	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	補修穴あり
29	43	31U-4D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	44	31U-24B	6	深鉢	良	暗灰褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	口縁部片	
29	45	31U-22C, 22D	10,2	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	肩~胴部片	
29	46	31U-12C	2	深鉢	やや粗	黒茶褐色	大粒砂粒・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	肩~胴部片	
29	47	31U-23A	13	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	48	31U-23C	14	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	49	31U-33A	7	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	50	31U-34A	7	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	51	31U-24B, 25D	6,6	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	52	31U-24C	10	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	53	31U-24B	6	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	54	31U-23B	14	深鉢	良	黄褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	55	31U-25B	5	深鉢	良	黒褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	56	31U-23A	13	深鉢	良	黒茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	57	31U-23B	15	深鉢	良	茶褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	58	31U-23D	5	深鉢	良	赤褐色	細砂・繊維含む	前期前葉	関山	-	-	-	胴部片	
29	59	31U-13A, 3D,13B	5,1,6	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
29	60	31U-2C.3D	4.11	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	59と同一個体
29	61	31U-26B	2	深鉢	良	暗褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	62	31U-3D	13	深鉢	良	黄褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	63	31U-6	1	深鉢	粗	黄褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	64	31T-14	1	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂多量・雲母含む	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	65	31U-14B	7	深鉢	良	黄褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	66	31S-81	1	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	67	31U-35A	1	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	68	31U-23D	15	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	口縁部片	
29	69	31U-14B	9	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	59と同一個体か？
29	70	31U-12A	1	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	59と同一個体か？
30	71	31U-13B.3D	6.13	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	59と同一個体か？
30	72	31U-13A	16	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	59と同一個体か？
30	73	31U-3D	14	深鉢	良	暗茶褐色	大粒砂粒	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	59と同一個体か？
30	74	31U-13A	15	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	
30	75	31U-13A	16	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	
30	76	31U-15C	1	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	
30	77	31U-12B	2	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	76と同一個体か？
30	78	31U-15C	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	肩部片	
30	79	31U-15D	3	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	
30	80	31U-35A	1	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	前期後葉	浮島	-	-	-	胴部片	
30	1	31U-3B	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	中期前葉	阿玉台	-	-	-	口縁部片	
30	2	31U-3B	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	中期前葉	阿玉台	-	-	-	口縁部片	
30	3	31T-14	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	中期前葉	阿玉台	-	-	-	口縁部片	
30	4	31U-3D	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	5	31U-23C	15	深鉢	良	黄褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	6	31U-32B	4	深鉢	良	赤茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	7	31U-33A	10	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	8	31U-25D. 31T-93	1.1	深鉢	良	赤茶褐色	細砂・石英粒・雲母	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	9	31U-35A	7	深鉢	良	赤褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	10	31U-22B	9	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	11	31U-24D. 33A	3.9	深鉢	良	赤褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	12	31U-34A	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	13	31U-23A	9	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	口縁部片	
30	14	31U-13C	12	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	15	31U-33A	9	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	16	2トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	17	31U-23C	8	深鉢	良	黄褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	18	31U-3C	5	深鉢	良	暗茶褐色	細砂・雲母	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	19	31U-6A	3	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	20	31U-24D	17	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	21	31U-25C	5	深鉢	やや粗	暗黄褐色	大粒砂粒	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	22	31U-24B	3	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
30	23	31U-12C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	中期中葉	加曾利E 2	-	-	-	胴部片	
31	1	31U-13D. 23D	4・5.12	深鉢	やや不良	黄暗褐色	大粒の砂含む	後期前葉	堀之内 1	22.9	-	(27.5)	口縁～胴部 50%	粗製
31	2	31U-24B. 24D.25A	4.1・15・17・ 18.1	深鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期前葉	堀之内 1	26.4	-	(13.1)	口縁～底部 70%	
31	3	31U-12A. 12B	1.1・2	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期前葉	堀之内 1	15.2	-	(19.5)	口縁～底部 50%	粗製
31	4	31U-13B	4	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	後期前葉	堀之内	-	8.0	(13.5)	胴部～底部 70%	無文
31	5	SK-033	250	鉢	良	黒褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	19.0	7.6	7.1	30%	
31	6	31U-23A	12	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1-1	-	-	-	口縁部片	
31	7	31U-23C	15	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1-1	-	-	-	口縁部片	
31	8	31U-44D	3	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	9	31U-35A	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	10	31U-26C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	11	31U-2C	1	深鉢	良	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	12	31U-16D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	13	31U-23A	6	深鉢	やや粗	赤茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	14	31U-33B	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	15	31U-23C	8	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	16	31U-15A	5	深鉢	良	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	17	31U-34A	11	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	18	31U-23A	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	19	31U-13B	4	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	20	31U-12D	3	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	21	31U-4C	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	22	31U-35B	3	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	23	31U-23C	12	深鉢	良	赤茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	24	31U- 44B.35A	1.4	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	25	31U-2C	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	26	31U-23C	14	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	27	31U-12C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	28	31U- 23A.23B	4.10	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	
31	29	31U-3D	5	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内 1	-	-	-	口縁部片	内面赤彩か？

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
31	30	31U-24D	11	深鉢	良	赤褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
31	31	31U-23D	5	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
31	32	31U-15A	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	33	31U-23C	14	深鉢	やや粗	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	外面赤彩
32	34	31U-23D	7	深鉢	良	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	35	31U-14A	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	36	31U-44A	2	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	37	31U-24A	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	38	31U-2C	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	39	31U-33B	8	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	40	31U-15A	4	深鉢	良	暗黒褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	41	31U-3D	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	内面赤彩
32	42	31U-24D,34B	10.10	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	内外面赤彩
32	43	31U-23A	12	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	44	31U-14C	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	45	31U-23C	14	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	46	31U-23C	5	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	47	31U-24D	18	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	48	31U-25D	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	49	31U-23A	5	深鉢	良	暗茶褐色	砂粒	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	50	31U-2C	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	51	31U-24C	4	深鉢	良	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	52	31U-24A	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	53	31U-15D	1	深鉢	良	暗茶褐色	砂粒	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	54	31U-16D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
32	55	31U-22C,24D	3.18	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	56	31U-12B	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	57	31U-13C	15	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	58	31U-3	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	59	31U-25A	1	深鉢	良	黄褐色	小砂粒多い	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	赤彩
33	60	31U-23C	12	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	61	31U-27D	1	深鉢	良	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	62	31U-23C	12	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	63	31U-15D	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	64	31U-24D	15	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	65	31U-24D	18	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	66	31U-35A	4	深鉢	良	暗茶褐色	砂粒やや含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	67	31U-5D	5	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	68	31T-23C	1	深鉢	良	黒褐色	砂粒やや含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	69	31U-14C	7	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	70	31T-94D	2	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	71	31U-44A	3	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	赤彩か？
33	72	31U-23A	6	鉢	良	黄褐色	細砂多量・雲母含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	73	3トレ	1	深鉢	良	黄褐色	砂粒	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁部片	
33	74	31U-4C	4	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	
33	75	31U-33A	3	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	
33	76	31U-33D	9	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	
33	77	31U-3D	5	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	
33	78	31U-24D	19	深鉢	良	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	肩部～胴部片	
33	79	31U-33B	8	深鉢	良	暗茶褐色	砂粒・石英粒含む	後期前葉	堀之内1	-	-	-	口縁～胴部片	
33	80	31U-4C	6	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	
33	81	31U-23C	14	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	
33	82	31U-3D	1	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内1	-	-	-	胴部片	
34	83	31U-13B,13A	5.2	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期前葉	堀之内2	(32.4)	-	(11.0)	口縁部片	
34	84	31U-14C,14D	4・5.9・12	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	後期前葉	堀之内2	33.2	-	(36.8)	口縁～胴部 60%	
34	85	31U-15A	3・4・6	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂含む	後期前葉	堀之内2	(27.8)	-	(28.5)	口縁～胴部 25%	粗製
34	86	31U-33A	8	鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒	後期前葉	堀之内2	-	-	(10.1)	胴部 30%	
34	87	31U-13A	2・5	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	(38.0)	-	(16.6)	口縁～胴部 10%	
34	88	31U-3B	1	籠形	良	黄褐色	細砂・白砂・スコリア	後期前葉	堀之内2	(14.1)	6.4	7.9	35%	粗製
34	89	31U-13C	13	深鉢	やや不良	黄褐色	白色砂含む	後期前葉	堀之内2	14.7	8.8	14.5	80%	粗製
34	90	1トレ	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	後期前葉	堀之内2	(11.1)	7.6	16.5	50%	
35	91	31U-12B	2	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	92	31U-3C	1	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	93	31U-24D	18	深鉢	やや粗	黒茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	94	31U-12B	2	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	95	31U-36A	3	深鉢	良	赤褐色	砂粒多量	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	96	31U-3D	13	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	97	31U-4D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	98	31U-13A	1	深鉢	良	暗茶褐色	砂粒多量	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	99	31U-24B	4	鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	100	31U-3D	13	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	101	31U-15B	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	補修孔あり
35	102	注記なし	-	深鉢	良	赤褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	103	31U-24C	9	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	内外面赤彩か？
35	104	16トレ	1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
35	105	31U-32B	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	106	31U-23A	1	深鉢	良	黒茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	107	31U-24D	3	深鉢	やや粗	赤茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	補修孔あり
35	108	31U-22B	9	深鉢	良	暗茶褐色	砂粒多量	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	109	31U-36	1	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	110	31U-24D	10	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	補修孔あり
35	111	31U-22C	7	深鉢	やや粗	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	112	31U-24C	7	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	113	31U-33A	8	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	114	31T-93C	1	深鉢	良	暗黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	内外面赤彩の痕跡あり
35	115	31U-32B	4	深鉢	良	茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	116	31U-24D	11	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
35	117	31U-23C	7	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	118	31U-23D	6	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	119	31U-23C,23D	4.1	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	120	31U-14C	6	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	121	31U-33B	9	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	胴部片	
36	122	31U-23C	5	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	胴部片	
36	123	31U-33A	10	鉢	良	暗茶褐色	砂粒多量	後期前葉	堀之内2	-	-	-	胴部片	
36	124	31U-35A	4	深鉢	やや粗	黄褐色	小砂粒多い	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	125	31U-12A	3	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	126	31U-33B	5	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	赤彩
36	127	31U-24D	17	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	128	31U-23C	15	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	129	31U-33A	7・8	深鉢	良	黒褐色	砂粒含む	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	130	31U-23D	3	深鉢	良	黄褐色	砂粒	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	赤彩
36	131	31U-44A	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	132	31U-23A	3	深鉢	良	暗茶褐色	砂粒	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	133	31U-24A	6	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	134	31U-14C,24D	4.18	深鉢	良	暗褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	135	31U-33A	8	深鉢	良	暗茶褐色	小砂粒	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	136	31U-44A	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	137	31U-24B	4	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	口縁部片	
36	138	31U-14D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	胴部片	
36	139	31U-4C	2	深鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期前葉	堀之内2	-	-	-	胴部片	
36	140	31U-25D	7	深鉢	やや粗	灰茶褐色	砂粒含む	後期前葉	堀之内2	-	-	-	胴部片	
36	141	31U-34B	4	深鉢	良	黒褐色	砂粒	後期前葉	堀之内2	-	-	-	胴部片	
37	142	31U-2C	4	深鉢	良	黄褐色	石英粒・大粒白砂	後期中葉	加曾利B1	(20.8)	8.6	21.4	85%	
37	143	31U-2C	1・2・4	深鉢	良	黒褐色	大粒白砂多量を含む	後期中葉	加曾利B1	19.8	8.3	26.7	80%	
37	144	16トレ31U-13D	1.5	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期中葉	加曾利B1	(30.4)	-	(19.4)	口縁～胴部30%	L R
37	145	31U-33A	1・8	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B1	(22.4)	-	(13.1)	口縁～胴部30%	
37	146	31U-12B	2・3	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B1	(23.5)	-	(21.5)	口縁～胴部40%	
37	147	31U-13B	5	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂・大粒砂粒・スコリア含む	後期中葉	加曾利B1	17.3	-	(26.9)	口縁～胴部10%	
37	148	31U-14A	4・6	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂・大粒砂粒・スコリア含む	後期中葉	加曾利B1	27.9	-	(10.7)	口縁20%	
37	149	31U-2C,3C,3D,14B	1・2.1,2.4	深鉢	良	黄褐色	砂粒・スコリア多量を含む	後期中葉	加曾利B1	(36.6)	-	(14.3)	口縁～胴部25%	粗製
37	150	31T-93C	1	鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曾利B1	(16.5)	6.2	20.1	30%	粗製
37	151	31U-4A,3B,3C	1.1,1	深鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒多量を含む	後期中葉	加曾利B1	(23.6)	-	(19.1)	口縁～胴部30%	
38	152	31U-22B	4・9	深鉢	良	暗褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B1	22.1	7.6	30.5	85%	粗製
38	153	31U-13A	3・10	鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂多量を含む	後期中葉	加曾利B1	-	6.2	(16.1)	60%	L R
38	154	31U-12B	3	鉢型	良	灰褐色	白砂多量を含む	後期中葉	加曾利B1	9.0	4.4	7.0	80%	L R
38	155	31U-4C,15B	4.2	小型鉢	やや粗	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B1	(13.2)	4.8	6.4	40%	
38	156	31U-22B	4	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B1	(13.0)	5.0	6.9	50%	舟形土器
38	157	31U-3	1	舟形	良	灰褐色	細砂・白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B1	12.9	9.底	4.1	98%	
38	158	31U-25D	4	台付鉢	やや粗	茶褐色	白砂多量を含む	後期中葉	加曾利B1	-	10.0	(8.8)	脚部100%	
38	159	31U-25D	13	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曾利B1	-	7.7	(11.5)	胴下半～底部60%	
38	160	31T-93C	1	深鉢	やや粗	赤褐色	細砂・白砂多量を含む	後期中葉	加曾利B1	-	10.2	(11.8)	脚部90%	
38	161	31U-2	1	深鉢	良	黄褐色	細粒	後期中葉	加曾利B2	(25.0)	-	(8.0)	口縁～胴部25%	同一個体3片
38	162	31U-12D,3	1.1	深鉢	良	赤褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B2	(17.6)	-	(12.6)	口縁～胴部25%	
38	163	31U-4A,4C,4D	1.2,1	深鉢	良	明灰褐色	微細砂	後期中葉	加曾利B2	23.5	5.7	25.1	75%	
38	164	31U-24C	6	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂・石英粒多量を含む	後期中葉	加曾利B2	16.9	-	(18.7)	口縁～胴部70%	
38	165	31U-22B	4・5・9	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B2	21.8	(7.8)	24.6	85%	
39	166	31U-23B	10・14・15	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂・石英粒多量を含む	後期中葉	加曾利B2	20.2	7.5	25.0	70%	粗
39	167	31T-93C,94D,31U-3B	1.1,1	浅鉢	良	黄褐色	微細砂	後期中葉	加曾利B2	(21.5)	-	(6.2)	25%	
39	168	31U-13C	10	浅鉢	良	灰褐色	細砂・小石を含む	後期中葉	加曾利B2	(18.0)	-	(8.9)	口縁～胴下端30%	L R
39	169	31U-34B	7	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B2	29.3	9.底	14.0	85%	L R
39	170	31U-3D	1	浅鉢	良	灰褐色	細砂・白砂	後期中葉	加曾利B2	(18.0)	9.底	(8.0)	20%	
39	171	31U-12B	1	浅鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量を含む	後期中葉	加曾利B2	(23.0)	-	(7.8)	口縁～胴下端20%	L R
39	172	31U-23C,25,23D	8・12,15・6	浅鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量を含む	後期中葉	加曾利B2	19.8	11.0	7.6	50%	
39	173	31U-23B	10	浅鉢	良	灰褐色	細砂・白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B2	(17.5)	-	(7.6)	口縁～胴部40%	
39	174	31U-23A	2・3	浅鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒含む	後期中葉	加曾利B2	(20.2)	-	(11.8)	口縁～胴下半30%	23D-7と同一個

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
39	175	31U-4C,4D, 12D,14B	2・4,1,1,4	浅鉢	良	灰褐色	細砂・白砂・石英粒・スコ リア	後期中葉	加曽利B 2	21.2	丸底	(6.7)	60%	
39	176	31U-3C,3	1,1	鉢	良	赤褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	16.1	丸底	6.3	90%	L R
39	177	31U-36A	3	鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	-	6.6	10.3	口唇部欠損 80%	
39	178	31U-34A	6	鉢	良	黄褐色	白砂・スコリア	後期中葉	加曽利B 2	13.7	7.0	13.5	95%	
39	179	31U-3, 3B, 31T-93C	1.5,1	深鉢	やや粗	赤褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	18.5	9.0	10.1	75%	
39	180	31U-3B	2	鉢	良	赤褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	15.0	6.0	11.1	60%	
39	181	31U-33A	2・3・4	鉢	良	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(20.1)	(9.6)	8.5	30%	
39	182	31U-23B	7	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	13.2	4.1	9.4	50%	
39	183	31U-13A	3	鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	13.6	5.0	10.0	100%	条痕
39	184	31U-2C	4	浅鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	15.1	5.6	5.7	55%	
40	185	31U-33A	1	台付鉢	良	茶褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	39.5	-	(14.7)	口縁～胴部 15%	
40	186	31U-13A	1・2	浅鉢	良	黄褐色	大粒砂粒	後期中葉	加曽利B 2	39.2	-	(11.4)	口縁～胴部 15%	無文
40	187	31U-23C, 33A	3・5,8	浅鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	42.6	-	(6.6)	口縁～胴部 10%	無文
40	188	31U-24D, 33A	15,2	浅鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	28.2	-	(8.7)	口縁～胴部 10%	無文
40	189	31U-12D	1	鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(15.3)	6.0	12.0	60%	
40	190	31U-16D	1	鉢	良	黄褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(14.1)	(5.3)	(14.2)	45%	
40	191	31U-33A	8	鉢	良	黄褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(12.6)	5.1	9.5	50%	
40	192	31U-13C, 24B	8,4	鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	(14.8)	(5.1)	(5.4)	45%	無文
40	193	1トレ	1	鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	(14.7)	9.4	6.8	40%	
40	194	31U-33B	8	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	(12.8)	4.6	5.3	25%	
40	195	31U-23A	9	碗	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	(13.0)	丸底	(5.9)	30%	
40	196	31U-3C	5	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	14.0	-	(6.6)	50%	
40	197	31U-3C,4D	1,2	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	18.0	9.2	8.9	70%	内面文様
40	198	31U-12B	3	舟形	良	灰褐色	大粒白砂・石英粒	後期中葉	加曽利B 2	13.9 21.8	5.4	7.3	ほぼ完形	
40	199	31U-23	3	浅鉢 (舟形)	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	13.4 19.8	丸底	(7.0)	75%	舟形
41	200	31U-12B, 13B	2,5	台付鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(29.3)	-	(9.5)	口縁～胴部 25%	△
41	201	31U-12C, 16トレ	1,1	台付鉢	良	赤褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B 2	(14.0)	-	5.5	口縁～胴部 30%	
41	202	16トレ	1	台付鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(23.7)	-	(9.1)	口縁～胴部 25% 脚部欠損	
41	203	31U-3, 3B, 4A,3C,13C	1,1,1,1,8	台付鉢	良	黄褐色	大粒砂粒・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(27.5)	-	(10.7)	口縁～胴部 40%	
41	204	31U-2, 4C,13A	1,2,10	台付鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	22.0	-	(8.2)	鉢部 80%	同一個体
41	205	31U-15C	3	台付鉢	やや粗	赤褐色	大粒砂粒・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	-	(11.9)	胴部～脚部 60%	
41	206	31U-23A, 23B	2,4・7	台付鉢	良	灰黄褐色	微細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	26.5	-	(10.5)	口縁～胴部 80%	
41	207	31U-12B, 12D,3D,2C	2,1,9,2	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	(31.0)	-	(9.8)	鉢部 25%	同一個体 13B- 4,13A-11
41	208	31U-33A, 33B	2,8	台付鉢	良	赤褐色	小砂粒・雲母含む	後期中葉	加曽利B 2	-	18.2	8.1	脚部 50%	
41	209	31U-2C, 31T-98C	2・4,1	台付鉢	良	黒褐色	大粒砂粒・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	11.2	(15.5)	台部 98% 鉢部 10%	L R
41	210	31U-33A, 33B	2・3・4,11	台付鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	(26.7)	-	(12.5)	鉢部 40%	L R
41	211	2トレ	1	台付鉢	良	赤褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(15.6)	-	7.0	口縁～胴部 45%	
41	212	31U-33A	9	台付鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	30.9	-	(12.2)	鉢部 15%	
41	213	31U-23A, 23B,34A	1,9,2	台付鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	(29.0)	-	(4.9)	口縁～胴部 45%	
41	214	31U-35A, 25D,24B,23B, 24D,33	4,3,4,15,11,3	台付鉢	良	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	18.4	-	(8.4)	鉢部 45%	
41	215	31U-4C,4D	2,1	台付鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 2	(14.0)	6.7	(7.6)	30%	
41	216	31U-33A	6	台付鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	9.9	(4.6)	脚部 100%	
41	217	31U-24C	6	台付鉢	やや粗	黒褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	8.0	(6.4)	脚部 70%	
41	218	31U-36A	3	台付鉢	やや粗	灰褐色	細砂・スコリア多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	9.1	(5.5)	脚部 90%	
41	219	16トレ	1	台付鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	11.2	(9.9)	胴下半～底部 50%	
41	220	31U-25B	5	台付鉢	良	灰褐色	細粒	後期中葉	加曽利B 2	-	8.5	(6.5)	脚部 100%	
41	221	31U-34B	6	台付鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 3	-	7.5	(6.7)	脚部 80%	
41	222	31U-4A	1	台付鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	7.7	7.4	脚部 95%	
41	223	31U-22B	7	台付鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 2	-	9.0	5.8	70%	
42	224	31U-3, 3C,13B, 23C,14D	5・1,1・2・3・5,3・ 4,4,4	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B 3	(46.6)	(8.2)	53.3	40%	
42	225	31U-23C	12	深鉢	良	黄褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B 3	(23.4)	-	(18.4)	口縁～胴部 20%	
42	226	31T-14	1	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利B 3	27.6	-	(24.7)	口縁～胴下端 75%	L R
42	227	SX10, SK-023,033	509・508・563・ 867・896・ 913,13,11・37・ 49・50・156・ 177・225・252	深鉢	良	黒褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B 3	30.8	-	(28.6)	口縁～胴部 80%	
42	228	31U-2C, 3C,2,3D,12D	1・2,2,1,2,1	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂・大粒白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B 3	(31.7)	-	(29.5)	口縁～胴部 60%	
43	229	31U-12D, 13A,13B	1,1・2・11,4	深鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利B 3	27.2	-	(23.4)	口縁～胴部 70%	L R
43	230	31U-33B	7	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含	後期中葉	加曽利B 3	(31.0)	-	(18.0)	口縁～胴部 30%	
43	231	18トレ	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利B 3	(26.6)	-	(16.5)	口縁～胴部 15%	
43	232	31U-33B, 23C, 24C	1・3,5,6	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利B 3	31.7	-	(12.8)	口縁～胴部 15%	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
43	233	31U-13B, 14B, 4C	4.3.2	深鉢	良	黒褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(30.2)	-	(16.3)	口縁～胴部 25%	
43	234	31U-13B, 3D	4.1.3	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(25.0)	-	(16.4)	口縁～胴部 20%	
43	235	31U-34A, 24C	3.7	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	(31.0)	-	(22.1)	口縁～胴部 片	L R
43	236	31U-12B, 13A	1・2.1	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	-	4.0	(35.0)	胴部～底部 80%	
44	237	31U-14, 14D, 13B, 23B, 12B	1.1・2.5, 7.1	深鉢	良	暗褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(21.8)	-	(17.0)	口縁～胴部 40%	粗製
44	238	31U-3C, 4D	1.1	深鉢	良	暗灰褐色	白砂多量に含	後期中葉	加曽利 B 3	-	5.0	(14.6)	胴上半～底部 60%	
44	239	18トレ, 31U-33B	1.4	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(26.5)	-	(14.0)	口縁～胴部 40%	
44	240	31U-4C, 5B, 5D, 15B	2・4.2, 4.4	深鉢	良	褐色	微細砂(多)	後期前葉	堀之内 1	26.5	-	(13.7)	口縁～胴部 70%	
44	241	31U-23C, 33B	8・12.4・5・6・7・8	深鉢	良	黄褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	21.3	-	(16.5)	口縁～胴部 70%	L R そろばん玉
44	242	31U-3D, 24D, 25B, 33A, 33B	12.15, 4.2・3.4・5・11	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(30.6)	-	(22.9)	口縁～胴下端 30%	格子目
44	243	31U-22C, 23C, 23D, 24B, 33A, 24D, 33C	8.3・5・8・12, 1・4, 4.1・5・8・3.15, 1.1	深鉢	良	茶褐色	小砂粒	後期中葉	加曽利 B 3	(32.4)	-	(23.8)	口縁～胴部 65%	
44	244	31U-3B, 3C, 3	1・3.1.1	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	16.8	5.1	20.3	ほぼ完形	格子目, 粗
44	245	18トレ	1	深鉢	良	黄褐色	微細粒	後期中葉	加曽利 B 3	(22.2)	6.9	22.7	50%	格子目, 粗
44	246	2トレ	1	深鉢	良	暗褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	21.7	6.8	22.1	85%	格子目粗製
45	247	31U-3B, 3C, 4D	1・2.1.1	深鉢	やや粗	黒褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	28.0	-	(24.5)	口縁～胴部 70%	格子
45	248	31U-25A, 24B	1.3・4・5・6	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	23.2	-	(28.3)	80%	
45	249	31U-23B	7・9	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(20.0)	-	(23.0)	口縁～胴下半 40%	格子目, 粗
45	250	31U-15B, 15C, 23D, 23B, 14D	4.5, 6.7・14.9	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	(22.8)	-	(18.2)	口縁～胴部 30%	格子目
45	251	31U-4C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利 B 3	12.4	-	(9.3)	口縁～胴部 70%	粗
45	252	31U-14A, 14B	4・6.4	深鉢	良	暗褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	23.2	5.8	32.2	65%	格子目粗製
45	253	31U-35A	2・3	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	(27.6)	(3.2)	35.5	60%	粗製
45	254	31U-13B, 3C	4.1	深鉢	やや良	黄暗褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	(23.0)	-	(22.5)	口縁～胴部 30%	粗製
46	255	31U-23C, 34A, 35A	3.7, 3	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(25.6)	-	(21.7)	口縁～胴部 25%	
46	256	31U-4C	2・4	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利 B 3	(19.0)	-	(13.4)	口縁～胴部 25%	粗製
46	257	31T-93C, 94D	1.1	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	23.3	4.4	33.6	60%	
46	258	31U-2C, 3D	2.1	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	-	4.0	(23.0)	頸部～底部 25%	
46	259	31U-12B	2	深鉢	良	灰褐色	細粒	後期中葉	加曽利 B 3	(31.0)	-	(33.6)	口縁～胴部 20%	粗製
46	260	31U-12B, 13A	1・2.1・2	深鉢	良	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	35.8	9.4	47.8	95%	
47	261	31U-3B, 3C, 4D	1.1.1	深鉢	やや不良	暗褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	30.2	7.2	43.8	75%	粗製
47	262	31U-24 D	11・15・17	深鉢	やや不良	暗褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	28.2	-	(29.0)	口縁～胴下半 50%	
47	263	31U-33B	7・10・11	深鉢	やや粗	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	-	4.5	(29.5)	頸部～底部 40%	粗
47	264	31U-13C, 14D	8・10・12.8	深鉢	良	黄褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	18.4	5.1	19.5	80%	
47	265	31U-14C, 14D	3.10・12	深鉢	良	明灰褐色	白砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	21.7	5.4	20.5	80%	
47	266	31U-11C, 16トレ	1.1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	後期中葉	加曽利 B 3	22.0	-	(10.7)	口縁 50%	
47	267	31U-26C, 35B	3・4.5	深鉢	良	黄褐色	微細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	(16.6)	-	(15.8)	口縁～胴下端 30%	粗
47	268	31U-13C	4・8	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(28.4)	-	(18.5)	口縁～胴部 30%	粗製
47	269	31U-23A, 23B	6.6・7	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	23.4	-	(19.4)	口縁～胴部 45%	粗製
48	270	31U-35B, 26C, 36A	1・2・6.3, 3	深鉢	やや良	暗褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	(26.4)	-	(22.6)	口縁～胴部 30%	格子目粗製
48	271	31U-13C, 13D, 14C, 14D, 15A, 15D	10.1・3.3・12.9, 6.4	深鉢	良	暗褐色	白色砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	25.0	-	(25.4)	口縁～胴部 70%	
48	272	31U-33B	3	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	(26.4)	-	(20.4)	口縁～胴部 25%	粗
48	273	31U-33B	5	深鉢	良	暗褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(22.0)	-	(16.7)	口縁～胴部 25%	粗製
48	274	31U-23C	5・7・8	深鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	25.8	5.2	34.0	60%	粗
48	275	31U-26C	4	深鉢	良	暗褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(21.4)	-	(26.7)	口縁～胴下端 45%	
48	276	31U-24C	7	深鉢	良	黄暗褐色	白砂多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	(16.0)	3.4	21.1	60%	粗製
48	277	31U-13D, 23B	1・4・5・9, 14	深鉢	良	黄褐色	微細砂・スコリア	後期中葉	加曽利 B 3	11.5	5.6	20.7	70%	
49	278	31U-33B, 4A	4・7・8.7	深鉢	良	暗褐色	大粒の砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	22.8	-	(20.5)	口縁～胴部 60%	粗製
49	279	31U-23C, 13C	3.4	深鉢	良	茶褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	23.8	-	(13.2)	口縁～胴部 15%	無文
49	280	31U-34A	7	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂	後期中葉	加曽利 B 3	29.1	-	(20.5)	口縁～胴部 35%	粗製
49	281	31U-33B	4	深鉢	粗	灰褐色	大粒砂・白砂・石英粒	後期中葉	加曽利 B 3	25.0	4.5	30.3	95%	
49	282	31U-4C, 4D, 5C, 5D	4.1・2.3・5.4	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利 B 3	25.0	-	(13.8)	口縁～胴部 30%	粗
49	283	31U-23A, 23B	3.7・9	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(25.2)	9.0	36.6	50%	
49	284	31U-3B, 3	1.1	深鉢	良	暗褐色	細砂(多)	後期中葉	加曽利 B 3	18.6	6.8	20.6	55%	粗製
49	285	31U-13 D	4	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利 B 3	-	8.0	(14.9)	胴上半～底部 80%	
49	286	31U-12C	1	深鉢	良	黄褐色	大粒の砂含む	後期中葉	加曽利 B 3	16.6	7.2	17.2	95%	粗製
49	287	31U-2C, 3D, 12D	1・2.1・2.1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利 B 3	(26.3)	-	(24.2)	口縁～胴部 30%	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
50	288	31U-33B	2・5・9	浅鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	30.9	(7.0)	14.3	63%	
50	289	SX-010	2・507・510・ 526・840・863・ 896・897	浅鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(29.0)	-	(11.0)	口縁～胴部60%	
50	290	31U-23C	9	小型鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	-	7.0	(9.7)	頸部～底部80%	
50	291	31U-13A, 14A, 12D,13B	2.4・6.1.4	浅鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利B3	(24.2)	丸底	(11.5)	35%	L R
50	292	31U-24B, 24D	3・4.15・18	浅鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂	後期中葉	加曽利B3	-	丸底	(10.6)	胴部～底部50%	L R
50	293	31U-35B	3	鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	-	-	(9.2)	胴部40%	
50	294	31U-3B	1	浅鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒含む	後期中葉	加曽利B3	(22.6)	丸底	9.7	70%	
50	295	31U-4D	1・2	浅鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(24.8)	丸底	6.2	30%	L R
50	296	31U-36A	3	鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒含む	後期中葉	加曽利B3	-	-	(6.2)	破片	色彩
50	297	31U-33B, 34A,23C	7・8・9.3・7.6	浅鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(26.6)	丸底	(12.7)	30%	L R
50	298	31U-23B	10	浅鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(20.6)	(8.6)	6.1	30%	L R
50	299	2トレ	1	鉢	良	灰褐色	微細粒	後期中葉	加曽利B3	(15.0)	-	(9.1)	口縁～胴部30%	L R
50	300	31U-23B	6	鉢	良	灰褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B3	(23.2)	丸底	(8.3)	口縁～胴部40%	
50	301	31U-23A, 23B	6・9・12.9	浅鉢	良	灰白色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(17.8)	丸底	9.5	60%	
50	302	31U-25B, 25D,34B	4.3.8・10	浅鉢	粗	黄褐色	細砂・白砂・スコリア	後期中葉	加曽利B3	21.4	丸底	9.7	70%	
50	303	31U-13B	4	鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	-	-	(13.6)	頸部～胴部70%	粗
50	304	31U-22B	4・9	浅鉢	良	黄褐色	大粒砂・白砂・石英粒	後期中葉	加曽利B3	-	丸底	(8.6)	胴部～底部45%	
50	305	31U-35	3	鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利B3	-	6.6	(13.8)	頸部～底部90%	L R
50	306	31U-3C	1	鉢	良	黒褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B3	12.4	5.9	12.5	80%	
50	307	31U-25B-	1・4	鉢	良	黄褐色	白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	-	(16.5)	胴部40%	
51	308	31U-23A, 24A,23B, 13C	1・2・12.5・7・9・ 10・14.10	浅鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂	後期中葉	加曽利B3	20.2	丸底	15.0	75%	
51	309	1トレ	1	鉢	良	茶褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B3	-	4.4	(9.2)	胴部～底部80%	
51	310	31U-24D, 24C	17・18.5	台付鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	-	(9.7)	胴部40%	
51	311	31U-23B	7・9	鉢	良	赤褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(14.3)	丸底	(15.2)	40%	L R
51	312	31U-13A,3C, 13B	10・13.1.4	碗	良	灰褐色	大粒砂・白砂・スコリア	後期中葉	加曽利B3	17.7	丸底	9.9	80%	
51	313	1トレ	1	浅鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(12.9)	4.4	9.8	50%	
51	314	31U-25D	3	碗	良	赤褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利B3	-	7.8	(1.9)	底部50%	
51	315	31U-33B	7	碗	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(13.5)	丸底	6.2	40%	L R
51	316	31U-33B	1.1	鉢	やや粗	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(18.8)	6.6	13.1	50%	
51	317	31U-33A	6	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(10.0)	(6.6)	4.7	45%	
51	318	31U-3D,12D	2・5.1	浅鉢	良	灰褐色	大粒白砂	後期中葉	加曽利B3	10.7	5.0	9.2	90%	
51	319	31U-3C	1	鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(15.9)	6.8	14.2	60%	粗製・L R
51	320	31U-13A	10	鉢	粗	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利B3	(15.7)	(7.0)	14.1	25%	
51	321	31U-3	1	鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(15.5)	5.8	10.1	50%	
51	322	31U-22B	6	鉢	良	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B3	14.6	8.9	10.3	99%	L R
51	323	31U-3B	2	鉢	良	黄褐色	大粒の白砂含む	後期中葉	加曽利B3	11.5	5.8	11.1	90%	
51	324	31U-2C, 3D,13A,13B	1.2.1.4	鉢	やや粗	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(14.1)	5.6	12.1	35%	粗製
51	325	31U-35B	7	鉢	良	黒褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B3	9.4	5.0	11.7	ほぼ完形	
51	326	31U-13D	5	鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒・スコリア含む	後期中葉	加曽利B3	12.7	5.1	10.7	70%	粗製
51	327	31U-34A	5	鉢	良	黒褐色	微細砂・石英粒多量に含む	後期中葉	加曽利B3	12.9	5.0	9.4	85%	L R
51	328	31U-23C, 24B	12・14・15.4	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	13.1	-	(8.3)	口縁～胴部60%	粗製
51	329	2トレ-1	1	碗	やや粗	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	11.1	丸底	(8.0)	45%	
51	330	31U-12B	2	浅鉢	粗	灰褐色	大粒白砂・スコリア	後期中葉	加曽利B3	14.9	丸底	7.1	60%	
51	331	16トレ	1	碗	やや粗	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(8.1)	-	(7.7)	口縁～胴部40%	
52	332	31U-4D,5D	1.4	碗	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(14.8)	丸底	5.9	40%	L R
52	333	16トレ, 31U-23B	1.4	浅鉢	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曽利B3	(12.2)	丸底	(7.0)	30%	
52	334	16トレ	1	鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	17.0	5.8	7.0	55%	
52	335	31U-22B	4	鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(10.8)	4.8	5.9	40%	
52	336	31U-23A	2	碗	やや粗	黄褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(11.5)	丸底	(7.9)	60%	
52	337	31U-12B	3	鉢型	良	黒褐色	微細砂	後期中葉	加曽利B3	11.6	丸底	6.7	完形	
52	338	31U-3B	1・2	浅鉢	良	灰褐色	大粒白砂	後期中葉	加曽利B3	16.2	丸底	7.2	95%	無文
52	339	31U-3D	5	浅鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(15.6)	丸底	8.4	40%	L R 船形か?
52	340	31U-2C	4	鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	21.3	5.8	15.5	80%	無文
52	341	31U-36A, 25C	3.5	碗	良	黒褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利B3	(15.7)	-	(7.7)	口縁～胴部25%	無文
52	342	31U-14B	3	碗	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(19.0)	丸底	6.7	30%	無文
52	343	31U-12B	3	舟形鉢	良	黒褐色	白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	11.3	丸底	6.0	90%	無文
52	344	31U-2C	2	舟形	良	黄褐色	大粒砂粒・白砂	後期中葉	加曽利B3	-	(5.0)	(9.5)	40%	
52	345	31U-13C, 14D	12・14.4	台付鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(24.9)	-	(9.5)	口縁～胴部40%	
52	346	16トレ, 31U-13B	1.4	浅鉢	良	黄褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曽利B3	-	丸底	(7.3)	50%	舟形
52	347	31U-24A	6・7	台付鉢	やや粗	赤褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	12.0	(6.0)	脚部75%	無文
52	348	31U-23D, 13D	12.3・5	壺	良	灰褐色	白砂・石英粒	後期中葉	加曽利B3	-	-	(11.9)	胴下端20%	
52	349	31U-23A, 23B	6.7・9	台付鉢	良	灰褐色	細砂・大粒白砂を多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	9.7	(6.7)	脚部90%	L R
52	350	31U-12B	2	台付鉢	良	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B3	(31.2)	-	(8.9)	口縁～胴部20%	
52	351	31U-3B	7	台付鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	8.3	(7.2)	脚部95%	スカシ

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
52	352	18トレ	1	台付鉢	良	黒褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	7.2	5.9	脚部100% 胴部15%	
52	353	31U-25D	2	台付鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	-	14.0	(12.9)	脚部75%	
52	354	31U-33B	8	台付鉢	やや粗	黄褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	加曽利B3	-	9.5	(7.6)	脚部100%	L R
52	355	31U-35A	2・4	台付鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	(10.2)	9.0	脚部80%	L R
52	356	31U-33A	8	台付鉢	やや粗	黒褐色	大粒砂粒多量に含む	後期中葉	加曽利B3	-	9.9	(8.5)	脚部100%	
52	357	31T-93C	1	台付鉢	良	赤褐色	白砂	後期中葉	加曽利B3	(11.3)	-	(5.2)	口縁~底部片	
52	358	31T-94C	1	浅鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曽利B3	(10.6)	-	(4.6)	口縁~底部片	
53	359	31U-13C.14D	10・12・14.1・9	深鉢	良	暗褐色	微細砂	後期後葉	曾谷	(31.6)	-	(26.0)	口縁~胴部50%	
53	360	31U-3B.3.4A	1.4.1	深鉢	やや良	黄暗褐色	大粒の砂含む	後期後葉	曾谷	25.4	5.8	27.0	80%	
53	361	31U-4D.3	1.1	深鉢	良	赤褐色	細砂・白砂含む	後期後葉	曾谷	(22.0)	-	(12.2)	口縁~胴部20%	
53	362	31U-33B.24D	2・5.10・15・18	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂含む	後期後葉	曾谷	(21.0)	-	(18.9)	口縁~胴部20%	
53	363	31U-26C.26D	3・4.2	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	曾谷	-	3.0	(12.7)	胴部~底部60%	
53	364	31U-23D	1・2・6	瓢箪形深鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂含む	後期後葉	曾谷	(25.2)	(4.6)	36.1	60%	
53	365	31S-94	1	深鉢	良	黄褐色	大粒砂・白砂・スコリア	後期後葉	曾谷	(26.0)	-	(11.0)	口縁~胴部15%	
53	366	31U-33B	3	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	曾谷	(13.6)	-	(14.0)	口縁~胴部25%	L R
53	367	31U-23A.23B.23D	3.7・10.14	深鉢	良	赤褐色	微細砂・白砂含む	後期後葉	曾谷	(23.2)	-	(11.9)	口縁~胴部25%	
54	368	31U-13C.23A.23B	3.1.6・7	深鉢	良	黄褐色	白砂多量に含む	後期後葉	曾谷	(30.2)	-	(20.3)	口縁~胴部30%	粗製
54	369	31U-35A	3・4	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	曾谷	-	26.0	(28.6)	30%	
54	370	31U-34A	7	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	曾谷	-	-	(22.1)	胴部60%	
54	371	31U-13A.13B.14B	10.1・6.3	鉢	良	赤褐色	細砂	後期後葉	曾谷	(24.0)	-	(12.9)	胴部~胴部30%	粗製
54	372	31U-3D.12D.4A.13A.14B	1・2・12.1.1.1・2.4	浅鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	曾谷	(25.2)	丸底	11.7	50%	楕円形
54	373	31U-13C.13D	8.10	浅鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	曾谷	(24.7)	-	(8.2)	口縁45%	
54	374	31U-3C.3.3D.12D.13A	1.1.12.1.2	浅鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	曾谷	(17.3)	丸底	8.4	30%	
54	375	31U-14D	8	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期	曾谷	-	5.0	(11.1)	胴部~底部60%	
54	376	31U-24C.24D	6.17	台付鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	後期後葉	曾谷	-	16.8	(13.0)	脚部55%	
54	377	31U-35B	1	台付鉢	良	黄褐色	白色砂多量に含む	後期後葉	曾谷	-	(11.9)	(11.0)	脚部30%	
54	378	31U-14 D	9	台付鉢	良	暗褐色	微細砂	後期後葉	曾谷	-	10.4	(8.2)	脚部60%	
54	379	31U-4C	4	台付鉢	やや粗	黄褐色	大粒砂粒・白砂多量に含む	後期中葉	曾谷	-	(11.9)	9.1	脚部30%	L R
55	380	31U-13A.12B	1.2	深鉢	やや粗	灰黒褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期後葉	安行1	22.8	4.8	33.1	90%	
55	381	31U-24C.24D.15D	6.18.4	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行1	-	-	(10.1)	胴部40%	
55	382	1トレ	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行1	(24.0)	-	(24.9)	口縁~胴下半20%	ペンガラ
55	383	31U-23C	5	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行1	(30.0)	-	(27.9)	口縁~胴部20%	
55	384	1トレ	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期後葉	安行1	(23.0)	-	(14.1)	口縁~胴上半30%	
55	385	31U-24D	10	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒含む	後期後葉	安行1	-	-	(14.5)	胴部15%	
55	386	31U-24D	10・11	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂・スコリア	後期後葉	安行1	(28.0)	-	(27.2)	口縁~胴部20%	
55	387	31U-23B.24A	7.5・6	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期後葉	安行1	(26.5)	-	(17.8)	胴部~胴部25%	
56	388	31U-24C.24D.34A	4・5・6.15・17.9	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	35.3	-	(38.0)	口縁~胴下半70%	
56	389	31U-25C.35A.36A.35B	2・3.2・4.5.1・2・3	深鉢	やや粗	灰白色	細砂・石英粒含む	後期後葉	安行1	(24.2)	-	(20.2)	口縁~胴部60%	
56	390	31U-14D	1・2・8	深鉢	良	暗褐色	細砂・スコリア	後期後葉	安行1	28.3	-	(27.0)	口縁~胴下半50%	
56	391	31U-34A.24D	9.15・17	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	32.0	-	(32.6)	口縁~胴下半60%	
56	392	31U-13C	1・3・4・12・14	深鉢	やや良	暗褐色	細砂・スコリア	後期後葉	安行1	25.0	-	(26.6)	口縁~胴下半70%	
56	393	31U-24B	2	深鉢	良	暗褐色	細砂	後期後葉	安行1	38.0	-	(15.6)	口縁~胴部85%	
57	394	31U-25D	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行1	31.6	-	(25.1)	口縁~胴部40%	
57	395	31U-33B.23C	7・8・9.8	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	(26.0)	-	(22.5)	口縁~胴部45%	
57	396	31U-34A.33B.24C	7・9.4・5・7.6	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	(32.2)	-	(26.2)	口縁~胴部25%	△
57	397	31U-24A.24B.15D	7.3.1	深鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア多量に含む	後期後葉	安行1	26.3	-	(19.3)	口縁~胴部75%	
57	398	31U-23C	8	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	最大径(25.7)	-	(13.3)	胴部20%	L R
57	399	31U-23C.24B.24D	3.4.15・18	深鉢	良	黄褐色	白砂多量に含む	後期後葉	安行1	(26.6)	-	(17.3)	口縁~胴部40%	
57	400	31U-4D	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	-	最大径(35.5)	(15.8)	胴部30%	△
57	401	31U-13C	4	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒・スコリア含む	後期後葉	安行1	(21.0)	-	(17.8)	口縁~胴部25%	
58	402	1トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行1	(27.9)	-	(21.8)	口縁~胴部10%	
58	403	1トレ	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行1	(24.9)	-	(21.1)	口縁~胴部20%	
58	404	31U-24D.24B	11・15・17.3・4	深鉢	良	赤褐色	細砂・スコリア	後期後葉	安行1	24.5	-	(22.3)	口縁~胴部80%	
58	405	31T-94D	1・4	深鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂含む	後期後葉	安行1	(27.0)	-	(22.0)	口縁~胴部20%	
58	406	31U-24D	10	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	(22.0)	-	(24.8)	口縁~胴部25%	
58	407	31U-34A	3・7・9	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	22.8	-	(22.2)	口縁~胴部60%	
58	408	31S-81	1	鉢	良	黄褐色	微細砂	後期後葉	安行1	17.3	-	(17.4)	ほぼ完形 底部欠損	
58	409	31U-3C.3.4D	1.1.1	深鉢	良	黒褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行1	16.7	-	(14.2)	口縁~胴部60%	
58	410	31U-24C	4	深鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行1	(25.4)	-	(14.5)	口縁~胴部25%	
58	411	31U-14D	2・4	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂・石英粒含む	後期後葉	安行1	(18.0)	-	(13.4)	口縁~胴部35%	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
59	412	31U-34B	3・4	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行1	20.8	-	(20.0)	70%	
59	413	31U-22C	1	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	(24.3)	-	(7.0)	口縁～胴部20%	
59	414	31U-3D	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行1	(22.7)	-	(15.6)	口縁～胴部20%	
59	415	31U-33B	5	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・白色砂含む	後期後葉	安行1	(21.0)	-	(12.5)	口縁～胴部25%	
59	416	31U-24D	11	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒含む	後期後葉	安行1	(16.4)	-	(9.4)	口縁～胴上半25%	L R
59	417	31U-23B	7・9	深鉢	良	灰褐色	大粒砂粒・スコリア含む	後期後葉	安行1	20.0	-	(27.9)	70%	
59	418	31U-24C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂含む	後期後葉	安行1	(22.5)	-	(12.2)	口縁～胴部10%	
59	419	31U-23B	9・10	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	(22.0)	-	(15.4)	口縁～胴部35%	
59	420	31U-23C	5	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂含む	後期後葉	安行1	(21.0)	-	(13.4)	口縁～胴部25%	
59	421	31U-13B	4・5	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	21.2	-	(8.0)	口縁～胴部30%	
59	422	31U-33B	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	後期後葉	安行1	(22.8)	-	(11.4)	口縁～胴上半15%	粗製
59	423	31U-34B	4	深鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒含む	後期後葉	安行1	(18.0)	-	(12.3)	口縁～胴上半20%	
60	424	31U-34A	7・9	深鉢	良	灰黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行1	(32.6)	-	(22.0)	口縁～胴部40%	粗製
60	425	31U-33B	5	深鉢	良	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行1	(28.7)	-	(35.5)	口縁～胴部30%	
60	426	31U-36A. 36B.36	3.1.1	深鉢	良	黄暗褐色	砂(多)	後期後葉	安行1	30.0	2.5	36.5	30%	粗製
60	427	31U-33B	5	深鉢	良	黄暗褐色	細砂	後期後葉	安行1	23.4	3.4	38.0	60%	
60	428	31U-13C	7	深鉢	やや粗	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行1	(31.6)	-	(20.8)	口縁～胴部40%	粗製
60	429	31U-3D	1	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂・スコリア	後期後葉	安行1	-	-	-	口縁片	粗製
61	430	31U-23C	11	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂・スコリア	後期後葉	安行1	(28.0)	-	(27.5)	口縁～胴部25%	粗製
61	431	31U-14C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	(30.5)	-	(26.3)	口縁～胴部20%	粗製
61	432	31U-14D	4	深鉢	良	灰褐色	白砂	後期後葉	安行1	-	-	-	口縁片	粗製
61	433	31U-23A	1・6	深鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期後葉	安行1	(19.4)	-	(18.7)	口縁～胴部50%	
61	434	31U-13B. 12B	1.1・2	深鉢	良	暗褐色	細砂・白色砂含む	後期後葉	安行1	(21.1)	3.6	24.9	35%	
61	435	31U-3C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行1	-	4.0	(17.5)	胴～底部60%	
61	436	2トレ	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	後期後葉	安行1	14.5	3.3	18.8	85%	無文
61	437	18トレ	1	深鉢	良	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行1	(33.4)	-	(23.3)	口縁～胴部30%	
61	438	2トレ	1	深鉢	やや良	黄褐色	大粒の砂含む	後期	安行1	(23.6)	-	(26.5)	口縁～胴部30%	無文・製塩
62	439	31U-2C.3D	1・2.1	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	32.8	-	(10.0)	口縁～胴部40%	
62	440	31U-13C. 14B	10.6	浅鉢	良	茶褐色	細砂	後期後葉	安行1	27.9	-	(8.1)	口縁～胴部15%	
62	441	31U-23B	6・7	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	19.6	-	(11.9)	口縁20%	L R
62	442	31T-94D	1	浅鉢	良	黄褐色	細砂・小石を含む	後期後葉	安行1	(16.9)	8.2	9.2	60%	
62	443	3トレ	1	浅鉢	良	赤褐色	微細砂	後期後葉	安行1	(20.8)	丸底	9.5	35%	
62	444	31U-3B.3C	1.1	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	15.7	丸底	8.1	75%	
62	445	31U-23C	2・3	鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期後葉	安行1	(15.8)	-	(7.6)	口縁～胴部25%	
62	446	31U-24D	8	台付鉢	良	黒褐色	細砂・スコリア多量に含む	後期後葉	安行1	24.5	-	(16.0)	口縁～胴部100% 脚部欠損	
62	447	31U-23B	7	台付鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	(19.1)	-	(7.5)	口縁～胴部30%	
62	448	31U-13D	1	鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	15.5	5.6	8.4	45%	
62	449	31U-23C	8	台付鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	(27.0)	-	(7.1)	口縁～胴下端25%	
62	450	31U-13C. 13D	1.4	浅鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	40.0	-	(10.2)	口縁～胴下端85%	
62	451	31S-94	1	台付鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行1	16.4	-	(6.3)	口縁～胴部50%	
62	452	31T-94D. 94A	1.1	台付鉢	やや粗	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行1	17.2	-	(6.4)	口縁～底部75% 台付部欠損	無文
62	453	31U-23B	6・10	台付鉢	良	黒褐色	微細砂	後期後葉	安行1	-	(17.6)	(14.7)	脚部25%	
62	454	31U-13D. 13C.23A	1.8.1	台付鉢	やや粗	黄褐色	細砂	後期後葉	安行1	-	(18.0)	12.6	脚部30%	スカシ
62	455	3トレ	1	台付鉢	やや粗	黄褐色	細砂・石英粒多量に含む	後期後葉	安行1	-	(10.7)	8.1	脚部50%	
62	456	31U-24D	11	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行2	(31.3)	-	(20.1)	口縁～胴部15%	
63	457	1トレ	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	後期後葉	安行2	(28.8)	-	(24.3)	口縁～胴部25%	
63	458	31U-13D	1	深鉢	良	灰褐色	大粒砂粒・白砂・石英粒	後期後葉	安行2	(25.4)	-	(23.0)	口縁～胴部30%	
63	459	31U-4A	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行2	(22.4)	-	(22.3)	口縁～胴下半30%	
63	460	31U-24C. 24D	2・4.2・15	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行2	(14.3)	-	(10.1)	口縁～胴部40%	
63	461	31U-13C. 23B	4.1	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行2	(14.0)	-	(9.9)	口縁～胴部40%	
63	462	31U-4D	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	後期後葉	安行2	(23.0)	-	(17.0)	口縁～胴部25%	
63	463	31U-12D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行2	(24.5)	-	(12.7)	口縁～胴部10%	
63	464	31U-24D	10・17	鉢	良	暗茶褐色	細砂含む	後期後葉	安行2	-	-	(10.2)	胴部25%	
63	465	2トレ	1	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行2	(22.0)	-	(23.4)	口縁～胴下端30%	
64	466	31U-4C	2・4	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行2	(21.8)	-	(17.4)	口縁～胴部15%	
64	467	31U-4A.4D	1.1	深鉢	良	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行2	25.7	-	(16.0)	口縁～胴部20%	
64	468	31U-3	1	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行2	(19.1)	-	(17.8)	口縁～胴部20%	
64	469	31U-14B	3・4	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行2	(18.0)	-	(16.7)	口縁～胴部35%	
64	470	31U-4D	1	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行2	(16.8)	-	(14.0)	口縁～胴部30%	
64	471	31U-4A	1	深鉢	良	灰褐色	細砂・大粒白砂を多量に含む	後期後葉	安行2	16.0	-	(12.3)	口縁～胴部55%	
64	472	31U-4D	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行2	(22.1)	-	(9.0)	口縁～胴部30%	
64	473	31T-2	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	後期後葉	安行2	(17.7)	-	(8.3)	口縁～胴部10%	
64	474	31U-4	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行2	(20.4)	-	(9.0)	口縁～胴部20%	
64	475	31U-24C. 24D	2・6.17	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行2	(11.8)	1.9	14.4	50%	
64	476	31U-13C. 14D	10・12.4	深鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂含む	後期後葉	安行2	(26.1)	-	(20.0)	口縁～胴下半35%	箱付第4様式
64	477	31T-14	1	深鉢	良	赤褐色	細砂・スコリア含む	後期後葉	安行2	-	4.2	(14.3)	40%	
64	478	31U-25D	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行2	(14.0)	-	(13.2)	口縁～胴部40%	
65	479	31T-14	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行2	(28.2)	-	(17.5)	口縁～胴部25%	粗製
65	480	31U-24D	5	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行	34	-	(16.6)	口縁15%	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
65	481	31U-36A	1・3	深鉢	やや粗	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行2	27.5	-	(19.1)	口縁~胴部50%	粗製
65	482	31U-24D	4	深鉢	やや粗	黄褐色	細砂・大粒砂粒含む	後期後葉	安行2	29.3	-	(16.6)	口縁15%	
65	483	31U-24D	4	深鉢	やや粗	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後期後葉	安行2	(25.6)	-	(21.0)	口縁~胴部40%	粗製
65	484	31U-23B	7	深鉢	やや粗	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	後~晩期	安行2	25.5	3.4	27.0	30%	粗製
65	485	31U-25A, 24B	1,4	深鉢	良	黄褐色	大粒の砂含む	後期後葉	安行2	22.8	-	(29.7)	口縁~胴下半75%	
65	486	31U-13A, 3C, 15A	1・2,4,1	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂含む	後期後葉	安行2	22.6	-	(23.5)	口縁~胴下半80%	粗製
65	487	31U-36A	3	深鉢	やや粗	灰褐色	細砂	後期後葉	安行2	-	-	(7.2)	破片	
65	488	31U-24D	10	鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行2	-	-	(8.2)	破片	
65	489	31S-94	1	鉢 (楕円型)	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行2	(13.2)	(7.2)	4.5	25%	
65	490	31U-33A	1	浅鉢	細砂	黄褐色	細砂	後期後葉	安行2	-	-	-	破片	
66	491	31T-14	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行2	27.3	-	(5.8)	口縁10%	
66	492	31U-3B	1	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂・スコリア	後期後葉	安行2	-	-	-	口縁片	粗製
66	493	31U-13C	8	浅鉢 (楕円形)	良	黄褐色	細砂・スコリア多量に含む	後期後葉	安行2	(21.0~ 25.1)	8.9	10.6	40%	
66	494	31U-3B, 4A, 31T-93C, 94D	1,1,1,2	浅鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	後期中葉	安行2	24.0	-	(7.2)	口縁~胴下端80%	楕円形
66	495	1トレ	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	安行2	(24.8)	-	(9.5)	口縁~胴部30%	
66	496	31U-14D	1・2・4	鉢	良	黄褐色	微細砂	後期後葉	安行2	(24.4)	-	(11.6)	口縁~胴下端30%	
66	497	31U-3	1	台付鉢	良	灰褐色	微細砂・スコリア含む	後期後葉	安行2	(19.0)	-	(12.6)	口縁~胴部25%	
66	498	31U-3B, 4D	1,1	台付鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行2	-	-	(9.7)	鉢部15%	
66	499	31U-23B	6・7・9	浅鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	後期後葉	安行2	-	3.2	(12.0)	胴上半~底部45%	
66	500	31U-4D	1	台付鉢	良	赤褐色	白砂多量に含む	後期後葉	安行2	-	(13.9)	(11.4)	脚部30%	
66	501	31U-14D	1	深鉢	粗	灰褐色	白砂多量に含む	後期後葉	安行2	-	-	-	口縁部片	波状 503・504 同一個体
66	502	31U-13C	1	深鉢	粗	灰褐色	白砂多量に含む	後期後葉	安行2	-	-	-	口縁部片	波状 503・504 同一個体
66	503	31U-24C	2	浅鉢	良	黄褐色	大粒砂粒・スコリア	後期後葉	安行2	-	-	-	口縁部片	
66	504	31T-14	1	浅鉢	良	黄褐色	スコリア	後期後葉	安行2	-	-	-	口縁部片	
66	505	31U-13C	8	浅鉢	良	黄褐色	スコリア	後期後葉	安行2	-	-	-	口縁部片	
66	506	31U-25	1	碗	良	黄褐色	細砂・白砂含む	後期後葉	安行2	-	-	-	口縁部片	
67	1	31U-3B	4・5	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	(26.0)	10.2	28.7	50%	L R
67	2	31T-94D, 94	1,1	深鉢	良	灰褐色	微細砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	(27.2)	-	(15.5)	口縁~胴部20%	
67	3	31U-35A	2	深鉢	やや粗	黒褐色	細砂・白砂含む	晩期前葉	安行3a	-	-	(11.0)	破片	L R
67	4	31U-3B	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	22.1	-	(15.2)	口縁35%	
67	5	31U-24D	3	深鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	(14.6)	-	(13.1)	口縁~胴部25%	
67	6	31U-14A, 14, 23D	5・8,1,7	深鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	(18.6)	-	(11.1)	口縁~胴部30%	L R
67	7	31U-3C	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	14.7	(4.8)	18.6	35%	
67	8	31U-3B	1	深鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	(21.4)	-	(11.9)	口縁~胴部30%	
67	9	31U-25A, 25D	1,3・4	深鉢	良	黒褐色	大粒砂・白砂含む	晩期前葉	安行3a	14.8	2.6	21.9	80%	
67	10	31U-4D, 3C	1,1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	(25.4)	-	(19.9)	口縁~胴部20%	
67	11	18トレ	1	深鉢	良	茶褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	(35.4)	-	(15.5)	口縁~胴部25%	
68	12	31U-35A	3	深鉢	やや粗	灰褐色	大粒砂粒・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	(32.1)	-	(27.2)	口縁~胴部20%	粗製
68	13	31U-4D	2	浅鉢	良	黒褐色	大粒白砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	22.7	丸底	9.4	95%	
68	14	31U-4D	1・2	鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	(26.6)	-	(9.8)	口縁~胴部20%	
68	15	31U-14B	2	浅鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	(22.0)	-	(10.0)	口縁~胴部20%	
68	16	31U-3B	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	(16.2)	-	(7.2)	口縁~胴下半25%	
68	17	31U-12D, 4D	1,1	浅鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	15.6	丸底	4.9	90%	L R
68	18	31U-23B	10	浅鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	(21.4)	-	(9.9)	口縁~胴部25%	
68	19	31U-4D	1	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	22.3	-	(10.3)	口縁20%	
68	20	31U-24A	6	浅鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	(21.8)	-	(11.1)	口縁~胴部20%	
68	21	31U-13B	2・4	鉢	良	黄褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	19.9	-	(10.7)	口縁15%	
68	22	31U-4A	1	鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	(13.3)	-	(9.6)	口縁~胴部50%	R L
68	23	31U-3B, 4, 4D	1,1,2	鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	(23.8)	-	(12.3)	口縁~胴部20%	L R
68	24	31U-24B	3	台付鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	(4.1)	胴部75%	スカシ
68	25	31U-24C	4	鉢	良	灰褐色	大粒砂粒多量に含む	晩期前葉	安行3a	18.6	丸底	10.5	60%	
68	26	31U-3C	1	器台	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	(11.2)	(14.2)	4.3	30%	
69	27	31T-14	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁~胴部片	
69	28	31T-94, 31U-4	1,1	深鉢	粗	灰褐色	細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	口縁が内湾・彩色
69	29	31U-3B	1	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁~胴部片	
69	30	31T-72	1	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	31	31U-4D	1	鉢	良	灰褐色	大粒のスコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	口縁内湾・玉だき 三叉文・玉が穿孔
69	32	31T-94A	4	深鉢	粗	灰褐色	細砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	口縁内湾
69	33	31U-4D	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁~胴部片	L R・地文を結節 縄文で区画
69	34	31T-94D	2	深鉢	粗	赤褐色	細砂・スコリア・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	口縁内湾
69	35	31U-35A	4	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	36	6トレ	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	37	31U-3B	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒多	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	38	31U-3D	2	浅鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒多	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	39	31T-94D	1	浅鉢	粗	黄褐色	細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	40	31U-14B	2	深鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	41	31U-4D	1	浅鉢	良	黒褐色	細砂・白砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
69	42	31U-13C	4・8	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
69	43	31U-4A	1	浅鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	44	31U-13B	1	浅鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	45	31U-3B	1	浅鉢	良	黒褐色	細砂・白砂含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
69	46	31U-4D	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	地文に結節縄文が横走
69	47	31S-93	1	浅鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	波状
69	48	31U-4C	1	浅鉢	良	赤褐色	細砂・白砂含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	L R 56と同一個体
69	49	31U-14B	6	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	
69	50	31U-23B	7	椀	良	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	51	31U-4A	1	椀	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	52	31U-23D	6	椀	粗	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	53	31U-4C	4	椀	粗	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	54	31U-33B	6	椀	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
69	55	31U-23B	7	椀	良	灰褐色	細砂・白砂含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	56	31U-4C	4	椀	粗	黒褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	48と同一個体
70	57	31U-13D	12	椀	良	灰褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	
70	58	31U-14D	9	椀	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
70	59	31U-13A	16	鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	60	31U-23D	1	深鉢	良	黒褐色	大粒砂粒・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	L R
70	61	31T-94D	1	鉢	良	灰褐色	白砂含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	62	31T-94C	1	鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	63	31U-24C	4	鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	64	31T-94D	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	65	1トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	66	16トレ	1	深鉢	良	灰褐色	スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	67	31U-33B	5	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
70	68	31U-13C	8	鉢	良	黄褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	69	1トレ	1	深鉢	良	赤褐色	白砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	70	2トレ	1	鉢	良	赤褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	71	31S-91	1	鉢	粗	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	72	31U-3B	1	鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	73	31T-94D	2	鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	74	31U-24D	17	鉢	良	黒褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	75	31U-4	1	鉢	良	黄褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	76	31U-3C	1	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	77	1トレ	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	78	31U-24B	3	椀	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	79	31U-24C	4	椀	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	80	31U-16D	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	81	31U-3B	1	椀	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
70	82	31U-13B	1	椀	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	83	31U-3B	1	椀	良	黒褐色	細砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	84	31U-4D	1	浅鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	85	31U-13C	1	深鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	86	1トレ	1	椀	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	87	2トレ	1	鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	88	31U-15A	3	鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	89	31U-3B	1	椀	良	赤褐色	白砂多量に含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	90	31T-72	1	深鉢	粗	黒褐色	大粒砂粒・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
70	91	1トレ	1	椀	良	黄褐色	スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	92	31U-23C	3	鉢	良	黒褐色	微細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	93	31S-94	1	椀	粗	黄褐色	砂粒・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	94	31U-4D	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
70	95	31T-93B	2	浅鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	96	31U-4A	1	浅鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	97	31U-23B	2	浅鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	98	31U-4D	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
70	99	31U-15D	1	深鉢	良	赤褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
70	100	31T-93C	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
70	101	31U-24A	6	浅鉢	良	赤褐色	石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	
70	102	31U-24A	7・8	浅鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	
70	103	2トレ	1	浅鉢	良	黄褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	L R
70	104	31U-3B	1	浅鉢	粗	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	波状
71	105	31U-13C	2	浅鉢	良	黒褐色	細砂・白砂多量	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	
71	106	31T-93C	1	浅鉢	良	赤褐色	大粒砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	
71	107	31S-82	1	浅鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
71	108	31T-94C	1	浅鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁～胴部片	L R
71	109	31U-3B	1	椀	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	110	31T-94D	1	浅鉢	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	111	3トレ	1	浅鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	112	31U-14A	5	浅鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	113	31T-14	1	椀	良	灰褐色	大粒砂粒・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	114	31T-4A	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	115	31U-14B	4・6	鉢	良	黒褐色	大粒砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	116	31S-81	1	浅鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	117	31U-4A	3	浅鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	ゆるい波状
71	118	31U-22	1	鉢	良	黄褐色	石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
71	119	1トレ	1	鉢	粗	灰褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	120	31U-3B	1	鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	121	31U-4A	1	鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	122	1トレ	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	波状
71	123	31U-14B	2	深鉢	良	黄褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	124	31T-93C	1	鉢	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	125	31U-3C	1	深鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	126	1トレ	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	127	31U-15C	1	浅鉢	粗	灰褐色	大粒砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	128	31U-35A	1	深鉢	良	黄褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	粗製・L R
71	129	31U-35A	2	深鉢	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	130	31S-81	1	鉢	良	灰褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	
71	131	31T-94C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	132	31U-25D	1	深鉢	良	黒褐色	大粒白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	133	31U-4	1	椀	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	134	31U-23D	6	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	肩部片	
71	135	31U-14B	2	深鉢	良	黄褐色	細砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
71	136	31U-4	1	椀	良	黄褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
71	137	31U-14B	1	鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	138	31U-4D	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	139	31U-4A	1	鉢	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	口縁部片	L R
71	140	31U-13C	4	椀	良	黒褐色	微細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	141	31T-94	1	椀	良	黄褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
71	142	31U-24D	7	浅鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
71	143	31T-2	1	鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	144	31U-13C	8	浅鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	145	31U-33B	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	146	31U-24C	1	鉢	良	黒褐色	細砂・大粒白砂多量	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	147	16トレ	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	148	31U-33B	8	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	149	31T-94D	2	椀	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	150	31U-12D	1	鉢	良	黒褐色	微細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	151	31S-81	1	椀	粗	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
71	152	31U-14D	2	深鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	153	16トレ	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
71	154	31U-15D	4	鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	155	31T-94	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	156	31U-4D	1	壺	良	黒褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
72	157	6トレ	1	壺	良	黒褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
72	158	31U-4	1	鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
72	159	31U-15C	4	鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	160	31U-14A	4	鉢	良	黒褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
72	161	31U-24D	4	深鉢	良	黒褐色	石英粒多量	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	162	31U-4A	1	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
72	163	31T-2	1	鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L R
72	164	31U-4D	1	鉢	良	黒褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	165	31U-13C	2	壺	良	黄褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	166	31S-81	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	167	1トレ	1	鉢	良	黒褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	168	31T-94C	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	169	31S-81	1	深鉢	粗	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	170	31U-4D	1	壺	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	L Rを波状に
72	171	31U-4	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	172	2トレ	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒多量	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	173	2トレ	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	174	31U-23B	5	深鉢	良	黄褐色	微細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3a	-	-	-	胴部片	
72	175	31U-3D	1	鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	L R
72	176	31T-94	1	浅鉢	粗	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	177	31U-3B	1	浅鉢	良	黒褐色	大粒砂粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	178	1トレ	1	椀	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	L R
72	179	2トレ	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	180	31T-94C	2	壺	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	181	31U-14A	4	浅鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	L R
72	182	16トレ	1	浅鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	183	31U-14D	1	鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	184	31T-94A	4	鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	185	31U-24B	4	鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	L R
72	186	31U-4	1	鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	187	31U-35A	2	鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	L R
72	188	31T-93B	2	深鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	189	31U-13C	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	L R
72	190	31T-94D	2	壺	良	黒褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	191	31U-16D	1	鉢	良	黄褐色	大粒砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
72	192	31U-3B	1	台付鉢	粗	黄褐色	大粒砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	底部片	
72	193	31U-4D	1	椀	良	黒褐色	細砂・白砂含む	晩期前葉	安行3b	-	-	-	底部片	
72	194	2トレ	1	鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	195	31S-81	1	鉢	粗	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
72	196	31S-94	1	鉢	粗	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	197	31U-15A	6	深鉢	粗	黄褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	口縁内湾
72	198	31S-81	1	浅鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	199	31U-16D	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	200	1トレ	1	鉢	粗	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	201	1トレ	1	鉢	粗	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	202	1トレ	1	鉢	粗	黄褐色	石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	203	31T-18	1	鉢	良	黄褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	204	31U-12	1	鉢	粗	黒褐色	石英粒含む	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	205	3トレ	1	鉢型	良	黄褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	206	31U-3D	2	鉢	粗	黄褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	207	31U-4B	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	208	31T-94C	1	深鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	209	31S-81	1	深鉢	粗	灰褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	210	31T-94D	2	鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	211	31U-24C	7	深鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	三十稲場かも？
72	212	31U-25A	1	椀	粗	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	213	31S-81	1	鉢	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	214	6トレ	1	鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	215	2トレ	1	深鉢	良	黄褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	216	2トレ	1	深鉢	良	赤褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	217	1トレ	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	218	31U-4	1	鉢	良	黄褐色	大粒砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	219	31U-3C,4	1.1	深鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
72	220	6トレ	1	鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	221	31U-13B	4	鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	222	6トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	223	31U-3C	1	鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	224	31U-4A	1	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒・スコリア含む	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	細沈線系
73	225	31T-93	1	鉢	良	灰褐色	スコリア・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	226	31T-94C	1	鉢型	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	227	31U-3C,5D	1.2	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	228	31S-81	1	深鉢	良	黄褐色	スコリア・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	229	31U-4A	1	鉢型	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	230	31T-94D	3	鉢	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	231	31U-4C	2	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	232	3トレ	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	233	1トレ	1	鉢	良	赤褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	234	31U-15A	5	深鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒・スコリア含む	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	細沈線系
73	235	31T-93C	2	鉢	粗	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	236	31U-15D	1	鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	237	31U-14B	2	鉢	良	赤褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	238	31U-15A	3	鉢	良	赤褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	239	3トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア含む	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	240	6トレ	1	深鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	241	31U-13C	1	鉢型	良	灰褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	242	31U-35A,13C	6.1	深鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～胴部片	
73	243	31U-14A,15A	5.3	深鉢	粗	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～胴部片	
73	244	2トレ	1	深鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	245	31T-94	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	246	31T-94D	2	鉢	良	黄褐色	スコリア・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	247	31S-81	1	鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	248	1トレ	1	深鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	249	31S-93	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	250	31S-93	1	鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	251	31S-81	1	鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	252	31T-94D	2	鉢	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	253	31U-23D	2	鉢	粗	黒褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	254	4C	-	鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	255	31U-25D	3	鉢	粗	黄褐色	大粒スコリア・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	256	31U-3B	1	鉢型	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～肩部片	
73	257	31S-81	1	鉢	粗	黄褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～肩部片	
73	258	2トレ	1	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～肩部片	安行3aか？
73	259	6トレ	1	鉢	粗	黄褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	260	2トレ	1	深鉢	粗	黄褐色	黒粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	261	6トレ	1	鉢	粗	黄褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～肩部片	
73	262	31U-16D	5	鉢	良	黄褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～肩部片	
73	263	31U-33A,33B	1.3	鉢	良	黄褐色	大粒砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁～肩部片	
73	264	31U-24B	4	深鉢	粗	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	265	1トレ	1	鉢	良	赤褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	266	6トレ	1	深鉢	良	赤褐色	大粒白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	267	31U-35A	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	粗製
73	268	31T-94C	1	浅鉢	良	灰褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	269	31S-81	1	鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
73	270	2トレ	1	鉢	粗	黄褐色	大粒砂粒・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
73	271	31U-4C	2	鉢	良	灰褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
74	272	31U-24B	3	鉢	粗	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
74	273	31U-33B	5	鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
74	274	31U-14B	3	鉢	良	黒褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	口縁部片	
74	275	31U-14A	4	深鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	276	6トレ	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	277	3トレ	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	278	3トレ	1	深鉢	良	黒褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	279	1トレ	1	深鉢	良	灰褐色	石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	280	31U-23C	12	壺	良	灰褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	281	1トレ	1	壺	粗	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	282	31U-13B	4	深鉢?	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	283	31U-5D	2	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	284	31U-3D	2	深鉢	良	赤褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	285	31U-4	1	深鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	286	16トレ	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	287	31U-13D	2	深鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	286と同一個体
74	288	31U-3B	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	289	6トレ	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	290	31U-4C	2	深鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	291	31U-4D	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	292	3トレ	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	293	31U-15A	3	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	294	3トレ	1	深鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	295	31T-72	1	鉢	良	灰褐色	大粒白砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	296	31U-4	1	鉢	良	黄褐色	大粒白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	297	31S-81	1	深鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	298	2トレ	1	鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	299	14トレ	1	鉢	良	黒褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	300	7トレ	1	深鉢	良	黄褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	301	31U-3	1	深鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	302	31T-94D	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	303	31T-94	1	深鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	304	31U-15B	2	深鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	305	31U-25C	2	深鉢	良	黄褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	306	31U-4	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	307	31T-94D	1	深鉢	良	灰褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	308	3トレ	1	鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	309	31U-14B	3	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	310	31U-13B	7	深鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	311	2トレ	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	312	31U-3C	1	深鉢	粗	黒褐色	大粒砂粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	313	31U-6A	2	深鉢	良	灰褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	314	31T-94D	4	深鉢	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	315	31T-94A	4	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	316	31T-94C	1	深鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	317	31U-4	1	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	318	31U-4A	1	深鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	319	31T-2	1	深鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	320	31T-17	1	深鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	321	31U-4	1	深鉢	良	灰褐色	石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	322	31U-4D	1	深鉢	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	323	16トレ	1	深鉢	良	茶褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	324	31U-2D	1	深鉢	良	黄褐色	石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	325	1トレ	1	深鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	326	6トレ	1	鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	327	31S-82	1	深鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	328	31U-23D	7	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	329	31U-15B	2	鉢	良	黒褐色	大粒砂粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	330	31U-3D	1	深鉢	良	黒褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	331	31U-3B	1	深鉢	良	黒褐色	大粒白砂・スコリア	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	332	31T-94D	4	深鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	333	31U-14B	3	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3b	-	-	-	胴部片	
74	334	31T-94C	1	鉢	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	底部片	
74	335	31T-94D	2	鉢	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	底部片	
74	336	3トレ	1	鉢	良	灰褐色	大粒砂粒・白砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	底部片	
74	337	31S-81	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3b	-	-	-	底部片	
75	338	30T-29	1	鉢	粗	赤褐色	スコリア	晩期前葉	安行3c	(25.0)	-	(12.8)	口縁～肩部片	
75	339	31U-15D	1	鉢	粗	黄褐色	スコリア・石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁～肩部片	
75	340	31U-14C, 14D	1,1	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	341	2トレ	1	深鉢	粗	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	342	31U-5D	4	深鉢	粗	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	343	31U-4C	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	344	31S-81	1	鉢	良	黄褐色	石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	345	1トレ	1	鉢	粗	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	346	2トレ	1	楕円?	良	黄褐色	微細砂・白砂・スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁～胴部片	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
75	347	31U-4	1	鉢	粗	灰褐色	大粒白砂多量	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁~肩部片	
75	348	2トレ	1	浅鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁~胴部片	
75	349	31S-81	1	鉢	粗	灰褐色	大粒砂粒・白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁~胴部片	
75	350	2トレ	1	深鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	351	2トレ	1	椀	良	黄褐色	微細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	352	31U-23C	8	深鉢	粗	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	353	31S-81	1	浅鉢	粗	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	354	31S-81	1	鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	355	1トレ	1	鉢	良	黒褐色	大粒白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	356	31U-14A	6	鉢	良	黄褐色	微細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	口縁部片	
75	357	31U-4	1	深鉢	粗	灰褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	358	31T-6	1	深鉢	粗	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	359	31T-2	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	360	31U-13C	12	深鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	361	31U-4C	4	深鉢	良	灰褐色	石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	362	31U-4	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	363	31U-4	1	深鉢	粗	灰褐色	石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	364	31U-3A	1	深鉢	粗	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	365	31U-4C	4	深鉢	粗	黒褐色	白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	366	31S-81	1	深鉢	良	黄褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	367	31T-2	1	深鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	368	31S-93	1	深鉢	粗	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	369	2トレ	1	鉢	良	灰褐色	石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	370	31S-81	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	371	31S-82	1	深鉢	粗	灰褐色	砂粒多量	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	372	31S-81	1	深鉢	粗	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	373	6トレ	1	深鉢	良	灰褐色	大粒スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	374	31S-81	1	深鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	375	31U-4	1	深鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	376	31U-6A	1	深鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	377	31U-4B	2	深鉢	良	黄褐色	石英粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	378	31S-81	1	深鉢	良	灰褐色	白砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	379	31U-3	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	380	31U-14A	9	鉢	良	赤褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3c	-	-	-	胴部片	
75	381	31U-23A	8	鉢	良	黄褐色	大粒白砂・スコリア	晩期前葉	安行3c~3d	-	-	-	口縁部片	
75	382	31U-13A	11	深鉢	粗	黄褐色	スコリア	晩期前葉	安行3d	-	-	-	口縁部片	
75	383	31U-24B	3	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒多量に含む	晩期前葉	安行3d	-	-	-	胴部片	安行系
75	384	31U-15D	1	鉢	粗	黄褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3d	-	-	-	胴部片	
76	385	31U-14D	1	深鉢	良	灰褐色	大粒砂・白砂	晩期前葉	安行3	27.6	-	(20.5)	口縁~胴部20%	粗製
76	386	31U-24D	10・11・15	深鉢	やや粗	黒褐色	大粒砂粒・スコリア含む	晩期前葉	安行3	(22.4)	-	(14.3)	口縁~胴部35%	製塩土器
76	387	31U-23B	9	深鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行3	23.5	-	(14.1)	口縁~胴部15%	製塩土器・無文
76	388	31U-24A	1	深鉢	良	暗茶褐色	小砂粒	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	
76	389	31U-15A	4	鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	
76	390	SX-10	605	鉢	良	灰褐色	微細砂	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	
76	391	2トレ	1	鉢	良	黄褐色	大粒砂粒・スコリア	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	後期
76	392	31U-4	1	浅鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	
76	393	1トレ	1	浅鉢	粗	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	
76	394	3トレ	1	鉢	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁~肩部片	
76	395	31U-24D	17	深鉢	良	黒褐色	大粒砂・白砂・石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	製塩土器
76	396	31U-24D	10	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂・石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁~胴部片	製塩土器
76	397	31U-4D	1	深鉢	粗	赤褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	398と同一個体 製塩土器
76	398	31U-4D	1	深鉢	粗	赤褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	安行3	-	-	-	口縁部片	397と同一個体 製塩土器
76	399	31U-24A	2	深鉢	良	黒褐色	大粒砂・白砂・石英粒・スコリア	晩期前葉	安行3	-	-	-	胴部片	製塩土器
76	400	31U-13C	2	深鉢	粗	黄褐色	大粒砂粒	晩期前葉	安行3	-	-	-	胴部片	製塩土器
76	401	31U-24D	17	深鉢	良	黒褐色	細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	安行3	-	-	-	胴部片	製塩土器
76	402	31U-24D	11	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	安行3	-	-	-	胴部片	製塩土器
76	403	31U-24D	11・15	深鉢	良	灰褐色	微細砂・スコリア含む	晩期前葉	姥山	25.1	4.0	31.9	65%	
77	404	31U-13C	2	深鉢	良	灰褐色	細砂・大粒砂粒多量に含む	晩期前葉	姥山	(26.3)	-	(13.2)	口縁~胴部15%	
76	405	31U-3C・18トレ	1.1	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂多量に含む	晩期前葉	姥山	(21.1)	-	(17.0)	口縁~胴部25%	
76	406	31U-13C	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	姥山	(23.0)	-	(7.8)	口縁~胴部15%	
77	407	31T-94D	1	深鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	姥山	(30.0)	-	(7.4)	口縁~胴部5%	
77	408	31U-23D	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	姥山	(25.4)	-	(8.3)	口縁~胴部10%	
76	409	31U-13A	1	深鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	姥山	(11.4)	2.5	14.0	35%	
76	410	31U-3C	1	浅鉢	良	黒褐色	微細砂	晩期前葉	姥山	(17.7)	-	(8.7)	20%	
77	411	31S-83	1	深鉢	良	赤褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	412	31U-24D	15	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	赤彩
77	413	31U-24D	11	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	L R多縄文
77	414	31S-94	1	鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	415	31U-4	1	深鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	416	31U-4	1	椀	良	黄褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁~胴部片	
77	417	31U-14C	3	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	418	31U-4D	1	椀	良	灰褐色	白砂・石英粒・スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	419	31S-83	1	椀	良	黄褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	

挿図	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
77	420	31T-14	1	椀	良	灰褐色	白砂・石英粒・スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	421	31U-23B	5	椀	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	422	31U-14	1	椀	良	黒褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	口縁部片	
77	423	31T-2	1	深鉢	良	灰褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	胴部片	
77	424	31U-14A	5	鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	姥山	-	-	-	胴部片	
77	425	31U-4C	4	深鉢	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	胴部片	
77	426	31T-14	1	鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	胴部片	
77	427	6トレ	1	鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	姥山	-	-	-	胴部片	
77	428	31U-23C	12	深鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	姥山	-	-	-	胴部片	
77	429	31U-14B	2	深鉢	粗	灰褐色	白砂多量・石英粒	晩期前葉	姥山	-	-	-	胴部片	
77	430	31T-2	1	浅鉢	良	灰褐色	微細砂・スコリア・石英粒	晩期前葉	前浦1	-	-	-	口縁部片	縄文なし
77	431	31U-5C	3	浅鉢	良	赤褐色	白砂	晩期前葉	前浦1	-	-	-	口縁部片	L R
77	432	1トレ	1	鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂・スコリア	晩期前葉	前浦1	-	-	-	口縁部片	L R
77	433	30T-29	1	深鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	前浦1	-	-	-	口縁部片	
77	434	31U-4D	2	鉢	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	前浦1	-	-	-	口縁部片	
77	435	31S-81	1	深鉢	粗	灰褐色	細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	前浦1	-	-	-	口縁部片	地文に縄文なし
77	436	31T-2	1	浅鉢	粗	黄褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	前浦2	-	-	-	口縁部片	L R
77	437	31S-81	1	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	前浦2	-	-	-	口縁部片	L R
77	438	31S-91	1	深鉢	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	前浦	-	-	-	口縁部片	口縁内湾
77	439	31U-3	1	椀	良	灰褐色	白砂・石英粒	晩期	前浦	-	-	-	口縁部片	雷文
77	440	31S-81	1	鉢	良	黒褐色	白砂	晩期前葉	前浦	-	-	-	口縁部片	
77	441	31U-15A	4	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	前浦	-	-	-	胴部片	L R
77	442	1トレ	1	壺	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	前浦	-	-	-	胴部片	L R
77	443	31U-3	1	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	前浦	-	-	-	胴部片	
77	444	1トレ	1	浅鉢	良	灰褐色	細砂	晩期前葉	前浦	-	-	-	胴部片	
78	445	31U-3C4D	1.1	深鉢	良	灰褐色	微細砂・石英粒含む	晩期前葉	大洞B	-	4.5	(17.4)	胴上半～底部70%	L R
78	446	31U-24D	10	深鉢	良	灰褐色	微細砂・白砂含む	晩期前葉	大洞B	(12.9)	4.9	12.7	65%	L R 瘤付第Ⅲ様
78	447	31S-82	1	台付鉢	良	黄褐色	細砂	晩期後葉	大洞C2	-	(5.0)	(2.25)	底部片	L R
78	448	31T-2 1トレ	1.1	壺	良	黒褐色	細砂・白砂	晩期前葉	大洞B	-	-	-	肩部片	L R
78	449	31U-13C	2	深鉢	粗	灰褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	大洞B	-	-	-	胴部片	
78	450	31U-3B	1	鉢	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	大洞B	-	-	-	胴部片	L R
78	451	SI-20	1	壺	良	黒褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	大洞B	-	-	-	胴部片	
78	452	31U-4D, 3C	1.1	壺	良	黒褐色	微細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	大洞B-C1	-	-	-	口縁～肩部片	L R
78	453	SI-21	1	鉢	粗	黄褐色	スコリア	晩期前葉	大洞B-C1	-	-	-	口縁部片	
78	454	31U-15A	4	椀	良	灰褐色	スコリア	晩期前葉	大洞B-C	-	-	-	口縁部片	
78	455	31U-3B	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	大洞B-C	-	-	-	口縁部片	
78	456	31U-15A	3	椀	良	黄褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	大洞B-C	-	-	-	胴部片	
78	457	3トレ	1	鉢	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	大洞B-C	-	-	-	胴部片	
78	458	16トレ	1	鉢	良	灰褐色	細砂・石英粒	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	口縁部片	L R
78	459	31U-4A	1	壺	良	黄褐色	細砂・白砂・石英粒	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	口縁～肩部片	彩色
78	460	2トレ	1	壺	良	黒褐色	白砂・石英粒	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	口縁～肩部片	L R
78	461	31U-35C	2	椀	良	灰褐色	細砂・スコリア	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	口縁部片	
78	462	31U-15A	4	鉢	粗	灰褐色	大粒砂粒	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	口縁～肩部片	
78	463	31U-23D	7	鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	口縁部片	
78	464	31U-3C	1	壺	良	黄褐色	白砂	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	肩部片	
78	465	31U-24A	5	壺	良	黒褐色	石英粒	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	肩部片	
78	466	31U-22	1	鉢	良	灰褐色	細砂・白砂	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	肩部片	
78	467	31T-14	1	壺	粗	黄褐色	スコリア	晩期前葉	大洞B-C1	-	-	-	肩部片	
78	468	31U-3C	1	壺	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	肩部片	
78	469	31U-4D	1	壺	良	黒褐色	石英粒・大粒白砂	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	肩部片	赤彩
78	470	31S-81	1	壺	粗	黄褐色	大粒砂粒・白砂・スコリア	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	肩部片	
78	471	31U-4D	1	壺	良	黒褐色	石英粒・白砂	晩期前葉	大洞C1	-	-	-	胴部片	L R
78	472	3トレ	1	壺	良	黒褐色	大粒白砂	晩期後葉	大洞C2	-	-	-	口縁部片	
78	473	31U-24D	19	鉢	良	暗茶褐色	石英粒含む	晩期	大洞C	-	-	-	口縁部片	
78	474	2トレ	1	鉢	良	黒褐色	小砂粒含む	晩期前葉	大洞C	-	-	-	口縁部片	
78	475	6トレ	1	壺	粗	赤褐色	細砂・白砂	晩期後葉	大洞A?	-	-	-	胴部片	
78	476	31U-13D	1	壺	粗	黄褐色	大粒砂粒	晩期	大洞	-	-	-	胴部片	雷文
78	477	31U-4D	1	鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	大洞	-	-	-	胴部片	
78	478	31U-16C	2	鉢	良	灰褐色	白砂・スコリア	晩期前葉	大洞	-	-	-	胴部片	雷文?
78	479	31T-2	1	鉢	良	黄褐色	スコリア	晩期後葉	荒海?	-	-	-	口縁部片	
78	480	31U-26C	1	鉢	粗	灰褐色	細砂	晩期後葉	荒海?	-	-	-	胴部片	
78	481	31U-3C	1	鉢	粗	黒褐色	白砂	晩期後葉	荒海	-	-	-	胴部片	条線
78	482	31U-18C	14	台付鉢	粗	灰褐色	大粒砂粒・スコリア・石英粒	晩期後葉	荒海	-	-	(6.4)	底部片	上げ底 条線

第5表 ミニチュア土器観察表

() 推定値, < > 現存値

挿図	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径(cm)	底径(cm)	器高(cm)	依存度	備考
79	1	31U-3, 31T-94C, 94D	1,1,4	深鉢型土器	良	明褐色	細砂	後期	-	74.0	(41.5)	68.1	底部付近一部欠	無文
79	2	31U-24D	10	深鉢	良	灰褐色	石英粒	後期	-	(91.0)	-	(80.5)	口-胴部 1/4	
79	3	31U-26D	1	深鉢	良	灰褐色	白砂	後期	-	(79.0)	-	(28.2)	口縁 1/5	
79	4	31U-15A	4	深鉢	良	明褐色	明褐色	後期	-	(85.5)	-	(26.5)	口縁 1/6	
79	5	31U-25A, 23B	1,1,5	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期	-	(98.0)	-	(74.2)	口-胴部 1/3	
79	6	31U-03D	1	鉢	良	暗褐色	細砂	後期	-	(69.5)	-	(30.8)	口-胴部 1/4	
79	7	31U-05D	4	鉢	粗	灰黄褐色	細砂	後期	-	(69.0)	-	(28.5)	口-胴部 1/6	
79	8	31U-04D	1	台付鉢	良	褐色	細砂	後期	-	38.2	49.2	40.0	鉢部 1/2	台付鉢
79	9	31U-04D	1	手捏ね	粗	褐色	白砂	後期	-	61.0	-	28.5	口縁一部欠	無文 平縁
79	10	31U-23A	3	鉢型	良	褐色	白砂	後期	-	(58.5)	-	55.5	口縁 1/3	無文
79	11	31U-13C	14	手捏ね	粗	茶褐色	細砂	後期	-	(44.5)	-	(30.8)	口-胴部 1/5	
79	12	31U-13C	4	手捏ね	粗	黄褐色	細砂	後期	-	(58.5)	(33.5)	20.7	1/5	
79	13	31T-14	1	手捏ね	粗	灰黄褐色	細砂	後期	-	(48.5)	-	(20.5)	ほぼ完形	
79	14	31U-04D	2	手捏ね	良	褐色	石英粒	後期	-	(68.5)	-	(30.0)	1/4	
79	15	31U-13A	3	手捏ね	粗	灰褐色	細砂	後期	-	(54.2)	-	(23.8)	1/5	
79	16	31U-12B	3	手捏ね	良	黄褐色	細砂	後期	-	33.0	-	30.0	完形	無文 3単位突起
79	17	3トレ	1	手捏ね	良	黄褐色	石英粒	後期	-	54.1	-	30.5	突起2欠損	無文 6単位突起
79	18	31U-03D	1	手捏ね	良	褐色	石英粒	後期	-	44.5	-	24.8	完形	無文
79	19	31U-34A	7	手捏ね	良	暗茶褐色	細砂	後期	-	(36.0)	-	(56.5)	1/3	
79	20	31U-03C	1	手捏ね	粗	灰褐色	白砂	後期	-	(77.8)	-	(33.9)	1/4	
79	21	SK-013	3	手捏ね	良	褐色	細砂	後期	-	(88.5)	-	(39.0)	口-胴部 1/4	
79	22	31U-14D	1	異形台付土器	良	灰褐色	白砂	後期?	-	-	-	-	口縁片	
79	23	31T-94A	4	ひさご型	粗	黒褐色	白砂	後期	-	(39.5)	-	(46.0)	口-胴部 1/5	
79	24	SI-013	1	台付土器	良	赤灰褐色	白砂・石英粒	後期	-	-	-	(25.5)	脚部片	
79	25	31U-04C	2	深鉢	粗	灰黄褐色	細砂	後期	-	-	-	(71.8)	胴部 1/4	
79	26	31U-14C	1	深鉢	良	茶褐色	白砂・石英粒	後期	-	-	-	-	胴部片	
79	27	31U-04B	2	手捏ね(台付)	粗	灰黄褐色	白砂	後期	-	-	-	(33.5)	1/3	
79	28	31S-81	1	龍形?	良	暗褐色	細砂	後期	-	-	-	-	胴-底部片	
79	29	31U-24D	18	手捏ね	良	灰褐色	白砂・石英粒	後期	-	-	-	(28.5)	胴-底部片	
79	30	31U-24D	15	手捏ね(器台)	良	暗褐色	白砂	後期	-	-	-	(28.0)	脚部 2/3	
79	31	31U-13C	12	手捏ね	良	黄褐色	細砂	後期	-	-	-	-	口-胴部片	
79	32	3トレ	1	深鉢	粗	灰黄褐色	白砂	後期	-	-	30.5	(12.8)	底部 3/5	
79	33	31U-24B	3	浅鉢	良	褐色	細砂	後期	-	-	-	(32.5)	1/5	
80	34	31U-23D	4	深鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒	後期	-	-	(63.0)	(45.2)	胴-底部 1/4	外面赤彩 底部木葉痕
80	35	31U-23B	7	鉢	良	灰黄褐色	細砂	後期	-	-	-	(16.0)	底部	
80	36	31U-35A	4	手捏ね	粗	灰褐色	は	後期	-	-	42.0	(10.2)	底部半分残	無文 底部
80	37	31S-83	1	手捏ね	粗	黄褐色	細砂	後期	-	-	(37.0)	(26.5)	胴-底部 1/4	
80	38	31U-03C	1	台付土器	粗	灰黄褐色	細砂	後期	-	-	(56.0)	(38.2)	脚部 3/5	
80	39	31U-23D	1	手捏ね	良	暗茶褐色	石英粒	後期	-	-	18.0	(22.6)	1/2	底部網代痕
80	40	31T-14	1	台付鉢	良	赤褐色	白砂	後期	-	-	42.5	(35.5)	台部のみ残	地文 縄文 指圧痕有り
80	41	31S-81	1	手捏ね(台付)	良	灰黄褐色	白砂	後期	-	-	46.5	(42.0)	1/3	
80	42	31U-04A	1	台付鉢	粗	明褐色	白砂	後期	-	-	40.3	(29.5)	台部のみ残	地文 縄文 5突穿孔
80	43	31U-04A	1	台付鉢	良	暗褐色	細砂	後期	-	-	-	-	脚部片	
80	44	31U-24D	10	台付鉢	良	灰黄褐色	細砂	後期	-	-	-	-	脚部片	
80	45	31U-02C	2	鉢	良	灰褐色	細砂	後期	三十稲場	-	-	-	胴部片	刺突文
80	46	31U-24B	3	深鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	(87.8)	-	(68.2)	口-胴部 1/6	
80	47	31U-14D	6	深鉢	粗	褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	86.0	40.2	75.2	口縁 2/3	平縁 胴部条線
80	48	31T-14	1	深鉢	良	明褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	-	口-胴部片	
80	49	31U-25A	1	広口壺	良	暗褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	32.0	-	(36.0)	口縁部のみ	
80	50	31U-33A	1	深鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	(100.0)	-	(46.3)	口縁 1/8	
80	51	31U-23B	7	浅鉢	良	暗褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	-	口-胴部片	
80	52	31U-02C	2	鉢	良	灰黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	-	口-胴部片	条線
80	53	31U-12B	2	深鉢	粗	赤褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	-	突起	
80	54	31U-34A	7	鉢型	良	赤褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	73.0	-	(75.0)	胴部 1/3	口縁大 5穴(5単位)
80	55	31U-33B	3	鉢型	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	(62.5)	-	(31.5)	口-胴部 1/6	
80	56	SK-013	3	浅鉢	良	暗褐色	石英粒	後期中葉	加曾利B	(75.3)	-	(36.3)	口縁 1/5	
80	57	31U-24D	11	鉢	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	68.5	32.5	50.0	完形	口縁下2本平行沈線中 縄文
80	58	31U-36A	1	浅鉢	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	(94.0)	-	(30.5)	口-胴部 1/5	沈線口縁
80	59	31T-02	1	鉢	良	赤灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	(104.5)	(63.0)	(25.8)	1/6	
80	60	31U-33B	4	浅鉢	良	茶褐色	白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	(93.2)	-	(39.5)	口縁 1/5	
80	61	SI-033, 31U-05B	1,2	水盤	良	赤褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	(55.5)	-	28.3	1/8	赤彩
80	62	31U-03D	5	浅鉢	良	暗褐色	白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	90.0	62.0	55.0	完形	
80	63	31U-12C	10	浅鉢	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	-	-	-	口-胴部片	条線格子
80	64	3トレ	1	そろばん型	粗	灰黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	(46.5)	-	(38.2)	口-胴部 1/4	
80	65	31U-25A	1	鉢	良	暗茶褐色	白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	-	-	(37.5)	胴部片	71.72と同一個体
80	66	31U-24D	18	鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	(47.0)	胴部片	
80	67	31U-25A	1	鉢	良	暗茶褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	(34.5)	胴部片	
80	68	31U-24B	4	鉢	良	暗茶褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	-	-	(36.8)	胴部片	
81	69	31U-25A	1	そろばん型	良	灰黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	(30.5)	胴部片	
81	70	31U-33B	5	鉢	粗	灰黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	-	口-胴部片	口縁付近
81	71	31U-24B	4	鉢	良	褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	-	-	(32.8)	胴部片	
81	72	31U-23B	10	カゴ型器	良	明褐色	石英粒	後期中葉	加曾利B	-	5.2~5.4	(3.9)	1/3	

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
81	73	31U-35	2	ひさご型	良	褐色	白砂	後期後葉	曾谷 (安行 1)	41.7	32.5	62.0	完形	平縁 径部対象に穿孔
81	74	31U-33A	1	鉢型器	粗	灰黄褐色	石英粒	後期後葉	曾谷	(9.0)	-	(5.7)	1/3	
81	75	31U-23A	6	鉢	良	赤灰褐色	白砂	後期後葉	安行 1	(75.0)	(36.0)	35.0	1/3	
81	76	31U-23B	9	鉢	良	赤灰褐色	白砂	後期後葉	安行 1	-	-	(40.5)	胴部片	胴部
81	77	31U-04B	3	異形台付土器	良	赤褐色	白砂	後期後葉	安行 2	-	-	-	口縁片	
81	78	31U-04D	1	台付鉢	良	黄褐色	細砂	後期後葉	安行 2	-	-	(68.9)	鉢部 1/4	
81	79	31U-33B	3	浅鉢	良	灰褐色	白砂	-	安行	(68.5)	-	(31.5)	口~胴部 1/6	沈線間縄文
81	80	31U-25D	3	浅鉢	良	赤褐色	白砂	-	安行	-	-	(21.5)	胴部片	
81	81	31U-13A	2	浅鉢	粗	赤褐色	白砂	-	安行	(44.5)	-	(26.3)	口~胴部片	
81	82	31U-22B	12	壺形	良	赤褐色	細砂	後期中葉	加曾利 B 3	(40.0)	-	(55.2)	口~胴部 1/3	
81	83	1 トレ	1	舟形土器	良	褐色	細砂	-	安行	(102.5)	-	25.0	1/2	
81	84	31U-23C	10	異形台付土器	良	灰褐色	白砂	-	安行	(76.5)	(48.0)	92.5	口縁・台部 一部欠	
81	85	31U-33B	1	異形台付土器	良	赤灰褐色	細砂	-	安行	-	-	-	口縁片	
81	86	31U-32	1	異形台付土器	良	赤褐色	白砂	-	安行	-	-	-	脚部片	穿孔
81	87	31U-03	1	異形台付土器	良	赤褐色	細砂	-	安行	-	-	-	胴部片	赤彩 穿孔
82	88	31U-23B	10	異形台付土器	良	黒褐色	細砂	-	安行	-	-	-	胴部片	
82	89	31U-14D	3	異形台付土器	良	褐色	白砂	-	安行	-	52.5	(76.0)	口縁・台部 一部欠	
82	90	1 トレ A	1	異形台付土器	良	灰褐色	白砂	後期	安行	-	-	(5.9)	鉢部 1/3	
82	91	31U-02C	22	台付鉢	良	黄褐色	細砂	晩期前葉	安行 3 b	-	-	(50.5)	台部のみ残	沈線による施文 穿孔を中心に三叉文 刻目有り
82	92	31U-24C	6	台付鉢	良	黒褐色	細砂	晩期前葉	安行 3 a	-	(74.0)	(39.5)	脚部片	脚部沈線 三叉文
82	93	31U-13C	12	浅鉢	良	暗褐色	白砂	晩期前葉	安行 3 b	(91.0)	(57.5)	51.0	1/8	波状口縁
82	94	31U-15D	1	浅鉢	粗	灰黄褐色	白砂	晩期前葉	安行 3 b	-	-	-	口縁片	
82	95	3 トレ	1	鉢	良	灰黄褐色	白砂	晩期前葉	安行 3 b	-	-	(25.5)	胴部片	突き刺し文

第 6 表 特殊土器観察表

() 推定値, < > 現存値

挿入	No.	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	形式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
83	1	31U-35B	3	釣手土器	良	灰黄褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
83	2	31U-23A	3	釣手土器	良	黒褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
83	3	31U-04D	5	釣手土器	良	灰褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
83	4	31U-23B	3	異形台付土器?	粗	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利 B	-	-	-	-	
83	5	31U-05D.14C	4.3	釣手土器	粗	黄褐色	白砂・石英粒	-	-	-	-	-	-	
83	6	31U-24D	10	釣手土器	良	赤褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
83	7	31T-41	1	釣手土器	良	褐灰色	細砂	-	-	-	-	-	-	
83	8	31U-14D.24D	4.10	釣手土器	良	黒褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
83	9	31U-22	1	手燗形土器	良	黒褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
83	10	31U-35B	3	釣手土器	良	褐灰色	細砂	-	-	-	-	-	-	
83	11	3 トレ	1	釣手土器	良	明赤褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
83	12	31U-03	1	釣手土器	良	灰褐色	細砂	後期	三十稲場	-	-	-	-	
84	13	31U-24C	8	注口土器	良	灰黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利 B	-	2.9	(7.5)	-	
84	14	31U-24D	14	ランブ形土器	粗	明褐色	細砂	後期	-	6.85	-	4.69	-	
84	15	31U-04C	2	注口土器	良	赤褐色	白砂・石英粒	後期後葉	安行 2	-	-	-	-	
84	16	第 1 トレンチ	-	注口土器	良	暗赤褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
84	17	31U-25D	2・3	注口土器	良	灰褐色	白砂・石英粒	後期後葉	安行 2	-	-	(13.9)	-	
84	18	31U-23B	6・7	注口土器	良	褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
84	19	31U-24D	7	注口土器	良	明赤褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
84	20	31U-24D	7	注口土器	良	褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
84	21	31U-33B	5	注口土器	粗	灰褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
84	22	31U-34A	7	注口土器	良	暗褐色	細砂	-	-	-	-	-	-	
84	23	31U-23B	3	注口土器	良	灰褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
84	24	31U-13C	12	注口土器	良	暗褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
84	25	31U-33B	1	注口土器	良	褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	
84	26	31T-93C	1	注口土器	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利 B	-	-	-	-	黒色処理
84	27	31U-15C	4	注口土器?	良	暗褐色	白砂	晩期前葉	安行 3 b	-	-	-	-	
85	28	31U-23C	4	異形台付土器?	良	暗褐色	細砂	後期	-	-	-	-	-	
85	29	31U-23A	1	異形台付土器?	良	暗褐色	細砂	後期	-	-	-	-	-	
85	30	31U-22	1	異形台付土器?	良	褐色	白砂	後期	-	-	-	-	-	
85	31	31U-14D	2	釣手土器	粗	明褐灰色	細砂	-	-	-	-	-	-	赤彩?
85	32	31U-03D	2	把手	良	黒褐色	細砂	後期後葉	安行 2	-	-	-	-	
85	33	31U-23C	3	把手	良	灰褐色	白砂	後期後葉	安行 2	-	-	-	-	
85	34	6 トレ	1	異形台付土器?	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利 B	-	-	-	-	
85	35	31U-03B	1	異形台付土器?	良	褐色	白砂	後期中葉	加曾利 B	-	-	-	-	
85	36	31U-04D	1	釣手土器	粗	灰黄褐色	白砂	晩期前葉	安行 3 a	-	-	-	-	
85	37	31U-13A	10	釣手土器	良	暗褐色	白砂	-	-	-	-	-	-	赤彩
85	38	31T-14	1	釣手土器	粗	灰褐色	白砂	後期後葉	安行 2	-	-	-	-	
85	39	31U-03D	1	香炉	粗	灰褐色	細砂	後期	-	-	-	(4.95)	1/4	赤彩
85	40	16 トレ	1	手燗形土器	粗	黒褐色	細砂	後期	-	-	-	-	-	

第4節 土偶及び土製品

1 土 偶 (第10図, 第86～94図1～122, 第7表, 図版41～46)

破損品のみ130点の出土である。そのうち126点を図示した。

a. 頭部を持つもの (1～33・41)

山形土偶の上半身 (1～5・32)

1は頭部が三角形をなすもので、顔がハート形で顎が仮面状に張り出す。目・口は刺突文で表現されている。左腕が肘立てられて、右手は欠けているが右肘を支えて交差しているようである。背面の弧状沈線区画に磨消し縄文が施されている。2は頭上部が欠け、鼻・口・顎が貼付文で表現されている。目の部分の貼付文が剝離している。3は目・鼻・口・顎が貼付文で表現されている。乳房・体中線の貼付が剝落している。4は鼻・口・顎が貼付文で表現されている。二本組の沈線が施されている。5は半円形の頭をなし、目・鼻・口・顎が貼付文で表現されている。乳房は剝落している。首回りに刺突文、体中線に貼付文を有する。後頭部・体部に縄文が施されている。32は小型のものであり、貼付文で顔を表現する。口の位置が顎線の下になっている。胎土にスコリアを含む。

山形土偶の頭部 (6～14・16・17)

6は眉・顎が隆線、目・鼻・口が貼付文で表現されている。後頭部が広く張り出し、縄文が施文されている。首には刺突文がある。7は楕円形頭部をなす。眉・顎が隆線化するが、目・鼻が小貼付、口が浅い凹みで表現され退化感がある。表側のナデは顕著である。裏面に後頭部の隆起と十字沈線文が施されている。8は透かしの入った三角形頭部を持ち、全体的に菱形をなす。顔面は下半部に集約され、目が凹み、円形刺突と小凹みで口を表現する。眉と顎は隆帯で張り出している。9は半円形のものである。目・鼻・口が貼付文で、眉・顎が隆線で表現される。耳は貫通孔で表現されている。首に細刺突文がある。10は楕円形をなす。眉が隆線、目・鼻・口が貼付線、耳は刺突文が施される。後頭部に隆起がある。また鋭い沈線と十字沈線が表裏に付されている。11は楕円形の頭部で、顔の輪郭と鼻は隆起線、目・口が刺突文で付けられている。また鼻孔が細い刺突で表現されている。山形土偶の末期のものか。12は球形の頭部をなし、眉・鼻を隆帯で表す。目は横長の凹みで、耳は刺突文、口は環状隆起線に刻みが付く。鼻孔の表現がある。眉稜が高く写実的で、デスマスクに似ている。13は目・鼻を貼付文で、眉・顎が隆線、口は顎線を少し凹めて作る。耳は貫通孔で表現されている。裏面に後頭部の張り出しが付され、縄文が施されている。14は立体的で、隆起線で眉・目・鼻・口を表現する。耳は貫通している。晩期浮線文の時期のものと思われる。16は半円形をなすもので、眉・顎が隆起線、目が貼付文で表されている。また両面に細沈線が施されている。17は小型の半円形をなすもので、隆帯で眉・顎を作り、目を円形貼付文で表す。細い沈線で曲線文がみられる。

みみずく土偶の頭部 (15・18～30)

15は沈線・隆線・小突起がみられるもので、頭頂部の破片であろう。18は平板な作りのもので、隆起線によるハート形顔輪郭をなす。目・口・耳にボタン形貼付文(刻み目入り)を有する。胴部裏面に縄文地の弧状・入組沈線が施される。翼状になり、瘤状の手が付く左腕部を持つ。19は立体的な頭部である。上部に条線を施し、傘形隆帯と頭頂部突起を持つ。顔は隆起線でハート形輪郭(刻み目入り)をなし、目・口・鼻・耳が貼付文で表現されている。また鼻には対孔があり、口脇に縦沈線が伴う。20は頭上部片で、目・鼻が貼付文で付けられており、条線文の入った前髪状隆起と頭頂部突起がみられる。表面に押し引き条線、

裏面に弧線文がみられる。21は、円弧隆起線で顔輪郭、目・鼻・口が貼付文、背面に連弧線文が施される。押し引き条線を施す髪状隆起線と突起を有する。22は隆起線によるハート形顔輪郭を持つものである。目がボタン形貼付文、耳が貫通孔になる。表裏に髪部の条線装飾がある。後頭部には環状貼付が付されている。23は隆起線によるハート形顔輪郭部片で、目はボタン状文、鼻が隆起線で鼻孔がある。裏面はナデが入っているだけで無文である。24は赤彩品で、顔上部が残る。隆起線によるハート形顔輪郭、目がボタン形貼付文である。大きい髪状突起を持ち、裏面に沈線が密に施文されている。25は中空のもので顔左下半部である。耳はボタン状文、髪部は刻線入り貼付文で表現される。押し引き沈線、隆起線も施されている。26は頭上部で、条線・押し引き条線および沈線を施す突起や貼付文で髪が表現がされる。

27～30は隆起部に沈線ないし条線が施される。髪が表現された頭部の突起とみられる。28は安行式の波状口縁把手と共通な作りである。30はX字に交差するものであろう。

その他の頭部 (33・41)

33は頭が丸い立体的なもので、顔面が隆起して耳から眉稜が繋がり、刺突文で目・鼻・口を表現し、猿のような顔をしている。一見、仮面を付けているようでもある。獣面把手片かもしれない。41は頭部を省略した板状品で、手先が上反りする。通常の土偶の首から胸の位置に目・鼻・口の表現があるもので、いわゆる変形土偶である。

b. 頭部を欠く胴体部のもの (34～40・42～44)

上・下半身 (34・35・40)

34は弧状沈線が密に施文されている中空土偶の小破片で、角部に刺突文がみられる。肩から腰の部分であろうか。35は上・下半身が大きく残る。縄文地に襷掛け・入組文沈線を施し、磨消しする文様を持つ。腰下に円形刺突を伴う。腹部の隆起があり、乳房は剥落している。体中線に連続刺突文入りの貼付文がある。また右足先が切断され摩滅している。40は肩から腰まで残る無文のものである。乳房・腹部の膨らみがある。体中線は刺突文入りの短い貼付文でなされている。

上半身のみ (36・39・42～44)

36は沈線と縄文が施文されるもので、乳房の膨らみがある。体中線に円形刺突文を添えた貼付線が施されている。39は横位沈線(2本組)が主文様となる。連続刺突文を伴う乳房貼付、連続刺突文入りの貼付文による体中線を持つ。42は板状品で、顔輪郭・口と体中線に貼付線がみられる。裏面に後頭部の隆起がある。胴部刺突列を持つ。43は板状の小片で、沈線文が施文されている。44は肩部で、横位・鋸歯状の沈線が施文されている。襷状の構成をなす可能性もある。

胴部破片 (37・38)

37は腹部の膨らみを隆帯で表現し、上面に縄文を施す。体中線が沈線で施され、腹部中央に刺突文がある。38は無文で、腹部隆起がある。

c. 肩～手部 (46・48～52・54～56・61・63・65・67)

46・50は太沈線・磨消状文がみられる中空土偶の肩部とみられる。48は縄文と沈線が施文されている。肩から上腕部のものである。49・51・52・54・55・61・63は手先が上反りする。49は刻み目列および沈線・縄文が施される。加曽利B式期のものである。51は沈線・縄文、52は沈線と連続刺突文、54は連続刺突文が施されている。55は手先が反り気味のもので、沈線が施文されている。56は沈線施文で、肩か腰部の破片である。61は無文のものである。63は赤彩・沈線が施されている。65は無文の肩破片である。67

は沈線施文されている。

d. 手部 (53・62・64・66・69～72・94・108・122)

53は手先が上反りする手部片で、沈線が施文されている。62・64・69・70は内側へ反るものである。62・64は沈線施文で、晩期みみずく形土偶の破片とみられる。66は無文で、直線的な形のものである。69・70は無文である。71・72は手先が上反りする手部片である。71は押し引き沈線文を持つ。72は縄文がみられる。94は手先が上反りする小型のもので、縄文と沈線施文を持つ。みみずく形土偶の手先部であろう。108は先が反ってつま先のような形をしているが手部とした。122は沈線・連続刺突文を施文した翼状品である。みみずく形土偶の右腕である。

e. 腰下部 (45・47・57～60・89)

45は腰から下半身のもので、縄文・沈線・鋸歯状細沈線を持つ。47は縄文・沈線が施される。57は沈線に押し引き刺突文を有する。赤彩痕がある。58は鋸歯文・格子目沈線がみられる。59・60は無文のもの、89は腰部片で沈線施文である。

f. 腹部から下半身部 (73・74・84・88・119)

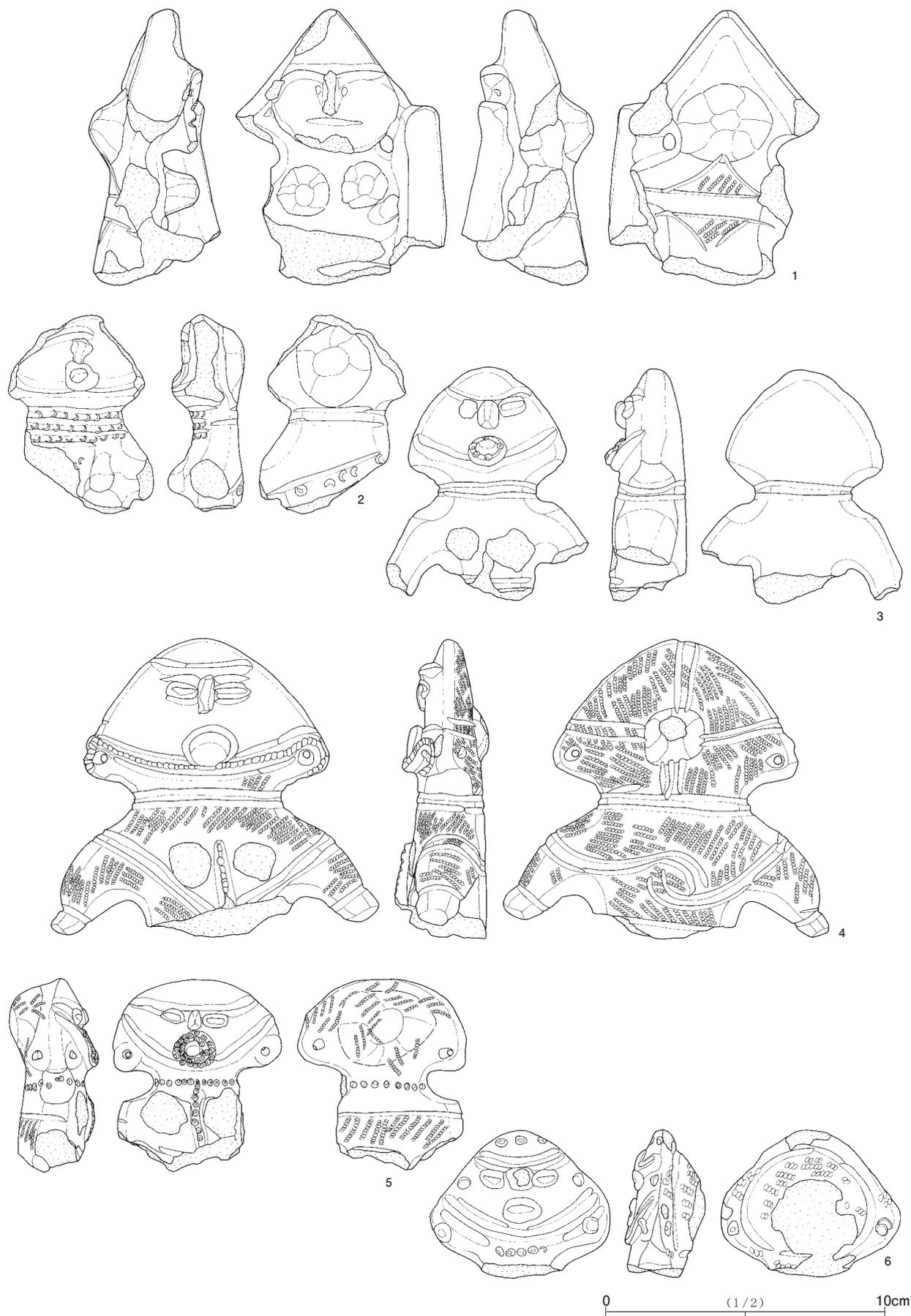
73は腹部隆起と貼付(刺突文入り)線による体中線がある。腰下に沈線で鋸歯状文が施される。74は右の腰から足の部位で、沈線と縄文に加え、腰部には連続して円形刺突文・短刻線が施されている。84は沈線・縄文・連続刺突文・浮線を持つものである。U字形に開いた脚形になる。88は右下半身で赤彩がある。沈線文が主体に施され、背面には斜縄文や刺突文がみられる。119は中空の土偶左脚部で、太い沈線で三叉文・磨消し縄文が施されている。O脚で、つま先があり、沈線で刻んだ指の表現がある。安行3a式期のものであろう。

g. 足破片のもの (68・75～83・85・87・90～93・95～107・109～118・120・121)

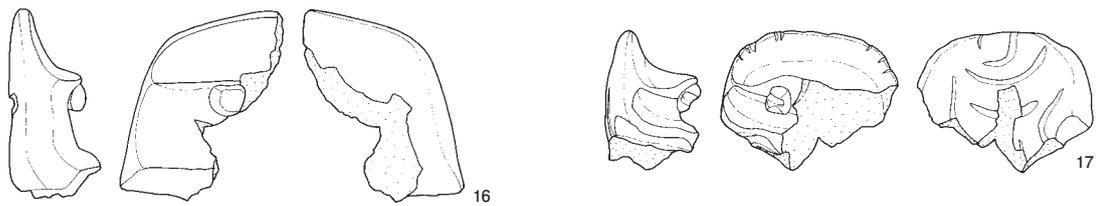
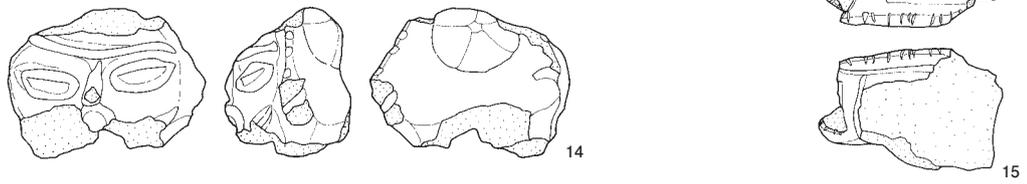
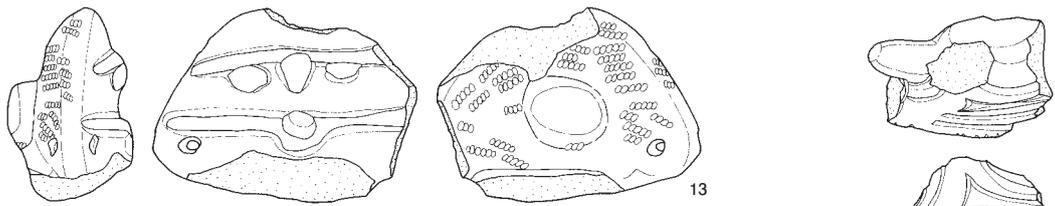
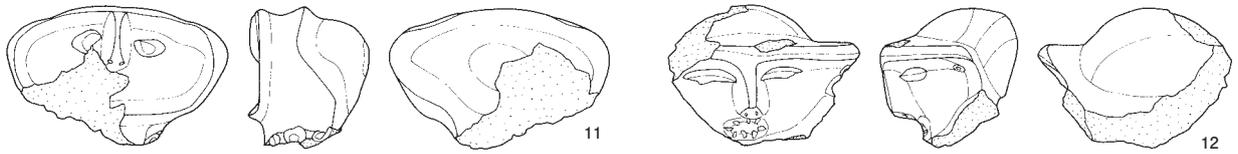
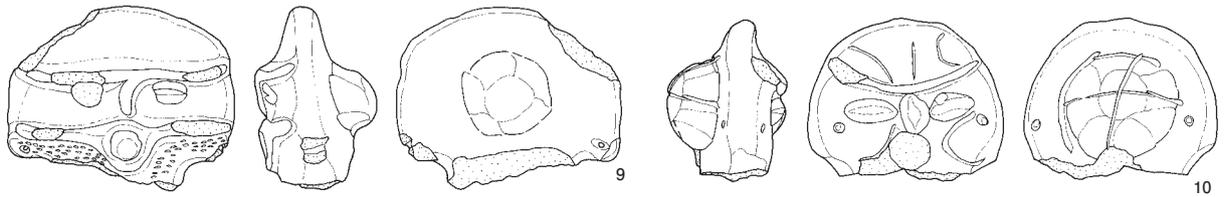
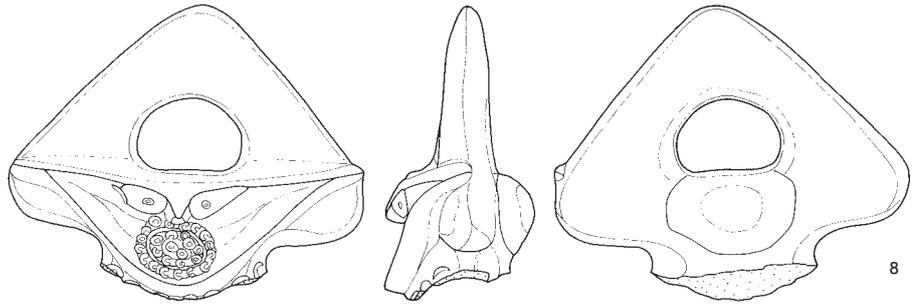
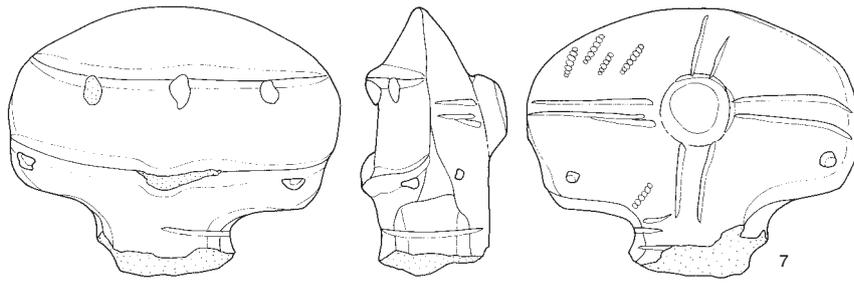
68は足端部である。75～78は沈線と縄文が施されている。77には赤彩がある。78はみみずく形土偶の脚部で、横沈線および縄文がみられる。79・80・82・83は沈線が施文される。81は沈線と押し引き刺突文がみられる。86・87の脚は断面菱形をなすもので、みみずく形土偶の脚部とみられ、85は隆帯が施され、沈線と刺突文が施される。87には縄文が施されている。90～93・98～101は沈線が施文されたもので、つま先部の表現がある。95・96は沈線に連続刺突文を持つ。先端が外反しており、かつ96には指先の表現か端部に刻みがある。97は格子目沈線を持つ。102は無文で中空の脚部である。土器底部に類似した形をとる。大洞系遮光器土偶のものであろうか。103～107・109・111～115は無文のもので、106・110以外には、つま先のように出る部分がある。108は手の部分かもしれない。114は無文の中空土偶脚部破片である。116～118はみみずく形土偶の脚部で、縦・横沈線・縄文がみられ、118は沈線のみである。120は浮線文・貼付文を持つもので、晩期大洞式である。121は細かい刺突文を持つ中空のもので、脚部片とみられる。

2 土版 (第94図123～128, 第7表, 図版46)

123は縦区画線と弧線が組み合わせられる。区画内には縄文や細条線が充填される。晩期安行3b式期のものであろう。124は弧線と斜線の組み合わせ文様がみられ、縄文も加えられている。125は曲線文、126は弧線文がみられる。127は厚手で、斜沈線と縄文を施文している。128は斜沈線区画内に細刺突文を充填した文様がみられる。これらの時期は晩期で、124・127は安行3a式期、123・126・128は安行3b式期であろう。

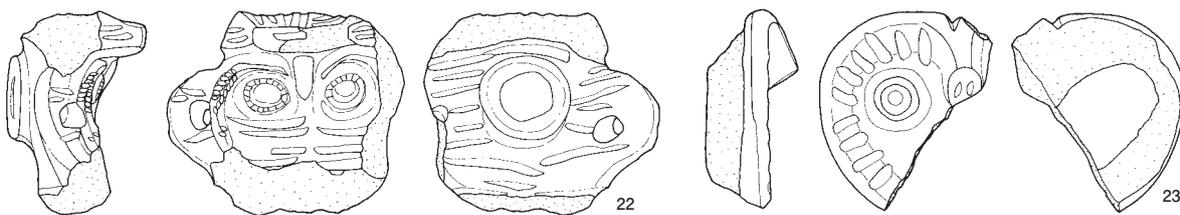
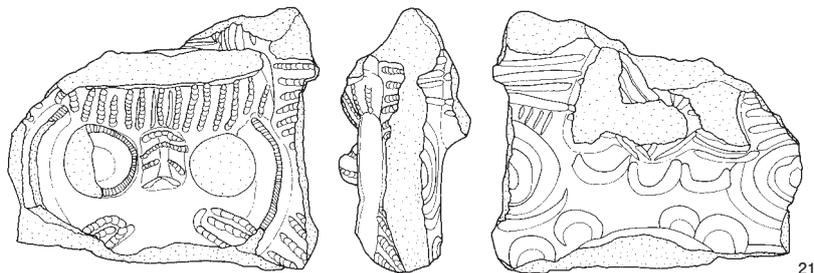
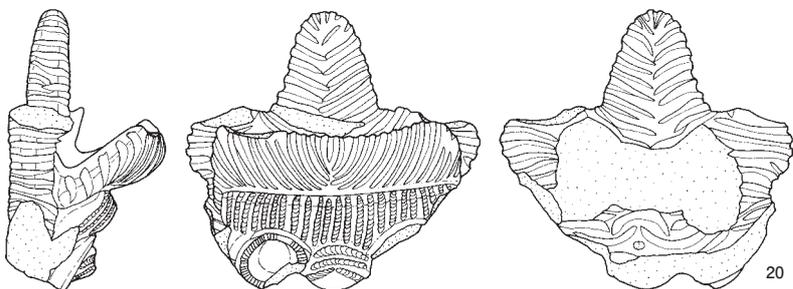
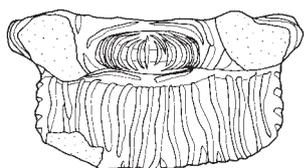
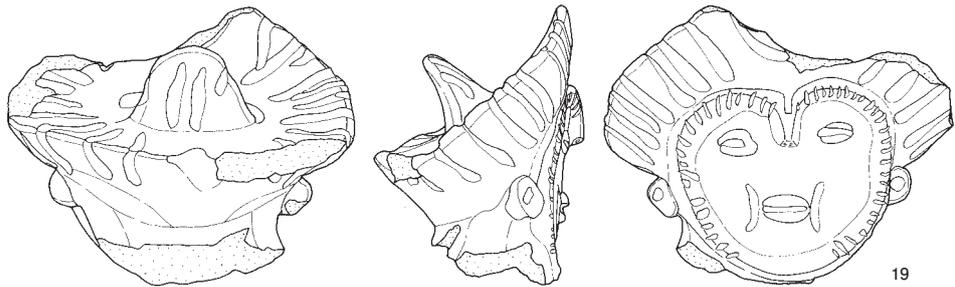
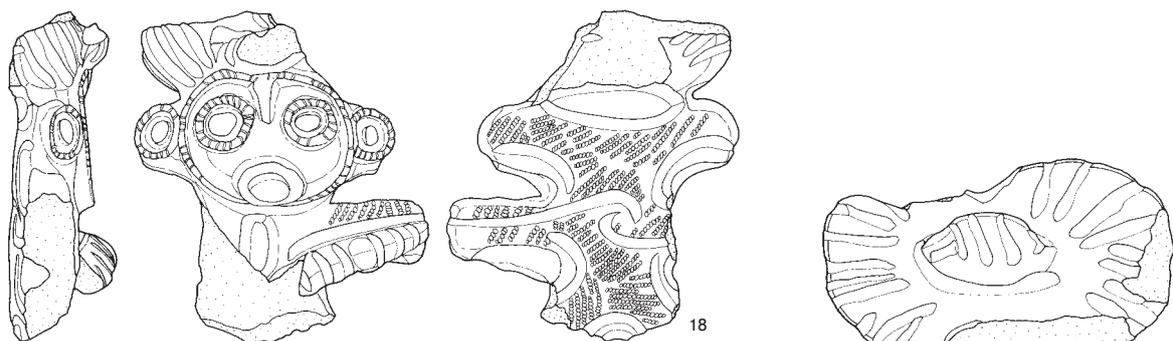


第86図 土偶(1)



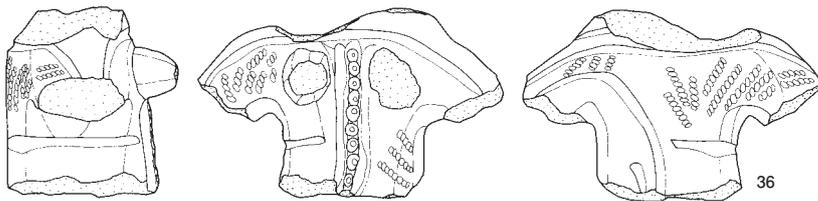
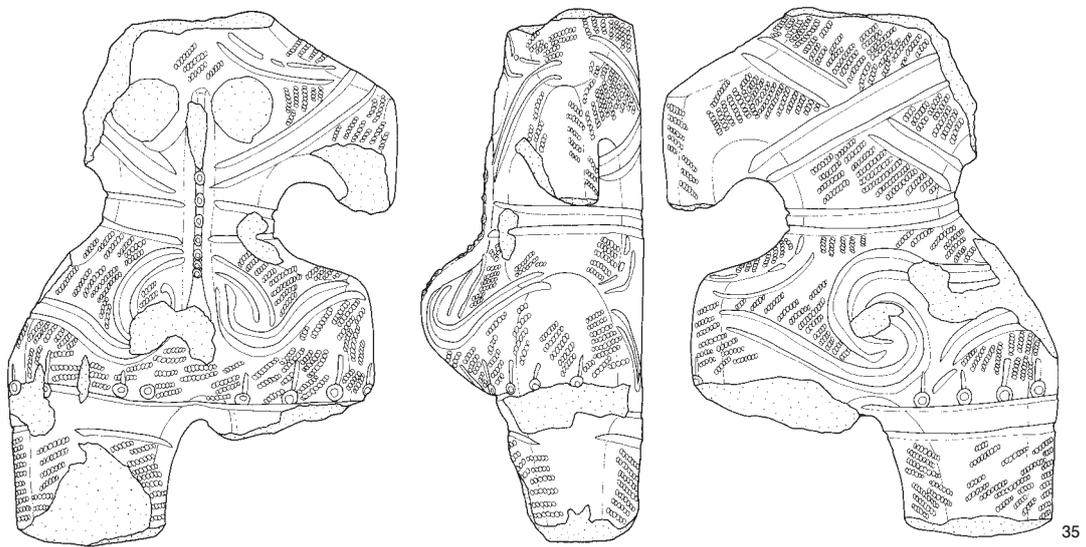
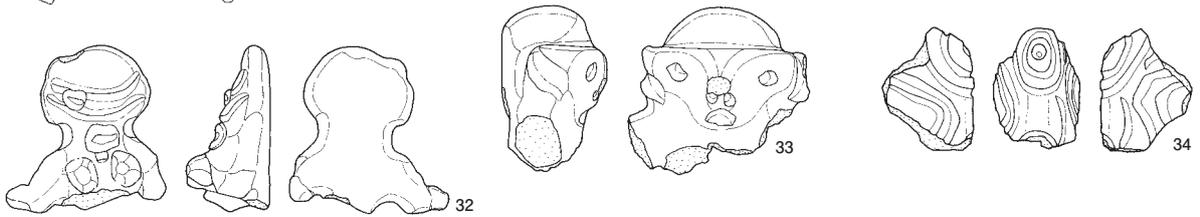
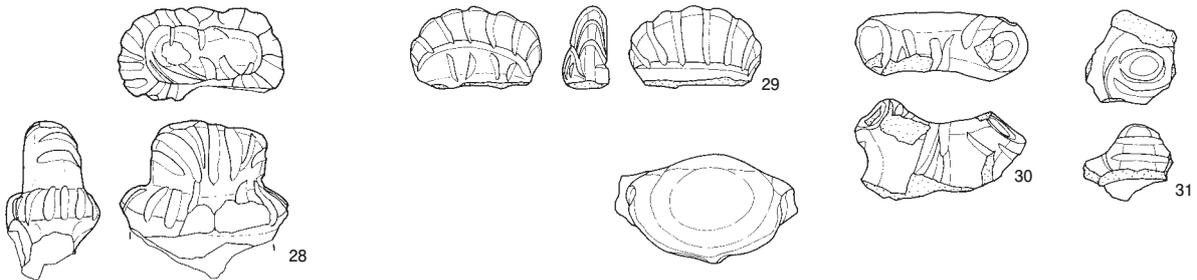
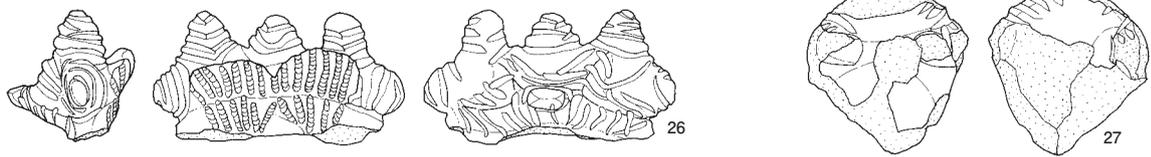
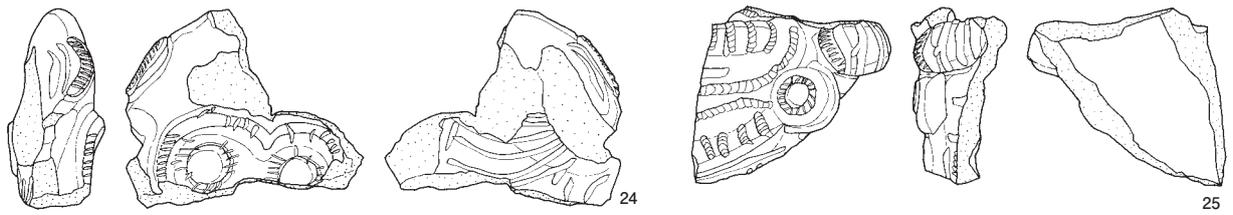
0 (1/2) 10cm

第87图 土偶(2)



0 (1/2) 10cm

第 88 图 土偶 (3)



0 (1/2) 10cm

第89图 土偶(4)

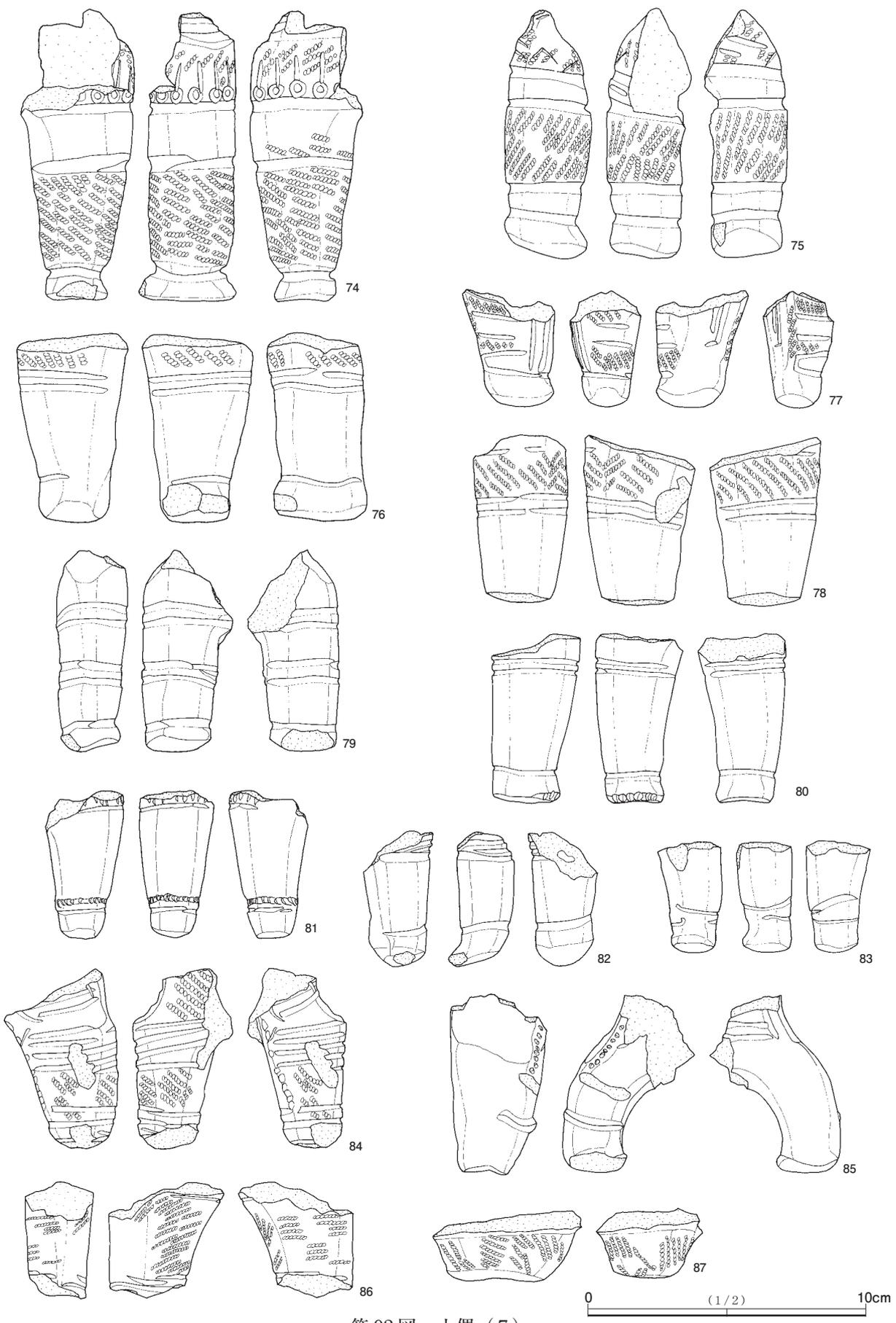


第90图 土偶(5)

0 (1/2) 10cm



第91图 土偶(6)



第92図 土偶 (7)



第93图 土偶(8)

0 (1/2) 10cm



第94图 土偶(9), 土版

第7表 土偶・土版観察表

挿図	No	種類	遺構番号	遺物番号	時期	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚み(mm)	重量(g)	備考
86	1	土偶	31U-03D	4	後期	上半身	1000	76.0	46.0	191.6	頭三角形、顔ハート形、眉・鼻隆起線、目・口刺突、手を組む、背面弧状区画磨消縄文
86	2	山形土偶	31U-04C	4	後期	上半身	72.5	52.3	27.4	70.5	山形、頭上部欠、後頭部隆起、沈線・連続刺突文、顎隆起線・眉貼付線、目貼付剥落
86	3	山形土偶	31U-05A	2	安行2	上半身	84.6	72.0	29.5	129.2	山形、沈線、眉・顎隆起線・目・鼻・口貼付文、口貼付文・刺突文、乳房・体中線貼付剥落
86	4	山形土偶	31U-34A	8	安行3a	上半身	108.0	117.6	34.0	276.5	山形、後頭部貼付、耳貫通、縄文・沈線、顔に隆起線(刻み目)・貼付、乳房剥落、体中線貼付
86	5	山形土偶	31U-13C	5	安行3a	上半身	70.0	60.5	32.0	95.6	山形、耳貫通、縄文・沈線・首周刺突、体中線貼付・刺突、乳房剥落
86	6	山形土偶	31U-04C	3	安行3b	顔	53.8	64.4	28.8	66.8	山形、後頭部隆起、縄文・沈線・首・耳等刺突、目・口・鼻貼付、眉・顎隆起線
87	7	山形土偶	31U-23A	11	安行	頭部	71.0	87.0	38.0	161.3	山形、耳貫通、縄文・沈線、目・口退化、隆起線・貼付
87	8	土偶	31U-04D	3	安行3b	頭・顔	78.0	93.0	39.5	124.7	菱形、頭部透かし、口部細刺突、眉・顎隆起線、目凹み・刺突
87	9	山形土偶	31U-03D	4	安行3b?	顔	49.0	59.5	32.5	58.0	山形、眉顎隆起線、目鼻口貼付文、耳貫通孔、首刺突文
87	10	山形土偶	31U-05D	6	後期	顔	43.0	51.5	31.5	45.2	山形、弧沈線、眉隆起線・目鼻口貼付文・耳刺突、後頭部隆起・十字沈線
87	11	土偶	31U-03C	2	安行	頭部	37.0	58.0	31.5	50.3	楕円形、目・口刺突、顔輪郭・鼻隆起線、鼻孔2、後頭部張り出し、ミガキ
87	12	土偶	31U-13A	4	安行	頭部	37.0	50.2	36.0	45.2	球形頭部、目横長凹み、耳刺突、口貼付文+刻み、鼻孔刺突
87	13	山形土偶	2トレ	1	安行	顔	51.5	69.0	33.0	74.1	山形、目・鼻貼付文、眉・顎隆起線、口凹み、耳貫通孔、裏縄文
87	14	土偶	31U-24C	3	安行	顔	39.0	52.0	33.0	52.2	立体的、耳貫通
87	15	土偶	SI-001	?	安行3a	頭頂部	29.0	48.0	32.5	28.3	みみずく?隆起線上刻み目・沈線、小突起
87	16	山形土偶	31U-15A	2	安行	頭部	50.0	43.0	24.0	25.8	山形、眉・顎隆起線、目貼付文、細沈線
87	17	山形土偶	31U-25C, 35C	3.3	後期	頭頂部	37.0	46.0	25.0	19.9	山形、眉・顎隆起線、目貼付文、細弧線、刻み
88	18	みみずく土偶	31U-14A, SI-029	3.1	安行3a	上半身	87.5	76.2	29.0	103.7	輪郭ハート形隆起線(有刻)、目・耳ボタン形貼付(有刻)、口貼付、頭部隆起・突起(条線入り)、胴部表:弧線、裏:縄文・弧状・入組沈線腕部:隆起線、手:瘤状
88	19	みみずく土偶	31T-94C	3	安行2	顔	73.0	91.0	55.0	183.1	輪郭ハート形隆起線(刻み入り)、目・口・鼻(鼻孔)・耳貼付文・口脇隆起線、頭上部傘形隆起線・頭頂部突起
88	20	みみずく土偶	31T-14.6トレ	1.1	安行3a	顔	74.0	77.0	42.0	106.6	目・鼻貼付文、前髪状隆起・頭頂部突起(条線入り)、
88	21	みみずく土偶	31U	24	安行3	顔	70.0	82.0	34.0	137.1	円弧隆起線顔輪郭、目・口・鼻貼付文、髪状隆起・突起(押し条線)・突起表押し引き線、背面に連弧線文
88	22	みみずく土偶	31U-24A	6	安行2~3	顔	54.0	62.0	36.0	65.1	隆起線(刻み目)ハート形顔、目ボタン形貼付文、鼻貼付文、口剥落、耳貫通孔、表裏条線文、髪条線装飾、後頭部環状貼付
88	23	みみずく土偶	6トレ	1	安行	頭頂部	52.0	45.0	24.0	26.7	隆起線(刻み目)ハート形顔輪郭部、鼻孔、裏面ナデ
89	24	みみずく土偶	SI-012(北)	1	安行2	頭部	52.0	63.0	25.5	47.5	赤彩、隆起線(刻み目)ハート形顔輪郭、目ボタン形貼付文、大きい髪状突起(刻み入り)小突起有・髪及び裏面沈線
89	25	みみずく土偶	31T-94C	1	安行2	顔	47.0	52.5	25.0	30.3	耳ボタン状文、押し引き条線、隆起線、貼付文(刻み入り)
89	26	みみずく土偶	31U-03D	4	安行2~3	頭頂部	35.5	66.0	33.5	40.7	条線・押し引き条線、沈線を施す突起や貼付文
89	27	みみずく土偶	1トレ	1	後期	頭頂部	43.0	42.5	11.1	29.9	沈線・隆起文・刻み
89	28	土偶	31T-94D	1	安行2~3	頭頂部	40.7	42.1	23.2	31.0	条線突起
89	29	土偶	SX-011	1	安行	頭頂部	22.0	34.6	12.5	8.3	条線突起
89	30	土偶	SI-025	1	安行	頭部?	26.5	45.0	18.0	17.6	頭部飾 X字交差部か、沈線
89	31	土偶	SI-009	1	安行	頭部	20.5	23.2	24.5	6.7	中空?沈線、小突起
89	32	土偶	31U-04D	4	後期	上半身	44.0	42.0	22.0	18.1	貼付文・胎土スコリア
89	33	土偶	31U-23	-	後期	頭部	44.0	47.3	28.2	42.1	丸頭、耳へ肩稜・隆起、目・鼻・口:刺突文
89	34	土偶	31U-23	-	安行3a	破片	32.0	24.0	27.0	11.7	沈線・刺突文、中空
89	35	土偶	31T-42	-	後期安行	胴部	142.0	96.0	59.0	552.3	縄文・貼付線・掛掛沈線・入組文沈線・円形刺突、右足先切断摩滅
89	36	土偶	31U-03C	2	安行3a	胸	50.0	80.0	44.7	126.2	左乳房残、縄文・沈線、体中線:貼付線と円形刺突文
90	37	土偶	31U-13C	12	安行3a	腹部	53.0	46.0	46.0	127.5	沈線、腹部隆起帯+縄文、体中線沈線・刺突
90	38	土偶	31T-93C	1	後期	腹部	41.0	47.5	29.2	47.3	ミガキ
90	39	土偶	1トレ-1	-	安行3b	胸	69.5	91.0	41.0	190.4	沈線・刺突・隆起線、胎土スコリア
90	40	土偶	SX-012	1	後期	胴部	53.5	45.0	29.0	54.4	貼付線・刺突
90	41	土偶	31U-23B	9	後期	上半身	28.0	44.0	22.0	17.2	頭部省略。首の位置に目・鼻・口の表現。手先上反り
90	42	土偶	31S-93	1	後期	上半身	43.5	35.5	13.0	13.9	頭部欠、平版、顔・体中線貼付線、裏刺突文・後頭部隆起
90	43	土偶	31U-04	1	後期	胸	24.0	34.5	10.2	6.2	菱形沈線
90	44	土偶	SI-011	1	安行3a	肩	42.5	72.0	32.0	79.2	沈線
90	45	土偶	1トレ・31U-14D	1.4	安行3a	右下半身	113.0	42.2	29.0	125.1	赤彩、沈線・鋸歯状文・縄文
90	46	土偶	31U-23C	1	安行3a	肩 or 腰	71.5	56.0	49.0	70.0	中空、沈線・磨消縄文
90	47	土偶	31S-83	1	安行3a	腰	49.5	34.0	26.5	42.7	沈線・縄文
90	48	土偶	1トレ	1	安行3a	右肩	42.4	37.0	24.0	28.4	沈線・縄文
90	49	土偶	16トレ	-	加曾利B	右肩	61.5	62.0	39.0	89.7	手先上反り、沈線・縄文・刻列
91	50	土偶	3トレ	1	安行3a	肩	65.0	24.5	35.0	33.8	中空、沈線・隆起帯縄文
91	51	土偶	31S-94	1	安行3a	肩	47.0	48.0	22.0	29.2	手先上反り、赤彩、縄文・沈線
91	52	土偶	31U-24D	17	安行3b	右肩	28.0	37.0	2.0	14.6	手先上反り、沈線・連続刺突
91	53	土偶	31U-24D	12	加曾利B	左?手	16.0	26.5	19.5	7.8	沈線
91	54	土偶	31U-04A	1	安行3b	左肩	49.0	45.0	29.0	28.9	手先上反り、沈線・連続刺突・ミガキ
91	55	土偶	31U-23D	12	加曾利B	肩	29.0	33.0	22.7	16.2	手先上反り、沈線
91	56	土偶	31T-95	1	安行3a	肩	25.0	29.0	25.0	16.9	沈線
91	57	土偶	SI-032	11	安行2	左足	52.0	31.3	21.0	32.5	赤彩、沈線・押し引き刺突文
91	58	土偶	16トレ	1	加曾利B	右腰	73.2	46.0	32.0	80.3	沈線・鋸歯状線・格子目線
91	59	土偶	31U-13C	1	後期	右足	43.0	37.0	14.5	22.0	
91	60	土偶	31T-93B	2	後期	左足	43.0	35.5	18.0	21.9	
91	61	土偶	31U-03D	4	後期	片手	40.5	31.0	17.0	13.3	手先上反り、ミガキ
91	62	土偶	31S-87	1	安行3a	左腕	33.0	41.0	19.0	22.8	内反り、太沈線 みみずく?
91	63	土偶	31U-13D	5	後期	手	24.0	26.0	17.0	8.8	赤彩、手先上反り、沈線
91	64	土偶	1トレ	3?	後期	右手	27.0	26.0	22.0	10.1	内反り、沈線 みみずく
91	65	土偶	SI-013	1	不明	右肩	55.0	63.0	34.5	76.9	一部ミガキ
91	66	土偶	2トレ	1	後期	左腕	22.5	31.0	10.0	4.7	無文

挿図	No	種類	遺構番号	遺物番号	時期	部位	長さ(mm)	幅(mm)	厚み(mm)	重量(g)	備考
91	67	土偶	2トレ	1	後期	肩	19.5	21.5	19.5	9.3	沈線
91	68	土偶	31U-05C	3	後期	足	22.0	30.0	30.0	15.3	無文、つま先?
91	69	土偶	31U	-	安行	手	21.5	17.0	14.5	4.5	内反り、無文
91	70	土偶	31U-14D	3	後期	左腕	38.0	31.5	19.5	17.2	内反り、無文
91	71	土偶	31U-14A	5	安行3b	腕?	22.0	23.0	14.5	5.1	手先上反り、押し引き沈線
91	72	土偶	31U-08	1	安行3a	手	15.5	28.0	23.0	10.1	手先上反り、縄文、指刻み
91	73	土偶	31U-03D	4	安行3b	下半身	50.6	47.5	27.0	49.0	鋸歯状細沈線・貼付線・刺突文
92	74	土偶	31U-33A・23	8・3	安行3	右下半身	105.0	40.5	35.0	128.4	縄文・沈線・円形刺突
92	75	土偶	31U-15A	4・5	安行3a	右下半身	90.0	29.0	31.0	76.1	縄文・沈線
92	76	土偶	31U-23B	12	安行3a	左足首	69.0	40.0	35.5	94.3	赤彩、縄文・沈線
92	77	土偶	31U-05D	4	加曾利B?	右足	43.0	25.5	33.0	29.1	縄文・沈線・赤彩
92	78	土偶	30T-29	1	加曾利B	右足	61.5	40.0	33.7	80.4	縄文・沈線、指刻み
92	79	土偶	31U-23C	1	安行	右足	73.0	33.0	26.0	54.1	沈線・ミガキ
92	80	土偶	31U-12B	2	後期	右足	61.0	31.5	32.3	59.5	沈線・指刻み目
92	81	土偶	31S-81	1	安行3a	左足	54.0	28.1	26.8	37.3	沈線・押し引き線・刺突
92	82	土偶	31U-03D	8	後期	左足	49.0	25.0	24.0	34.1	沈線 胎土精製
92	83	土偶	31U-14D	8	後期	左足	40.9	23.4	20.0	19.2	沈線
92	84	土偶	1トレ	1	安行3a	足	65.5	35.5	40.5	56.7	縄文・沈線
92	85	土偶	31U-14D	5	安行3	右足	64.5	47.0	35.0	67.5	沈線・刺突・隆帯貼付
92	86	土偶	31U-03D	2	安行3a	右足	43.0	41.5	24.5	32.4	縄文・沈線、みみずく?
92	87	土偶	31S-83	1	後期	右足?	25.0	38.0	53.0	45.1	縄文、後頭部片の可能性もある。
93	88	土偶	31U-24A	1	加曾利B	右足	65.0	39.0	19.0	26.6	赤彩、沈線・縄文 胎土精製
93	89	土偶	31T-95	1	後期	左腰	56.0	50.5	-	58.0	沈線・ナデ
93	90	土偶	1トレ	1	安行	左足	42.0	28.5	34.0	33.2	沈線・交差文・ナデ 礫混
93	91	土偶	31U-15A	4	安行3a	左足	43.7	25.0	28.2	22.5	沈線・縄文、指先刻み
93	92	土偶	31U-33B	7	安行3a?	足	38.4	27.4	33.9	36.3	縄文・沈線・なで
93	93	土偶	34トレA	70	後期	左足	33.0	21.5	21.5	11.5	沈線
93	94	土偶	31U-04D	1	安行	手	23.0	17.0	17.5	6.1	沈線・縄文 みみずく
93	95	土偶	31U-14D	-	安行3b	足	28.0	28.0	27.0	14.0	沈線・刺突
93	96	土偶	31U-23C	5	安行3b	右足	23.0	19.0	29.5	12.7	沈線・刺突 足指刻み
93	97	土偶	31S-82	2	後期	右足	42.2	34.1	30.5	34.2	斜格子沈線
93	98	土偶	3トレ	1	安行	右足	35.5	26.0	24.0	22.2	沈線
93	99	土偶	31U-23B	6	加曾利B	右足	30.0	25.0	21.0	19.1	沈線
93	100	土偶	31U-03D	13	不明	右足	47.0	29.5	33.0	43.3	沈線
93	101	土偶	31U-04	1	後期	左足	48.1	27.8	27.7	27.6	沈線
93	102	土偶	SI-033	1	後期	足	49.0	54.5	56.0	66.2	中空 ナデ
93	103	土偶	2トレ	1	後期	右足	56.0	30.5	37.5	62.8	ミガキ
93	104	土偶	31U-13D	10	後期	右足	48.8	36.3	35.8	62.9	ミガキ
93	105	土偶	31U-04A	1	加曾利B	足	49.5	32.0	46.0	31.2	ミガキ
93	106	土偶	31U-05C	1	後期	足	33.0	24.0	25.5	22.2	
93	107	土偶?	31U-24D	17	後期	足?	24.5	21.5	34.0	13.7	ナデ 把手の可能性もある
93	108	土偶	31U-14D	4	後期	足	22.0	21.0	25.0	7.5	
93	109	土偶	1トレ	1	後期	左足?	26.5	18.5	20.5	9.7	
93	110	土偶	1トレ	1	後期	足	41.0	18.0	20.0	13.3	
93	111	土偶?	31U-33A	1	後期	足?	31.0	24.0	12.5	7.14	
93	112	土偶	34トレA	70	安行3a	右足	31.0	20.5	22.0	13.7	
93	113	土偶	16トレ	1	安行3a	左足	25.5	22.0	19.5	10.1	
93	114	土偶	31U-24D	18	後・晩期	足	36.0	29.0	22.0	12.5	中空 ナデ
93	115	土偶	31S-96	1	後期	左足	46.0	32.2	39.0	47.1	
93	116	土偶	31U-15A	4	安行	左腕	75.4	37.0	29.0	61.2	ミミズク脚部、沈線・縄文・押し引き沈線・連続爪形文
94	117	土偶	SI-017	1	後期	足	50.0	15.5	19.5	11.4	ミミズク脚部、沈線・刻み目・縄文
94	118	土偶	31U-13C	4	安行2	右足	36.0	29.0	22.5	20.8	ミミズク脚部、沈線・刻み目
94	119	土偶	31U-13A	6	安行3a	左足	117.0	70.0	56.5	239.0	中空 三叉文・縄文
94	120	土偶	31T-94A	5	大洞A	左足	36.0	31.0	36.8	31.3	浮線文・貼付文
94	121	土偶	1トレ	1	後期	足	25.0	29.0	26.0	7.7	中空土偶脚部か、刺突
94	122	土偶	31U-23C	8	安行3a	右腕	28.0	59.0	55.0	66.0	沈線・刺突文 ミミズク土偶
94	123	土版	31U-03B	1・2	安行3b	-	84.0	53.5	19.0	63.5	縦区画線。弧線組み合わせ。区画内縄文・細糸線充填。同一個体5点
94	124	土版	31S-81	1	安行3a	-	49.5	49.0	15.0	36.7	弧線・斜線の組み合わせ、磨消縄文
94	125	土版	31U-25D	3	安行3a	-	36.0	48.0	12.0	26.8	曲線文
94	126	土版	2トレ	1	安行3b	-	28.0	40.5	14.8	16.9	曲線文
94	127	土版	SI-010	1	安行3a	-	46.0	53.0	25.0	62.5	斜沈線 磨消縄文
94	128	土版	31U-04	1	安行3b	-	29.5	31.5	20.0	23.4	斜線 細刺突文充填、磨消文

3 土製品

環状土製品 (第95図1, 第8表, 図版47)

1は環状をした破片で、垂飾になるか、あるいは土器のつまみ部片であろう。

耳飾 (第95図2～96図, 第8表, 図版47)

a. 中央に穴があり、滑車形をしたもの (2～41)

2は無文で、厚手で幅があるものである。粗雑な調整で、胎土に砂礫が多い。後期堀之内式期のものであろう。3～13は薄手で、外面にほとんど装飾が施されないのものである。3は小型品である。6は縁に刻目列と外周(装着面)に沈線が施されている。13は縁に刻目列がみられる。14～30は薄手で、側面の外縁側に意匠的な文様が施されるものである。14～16・18は外縁に浮文がある。17・19・20・22・29・30は沈線で浮文を形成する。21は外縁に沈線で入組文と浮文を施し、内側に沈線を伴う。なお15は外縁に細かい刻み、20には赤彩がある。23・24は沈線を持つもので、24は工字文沈線になる。25・26は外縁に沈線で浮文があり、26は外縁に細かい刻みがある。27・28は沈線で入組文と浮文が施されている。

31～38は側面が内側に突出するもので、側面の外縁側に意匠的な文様が施される。31は入組文と曲線文が施される。32は33と同一と思われる。35は外縁上部に工字状沈線と沈線間浮文を有する。36～38は、入組文・三叉文が施文されている。なお31・37は外縁に細かい刻みがある。39～41は側面が内側へ突出する。39は無文で、側面が漏斗状に凹む。40は大型で、側面がやや漏斗形に出て、弧状の沈線・刻文を加えた擬縄浮線が施されている。41は、側面が内側に太鼓状に張り出す。透かし孔を伴い、細刺突を加えた沈線が施文される。

b. 耳栓 (第97図42～47)

42～45は中央に円孔がない鼓形をした小型品である。42・44・45は赤彩されている。46は側面側が大きい耳栓形(スタンプ形)をした小型品で、凹みは側面のみである。47は鼓形のやや大型のもので、溝部に沈線を持つ。

スタンプ形土製品 (第97図48・49, 第8表, 図版47)

48は長楕円形をした版面部に細かい沈線で曲線文が描かれる。裏面にキノコの柄状のつまみがある。柄部には孔はない。49は円形の版面部に太い沈線で同心円文が施されたものである。つまみ部は欠けている。

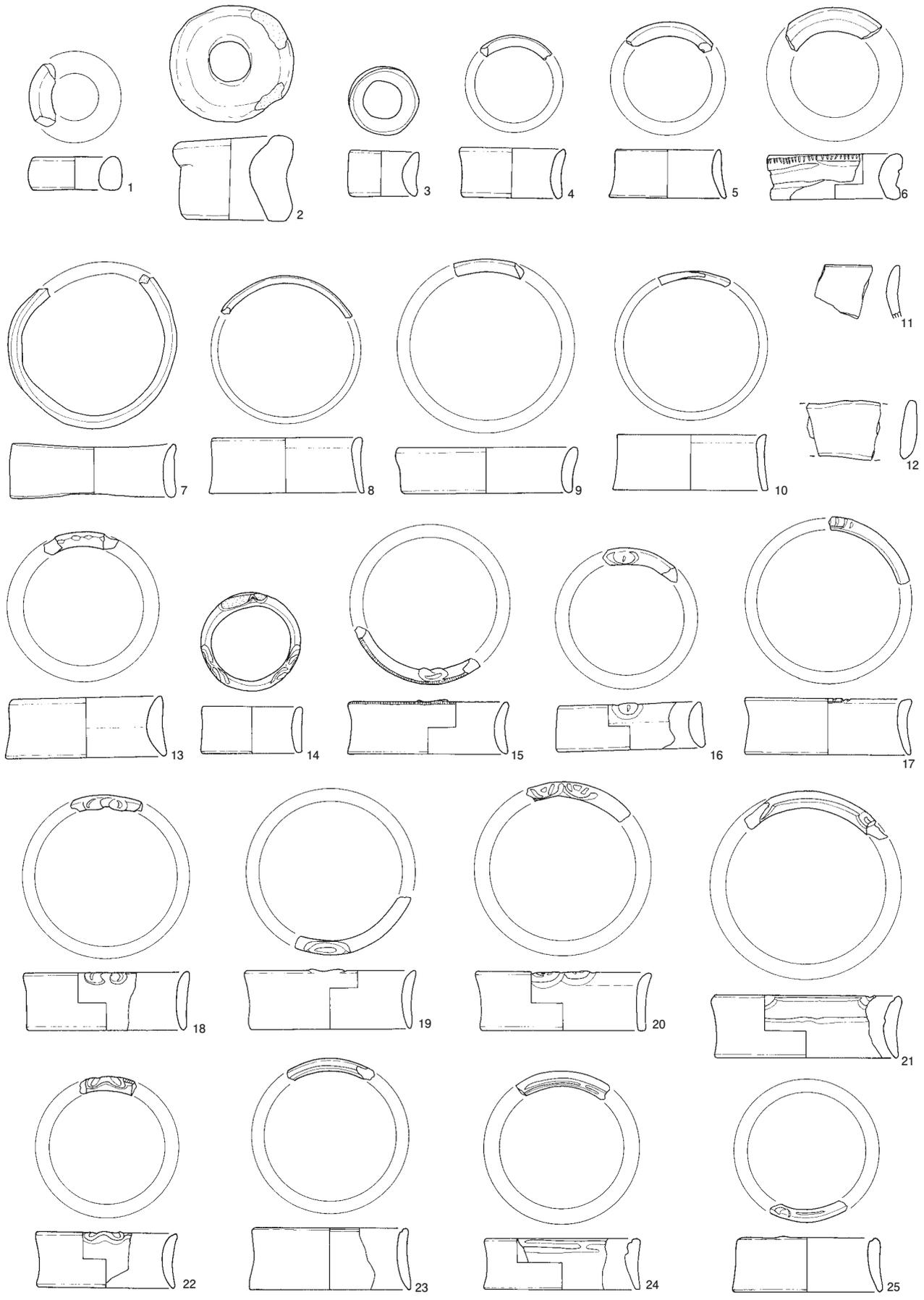
蓋形土製品 (第97図50～53, 第8表, 図版47)

50は円形で、断面がレンズ状をした厚手のものである。中心につまみ部が作られるが、上部を欠損している。側縁に一对の孔が開けられている。堀之内式期のものであろう。51・52は湾曲し、浅い伏せた皿状をなす。欠損しているが環状のつまみ部を持つとみられる。51は刺突文を伴う貼付線が円形に施される。52は小型の無文のものである。いずれも堀之内式期のものであろう。53は平板な円形をした破片で、透かし孔を持ち、外面に斜縄文と沈線がみられる。特殊な土器口縁の一部かもしれない。

土器片錘・土製円板 (第12・98～102図, 第9・10表, 図版48～52)

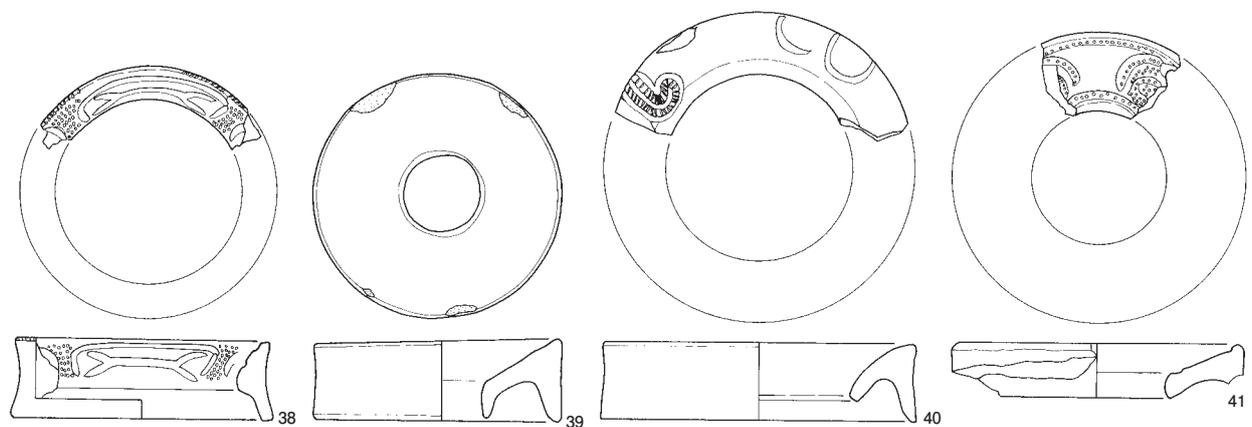
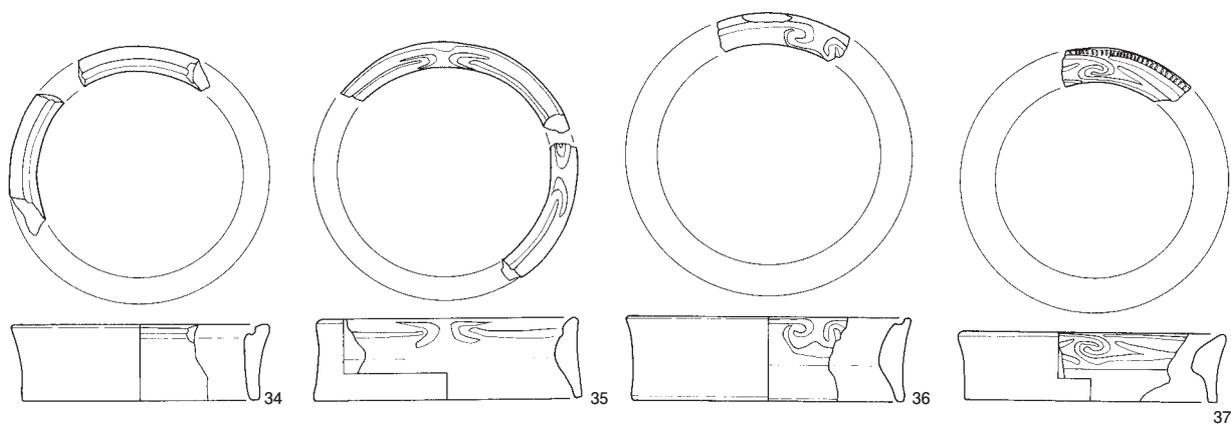
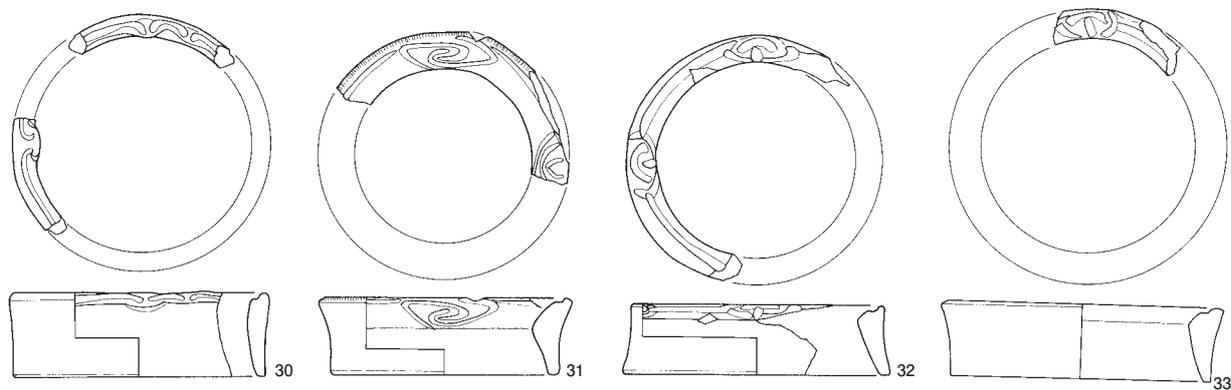
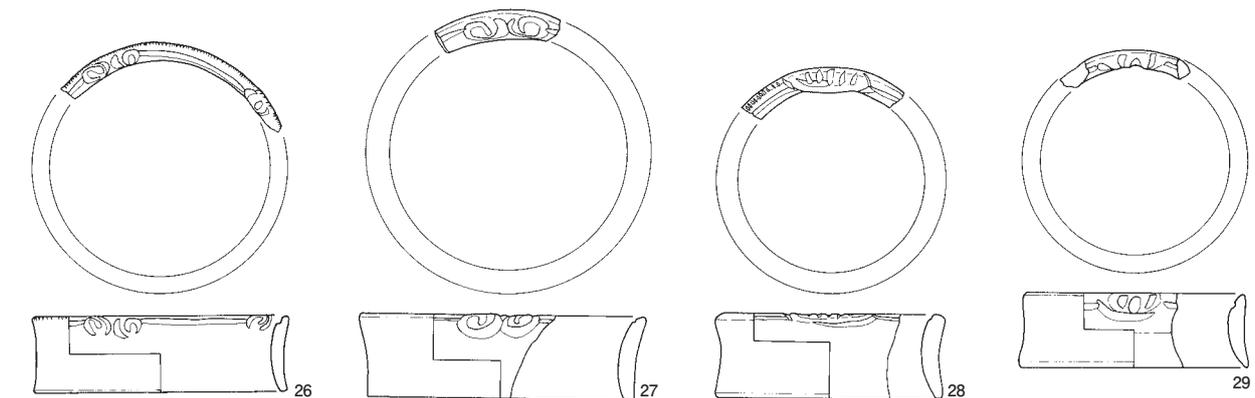
これらに分類されるものは土器片錘183点、土製円板142点を数える。

土錘に関しては、その形態および二側面あるいは四側面に対しての切り込みや、擦れ痕などにより概ね漁労具、網に付される錘として理解されている。当遺跡は現鹿島川に面し、縄文時代各時期の土器片を利用していることを考えれば、縄文時代各時期において漁労が行われていたとする証左となろう。時期につ



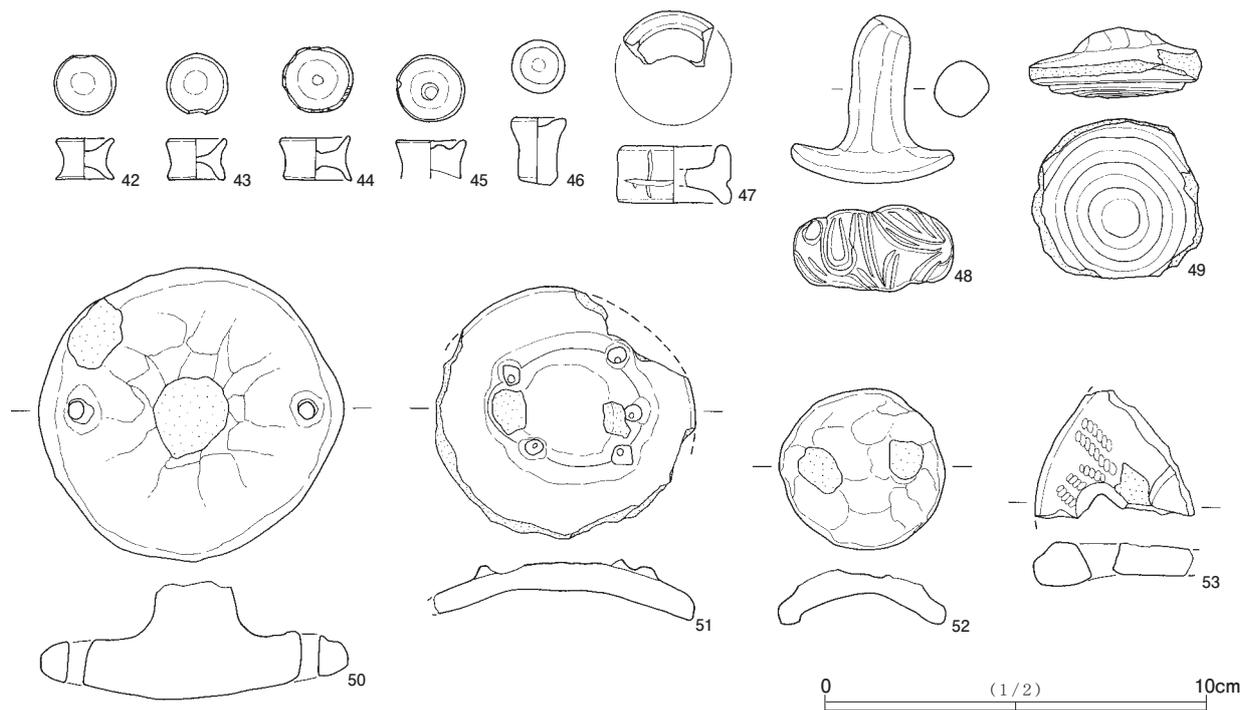
第 95 図 耳飾り (1)

0 (1/2) 10cm



0 (1/2) 10cm

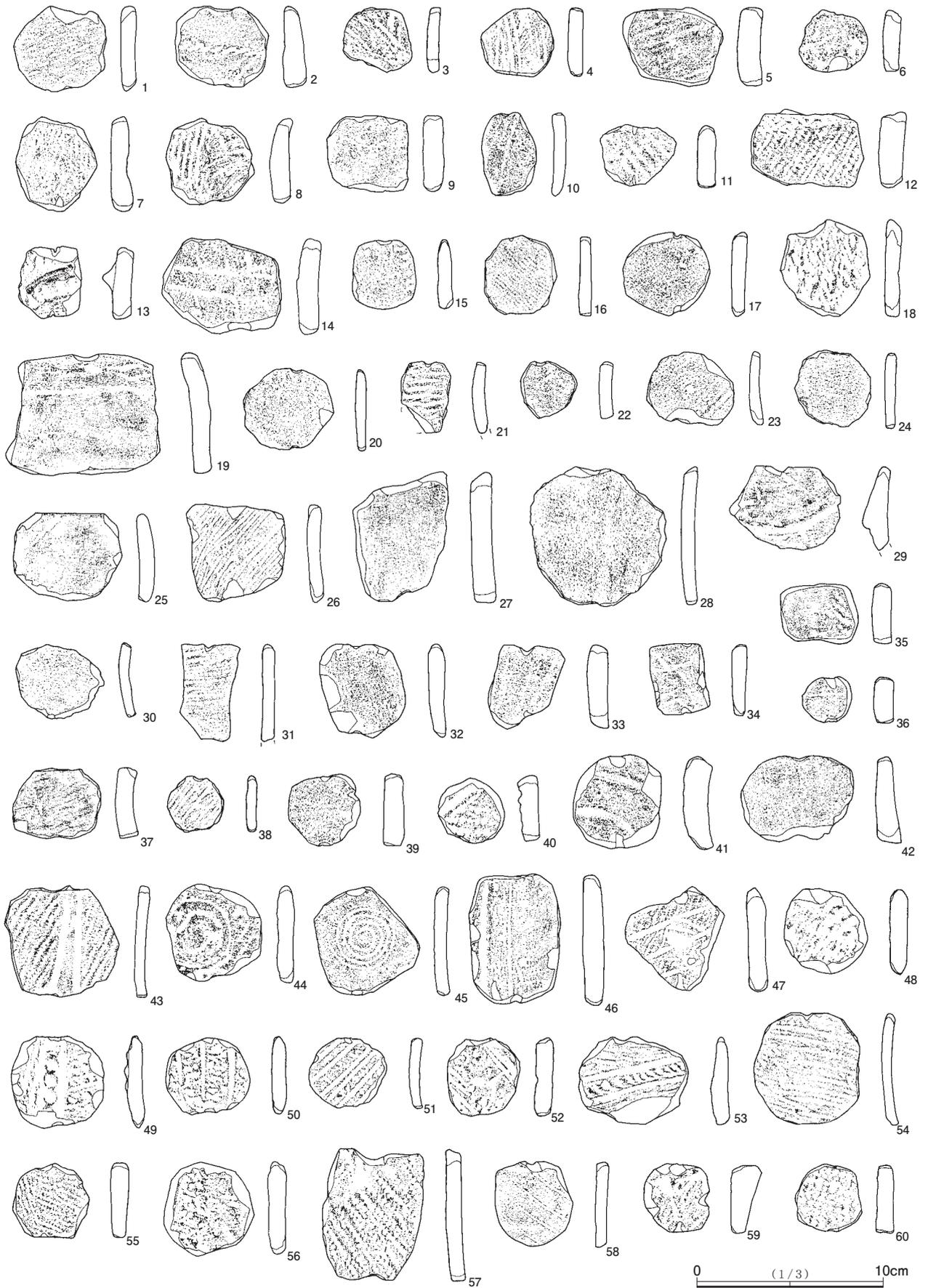
第96図 耳飾り(2)



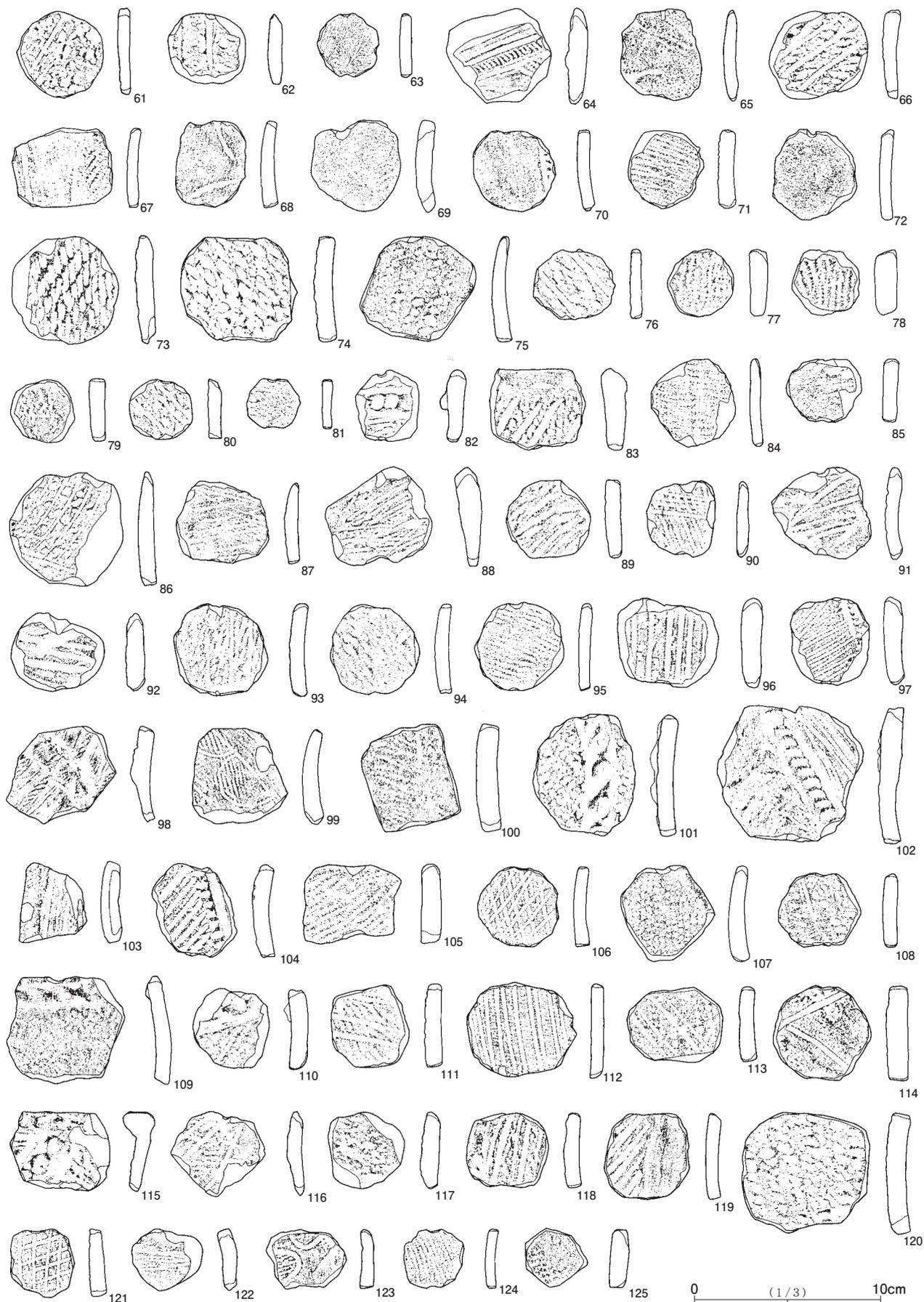
第97図 耳飾り(3), 耳栓, スタンプ形土製品

いては第9表にみられる様に、縄文時代後期加曽利B及び安行系のものが主となっている。個々に関しては一覧表を参照されたい。

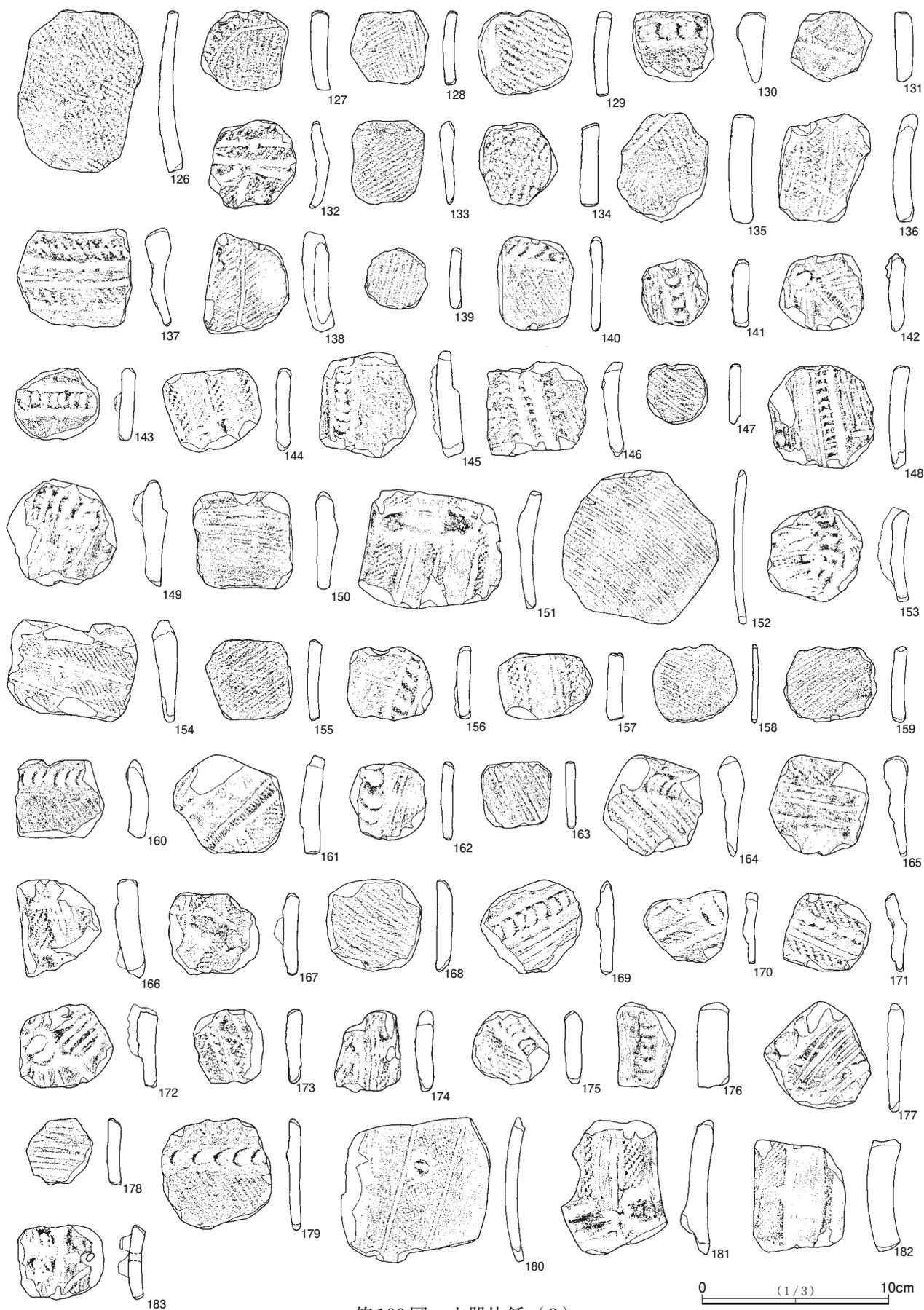
土製円板に関してはそのあり方が不明な存在である。よく紡錘車的な意味合いを検討されるが、中心部に穿孔されなければ目的を果たせず、ものによっては中心部にやや凹みを持つものも存在するが穿孔されたものではない。またこれだけの数量が出土しているが、紡錘車作製のためのパーツとして用意されたものとしては、未製品としても不十分な感は否めない。1個単位ではなく複数を利用する何らかのおもりのな使用法も考えられる。



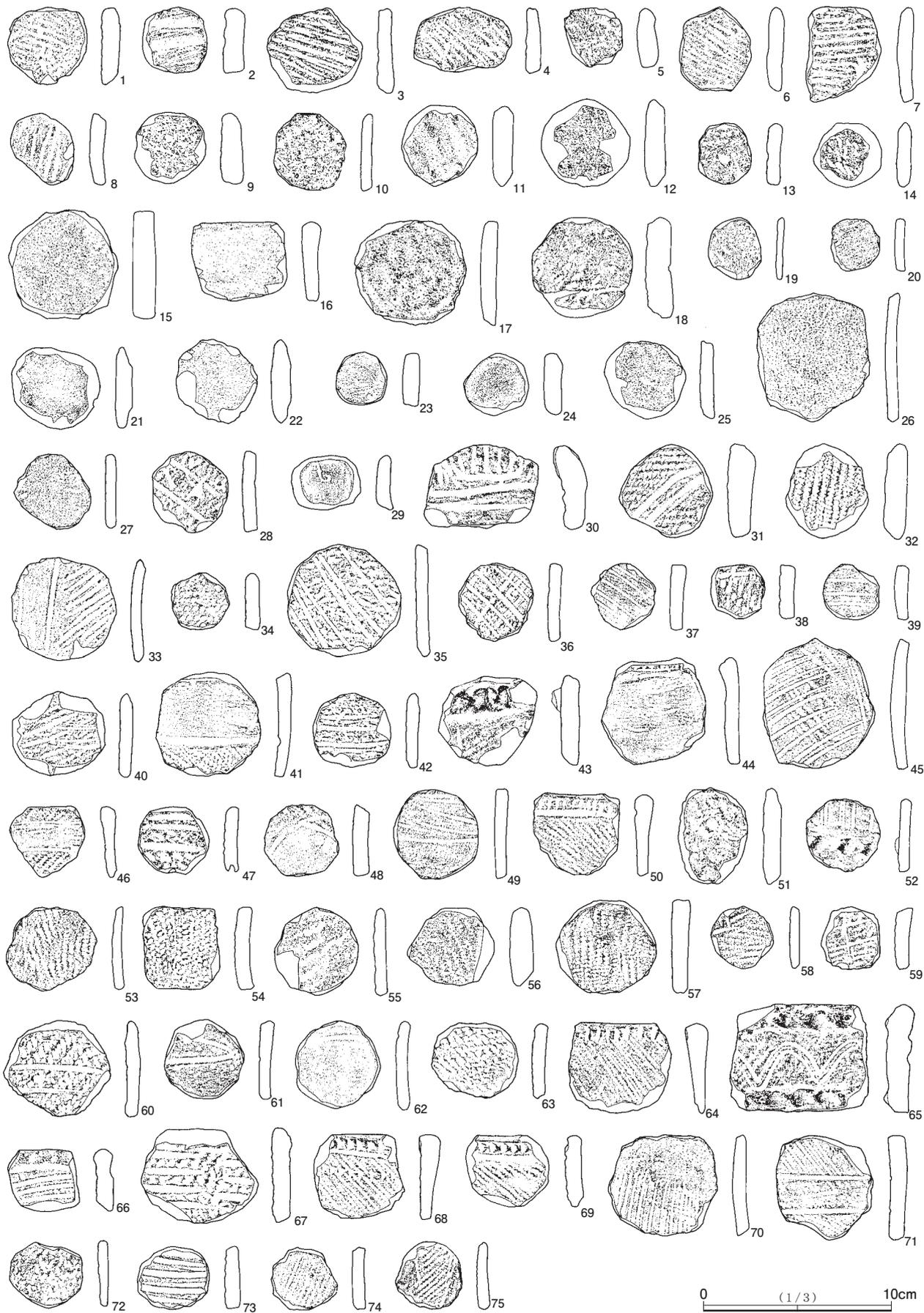
第98図 土器片錘(1)



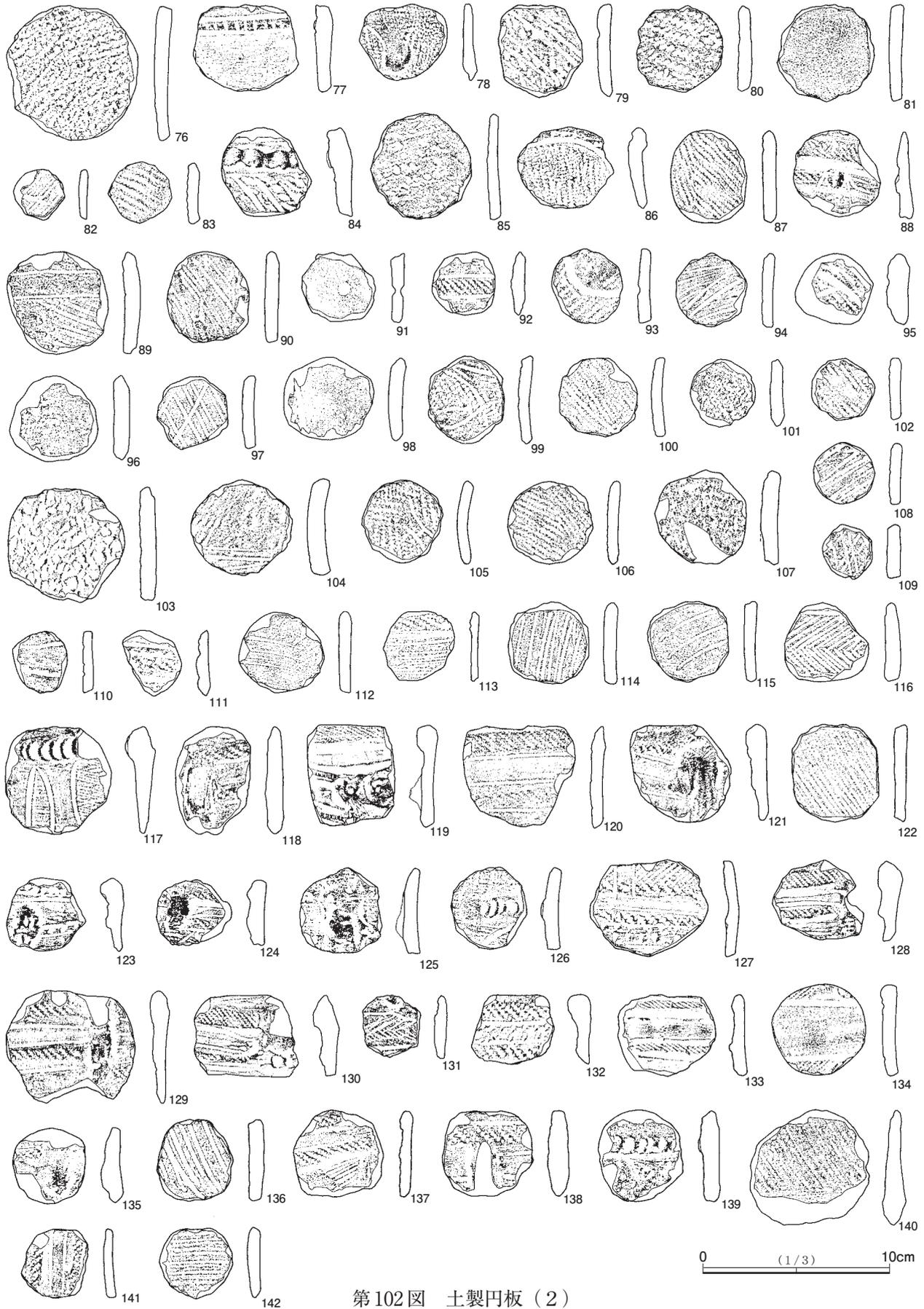
第99図 土器片錘(2)



第100圖 土器片錘 (3)



第101図 土製円板 (1)



第102图 土製円板(2)

第8表 土製品・耳飾り観察表

() 現存値

挿図	No	種類	時期	遺構番号	遺物番号	依存度 (%)	内径 (mm)	最大径 (mm)	最大高 (mm)	重量 (g)	調整	胎土	備考
95	1	滑車形耳飾	堀之内式?	31U-24D	18	25	17.0	34.0	12.0	2.3	-	細砂	環状、土器のつまみ部の可能性もある
95	2	滑車形耳飾	堀之内式	SI-013	1	95	15.0	45.0	31.0	51.41	-	細砂含	
95	3	滑車形耳飾	後・晩期	31U-34A	4	完形	14.0	25.5	17.0	8.2	-	微細砂	
95	4	滑車形耳飾	後・晩期	31U-24D	15	30	28.0	39.0	18.0	2.7	ナデ	精製	
95	5	滑車形耳飾	晩期	31S-83	1	25	32.0	42.0	17.5	2.7	ミガキ	精製	輪部内側の外縁に隆起文
95	6	滑車形耳飾	後期	31T	?	25	32.0	49.0	16.0	5.4	-	微細砂	外縁刻列、沈線
95	7	滑車形耳飾	後・晩期	31U-13C	1	75	50.0	60.0	20.0	16.1	ケズリ	-	
95	8	滑車形耳飾	後・晩期	31U-23C	3	30	47.5	56.0	20.5	6.6	ミガキ	精製	
95	9	滑車形耳飾	後・晩期	31T-94D	2	15	54.0	66.0	17.0	2.5	-	微細砂	
95	10	滑車形耳飾	後・晩期	31U-23C	3	20	47.5	56.0	20.5	2.4	ミガキ	精製	
95	11	滑車形耳飾	後・晩期	31U-04D	1	破片	-	-	(20.0)	1.9	ミガキ	精製	
95	12	滑車形耳飾	後・晩期	31U-25C	5	破片	-	-	22.5	4.5	ケズリ	-	
95	13	滑車形耳飾	後・晩期	31U-22	1	20	43.0	58.0	22.0	4.4	ナデ	-	外縁刻列
95	14	滑車形耳飾	後・晩期	31U-13C	11	100	28.0	37.0	17.0	11.7	ミガキ	微細砂	外縁浮文
95	15	滑車形耳飾	晩期	31U-33B	4	25	48.0	58.0	20.0	6.3	ミガキ	精製	外縁貼付文・刻列
95	16	滑車形耳飾	晩期	31U-03	1	20	42.0	54.0	17.0	2.6	ミガキ	微細砂	外縁浮文
95	17	滑車形耳飾	晩期	31U-15D	1	20	50.0	60.0	20.0	4.0	ミガキ	精製	外縁沈線で浮文
95	18	滑車形耳飾	晩期	31U-60C	8	15	50.0	60.0	21.5	2.7	ミガキ	精製	外縁浮文
95	19	滑車形耳飾	晩期	31U-13C	14	25	52.0	62.0	22.0	6.0	ミガキ	精製	外縁沈線で浮文
95	20	滑車形耳飾	晩期	31U-15B	2	25	53.0	64.0	21.0	4.9	ミガキ	精製	赤彩痕、外縁沈線で浮文
95	21	滑車形耳飾	晩期	31U-23C	1	25	55.0	68.5	22.5	7.9	ミガキ	精製	外縁沈線で入組文・浮文、内側に沈線
95	22	滑車形耳飾	晩期	31T一括	-	15	41.0	52.0	20.0	1.8	ミガキ	精製	外縁沈線で浮文・刻列
95	23	滑車形耳飾	晩期	31U-14B	6	20	48.0	58.0	22.5	3.3	ミガキ	精製	外縁沈線
95	24	滑車形耳飾	晩期	31U-03	5	25	40.0	56.0	19.0	4.0	ミガキ	精製	外縁工字状沈線
95	25	滑車形耳飾	晩期	31U-04D	1	20	43.0	54.0	20.0	3.3	ミガキ	精製	外縁沈線で浮文・沈線
96	26	滑車形耳飾	晩期	31U-13C	1	30	57.5	66.0	20.5	6.9	ミガキ	精製	外縁沈線で浮文・沈線・刻列
96	27	滑車形耳飾	晩期	31U-04D	1	20	59.0	75.0	22.0	4.5	ミガキ	精製	外縁沈線で入組文・浮文・刻み目
96	28	滑車形耳飾	晩期	31U-24D	11	25	48.0	60.0	23.0	7.2	ミガキ	精製	外縁沈線で入組文・浮文
96	29	滑車形耳飾	晩期	31U-14D	-	20	49.0	60.0	20.0	3.6	ミガキ	精製	外縁沈線で浮文・沈線
96	30	滑車形耳飾	晩期	31U-22、31U-24A	1.3	40	57.0	68.0	22.0	12.6	ミガキ	精製	外縁沈線で浮文・沈線
96	31	滑車形耳飾	晩期	31U-12A、31U-05D	1.2	30	52.0	66.0	20.2	15.5	ミガキ	精製	側壁内側に突出、入組文、外縁細かい刻み
96	32	滑車形耳飾	晩期	31U-03	1	55	52.0	70.0	18.5	19.9	ミガキ	微細砂	側壁内側に突出、入組文、沈線で浮文
96	33	滑車形耳飾	晩期	31U-03	1	20	56.0	74.0	20.0	5.8	ミガキ	微細砂	側壁内側に突出、入組文、沈線で浮文、32と類似
96	34	滑車形耳飾	晩期	31U-13C、31U-23B	14.7	40	54.0	68.0	20.0	10.0	ミガキ	精製	外縁沈線
96	35	滑車形耳飾	晩期	31U-13C、31U-23B	1.1	50	56.0	70.7	21.5	17.9	ミガキ	精製	外縁上端工字状沈線。沈線間浮文
96	36	滑車形耳飾	晩期	31U-13C	8	20	55.5	74.0	22.0	6.5	ミガキ	微細砂	側壁内側に突出、入組文、沈線で浮文
96	37	滑車形耳飾	晩期	31T-14	1	20	52.0	70.0	18.5	4.8	ミガキ	精製	側壁内側に突出、入組・三文文、外縁細かい刻み
96	38	滑車形耳飾	晩期	31S-83	1	30	49.0	69.0	21.0	11.2	ミガキ	精製	側壁内側に突出、三文文、沈線間細刺突、外縁細かい刻み
96	39	滑車形耳飾	晩期	31U-03B	2	95	21.0	65.5	22.0	59.3	ミガキ	精製	側面漏斗状に凹み
96	40	滑車形耳飾	晩期	3ト	1	35	48.0	82.0	20.5	23.8	ナデ	細砂	やや漏斗形。弧状沈線・縦刺突
96	41	滑車形耳飾	晩期	31T-95C	1	15	36.0	76.5	(14.0)	6.0	-	微細砂	側面太鼓状に張出、細刺突を加えた沈線、透かし穴
97	42	耳栓	後・晩期	?	-	75	-	16.0	11.0	2.0	ナデ	精製	赤彩
97	43	耳栓	後・晩期	31U-15D	3	90	-	16.0	11.0	1.8	ナデ	精製	
97	44	耳栓	後・晩期	31U-22B	8	80	-	19.0	12.0	3.0	ナデ	精製	赤彩、側壁中心部に凸瘤
97	45	耳栓	後・晩期	31U-24D	12	70	-	18.0	(10.0)	2.3	ナデ	精製	赤彩、側壁中心に浅円凹み
97	46	耳栓	後・晩期	31U-05D	3	完形	-	14.0	(17.5)	3.7	-	微細砂	
97	47	耳栓	後・晩期	31T-94	1	70	-	30.0	15.0	4.3	-	微細砂	溝部外面に沈線
97	48	スタンプ型	後期	31T-14-2ト内	-	完形	長44.0	幅42.5	厚23.0	18.9	-	細砂	印面に細半截竹管で曲線
97	49	スタンプ型	後期	16ト	1	揃み欠損	長18.5	幅45.5	厚42.0	25.6	-	細砂多	印面に同心円沈線。
97	50	蓋	堀之内式	31U-34B	5	揃み欠損 90%	長78.0	幅80.0	厚31.0	115.79	-	細砂多	断面レンズ状
97	51	蓋	堀之内式	31U-12C	2	揃み欠損 80%	長66.0	幅68.0	厚15.0	43.07	ナデ	微細砂	椀状、貼付線+刺突文
97	52	蓋	堀之内式	1トレ	1	揃み欠損 90%	長43.0	幅43.0	厚15.0	18.11	-	微細砂	椀状
97	53	蓋?	後期	31U-12D	1	-	長34.0	幅41.5	厚12.0	12.02	-	細砂	縄文・沈線、有孔、土器口縁?

第9表 土器片錘・土製円板平均値

土器片錘						土製円板					
形式	平均長 (mm)	平均幅 (mm)	平均厚 (mm)	平均重量 (g)	点数	形式	平均長 (mm)	平均幅 (mm)	平均厚 (mm)	平均重量 (g)	点数
稲荷台	5.00	4.60	0.81	21.50	1	茅山	4.13	3.73	0.99	15.38	15
花輪台	5.00	4.40	1.19	28.50	1	阿玉台	3.79	3.35	1.20	16.00	1
茅山	4.41	3.81	1.04	18.21	9	加曾利E	7.53	5.76	1.60	66.80	1
関山	5.46	4.43	1.33	38.75	2	称名寺	3.59	3.52	0.82	12.20	1
阿玉台	3.90	3.35	1.57	19.00	1	堀之内	4.60	3.91	1.14	23.67	16
加曾利E	6.50	5.05	1.19	40.70	1	加曾利B	4.72	3.85	0.77	17.46	516
中期	5.35	4.94	0.85	26.00	1	曾谷~安行	3.68	3.41	0.69	9.94	5
堀之内	5.62	4.95	1.09	33.33	9	安行	6.15	4.06	0.96	20.11	167
加曾利B	5.09	4.59	0.89	25.84	107	後期	4.51	4.30	1.05	29.10	2
加曾利B~曾谷	5.80	5.00	1.00	31.70	1	安行3b	4.76	3.99	1.10	21.50	1
曾谷~安行	5.82	4.97	1.37	34.95	2	合計	4.75	3.99	1.03	23.22	725
安行	5.05	4.67	1.10	29.71	5						
安行3a	4.60	4.05	1.18	19.90	1						
合計	5.20	4.52	1.12	28.31	188						

第10表 土器片錘・土製円板観察表

挿図	No	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	型式	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考
98	1	31U-11B	2	土器片錘	粗	黄褐色	細砂・燃糸文	後期中葉	加曾利B	5.00	4.60	0.81	21.5	
98	2	31U-35B	3	土器片錘	良	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.00	4.40	1.19	28.5	
98	3	31S-94	1	土器片錘	粗	赤褐色	スコリア・繊維	早期後葉	茅山	3.75	3.55	0.67	10.3	
98	4	31U-05D	9	土器片錘	粗	黒褐色	スコリア・繊維	後期中葉	加曾利B	3.90	3.70	0.82	15.0	
98	5	31U-15A	1	土器片錘	粗	赤褐色	細砂・繊維	後期中葉	加曾利B	5.40	4.30	1.22	29.4	
98	6	31U-05D	8	土器片錘	粗	赤褐色	細砂・繊維	後期中葉	加曾利B	3.75	3.35	0.92	12.0	
98	7	31U-13A	16	土器片錘	粗	灰褐色	細砂・繊維	後期中葉	加曾利B	5.15	4.35	1.10	24.2	
98	8	31U-13A	16	土器片錘	粗	赤褐色	細砂・繊維	後期	-	4.80	4.60	1.08	24.4	
98	9	31U-13A	13	土器片錘	粗	赤褐色	細砂・繊維	-	安行	4.40	4.15	1.20	24.8	
98	10	31U-24D	9	土器片錘	粗	黄褐色	細砂	-	安行	4.45	2.95	0.72	11.1	
98	11	31U-15A	5	土器片錘	粗	黄褐色	細砂・繊維	後期中葉	加曾利B	4.05	3.35	0.98	12.7	
98	12	31U-33B	-	土器片錘	粗	灰褐色	細砂・繊維	後期	-	6.10	4.10	1.37	41.3	
98	13	31U-15C	6	土器片錘	粗	灰褐色	スコリア・大粒白砂	後期前葉	堀之内	3.90	3.35	1.57	19.0	
98	14	31T-93D	1	土器片錘	粗	灰褐色	細砂・白砂	後期中葉	加曾利B	6.50	5.05	1.19	40.7	
98	15	SI-012	1	土器片錘	粗	黄褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	3.80	3.45	0.77	10.9	
98	16	SI-020	1	土器片錘	良	赤褐色	細砂・スコリア	後期	-	4.30	3.90	0.62	13.0	
98	17	31S-81	1	土器片錘	粗	灰褐色	細砂	後期前葉	堀之内	4.65	4.45	0.78	17.4	
98	18	31S-94	1	土器片錘	良	黒褐色	細砂	-	安行	5.30	4.80	0.83	23.8	
98	19	31T-41	1	土器片錘	粗	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	8.25	6.60	1.10	72.8	
98	20	2トレ	1	土器片錘	粗	黄褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	4.90	4.45	0.60	15.1	
98	21	31T-14	1	土器片錘	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.90	2.60	0.73	8.8	口縁
98	22	31T-14	1	土器片錘	良	灰褐色	細砂	後期前葉	堀之内	3.10	3.00	0.70	7.5	
98	23	31T-94	1	土器片錘	良	黒褐色	白砂	-	安行	4.75	4.00	0.62	13.9	
98	24	31U-03D	1	土器片錘	良	黒褐色	細砂	後期	-	4.10	4.10	0.60	13.5	
98	25	16トレ	1	土器片錘	良	赤褐色	白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	5.80	4.75	0.77	30.0	
98	26	31U-14C	3	土器片錘	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.35	5.30	0.73	24.2	
98	27	31U-15D	1	土器片錘	粗	黄褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	7.10	5.10	1.19	50.4	
98	28	31U-02C	1	土器片錘	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	7.60	7.35	0.74	56.2	
98	29	31U-22D	2	土器片錘	粗	灰褐色	大粒砂・石英粒	-	安行	5.95	4.55	1.36	33.3	
98	30	31U-04	1	土器片錘	良	黄褐色	白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	4.75	4.00	0.60	14.1	
98	31	31U-15B	2	土器片錘	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.25	3.25	0.70	13.3	
98	32	31U-06A	2	土器片錘	粗	黄褐色	スコリア・大粒砂	後期	-	5.00	4.65	0.95	24.5	口縁
98	33	31U-15B	2	土器片錘	粗	赤褐色	大粒白砂	後期中葉	加曾利B	4.50	4.15	1.07	19.8	
98	34	31U-24A	2	土器片錘	良	灰褐色	大粒砂	-	安行	3.80	3.35	0.73	11.4	
98	35	31U-23D	2	土器片錘	粗	灰褐色	大粒砂	後期	-	4.15	3.25	1.02	18.7	
98	36	31U-23D	3	土器片錘	粗	灰褐色	細砂	後期	-	2.70	2.50	1.03	8.1	
98	37	31U-34D	1	土器片錘	良	黄褐色	細砂	-	安行	4.75	3.85	1.03	24.5	
98	38	31U-13C	3	土器片錘	良	灰褐色	細砂・石英粒	-	安行	3.05	3.05	0.51	5.5	
98	39	31U-36	1	土器片錘	粗	黄褐色	スコリア	後期前葉	堀之内	3.95	3.90	1.12	15.7	
98	40	SI-012	1	土器片錘	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	3.55	3.55	1.13	16.0	
98	41	2トレ	1	土器片錘	粗	赤褐色	白砂	後期	-	5.10	4.70	1.45	37.3	口縁
98	42	6トレ	1	土器片錘	良	黄褐色	石英粒・白砂	-	安行	6.05	4.70	1.25	38.0	口縁
98	43	3トレ	1	土器片錘	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	6.10	6.10	0.66	27.5	口縁
98	44	31T-14	1	土器片錘	粗	黄褐色	白砂・スコリア	中期	加曾利E	5.30	5.20	0.94	30.3	
98	45	31U-15C	1	土器片錘	粗	灰褐色	大粒砂	後期	-	5.85	5.70	0.78	26.2	
98	46	31U-24D	7	土器片錘	良	灰褐色	大粒砂・スコリア	-	安行	7.05	5.00	1.15	50.2	
98	47	31U-32C	1	土器片錘	良	灰褐色	スコリア	-	安行	5.65	5.30	1.00	27.1	
98	48	SI-010	1	土器片錘	良	灰褐色	細砂	-	安行	4.60	4.55	0.94	21.8	
98	49	SI-010	1	土器片錘	良	灰褐色	細砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	5.00	4.95	0.96	24.7	
98	50	SI-012	1	土器片錘	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.60	4.20	0.78	16.8	凹み4か所
98	51	SI-012	1	土器片錘	良	灰褐色	白砂	後期	-	4.25	3.80	0.56	11.3	
98	52	SI-021	1	土器片錘	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.25	3.95	1.01	20.3	
98	53	1トレ	1	土器片錘	良	赤褐色	細粒	-	安行	5.90	4.70	0.95	27.7	
98	54	1トレ	1	土器片錘	良	灰褐色	細砂・白砂含む	後期中葉	加曾利B	6.05	5.65	0.55	24.5	
98	55	1トレ	1	土器片錘	良	黄褐色	細砂・白砂	後期中葉	加曾利B	4.10	4.05	0.95	17.3	
98	56	1トレ	1	土器片錘	粗	灰褐色	石英粒	-	安行	5.05	4.85	1.03	29.3	口縁
98	57	1トレ	1	土器片錘	良	黄褐色	大粒の砂粒・白砂	後期中葉	加曾利B	7.10	5.40	0.85	44.9	
98	58	31S-81	1	土器片錘	良	赤褐色	スコリア	-	安行	4.60	4.20	0.63	15.5	
98	59	31S-65	1	土器片錘	良	赤褐色	細砂	後期	-	3.70	3.50	1.60	18.9	
98	60	31S-83	1	土器片錘	良	黒褐色	細砂	後期	-	3.70	3.55	0.99	15.3	
99	61	31S-82	1	土器片錘	良	灰褐色	細砂	-	安行	4.75	4.65	0.68	18.0	口縁
99	62	31S-94	1	土器片錘	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.20	3.80	0.77	14.7	
99	63	2トレ	1	土器片錘	粗	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	3.45	3.30	0.70	9.3	
99	64	2トレ	1	土器片錘	良	灰褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	5.60	5.20	1.15	31.5	
99	65	3トレ	1	土器片錘	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.00	4.35	0.70	17.9	
99	66	6トレ	1	土器片錘	良	黒褐色	細砂	-	安行	5.80	4.80	0.99	24.7	
99	67	31T-41	1	土器片錘	良	黒褐色	白砂・石英粒	後期	-	5.45	4.30	0.62	24.4	
99	68	6トレ	1	土器片錘	良	灰褐色	白砂	後期前葉	堀之内	4.70	3.75	0.80	17.6	
99	69	17トレ	1	土器片錘	粗	赤褐色	白砂	後期	-	5.00	4.85	0.91	21.7	
99	70	34トレA	70	土器片錘	良	赤褐色	大粒砂粒	早期後葉	茅山	4.40	4.40	0.71	17.5	
99	71	16トレ	1	土器片錘	粗	黄褐色	白砂	-	安行	4.20	4.10	0.91	18.4	
99	72	16トレ	1	土器片錘	良	黒褐色	白砂	後期	-	4.90	4.55	0.66	19.0	
99	73	16トレ	1	土器片錘	良	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.90	5.65	1.00	37.3	
99	74	31U-24A	7	土器片錘	良	灰褐色	スコリア・細砂	-	安行	6.30	5.70	1.03	49.5	
99	75	31U-03D	1	土器片錘	粗	黒褐色	白砂	-	安行	6.25	5.75	0.80	31.7	

挿入	No	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	型式	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考
99	76	31U-03B	1	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	早期後葉	茅山	4.45	3.85	0.66	14.3	
99	77	31U-04B	2	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	-	安行	3.65	3.60	0.99	15.5	
99	78	31U-04C	1	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期	-	3.65	3.55	1.26	18.2	
99	79	31U-12B	1	土器片鉢	粗	黄褐色	白砂	-	安行	3.45	3.45	0.84	11.7	
99	80	31U-12B	1	土器片鉢	粗	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.45	3.25	0.71	10.1	
99	81	31U-13B	6	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期	-	2.90	2.70	0.56	4.6	
99	82	31U-13D	1	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	-	安行	3.90	3.50	1.25	14.6	
99	83	31U-03D	2	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	-	安行	5.10	4.45	1.33	33.8	
99	84	31U-03D	1	土器片鉢	粗	灰褐色	細砂	-	安行	4.80	4.55	0.62	15.9	口縁
99	85	31U-13C	8	土器片鉢	粗	灰褐色	細砂	-	安行	4.15	3.45	0.76	13.5	
99	86	31U-04D	1	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	6.15	6.10	0.91	38.2	
99	87	31U-03D	2	土器片鉢	良	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.00	4.45	0.77	21.2	
99	88	31U-11B	1	土器片鉢	粗	黄褐色	スコリア・細砂	後期	-	5.75	5.40	1.25	35.6	
99	89	31U-03D	2	土器片鉢	粗	黒褐色	白砂・石英粒	-	安行	4.55	4.25	0.86	20.2	口縁
99	90	31U-13A	2	土器片鉢	良	黄褐色	スコリア	-	安行	4.10	3.65	0.62	13.2	
99	91	31U-03D	2	土器片鉢	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.35	5.00	0.80	22.6	
99	92	31U-13A	1	土器片鉢	粗	灰褐色	細砂	-	安行	5.05	4.25	0.98	21.3	口縁
99	93	31U-06A	1	土器片鉢	良	黄褐色	石英粒・白砂	-	安行	5.05	5.00	0.86	26.4	口縁
99	94	31U-05D	5	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.85	4.85	0.79	23.6	
99	95	31U-12D	1	土器片鉢	粗	黄褐色	大粒白砂・スコリア	後期中葉	加曾利B	4.80	4.75	0.65	17.3	
99	96	31U-13A	2	土器片鉢	粗	黄褐色	スコリア・細砂	後期中葉	加曾利B	5.45	4.85	1.11	31.2	
99	97	31U-13C	14	土器片鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.75	4.70	1.01	24.4	
99	98	31U-13C	4	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.90	5.20	1.05	31.6	口縁
99	99	31U-13D	1	土器片鉢	良	黄褐色	スコリア	後期後葉	曾谷~安行	5.20	5.15	0.93	28.5	口縁
99	100	31U-35A	4	土器片鉢	粗	灰褐色	スコリア・細砂	後期中葉	加曾利B	5.85	5.40	1.20	39.8	
99	101	31U-13D	4	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期	-	6.60	5.55	1.26	44.4	
99	102	31U-13C	4	土器片鉢	粗	黄褐色	白砂・スコリア	後期	-	7.85	7.40	1.31	83.4	
99	103	31U-13C	1	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	-	安行	4.40	3.65	1.00	14.7	口縁
99	104	31U-14B	3	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期	-	5.05	4.60	0.95	24.8	
99	105	31U-14B	6	土器片鉢	粗	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.35	4.30	1.11	29.5	
99	106	31U-14C	3	土器片鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒	後期	-	4.35	4.35	0.74	17.1	
99	107	31U-15B	2	土器片鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア	-	安行	5.20	5.05	0.90	25.9	口縁
99	108	31U-15A	6	土器片鉢	粗	赤褐色	粗い石英粒	-	安行	4.45	4.00	0.75	16.1	
99	109	31U-25D	1	土器片鉢	良	灰褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	6.30	5.85	0.91	35.6	
99	110	31U-13D	1	土器片鉢	良	黄褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	4.30	4.10	1.27	21.0	
99	111	31U-15C	1	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.50	4.20	0.96	22.3	
99	112	31U-34A	3	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.90	5.15	0.68	26.0	
99	113	31U-23D	1	土器片鉢	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.15	4.05	0.88	24.5	
99	114	31U-24D	17	土器片鉢	良	灰褐色	細砂・スコリア	-	安行	5.30	5.15	1.21	38.9	
99	115	31U-15C	6	土器片鉢	良	黄褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	5.30	4.30	1.63	32.1	
99	116	31U-22A	2	土器片鉢	粗	灰褐色	スコリア	-	安行	5.10	4.05	0.73	16.4	
99	117	31U-24A	7	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	早期後葉	茅山	4.15	4.10	0.91	17.0	
99	118	31U-25C	5	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	早期後葉	茅山	4.40	4.00	0.82	21.0	
99	119	31U-24A	6	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	早期後葉	茅山	4.65	4.55	0.73	21.2	
99	120	31U-24B	4	土器片鉢	良	黒褐色	大粒砂・石英粒	早期後葉	茅山	6.85	6.55	1.09	63.7	
99	121	31U-15B	2	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期	-	3.70	3.45	0.90	13.8	
99	122	31U-23C	8	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.80	3.35	0.83	12.4	
99	123	31U-24B	3	土器片鉢	良	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.30	3.20	0.76	10.7	口縁
99	124	31U-23D	1	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	早期前葉	稲荷台	3.25	3.20	0.51	6.4	
99	125	31U-15D	1	土器片鉢	粗	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.45	3.15	0.96	10.4	
100	126	31U-25C	3	土器片鉢	良	赤褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	8.75	6.70	0.91	66.8	
100	127	31U-24D	7	土器片鉢	良	灰褐色	石英粒・細砂	後期中葉	加曾利B	4.70	4.30	0.97	22.3	
100	128	31U-25C	2	土器片鉢	良	赤褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	4.20	4.00	0.62	14.8	
100	129	31U-26C	3	土器片鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	茅山	5.05	4.60	0.74	22.6	
100	130	31U-34A	3	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.30	3.80	1.45	25.0	
100	131	31U-33A	1	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.35	3.75	0.95	17.1	
100	132	31U-25D	3	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.75	4.70	0.78	17.1	
100	133	31U-25D	3	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.50	3.95	0.75	13.6	
100	134	31U-36B	2	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期	-	4.50	4.25	0.97	22.0	
100	135	31U-36A	3	土器片鉢	粗	赤褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	5.85	4.85	1.16	38.0	
100	136	31U-14	1	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.80	5.00	1.00	31.7	
100	137	31U-14D	2	土器片鉢	粗	黄褐色	スコリア	-	安行	6.15	5.30	1.36	38.9	
100	138	31U-03	1	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	後期	-	5.50	4.65	1.38	31.0	
100	139	SI-012	1	土器片鉢	良	灰褐色	スコリア	-	安行	3.35	3.35	0.62	7.8	
100	140	SI-032	1	土器片鉢	良	赤褐色	スコリア	-	安行	5.15	4.15	0.69	17.2	
100	141	SI-032	1	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	3.65	3.60	0.89	12.8	
100	142	SX-012	1	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	早期後葉	茅山	4.60	4.20	1.02	16.5	
100	143	1トレ	1	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	後期後葉	曾谷~安行	4.60	3.95	1.05	17.0	
100	144	1トレ	1	土器片鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	茅山	5.35	4.50	0.78	23.6	
100	145	31S-93	1	土器片鉢	良	黒褐色	白砂	早期後葉	茅山	5.80	5.70	1.58	42.2	
100	146	31S-94	1	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	早期後葉	茅山	5.40	5.15	0.89	32.8	
100	147	31S-81	1	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	早期後葉	安行	3.30	3.20	0.60	7.7	口縁
100	148	31S-94	1	土器片鉢	良	赤褐色	細砂	早期後葉	茅山	5.80	5.65	0.81	32.9	
100	149	31T-94D	2	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	-	安行	5.90	5.80	1.90	45.6	口縁
100	150	31T-14	1	土器片鉢	良	赤褐色	細砂	後期	-	5.35	5.30	1.15	35.9	
100	151	31T-41	1	土器片鉢	良	灰褐色	白砂	-	安行	7.80	6.45	0.91	69.8	
100	152	31T-14	1	土器片鉢	粗	灰褐色	細砂・スコリア	後期中葉	加曾利B	8.40	8.40	0.53	47.6	

挿入	No	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	型式	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考
100	153	31T-94D	2	土器片鉢	良	灰褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	5.20	5.10	1.35	26.2	口縁
100	154	7トレ	1	土器片鉢	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	7.00	5.50	1.27	50.4	口縁
100	155	16トレ	1	土器片鉢	粗	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.70	4.35	0.66	17.1	
100	156	31U-04D	1	土器片鉢	粗	黄褐色	スコリア	-	安行	4.55	3.90	0.88	15.6	口縁
100	157	31U-03C	1	土器片鉢	良	黄褐色	スコリア	後期前葉	堀之内	5.10	3.60	0.92	20.3	
100	158	31U-03C	1	土器片鉢	良	黒褐色	大粒砂・石英粒	-	安行	4.20	4.15	0.30	7.4	
100	159	31U-03	1	土器片鉢	良	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.05	4.05	0.79	20.8	口縁
100	160	31U-25D	3	土器片鉢	粗	赤褐色	スコリア・白砂	後期中葉	加曾利B	4.80	4.25	0.94	24.2	
100	161	31U-03C	1	土器片鉢	良	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	6.05	5.35	1.09	40.0	
100	162	31U-03D	1	土器片鉢	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.20	4.15	0.69	15.5	
100	163	31U-13A	1	土器片鉢	良	赤褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.70	3.60	0.49	10.4	
100	164	31U-04	1	土器片鉢	良	黄褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B～曾谷	5.45	5.40	1.28	29.0	
100	165	31U-15C	1	土器片鉢	良	赤褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.40	5.30	1.30	30.3	
100	166	31U-03D	1	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.30	4.55	1.48	28.1	側面に穴
100	167	31U-23C	15	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	-	安行	4.80	4.45	1.27	25.5	口縁
100	168	31U-23C	3	土器片鉢	良	灰褐色	白砂・石英粒	-	安行	5.10	5.00	0.83	27.2	
100	169	31U-13A	2	土器片鉢	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.40	5.10	0.98	24.0	
100	170	31U-03B	5	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.55	3.95	0.68	12.6	
100	171	31U-04A	1	土器片鉢	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.70	4.25	0.78	18.5	口縁
100	172	31U-15B	2	土器片鉢	良	黄褐色	細砂	-	安行	5.00	4.50	1.54	25.5	
100	173	31U-15B	1	土器片鉢	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.00	3.80	0.82	14.2	
100	174	31U-14A	4	土器片鉢	粗	灰褐色	白砂	後期	-	4.35	3.55	0.93	15.9	
100	175	31U-03D	1	土器片鉢	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.20	4.00	0.89	18.3	
100	176	31U-15A	1	土器片鉢	粗	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.60	3.20	1.59	23.2	
100	177	31U-13C	8	土器片鉢	良	灰褐色	細砂	後期後葉	曾谷～安行	5.85	5.80	0.89	31.0	口縁
100	178	31U-05D	5	土器片鉢	良	黒褐色	石英粒	後期中葉	加曾利B	3.55	3.55	0.69	10.9	
100	179	31U-15A	6	土器片鉢	粗	黄褐色	スコリア・白砂	-	安行	6.00	5.85	0.73	27.7	
100	180	18トレ	1	土器片鉢	粗	灰褐色	白砂	後期	-	8.10	7.80	0.70	57.1	
100	181	31U-13C	1	土器片鉢	良	赤褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	7.25	5.70	1.44	60.0	
100	182	31U-22	1	土器片鉢	良	灰褐色	スコリア・細砂	後期中葉	加曾利B	5.05	5.00	1.51	44.0	
100	183	31U-24D	11	土器片鉢	良	黒褐色	細砂・白砂	-	安行	4.60	4.05	1.18	19.9	口縁
101	1	SI-012	1	土製円板	粗	黒褐色	繊維・石英粒	後期中葉	加曾利B	4.20	4.20	1.01	19.0	
101	2	SK-033	252	土製円板	粗	黄褐色	石英粒	後期中葉	加曾利B	3.55	3.45	1.11	15.4	
101	3	31U-05D	9	土製円板	粗	黒褐色	スコリア・繊維	後期中葉	加曾利B	5.05	5.55	0.89	20.4	
101	4	31U-12A	3	土製円板	粗	黄褐色	大粒砂・スコリア	-	安行	5.20	3.50	0.82	14.1	
101	5	31U-13A	2	土製円板	粗	赤褐色	細砂・繊維	-	安行	3.20	3.10	1.04	9.9	
101	6	31U-13B	5	土製円板	粗	黄褐色	細砂・繊維	後期	-	4.50	3.80	0.81	15.7	
101	7	31U-15B	2	土製円板	粗	黒褐色	石英粒・スコリア・繊維	後期	-	5.15	4.08	0.81	17.7	
101	8	31U-23C	5	土製円板	粗	黄褐色	スコリア・繊維	後期中葉	加曾利B	3.80	3.35	0.77	10.4	口縁
101	9	31U-25B	5	土製円板	粗	赤褐色	細砂・繊維	-	安行	3.85	3.80	1.21	17.8	
101	10	SI-012	1	土製円板	粗	黄褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	4.10	3.80	0.65	13.5	
101	11	1トレ	1	土製円板	粗	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.35	4.00	1.09	20.8	
101	12	31S-94	1	土製円板	粗	灰褐色	白砂	-	安行	4.70	4.70	1.13	25.6	口縁
101	13	2トレ	1	土製円板	粗	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.30	2.85	0.70	7.8	
101	14	14トレ	1	土製円板	良	黄褐色	スコリア	後期前葉	堀之内	3.65	3.55	0.77	10.6	
101	15	31U-03B	3	土製円板	粗	灰褐色	白砂多量	後期	-	5.85	5.80	1.24	50.2	
101	16	31U-04	1	土製円板	良	黒褐色	白砂	中期	阿玉台	5.05	4.30	0.98	26.4	
101	17	31U-04A	1	土製円板	粗	黄褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	5.95	5.65	0.88	36.6	口縁
101	18	31U-32A	1	土製円板	粗	黄褐色	白砂	後期	-	5.40	5.30	1.37	47.2	
101	19	31U-04	1	土製円板	粗	黄褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	3.35	2.85	0.33	4.6	
101	20	31U-23C	1	土製円板	粗	黒褐色	石英粒	後期中葉	加曾利B	2.85	2.60	0.54	5.3	口縁
101	21	31U-13A	2	土製円板	良	黄褐色	スコリア・細砂	後期中葉	加曾利B	4.70	4.40	0.89	19.5	
101	22	31U-23A	1	土製円板	粗	黄褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	4.50	4.30	1.03	19.6	
101	23	31U-16D	5	土製円板	粗	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	2.90	2.75	0.83	7.4	
101	24	31U-15C	5	土製円板	粗	灰褐色	細砂	早期後葉	茅山	3.50	3.35	0.98	12.8	
101	25	31U-25D	1	土製円板	良	黒褐色	白砂	早期後葉	茅山	4.30	4.20	0.71	16.7	
101	26	31U-13C	1	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期後葉	曾谷～安行	6.95	6.05	0.62	35.0	
101	27	31U-14D	4	土製円板	粗	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.10	4.00	0.57	10.6	
101	28	31U-34D	1	土製円板	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.35	4.05	0.70	14.8	
101	29	31U-33B	7	土製円板	良	灰褐色	細砂	-	安行	3.70	2.95	0.75	10.2	口縁
101	30	31U-13C	8	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期	-	6.10	4.50	1.33	41.2	
101	31	31U-22	1	土製円板	粗	黄褐色	細砂	-	安行	5.05	4.95	1.39	34.1	口縁
101	32	1トレ	1	土製円板	良	黄褐色	細砂	-	安行	5.15	4.40	1.16	28.5	
101	33	2トレ	1	土製円板	粗	黒褐色	白砂	後期前葉	堀之内	5.60	5.50	0.58	23.0	
101	34	31T-17	1	土製円板	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.15	3.05	0.80	9.7	
101	35	31U-04A	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	6.05	6.00	0.63	29.7	
101	36	31U-03D	1	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.20	4.00	0.69	15.1	
101	37	16トレ	1	土製円板	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	3.55	3.40	0.78	11.0	
101	38	16トレ	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期	-	2.90	2.90	0.78	8.8	底部
101	39	31U-04	1	土製円板	粗	黒褐色	白砂	-	安行	3.00	2.95	0.76	7.9	
101	40	31U-04	1	土製円板	良	黄褐色	細砂・スコリア	-	安行	4.90	4.50	0.68	18.5	口縁
101	41	31U-12C	1	土製円板	粗	灰褐色	微細砂	後期中葉	加曾利B	5.60	5.60	0.78	31.0	
101	42	31U-04C	2	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.10	4.00	0.65	13.6	
101	43	16トレ	1	土製円板	良	黄褐色	スコリア	後期	-	5.25	4.85	1.41	30.0	
101	44	31U-14D	4	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.75	5.60	0.93	32.6	口縁
101	45	31U-14D	8	土製円板	良	黒褐色	白砂	-	安行	7.00	6.00	0.79	38.9	
101	46	31U-13C	12	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.00	3.85	0.78	11.4	

挿入	No	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	型式	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考
101	47	31U-14A	4	土製円板	良	黄褐色	細砂	-	安行	3.80	3.60	0.73	11.5	
101	48	31U-14A	4	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.90	3.85	0.84	14.8	口縁
101	49	31U-14B	3	土製円板	良	灰褐色	白砂	-	安行	4.85	4.55	0.66	19.8	
101	50	31U-14B	4	土製円板	良	赤褐色	細砂	-	安行	4.45	4.40	0.99	21.2	
101	51	31U-15A	3	土製円板	粗	黄褐色	石英粒・スコリア	-	安行	5.20	3.70	0.95	22.3	
101	52	31U-13C	14	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	3.95	3.90	0.74	11.2	口縁
101	53	31U-14D	4	土製円板	良	赤褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.80	4.50	0.50	13.5	口縁
101	54	31U-13A	16	土製円板	良	黄褐色	細砂	-	安行	4.50	4.15	0.80	22.0	口縁
101	55	31U-15C	1	土製円板	粗	黒褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	4.75	4.45	0.69	17.3	
101	56	31U-15A	6	土製円板	粗	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.60	4.20	1.20	23.2	口縁
101	57	31U-15D	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	-	安行	5.35	5.05	0.91	30.3	
101	58	31U-14D	-	土製円板	粗	黄褐色	細砂・スコリア	後期中葉	加曾利B	3.35	3.35	0.52	6.4	
101	59	31U-22A	2	土製円板	良	黄褐色	細砂	-	-	3.35	3.15	0.81	11.3	
101	60	31U-23A	1	土製円板	良	赤褐色	白砂	-	安行	5.65	5.15	0.80	25.4	
101	61	31U-16D	3	土製円板	粗	灰褐色	スコリア	早期後葉	茅山	4.25	4.25	0.72	13.4	
101	62	31U-03D	2	土製円板	粗	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.70	4.55	0.69	18.6	
101	63	31U-23A	6	土製円板	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.60	4.05	0.74	17.6	
101	64	31U-23B	6	土製円板	良	赤褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.45	4.85	1.20	34.1	
101	65	31U-23A	3	土製円板	粗	灰褐色	大粒砂	-	安行	7.40	5.85	1.43	76.6	
101	66	31U-15D	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.80	3.35	0.98	15.7	
101	67	31U-23A	9	土製円板	粗	灰褐色	スコリア・石英粒	後期中葉	加曾利B	6.20	5.05	1.00	26.2	
101	68	31U-23B	6	土製円板	良	黒褐色	石英粒・白砂	後期中葉	加曾利B	4.85	4.55	1.13	25.4	
101	69	31U-23B	9	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.45	3.85	0.87	19.5	
101	70	31U-16D	3	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.80	5.40	0.70	28.0	
101	71	31U-22B	4	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期	-	5.60	5.20	0.86	29.3	
101	72	31U-15D	1	土製円板	良	灰褐色	スコリア	後期	-	3.85	3.55	0.53	8.5	
101	73	31U-25A	1	土製円板	良	黒褐色	石英粒	後期	-	3.80	3.35	0.80	12.9	
101	74	31U-15D	4	土製円板	良	灰褐色	白砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	3.55	3.35	0.63	9.7	
101	75	31U-23A	1	土製円板	良	黄褐色	白砂	後期	-	3.60	3.55	0.63	9.3	凹み4か所
102	76	31U-23B	9	土製円板	良	黒褐色	スコリア・細砂	後期中葉	加曾利B	7.30	7.00	0.79	49.1	
102	77	31U-23B	14	土製円板	良	赤褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	5.65	4.80	1.00	32.9	
102	78	31U-23C	8	土製円板	粗	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.70	4.15	0.67	11.6	
102	79	31U-22	1	土製円板	良	灰褐色	大粒砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	5.00	4.50	0.71	20.8	
102	80	31U-23C	12	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.65	4.65	0.78	20.0	
102	81	31U-23D	1	土製円板	良	黒褐色	大粒砂・石英粒	後期中葉	加曾利B	5.25	5.15	0.70	24.4	
102	82	31U-23D	1	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	2.70	2.70	0.43	3.7	
102	83	31U-23D	2	土製円板	粗	黒褐色	細砂・スコリア	後期中葉	加曾利B	3.40	3.30	0.67	7.8	口縁
102	84	31U-24A	5	土製円板	粗	灰褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	4.80	4.80	1.31	28.5	
102	85	31U-23D	12	土製円板	良	灰褐色	細砂・スコリア	後期中葉	加曾利B	5.70	5.35	0.60	23.3	
102	86	31U-24C	2	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.20	4.35	0.96	21.1	口縁
102	87	31U-33A	1	土製円板	良	黄褐色	スコリア	後期前葉	堀之内	5.00	4.10	0.68	16.9	
102	88	31U-24D	15	土製円板	良	黒褐色	石英粒・細砂	早期後葉	茅山	4.70	4.70	0.70	16.5	口縁
102	89	31U-25D	2	土製円板	粗	黄褐色	スコリア・石英粒	晚期前葉	安行3a	5.55	5.35	0.82	29.2	穿孔
102	90	31U-25	1	土製円板	良	灰褐色	細砂	-	安行	4.90	4.45	0.73	19.9	
102	91	31U-23D	6	土製円板	良	黒褐色	細砂	-	安行	3.95	3.75	0.70	12.4	穿孔途中
102	92	31U-24D	15	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.45	3.40	0.71	9.4	凹み4か所
102	93	31U-25A	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.05	3.85	0.65	11.8	
102	94	31U-25A	1	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.00	3.80	0.55	10.7	
102	95	31U-25A	1	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.15	3.85	1.16	18.2	
102	96	31U-24C	2	土製円板	粗	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.75	4.60	0.81	21.9	
102	97	31U-25C	3	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.95	3.80	0.60	11.4	
102	98	31U-25C	2	土製円板	良	灰褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	4.85	4.50	0.72	20.7	
102	99	31U-34C	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.75	4.60	0.59	14.2	
102	100	31U-25C	3	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.25	4.20	0.57	13.8	
102	101	31U-34D	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.65	3.45	0.70	10.0	
102	102	31U-24A	7	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	3.35	3.35	0.71	9.0	凹み4か所
102	103	31U-36D	1	土製円板	良	黄褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	6.25	6.15	0.85	40.0	口縁
102	104	31U-33B	8	土製円板	良	黄褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	5.45	5.20	0.95	32.4	口縁
102	105	31U-36	1	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期	-	4.50	4.35	0.56	14.0	
102	106	31U-35B	3	土製円板	良	黒褐色	石英粒・細砂	後期後葉	曾谷~安行	4.50	4.50	0.56	14.8	
102	107	31U-43B	1	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	5.10	4.95	0.91	25.8	
102	108	31U-24C	6	土製円板	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	3.35	3.25	0.57	8.6	
102	109	31U-33A	1	土製円板	良	灰褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	2.90	2.65	0.72	6.4	口縁 凹み4か所
102	110	31U-13A	1	土製円板	粗	灰褐色	細砂	-	安行	3.30	2.90	0.58	7.0	
102	111	31U-16C	2	土製円板	粗	赤褐色	白砂	早期後葉	茅山	3.50	3.20	0.61	6.5	
102	112	31U-25D	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.60	4.30	0.60	13.9	
102	113	SI-017	1	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期	後期	3.85	3.70	0.40	7.1	裏面穿孔途中
102	114	3トレ	1	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期前葉	堀之内	4.40	4.30	0.68	17.2	
102	115	31T-94C	2	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	4.40	4.30	0.64	14.8	
102	116	31U-23A	1	土製円板	粗	黒褐色	大粒砂	後期中葉	加曾利B	4.55	4.25	0.86	17.5	
102	117	31U-03D	1	土製円板	良	黄褐色	スコリア	-	安行	5.80	5.60	1.45	40.0	
102	118	31U-13A	2	土製円板	良	黒褐色	細砂	後期中葉	加曾利B	5.85	4.05	0.95	27.0	
102	119	31U-13A	2	土製円板	良	黒褐色	微細砂	-	安行	5.50	4.70	1.30	31.5	
102	120	31U-14B	4	土製円板	良	灰褐色	白砂	-	安行	6.05	5.50	0.80	30.6	
102	121	31U-23A	1	土製円板	粗	赤褐色	大粒白砂	後期	-	5.40	5.25	1.10	34.5	
102	122	31U-34A	9	土製円板	良	灰褐色	スコリア	後期中葉	加曾利B	5.25	4.70	0.60	20.8	
102	123	31U-13C	8	土製円板	良	黄褐色	細砂	前期前葉	岡山	4.25	3.95	1.15	16.0	

挿図	No	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	型式	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	備考
102	124	31U-14A	5	土製円板	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.05	3.55	0.97	16.2	
102	125	31U-13C	8	土製円板	粗	黄褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.60	4.45	1.20	16.5	口縁
102	126	31U-14D	4	土製円板	良	黒褐色	細砂	-	安行	4.45	4.05	0.90	17.8	
102	127	31U-23A	6	土製円板	良	黒褐色	細砂	-	安行	6.30	5.20	0.66	25.4	
102	128	31U-16D	5	土製円板	良	灰褐色	細砂	-	安行	4.85	4.30	1.33	23.0	
102	129	31U-23A	3	土製円板	良	黒褐色	大粒砂・石英粒・スコリア	後期中葉	加曾利B	6.85	6.10	1.02	38.0	
102	130	31U-23B	5	土製円板	良	黄褐色	スコリア・細砂	後期	-	5.55	4.40	1.24	33.8	
102	131	31U-04A	2	土製円板	粗	灰褐色	白砂	後期	-	3.40	3.10	0.62	6.9	
102	132	31U-23B	6	土製円板	良	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.40	3.80	1.14	18.1	
102	133	31U-23B	6	土製円板	良	黄褐色	微細砂	後期中葉	加曾利B	5.20	4.40	0.86	21.2	
102	134	31U-35B	5	土製円板	良	黒褐色	石英粒・細砂	後期中葉	加曾利B	5.00	4.95	0.86	21.9	
102	135	31U-33B	3	土製円板	良	灰褐色	細砂	早期	花輪台	4.05	3.95	1.05	14.0	
102	136	31U-33B	5	土製円板	良	黄褐色	細砂	-	安行	4.40	4.05	0.80	18.7	
102	137	31U-34B	10	土製円板	良	灰褐色	細砂	後期	-	4.80	4.65	0.63	17.8	底部
102	138	31U-33B	1	土製円板	良	黒褐色	大粒白砂	後期中葉	加曾利B	4.90	4.60	1.14	23.4	
102	139	31U-34A	7	土製円板	粗	灰褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	4.90	4.55	1.13	24.8	
102	140	31U-23B	10	土製円板	良	赤褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	6.35	6.20	1.28	39.9	
102	141	31U-22	1	土製円板	粗	赤褐色	細砂・スコリア	後期中葉	加曾利B	3.75	3.60	0.50	9.7	
102	142	31U-23B	6	土製円板	良	黒褐色	白砂	後期中葉	加曾利B	3.95	3.80	0.60	10.2	

第5節 縄文時代の石器

当遺跡では早期撚糸文系土器から晩期土器・弥生土器まで出土しているが、石器はほぼ縄文時代に所属するものとみてよからう。

複数の使用痕・加工痕を持つものが多い。破損品を再利用しているものが目立つ。

(1) 石鏃 (第103図1～35, 第11表, 図版53)

1～16・18～23・35は凹基鏃である。1は小型のもので、4・5は主要剥離面を多く残す。8～12は抉りが浅い。18～21は抉りが深い。35は小型で調整が少なく、主要剥離面を多く残す剥片鏃である。17・22・24～30は三角鏃である。25・26は平基、他は若干基部が凹む。31～34は有茎鏃である。31は基部に横方向からの小さな抉りが入る。アメリカ式石鏃に近い。

(2) 石匙 (第104図36・39, 第11表, 図版53)

36は縦長のもので、刃部は両面押圧剥離で成形されている。39は小型品で、つまみがあるため石匙としたが、刃部の細部加工はほとんどない。

(3) 搔器 (第104図37・40～42, 第11表, 図版53)

37は有柄で篋状をなす。側縁が両面剥離、上部に片面剥離で直線的な刃部がみられる。40は小型・厚手のものである。片側縁に両面押圧剥離がみられる。また下縁を打面として小剥離がされ、石核的になっている。41は小型縦長品で、片端部が細くなっている。一縁は片面加工でノッチ状に抉りがあり、他周縁は細かい両面剥離をしている。42は楕円形の小型品で、両極石器的な加工がある。

(4) 尖頭状石器 (第104図38・43・44・46, 第11表, 図版53・54)

38は有茎の大型鏃ないし石鏃未製品であろう。43は片面加工の尖頭部を持つ。44は縁を加工している。46は大まかな押圧剥離で尖頭部が作られており、端部は欠損している。基部は篋状をなす。石鏃破損品ないし石鏃未製品であろう。

(5) 二次加工のある剥片 (第104図45・47～50, 第11表, 図版54)

45は石鏃未製品かと思われる。47はノッチ的な大きな剥離がみられる。48は端部に細長い剥離がみられる。49は礫面を一部残した厚めで大き目のもので、側縁に調整痕・使用痕がみられる。50は大きめの縦長剥片で、両側縁に細かい調整痕がある。49・50は搔器としてもよいかもしいない。

(6) 石核 (第105図51～62, 第11表, 図版54)

51は極小品で、礫面から2か所の剥離がある。52～54は小型の素材のもので、礫面側から1か所の剥離がみられる。55は剥離面を打面として1か所の剥離がある。56は縦長の素材で、打面を替えて2か所の剥離がある。側縁に削器様の使用痕がある。57は剥片状で1か所の小剥離がある。58は縦長で、節理面で割れている。端部が剥離を受けて搔器状をなす。59・60は小型の多面体石核で、打面を替えての剥離がみられる。特に59では打面が多数ある。61は厚手の剥片素材の残核である。62は小型転石を切断し、切断面と礫面を打面とし剥離している。

(7) 楔形石器 (第105図63～66, 第11表, 図版54)

いずれも礫面を残す。63は小型で細いものである。64は小型品である。65は側縁にはノッチ状剥離がみられる。66は小型のもので、側縁にノッチがみられる。

(8) 磨製石斧 (第106図1～16・第107図17, 第12表, 図版55)

1は極小型で短冊形に成形されている。ネフライト製で、実用と言うより装飾品等の特殊な用途のものであろう。2は透閃石製の三角撥形をなす定角式のもので、刃部に使用痕(縦擦痕)がみられる。3は小型の転石を利用して側縁・刃部を磨って長楕円形に成形した、片刃のものである。4は短冊形(棒状)で、刃部は片刃的である。5は刃部に再剥離がなされている。6は片刃的で、剥離痕が残る。刃部が摩滅している。

7～13は刃部を残すものである。7は1次剥離が残る。8～10は定角式のもので、8は1次剥離が多く残る。9は透閃石製の筧形で、きれいなハマグリ刃をなす。10は刃が摩滅している。11・12は整美な両刃のもので、側縁に剥離痕が磨消されずに残る。13は定角式のもので、刃先が使用により潰れている。14・15は定角式のもので、14は刃部を、15は基部・刃部とも欠損するが、割れ面の稜部が摩滅しており、二次使用されている。16は中央部破片の両端を剥離しており、側縁とともに再利用している。17は大型品の刃部付近の破片で、両面が磨られている。

(9) 打製石斧 (第107図18～25・第108図26～36, 第12表, 図版55)

18・19は礫面を大きく残す片刃の礫石斧である。18の両側縁上部は抉り状に若干凹む。20は短冊形のもので、U字形の刃部をなす。21～33・35は分銅形の打製石斧である。23は薄い礫面部分を素材としている。24・26・27は器面(特に抉り部)が磨られている。31は折損しているが、折れ面に加工がある。35は器面と刃部が磨られている。34は棒状石斧の柄の破片で、側縁に剥離加工がみられる。36は一端に大きな剥離で刃部が形成された礫器で、一応打製石斧に分類した。

(10) 磨石 (第109図1～12・第110図13～28・第111図29～42・第112図43・44・50・第113図72, 第13表, 図版55～57)

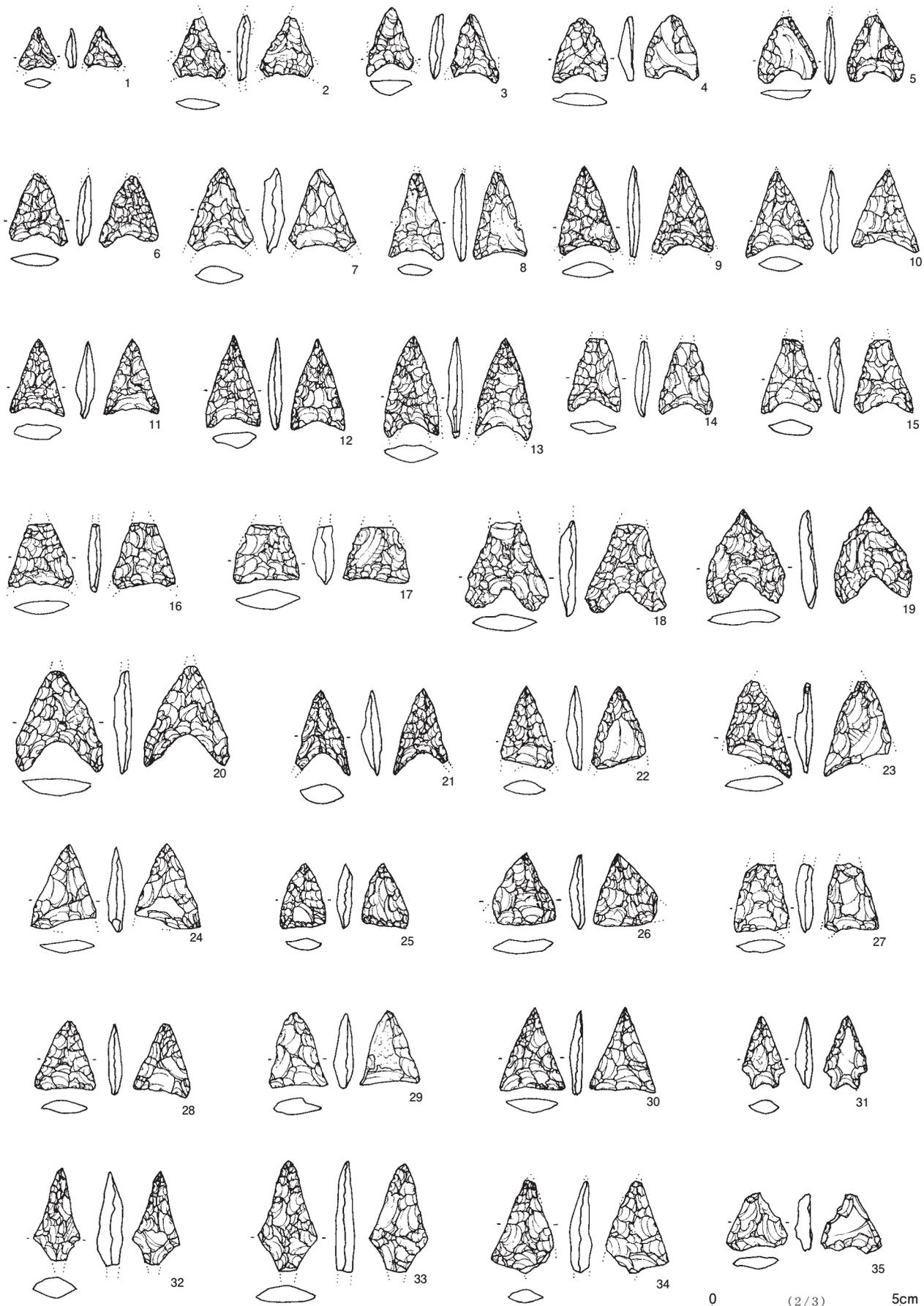
対象物をすり潰したり、叩いたり、あるいはこすったりする用途で用いられた手持ち礫石器で、多面的に用いられて複数の異なった使用痕を持つものが目立つ。する作業に代表されるが、「する」という漢字は音読みでは同じだが、以下の3種類に区別して記述した。

磨る：磨かれるようにする(こする)。平滑で、著しいものは光沢を持つ。

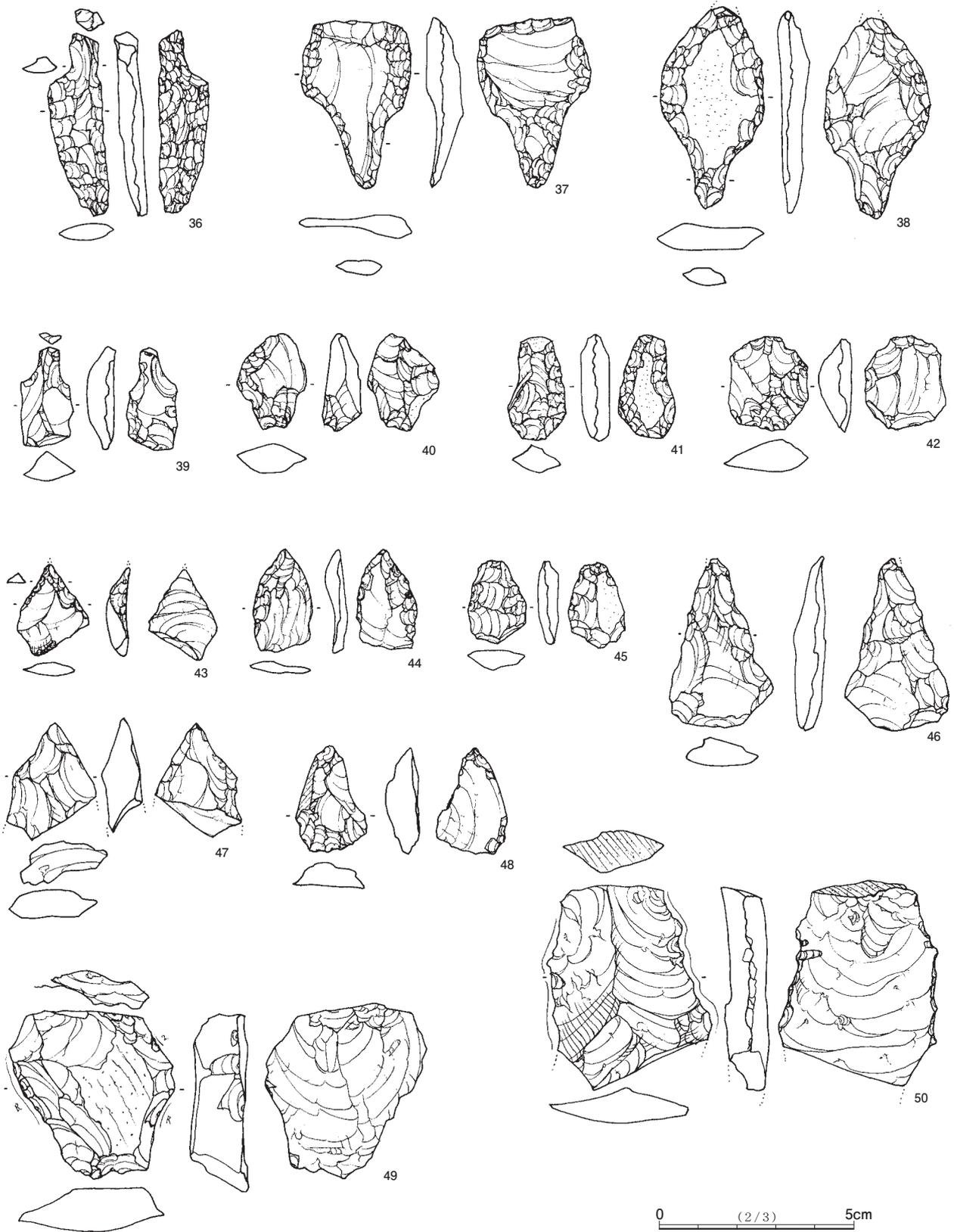
擦る(する)：細かい擦り傷がつく感覚で、こすりつけるようにする。通常のするの語感にあたろう。

判定できないものも含め、ひらがなですると表記した。

播る：臼ですりつぶす作業による。擦痕や細かい凹凸が目立つ。



第103図 縄文時代石器(1) 石鏃



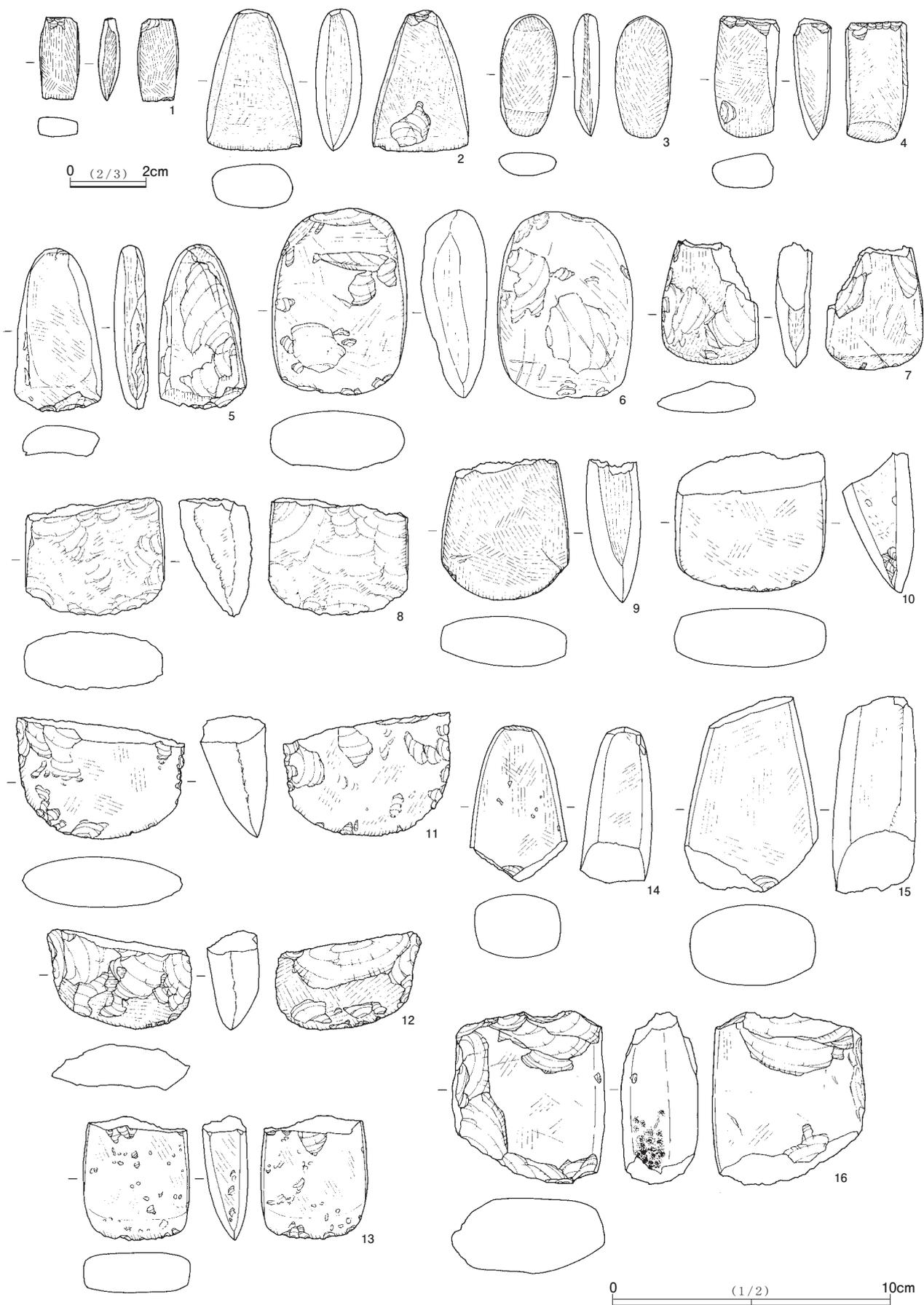
第104図 縄文時代石器（2）石匙，搔器，尖頭状石器，剝片類



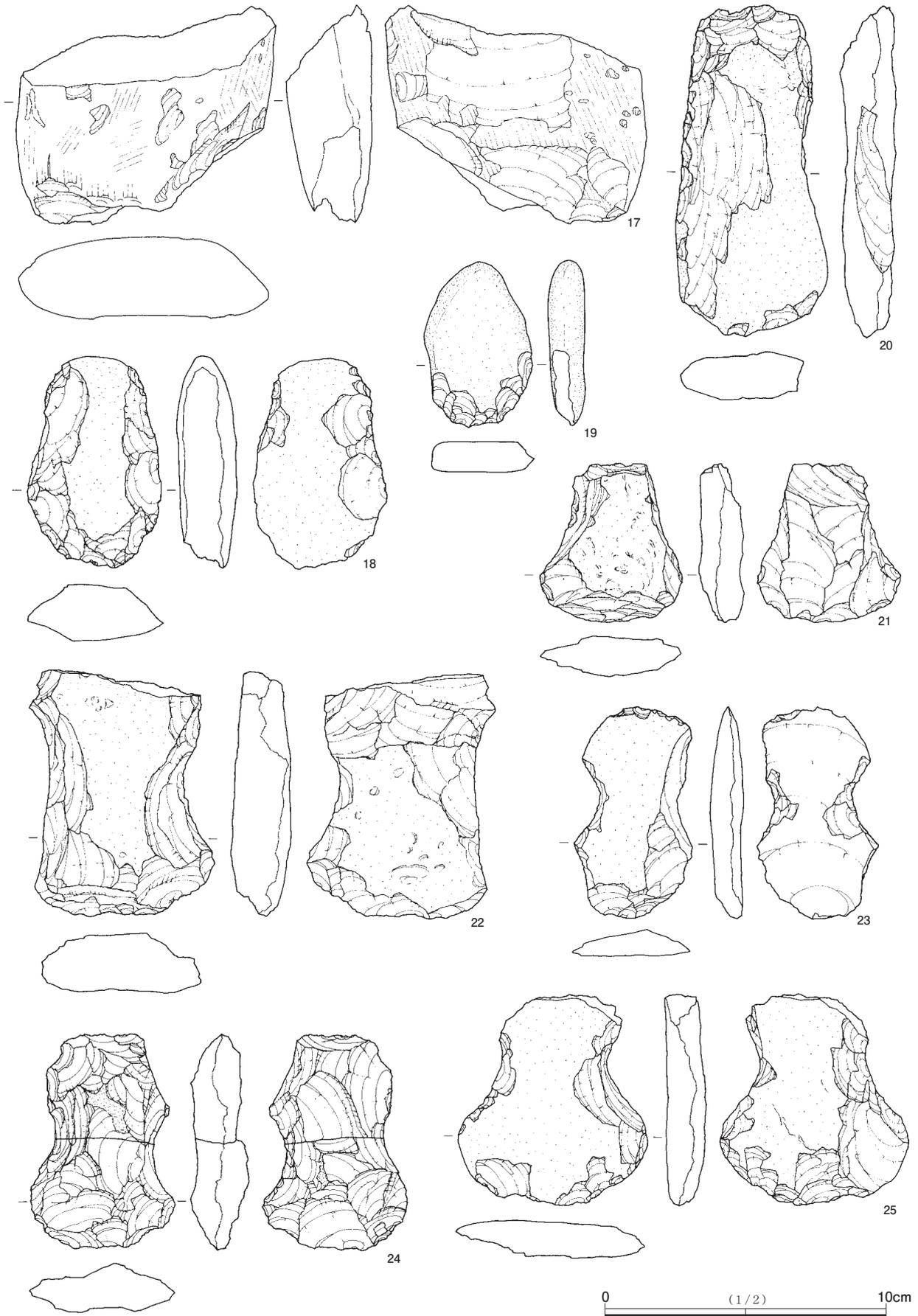
第105図 縄文時代石器(3) 石核, 楔形石器

第11表 縄文時代石器（1）石鏃類観察表

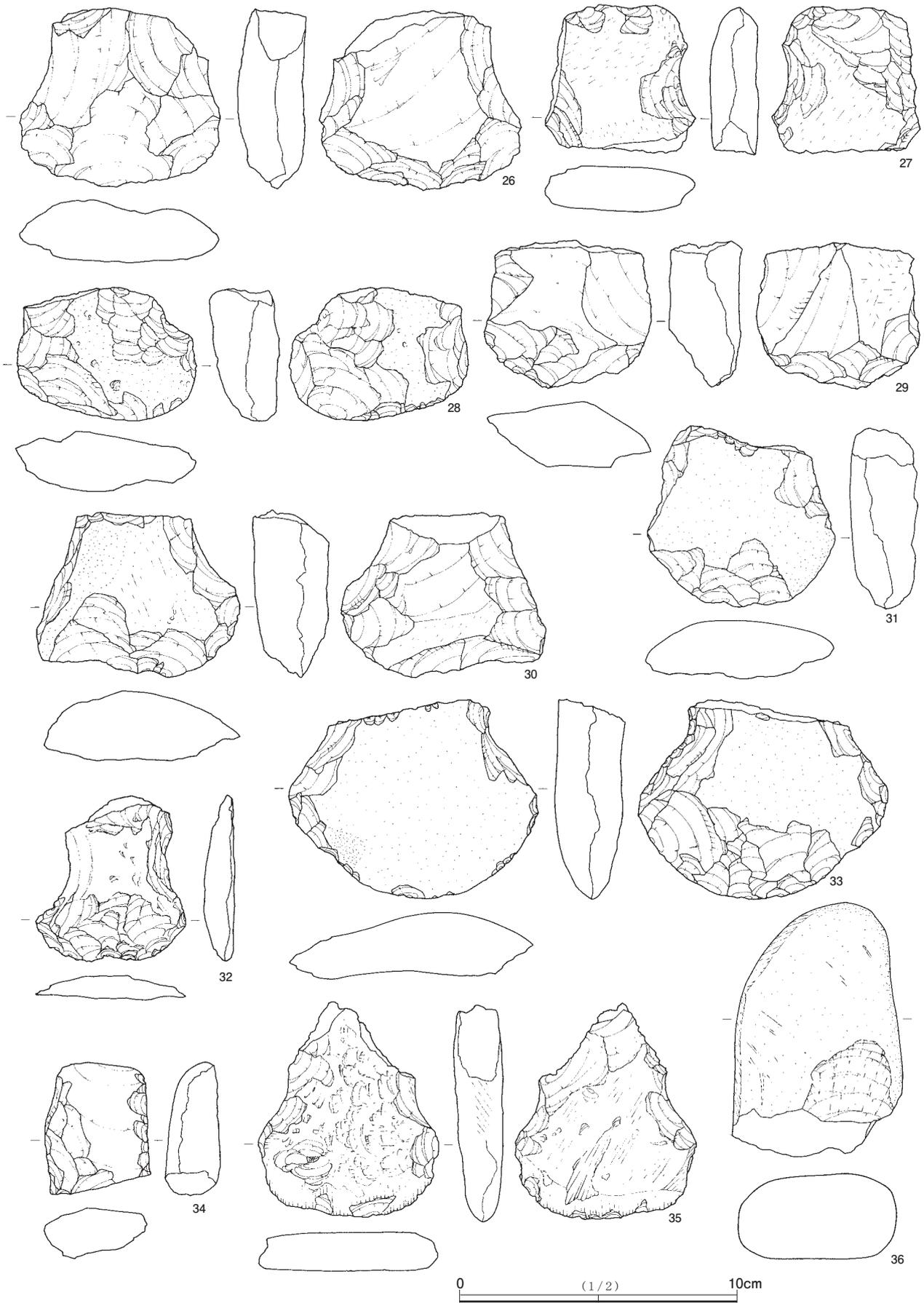
挿図	No.	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ (mm)	最大幅 (mm)	厚み (mm)	重さ (g)	備考
103	1	石鏃	黒曜石	SI-020	7	凹基	剥片	両脚欠損（ガジリ）	10	10	2	0.2	信州系黒曜石
103	2	石鏃	黒曜石	31U-12A	1	凹基	剥片	先・脚折れ	17	14	4	0.7	高原山産黒曜石、先端部に縦溝状剥離
103	3	石鏃	黒曜石	31U-25A	2	凹基	剥片	一部欠	18	13	4	0.6	信州系黒曜石、先端部に彫器状剥離
103	4	石鏃	黒曜石	SX-010	135	凹基	剥片	完形	17	14	3	0.7	神津島産黒曜石
103	5	石鏃	黒曜石	31U-36A	3	凹基	剥片	先端部折れ	17	15	3	0.6	神津島産黒曜石
103	6	石鏃	黒曜石	31U-02C	4	凹基	剥片	完形	18	15	3	0.8	信州系黒曜石
103	7	石鏃	ガラス質黒色安山岩	31U-25D	6	凹基	剥片	両脚部折れ	22	17	5	1.6	
103	8	石鏃	トロトロ石	31U-35B	6	凹基	剥片	先端部折れ	23	14	4	1.1	先端部に縦溝状剥離
103	9	石鏃	黒曜石	31U-25A	2	凹基	剥片	完形	23	16	3	0.9	信州系黒曜石
103	10	石鏃	チャート	31U-25A	2	凹基	剥片	完形	21	18	4	1.3	
103	11	石鏃	チャート	31U-15D	2	凹基	剥片	完形	20	14	4	0.9	
103	12	石鏃	チャート	31U-12B	2	凹基	剥片	完形	24	14	3	1.0	
103	13	石鏃	黒曜石	31T-14	2	凹基	剥片	脚部折れ	27	14	4	1.4	信州系黒曜石、先端部に彫器状剥離
103	14	石鏃	チャート	31U-44D	1	凹基	剥片	先端部折れ	20	14	3	0.8	
103	15	石鏃	ガラス質黒色安山岩	31U-14D	9	凹基	剥片	先端部折れ	20	16	4	1.1	
103	16	石鏃	チャート	3トレ-1	-	凹基	剥片	先端部折れ	17	16	3	1.1	
103	17	石鏃	チャート	31U-24C	10	三角	剥片	先端部折れ	15	17	5	1.3	
103	18	石鏃	黒曜石	31U-23D	12	凹基	剥片	先端部折れ	23	21	5	2.0	信州系黒曜石、先端部に彫器状剥離
103	19	石鏃	黒曜石	31U-15B	2	凹基	剥片	完形	25	20	3	1.6	信州系黒曜石
103	20	石鏃	ガラス質黒色安山岩	31U-26C	3	凹基	剥片	先端部折れ	27	23	4	1.9	先端部に縦溝状剥離
103	21	石鏃	黒曜石	31U-36A	1	凹基	剥片	片脚欠損	22	14	5	1.0	信州系黒曜石
103	22	石鏃	チャート	31U-25B	4	凹基	剥片	片脚欠損	22	14	4	1.2	
103	23	石鏃	黒曜石	31U-25A	2	凹基	剥片	先・片脚損	25	18	4	1.5	信州系黒曜石、被熱、先端部に彫器状剥離
103	24	石鏃	チャート	31U-13B	4	三角	剥片	片脚欠損	22	16	3	1.0	
103	25	石鏃	チャート	31S-87	1	三角	剥片	完形	18	12	4	0.8	完形
103	26	石鏃	黒曜石	31U-25B	4	三角	剥片	片脚欠損	29	18	4	1.0	神津島産黒曜石？
103	27	石鏃	ガラス質黒色安山岩	31U-15B	4	三角	剥片	先端部折れ	18	14	4	1.1	
103	28	石鏃	チャート	31U-05D	8	三角	剥片	完形	18	15	3	0.9	
103	29	石鏃	チャート	31U-25A	2	五角？	剥片	完形	20	15	4	1.1	
103	30	石鏃	チャート	31U-36A	3	三角	剥片	完形	22	17	3	0.9	
103	31	石鏃	チャート	31U-23B	10	凹基有茎	剥片	完形	19	11	4	0.7	後晩期、アメリカ式類似
103	32	石鏃	チャート	31S-84	1	有茎	剥片	基部に折れ	25	12	6	1.4	後晩期、分厚い
103	33	石鏃	チャート	31U-23A	1	有茎	剥片	基部に折れ	29	16	4	1.8	後晩期
103	34	石鏃	メノウ	31S-83	1	有茎	剥片	基部に折れ	24	16	5	1.7	後晩期、被熱により器体表面にヒビ
103	35	石鏃	チャート	31U-22B	10	凹基	剥片	完形	15	15	4	1.0	剥片鏃
104	36	石鏃	チャート	31U-23C	5	縦長	剥片	完形	47	14	6	4.3	有紐
104	37	搔器	チャート	31U-23C	14	有柄	剥片	完形	44	29	8	7.7	篋状
104	38	尖頭状石器	ガラス質黒色安山岩	31U-22B	3	有茎	剥片	完形	52	27	8	9.9	石鏃未製品？
104	39	石鏃	黒曜石	31U-45A	1	鈍形	剥片	完形	26	13	7	2.2	有紐被熱
104	40	搔器	黒曜石	31U-34C	3	匙形	剥片	完形	24	18	9	3.6	信州系黒曜石、石核？
104	41	搔器	黒曜石	31U-23C	14	涙の形	剥片	完形	27	15	7	3.3	信州系黒曜石、ノッチ
104	42	搔器	チャート	31U-22C	1	楕円形	剥片	完形	24	21	8	4.2	サムストーン、両極
104	43	尖頭状石器	黒曜石	31U-34B	10	菱形	剥片	完形	22	18	5	1.5	
104	44	石鏃未製品	チャート	31U-14C	4	長五角形	剥片	完形	27	16	5	2.1	
104	45	石鏃未製品	チャート	SX-011	301	長台形	剥片	完形	21	14	5	1.8	
104	46	石鏃未製品	ガラス質黒色安山岩	31U-35C	2	涙滴形	剥片	完形	44	26	7	6.6	篋状、石鏃か石鏃の未製品
104	47	二次加工ある剥片	チャート	31U-26C	4	-	剥片	一部欠	30	22	8	4.7	尖頭状、ノッチ有、切断
104	48	二次加工ある剥片	チャート	31U-24C	9	涙滴形	剥片	完形	27	17	8	3.1	
104	49	二次加工ある剥片	チャート	SI-018	1	六角形	剥片	完形	44	42	13	25.9	
104	50	二次加工ある剥片	黒曜石	31U-16C	4	縦長	剥片	端部欠	53	41	10	22.1	神津島産黒曜石、礫面残
105	51	石核	黒曜石	31U-16D	2	-	塊状	完形	13	22	10	2.1	信州系黒曜石、礫面残、剥離2か所
105	52	石核	黒曜石	31U-25A	2	-	剥片	完形	28	15	10	4.0	信州系黒曜石、礫面残、剥離1か所
105	53	石核	黒曜石	SK-33	37	-	塊状	完形	24	26	13	6.6	信州系黒曜石、礫面残、剥離1か所
105	54	石核	黒曜石	31U-23A	13	-	塊状	完形	17	27	15	5.5	信州系黒曜石、礫面残、剥離1か所
105	55	石核	黒曜石	31U-15D	2	-	剥片	完形	17	39	8	5.4	
105	56	石核	黒曜石	31U-34A	11	-	剥片	完形	36	15	9	5.4	信州系黒曜石、剥離2か所
105	57	石核	チャート	31U-22	1	-	剥片	完形	41	25	9	8.0	
105	58	石核	チャート	31U-23B	4	-	剥片	完形	44	26	14	14.6	搔器状
105	59	石核	チャート	7トレ	1	-	多面体	完形	20	26	21	13.1	複数打面
105	60	石核	チャート	31U-25	1	-	多面体	完形	22	27	17	10.0	複数打面
105	61	石核	チャート	31U-34A	11	-	剥片状残核	完形	27	36	15	14.5	
105	62	石核	チャート	31U-15A	6	-	転石	完形	36	21	25	32.1	
105	63	楔形石器	チャート	31U-15C	1	-	剥片	完形	24	13	9	3.2	礫面残
105	64	楔形石器	ガラス質黒色安山岩	31U-35C	2	-	剥片	完形	25	17	9	4.0	礫面残
105	65	楔形石器	チャート	31U-23A	12	-	剥片	完形	36	27	19	11.9	礫面残、側縁ノッチ剥離
105	66	楔形石器	チャート	31U-24B	8	-	剥片	完形	30	22	15	9.2	礫面残、側縁ノッチ



第106図 縄文時代石器(4) 石斧



第107図 縄文時代石器（5）石斧



第108図 縄文時代石器(6) 石斧

第12表 縄文時代石器（2）石斧観察表

挿図	No.	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ (mm)	最大幅 (mm)	厚み (mm)	重さ (g)	備考	
	106	1	磨製石斧	ネフライト	SX-011	304	短冊形	-	完形	226	11.1	6.2	2.6	超小型
	106	2	磨製石斧	透閃石岩	31U-33B	7	三角菱形	-	完形	51.5	34.2	16.7	42.9	定角式、剥離痕、刃部擦痕
	106	3	磨製石斧	安山岩	31T30	1	小判形	転石?	完形	44.6	20.5	10.3	13.7	片刃礫石斧、刃部擦痕
	106	4	磨製石斧	石英閃緑岩	31U-23D	7	短冊形	-	基部折損	43.8	22.9	13.8	23.0	刃部片刃的、折損部の縁を刃潰し
	106	5	磨製石斧	頁岩	31U-24C	4	籠形	-	一部欠	59.5	31.1	11.9	33.0	刃部に再剥離、基部打痕?
	106	6	磨製石斧	安山岩	SK-007	2	小判形	-	完形	67.9	48.7	24.3	116.8	片刃、表面風化、刃部摩滅、剥離痕
	106	7	磨製石斧	粘板岩	31U-32B	4	籠形	-	基部欠	44.9	35.3	12.7	25.1	剥離痕、片刃的
	106	8	磨製石斧	砂岩	31U-25D	3	-	-	刃部のみ	43.3	40.1	26.3	84.5	定角式、蛤刃、表面剥落
	106	9	磨製石斧	透閃石岩	16トレ	1	籠形	-	基部欠	51.3	46.1	20.2	70.4	定角式、きれいな研磨、蛤刃、刃部僅かに縦擦痕
	106	10	磨製石斧	砂岩	31U-24B	4	-	-	刃部	30.9	54.2	26.1	96.7	定角式、蛤刃、刃部摩滅
	106	11	磨製石斧	凝灰岩	31U-25C	3	-	-	刃部	44.6	60.2	23.9	91.4	蛤刃、剥離痕
	106	12	磨製石斧	流紋岩	31U-15D	1	-	-	基部欠	36.2	51.3	19.9	36.7	両刃、粗割痕残る
	106	13	磨製石斧	砂岩	SI-025	1	-	-	刃部	44.9	38.4	16.1	51.8	定角式、刃先潰れ
	106	14	磨製石斧	ハンレイ岩	31U-12D	3	籠形	-	基部	56.5	34.8	25.7	86.1	定角式、研磨良好、破断面後潰れ
	106	15	磨製石斧	輝緑岩	31U-25B	2	-	-	両端欠	70.8	47.9	30.2	157.8	定角式、一端縁潰れ(転用)
	106	16	磨製石斧	砂岩	31U-23B	8	-	-	両端欠	62.6	54.9	27.8	146.9	敲石に転用、端部剥離・刃潰れ、側縁揃り・敲き
	107	17	磨製石斧	砂岩	31T-02	1	-	-	刃部近破片	77.6	91.9	30.7	280.2	大型品、剥離痕、両面磨・縦擦痕、側縁磨顕著
	107	18	打製石斧	凝灰岩	31U-13A	2	撥形	転石	ほぼ完形	75.1	47.6	21.3	104.8	側縁・刃部刃潰れ、両側縁上部は若干凹む
	107	19	打製石斧	粘板岩	31U-33B	12	楕円形	転石	完形	58.6	38.3	13.8	41.6	片面加工、片側縁に刃潰れ、刃部若干潰れ
	107	20	打製石斧	チャート	31U-22	1	撥形	転石	完形	118.1	54.3	20.9	167.9	刃部縁・両面磨滅
	107	21	打製石斧	緑色片岩	SX-010	1	分銅形	転石	半欠	56.9	49.8	16.4	50.8	刃部・挟り部縁刃潰れ
	107	22	打製石斧	安山岩	6トレ	1	分銅形	転石	一部欠	88.2	66.1	21.8	159.5	挟り部磨滅、刃部磨耗、礫面残
	107	23	打製石斧	安山岩	SX-010	353	分銅形	転石	完形	75.9	41.8	12.1	38.3	表皮利用、両側縁ノッチ、片端部刃潰れ
	107	24	打製石斧	泥岩	31U-03D, 31U-22B	2,4	分銅形	-	完形	77.3	51.4	21.3	81.3	挟り部磨耗、両面やや磨、刃先滑らか
	107	25	打製石斧	流紋岩	31U-14B	7	分銅形	転石	一部欠	75.6	66.4	14.5	91.1	挟り部縁磨滅、刃部潰れ、被熱?
	108	26	打製石斧	閃緑岩	31U-13C	15	分銅形	-	1/2	64.7	71.7	24.3	157.2	挟り部磨滅、両面磨、刃部潰れ
	108	27	打製石斧	安山岩	31U-23A	3	分銅形	転石	1/2	53.6	53.8	18.1	76.7	刃部・挟り部縁磨耗、両面磨
	108	28	打製石斧	安山岩	31U-12B	1	分銅形	転石	刃部片	48.7	64.1	25.5	89.4	挟り部磨滅・刃部摩滅
	108	29	打製石斧	砂岩	31U-34D	1	分銅形	-	半欠	53.4	59.3	26.1	101.7	刃部磨耗、挟り不明瞭
	108	30	打製石斧	砂岩	SK-013	4	分銅形	転石	1/2	59.6	73.1	27.9	145.5	挟り部磨滅、黒斑、刃先若干欠
	108	31	打製石斧	安山岩	SD-002	2	分銅形	転石	1/2、基部欠	65.2	66.7	24.4	131.7	側縁抉れ、刃部磨耗、断面縁潰れ
	108	32	打製石斧	緑色片岩	31U-22A	1	分銅形	-	破片	60.8	53.7	11.3	39.2	器面・挟り部磨り、刃部剥離・割れ品を再使用
	108	33	打製石斧	安山岩	31U-23A	10	分銅形	転石	1/2	71.9	89.1	24.4	175.4	刃部潰れ、挟り部縁磨耗
	108	34	打製石斧	ホルンフェルス	31U-23C	12	短冊形	-	柄部	48.2	38.4	20.1	46.9	側縁剥離加工、先端部潰れ
	108	35	打製石斧	デイサイト	SI-025	1	分銅形	転石	一部欠	77.9	64.7	17.9	107.3	側縁挟り部・刃部磨き
	108	36	打製石斧	輝緑岩	SD-001	1	鉢形	転石	完形	93.4	59.9	31.5	289.0	刃部両面剥離、両側縁・端部軽い揃り

a. 周縁の揃り面と器面に凹みを持つ（1～29）

1～5, 9～16, 23・26・27は小判形（隅丸長方形）礫を素材とするものである。両端部が使用により面取り状となる。1～5は両面磨面で縁が揃り面になる。1・2は両面に小さな凹み、3は片面にわずかな凹み、4は両面に小さな凹み、5は小型で両面に浅い凹みを持つ。9は両端と一側縁が使われている。10は焼けている。両面の磨きが顕著である。11は割れているが、割れ口の角を敲いている。12は両端が割れ、割れ面や縁もすりに使われている。13・14は両面の凹みが大きく、また側面にも凹みがみられる。15は小型である。16はすられた大きな凹みを持つ。被熱し割れており、割れ口も揃りに使われている。23は大型の磨石である。おそらく球形品の両端が割れたものを再利用しているとみられる。円錐形凹みが残り、割れ面もすられている。26は小型で、1面と端部が良く揃られている他、他面には凹みがある。27は小型で、凹みが両面と側縁にある。

6～8, 20・22・29は楕円形礫が素材となる。6は小型で両面に凹みを持つ。7は亀甲形に近い。両面がすられ中央が浅く凹む。全周縁が揃られている。頂部の両側縁に凹みがある。8は両面に磨りと小凹みが、また端部に揃り敲き痕がある。20は片面中央に凹みになりかけた敲き痕を有する。22は断面三角形で端部と稜が揃り敲かれている。29は両端と1側縁の3面が揃られている。17～19・21・24・25は円形礫を用いている。17は周縁に割れ面があるが、その縁まですられている。両面に凹みを持つ。18・19は両面が良く磨られている。凹みは片面にある。21は軟質砂岩製で、中央に凹みを持つ。石質からみて小型の揃り鉢的な用途による凹みかと思われる。24は側縁に凹みがある。25は片面に小凹みを持つ。28は不整形の礫を用いるもので、石皿の小片を利用した可能性がある。周縁が揃られ、小凹みが残されている。

b. 器面の凹みがわずかか、あるいはないもの (30～42)

30・34・39は円形礫を用いる。30の播りは周縁の3/4に入っている。おそらく掌の当たる部分は加工が入らないとみられる。34は周縁の4/5が播られている。39は両面が軽く磨られ、周縁が播られている。31～33・35～38・40は楕円形礫を素材とする。31は両側縁および1端部に弱い播りがみられる。32は赤色顔料が付着している。周縁に弱い播り痕がみられる。33は両面がよく磨られている。細かい敲き痕があり、特に片面中央に集中する。周縁に播り痕がある。35は片端部に播りがみられる。36は両面と周縁の一部が磨られている。37は両面磨りがみられる。38の周縁の一部は確実に播られているが、全体的に使用痕が明瞭でない。40は周縁が若干用いられている。特に側縁部の播りの度合いが多い。66は両面が平滑に磨られている。

42・44は隅丸方形の礫を素材とする。42は両面磨りが入る。また一面が広く剥離を受け、その面が潰れるほど更に磨られている。側縁全周が播り面になっている。44は平たい転石の破片を用いている。隅丸長方形の磨石を再利用した可能性がある。41は断面三角形に近い棒状礫が用いられている。側縁と端部に小凹み・播り面がある。

c. その他 (43・50・72)

43は片端部が剥離を受け、刃部も播られている。表は良く磨かれ、また裏面は敲きにより、広い範囲で凹んでいる。小さな石皿的な使用法も顧慮すべきかもしれない。50は一端部が切断された細長い礫(断面三角形)の形状をしている。切断面及び縁が播られ、スタンプ形石器的な使用痕がある。また一側縁(断面三角形の頂部稜)が播られている。他側縁には敲き凹みがある。72は裾が開いた短柱状の形(スタンプの柄形)に成形されており、磨石の一種である石冠状石器の柄部とみられる。前期頃のものであろう。

(11) 敲石 (第112図45～49・51～54・第113図55～70, 第13表, 図版57)

礫の端部に播り・敲き状の主使用面を持つものである。

a. 厚めの転石を素材とするもの (45～49・51～63・68)

45～49は磨石を兼用している。45は細長いおむすび形の石冠状をなす。46は器面の摩滅が著しく、断面三角形で端部の稜にも磨面がある。47は先端部に敲き痕がある。48は両側縁に播り面がある。また裏面に使用による剥離痕があり、その刃部が播られている。49は先端部に敲き痕があり、裏面に使用による剥離痕がある。51・52、61～63は縦長の棒状礫を用い、端部に敲き痕を持つ。51は端部に播り痕及び、両面中央に敲き痕を持つ。52は断面三角形で、片端部が播り面になっている他、稜・端部の一部に敲き痕がある。61は両端部に播り(敲き)面がある。62は両端部を若干播り、一面に敲きがある。63は端部がわずかに使われている。53・54は薄い転石を用いている。53は楕円形礫の縁を敲き・播りに利用している。一面は良く磨られている。54は平らな礫で、涙滴形をなし、その先端部と底面に当たる部位に播り痕がある。また一面が顕著に磨られて凹んでおり、砥石も兼ねていたとみられる。55～57のスタンプ形石器で、逆三角形をなし、上部が切断されている。55は切断された縁が若干すられている。端部も敲かれていそうだが明瞭ではない。56は逆三角形の平石で、砥石の破片の一端部を敲き・播っている。57の形は55と同様である。割れ面には加工がみられない。端部及び側縁が磨られている他、側縁の端部に敲き痕がある。58～60は厚めの縦長礫を素材とする。58は破損した磨製石斧状品を再利用し、刃部の角を剥離・敲いており、また一面に敲きによる小さな凹みがある。59は、折れた縦長礫の割れ縁が播られるものである。両面磨りと浅い敲きによる凹み、端部・側縁に播り痕がみられる。スタンプ形石器の類

に入れても良い。60は断面三角形で、端部と稜部に播り痕がある。68は厚めの円形礫を用い、端部に敲き痕がある。

b. 偏平礫の先端を使用するもの (64～67・69～71)

64は先端部に剥離と播り痕があるほか、縁も若干播られる。一面が浅い溝状の研面をなす。65・69は小型の縦長礫で、折断されている。65は端部にすり、側縁に剥離痕がある。69は表面が磨かれて両刃の剣状になっている。端部の縁が播られている。66は楕円形礫で、両面が平滑に磨られている。縁端部が若干敲かれている。67は周縁が敲き播られている。70・71は三角形に近い形で、端部縁が敲き播られている。

(12) 砥石 (第114図1～27・第115図28～36, 第14表, 図版58)

1～15・17・21は小型で、側縁が両面からすられ、断面が両刃の剣形をなすものである。稜の形成されるものもある。1・4・6・7・14は、側縁が浅くU字状に凹む。8はノッチを有する。21はやや厚手で、全体的に粗割痕が残されており、また端部に剥離痕がある。16は厚手で、複数面が砥石として使われている。また縁には細槌状の溝がみられる。19は薄く、片面は剥落している。わずかに面がすられており、側縁はノッチ状に凹む。22は薄く、ヘラ状をなす。側縁に刃部状に鋭くなる部分やノッチ的に凹む箇所がある。18・20・23・26はやや厚い平板状のものである。18は両面と側面に、研ぎによる浅く細長い凹みが付けられている。20は両面が弱く凹む他、側縁も使われ、ノッチ状に若干凹む。23は一面が若干すられ、また側面も用いられている。26は小型の長方形をなすもので、両面がすられている。

24・25は棒状品である。24は4面がすられている。25は片側縁が両刃状にすられており、端部も敲石状に使われている。27は厚手で、両面が良くすられている。周縁が磨石用に使われている。28～31は薄手の板状のものである。28は1側縁が両刃状にすられている。29・30は同一石材で、1面が若干すられており、29は側縁にノッチ状のすり痕、30は小凹みが1個みられる。31は全面が良くすられており、側縁にノッチ状の凹みがみられる。32～36は軟質砂岩製で、厚みのある塊状品である。32は鋭い刻み目が加えられている。33・35は大型で、据え置き of 石皿的な使用がされたものであろうか。33は両面がよく研がれており、一面は石皿状に凹んでいる。また裏面には浅い細溝がみられる。35は全体的に凹んでいる。34・36は欠けて小さくなったものの周囲を擦って用いている。33以外は同質の石で、西側の攪乱部出土であり、所属時期は明確ではない。

(13) 石皿 (第116図1～15・第117図16～27・31, 第15表, 図版59・60)

完形のものはない。再利用されているものが多い。安山岩あるいは多孔質安山岩(玄武岩)製が主で、片岩や砂岩製が若干認められる。小さな凹孔(V形)を持つものが多い。

1～5・7・12・15は円形ないし楕円形の石皿の大型の破片である。1はよく使い込まれている。2は縁が土手状になる。12は厚手の砂岩製で、砥石的な使用痕がある。8・9・10・19は小型の破片である。11は縁が直線的で土手が付いている。14は破片がさらに使用され、凹んでいる。17は薄手で角張った大型のものである。18は片岩製で、砥石的な使用が主になろう。20は小型の破片で、土手の部位である。21～26は中型のもので、小凹孔がみられない。24・25は穴が開くほどよく使い込まれている。27は非常に軟らかい石を用いている。6・13・16・31は小型で磨石転用品である。

(14) 台石 (第117図28～30, 第15表, 図版60)

大型の礫器で、主に据え置いて台的に使われたとみられる。28は両面が磨られている。29は両面が磨られる他、多数の円錐状小孔がみられる。30は稜・縁部を中心に磨石的な使用痕がある。

(15) 石棒・石剣・石製品 (第 118 図 1～15, 第 16 表, 図版 61)

1 は独鈷石で、片端部が欠損している。両面・凹部が磨かれている。

2～4・7～9 は石棒である。2 は頭部に沈線が刻まれている。3 は大型で尖頭形をしている。被熱により細かく割れている。4 は柄の部分で、頭部に浮彫りがなされている。7 は石棒端部片、8 は中央部片で、先端部に敲打痕がある。9 は中央部の破片である。5・6・10・11 は刃が意識されているとみえるもので、石剣の可能性もある。5 は中央部の破片、6 は頭部で、断面偏平であり、石剣の柄部と思われる。先端が平に擦られている。10 は石剣先端部で末端が擦られている。11 は末端部に敲打痕がある。12・13 は翡翠製の玉である。12 は小型の半月形、13 は丸玉である。14・15 は石錘である。14 は十文字の抉りを持つ。器面を磨って成形している。15 は偏平な転石の両端を打ち欠いて抉りを入れている。

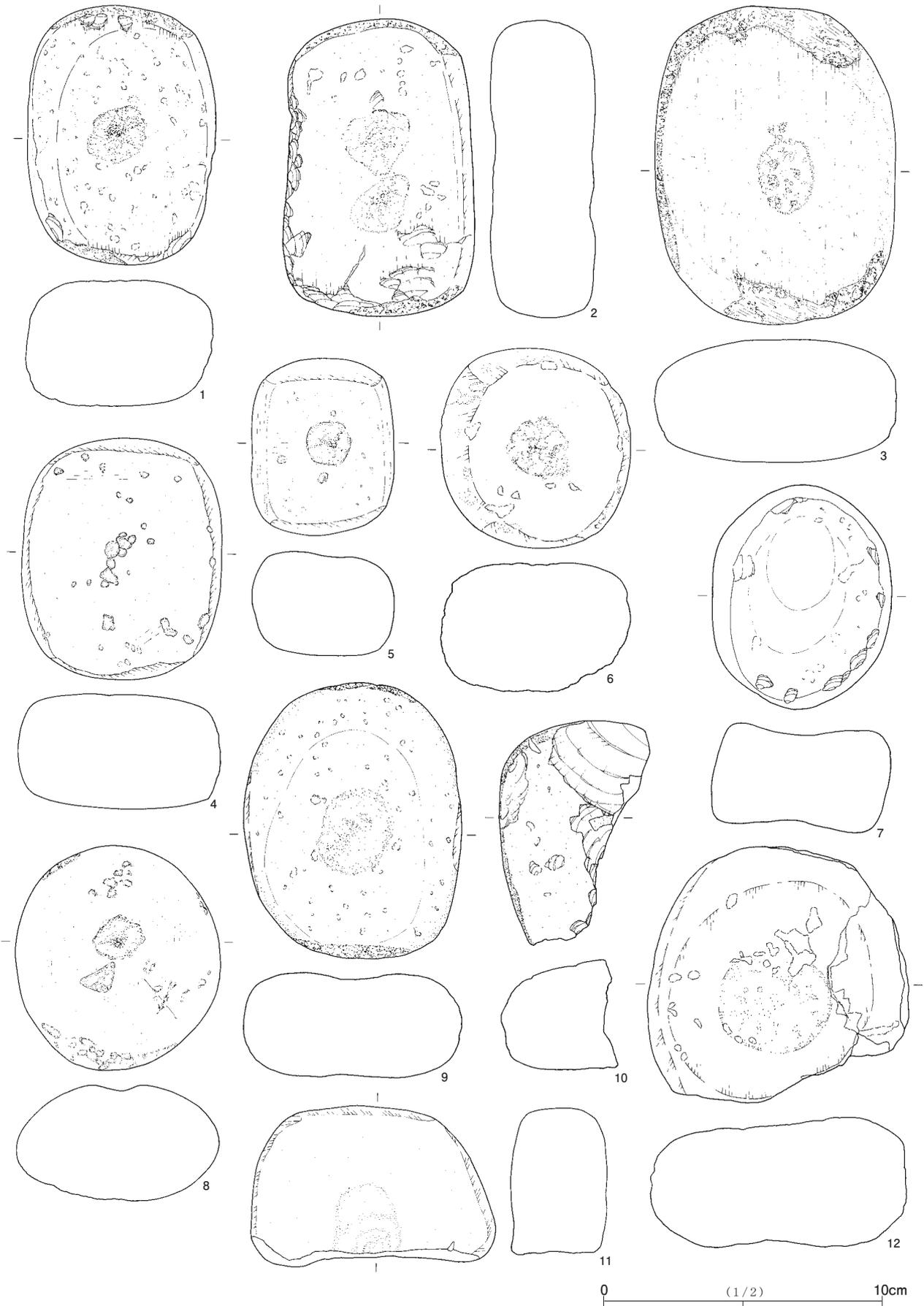
(16) 板状石製品 (第 119 図 16～21, 第 16 表, 図版 61)

16・21 は片岩製の分銅形石製品で、周縁が擦られている。16 は側縁に剥離があり打製石斧的な形状をしている。21 は切断面を擦っているようで、石棒の再利用品であろうか。17 は薄く剥がれる軟らかい石材で、角の丸い三角形に成形されている。18～20 は片岩製の円板で、周縁が擦られている。

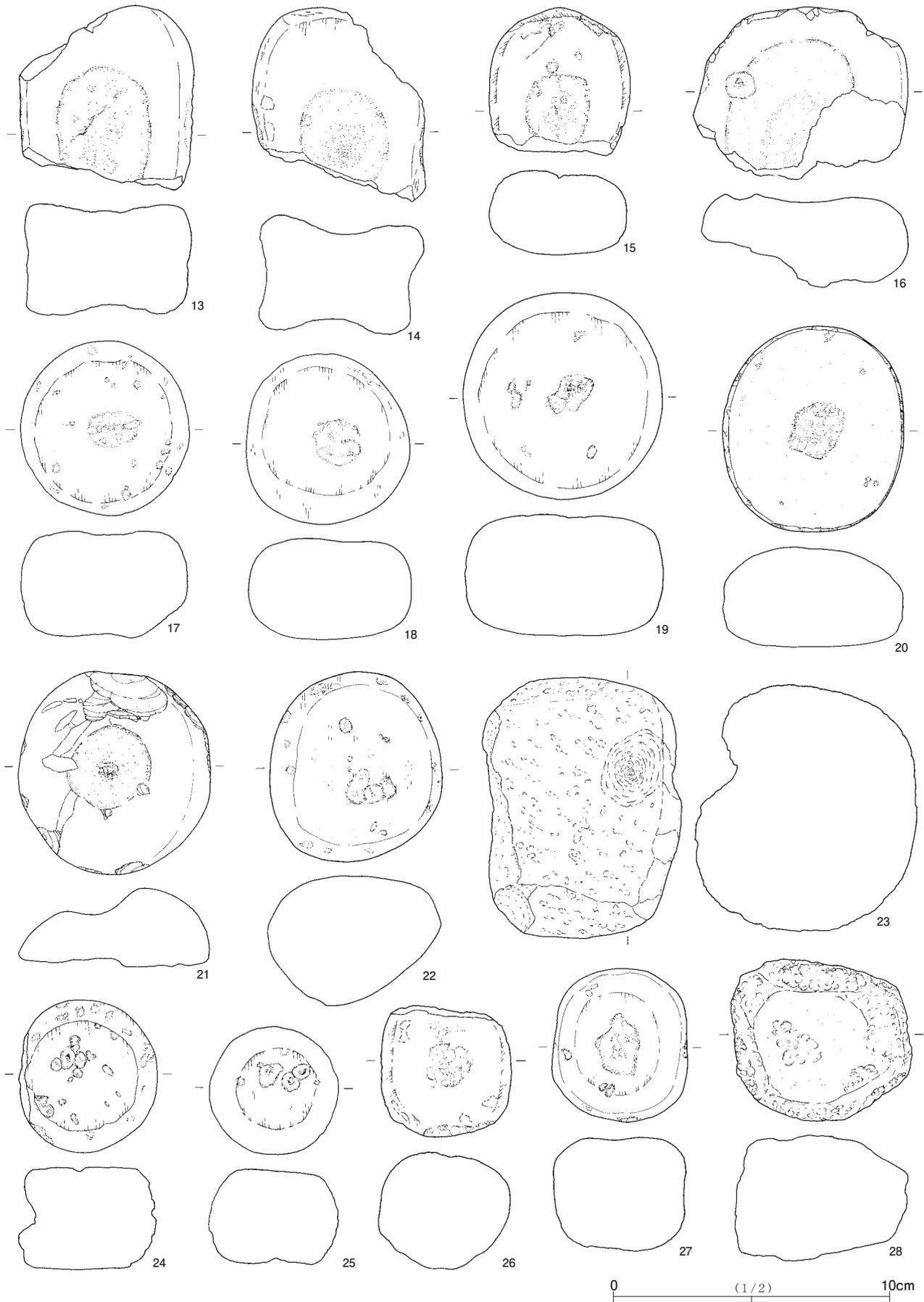
(17) 軽石製品 (第 119 図 22～25, 第 16 表, 図版 61)

加工痕の明らかなもののみ掲載した。表面は平らに擦られている。

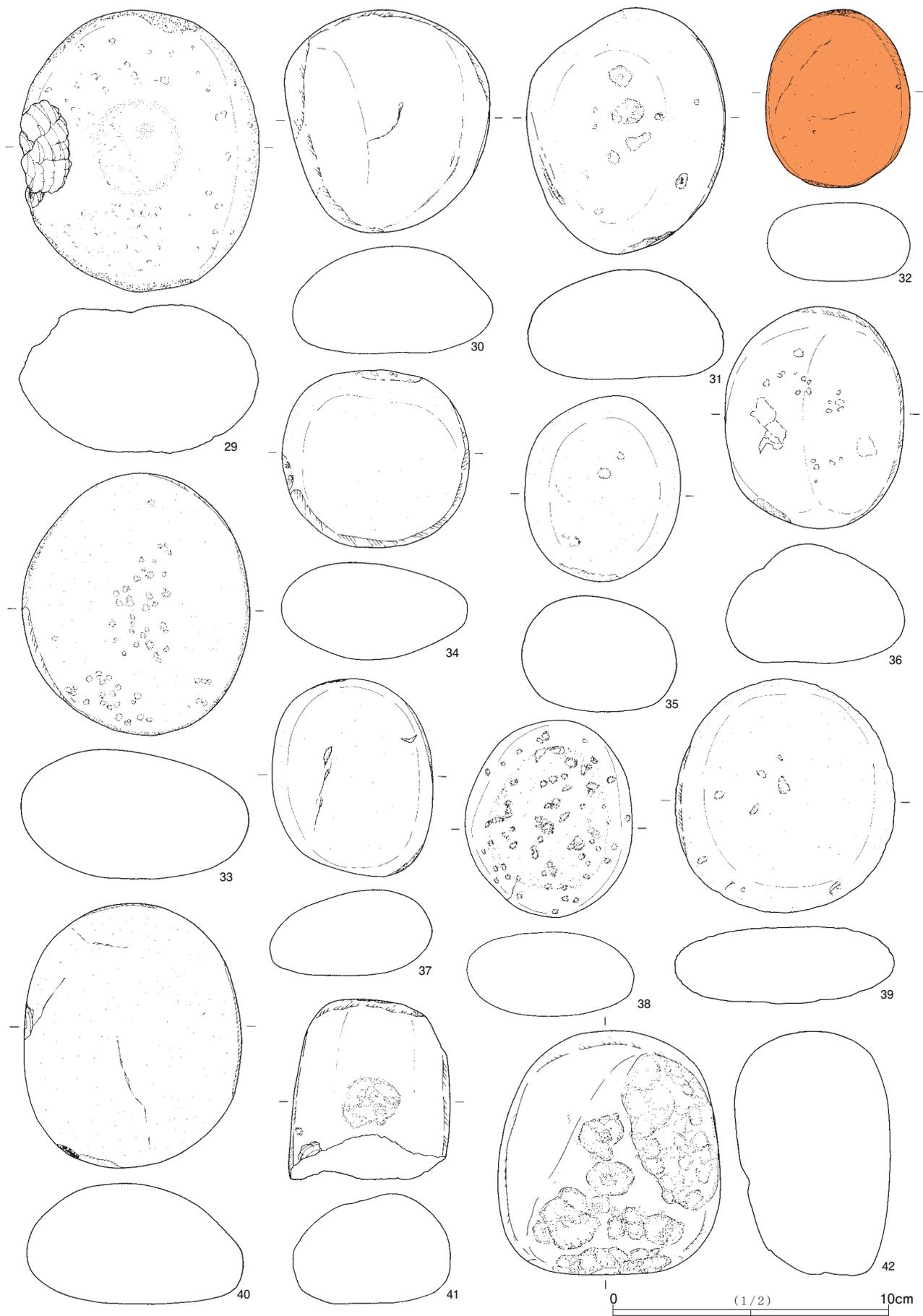
22・23 は上部に孔の開くものである。22 は板状、23 は棒状を呈する。24 は板状品で、上部を欠損する。もとは孔があった可能性がある。これらは浮子とみられる。25 は小型の偏平な球状品で、磨石的な用いられ方をしたものであろうか。



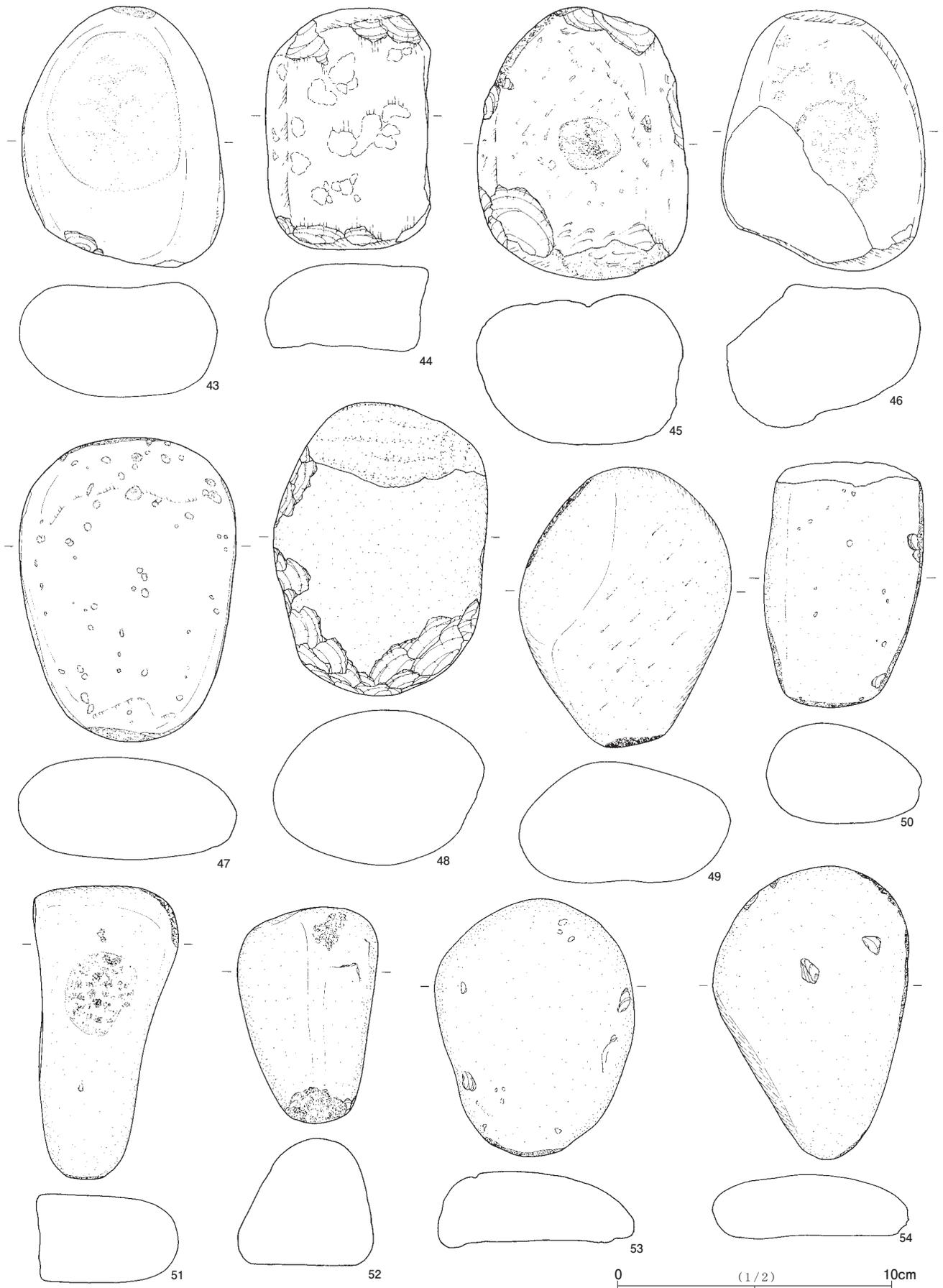
第109図 縄文時代石器 (7) 磨石類



第110図 縄文時代石器（8）磨石類



第111図 縄文時代石器(9) 磨石類



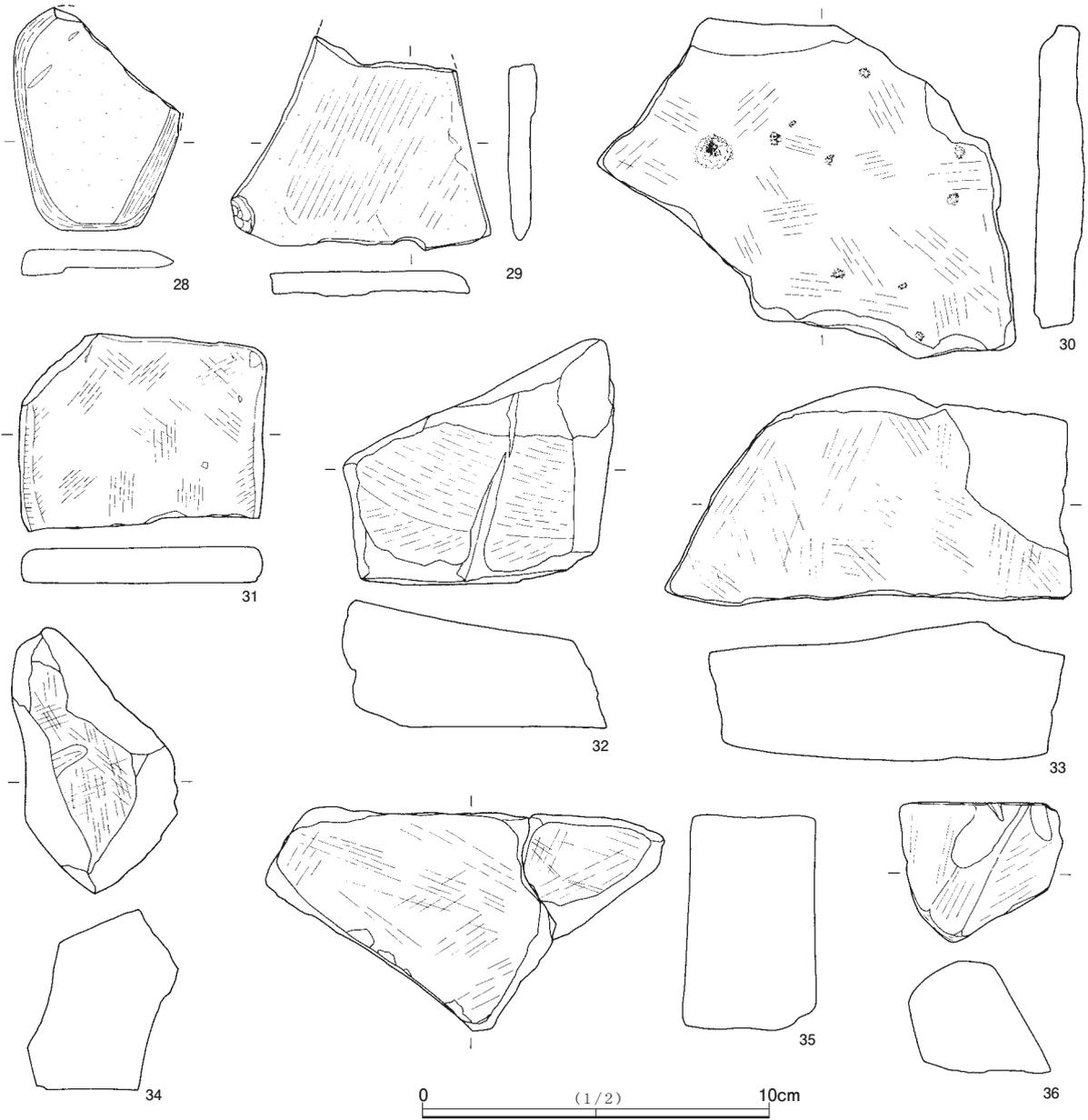
第112図 縄文時代石器 (10) 磨石類



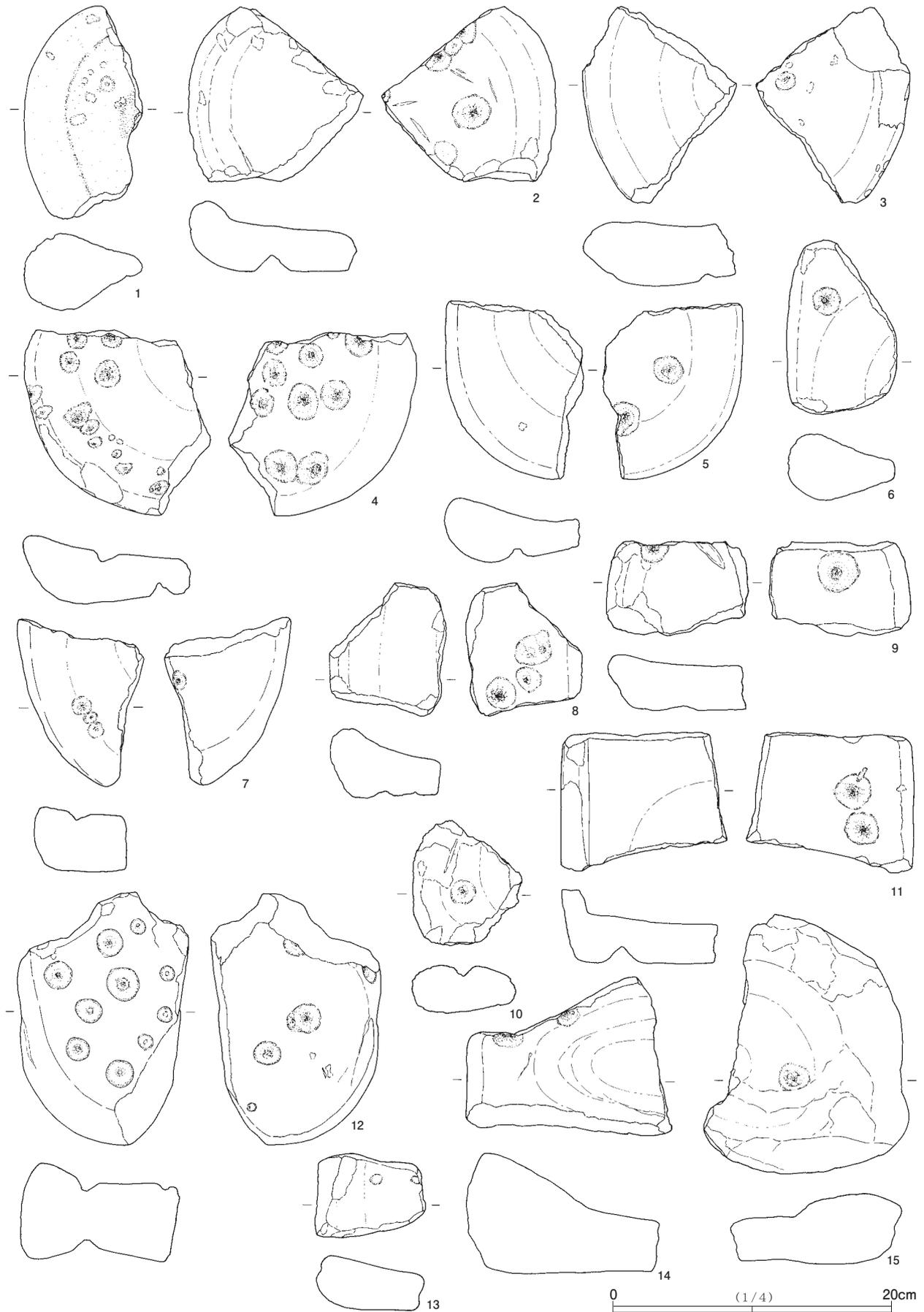
第113図 縄文時代石器 (11) 磨石類



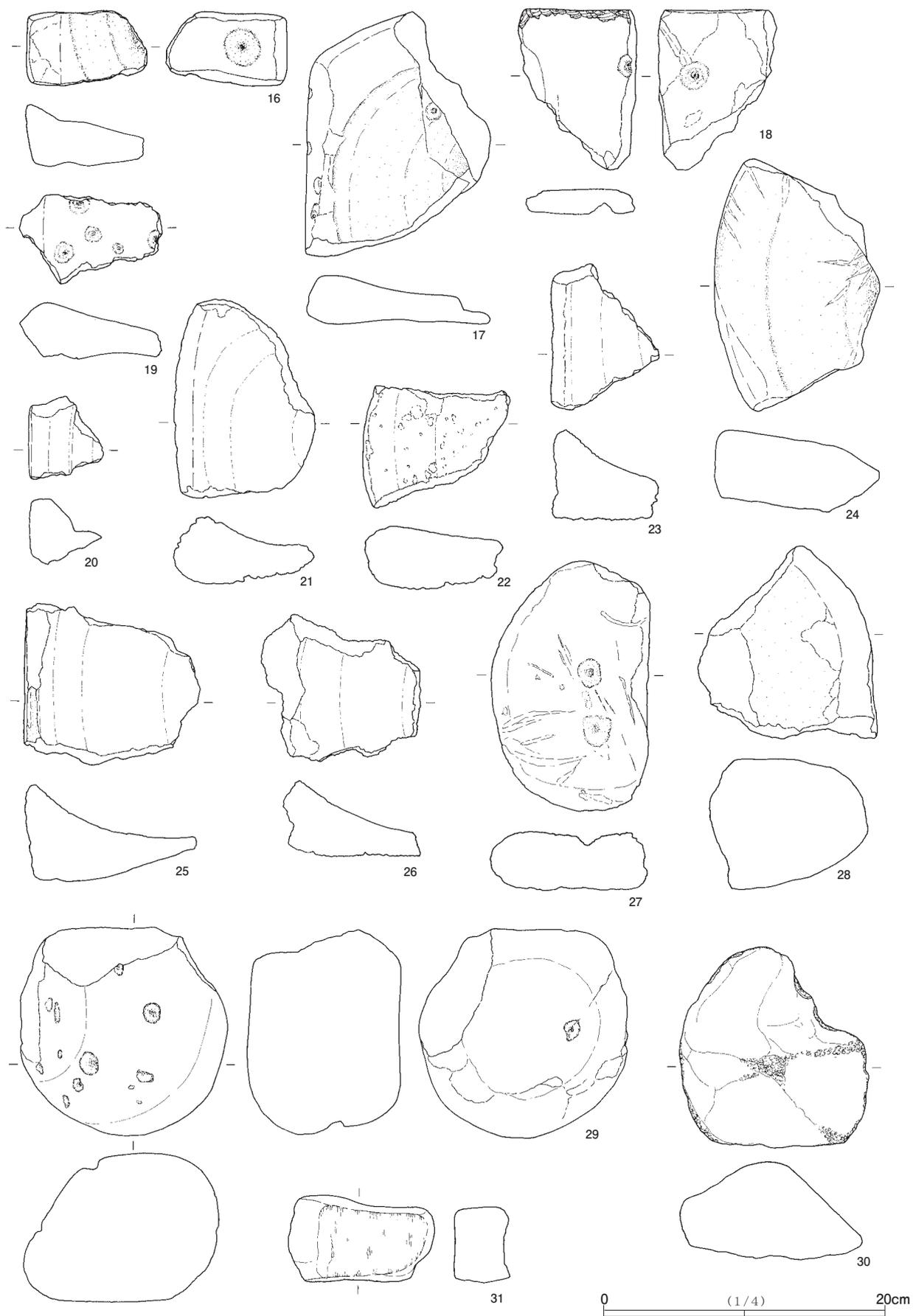
第114図 縄文時代石器 (12) 砥石



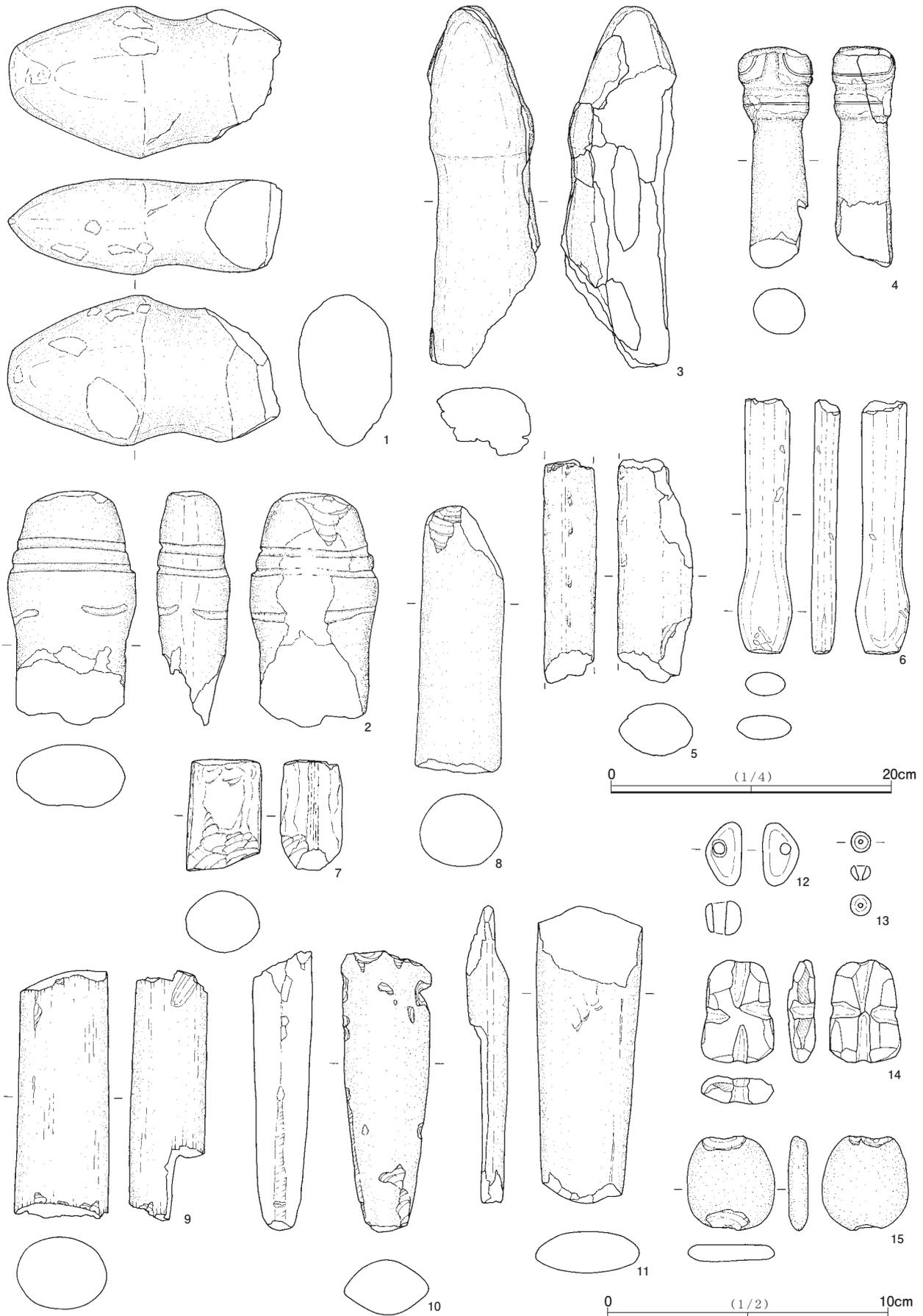
第115図 縄文時代石器 (13) 砥石



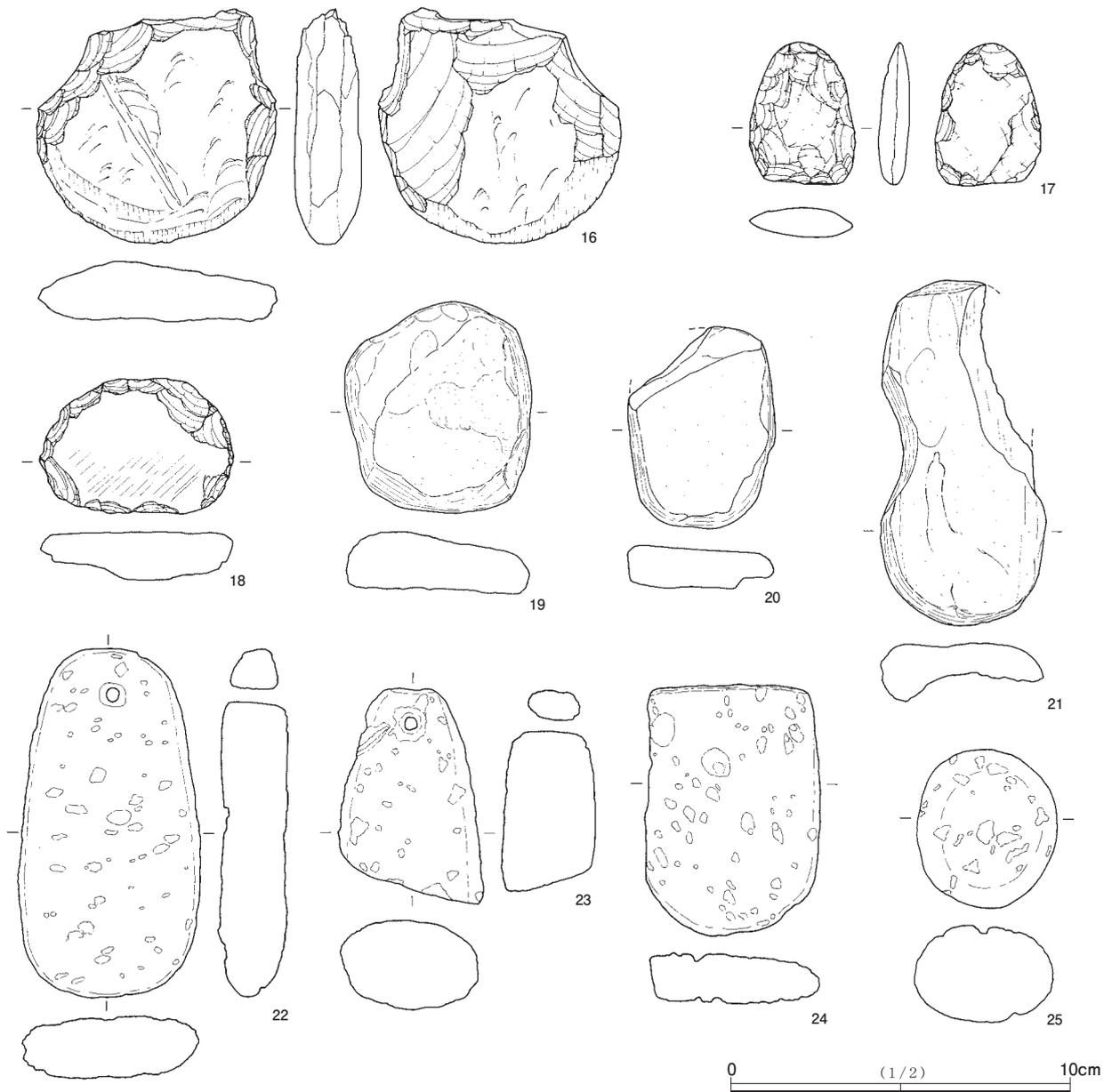
第116図 縄文時代石器 (14) 石皿



第117図 縄文時代石器 (15) 石皿, 台石



第118図 縄文時代石器石製品 (1) 独鈷石, 石棒, 玉, 石錘



第119図 縄文時代石器石製品 (2) 板状石製品, 浮子, 軽石

第13表 縄文時代石器（3）磨石類観察表

挿図	No	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ (mm)	最大幅 (mm)	厚み (mm)	重さ (g)	備考	
	109	1	磨石	安山岩	18 トレ	-	隅丸長方形	転石	完形	93.7	68.0	46.9	486.3	両面磨り顕著・小凹み、周縁揃り面・凹み
	109	2	磨石	斑瀧岩	18 トレ	1	長方形	転石	完形	107.5	69.2	39.4	619.2	両面磨り顕著・凹み、周縁4面揃り面
	109	3	磨石	安山岩	1 トレ	1	楕円形	転石	完形	115.8	86.0	46.3	832.7	両面磨り顕著、周縁4面揃り面・一部剥離痕・凹み、被熱
	109	4	磨石	安山岩	31U-33A	8	隅丸長方形	転石	完形	87.8	72.0	42.5	461.9	両面顕著磨り・中央細凹み、周縁揃り・側縁面取り
	109	5	磨石	安山岩	1 トレ	1	長方形	転石	完形	64.3	51.1	39.1	229.8	両面磨り・中央凹み、周縁揃り面
	109	6	磨石	安山岩	1 トレ	1	楕円形	転石	完形	73.1	68.4	46.8	358.1	両面顕著磨り・中央凹み、周縁揃り・凹み
	109	7	磨石	流紋岩	18 トレ	1	楕円形	転石	完形	80.7	64.3	38.1	341.9	両面すり凹み、側縁揃り・凹み
	109	8	磨石	砂岩	31U-23C	12	楕円形	転石	完形	81.4	73.0	42.4	359.6	両面顕著磨り・中央小凹み、両端部揃り・凹み
	109	9	磨石	安山岩	6 トレ	1	楕円形	転石	完形	100.2	78.2	38.9	453.9	1面磨り・中央凹み、周縁3面揃り、両端部揃り
	109	10	磨石	安山岩	SX-013	93	不整楕円形	磨石片	破片	82.3	63.5	34.8	208.4	1面・裏面（割れ面）磨り、後側縁揃り、被熱
	109	11	磨石	砂岩	31U-35B	4	台形	転石	1/2	58.4	87.4	34.6	274.5	磨石再利用、両面顕著磨り・小凹み、側縁・端部揃り面、側面角も揃り、被熱
	109	12	磨石	安山岩	表採	-	楕円形	転石	4/5	93.0	93.1	47.9	638.2	両面磨り・凹み、周縁揃り 側面も揃り、被熱
	110	13	磨石	安山岩	31U-13C	8	長方形?	-	一部欠	67.1	62.4	43.5	262.4	1面揃り・凹み、側縁揃り・凹み・小凹み、端部揃り・凹み
	110	14	磨石	安山岩	31U-03B	1	長方形	-	2/3	69.9	61.9	45.8	250.0	両面磨り・凹み、側縁揃り面・小凹み、先端揃り面
	110	15	磨石	安山岩	31U-34A	7	楕円形	-	2/3	54.1	50.5	29.1	118.7	両面磨り、1面小凹み、側縁揃り面、端部揃り・凹み
	110	16	磨石	安山岩	31U-02	1	楕円形	転石	破片	62.6	77.5	34.7	180.0	1面磨り・凹み・小凹み凹孔、側縁揃り、割れ面縁も揃り再利用、被熱割れ
	110	17	磨石	安山岩	31U-24D	11	円形	転石	完形	64.0	60.9	39.2	218.6	両面磨り・小凹み、周縁揃り
	110	18	磨石	安山岩	31U-03B	1	円形	-	完形	62.8	58.7	40.3	220.1	両面磨り、1面小凹み、周縁揃り
	110	19	磨石	安山岩	18 トレ	1	円形	転石	完形	75.6	71.1	44.7	384.3	両面顕著磨り、1面小凹み、周縁揃り
	110	20	磨石	砂岩	31U-02	1	楕円形	転石	完形	75.3	65.3	36.7	246.9	両面磨り、1面中央凹み、周縁揃り、黒色付着物
	110	21	磨石	軟質砂岩	31U-43C	1	楕円形	転石	破片	74.1	69.3	29.2	165.0	1面かるい磨り・中央凹み、側縁一部すり、節理による割れ、小揃り鉢的
	110	22	磨石	安山岩	31U-03C	1	楕円形	転石	完形	69.3	61.7	49.4	278.9	断面三角形、両面・片端部磨り、他端部・周縁一部揃り
	110	23	磨石	多孔質安山岩	31U-03	1	長方形	-	完形	96.0	71.1	79.4	720.2	両面・側縁揃り、割れ面すり、小凹み、大型円形磨石の再利用か
	110	24	磨石	安山岩	SI-010	1	円形	-	完形	55.8	49.4	37.8	156.5	両面顕著磨り、周縁揃り・磨り・一部細凹み
	110	25	磨石	安山岩	31U-04D	1	円形	転石	完形	46.9	46.2	36.3	99.8	両面磨り、1面細凹み、周縁揃り
	110	26	磨石	砂岩	31U-15A	4	楕円形	-	一部欠	48.4	47.2	42.3	99.7	磨石再利用、片面小凹み、裏面・先端揃り磨り、側縁揃り
	110	27	磨石	安山岩	1 トレ	1	楕円形	転石	完形	55.8	48.5	41.4	171.4	両面磨り・小凹み、周縁揃り・両側縁小凹み
	110	28	磨石	安山岩	31U-24B	1	楕円形	-	完形?	59.3	65.5	47.7	159.8	石皿転用?両縁・端部揃り、両面に凹み
	111	29	磨石	安山岩	SI-026	95	楕円形	転石	完形	103.3	90.7	54.8	641.2	両面磨り・中央凹み、周縁3面揃り
	111	30	磨石	安山岩	31U-44D	3	円形	転石	完形	81.5	77.8	41.3	333.5	両面顕著磨り、周縁揃り
	111	31	磨石	流紋岩	31U-22B	9	楕円形	転石	完形	90.0	71.9	40.7	376.0	両面磨り、周縁一部軽く揃り
	111	32	磨石	砂岩	3 トレ	1	楕円形	転石	完形	67.6	54.4	29.5	150.3	顔料付着、側縁一部・端部揃り
	111	33	磨石	砂岩	31T-一括	-	楕円形	転石	完形	95.8	81.6	48.3	534.7	両面磨り・中央軽い潰れ、周縁軽い揃り
	111	34	磨石	アブライト	31U-03C	5	円形	転石	破片	65.3	67.5	36.2	225.1	両面磨り、側縁揃り
	111	35	磨石	アブライト	1 トレ	1	楕円形	転石	完形	69.2	55.8	42.8	233.6	両面磨り、周縁一部軽く揃り
	111	36	磨石	流紋岩	31U-13A	2	楕円形	転石	完形	81.2	64.5	46.3	342.5	両面顕著磨り、周縁一部揃り
	111	37	磨石	礫岩	31U-24D	17	楕円形	転石	完形	72.3	58.1	32.3	212.2	両面顕著磨り、周縁軽いすり
	111	38	磨石	アブライト	31U-12B	4	楕円形	転石	完形	72.3	60.3	32.1	193.4	一面磨り、裏面揃り・凹み、側縁一部磨り
	111	39	磨石	安山岩	表採	-	円形	転石	完形	85.8	79.3	29.3	267.7	両面軽い磨り、周縁揃り
	111	40	磨石	砂岩	31U-25B	5	楕円形	転石	完形	97.2	78.8	45.6	503.6	両面軽い磨り、周縁軽い揃り・両側縁揃り面
	111	41	磨石	安山岩	31U-22B	10	長方形	-	一部欠	66.4	58.7	40.1	259.3	両面磨り・小凹み、周縁揃り・端部小凹み・揃り
	111	42	磨石	砂岩	31U-23B	9	楕円形	転石	完形	88.9	80.4	56.7	599.8	両面顕著磨り、周縁揃り
	112	43	磨石・凹石	砂岩	31U-24C	4	楕円形	転石	完形	95.8	73.5	43.4	440.8	1面顕著磨り、裏揃り凹み、1端部・側縁揃り、1端部剥離・揃り、小石皿の使用か
	112	44	磨石	閃緑岩	1 トレ	1	長方形	転石	完形	88.8	60.1	33.3	322.9	3縁・1面を削り成形、1面磨り・小凹み、裏面小凹み・磨り、周縁3面揃り・1面も磨り、再利用品?
	112	45	凹石・磨石	安山岩	1 トレ	1	台形	転石	完形	100.7	76.5	60.9	576.9	両面軽い磨り、1面小凹み、側縁揃り・揃り、1端揃り面、他端揃り・剥離
	112	46	凹石・磨石	流紋岩	31U-04A	1	台形	転石	完形	95.8	74.0	53.8	504.7	両面磨り・小凹み、片側縁揃り、両端部揃り、片端揃って使用
	112	47	凹石・磨石	安山岩	3 トレ	1	楕円形	転石	完形	111.8	78.5	38.3	515.8	両面磨り顕著、両端・側縁揃り・揃り
	112	48	凹石・磨石	砂岩	3 トレ	1	楕円形	転石	完形	107.3	77.4	58.3	653.5	両面磨り、1端部剥離・揃り、片端部割れ縁揃り、片側縁部剥離・揃り
	112	49	凹石	流紋岩	31U-22B	9	不整楕円形	転石	完形	103.2	76.4	44.2	471.5	両面・片側縁顕著磨り、片端部剥離・凹み揃り
	112	50	側縁磨石	砂岩	31U-03	1	長台形	転石	完形	91.0	57.7	40.9	305.6	1端削、側面磨り、側縁剥離・揃り、両面磨り、1縁揃り面、他縁揃り、端部揃り、スタンプ形石器?
	112	51	凹石	砂岩	31U-33A	8	へら形	転石	完形	109.1	52.6	32.7	262.1	両面磨り?、両面小凹み凹み、側縁一部・片端部揃り
	112	52	凹石	砂岩	31T-06	1	長台形	転石	完形	79.8	51.1	49.4	285.6	側縁一部揃り、1端部揃り面、多端部縁一部揃り
	112	53	凹石	砂岩?	SK-033	188	楕円形	偏平転石	完形	95.3	72.6	28.2	266.1	1面磨り、1端部・側面揃り、スタンプ形石器
	112	54	砥石・磨石	砂岩	31U-22A	1	へら形	転石	完形	108.2	71.1	28.4	246.6	片面砥面、周縁揃り（凹み）、片端部揃り面
	113	55	凹石	砂岩	31U-34B	10	三角形	転石	破片	69.70	78.1	61.7	382.5	器面一部磨り?、端部・割れ面縁一部すり、スタンプ形石器
	113	56	凹石	砂岩	31U-44D	2	三角形	転石	破片	71.1	83.6	33.2	208.4	一面表皮 or 砥、他面砥面、一端剥離・磨り・凹み、スタンプ形石器
	113	57	磨石	デイサイト	31U-23D	5	-	転石	破片	67.5	62.6	29.6	174.7	切断、両側縁・端部顕著磨り、両側縁切断面縁部剥離・凹み、スタンプ形石器?
	113	58	磨石・凹石	安山岩	31U-13D	4	楕円形	転石	破片	94.0	66.6	44.9	363.0	両面磨り・若干凹み、1面小凹み、側縁剥離・磨り（砥）、先端揃り、磨芥転用?
	113	59	磨石	アブライト	31T-93C	1	(楕円形)	転石	1/2	66.9	51.5	47.4	233.4	1面磨り、他面・側縁揃り・凹み、端部・割れ面縁揃り、焼燻・黒色付着物、スタンプ形石器的
	113	60	凹石	礫岩	SX-010	1	楕円形	転石	完形	84.9	50.7	44.4	253.7	1端部揃り 断面三角形・2側縁揃り
	113	61	凹石	安山岩	31S-81	1	-	転石	完形	81.7	36.9	22.4	83.0	両端揃り（凹み）面、1端剥離
	113	62	凹石?	砂岩	31U-33A	6	四角柱状	転石	完形	89.5	28.5	25.8	115.7	4面磨り（2面細凹み・1面側縁凹み凹み）、両端揃り
	113	63	凹石	砂岩	31U-23C	15	棒状	転石	完形	90.7	29.4	27.5	113.3	1端軽い揃り（凹み）
	113	64	凹石・砥石	砂岩	31U-14B	3	板状	転石	完形	73.9	53.7	15.5	93.1	先端剥離・揃り、周縁若干揃り、一面砥面
	113	65	凹石	砂岩	SI-012	1	棒状?	転石	完形	49.1	30.4	10.3	27.3	端部揃り痕、側縁一部剥離痕、全面テカリ
	113	66	凹石・磨石	黒色安山岩	SK-013	9	楕円形	偏平転石	一部欠	66.9	55.5	22.6	122.9	全面磨り?、端部若干凹み
	113	67	凹石	砂岩	31U-33A	9	楕円形	偏平転石	完形	70.0	61.6	27.8	154.8	1面軽く凹み、周縁揃り
	113	68	凹石	砂岩	31U-34A	10	不整円形	転石	完形	60.8	57.6	39.1	178.3	端部揃り

挿図	No	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ(mm)	最大幅(mm)	厚み(mm)	重さ(g)	備考
113	69	敲石	砂岩	SI-011	1	棒状	円盤	破片	45.7	25.3	9.8	19.3	両面磨面, 端部縁揃り面・隣部縁すり
113	70	敲石	流紋岩	SK-007	1	不整形円形	転石	完形	67.8	68.3	25.4	129.1	先端部敲き揃り
113	71	磨石	砂岩	31U-03C	2	台形	転石	完形	56.2	60.2	24.9	116.2	側縁一部揃り
113	72	石冠形石器	安山岩	31U-03D	13	台形	-	ツマミ部	34.3	70.1	44.2	126.8	上部磨り

第14表 縄文時代石器 (4) 砥石観察表

挿図	No	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ(mm)	最大幅(mm)	厚み(mm)	重さ(g)	備考
114	1	砥石	軟質砂岩	31U-35A	2	籠状	-	一部欠	39.6	33.1	12.2	16.7	両面・側縁上下・一端砥面, 側縁凹み
114	2	砥石	軟質砂岩	31U-25	1	籠状	-	完形?	52.2	41.2	16.5	39.6	両面・側縁上下砥面, 1端敲き, 1端折損?
114	3	砥石	軟質砂岩	31U-24D	10	台形	-	完形	48.3	48.8	11.8	34.4	両面・側縁上下・両端磨面, 一部剥離痕
114	4	砥石	軟質砂岩	31T-94	1	籠状	-	一部欠	49.7	36.4	13.9	30.9	両面・側縁上下・一端砥面, 側縁凹み, 1端折損
114	5	砥石	軟質砂岩	31U-15D	4	短冊	-	一部欠	56.6	44.2	12.8	47.8	両面・側縁上下・2端砥面, 両端揃り
114	6	砥石	軟質砂岩	31T-14	1	短冊	-	完形	70.2	39.9	12.2	42.0	両面砥面, 側縁揃り・凹み, 1端揃り
114	7	砥石	安山岩	31U-23B	10	短冊	-	一部欠	53.2	45.0	10.8	27.0	両面砥面・細凹み, 側縁上下・一端部砥面
114	8	砥石	凝灰岩	31U-43C	1	短冊	-	一部欠	43.1	38.9	8.6	19.9	両面・側縁上下・1端砥面, 1側縁ノッチ・凹み, 1側縁ノッチ?
114	9	砥石	軟質砂岩	31U-26C	1	短冊	-	完形	52.1	37.8	20.2	51.9	両面・側縁上下砥面, 一端・側縁揃り
114	10	砥石	軟質砂岩	31U-23B	1	短冊	-	一部欠	56.3	37.8	17.0	42.1	両面・側縁上下・1端砥面
114	11	砥石	軟質砂岩	31U-23B	1	短冊	-	4/5	52.6	40.7	13.8	30.1	両面・側縁上下砥面, 両端揃り
114	12	砥石	砂岩	2トレ	1	?	-	破片	57.1	41.7	8.8	27.0	両面・側縁上下砥面
114	13	砥石	軟質砂岩	31U-05A	1	-	-	破片	33.5	38.3	13.1	20.7	両面・一端砥面
114	14	砥石	軟質砂岩	31T-02	1	-	-	一部欠	40.6	45.9	19.2	45.4	両面・側縁上下・一端砥面, 側縁凹み
114	15	砥石	軟質砂岩	31U-24D	17	-	-	一部欠	69.2	33.6	14.4	32.3	両面・側縁上下砥面, 一端敲き
114	16	砥石	軟質砂岩	1トレ	1	-	-	一部欠	56.1	56.5	33.2	111.0	5面砥面, 縁に溝
114	17	砥石	軟質砂岩	31U-13A	11	長方形	-	ほぼ完形	76.6	61.7	11.2	83.0	両面・側縁上下・一端砥面, 他端揃り
114	18	砥石	砂岩	31U-26C	1	長方形	-	一部欠	71.1	45.1	26.0	117.2	4面砥面・凹み 端部揃り
114	19	砥石	軟質砂岩	31U-16C	3	-	-	完形	77.1	46.6	5.7	30.3	一面砥面, 周縁摩滅・ノッチ, 両端揃り
114	20	砥石	砂岩	31U-16C	3	台形	-	完形	83.0	49.5	19.6	113.6	両面凹, 側縁砥面・ゆるく凹む
114	21	砥石	軟質砂岩	31U-35A	1	撥形	-	ほぼ完形	89.9	51.5	19.6	97.1	粗割痕, 端部・縁・両面磨り, 1端部剥離
114	22	敲石・砥石	粘板岩	SK-013	4	籠状	-	完形	90.7	58.8	10.5	66.1	片端剥離・潰れ, 両面磨り, 側縁部両刃状・1箇所ノッチ凹み
114	23	砥石	砂岩	31T-93A	2	不整形五角形	-	完形	101.1	56.1	22.8	155.5	1面軽い砥面, 側縁揃り・一部ノッチ
114	24	砥石・磨石	アブライト	16トレ	1	棒状	転石	完形	68.4	56.7	42.8	233.6	両面磨り, 周縁一部軽く揃り
114	25	砥石・敲石	軟質砂岩	31U-13D	6	棒状	-	半欠	45.2	28.1	16.8	25.3	両面砥面, 先端部揃り
114	26	砥石	軟質砂岩	1トレ	1	長方形	板状	2/3	50.0	62.5	12.9	45.2	両面砥面, 側縁摩滅
114	27	砥石・磨石	軟質砂岩	31U-05D	5	-	-	破片	80.6	50.6	35.2	189.2	両面砥面, 側縁揃り
115	28	砥石	砂岩	16トレ	1	-	板状	一部欠	44.8	64.5	6.9	28.6	1側縁上下・端部縁砥面
115	29	砥石	砂岩	31T-94D	1	-	-	一部欠	71.3	70.3	6.6	47.5	一面砥面, 縁にノッチ
115	30	砥石	軟質砂岩	31U-04A	1	-	板状	一部欠	120.6	98.9	14.0	180.8	一面かるく砥面, 小凹み1
115	31	砥石	粘板岩	31U-33A	8	-	板状	一部欠	58.0	72.0	10.8	80.9	両面・周縁砥面, 一端凹み2個
115	32	砥石	軟質砂岩	SK-007	1	-	-	一部欠	71.3	76.9	36.8	220.2	6面体, 4面砥面, 1面凹み・刻み
115	33	砥石	軟質砂岩	31U-04A	1	-	-	半欠	116.6	63.8	40.8	363.0	両面・側縁一部磨面, 裏面溝, 具化石痕
115	34	砥石	軟質砂岩	SX-010	403	-	-	完形	47.9	77.4	52.1	175.3	6面体, 4面砥面
115	35	砥石	軟質砂岩	SX-010	4・399	-	-	破片	115.1	65.4	38.4	292.9	両面平坦
115	36	砥石	軟質砂岩	SK-006	1	-	-	完形	51.9	39.8	39.4	65.0	多面体, 5面砥面

第15表 縄文時代石器 (5) 石皿類観察表

挿図	No	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ(mm)	最大幅(mm)	厚み(mm)	重さ(g)	備考
116	1	石皿	多孔質安山岩	SK-013	204	楕円形	-	2/5	154.3	86.1	61.7	809.8	両面凹, 中心縁剥離・揃り・縁揃り,
116	2	石皿	安山岩	SD-002	3	円形	-	1/4	127.2	124.4	53.8	763.4	1面凹, 裏凹孔, 断面揃り(転用)
116	3	石皿	流紋岩	31U-23C	12	円形	転石	1/4	141.8	110.6	54.6	807.1	1面凹み, 両面砥面, 裏面小凹孔
116	4	石皿	安山岩	31U-43C	1	円形	-	1/4	134.6	133.0	55.7	985.3	1面深凹み・砥面, 裏面浅凹み・表裏小凹孔多, 断面一部揃り
116	5	石皿	安山岩	31U-34A	9	楕円形	-	1/5	128.5	99.3	50.3	666.2	片面凹み, 裏面磨り・小凹孔, 側縁揃り
116	6	磨石(石皿)	安山岩	31U-34A	9	長三角形	石皿片	完形	125.5	79.5	51.4	587.3	石皿転用 片面凹み・小凹孔, 裏面平坦磨面, 側縁揃り, 両端敲き・揃り
116	7	石皿	安山岩	SK-004	4	楕円形	-	破片	120.5	90.1	53.3	591.8	1面凹み, 両面・側縁小凹孔, 割れ面揃り
116	8	石皿	安山岩	31U-22B	?	-	-	-	95.9	83.2	51.9	349.7	1面凹み・砥面, 裏面やや凹み・小凹孔, 断面一部揃り
116	9	石皿	角閃安山岩	31U-13D	4	-	-	破片	68.3	101.7	42.7	398.7	1面凹み, 裏面平ら・両面・側面小凹孔, 側縁揃り
116	10	石皿	安山岩	SK-013	7	-	-	破片	90.5	78.6	36.0	302.1	両面凹み, 1面小凹孔, 側縁揃り
116	11	石皿	安山岩	31U-33A	9	-	-	-	100.6	119.9	59.8	638.5	1面凹み・土手付, 裏・側面平坦, 断面1端部揃り, 被熱
116	12	石皿	軟質砂岩	18トレ	-	楕円形	-	1/3?	183.2	122.4	73.2	1,861.3	両面凹み・砥面, 側面砥面・細溝, 断面縁潰れ, 割れ後使用, 被熱
116	13	磨石(石皿)	閃緑岩	31U-33A	10	台形	石皿片	完形	77.7	60.3	38.4	296.3	両面凹み, 側縁揃り, 石皿転用
116	14	石皿	アブライト	31U-12B	3	-	-	破片	115.6	147.7	87.6	1,495.7	大型凹石転用, 片面凹み, 両面小凹孔, 割れ部縁揃り
116	15	石皿	砂岩	31U-26C	2	不整形円形	転石	1/2	188.5	146.3	56.0	1,999.0	両面凹み・中央敲き痕, 1面小凹孔, 側縁一部剥離・揃り
117	16	磨石(石皿)	安山岩	31U-24D	10	不整形長方形	石皿片	完形	54.1	86.0	43.7	206.9	1面凹・砥面, 裏面小凹孔, 周縁揃り, 石皿転用
117	17	石皿	雲母片岩	31U-03C	1	-	-	2/5	175.8	131.1	38.5	955.7	両面凹み, 側縁砥面・小凹孔
117	18	石皿	緑色片岩	31U-11C	1	-	板状	破片	115.4	84.0	25.2	310.0	1面凹み, 両面小凹孔, 端部軽く磨滅
117	19	石皿	安山岩	31U-03D	2	-	-	破片	64.4	101.5	40.6	224.3	両面凹み, 1面砥面, 裏面小凹孔多, 被熱
117	20	石皿	多孔質安山岩	31U-33A	8	-	-	縁部片	59.4	53.3	50.2	111.4	土手付
117	21	石皿	多孔質安山岩	31U-02C	2	-	-	破片	143.0	100.7	49.6	731.0	1面凹み・砥面, 裏やや凹み
117	22	石皿	多孔質安山岩	31U-24D	18	-	-	-	87.5	104.4	46.8	474.6	1面凹み
117	23	石皿	多孔質安山岩	31U-13A	14	-	-	破片	105.0	77.0	66.8	345.6	1面凹み, 側面浅い小凹み, 28に近似

挿図	No	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ(mm)	最大幅(mm)	厚み(mm)	重さ(g)	備考
117	24	石皿	軟質砂岩	31U-13C	14	楕円形	-	1/4	182.2	117.2	78.1	1,436.4	1面凹み、側面砥面、両面・側面細溝
117	25	石皿	多孔質安山岩	18トレ	-	-	-	破片	115.4	126.3	73.8	607.8	1面凹み・砥面、裏面やや凹み・磨耗
117	26	石皿	多孔質安山岩	31U-23D	4	-	-	-	104.5	113.8	54.4	550.8	1面凹み・砥面、裏面磨減・小凹孔
117	27	石皿	泥質砂岩	SK-013	4	楕円形	-	完形	179.1	112.3	42.7	1,070.4	軟らかい、1面凹み・小凹孔、側縁揃れ
117	28	台石	石英斑岩	31U-13C	9	-	転石	破片	137.7	127.8	95.4	2,100	両面砥面、側縁揃り、割れ部縁磨減
117	29	台石	花崗岩	31U-12B	3	楕円形	転石	完形	149.3	148.4	112.9	3,240	両面・1端磨面・凹孔、縁一部揃り、被熱?
117	30	台石?	安山岩	2トレ	1	不整形	転石片	完形	143.7	133.5	68.9	1,276.3	磨石・蔽石的、両面一部磨痕、縁一部揃り・ノッチ
117	31	磨石(石皿)	軟質砂岩	SI-012	3	方形?	-	半欠	62.8	103.8	45.7	410.7	3面砥面、2面揃り?、石皿転用

第16表 縄文時代石器(6) 石製品観察表

挿図	No	種類	石材	遺構番号	遺物番号	形状	素材	状態	長さ(mm)	最大幅(mm)	厚み(mm)	重さ(g)	備考
118	1	独站石	安山岩	3トレ	1	-	-	片端部欠	95.8	53.3	37.7	234.5	くびれ幅44.7cm・厚さ29.7cm
118	2	石棒	緑色片岩	31U-24D	6	亀頭状	-	頭部	83.5	45.5	26.5	132.4	横走沈線
118	3	石棒	雲母片岩	18トレ	1	槍先状	-	端部	259.4	80.1	54.9	1,136.7	層状に割れる
118	4	石棒	緑色片岩	31U-24A 31U-13A	2・8	亀頭状	-	端部	158.6	52.9	44.9	392.4	断面円形
118	5	石棒	雲母片岩	3トレ	1	棒状	-	中央部片	160.0	53.5	38.8	455.0	断面楕円
118	6	石棒	緑色片岩	31T-42	2	鈍状	-	端部	182.8	38.4	18.2	201.0	石剣柄部?、先端磨面
118	7	石棒	緑色片岩	2トレ	1	棒状	-	破片	40.4	26.3	21.9	37.0	未端部片、14と石質近似、断面円形
118	8	石棒	緑色片岩	31U-23A	3	棒状	-	破片	96.2	30.4	26.2	132.3	未端部敲打痕
118	9	石棒	千枚岩	23トレ	1	棒状	-	破片	89.1	33.4	26.8	116.7	被熱、両端欠、炭付着、断面楕円
118	10	石棒	緑色片岩	3トレ	1	剣状	-	先端部	100.8	32.2	21.5	93.5	石剣?、先端磨面、刻線、側縁刻み
118	11	石棒	雲母片岩	31U-25A	4	偏平棒状	-	破片	106.6	37.4	15.2	77.6	石剣?、端部につぶれ痕
118	12	玉	翡翠	31U-03D	8	半月形	-	-	2.2	1.2	1.2	6.0	穴あり
118	13	玉	翡翠	31U-03D	8	円球状	-	-	1.5	0.7	0.7	0.5	
118	14	石錘	粘板岩	31U-03D	1	方形	-	完形	36.9	25.8	9.2	14.4	十字抉り入り
118	15	石錘	砂岩	31U-24C	7	楕円形	転石	完形	33.8	30.7	7.0	11.9	両端部抉り入り
119	16	板状石製品	緑色片岩	31U-33B	5	分銅形	-	-	70.0	70.3	19.7	129.1	先端磨減
119	17	板状石製品	緑色片岩	31U-23B	10	三角形	-	-	42.4	31.2	8.9	14.5	層状に割れる、周縁剥落・磨減
119	18	板状石製品	雲母片岩	31U-04	1	円形	-	一部欠	41	56.7	13.7	44.0	縁が擦られている
119	19	板状石製品	雲母片岩	31U-50	1	楕円形	-	-	62.8	55.8	17.7	92.3	縁が擦れている
119	20	板状石製品	雲母片岩	31T-94D	2	楕円形	-	-	60.1	43.6	12.1	40.7	縁が擦られている
119	21	板状石製品	雲母片岩	34トレ	38	分銅形	-	一端欠	102.8	46.8	18.0	94.2	側縁・刃部磨耗
119	22	浮子	軽石	31U-34B	6	長楕円形	-	完形	104.3	53.9	20.5	21.4	一方向から穴あり
119	23	浮子	軽石	31U-03D	2	錘形	-	下部欠	64.3	42.9	26.9	12.2	一方向から穴あり
119	24	浮子	軽石	31U-14D	9	舌形	-	一部欠	74.8	51.5	15.7	8.9	片端部切断、一部欠
119	25	軽石製品	軽石	31S-83	1	円形	-	完形	47.0	40.9	28.7	17.1	

第4章 弥生時代

竪穴住居跡1軒、竪穴状遺構1基が遺跡北半部31S区から検出された。ともに調査区最北端部、標高20mライン上に検出されている。いずれも後世の削平および斜面の崩落などにより一部を確認したのみである。時期的には弥生時代中期後半の宮ノ台式期から後期の久ヶ原式期にかけての所産と考えられる。

第1節 竪穴住居跡

SI-004 (第120・121図, 第17表, 図版5・62)

弥生時代の竪穴住居跡と確認できる1軒である。現存しているのはコーナーの一辺と柱穴2本に炉跡である。残された2本の柱穴の位置および壁から想定し、一辺が6m～7m程度を計るやや角丸の方形であろうと考える。主軸は南北に対して45度ほどずれる。柱穴はともに床面から40cm程度の掘り込みである。柱穴の配置からみて、竪穴住居跡としての遺存度は全体の1/4程度であろうか。掘り込みは、遺構確認面より床面まで、現状で40cmほどとしっかりと掘り込みがみられる。しかしながら地形図上では床面を基準としても上下1m以上の高低差のある斜面への掘り込みとなっているため東側が相当程度崩落しており、自然地形への掘り込みを考えた場合いささか不自然な感が残る。床面を盛り土していた可能性もあるものと考えられないだろうか。炉跡は直径60cm、深さは18cmの浅い掘り込みであるが、全面に赤変硬化している。

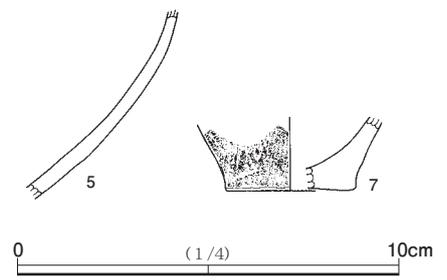
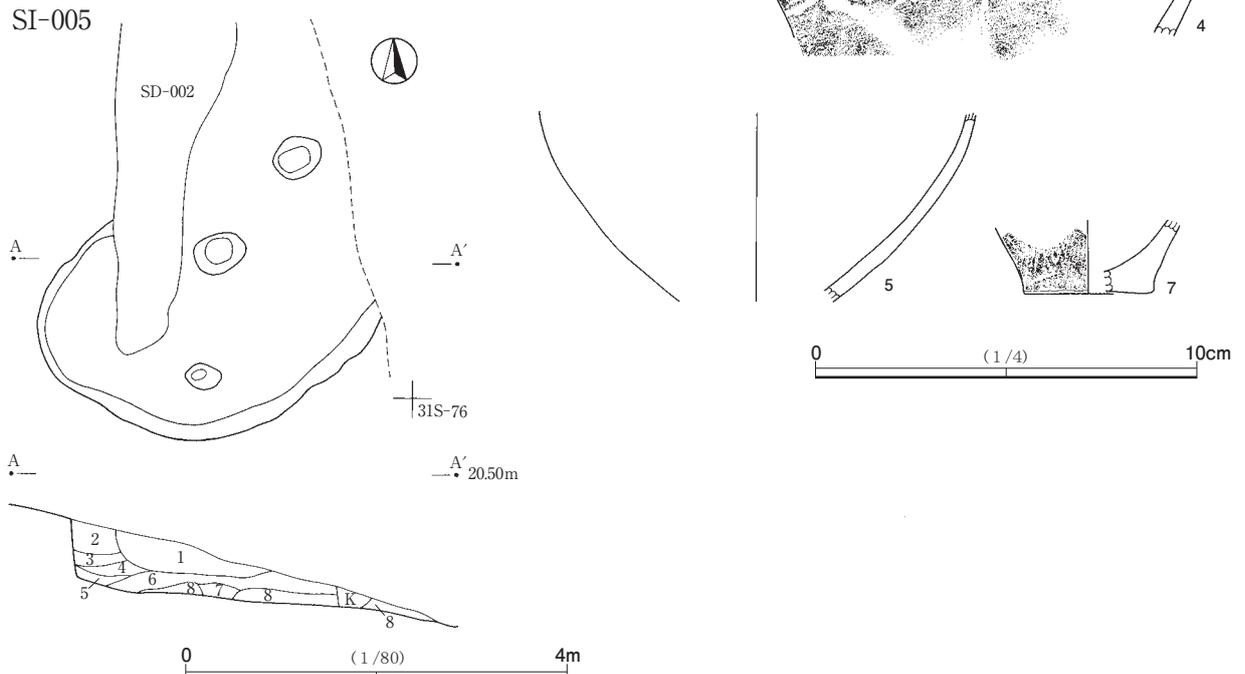
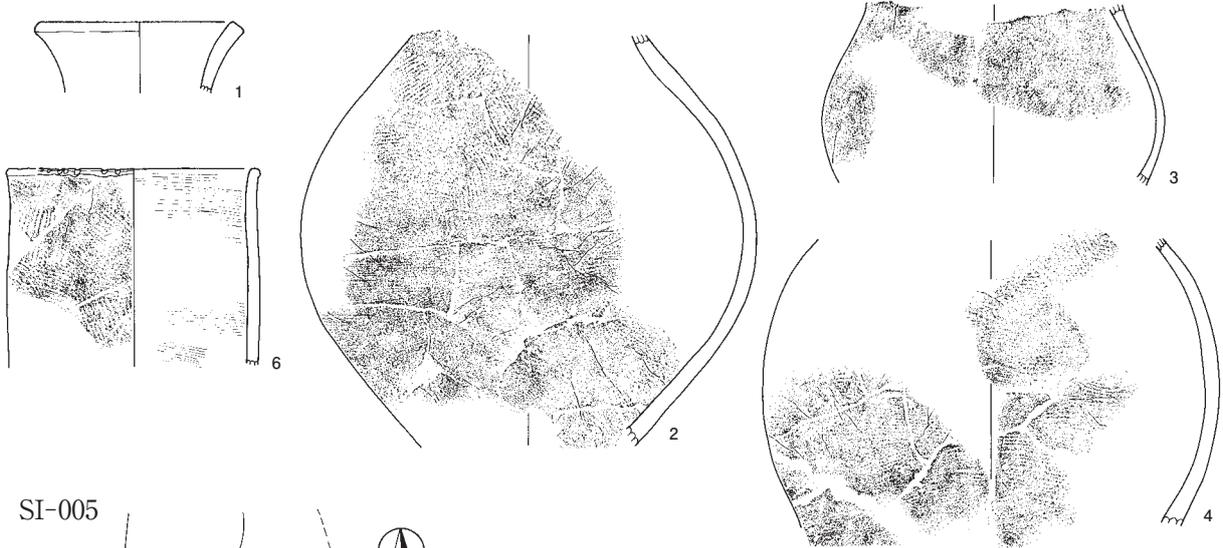
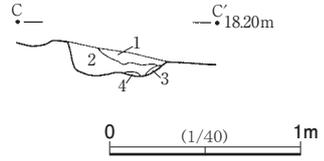
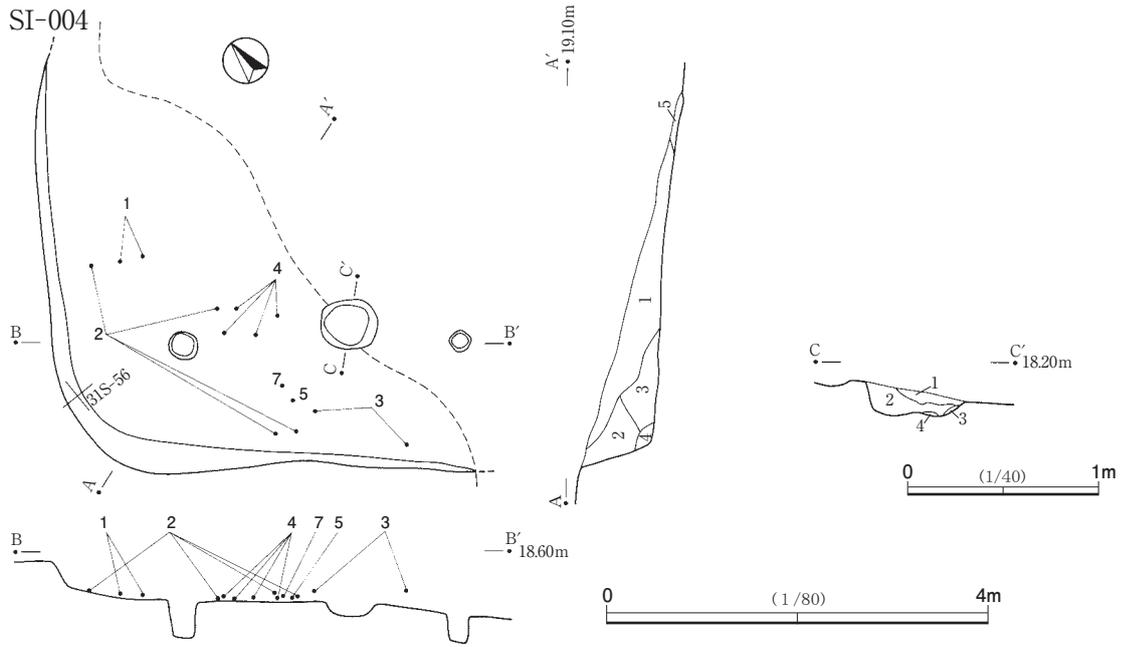
出土遺物 1は壺の口頸部片である。全体に摩耗が激しいが、部分的にハケ目痕がみられる。2～5は壺の胴部破片である。2は全体に器面の摩耗が激しいが、無文の頸部下に単節LRの羽状縄文が巡り、以下には細かい斜縄文が全体に施されるようである。胴部下半に黒斑が確認される。3は細かい単節LRの斜縄文が全体に認められる。4は摩耗が著しいが、部分的に確認される文様や胎土等から、2と同一個体となる可能性がある。5は胴部下半で、無文となるようである。6は筒状となる土器の上半部で、口縁部がやや肥厚し、口唇部に雑な刻みが加えられる。胴部の摩耗が顕著であるが、ハケ目が全体的に観察される。7は甕の底部である。

第2節 その他の遺構と遺物

SI-005 (第120図, 図版5)

中～近世の溝状遺構に大半を切られており、また攪乱および谷側の流出等により全体の1/3程度の遺存と思われる。調査時点では住居跡として扱っているが、底面は緩やかな皿状となり、住居床面のような平坦面を作り出しているとは言いがたく、竪穴状の遺構としておく。平面形は短辺が2.7m、長辺が約5.0mの長形状を呈すると思われる。主軸は、SI-004号跡と同じく南北に対して45°ほどずれるようである。柱穴状のピットが3本検出されているが、性格は不明である。

遺物の出土はなかった。



第120図 弥生時代 SI-004・出土遺物, SI-005

第3節 遺構外出土遺物

弥生土器（第121図1～13、第17表、図版62）

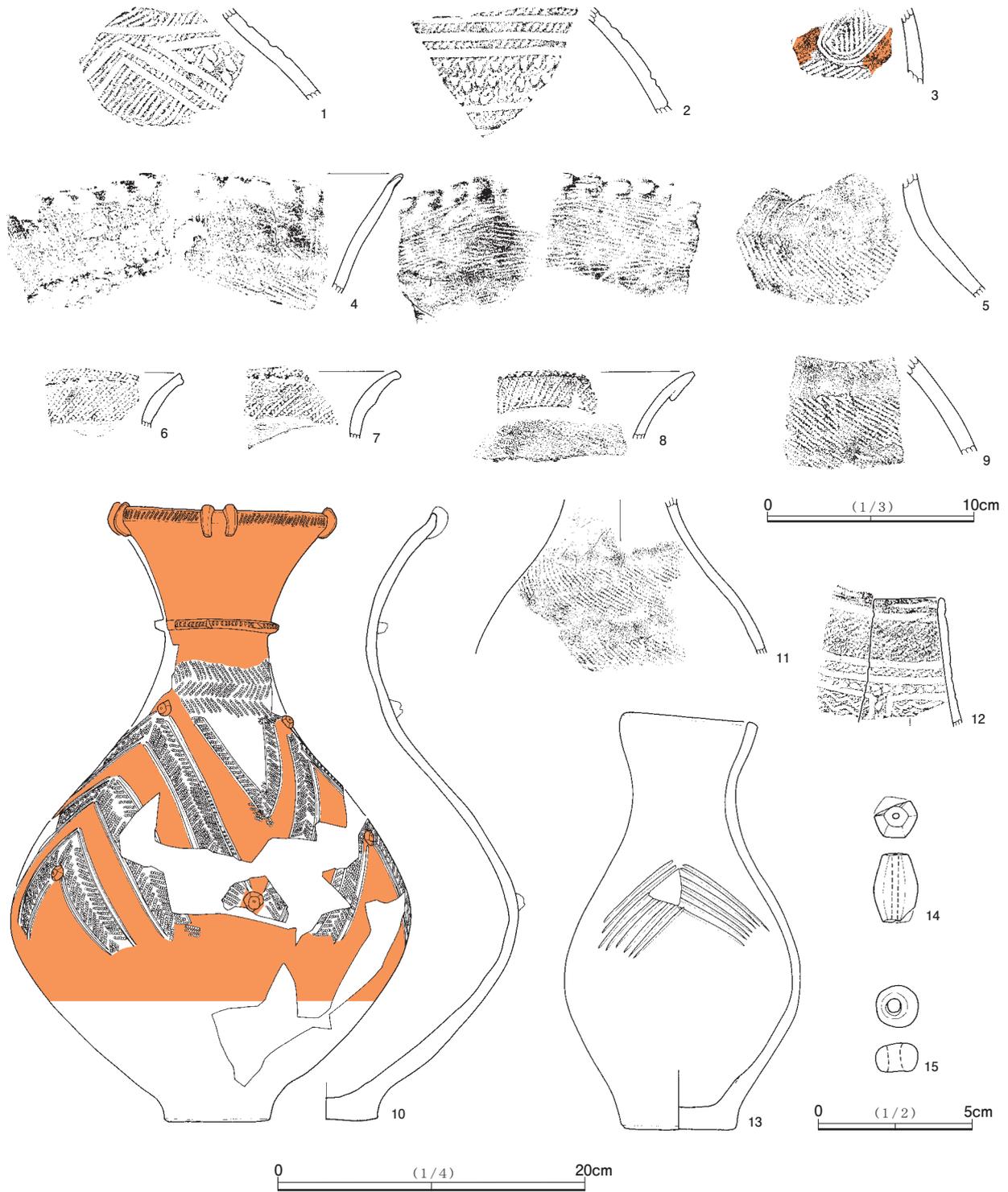
遺構外から出土した弥生土器は、弥生時代中期から後期にかけてと考えられる。

1は壺の胴部片である。小片であるが、単節LRの斜縄文を地文とし、横位の沈線下に三角形の区画が形成され、部分的に刺突が充填される。2も1と同様の縄文を地文とする。沈線間に刺突列が充填される。3は壺の胴部片で、単節LR縄文を地文とし、楕円形の沈線による区画が加えられる。明確ではないが、無文となる磨消し部分に赤彩がみられる。4は甕の口縁部で、指頭押捺による波状を呈する。内外面とも粗いハケ目が施される。被熱による器面の荒れが著しい。5は壺の肩部片で、胴部には単節RLの斜縄文がみられる。胎土中に砂粒を多く含む。6・7は甕の口縁部破片で、同一個体となろうか。口縁部外面および口唇部に附加条縄文が施される。8は折り返し口縁の甕の小片である。口縁部外面と口唇部に撚糸文が施される。9は附加条縄文が施された甕の胴部破片である。10は、口径14.0cm、器高40.7cmを測る壺である。口頸部はハの字状に開き、口縁部が内傾気味となる。口縁部外面および口唇部には、細かな単節LR縄文が施される。口縁部にはさらに、2個1単位の棒状突起が4単位貼り付けられる。頸部中央には、先端部に刻みを施した突帯が巡り、頸下端部には、細かな3段の羽状縄文（RL-LR-RL）が施される。口縁部内面から羽状縄文上端部に赤彩が施される。頸部下端から胴部最大径以上には、羽状縄文を地文とし、磨消しによる重層の三角形文を胴部全体に3単位施した文様が施される。磨消し部は、原則的に二重の沈線で区画され、内部に赤彩が加えられる。3単位の三角形文の頂部には各1個の頂部に刺突を加えた円形浮文が貼り付けられる。胴部最大径付近にも円形浮文が巡らされるが、頂部の刺突はみられない。胴部最大径以下は無文であるが、ミガキ様の丁寧なナデが施される。底部は突出する。焼成は全体に良好で、胴部最大径以下には、焼成時と思われる黒斑が顕著に残る。11は甕の頸部から胴部片で、頸部は無文となる。胴部には、無文帯を挟んで単節RLの縄文がみられる。12は長頸壺の頸部である。無節縄文を地文とし、太沈線が加えられる。頸部下には縦位の沈線が確認されることから、長形状の区画が巡るものと思われる。区画内には、鋸歯状の沈線が充填されるようである。13は細身の壺で、口縁部の開きは少なく、やや受け口状となる。地文となる縄文はみられないが、胴部上半に相対して2単位の沈線による山形文が施される。沈線の本数は、7本と8本の両者が認められる。底部はやや突出する。胎土中に砂粒を多く含み、ざらついた器表面となる。器面の摩耗もみられるが、特に口縁部から頸部にかけて顕著に観察される。14は水晶製の切子玉、15はガラス玉である。15は腐食が激しく白色化している。いずれも古墳時代の所産と思われる。

第17表 弥生土器観察表

() 推定値, < > 現存値

挿図	No	遺構番号	遺物番号	器種	焼成	色調	胎土	時期	型式	口径 (cm)	底径 (cm)	器高 (cm)	依存度	備考
120	1	SI-004	1.3.4										頸部 75% 胴部 20%	
120	2	SI-004	1.2.7.17.19	壺										
120	3	SI-004	1.20.24	甕					-	-	(9.6)		胴部 25%	
120	4	SI-004	1.8.10.11.12						-	-	(15.3)		胴部 20%	
120	5	SI-004	1.16						-	-	(10.0)		胴部 下半 25%	
120	6	SI-004	1	甕					(13.0)	-	(10.4)		口縁～胴部 50%	
120	7	SI-004	15						-	(6.9)	(3.9)		底部 25%	
121	1	31T-94	1											
121	2	31T-95	1											
121	3	31U-16D	2											赤彩
121	4	31U-16C	3											
121	5	31U-16D	5											
121	6	31U-16D	2											
121	7	31U-16D	2											
121	8	31U-16D	3											
121	9	31U-16D	5											
121	10	31U-26B, 16C, 33A	1.1・3.8	長頸壺					14.0	14.0	40.7		80%	赤彩
121	11	31U-16D	5						-	-	(10.3)			
121	12	31U-26D	1	壺 頸部					-	-	(8.4)		頸部 80%	
121	13	31U-16D	4	長頸壺					8.8	7.2	27.3		80%	



第121図 弥生時代遺構外出土遺物

第5章 ま と め

第1節 縄文時代

1 嶋越遺跡と周辺の遺跡

本遺跡の所在する四街道市北部地区、特に物井地区における大規模な発掘調査は昭和46年、千葉県住宅供給公社により開発が着手された「四街道町千代田団地」の建設に伴う発掘調査を嚆矢として幕を開ける。この千代田団地計画区域内の遺跡の発掘調査は、遺跡区域を大きくⅠ～Ⅶ区（第5図①～⑦）に分け調査が実施された。

この結果、四街道町（当時）北部域周辺における古墳群と、縄文時代後期、晩期を中心とする縄文時代の遺跡について発掘調査が行われ、知られることの少なかった当地区における縄文時代～古代にかけての一大遺跡群の存在が知られることとなった。すでに発掘調査が終了してから約40年が過ぎたが、この団地の中心に千代田遺跡群の一部である八木原貝塚（第5図⑤）が公園として保存されている。

その後、物井地区および内黒田地区（昭和60年～62年）の発掘調査により、主要な遺跡のほぼ全域が発掘調査されることとなり、四街道市北部における縄文時代の各時期ごとの様相についてかなり明瞭になってきた。これらの遺跡は、開発事業主体者における事業名称がそれぞれに異りはするが、四街道市北部域遺跡群（第4図）とも呼べる存在であり、印旛沼に注ぐ鹿島川と手繰川とに挟まれた広大な台地上に立地する遺跡群であると言える。

これらの発掘調査の成果として、物井地区においては、縄文時代の早期～前期にかけての小規模な集落が中心であり、大規模な拠点集落などの形成を見ることはない。小屋ノ内遺跡から早期撚糸文系の小型土偶（木の根系）4点の出土があるのが目立つ程度である。

縄文時代中期前半期は、千代田地区にはⅠ～Ⅱ地点を中心に小規模集落の存在が想定され、内黒田地区においても多少の存在が見られるも大規模化せずに小規模な居住地が点在している状況である。当遺跡においても同様の状況である。

中期前半期においては阿玉台式～加曾利E式期にかけては数点みられたものの、ほとんど存在がうかがえないという、いささか时期的な特異さがみられる。他地区の遺跡においてはこの時期に集落の大規模化がみられるが、物井地区では当遺跡も含め、点在する集落的な密度の薄さが目立つ、と言うべき時期である。

後期前半期においては、千代田Ⅳ区および内黒田地区の大割遺跡（称名寺式期住居跡1軒）に居住地が継続している様子がみて取れる。当遺跡においても堀之内式期よりいささか土器の出土数量の増加傾向がみて取れる。加曾利B式期に至ると、物井地区・内黒田地区ともに遺跡数が増加する。しかし単独の住居あるいは土坑などの検出を除けば、いわゆる拠点集落となり得る存在ではない。

晩期安行式系の土器を検出する遺跡は、当遺跡のほか、小屋ノ内遺跡、千代田遺跡Ⅴ区、内黒田地区池花遺跡などで地域的な広がりを確認することができる。

安行3a式期においては、千代田遺跡Ⅴ区において遺物量も多くみられるが、住居跡1軒のみで、それ以降の集落の展開は確認されていない。千代田遺跡群における晩期の存在は前浦式期までを主たるものとしていると思われる。安行式後半期に関しては周辺地域においてもその影は薄く、嶋越遺跡に多少の比重

をみるものと考えられる。この後の時期、荒海式期においては、物井地区御山遺跡に住居を伴う遺物の検出があり、晩期終末期においては、池花南遺跡から千網式期の土坑を検出するなど縄文時代終末期の生活痕跡を残している。

このように嶋越遺跡の周辺には縄文時代後期より晩期最終末期に至るまで各遺跡において少量の土器の出土がみられるものの、本遺跡においてのみ、土偶を初めとする、特殊土器などを中心とする痕跡を残しているという点が注視される場所である。特に主たる生活痕跡である住居跡は単独に近い状態でしか発見されておらず、またこれらは集落と称し得る存在でもない。この地域周辺を通過キャンプ地として考えた場合、嶋越遺跡においては加曾利B式期から安行2式期・3式期までをピークとし、規模を縮小しつつ、大洞A式期に至るまで、長期にわたりこの特定の斜面部へ土器のみならず、土偶をも投棄し続けるという事例は、周辺に存在すると想定しうる集落との関わりを想定しなければならない。しかしながら、周辺遺跡を併せてみても、縄文時代後期中半以降各時期においても、千代田遺跡群および内黒田遺跡群、物井遺跡群と移動しながら小規模なムラあるいはキャンプサイトの的に継続している以上の集落はみられない。遺構をとまわず、包含層を検出している他の周辺遺跡はそのほとんどが台地上からの出土であり、また総量としてはその規模はずっと小さい。

このように周辺において、近隣遺跡が発掘調査により、その全容をみられる状況下においてすら、当遺跡の主となる、縄文時代後期後半から晩期中葉にかけて、この狭い谷（傾斜地）に大量の土器の集積・投棄の総量をまかなえるであろう集落の存在をみる事が出来ない。この類似時期の大規模な集落としては、埼玉県桶川市所在「高井東」遺跡をあげることが出来るであろう。5000㎡という限られた調査面積から、縄文時代後期、加曾利B式期から晩期安行3式期にかけて、住居跡35軒、土坑150基以上という集落が存在していることが知られている。

このことから鑑みれば、わずかに加曾利B式期の竪穴住居跡が1軒ではあるが、確認されていることから、台地上に同様の集落の存在した可能性を捨てきれない。あるいは居住集落としてではなく、土偶等の特殊系遺物の数量を考えると、この地は、定期的に巡回してきて、何らかの祭事を行い、土器を投棄して行く場であったと考える必要もある。現在、遺跡周辺には旧来の集落が存在し、近世の開発における削平から免れている可能性のあるエリアも十分に残る。また弥生の項でも取り上げるが、相ノ谷遺跡には縄文時代晩期から弥生時代中期にかけて本遺跡と同時期の遺物が検出されることが知られている。

同じ谷筋であり、対岸に所在する遺跡群に居住集落の可能性を期待するものである。

2 土製品

土偶

縄文時代後期後半には、関東でも土偶が盛行する。本遺跡での出土は破片も含め130点で、その内126点を掲載した。分布は調査区北側斜面にやや集中があるものの、大半は遺物集中地点での出土である。

UR物井地区事業地内でみると、清水遺跡で2点（みみずく？）、小屋ノ内でみみずく土偶1点、内黒田遺跡では晩期末土偶（髭面を含む）2点が出土している。また北隣にある千代田遺跡Ⅳ区（八木原貝塚）では山形・みみづく土偶、土版状など、多数の土偶・土製品の出土がある。さらに北側の佐倉市吉見台遺跡（1）・同市井野長割遺跡（2）などでも多数の土偶を出土している。一方、遺跡南方の同市宮内井戸作遺跡（3）では遮光器のものを含む700点以上の土偶の出土があった。

当遺跡で特筆すべきは拳手土偶が1点出土していることである。第86図1は頭部が三角形をなし、左手を肘から挙げ、右手を横に添える珍しい例である。手を組む土偶は福島県飯坂町上岡遺跡の著名な例のように、蹲踞土偶にみられる(4)。1の例は下半身が欠けているので蹲踞するか否かは断定できないが、事例から見て可能性が高いと思われる。顔輪郭はハート形であるが、他は山形土偶のものをなぞっており、中間的である。背面の文様は曾谷式期から安行1式期土器と共通であり、その時期のものともみたい。県内の蹲踞土偶の事例は匝瑳市中台貝塚にある加曾利B式期に伴うと思われるものがあり(5)、それに次ぐ例であろう。

また第90図41は頭部が平坦ないわゆる変容土偶である。佐倉市吉見台遺跡に類例がある(6)。

スタンプ形土製品

縄文時代後期中葉を主に、東北地方中心に分布がみられる。近隣では佐倉市吉見台遺跡で6例(印面が長方形1、方形1、楕円形2、円形2)(7)、井野長割遺跡で1例ある(8)。他に県内では酒々井町墨古沢遺跡で円形のもの4例(9)、匝瑳市(旧横芝町)中台貝塚で楕円形のもの1点(10)、市川市曾谷貝塚等で例がある程度で、出土点数は多くない。柄の部分に孔があり、呪いの意味を持った垂飾あるいは垂らして用いたものと考えられている(11)。楕円形で鋸歯状などの沈線文を持つもの、円形で渦巻文や同心円文を持つもの、異形のものなどがある。細沈線文様は、渦巻文・弧状文など、晩期の土版に共通するものがあるが、系統的には別で、東北地方の後期中葉土器の流れか、あるいは独自に発展した文様であろう(12)。土版には吊り下げ使用が想定される有孔のものがあり、晩期にはスタンプ形土製品から土版に用途が取って替わられているのであろうか。なお当遺跡から出土した土版は6点で、安行3a・3b式期か晩期のもので、孔の有無は不明であった。

3 石器

石器は総数523点、石製品21点であった。加えて遺物収納箱(長さ54cm×幅33cm×深さ15cm)で10箱の礫が出土した。石器類の出土量は土器と比べると非常に少ないが、集落跡の場所と遺物投棄の場所とは遺跡の性格が異なるので、土器と石器の比率が異なって当然だろう。また近隣に石材の供給源がないことも出土量に反映していると思われる。分布は土器同様、遺物集中区に密度が濃くなっている。石器の所属する時期は土器から見て、早・前期、後・晩期と幅広いものが含まれている。

石鏃は総数39点出土のうち、図示したものは破片を除いた35点である。晩期に象徴的なアメリカ式石鏃の出土が時期的な特徴であろう。石鏃以外の剥片石器類は総数39点のうち、31点を掲載した。磨製石斧は総点数26点のうち、17点を掲載した。完形品は少ない。軟玉製の小形品(第106図1)が出土しているのが特徴的である。打製石斧は総点数39点のうち、破片を除く19点掲載した。刃部や抉部に摩耗が見られるものが多い。おそらく、使用方(皮なめし等)に関係ありそうである。

磨石類は破片を含めると222点あり、そのうち50点を掲載した。扁平・球状や棒状のもの、楕円形・円形のもの、表面に磨痕・凹み、側縁すり等の使用痕が組み合わされたりで分類が難しい。また転用や、破損したものの再利用も目立つ。石皿転用のものは石皿の項で掲載した。

石冠の把手部と思われるものが1点出土している。いわゆる北海道式石冠の頭部に共通するもので、磨石の1種であろう。時期は前・中期のものとしてされている。敲石は、磨石のように広い面をすり使用、擦るのではなく、細長いもの、薄い扁平のもの端部や縁を部分的に叩いて使用している。総点数56点のうち、

破片等を除く 21 点を掲載した。特徴的なものとして、スタンプ形石器と言われる一端を割って縁や面に弱い使用痕のあるものが数例みられた。早期（特に撚糸文期）のものであろう。

砥石は総点数 91 点のうち、36 点を掲載した。石質は砂岩が主である。小形で断面菱形のものが 17 点と多い。SX・SK 出土の軟質砂岩製で厚手のものは、砥面が広く平坦なこと、後世の遺構から出土していることからみて、縄文時代のものではないかもしれない。石皿は総点数 53 点のうち、28 点を図示した。完形品の出土はない。またうち 4 点は破片を磨石に転用されている。石質は安山岩が支配的で、多孔質のものが目立つ。軽石製品を出土した 48 点のうち、4 点を掲載した。全体的に残りが悪く、図示できるものが少なかった。遺物集中区の他、1 トレンチでの出土が多かった。

石棒は片岩系の石が主であり、総数 30 点のうち、10 点の掲載である。扁平のものは（第 118 図 6・10・11）石剣とした方がよかろう。独鈷石が 1 点出土している（第 118 図 1）。扁平な片岩の加工品が 6 点ある（第 119 図 16～21）。特殊な用途のものの可能性もあるのでこのように分類した。他に特殊石製品として翡翠の玉が 2 点、石錘が 2 点出土している。これらの遺物の出土は遺跡の持つ、性格の一面を表していると思われる。

第 2 節 弥生時代

嶋越遺跡では、弥生時代の竪穴住居跡 1 軒のみが斜面部から検出された。近世以降の物井集落の造成工事に伴う大規模な削平が台地平坦面全面に行われた結果、遺構が確認されたのは、削平を免れた斜面部のみに限られた結果であり、本来は竪穴住居跡をはじめとした弥生時代の遺構が少なからず存在していたものと思われる。

弥生時代の竪穴住居跡から出土した土器は、破片がほとんどで、時期的な特徴を捉えることは困難であるが、唯一器形がうかがえる小型の甕は、口唇部に刻みを有し、胴部にハケ状の痕跡が見える。また、壺は胴部の膨らみが少なく、斜縄文が主体となることから、弥生時代中期後半、宮ノ台式期の新しい時期の所産と考えられる。

一方、遺構外から出土した弥生土器は、中期中葉から後期までの土器がみられる。最も古い時期と思われるものは、長頸壺の頸部破片である（第 121 図 12）。頸部のみで全体は不明であるが、縄文を地文とし、横位の太沈線と長方形の区画がみられることから、出流原式期の土器と考えられる。第 121 図 1・2 も小片であるが、沈線間に刺突が充填される文様構成となることから、出流原式期の新段階あるいは池上式期の古段階に相当する可能性がある。第 121 図 5～9 は、折り返し口縁や附加状縄文が施されていることから、下総地域特有の後期後半の土器と思われる。

遺構外出土の弥生土器の中で注目されるのが、全形をうかがえる 2 点の壺である（第 121 図 10・11）。10 は、胴部上半に沈線で区画した結紐文が重帯化して施され、円形浮文が貼り付けられるのが大きな特徴である。ほぼ無文となる 13 の長胴化した小型壺とともに、弥生時代中期後半の宮ノ台式期新段階に含まれるものと思われる。この 2 点の壺は、隣り合ったグリッドから出土しており、本来は何らかの遺構に伴っていた可能性が高い。

このことを考える上で参考となるのが、四街道市山梨に所在する相ノ谷遺跡（13）と、嶋越遺跡と同様、物井地区に所在する馬場 No. 1 遺跡（14）である。相ノ谷遺跡の調査はきわめて小範囲であるが、7 軒の竪穴住居跡のうち、5 軒が弥生時代中期後半の宮ノ台式期に属する。特に相ノ谷 1 号住居跡では、当該期の

良好なセットが出土している。頸部の隆帯と胴部上半に結紐文による文様構成は本遺跡の弥生土器（第121図10）と類似する。一方、嶋越遺跡の北400mほどに所在する馬場No.1遺跡からは、埋葬施設を伴う方形周溝墓が9基まとまって調査されている。出土遺物がほとんどないため、明確な時期比定は困難であるが、周溝の四隅が切れる形状と、頸部に斜縄文を施す細身の壺の出土から、嶋越遺跡とほぼ同時期の宮ノ台式期に相当する方形周溝墓群と想定される。馬場No.1遺跡の調査範囲の中では、弥生時代の集落が検出されておらず、9基まとまった方形周溝墓群は、当該期の墓域としてとらえることができる。

嶋越遺跡、検出された弥生時代の竪穴住居跡は1軒のみである。遺構外から出土した弥生式土器も少ないが、中期出流原式期や中期後葉の宮ノ台式期、後期後半の東関東形土器と多時期にわたっている。中でも弥生時代中期の土器は注目される。出流原式期の土器は、一般的に再葬墓に使用されることが多く、嶋越遺跡に再葬墓が存在していた可能性も否定できない。物井地区の小屋ノ内遺跡では、時期が新しくなるが、弥生時代後期前葉の土器を利用した再葬墓が検出されている。また、宮ノ台式期の土器は、参考とした相ノ谷遺跡と馬場No.1遺跡の様相から、竪穴住居跡あるいは方形周溝墓の存在を想定させるものである。

- (1) 林田利之 1999 『千葉県佐倉市吉見台遺跡 A 地点－縄文時代後・晩期を主体とする集落跡と貝塚の調査（本文編）』財団法人印旛郡市文化財センター
- (2) 飯島伸一 2002 『千葉県四街道市郷野遺跡－四街道市成台中土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書（1）－』財団法人印旛郡市文化財センター
山岸良二ほか 1983 『佐倉市吉見台遺跡発掘調査 概要Ⅱ』
- (3) 戸谷敦司ほか 2004 『千葉県佐倉市井野長割遺跡（第4次調査）』財団法人印旛郡市文化財センター
小倉和重 2009 『千葉県佐倉市宮内井戸作遺跡－ちばりサーチパーク開発事業予定地内埋蔵文化財調査（8）－（縄文時代遺物図版編）』財団法人印旛郡市文化財センター
堀越正行 2014 『佐倉市史 考古編（本編）第2章 縄文時代』佐倉市史編さん委員会
安井健一 2010 千葉県2008年度～2009年12月土偶情報 栃木県地域文化芸術振興プラン推進事業 シンポジウム『土偶研究の現状と課題－関東・東北の事例を中心に－』資料集 栃木県立博物館
- (4) 小野美代子・江坂輝弥 1984 『土偶の知識』考古学シリーズ18 東京美術
- (5) 宮重行ほか 1987 『主要地方道成田松尾線V 中台貝塚 松尾東雲遺跡 八田太田台遺跡』財団法人千葉県文化財センター
- (6) 林田利之 2012 変容する土偶－吉見台遺跡の事例－ 大久保忠和考古学振興資金2008年度奨励研究B-2 研究成果I「千葉の土偶 研究集会資料集」千葉縄文研究会
- (7) (1) 文献
- (8) (2) 文献
- (9) 横山仁ほか 2007 『東関東自動車道水戸線酒々井PA埋蔵文化財調査報告書 酒々井町墨古沢遺跡 旧石器・縄文時代編4』千葉県教育振興財団
- (10) (5) 文献
- (11) 岡村道雄 2009 「縄文人の祈りの道具－その形と文様－」日本の美術 第515号（株至文堂）
「祭壇に吊り下げたり、置いて供えたものであろう」との指摘がある。確かに穴の部分には携帯してできる擦れ痕はない。単なるネックレスのような垂飾ではなさそうだ。
栃木県立博物館 1988 第23回企画展『祈りの原像－縄文時代のまつりと道具－』
宮宏明 1988 「スタンプ状土製品に関する若干の問題」『北海道考古学』第24輯 名取武光先生追悼特集 北海道考古学会
堀越正行 2014 「第2章 縄文時代」『佐倉市史 考古編（本編）』佐倉市史編さん委員会
スタンプ形土製品・「東日本の太平洋岸に分布し千葉県は南限の一角にあたり」、「北海道では中期後葉から後期後葉まで存続」、曾谷貝塚例貝層上後期中葉初頭にあたるとしている。
- (12) 円形品の同心円文様は、堀之内式期の把手部に同様のものがある。
- (13) 田川 良ほか 1982 「相ノ谷遺跡 第2節2」『北総線』東京電力北総線遺跡調査会
- (14) 松田富美子 2007 『馬場No.1遺跡－物井の里宅地造成地内埋蔵文化財調査－』財団法人印旛郡市文化財センター

写 真 图 版



嶋越遺跡



南側調査区近景



310 遺物集中区
作業風景



遺物集中区付近土層



下層確認調査区
北西壁土層

調査区近景, 調査状況



調査状況, 出土石器



調査状況, SI-026



SI-004 遺物出土状況
南西から



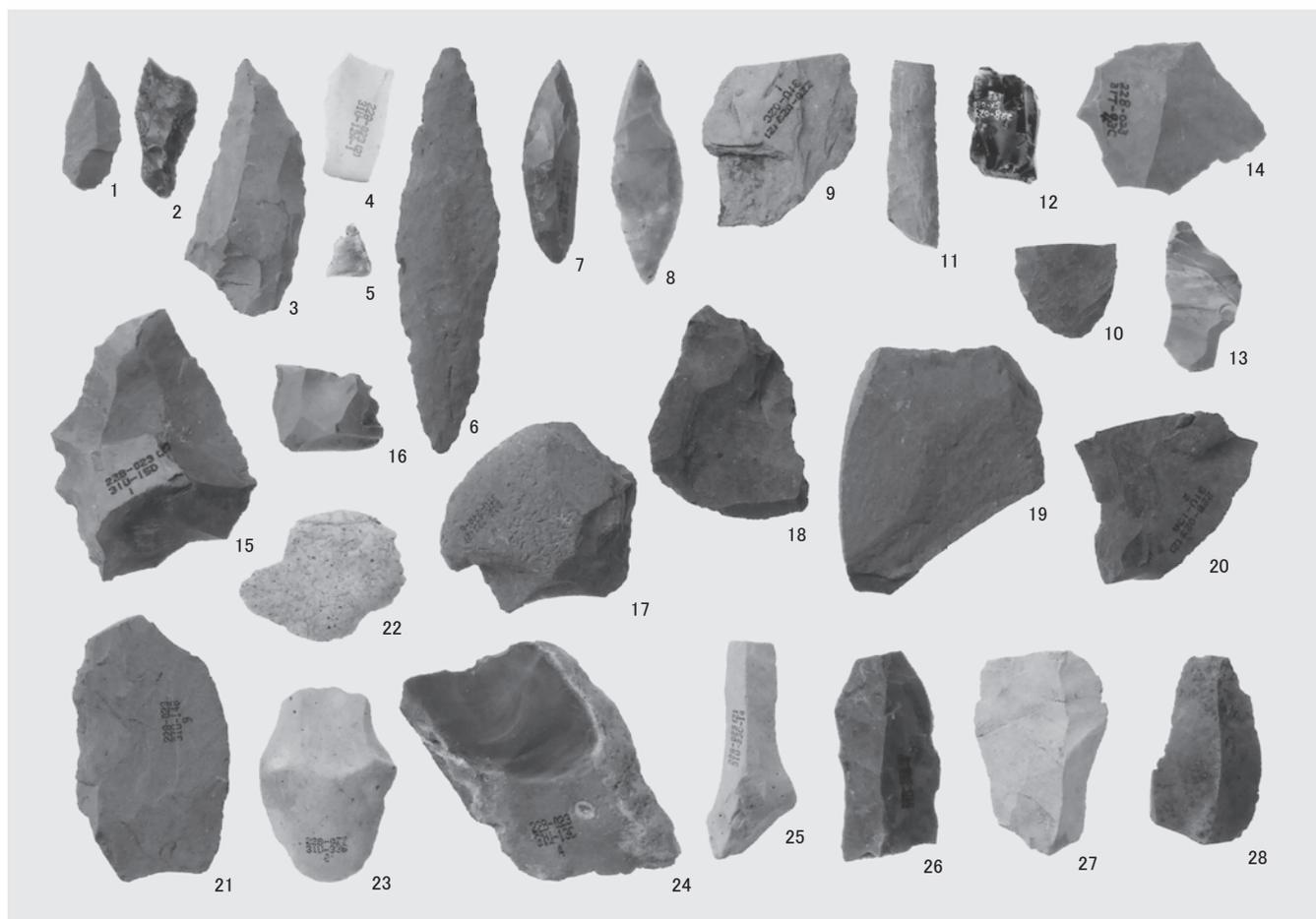
SI-004 炉
北東から



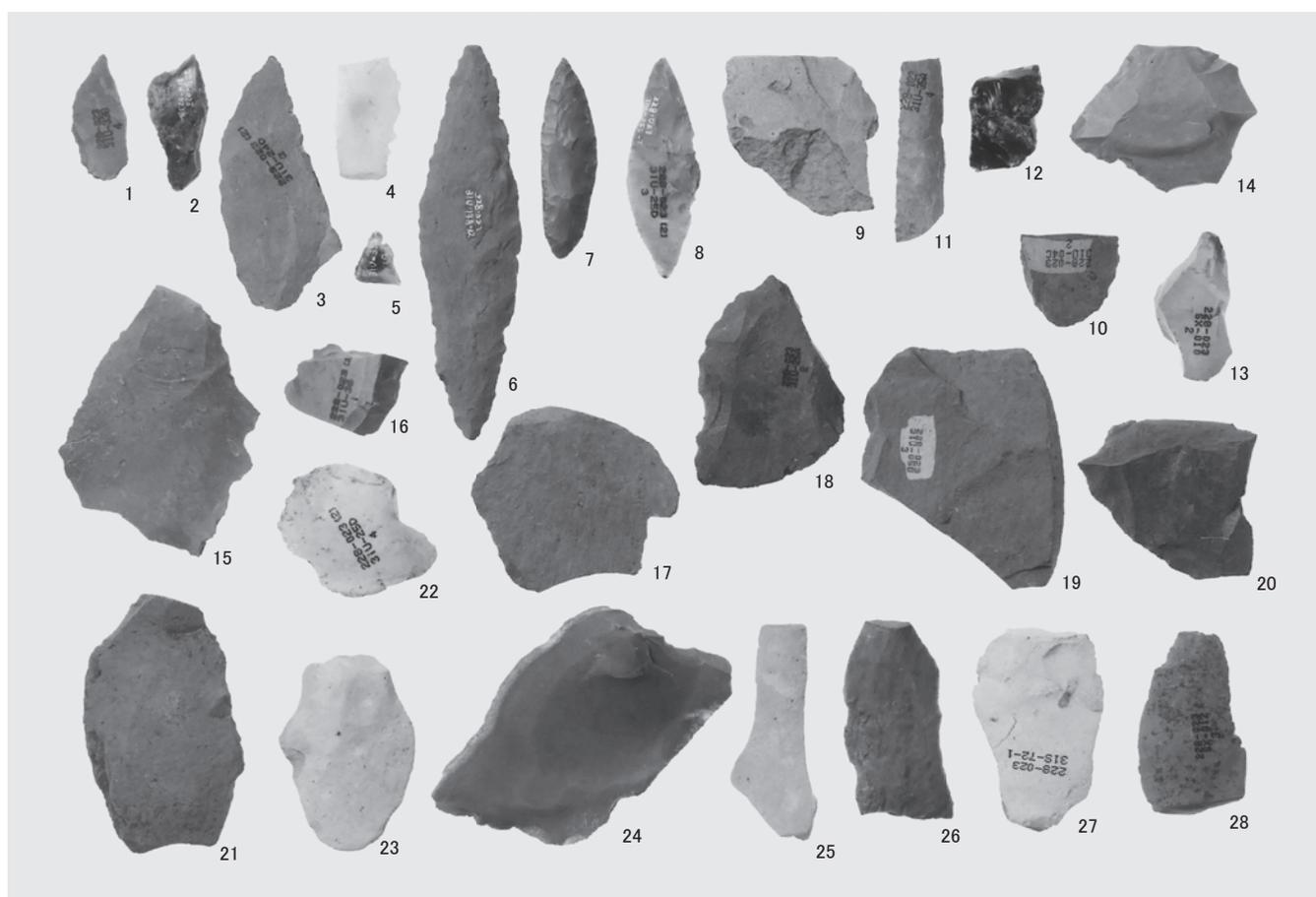
SI-004 北から



SI-005 南から



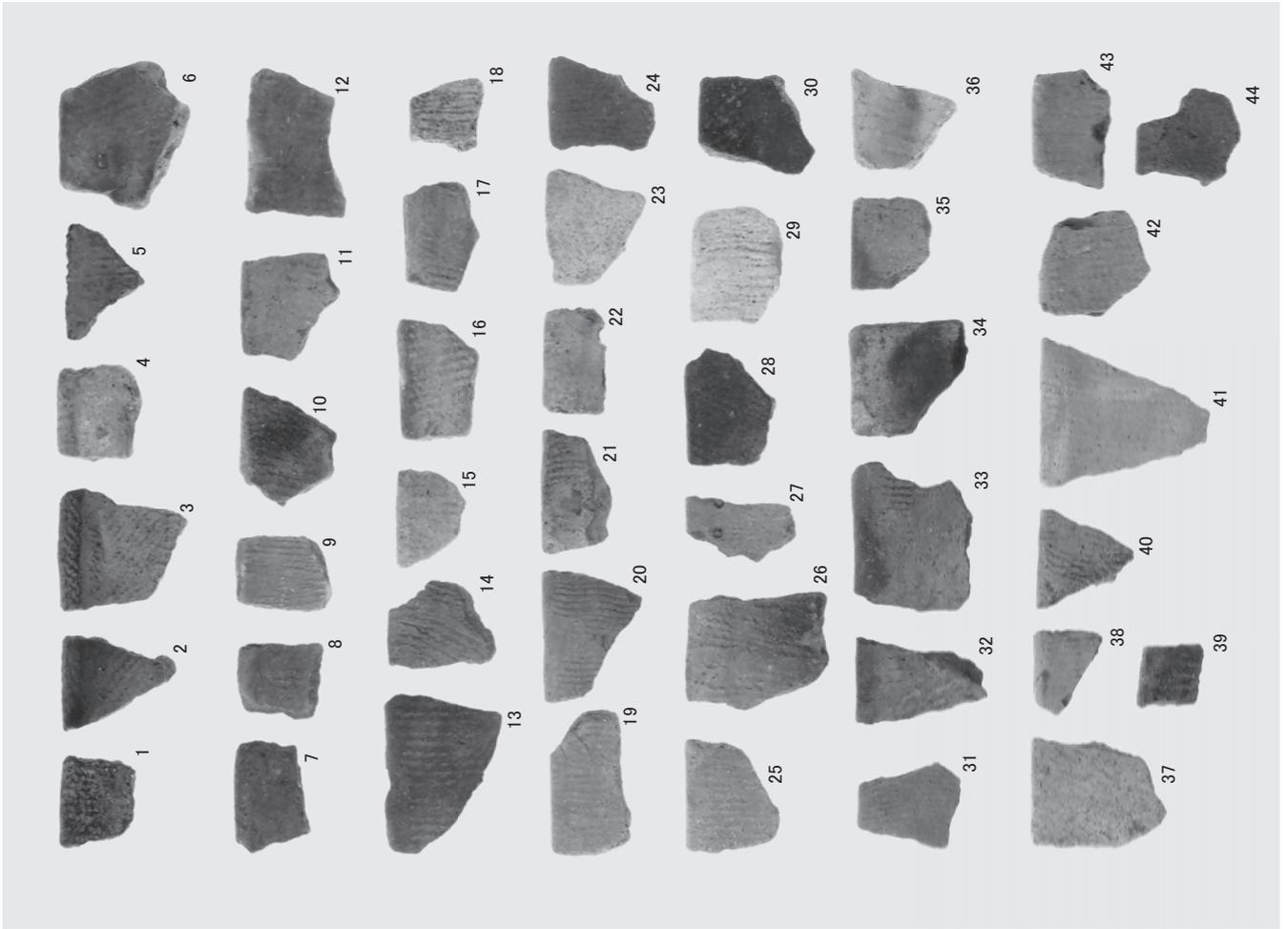
旧石器时代石器 (表)



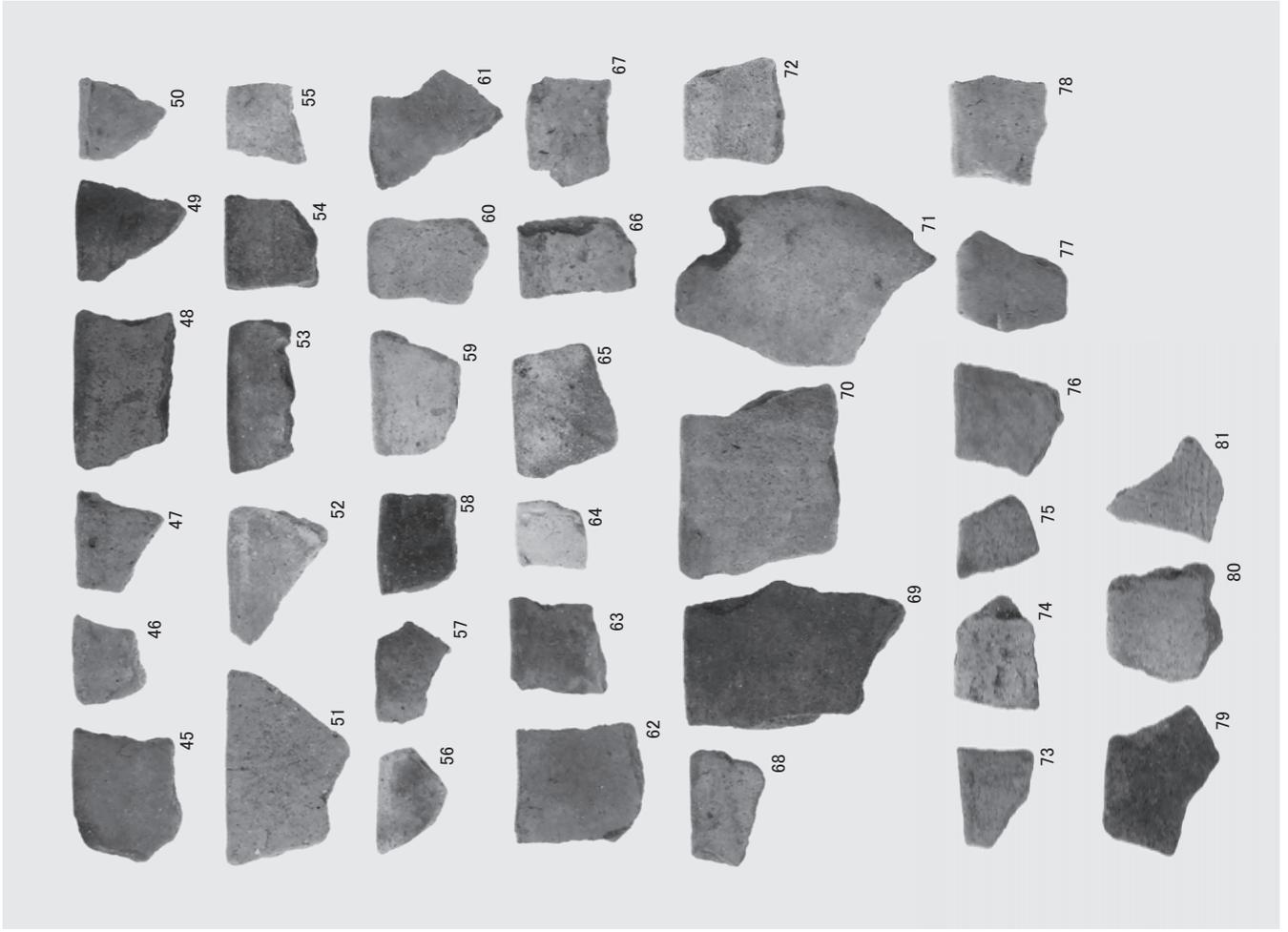
旧石器时代石器 (裏)



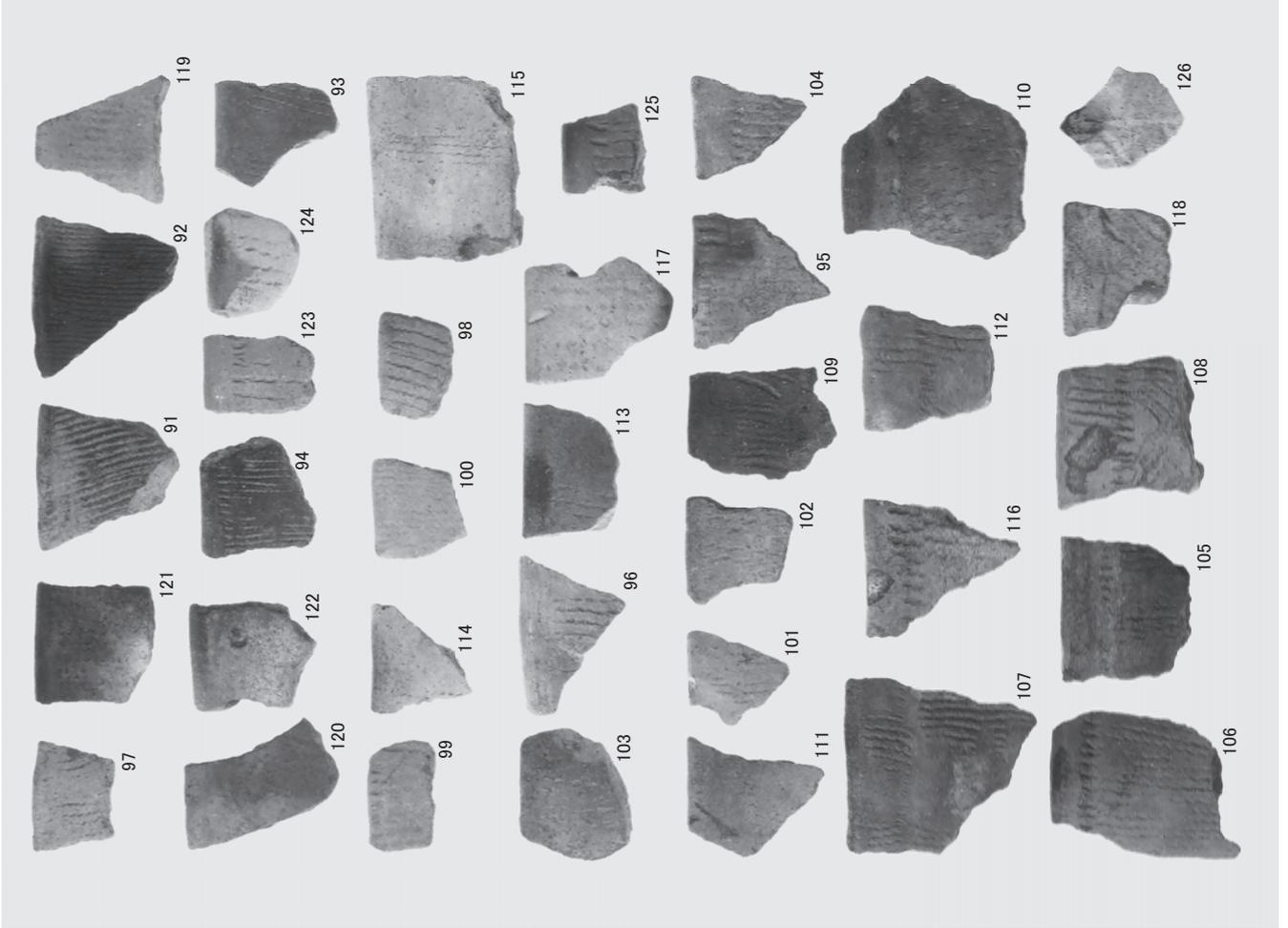
SI-026 出土遺物



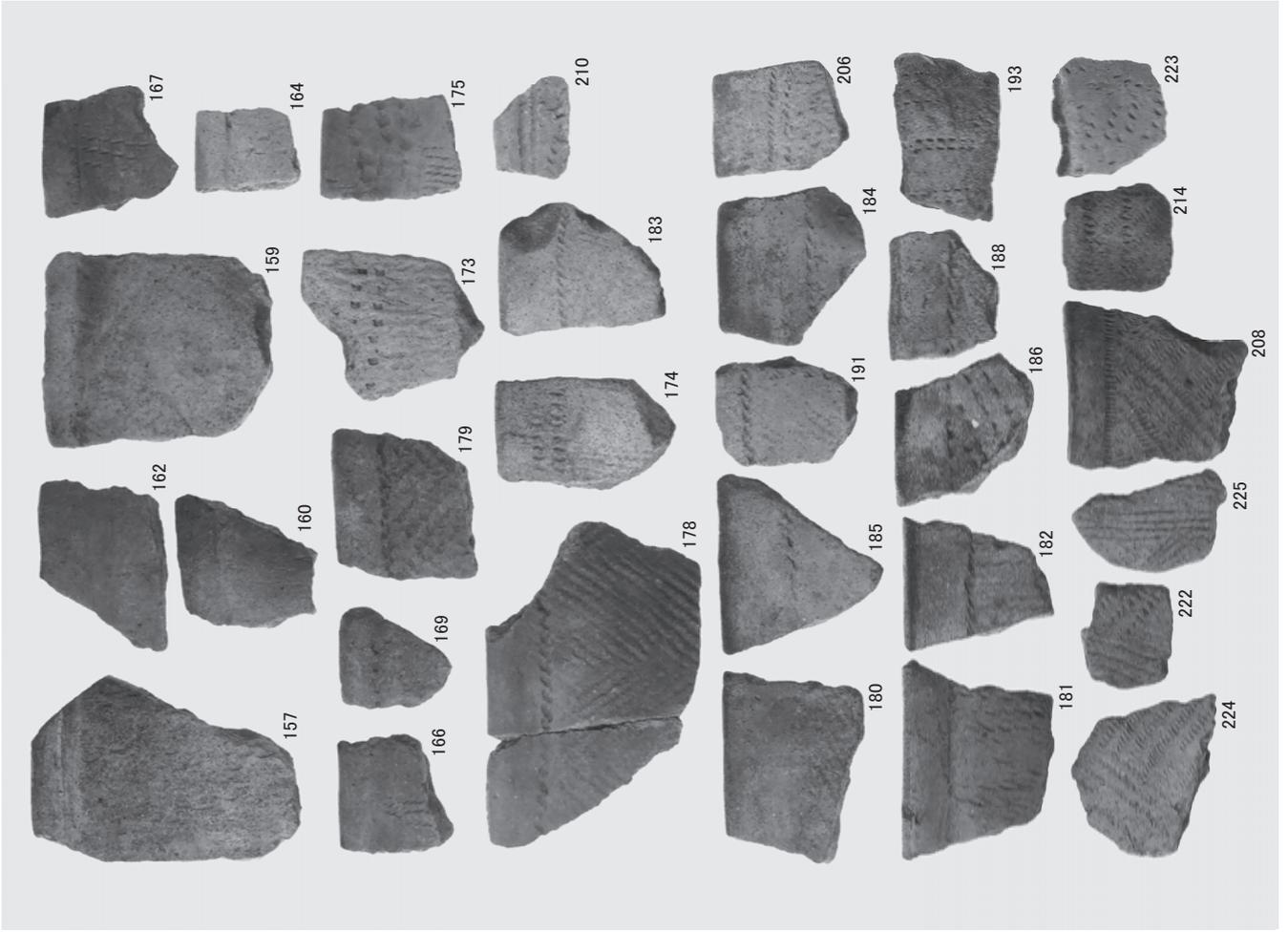
縄文土器 (1)



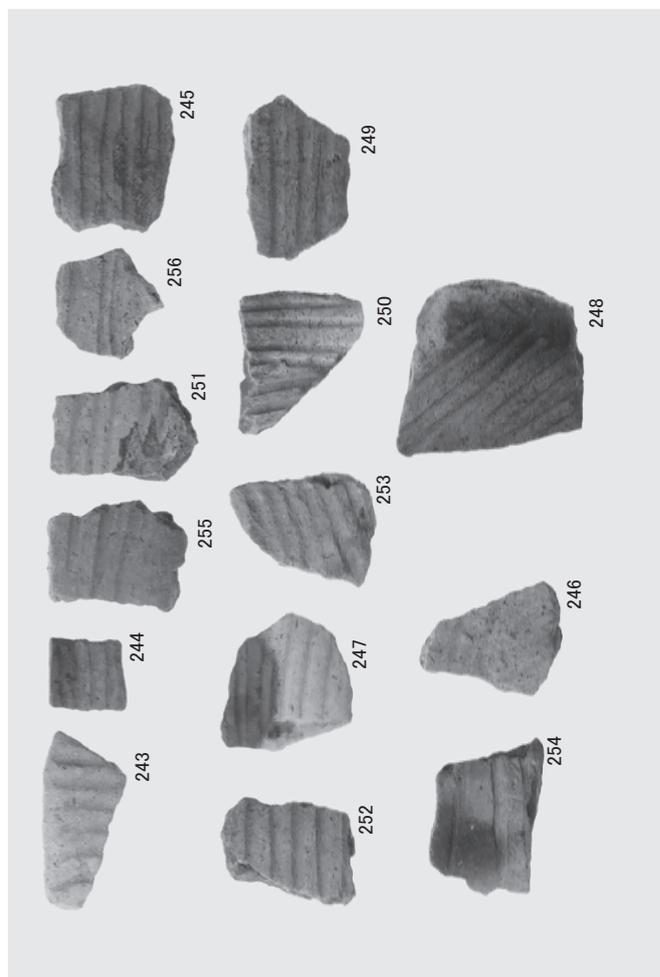
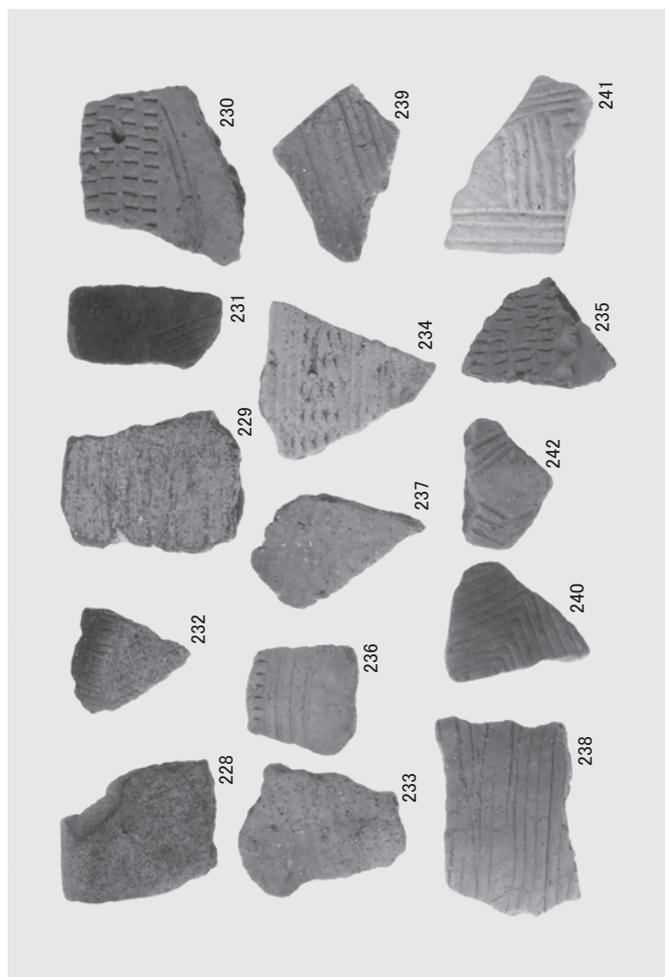
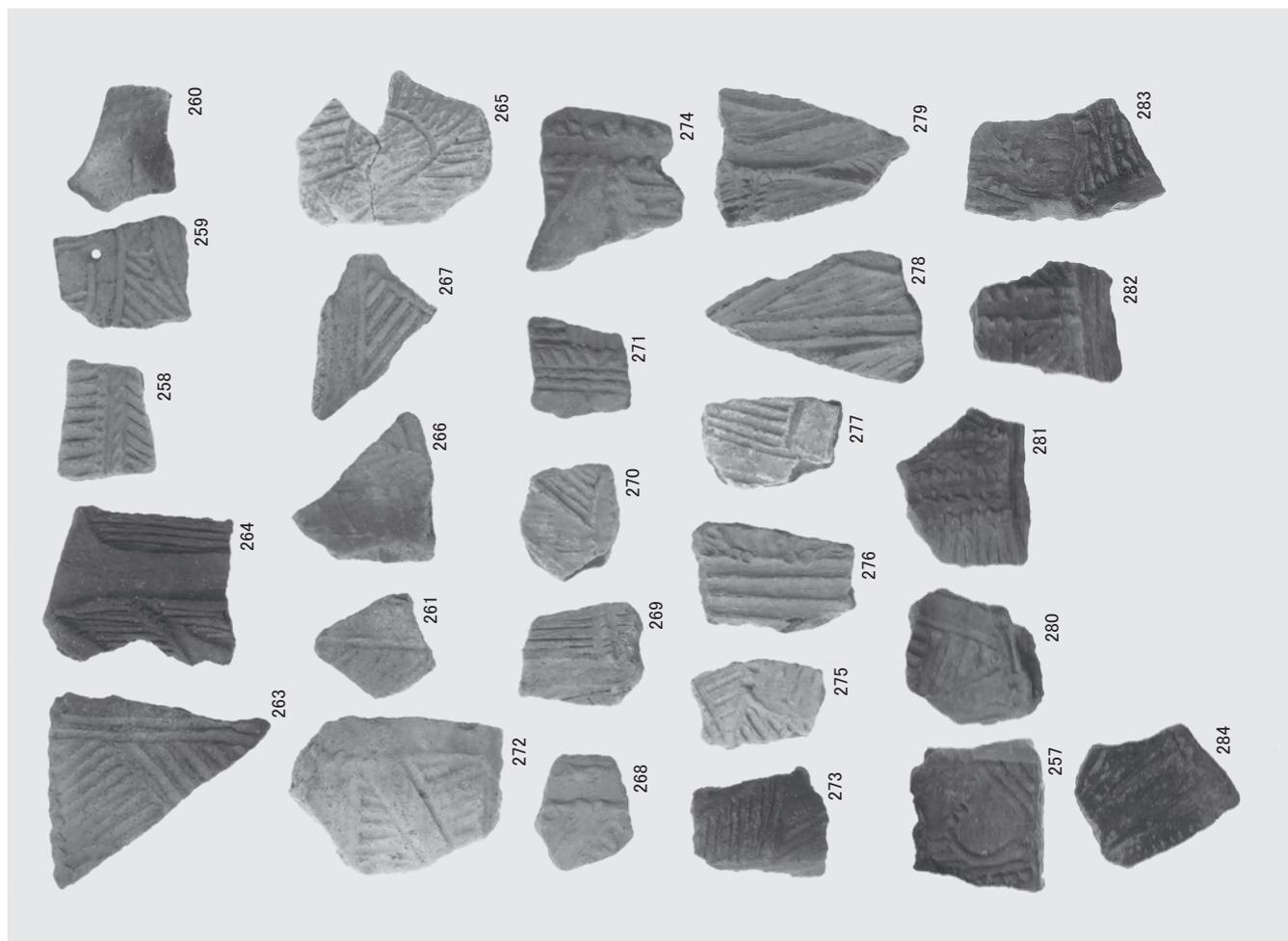
縄文土器 (2)



縄文土器 (3)

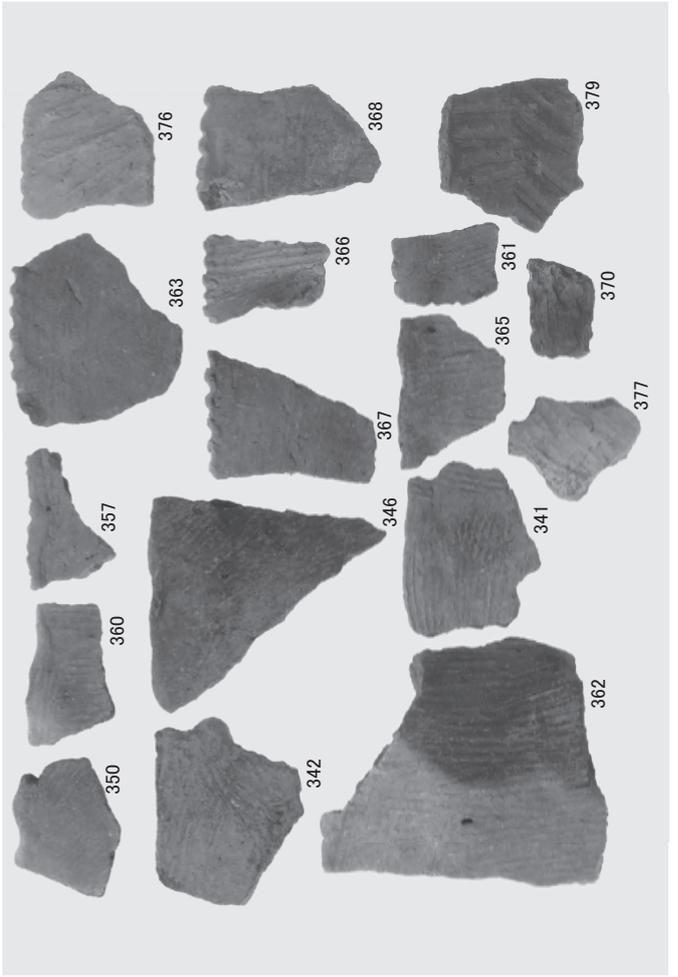
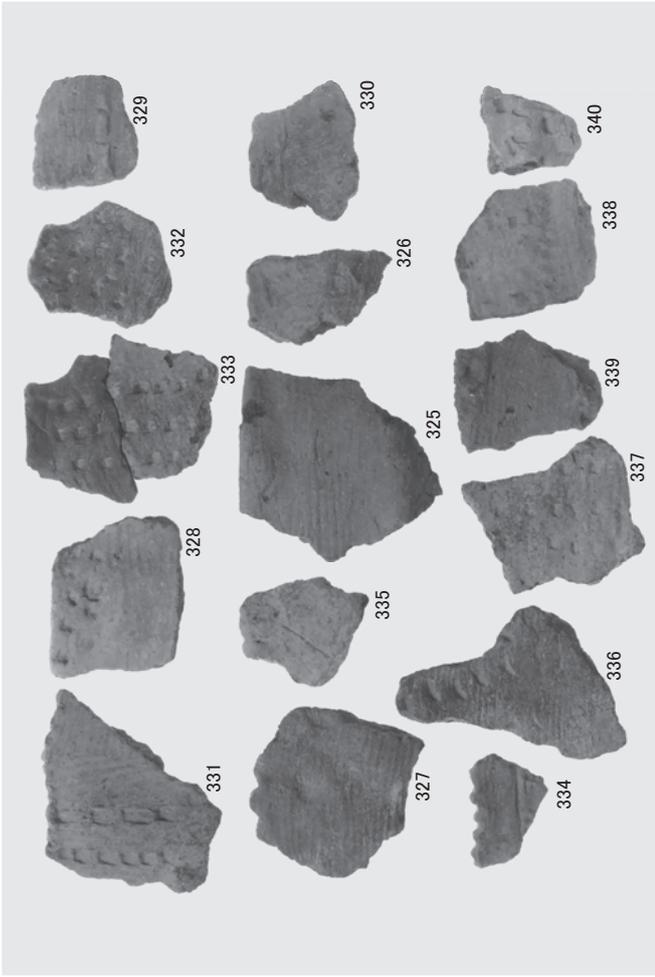


縄文土器 (4)

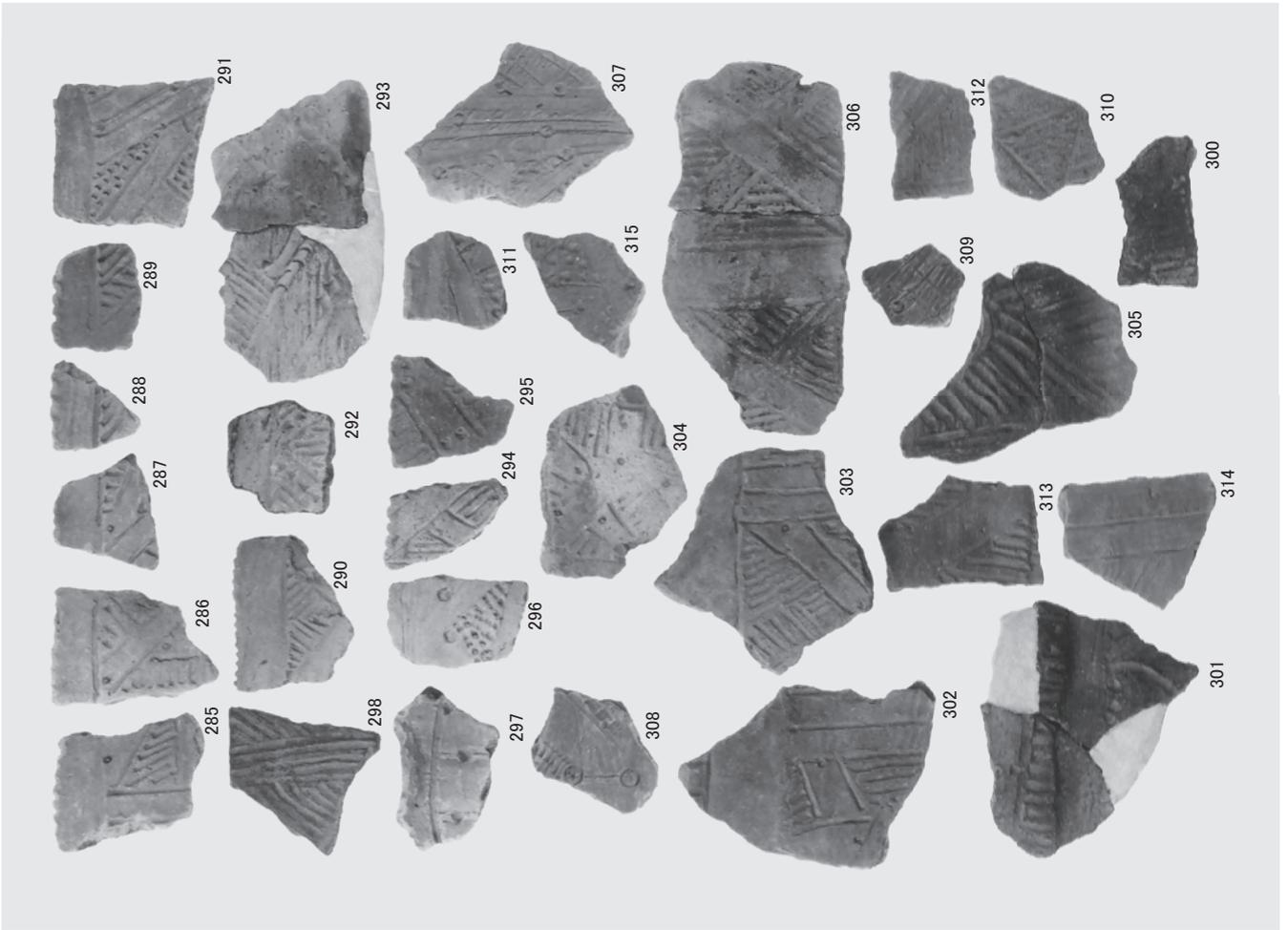


縄文土器 (6)

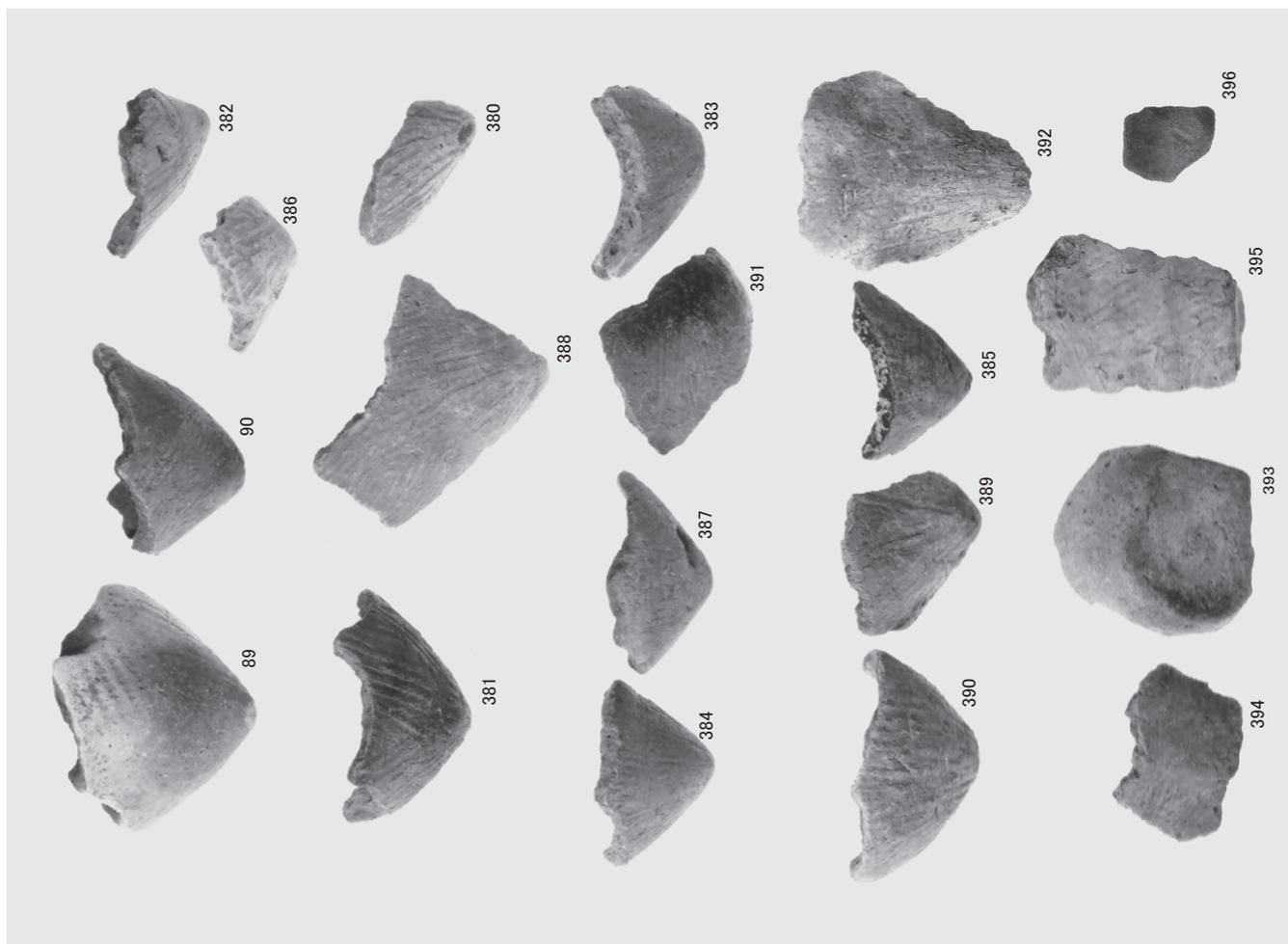
縄文土器 (5)



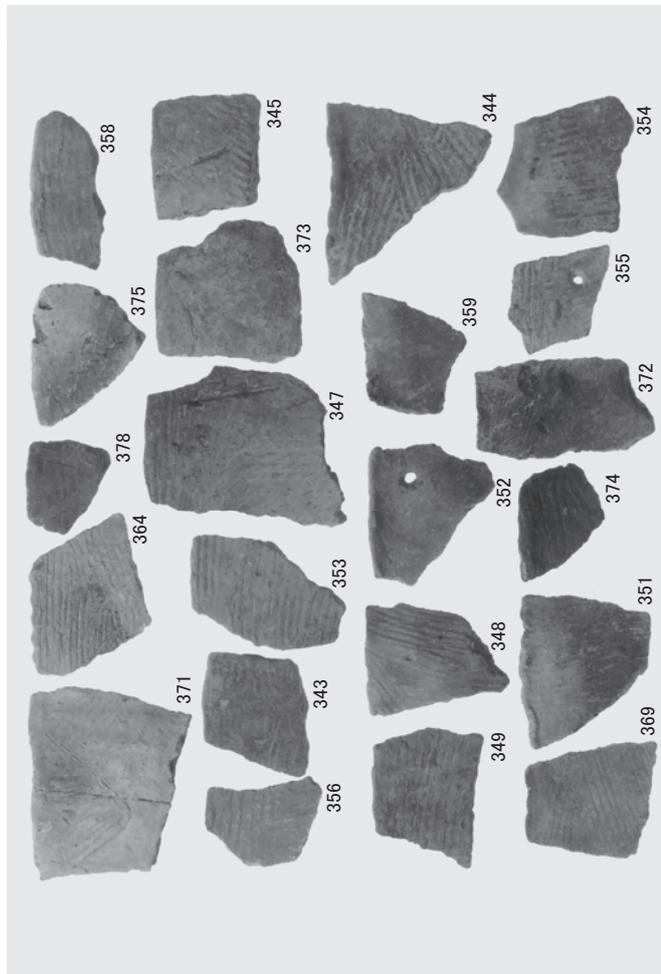
縄文土器 (8)



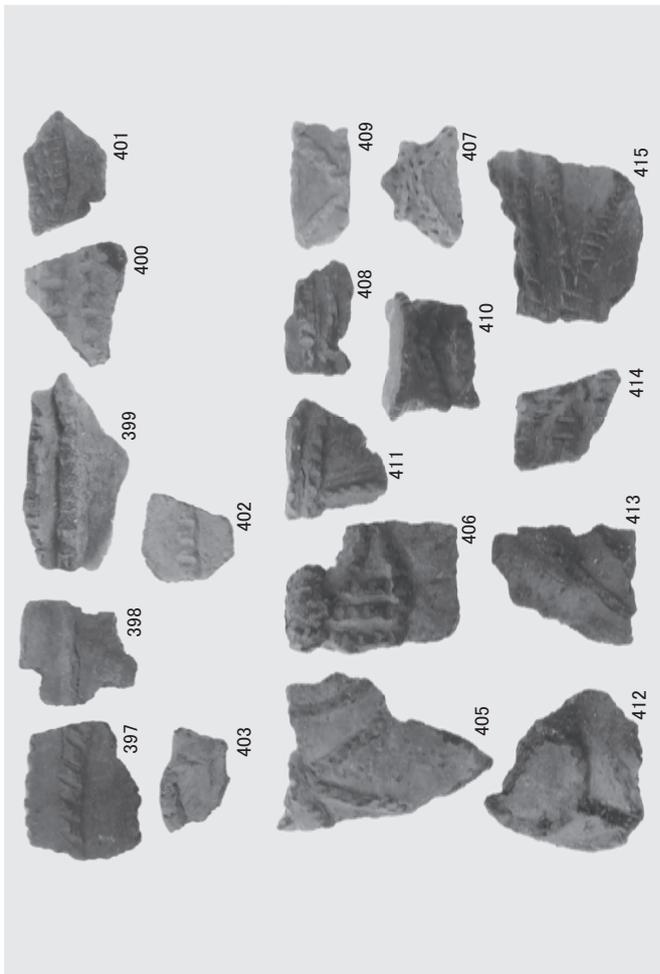
縄文土器 (7)

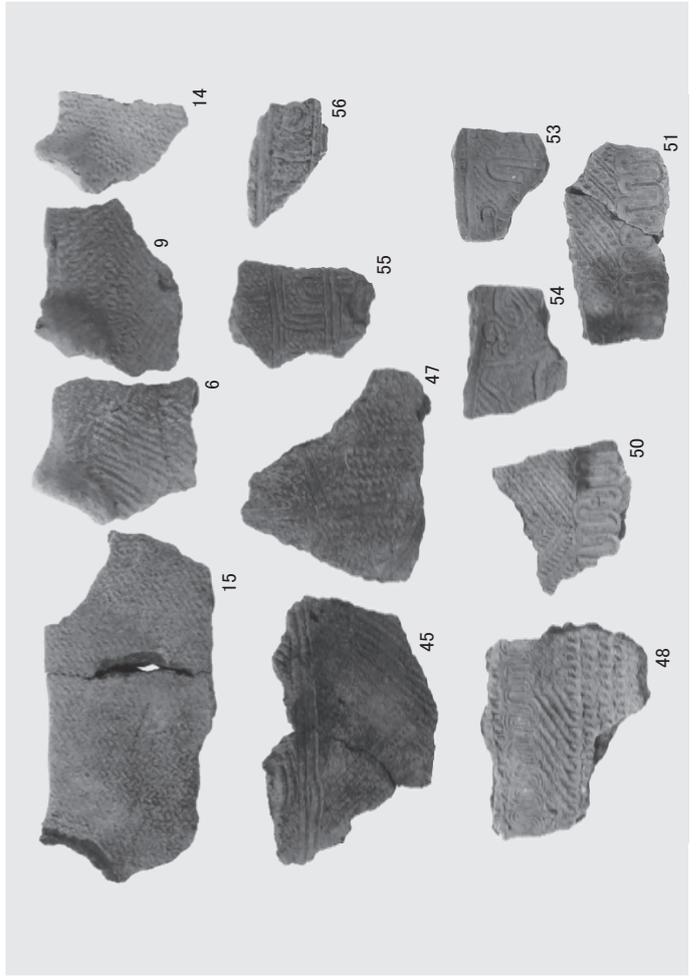
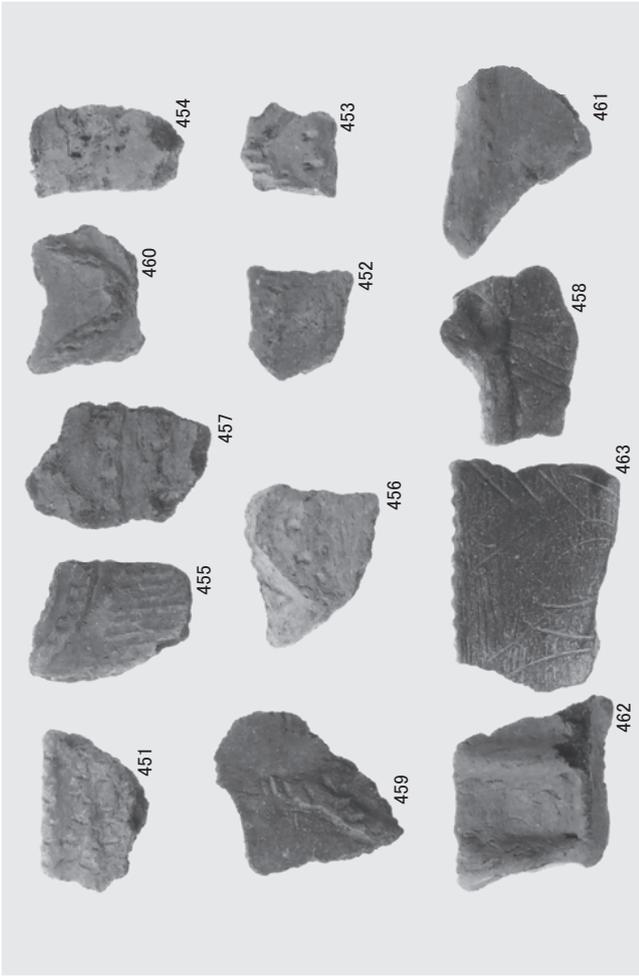


縄文土器 (10)

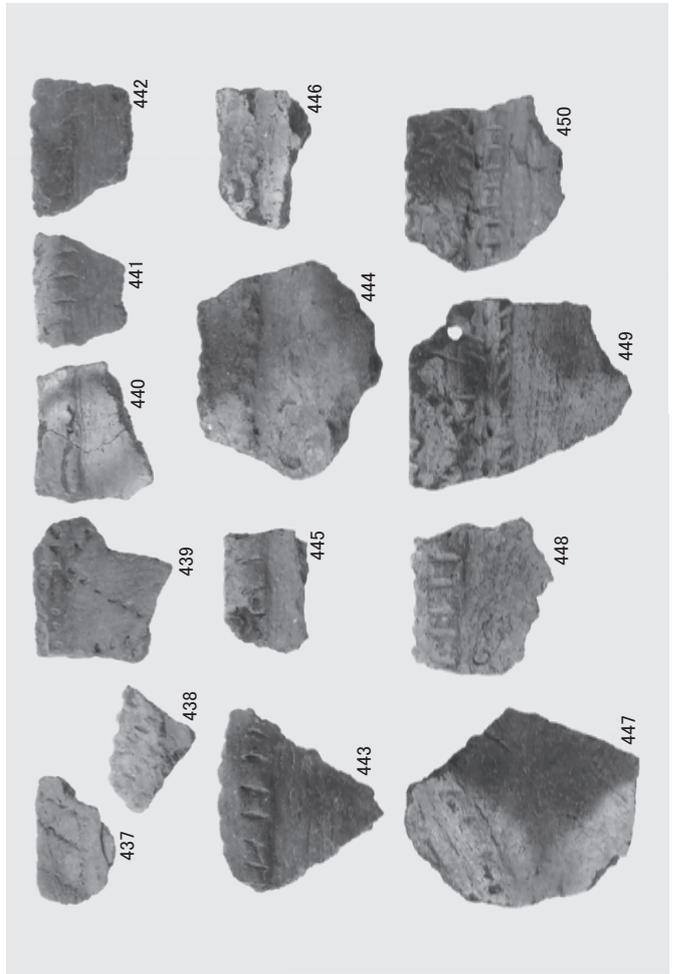
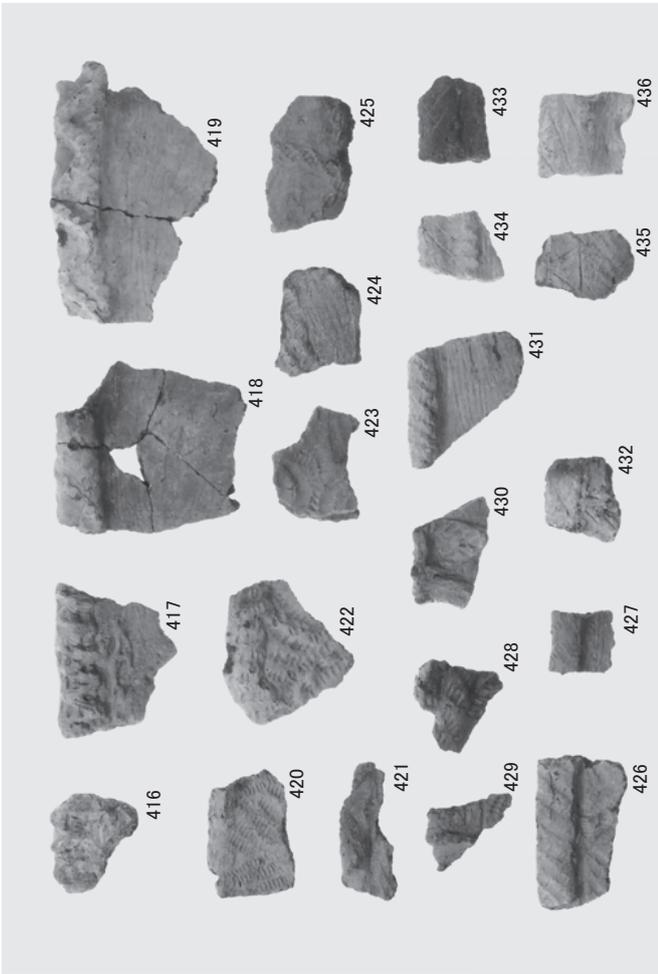


縄文土器 (9)

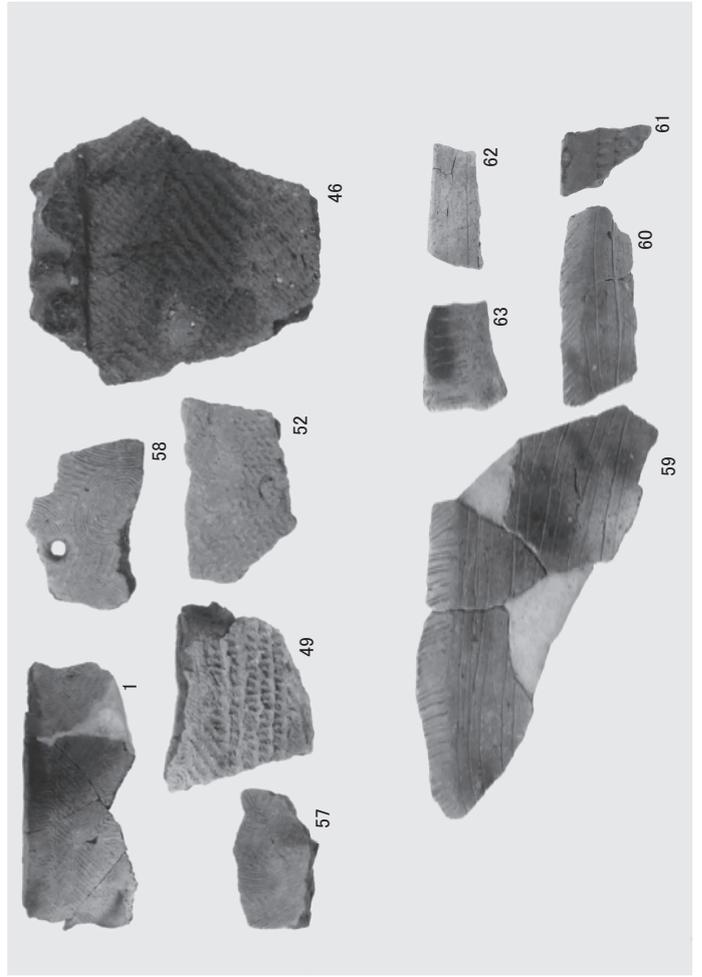
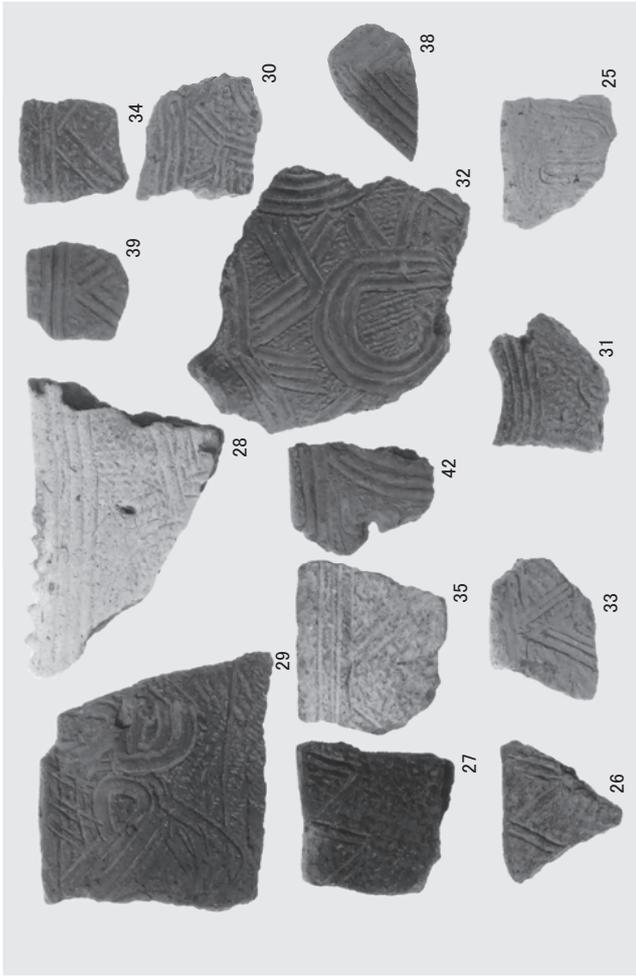




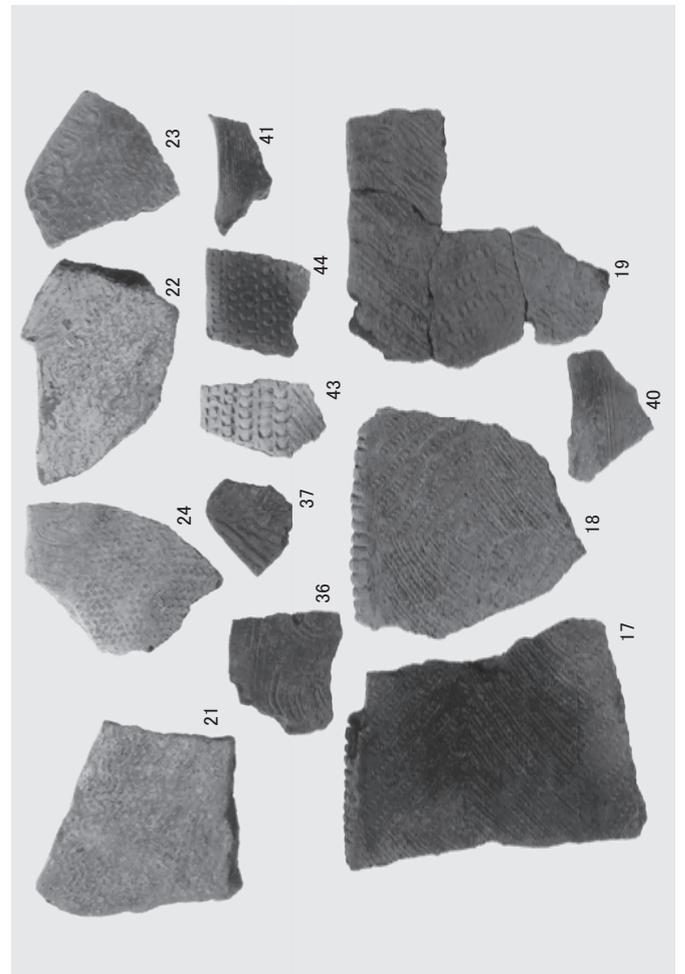
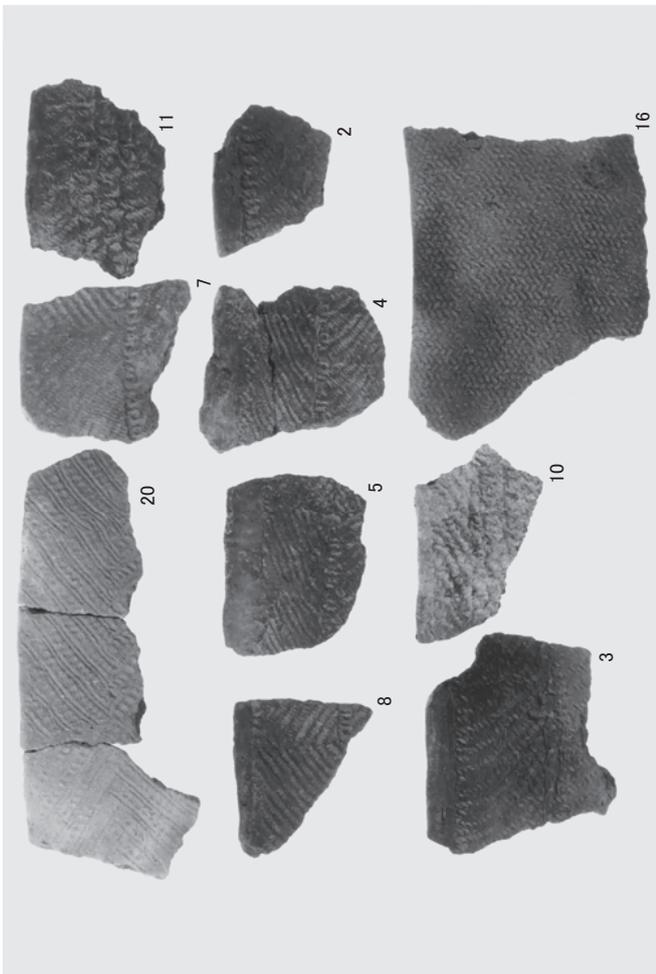
縄文土器 (12)



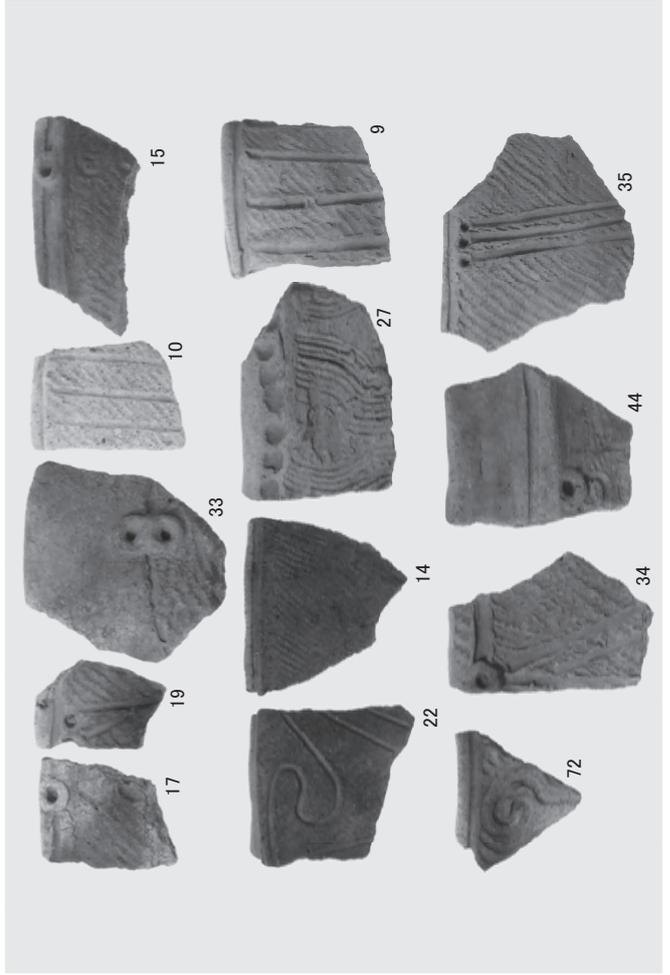
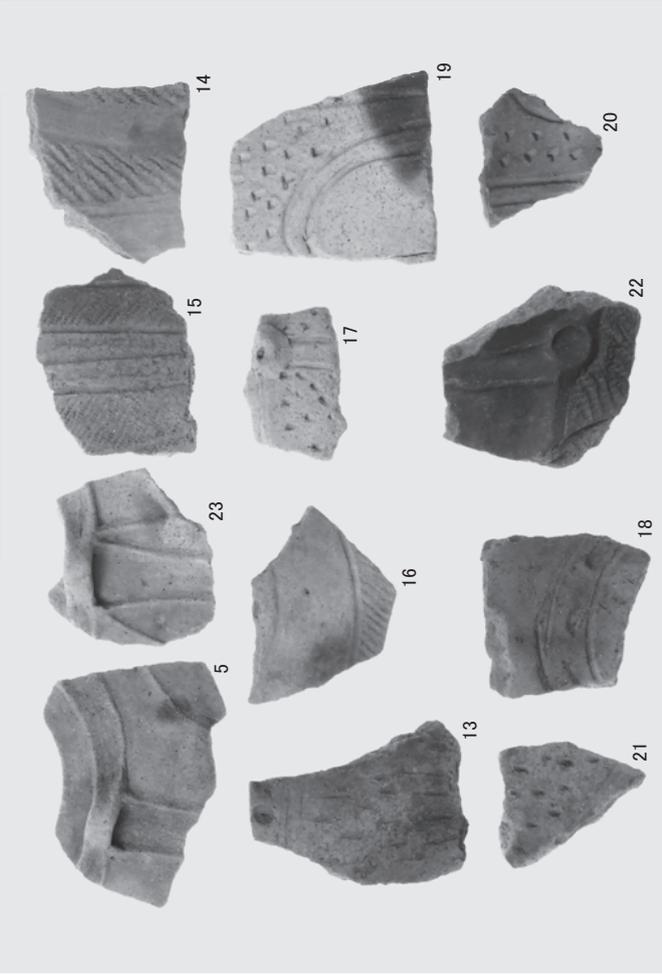
縄文土器 (11)



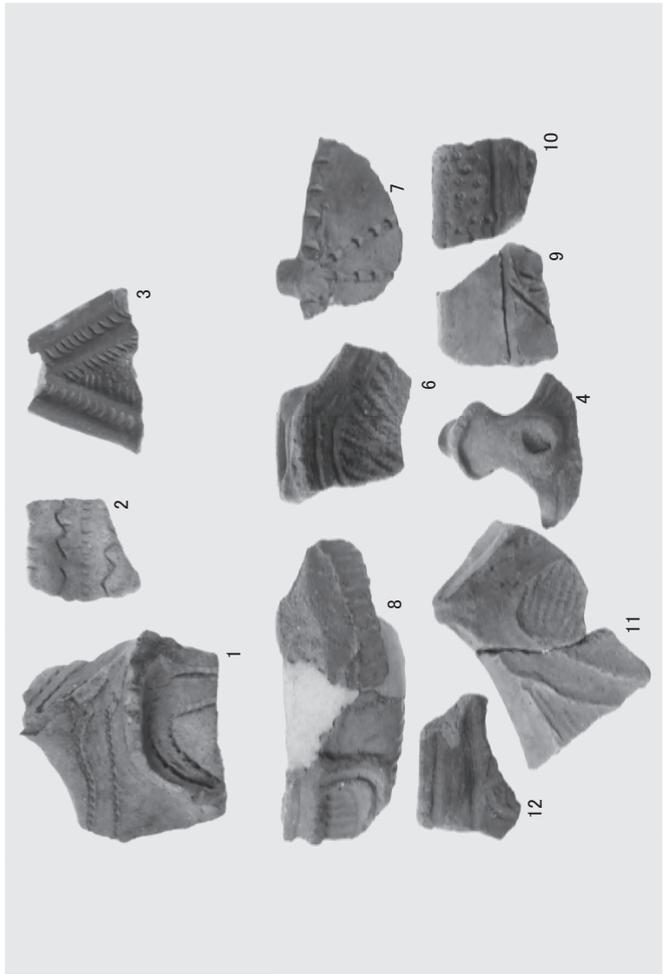
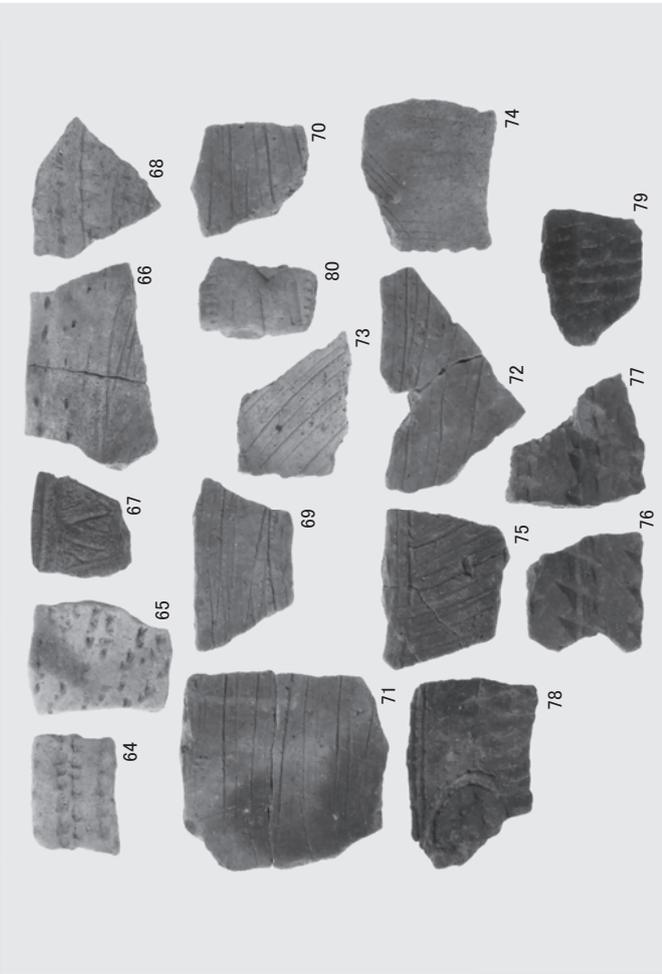
繩文土器 (14)



繩文土器 (13)



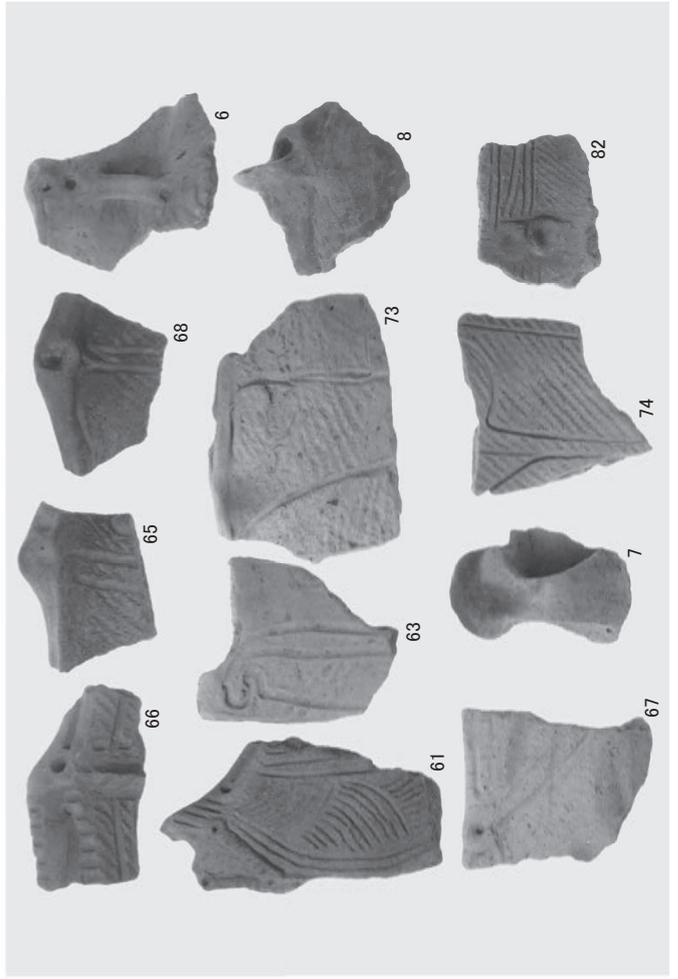
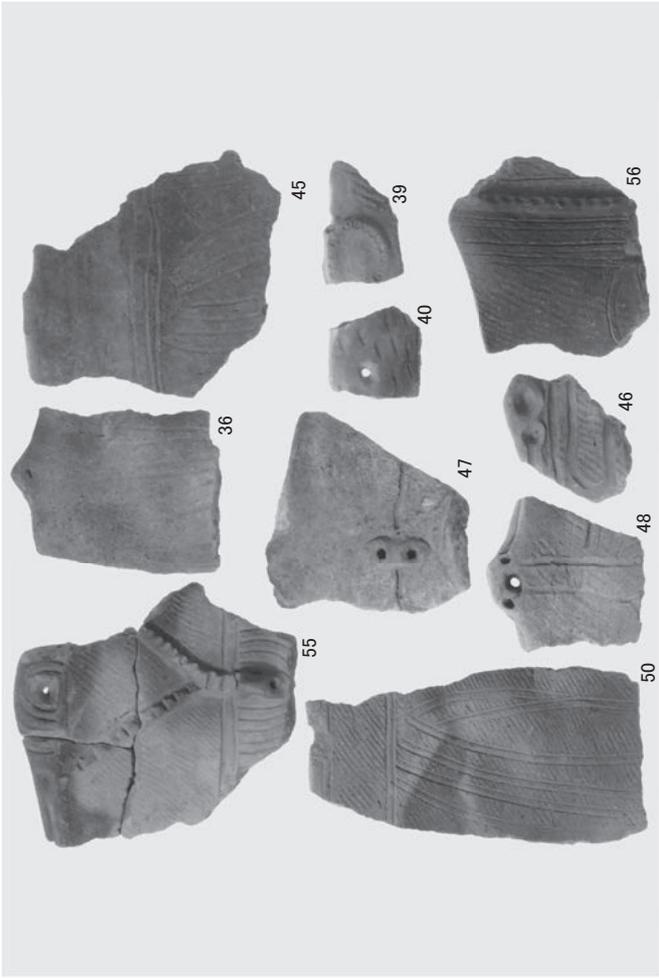
縄文土器 (16)



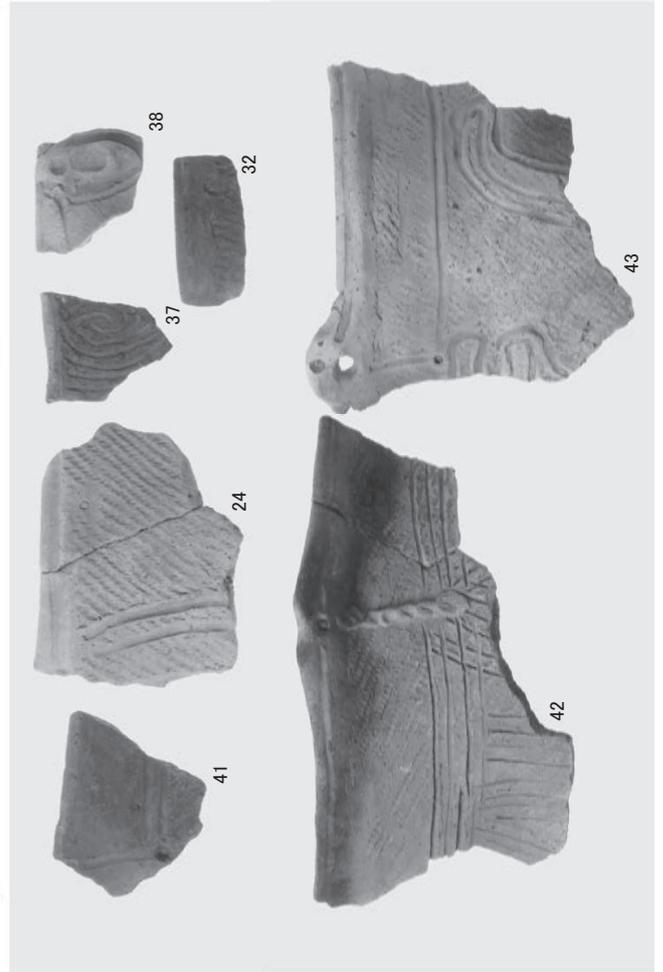
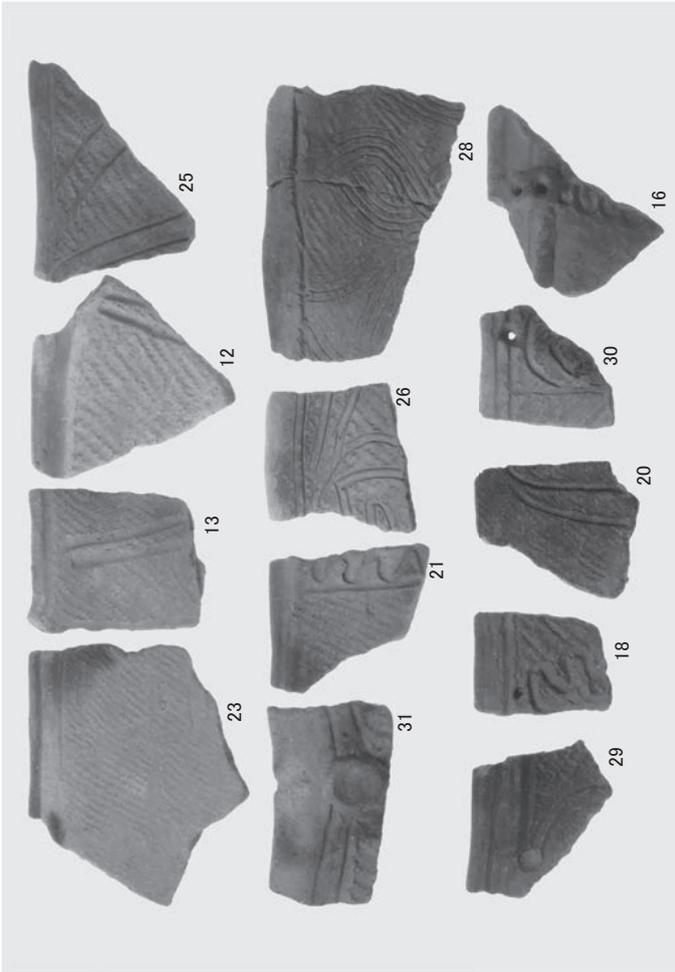
縄文土器 (15)



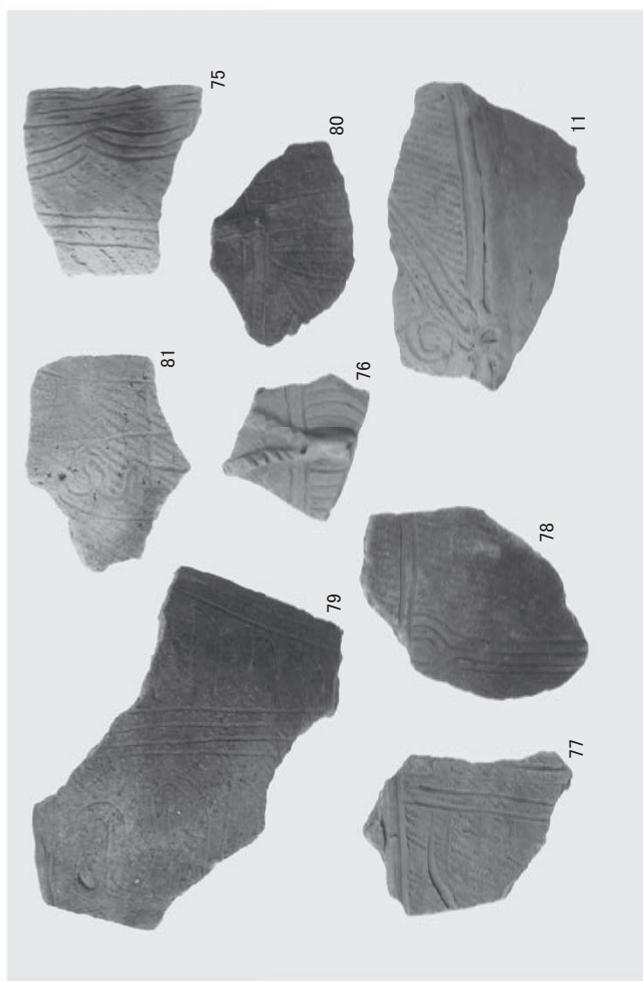
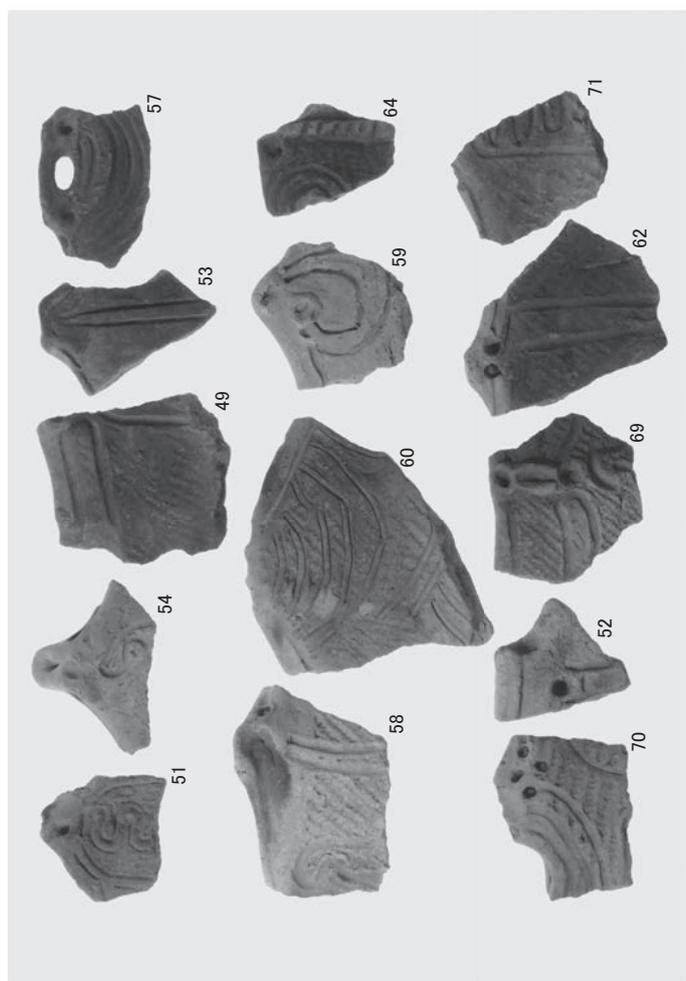
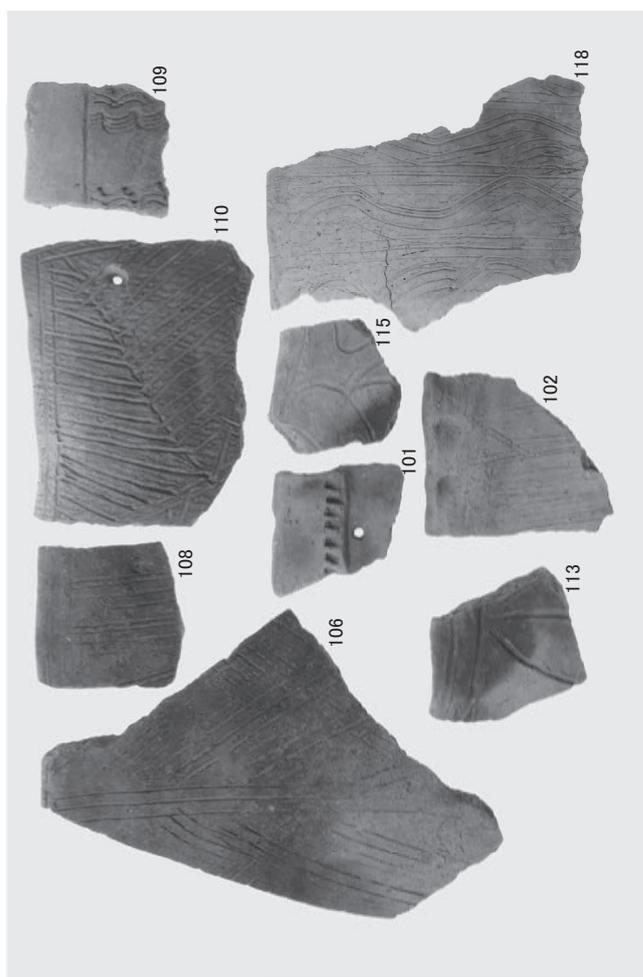
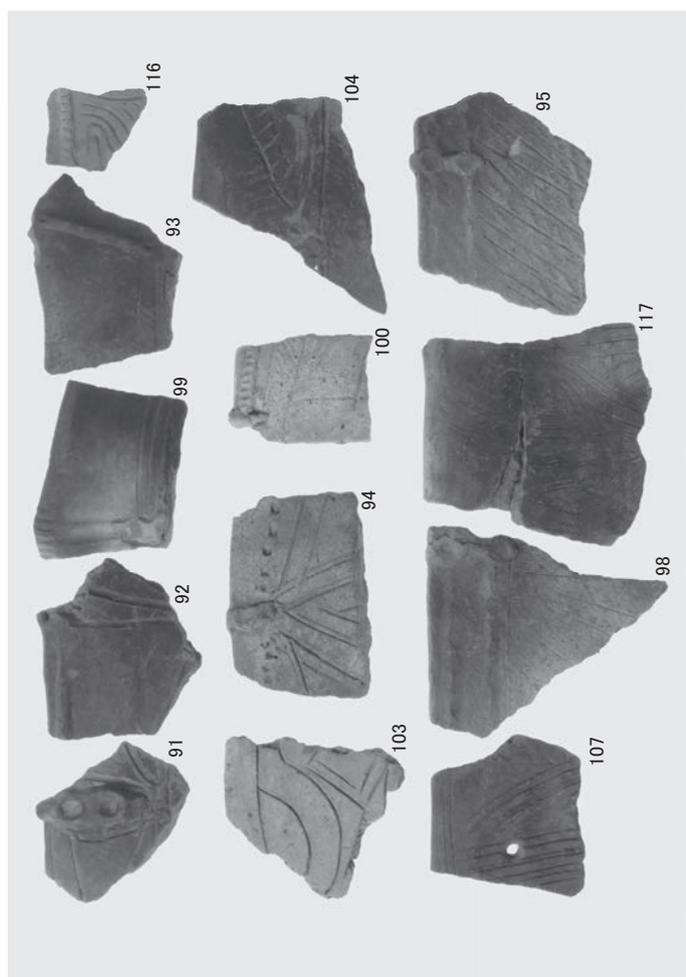
縄文土器 (17)



縄文土器 (19)

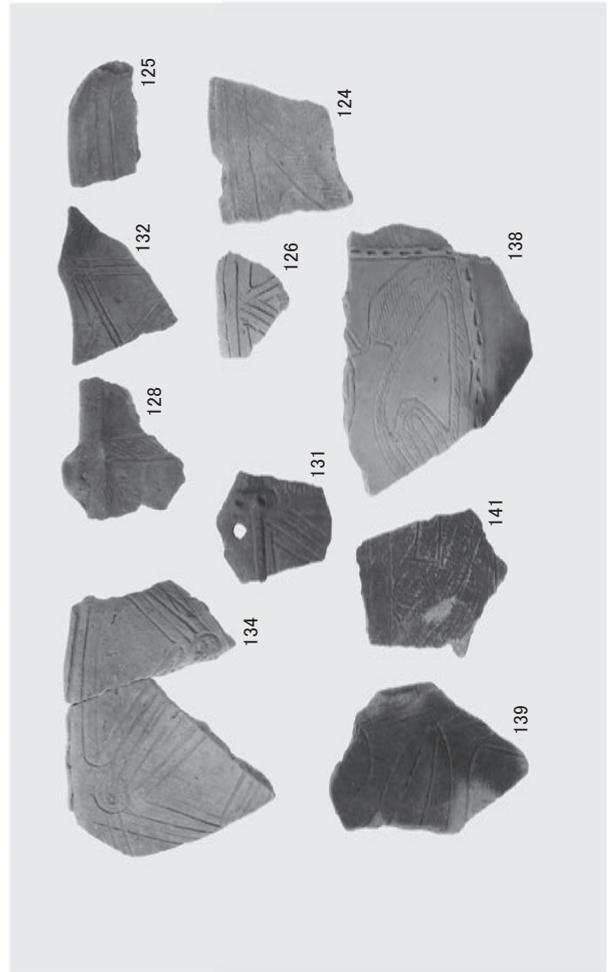
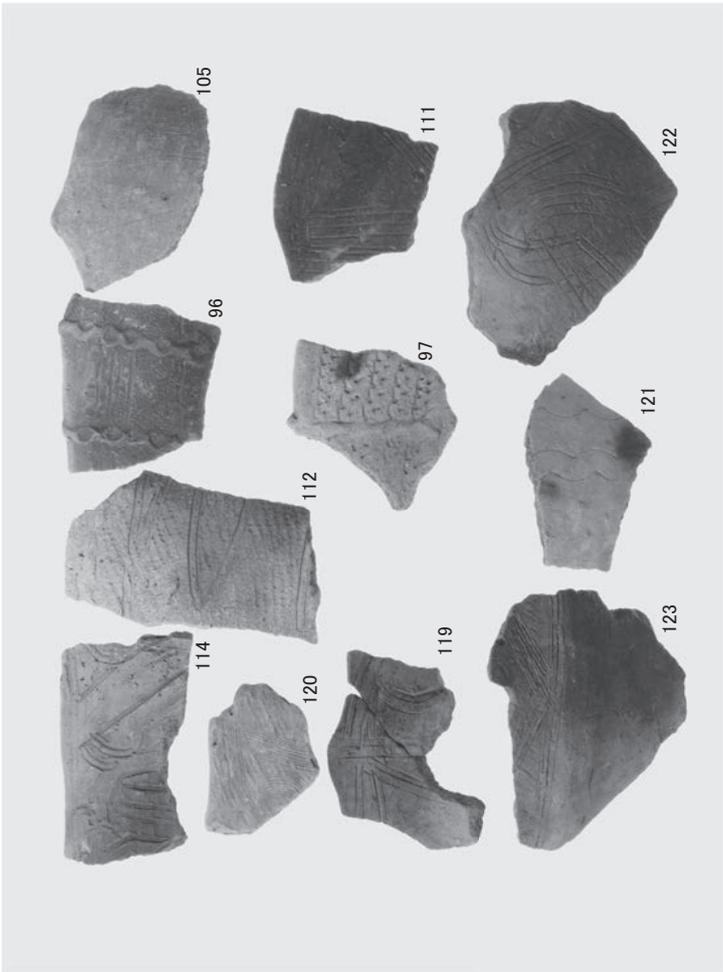
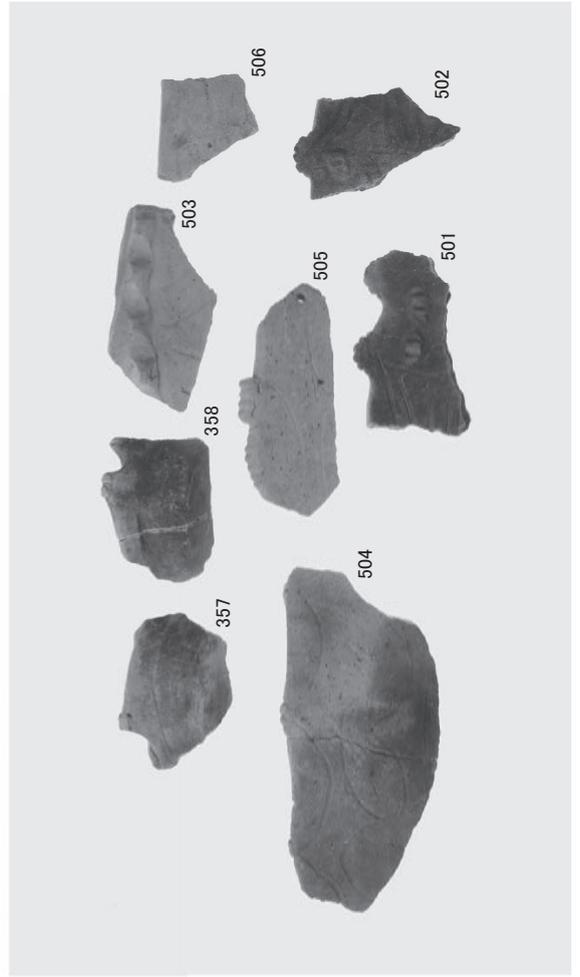
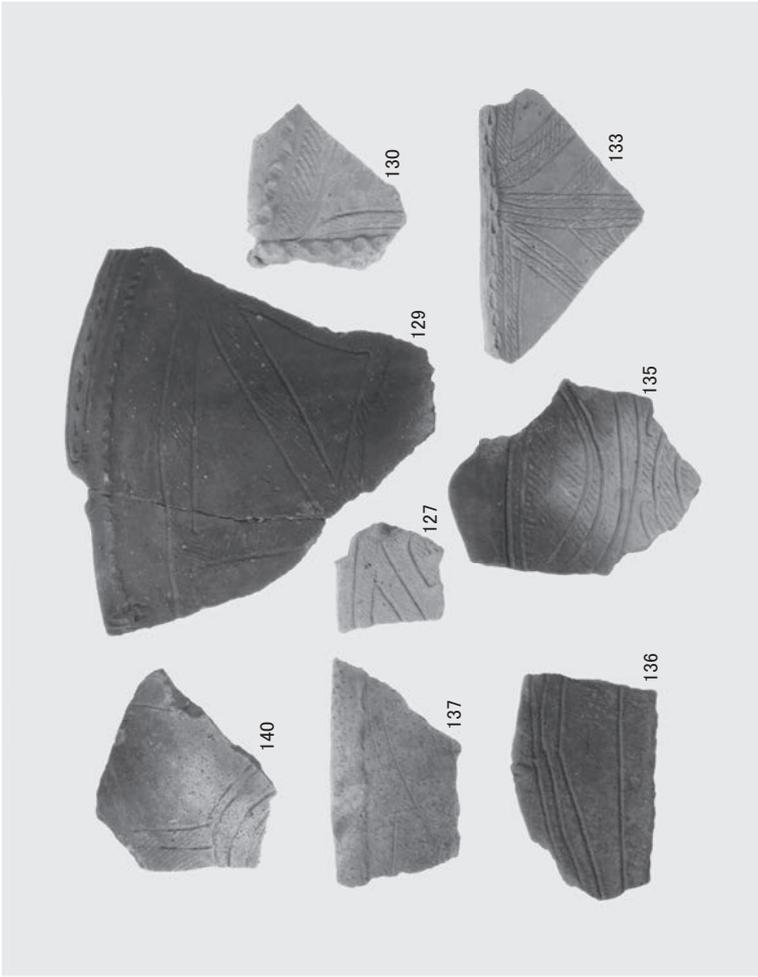


縄文土器 (18)



縄文土器 (21)

縄文土器 (20)

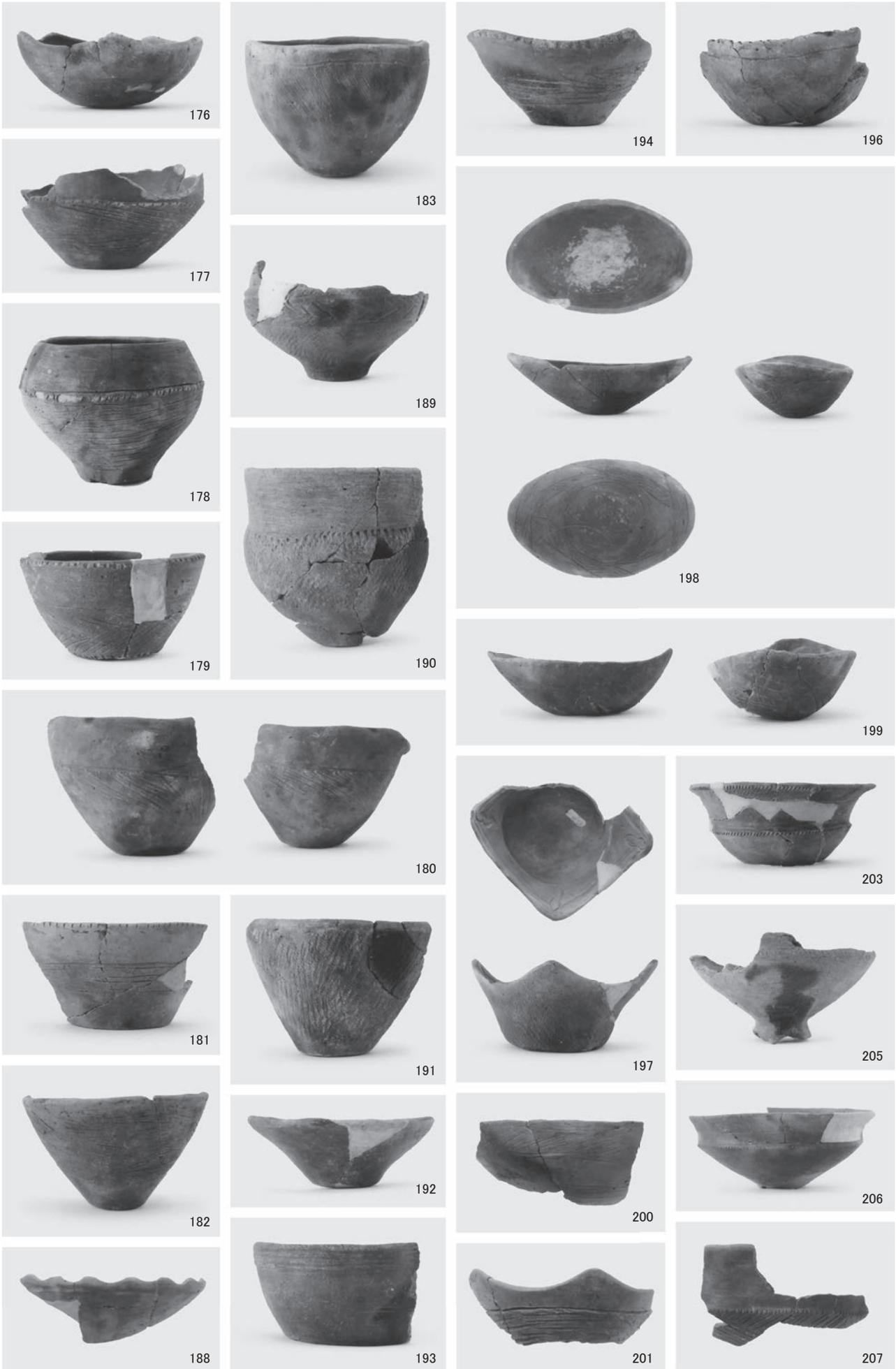


縄文土器 (23)

縄文土器 (22)



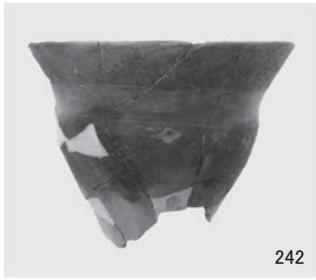
縄文土器 (24)



縄文土器 (25)



縄文土器 (26)



242



243



245



246



247



250



248



249



251



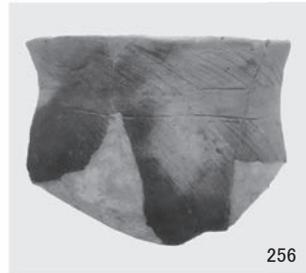
252



253



254



256



257



259



260



261



263



264



265

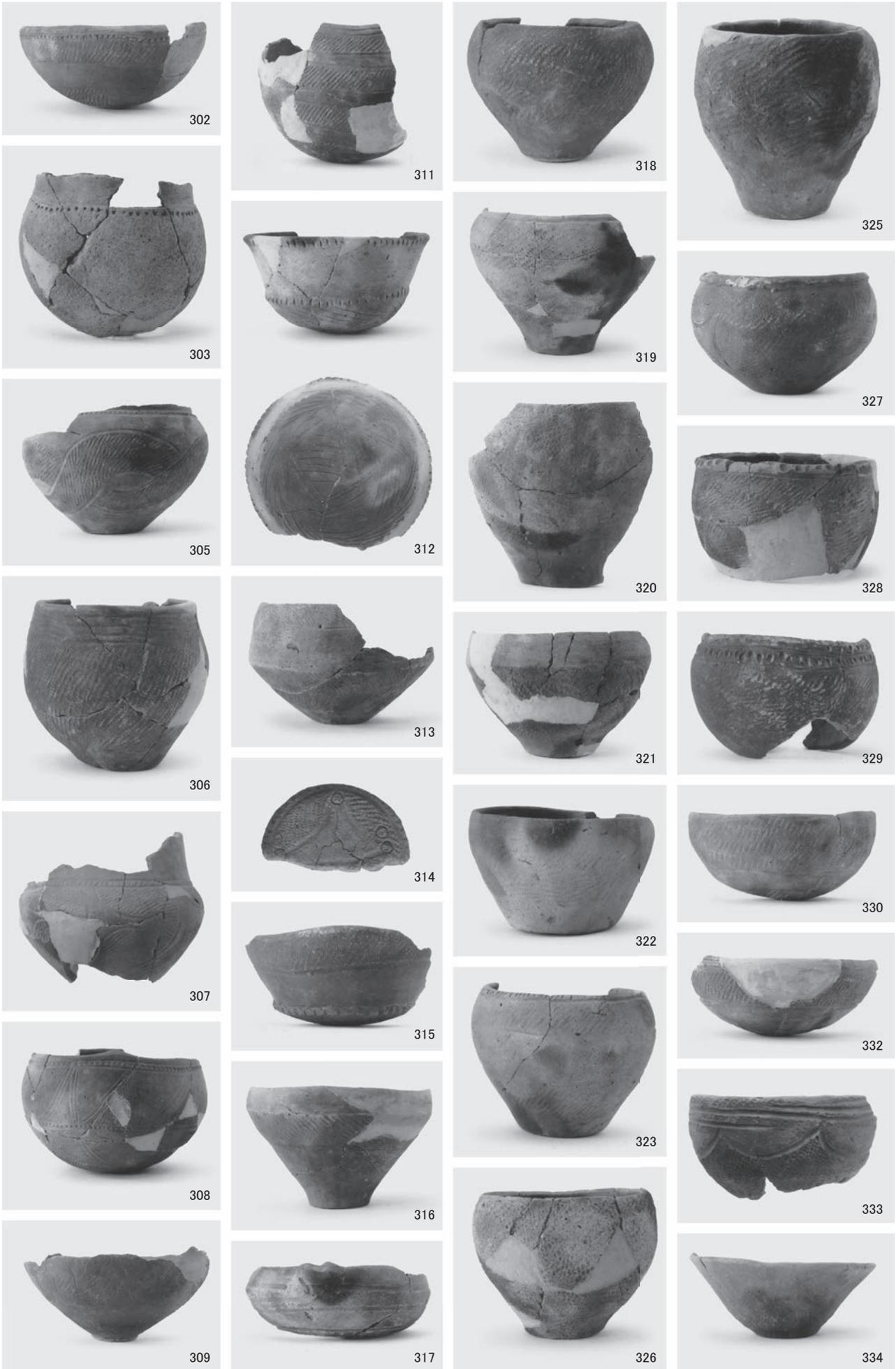


267

縄文土器 (27)



縄文土器 (28)



縄文土器 (29)



繩文土器 (30)



369



378



381



389



371



379



384



390



372



380



385



391



374



382



386



392



375



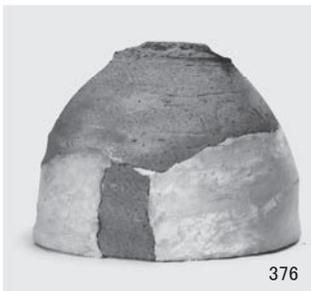
383



387



393



376



377



388



394



縄文土器 (32)



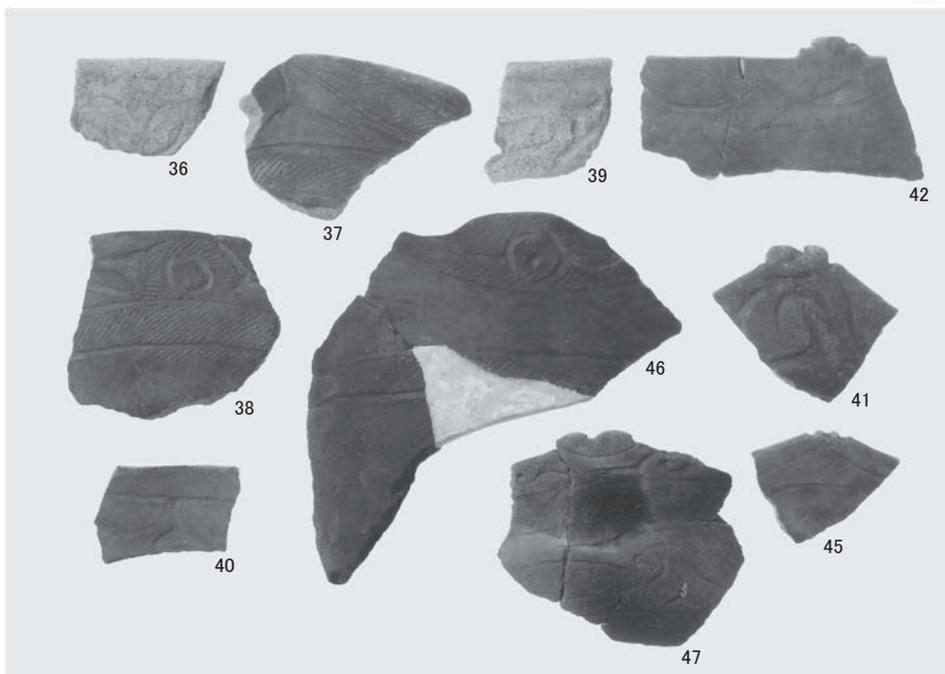
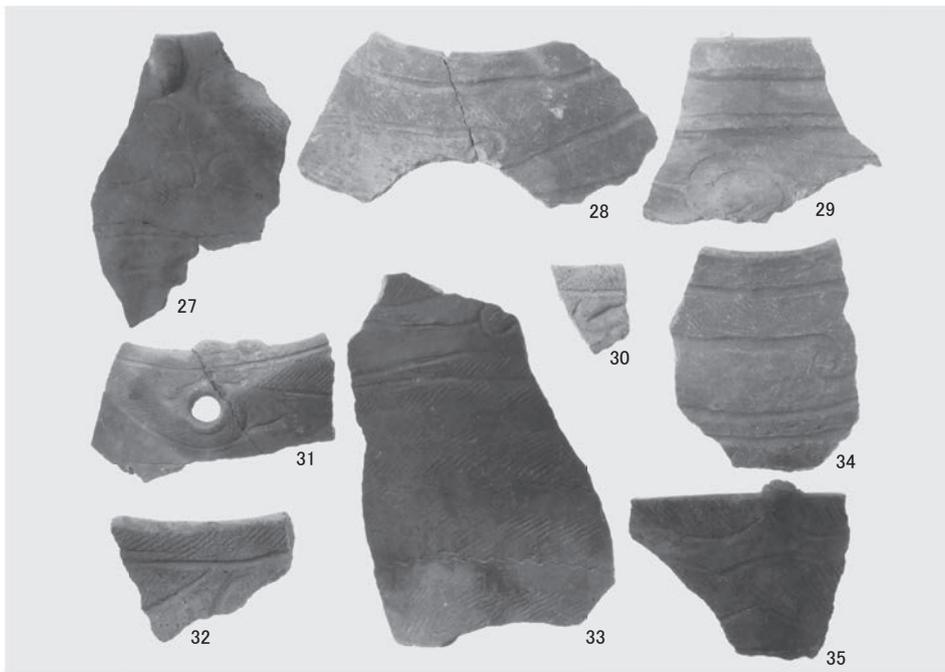
縄文土器 (33)

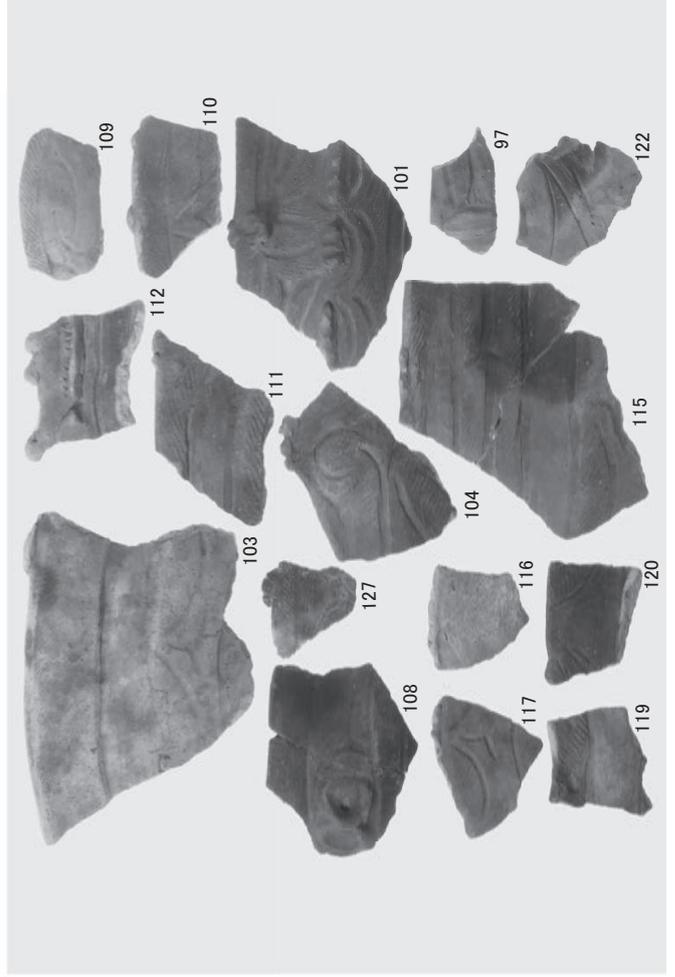
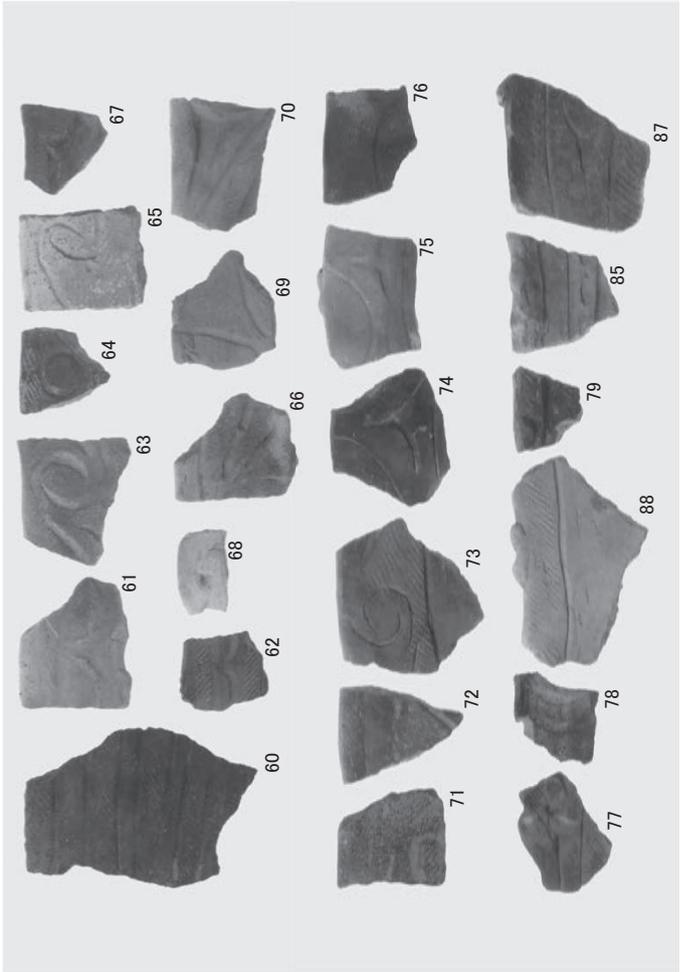
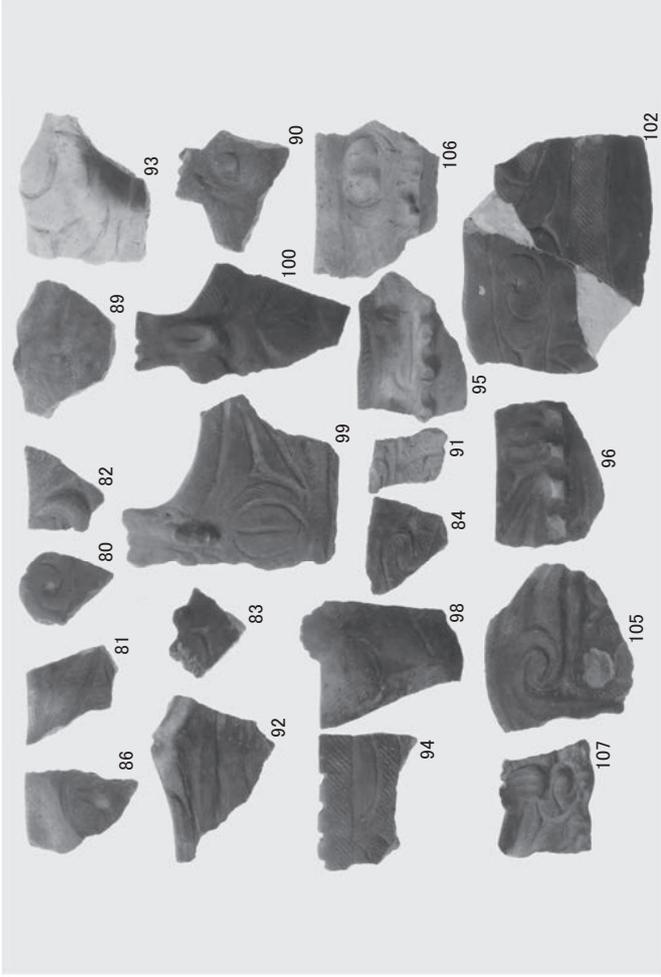
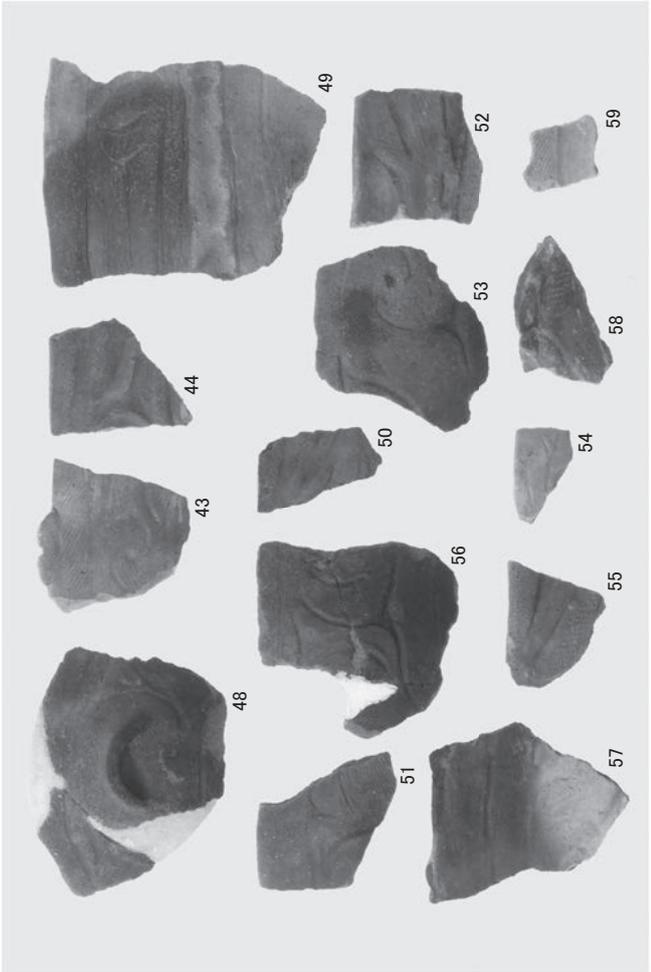


縄文土器 (34)



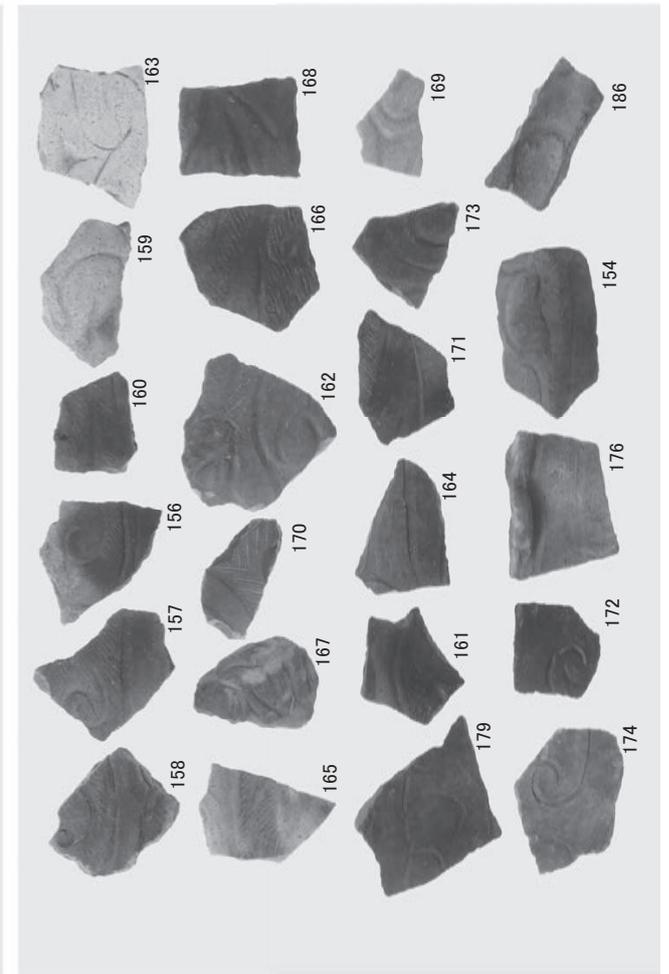
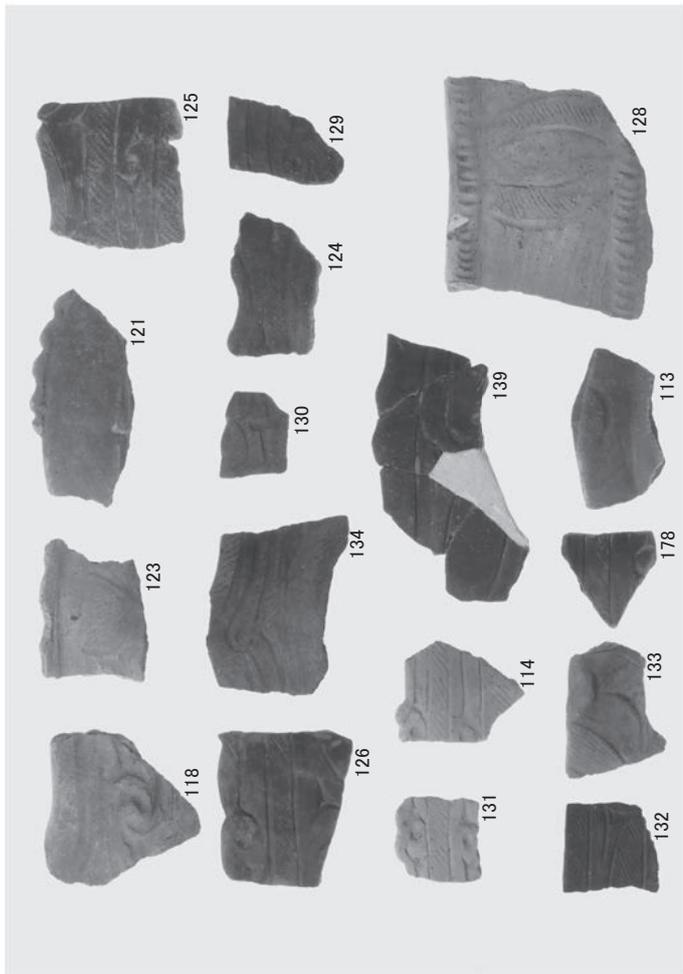
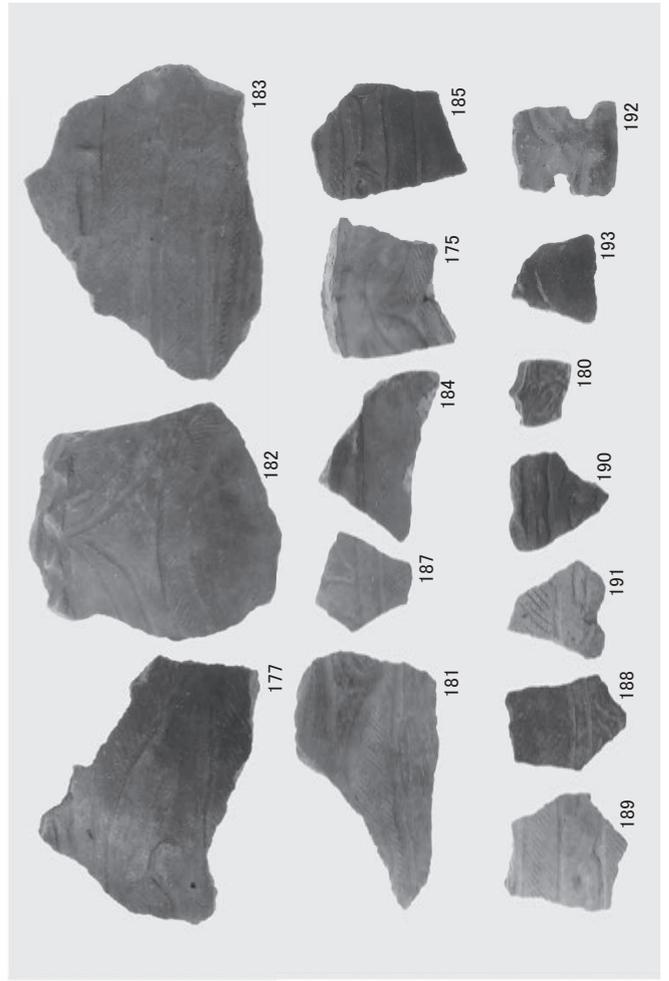
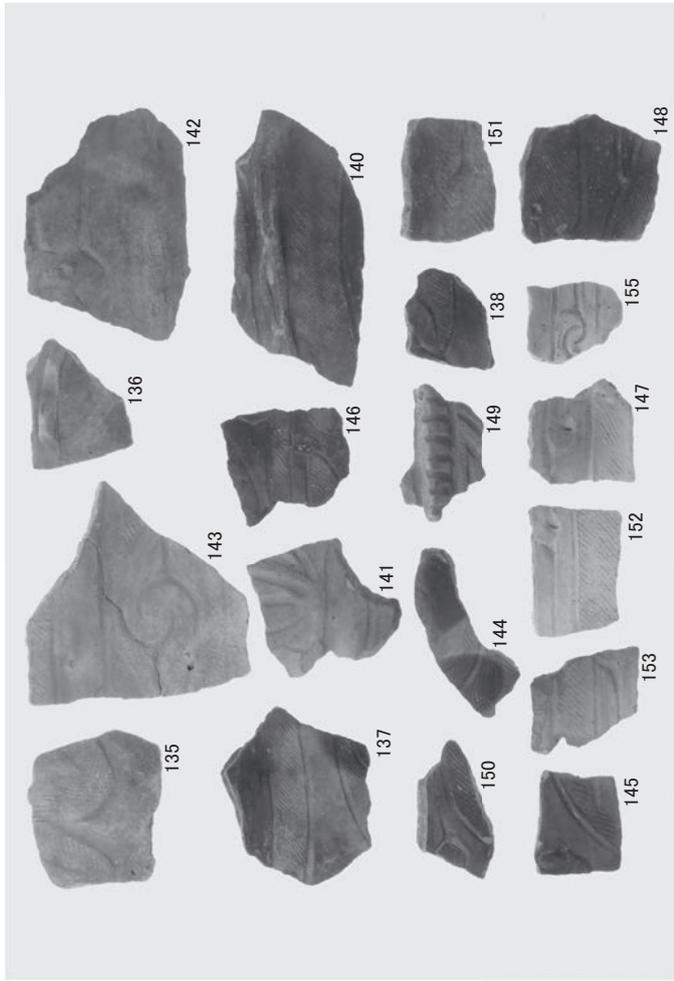
縄文土器 (35)





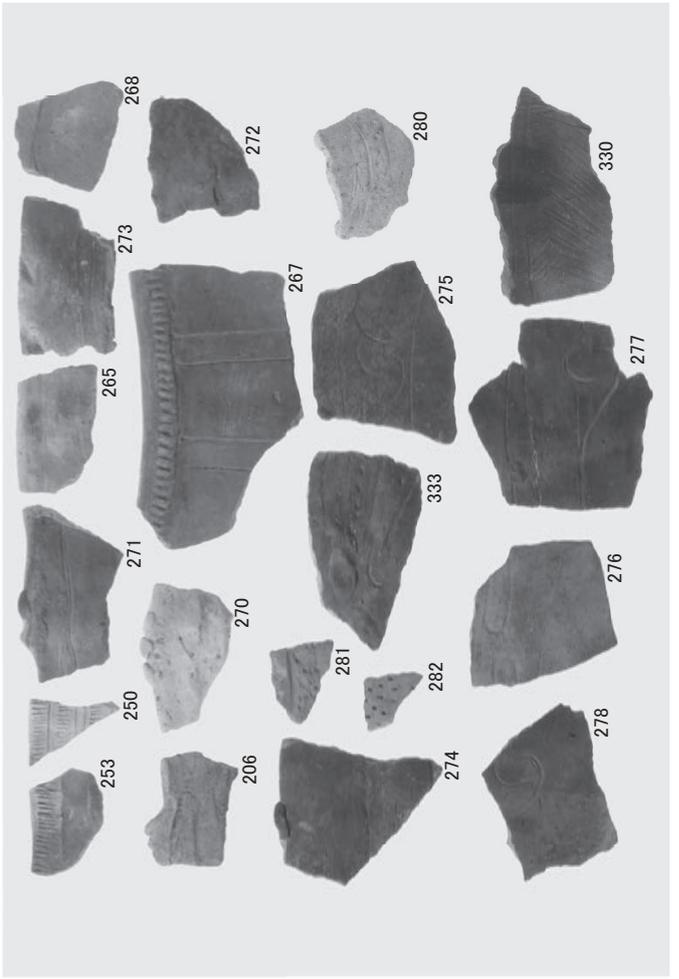
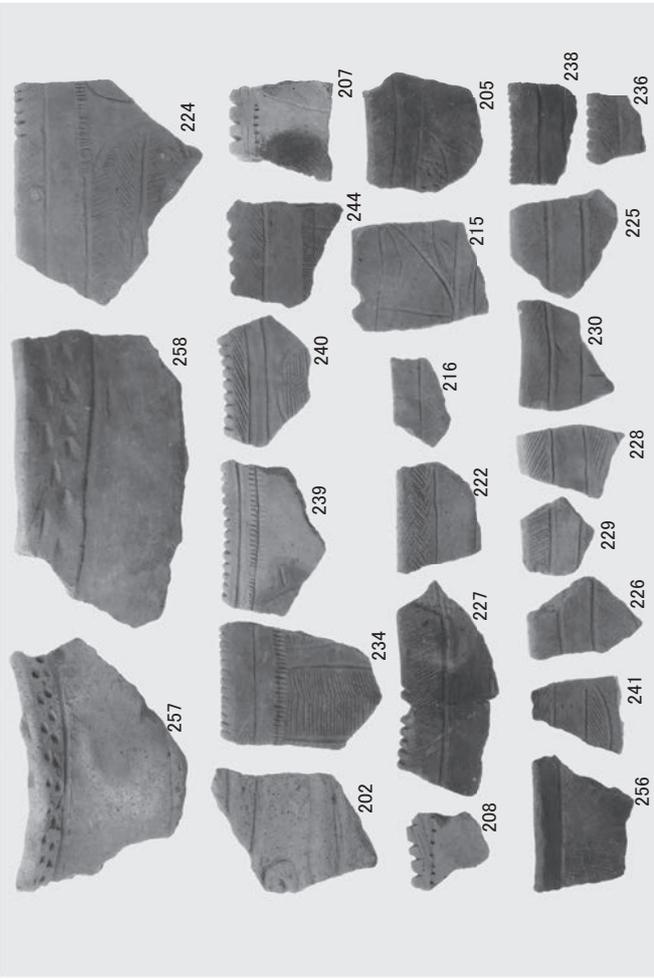
縄文土器 (37)

縄文土器 (38)

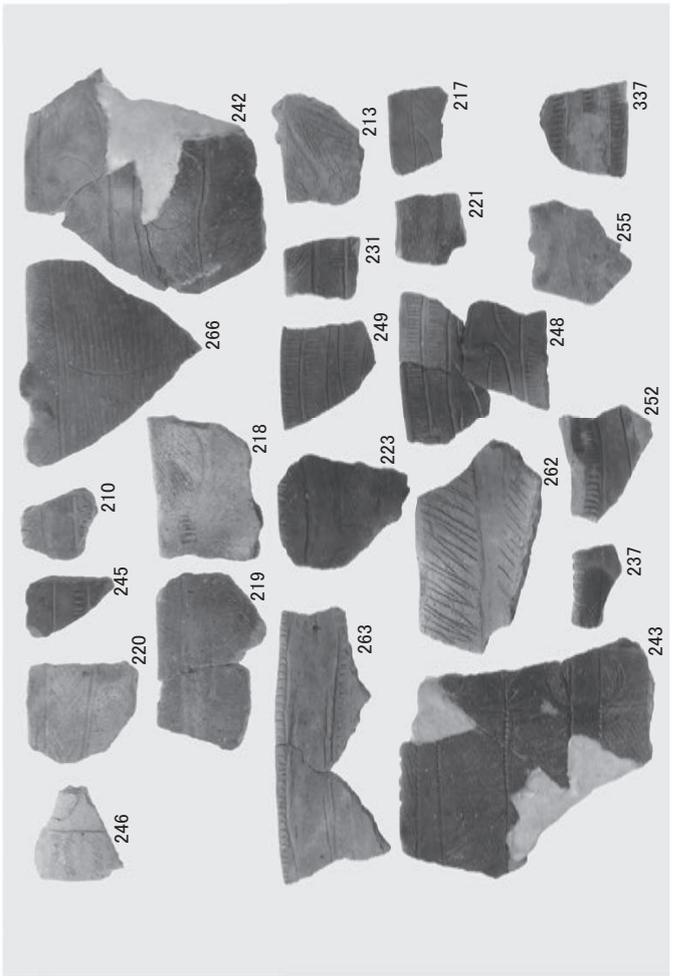
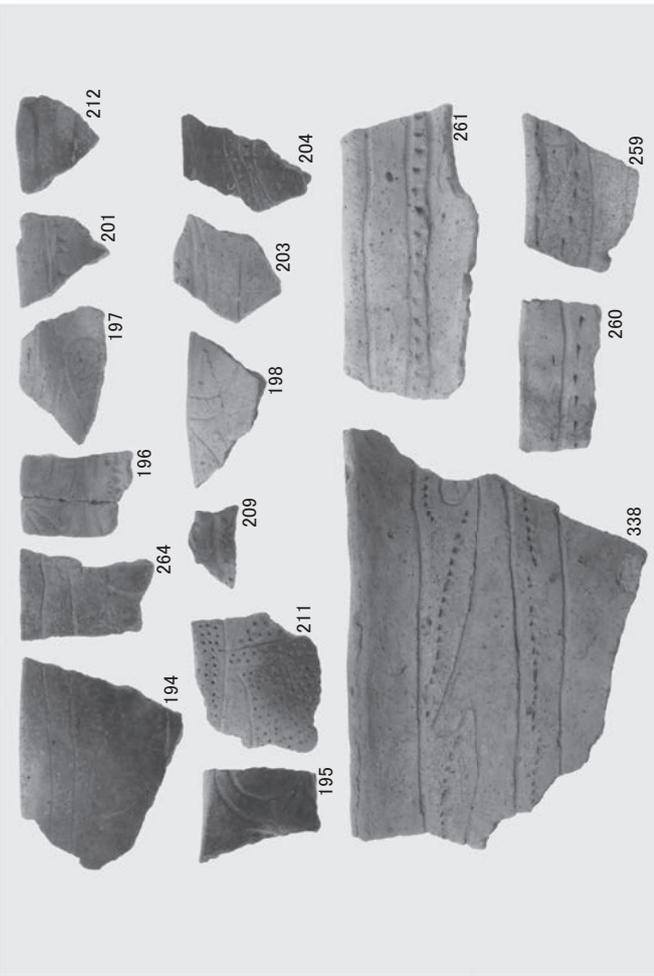


繩文土器 (40)

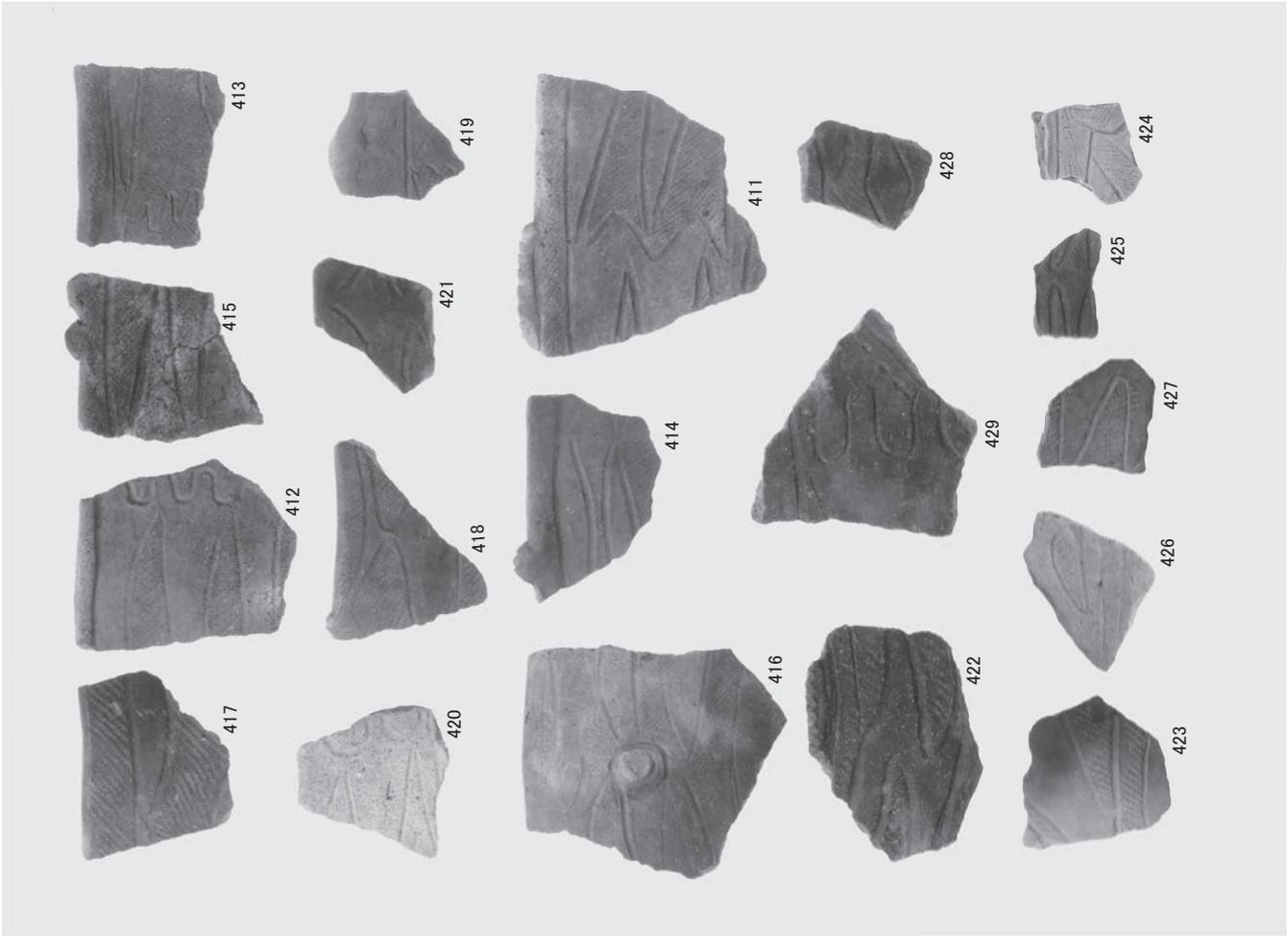
繩文土器 (39)



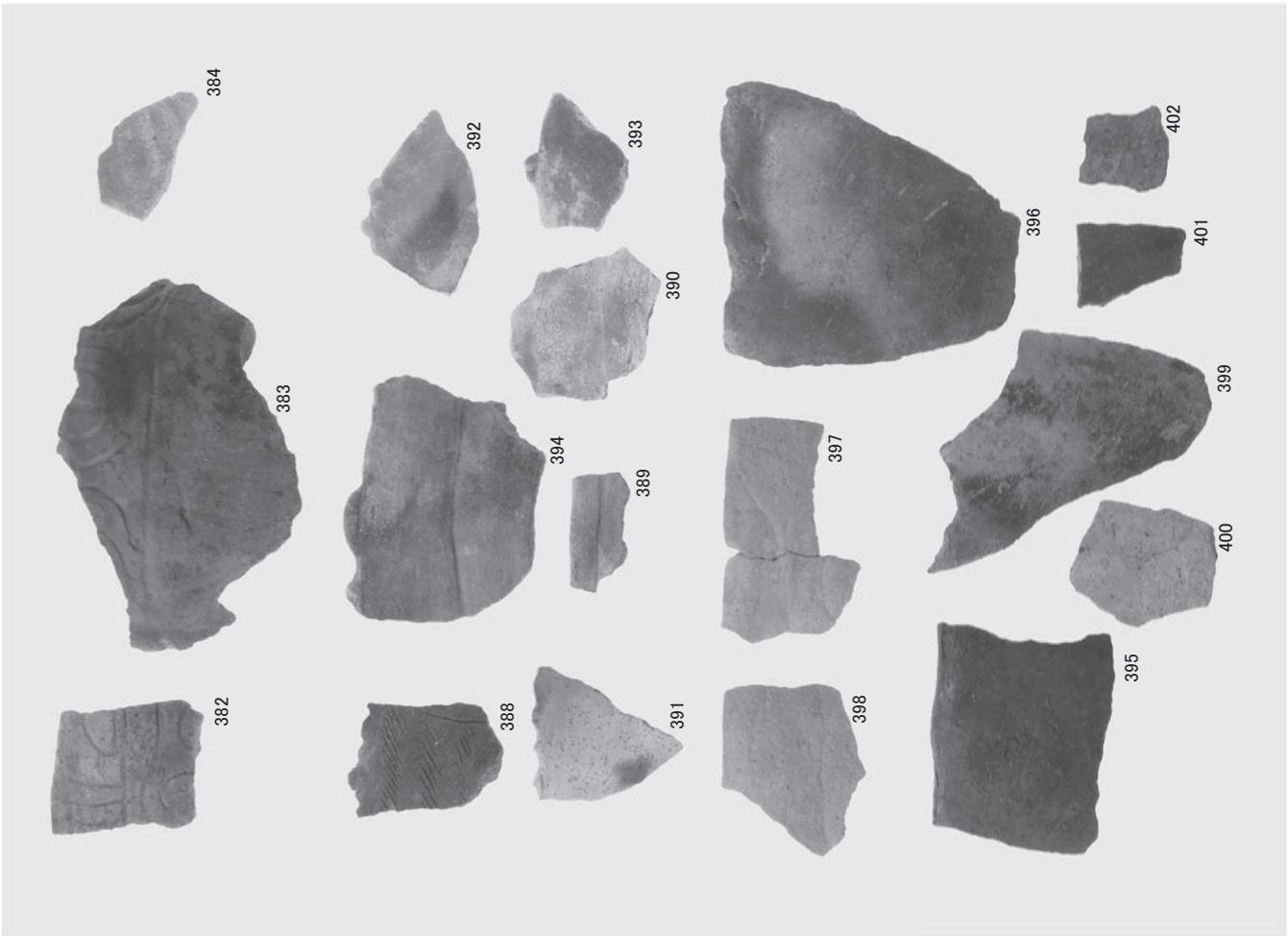
縄文土器 (42)



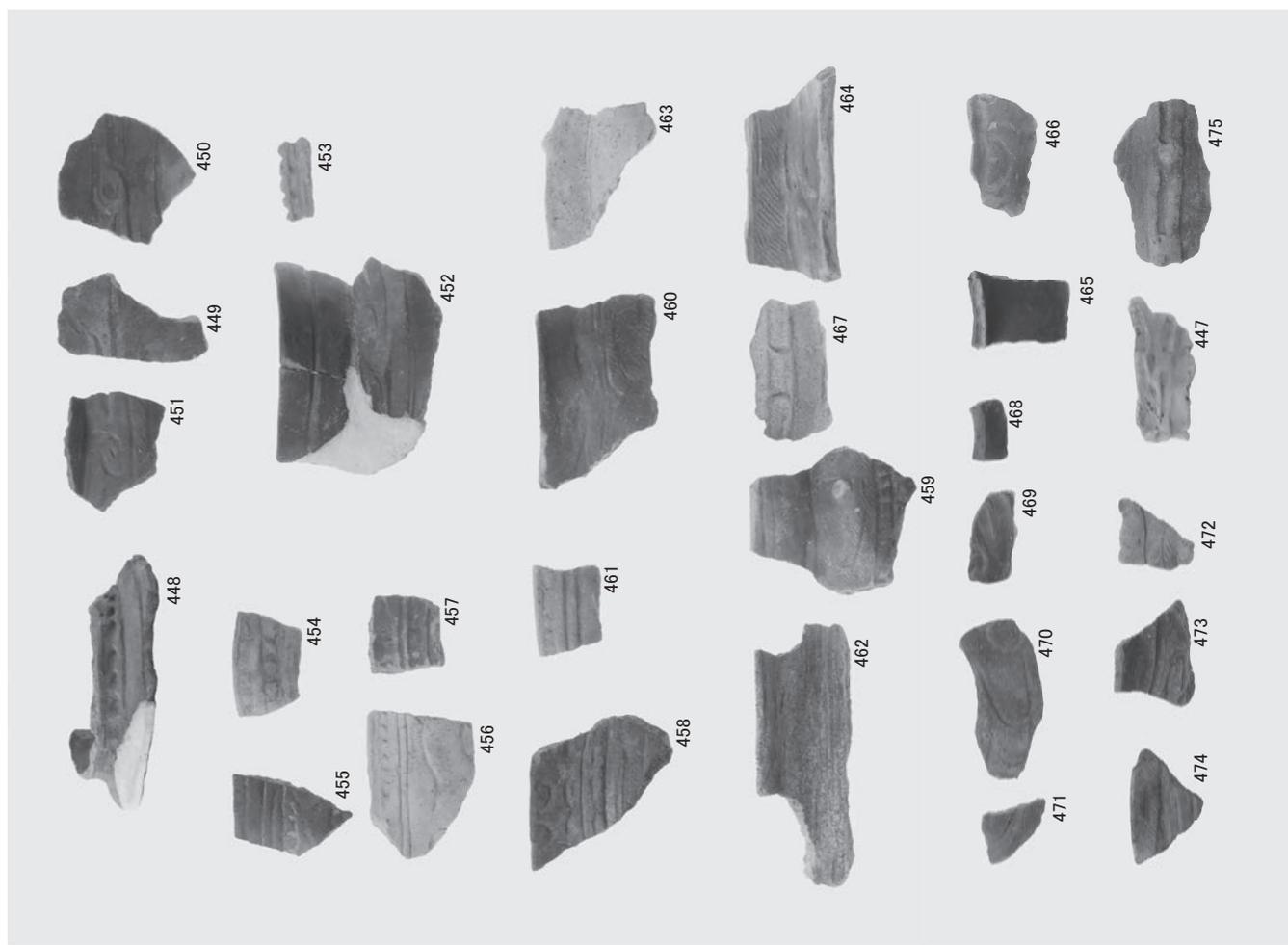
縄文土器 (41)



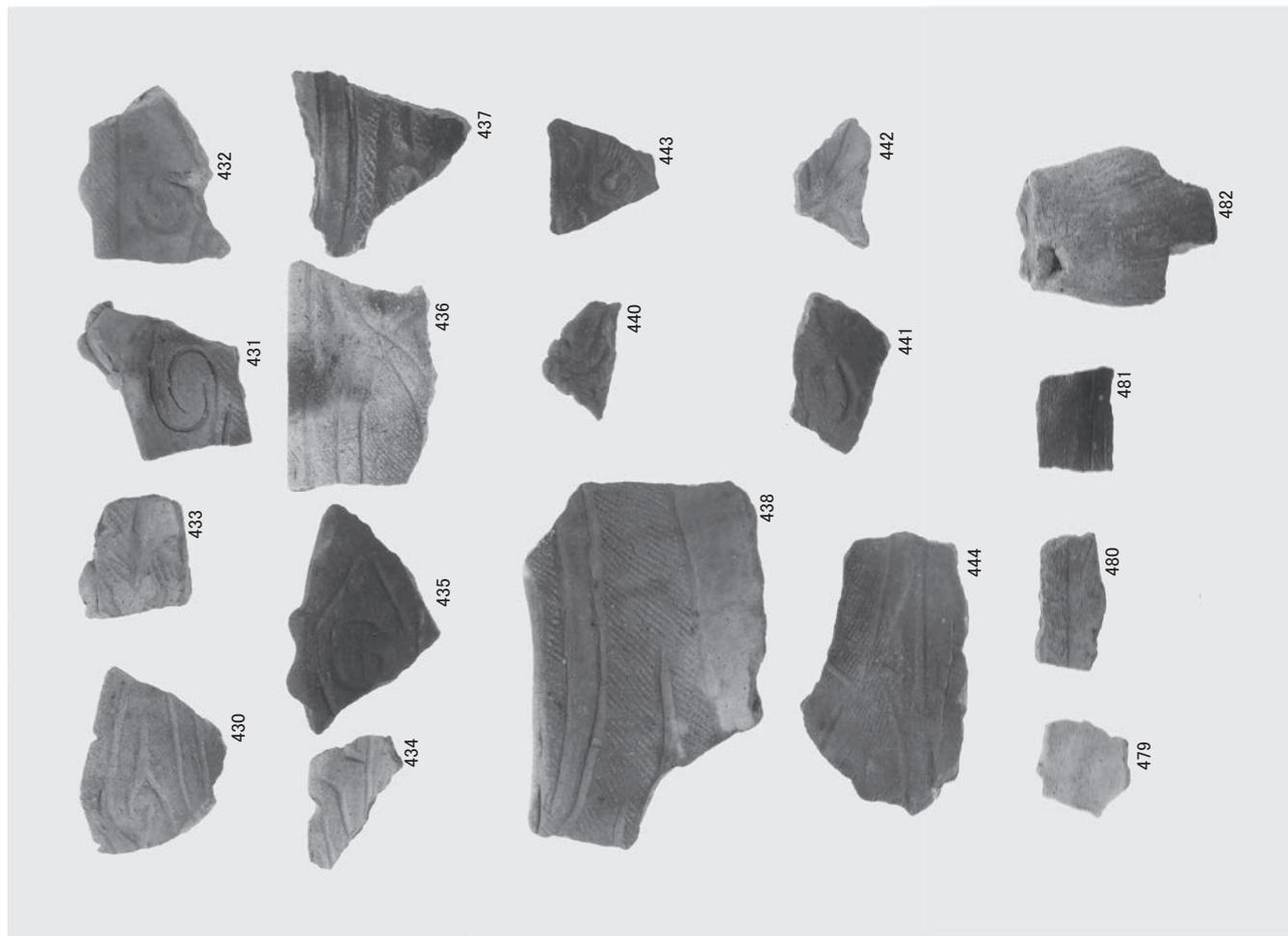
縄文土器 (46)



縄文土器 (45)



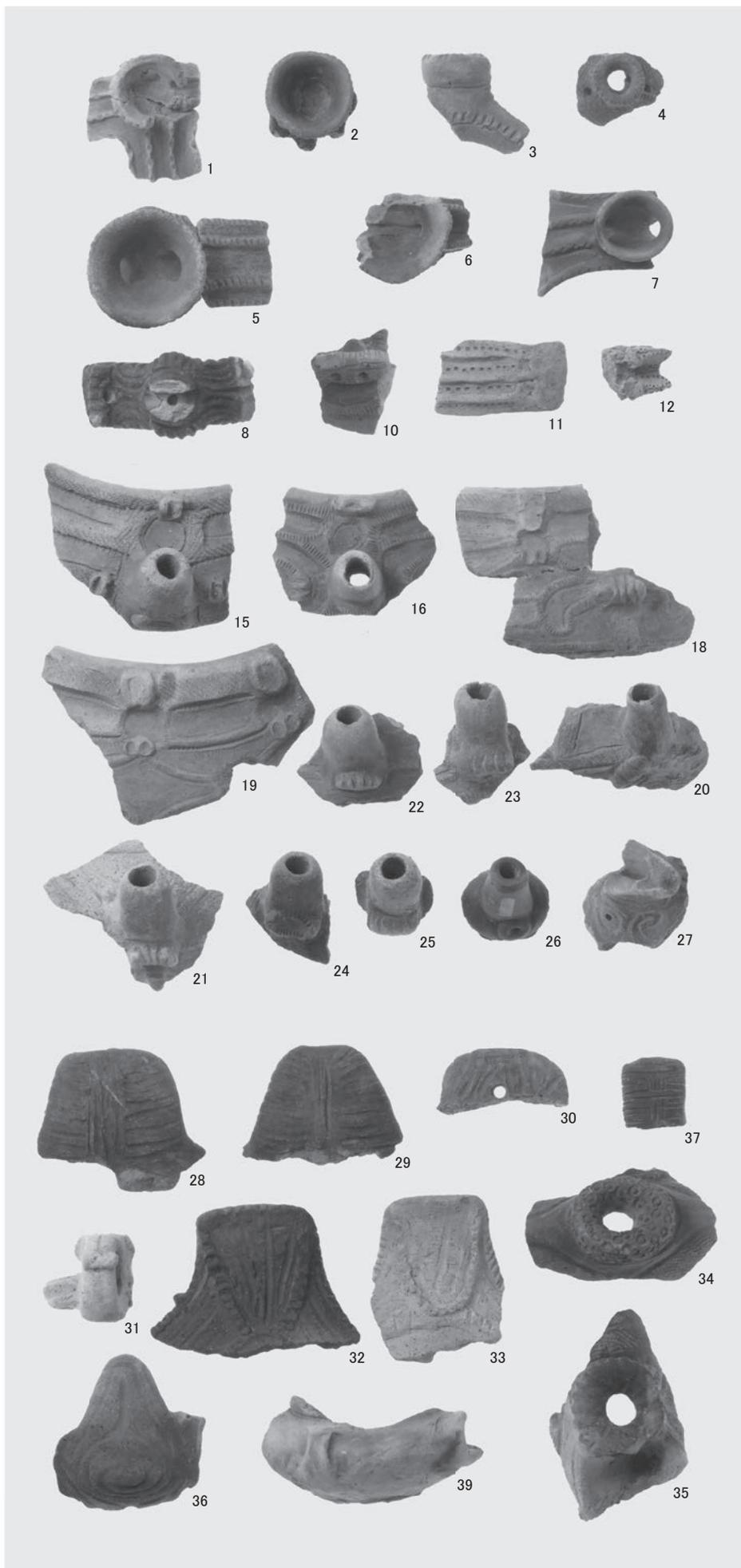
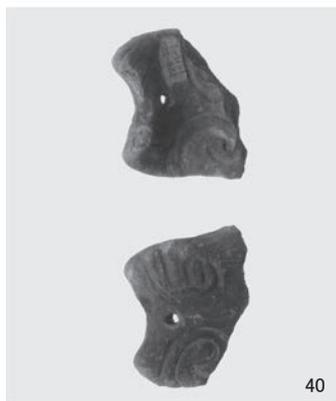
縄文土器 (48)



縄文土器 (47)



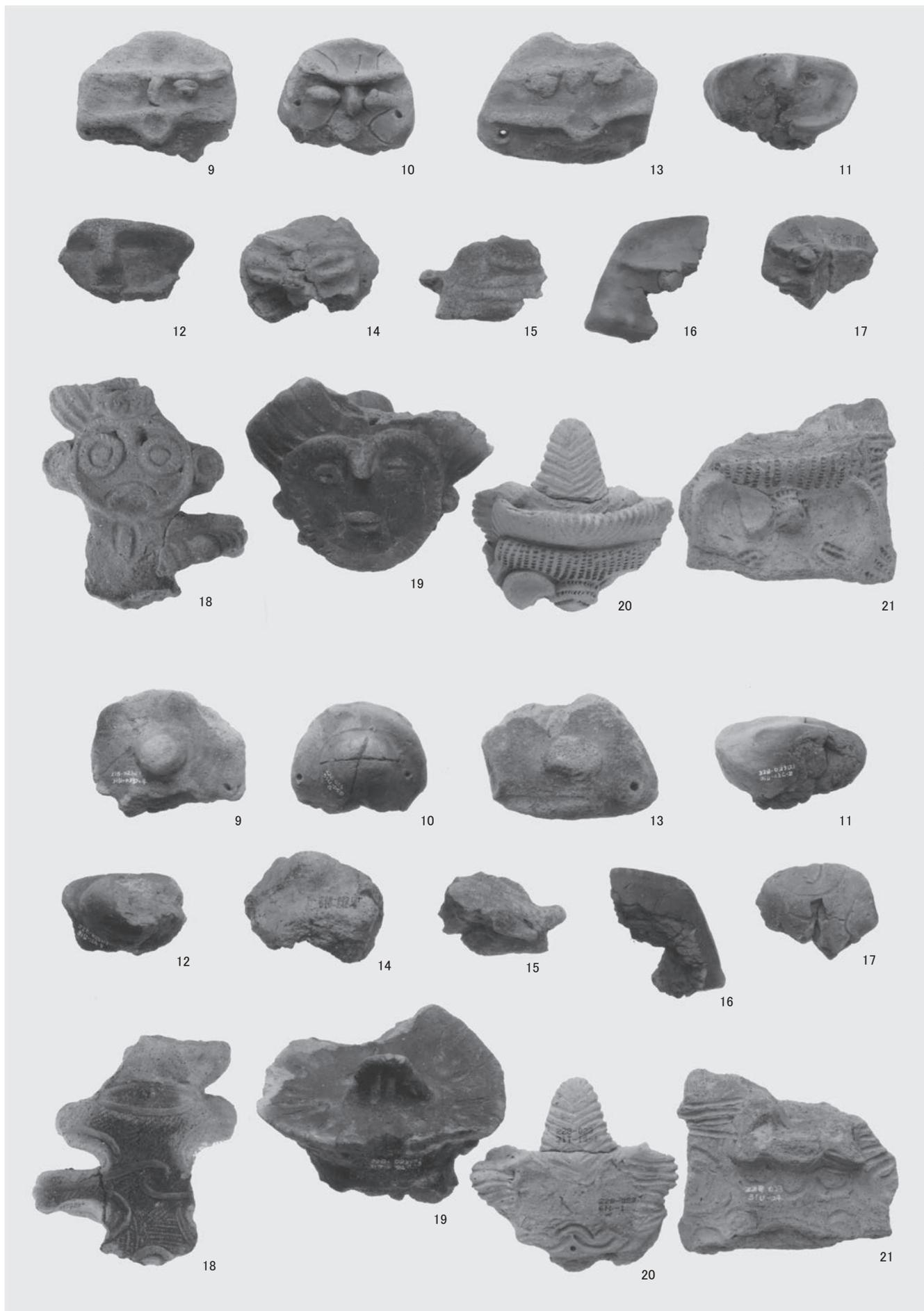
ミニチュア土器



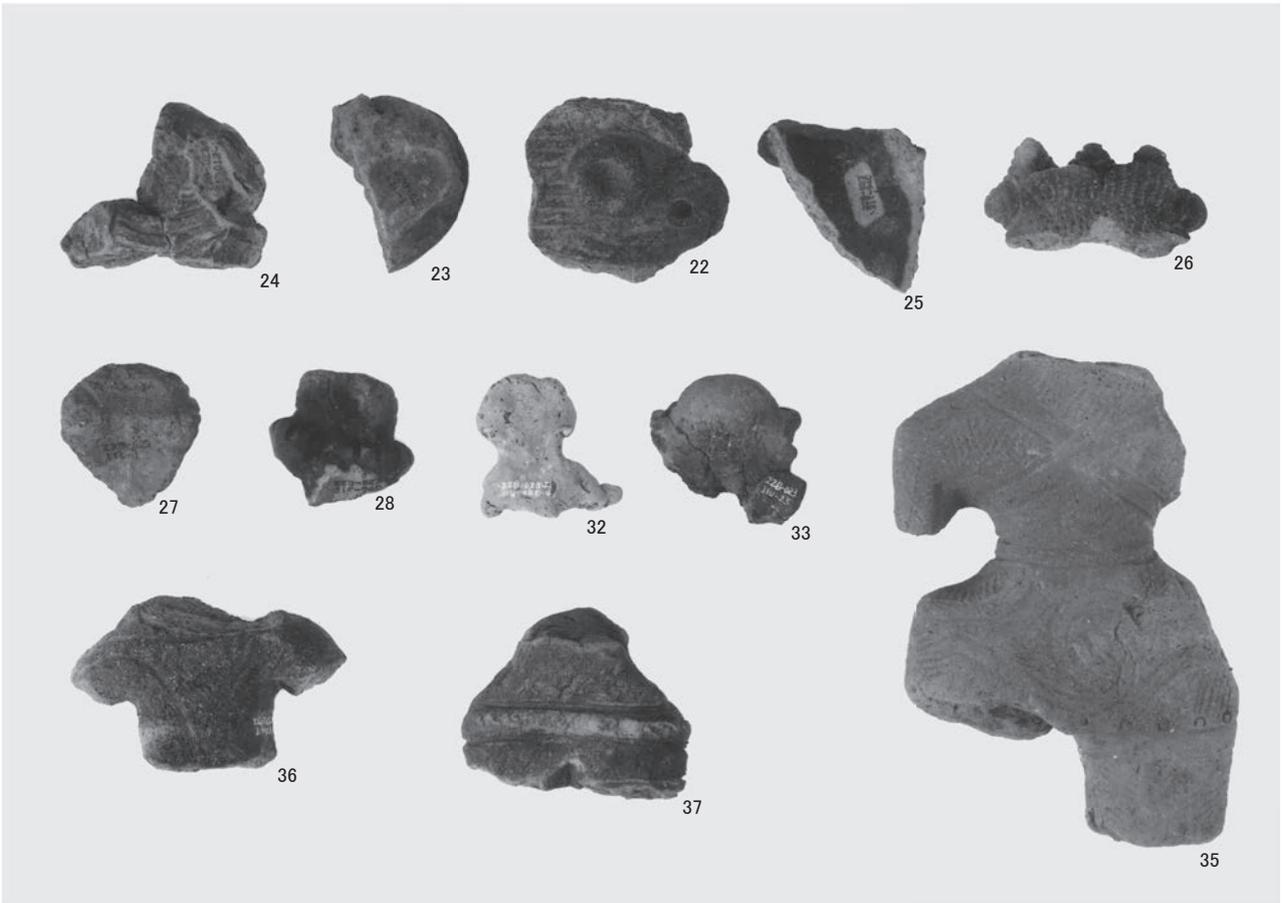
特殊土器



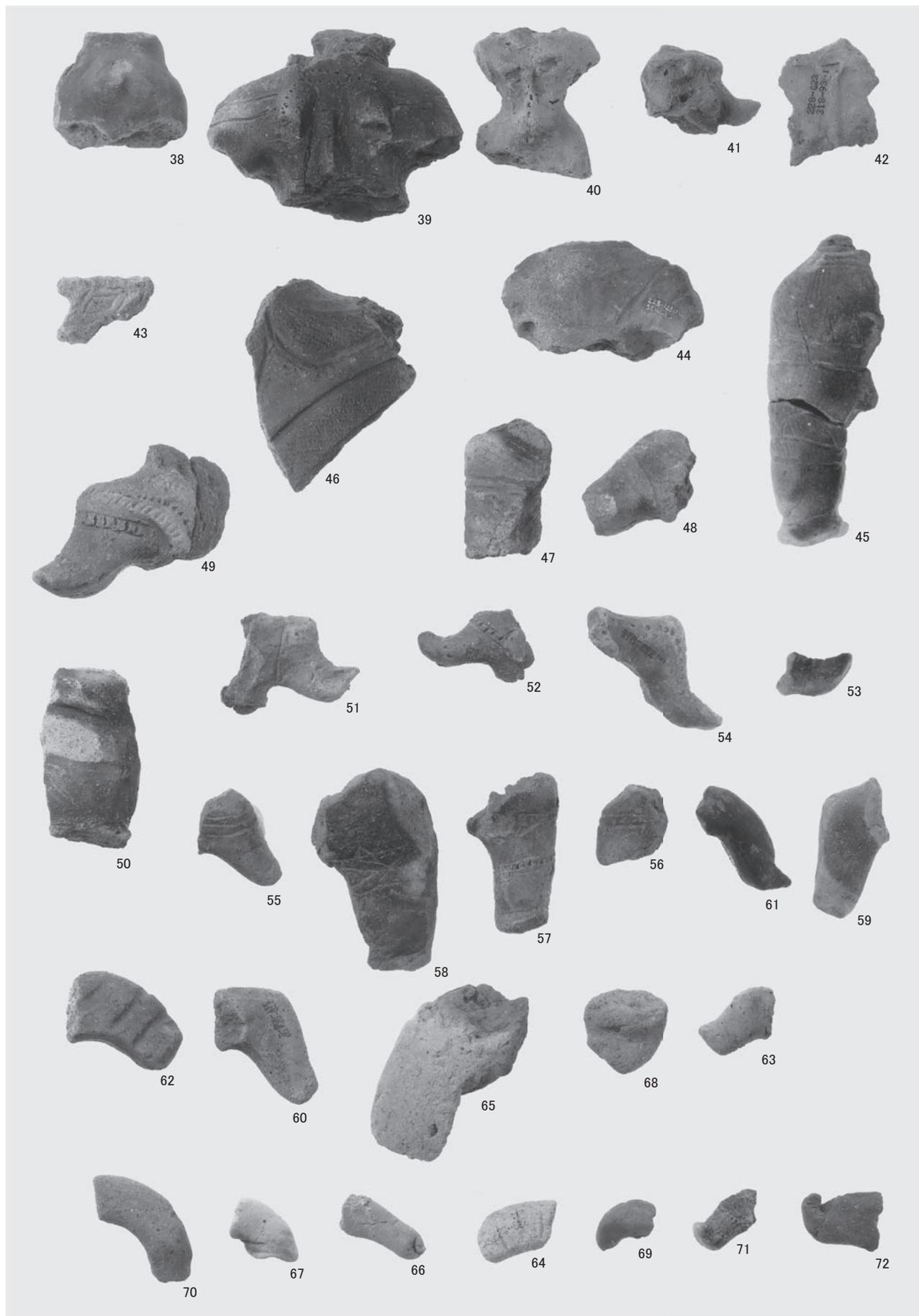
土偶(1)



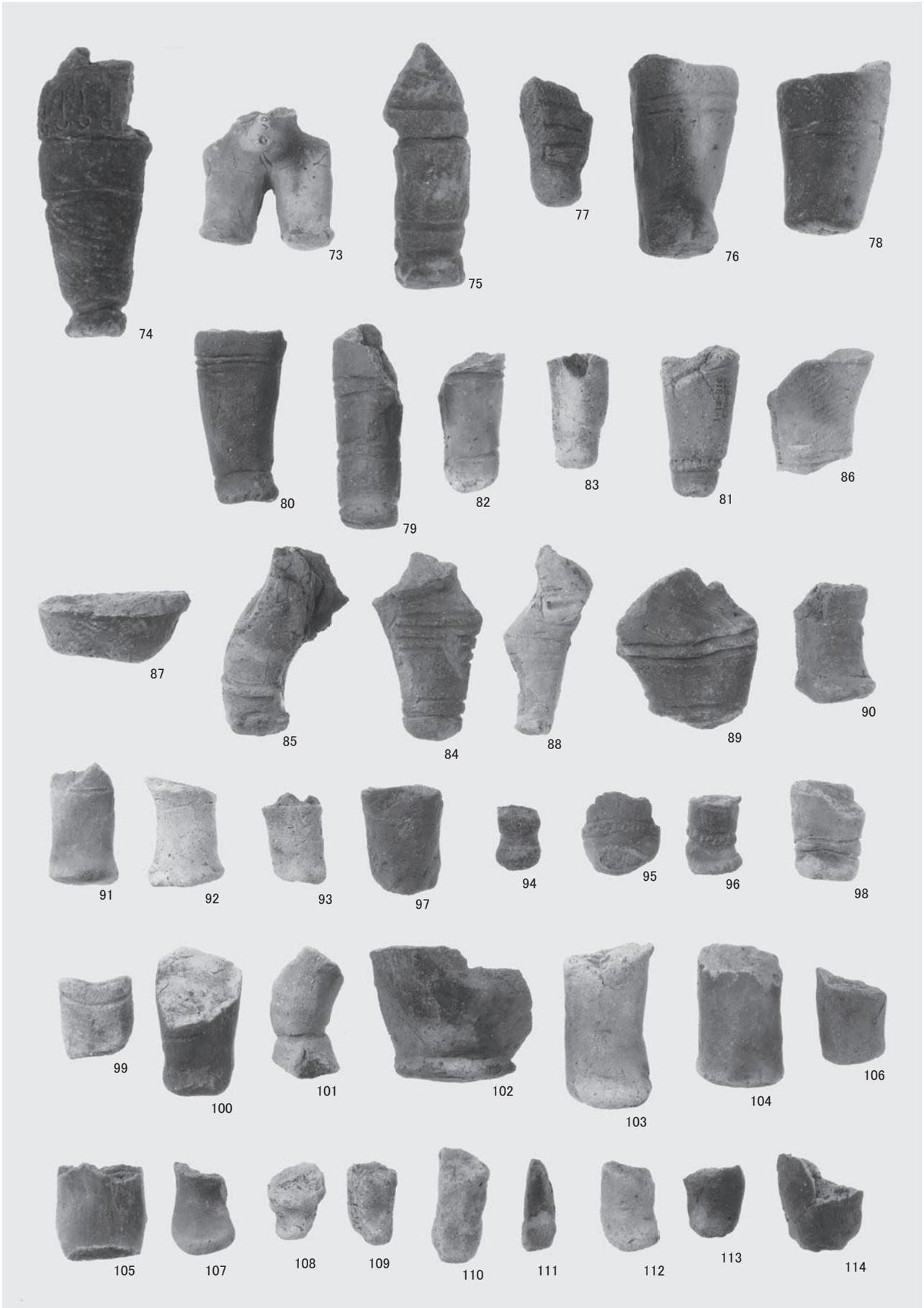
土偶 (2)



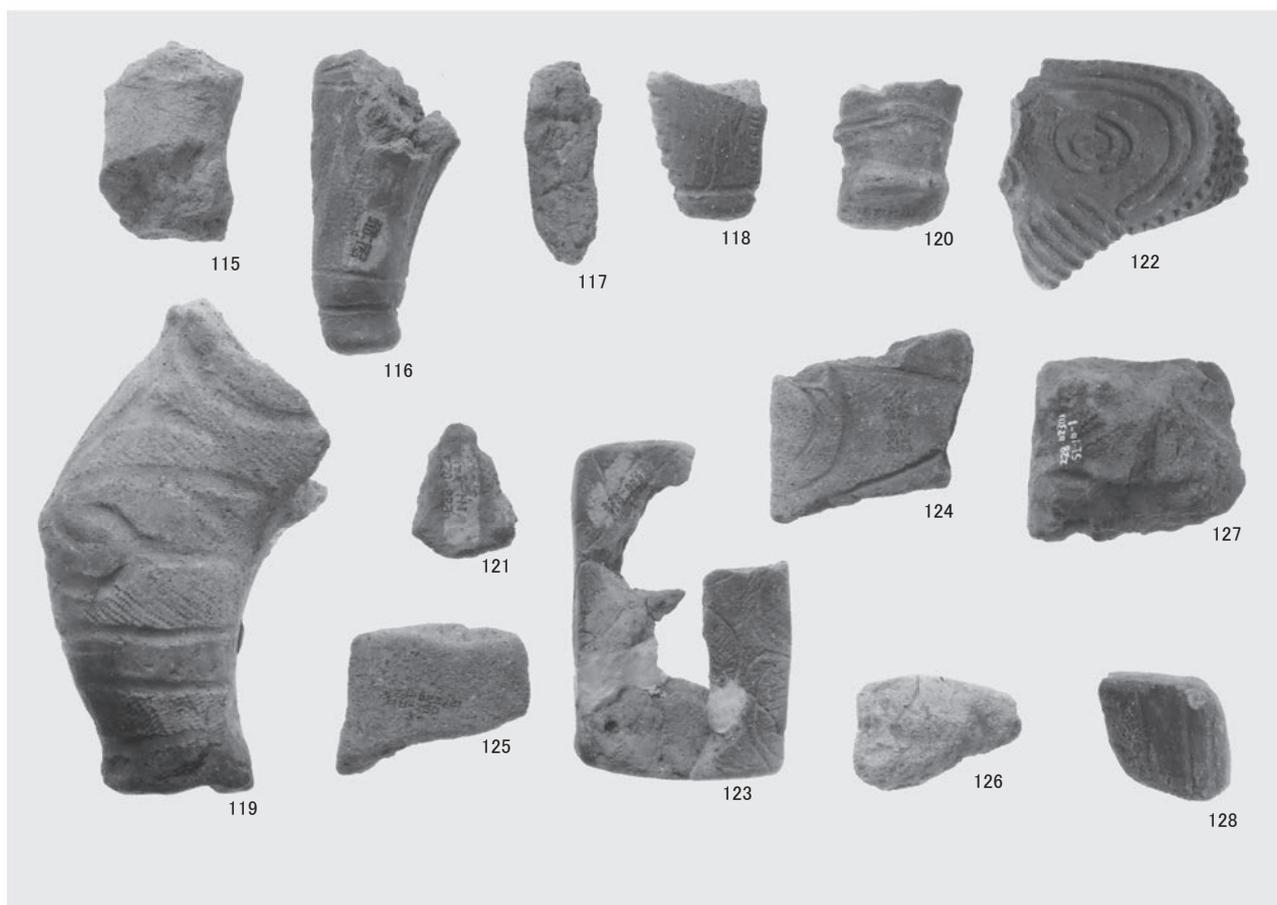
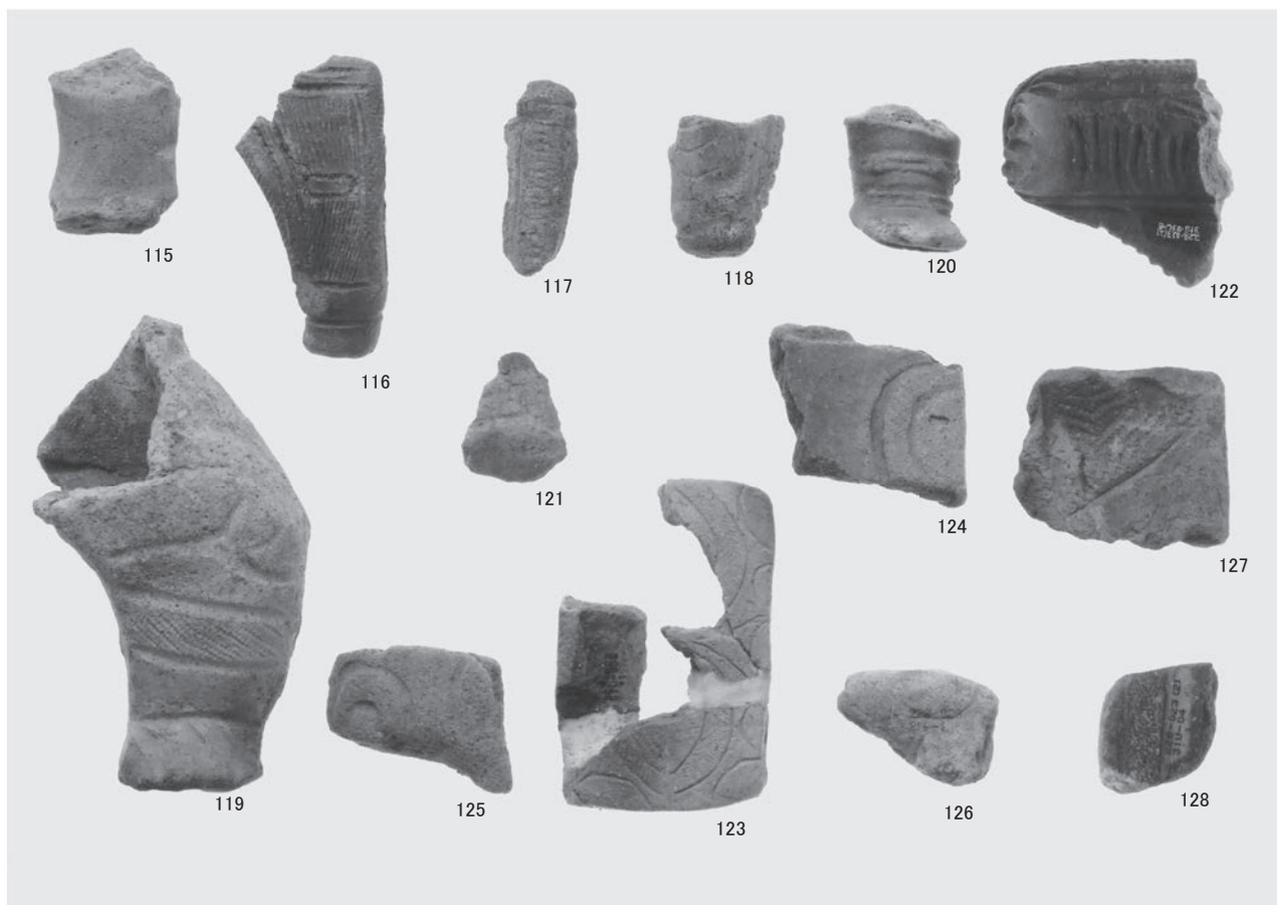
土偶 (3)



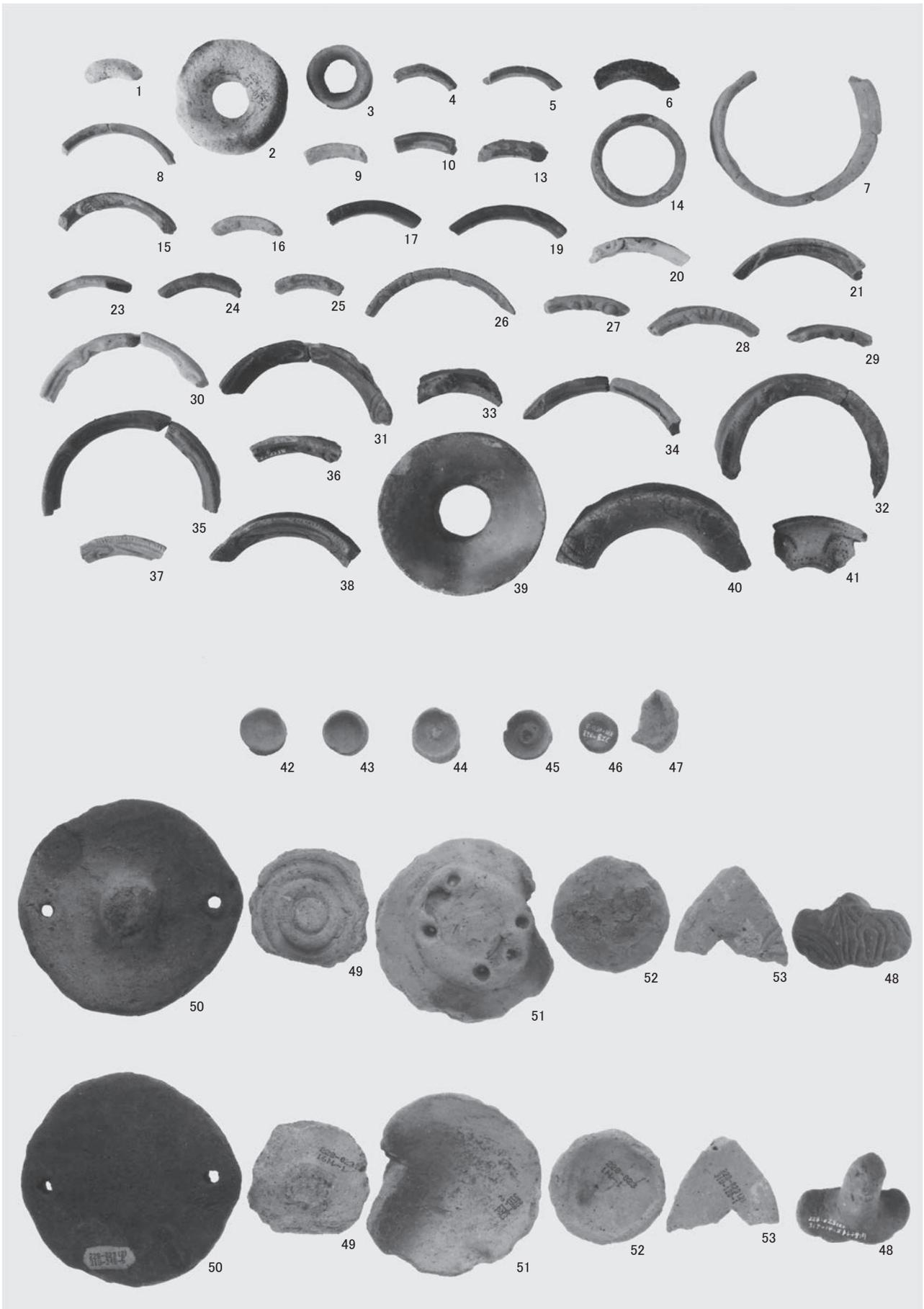
土偶 (4)



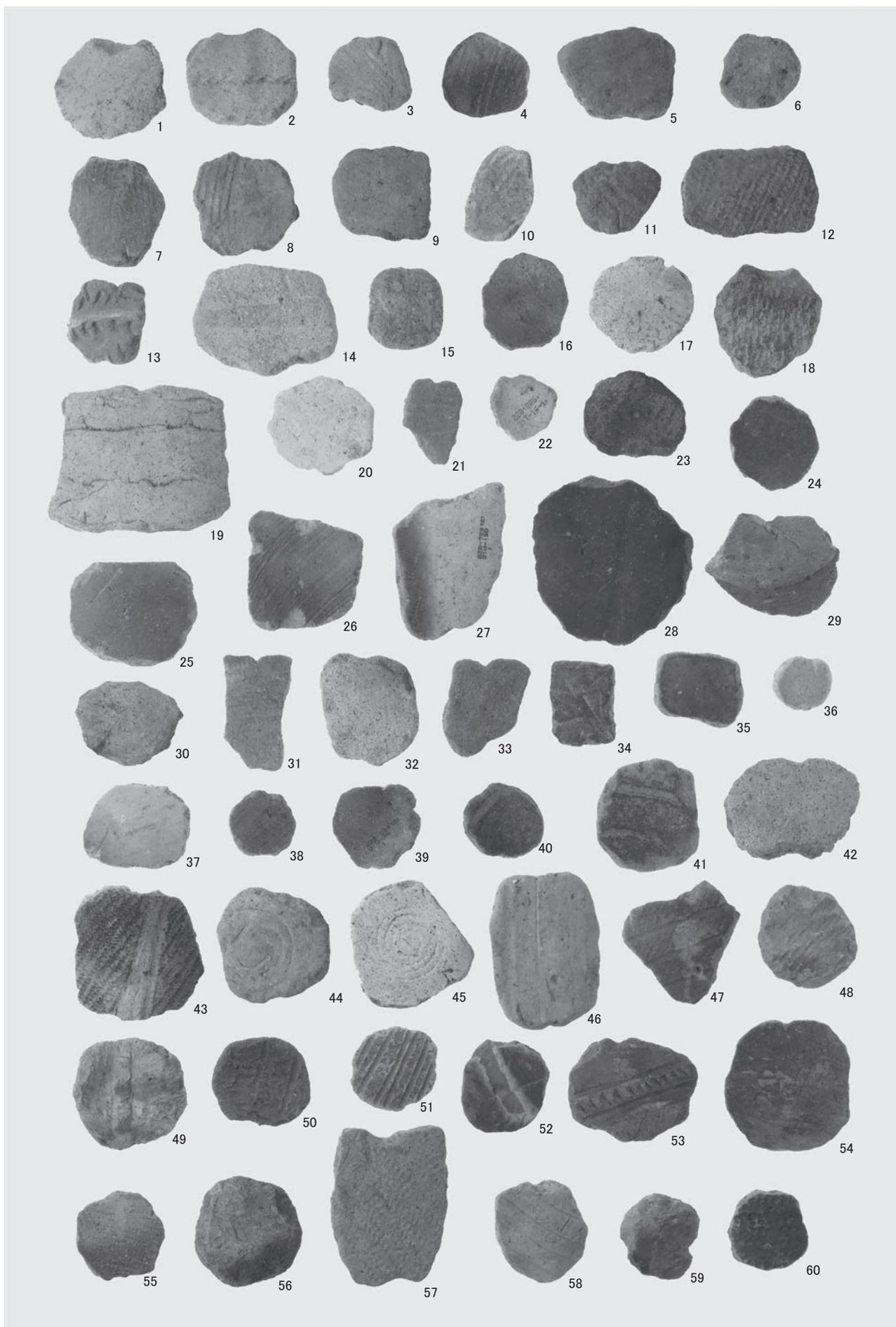
土偶 (5)



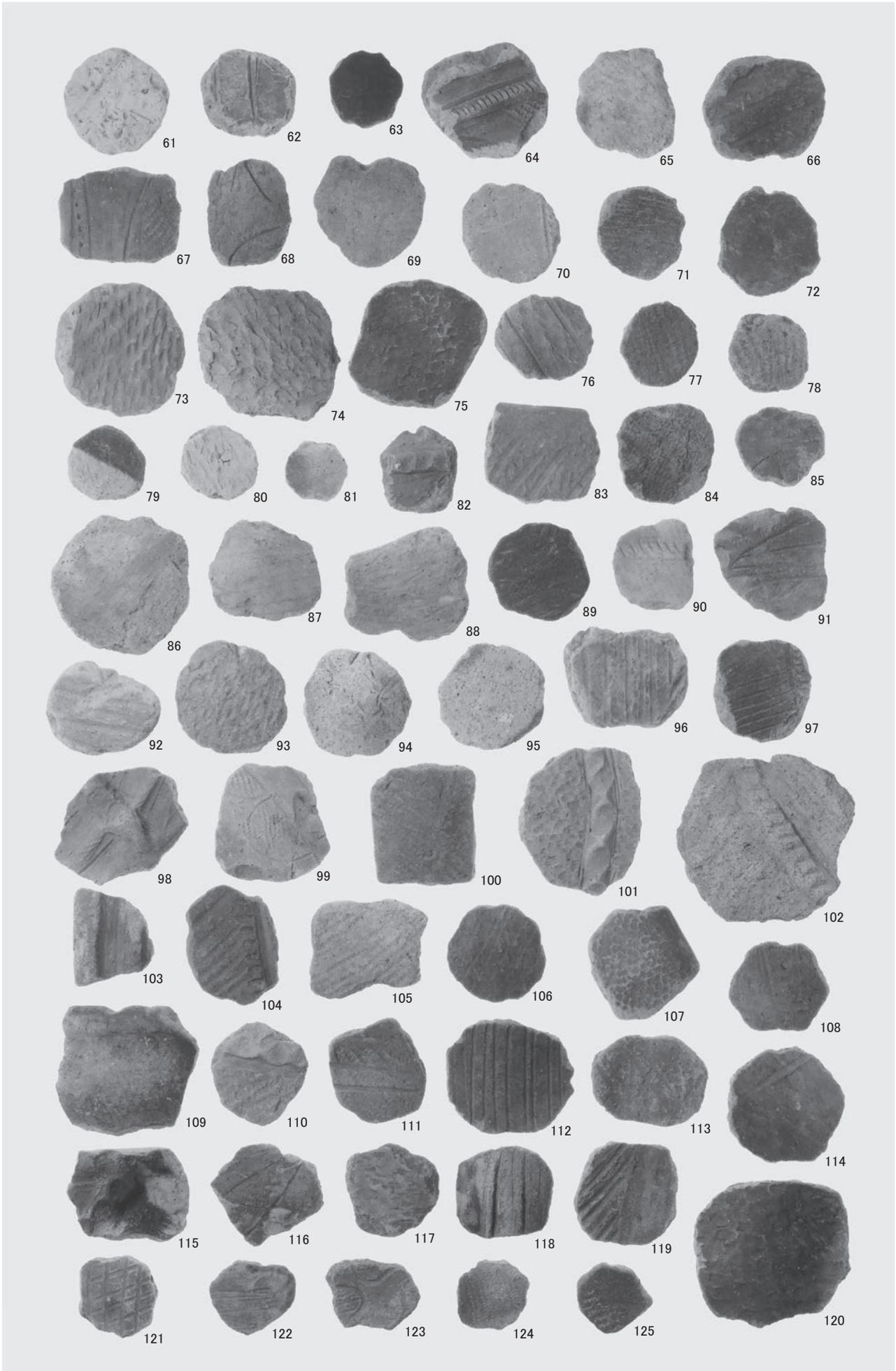
土偶(6), 土版



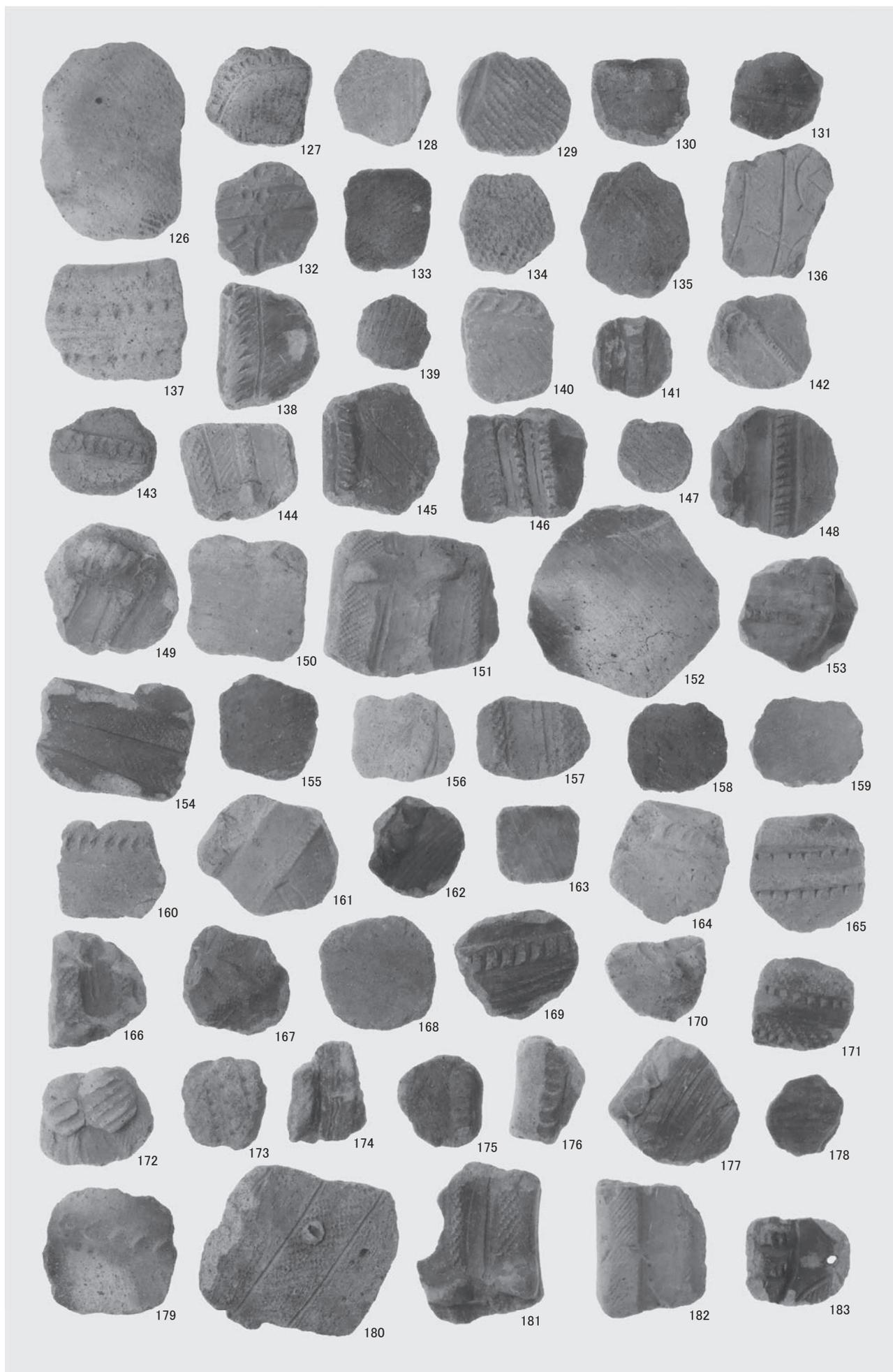
耳飾り, 耳栓, スタンプ形土製品



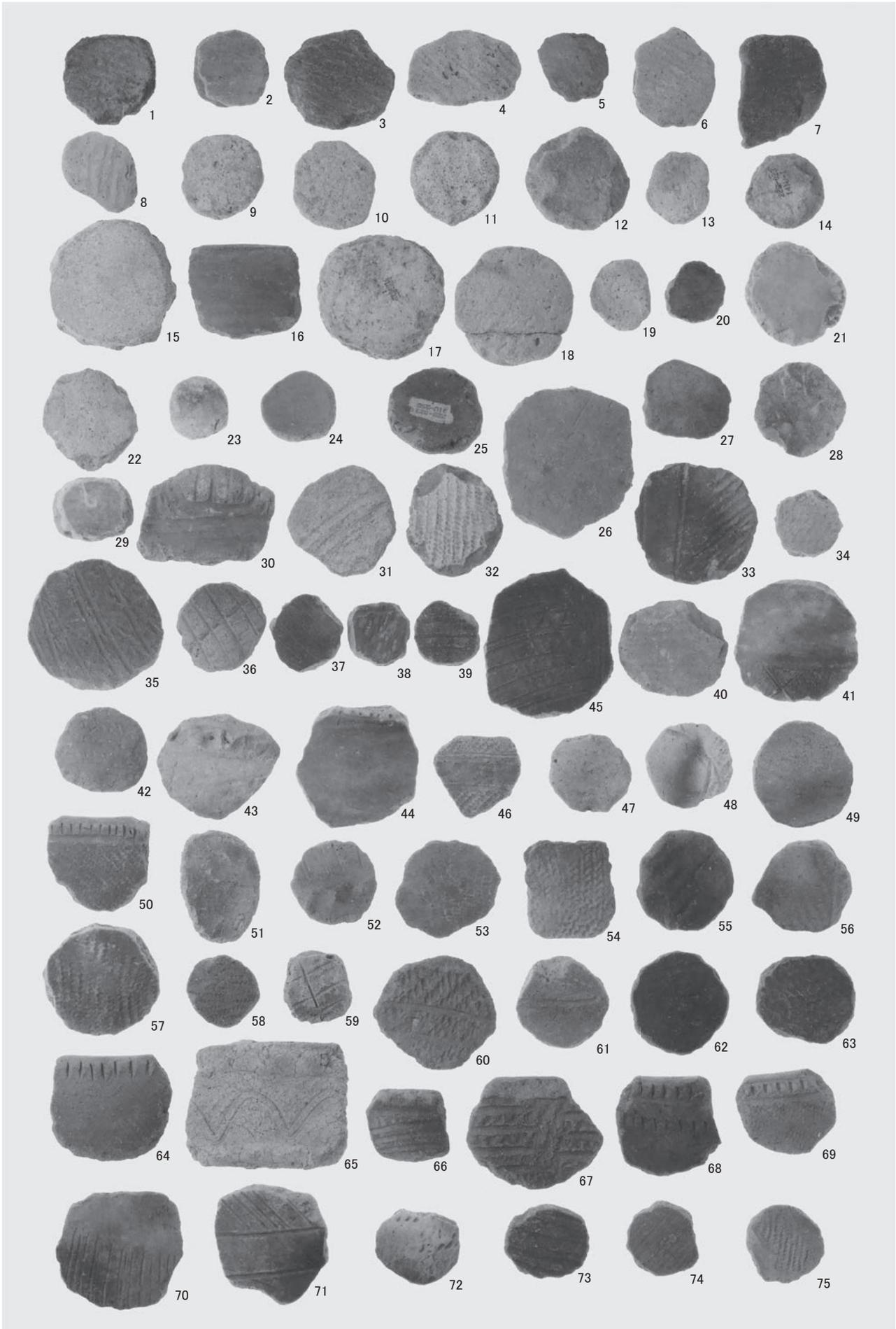
土器片錘 (1)



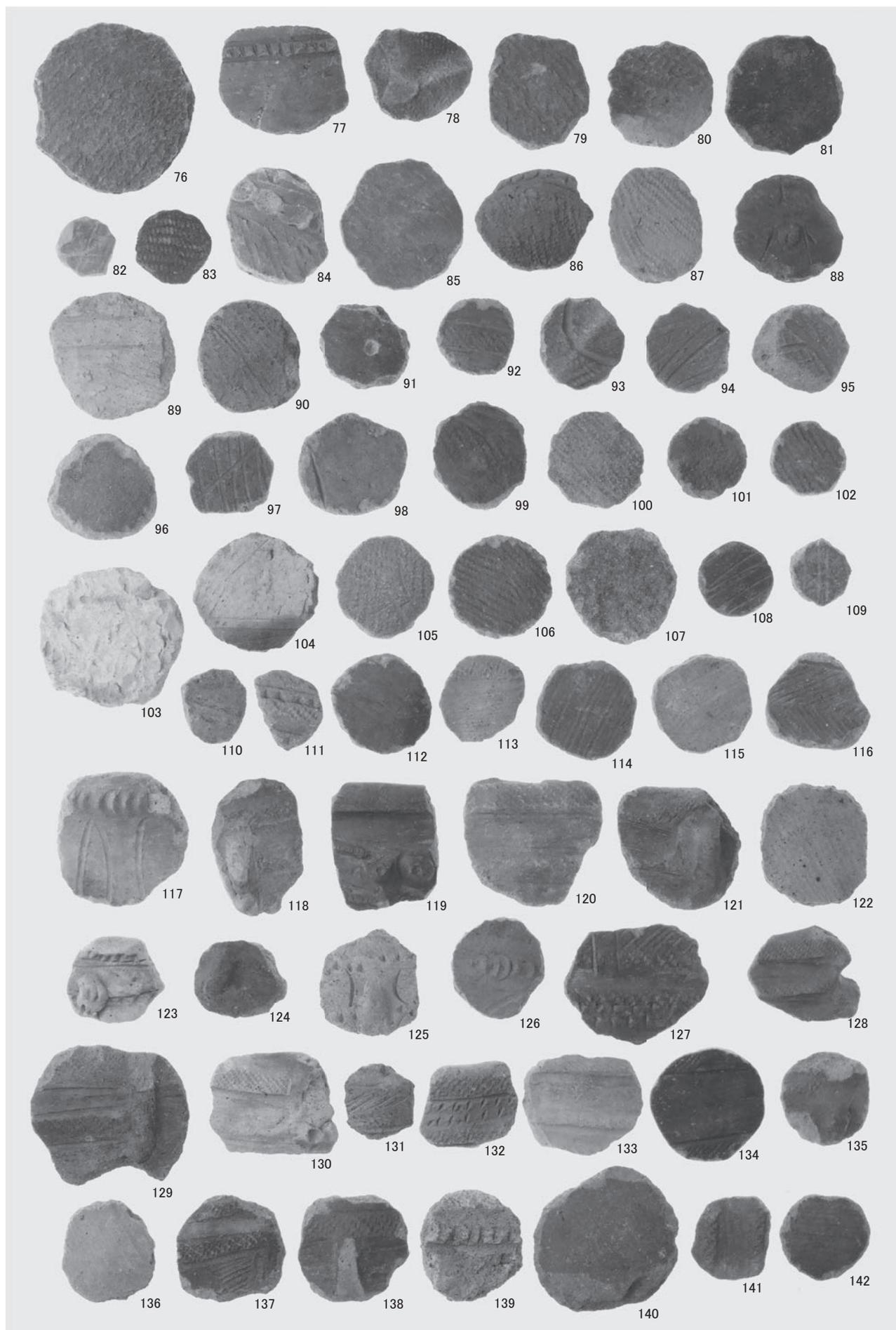
土器片錘 (2)



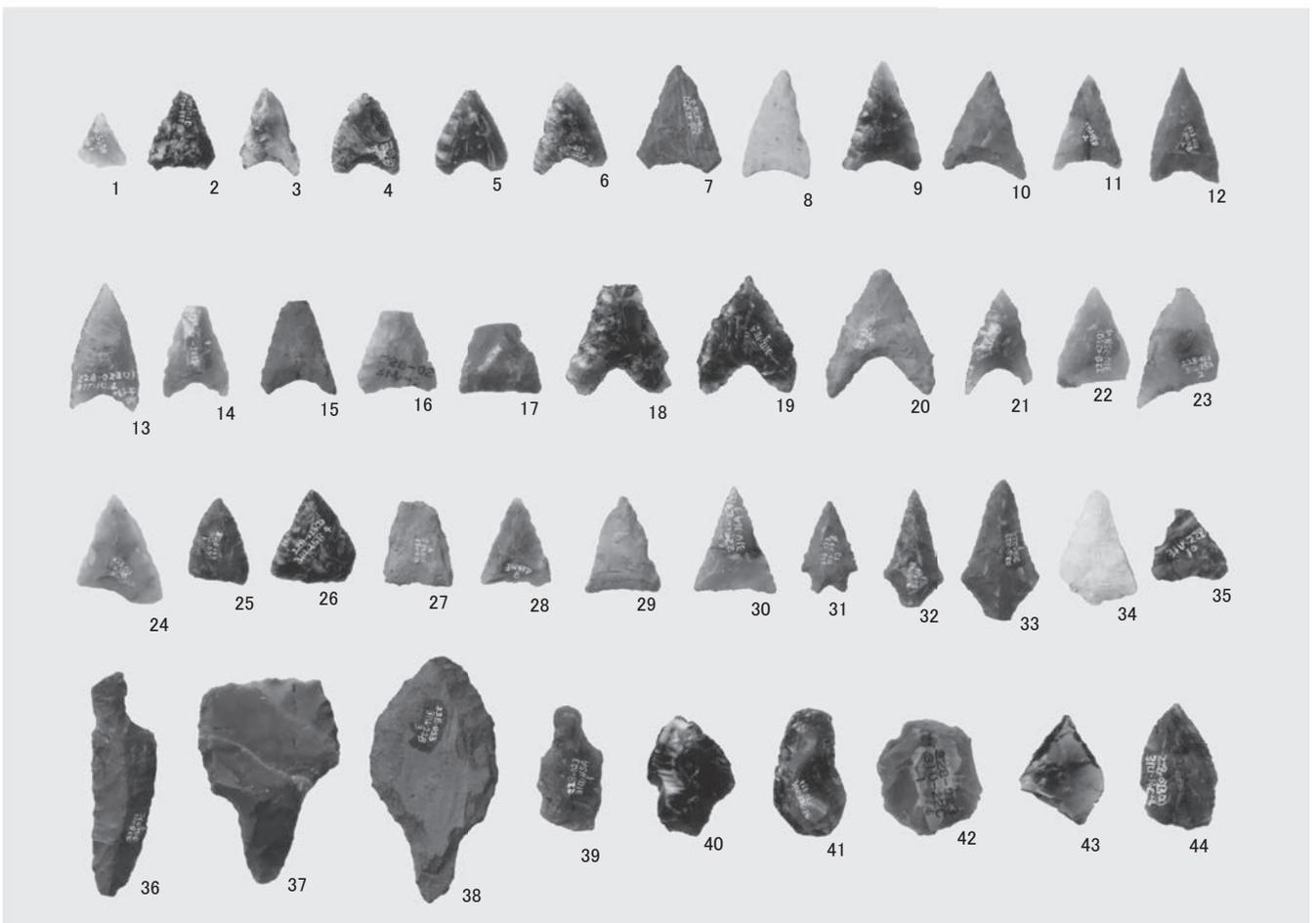
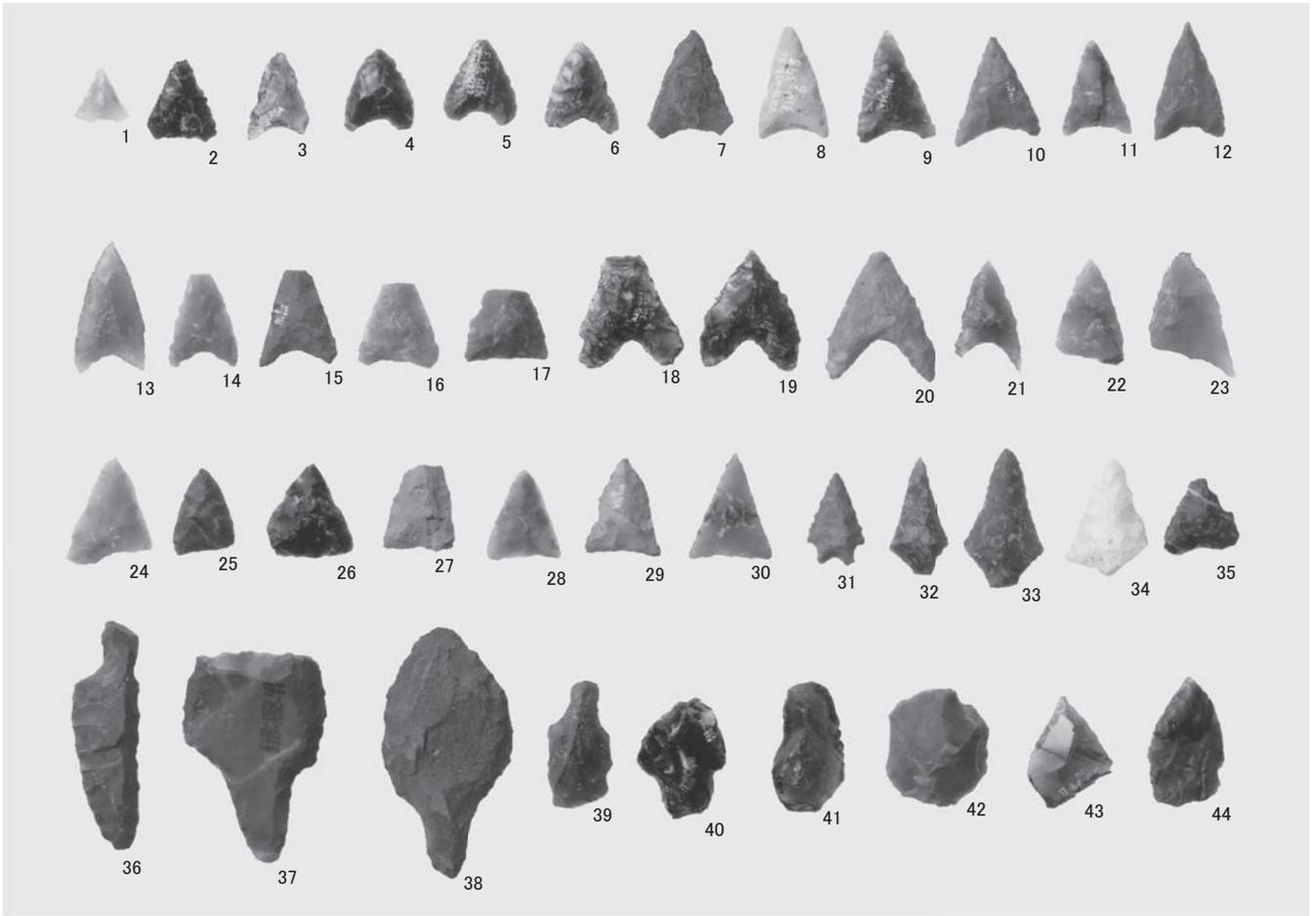
土器片錘 (3)



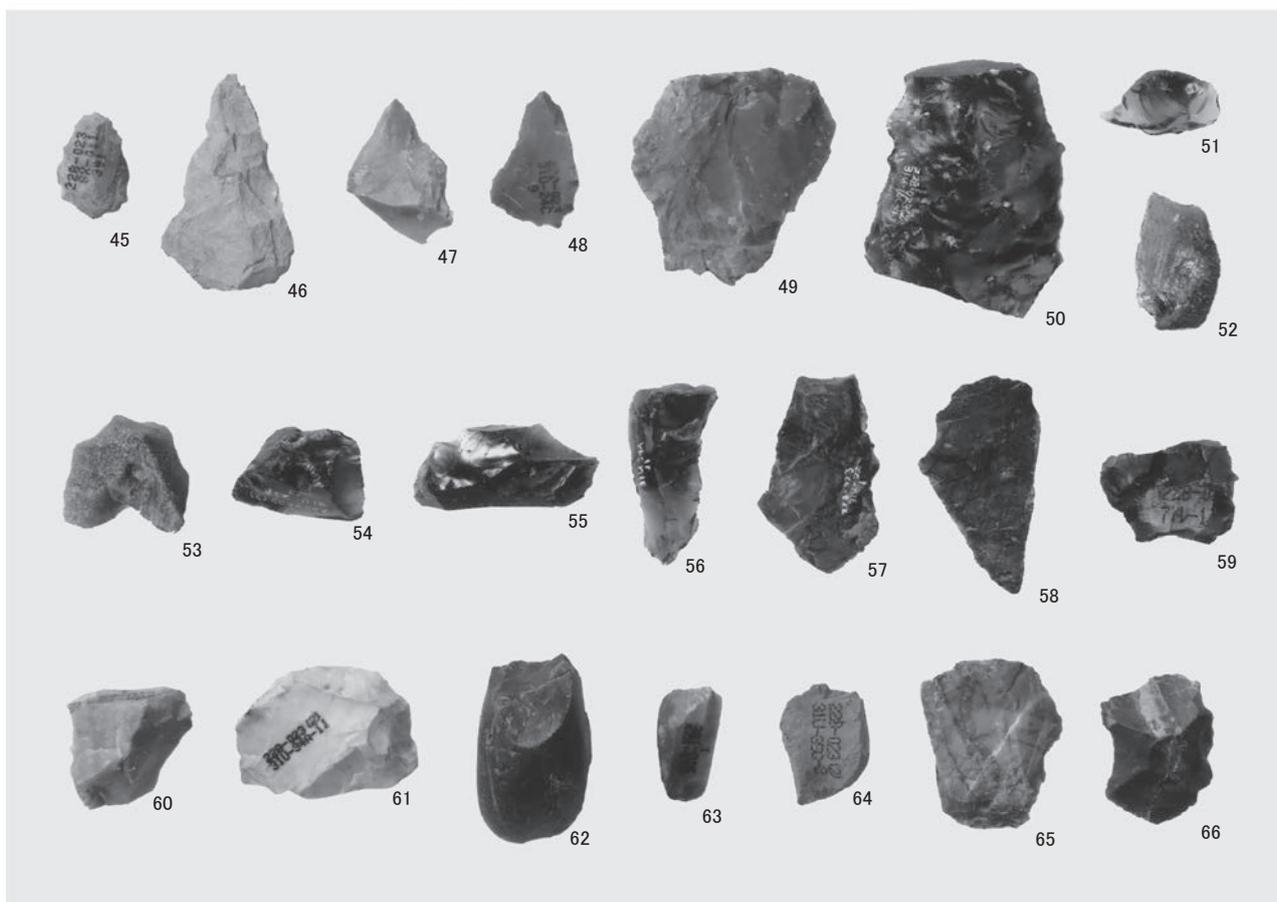
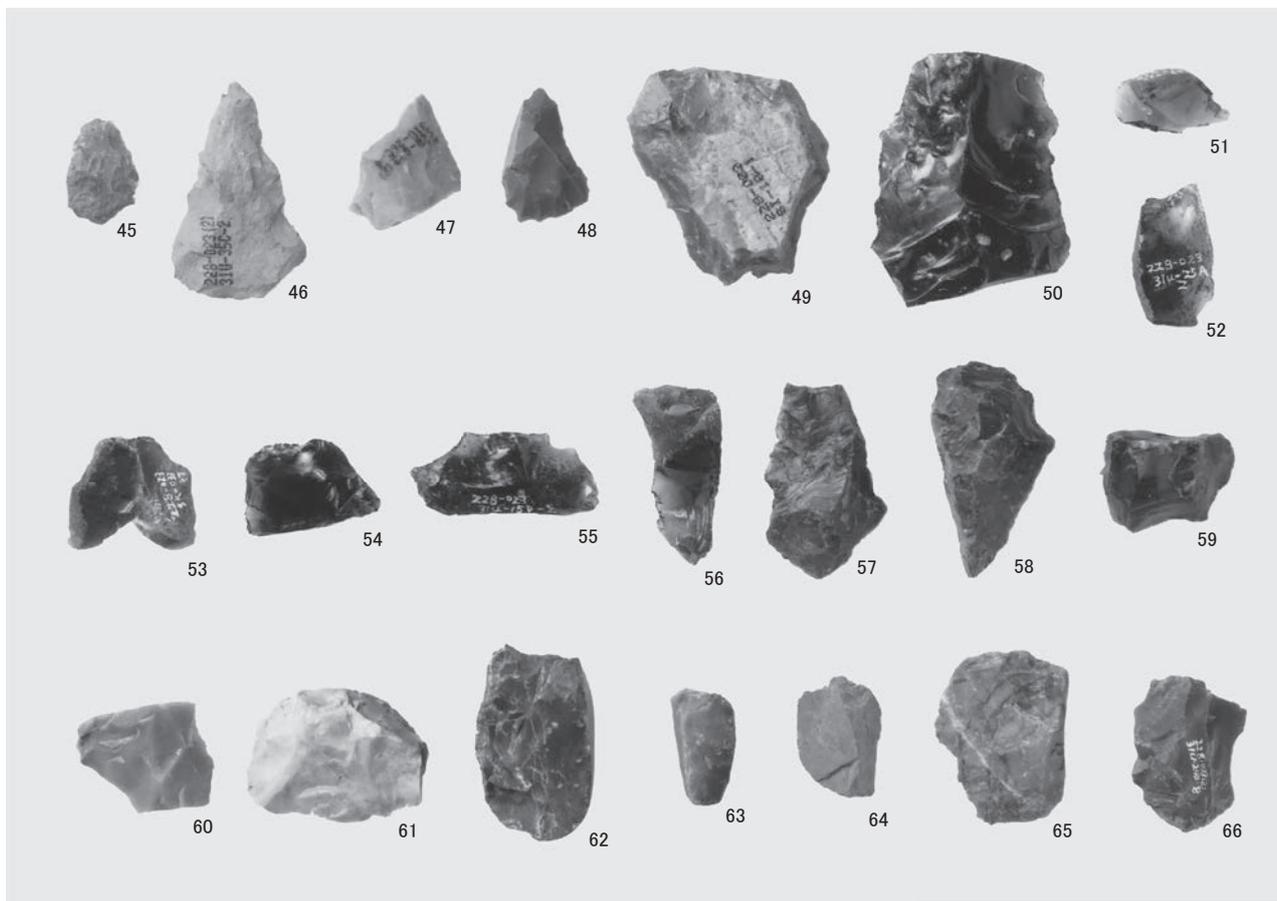
土製円板 (1)



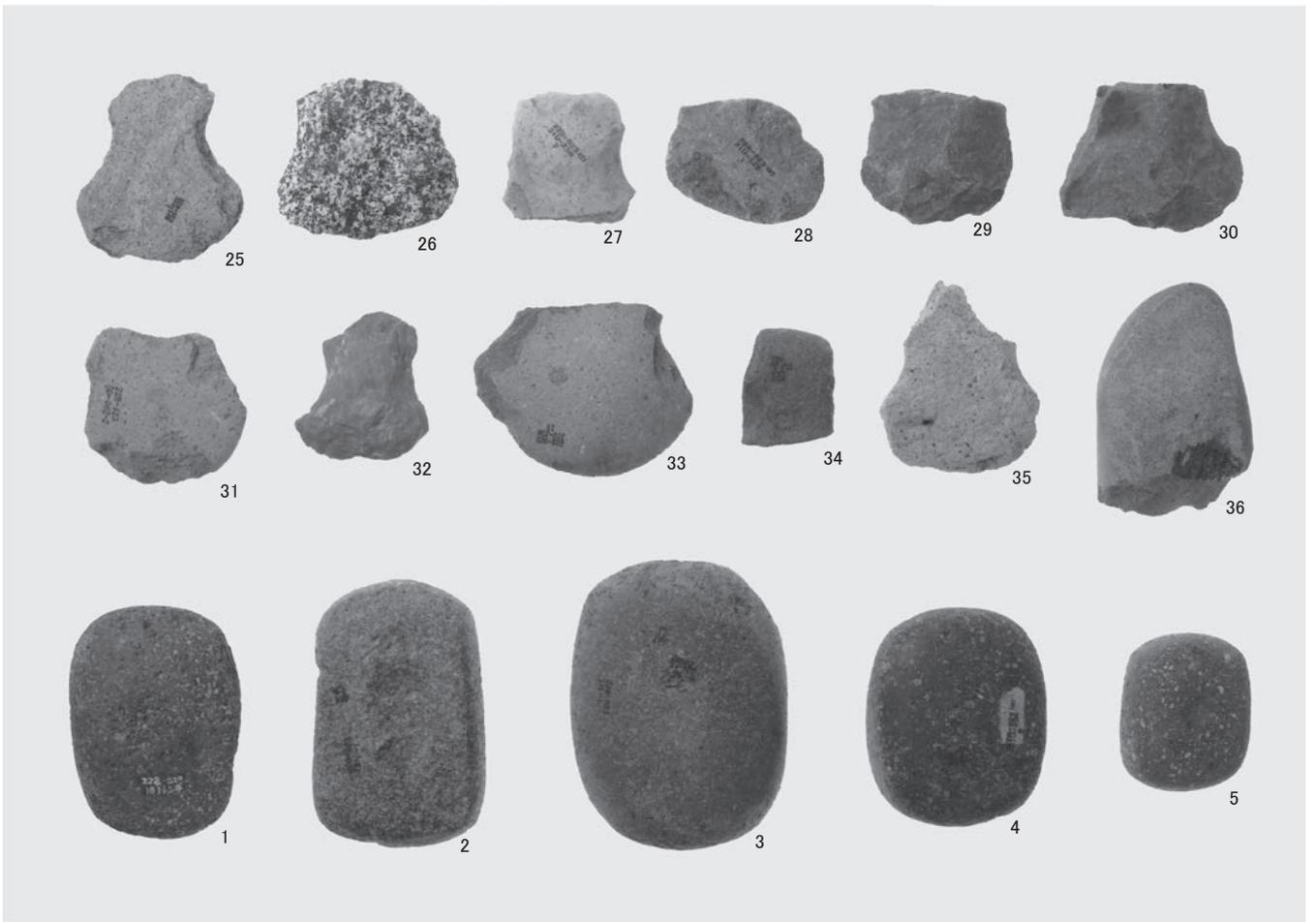
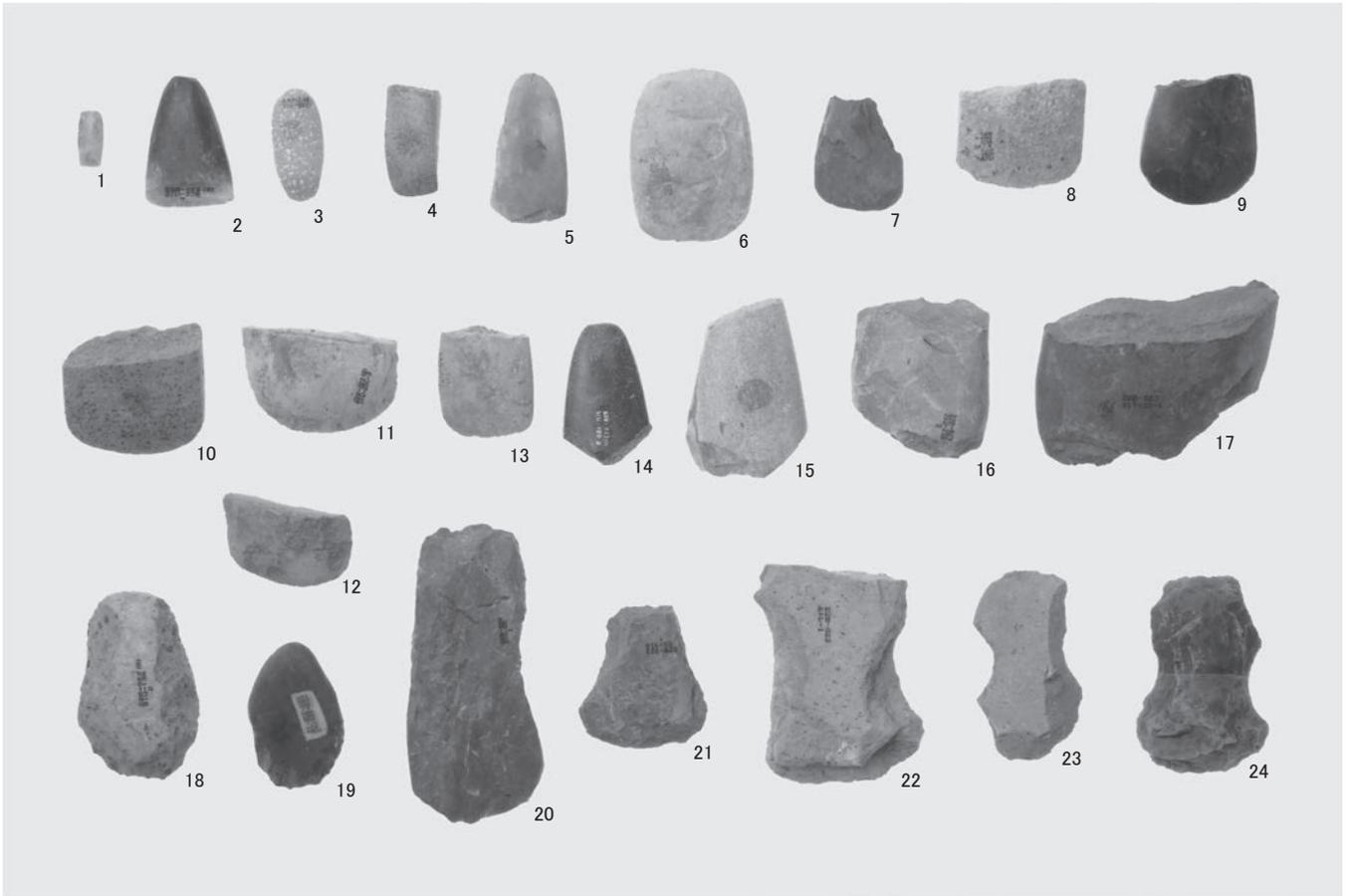
土製円板 (2)



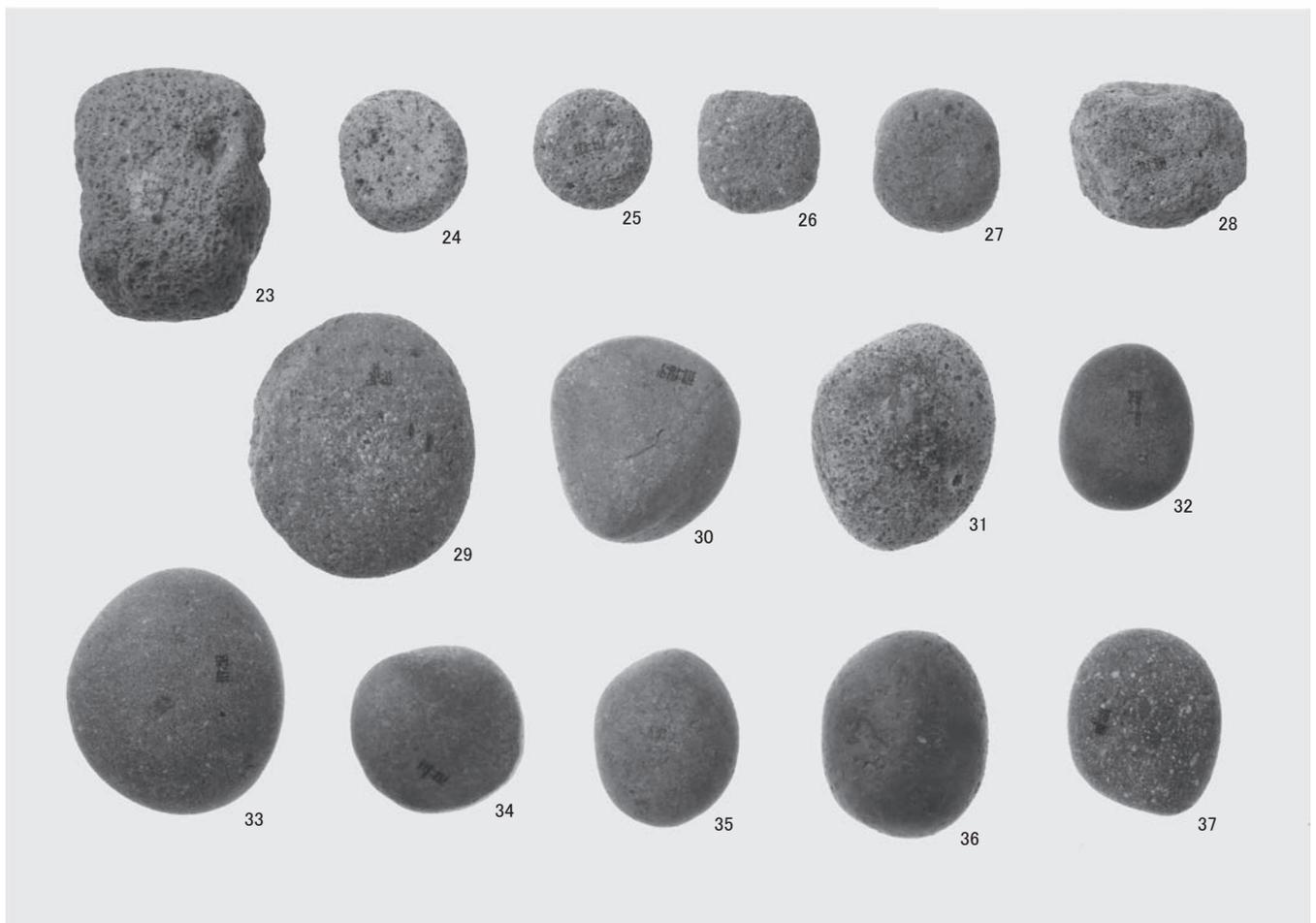
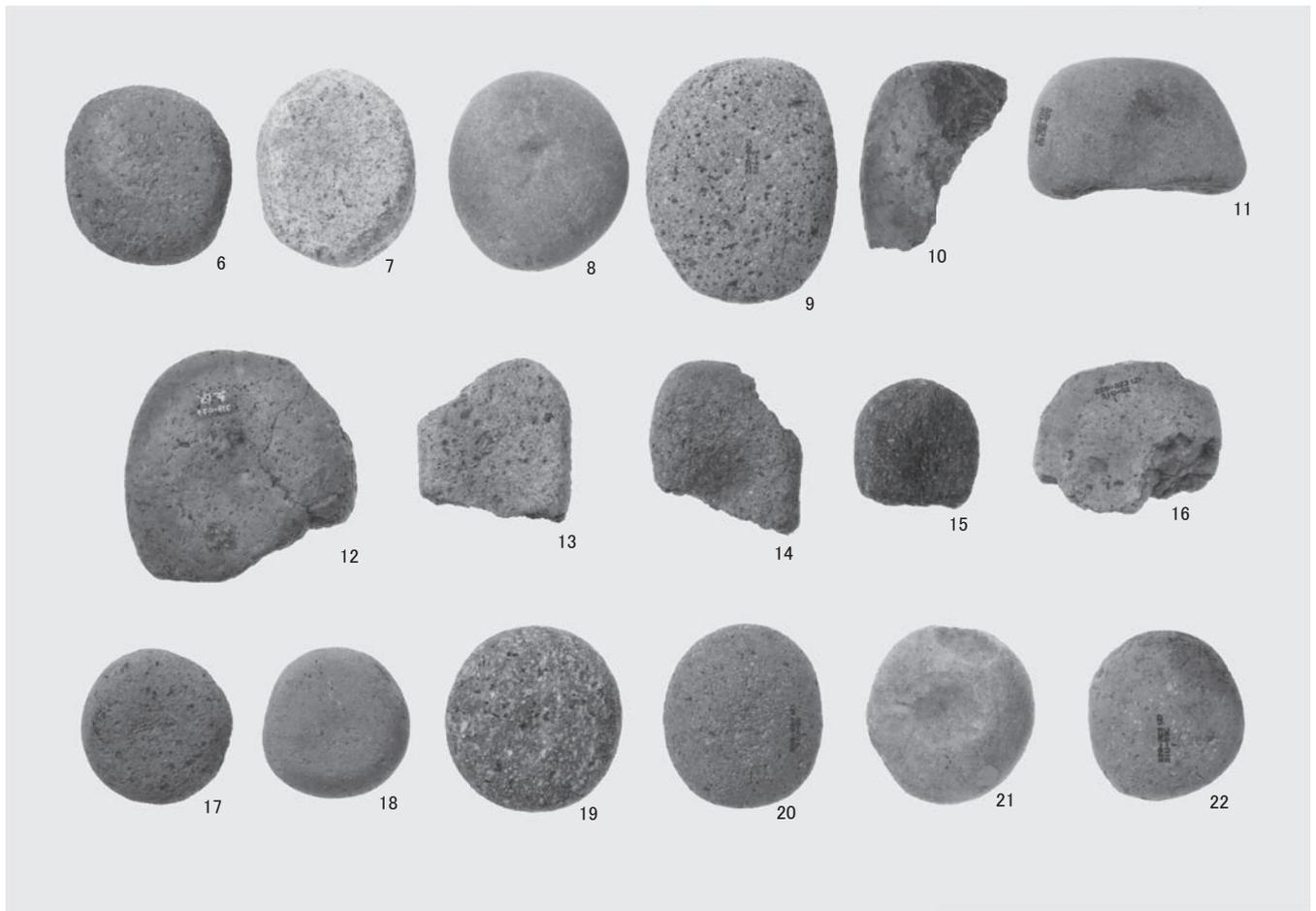
縄文時代石器（1）石鏃・石匙・搔器・尖頭状石器



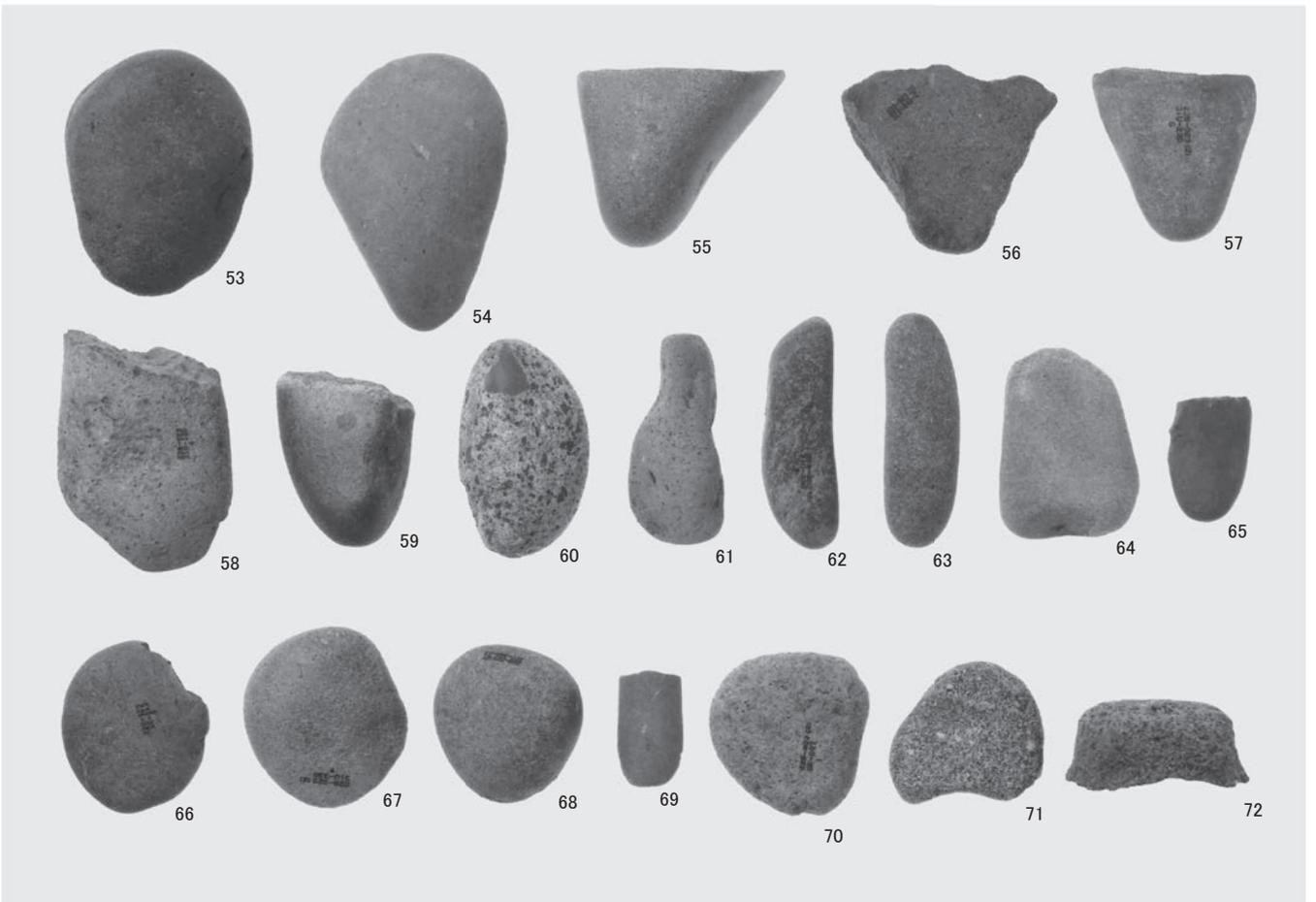
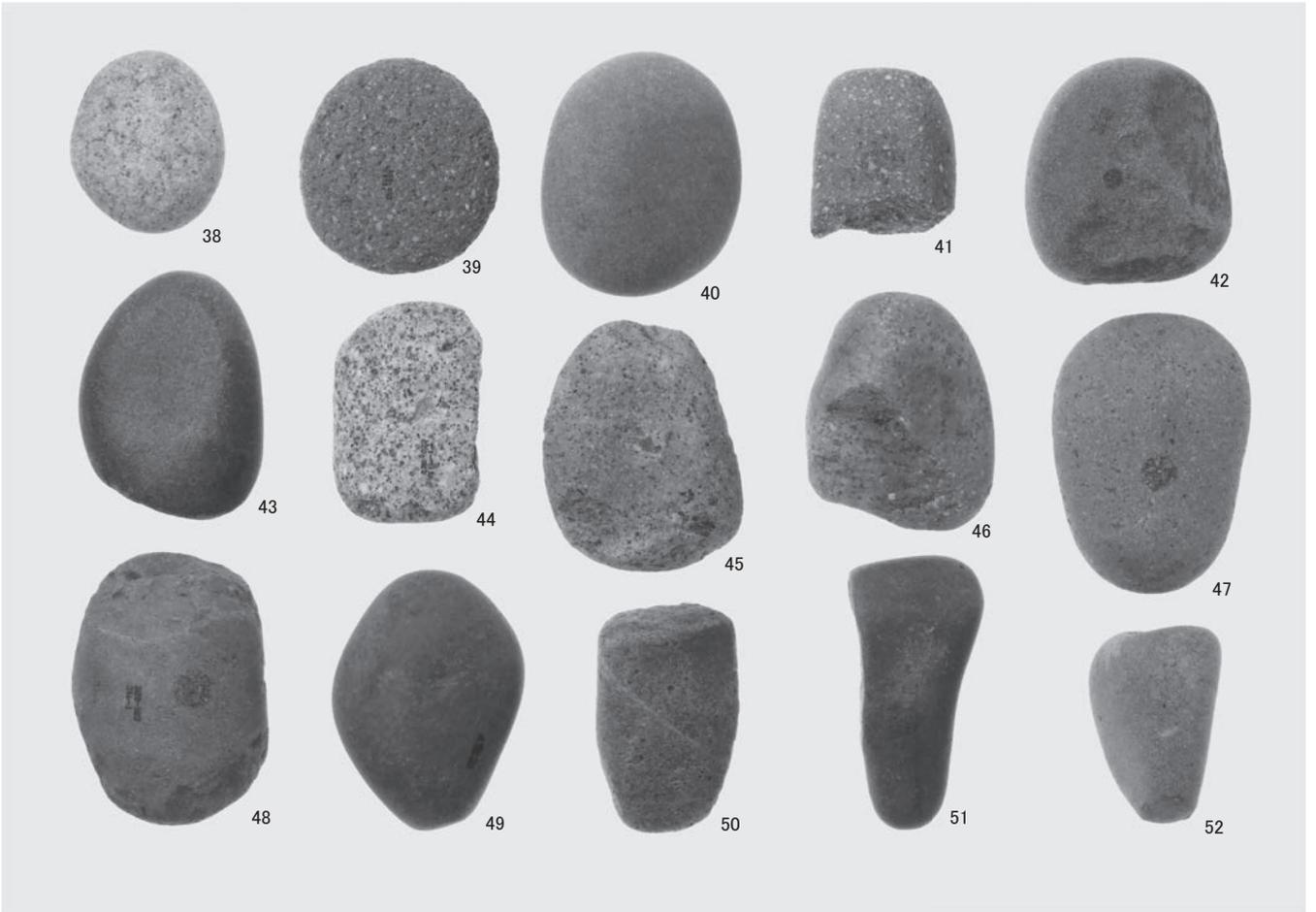
縄文時代石器（2）石鏃未製品・剝片・石核・楔形石器



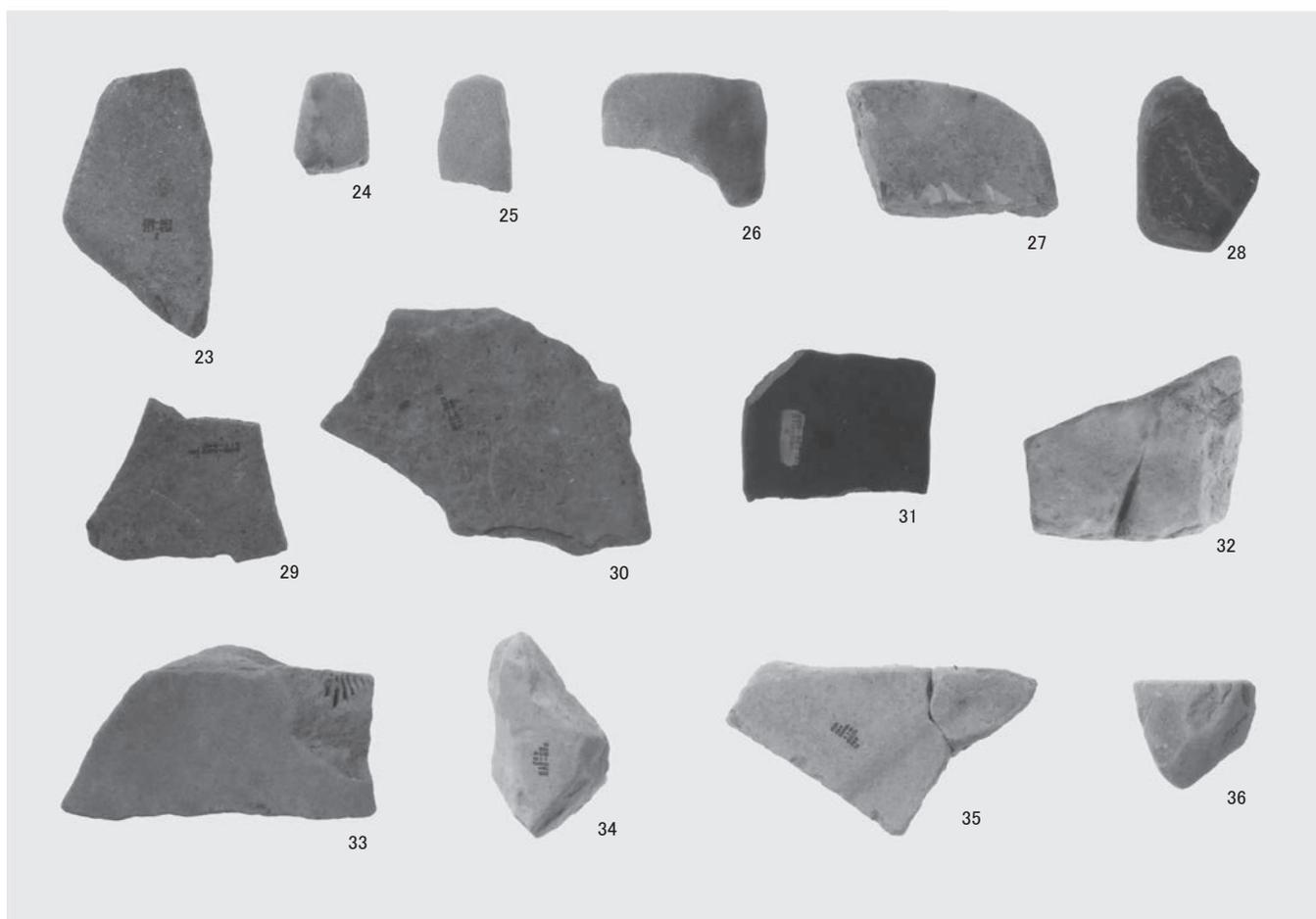
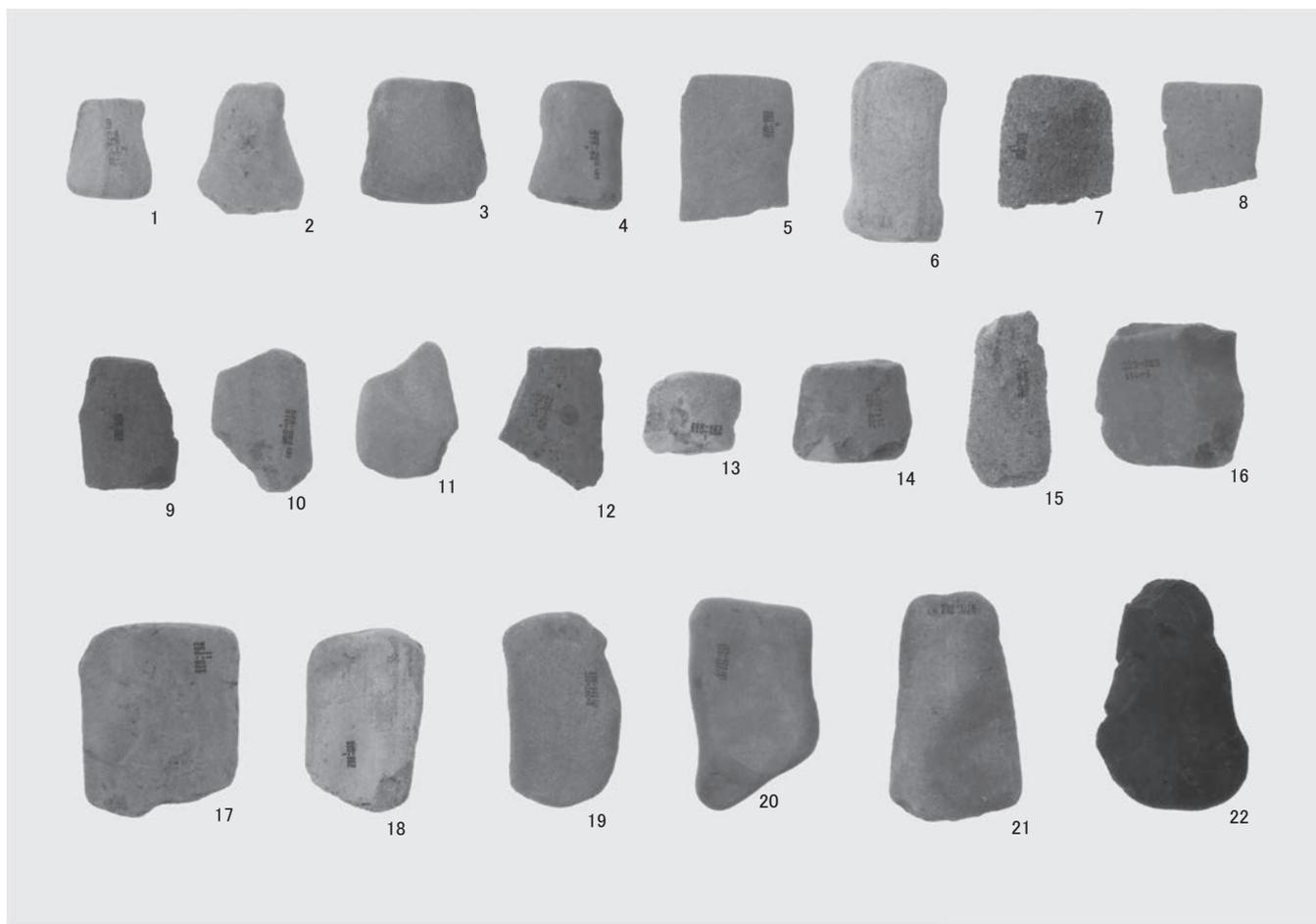
縄文時代石器（3）石斧，磨石類



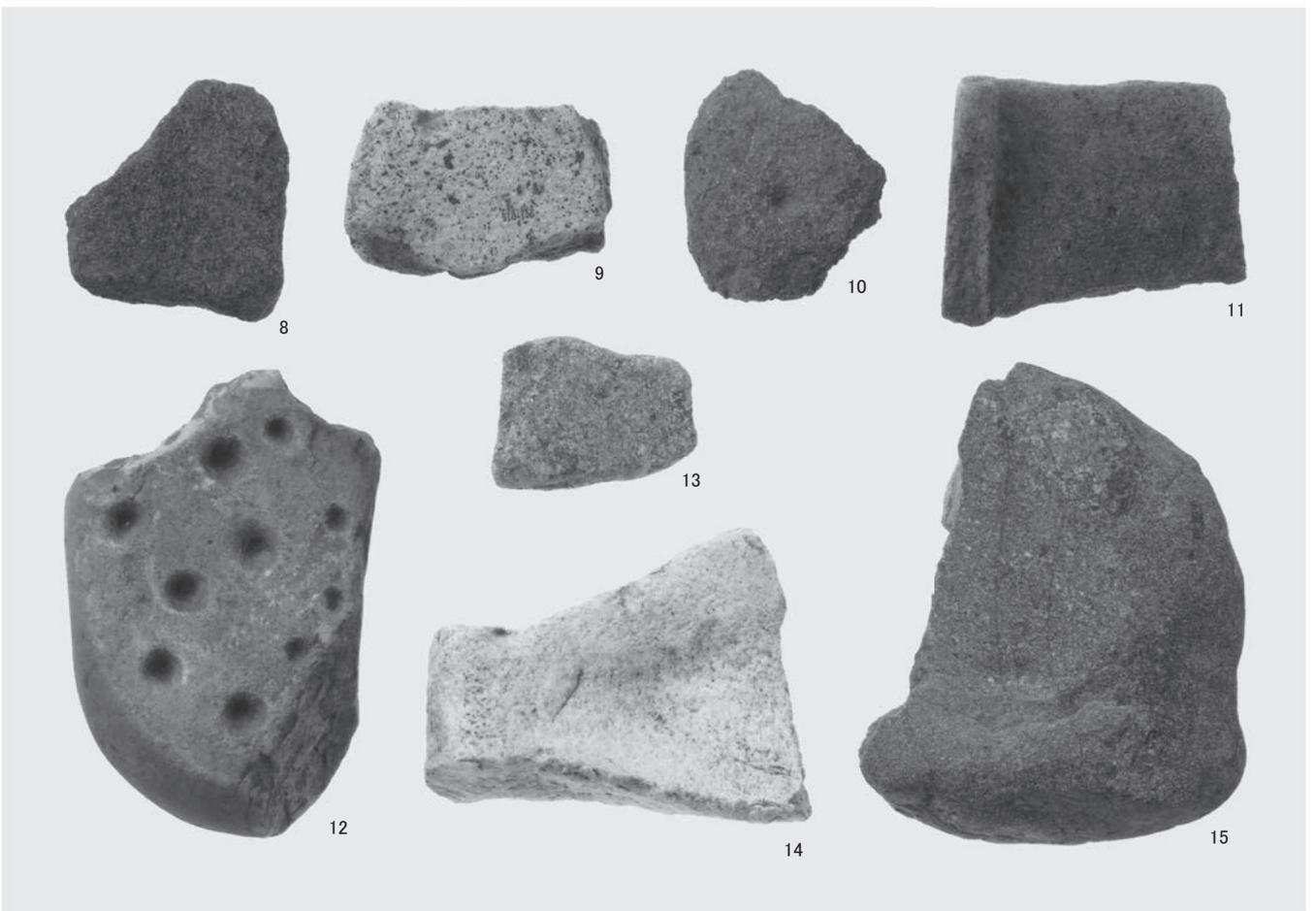
縄文時代石器（4）磨石類



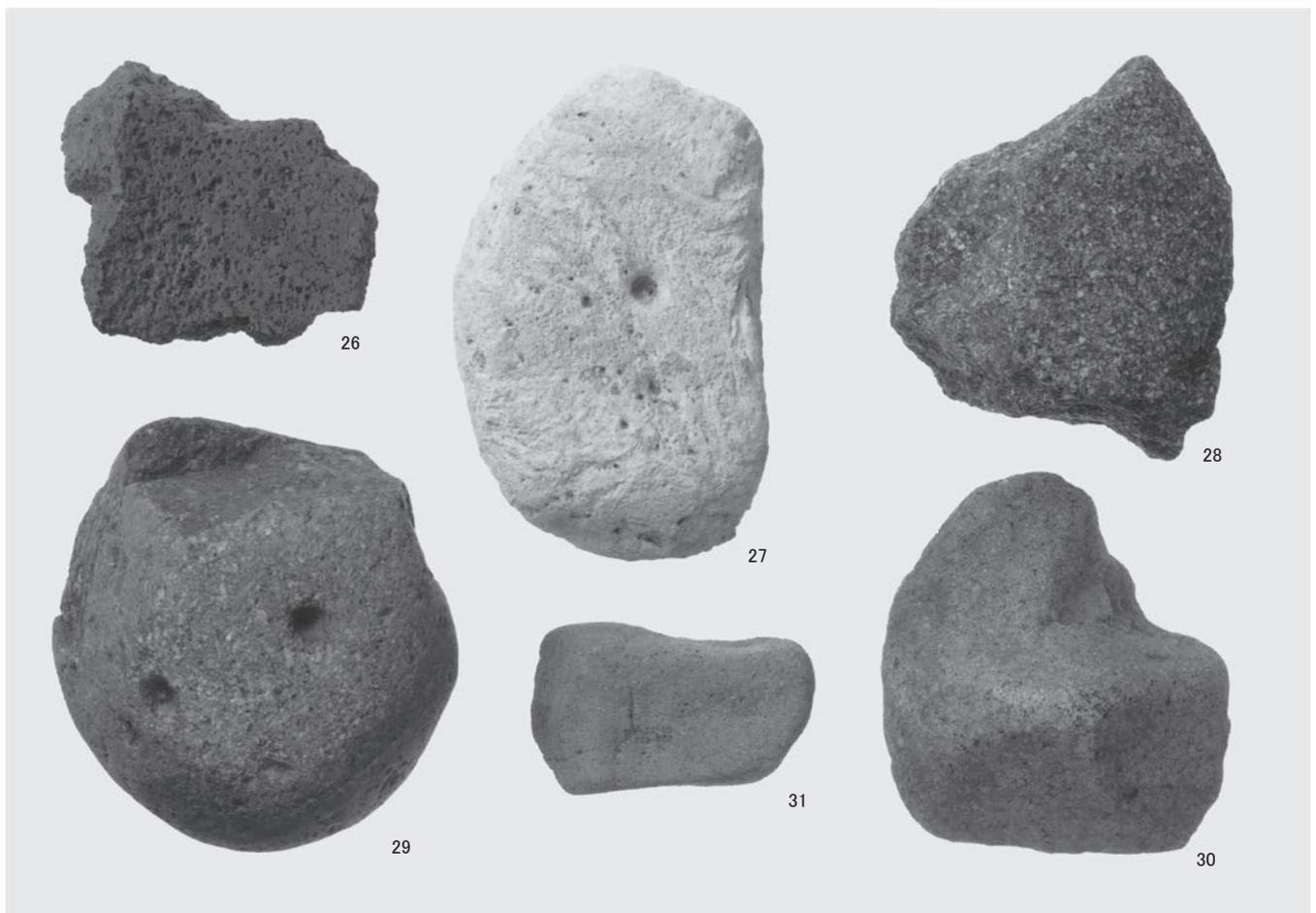
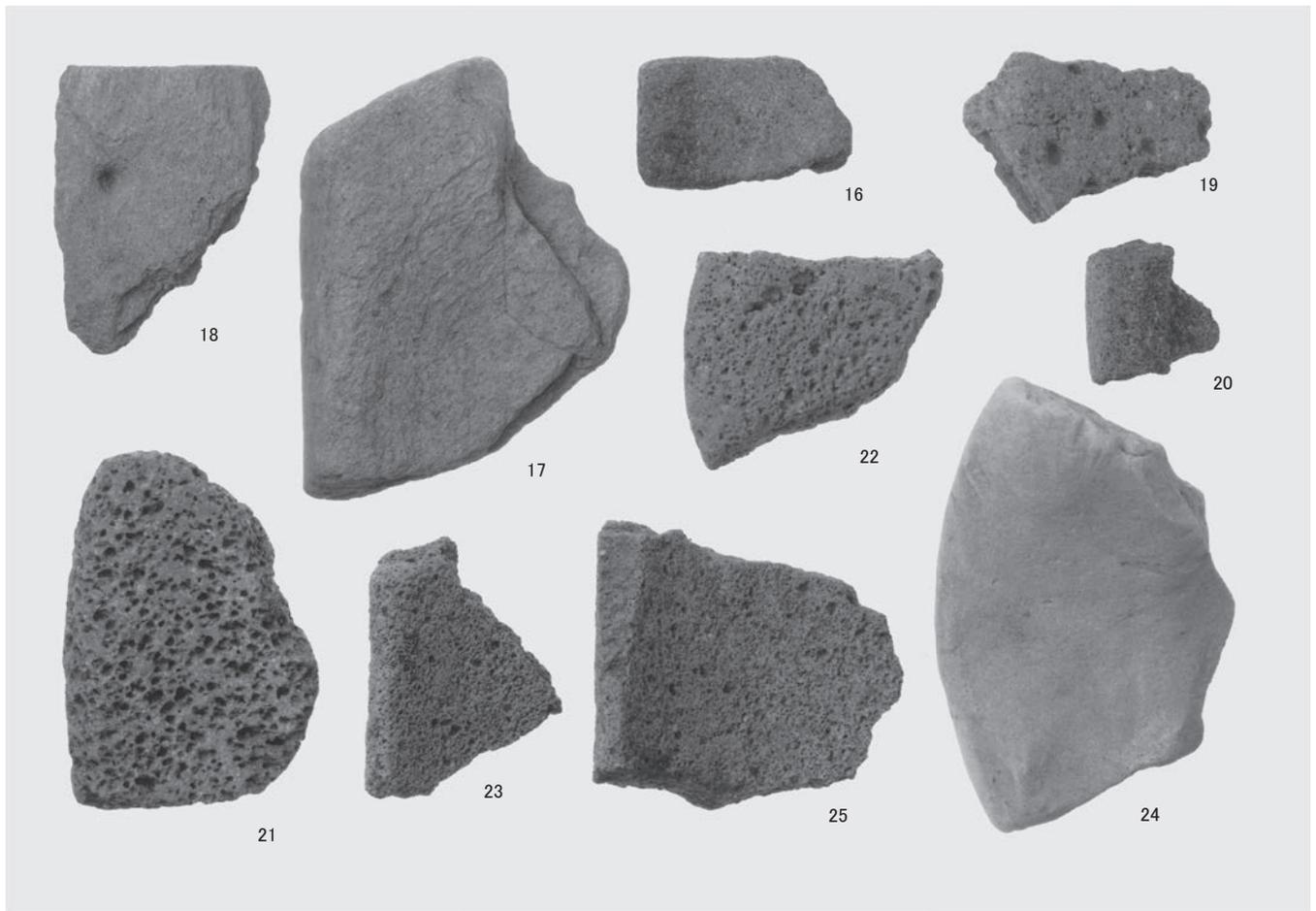
縄文時代石器（5）磨石類



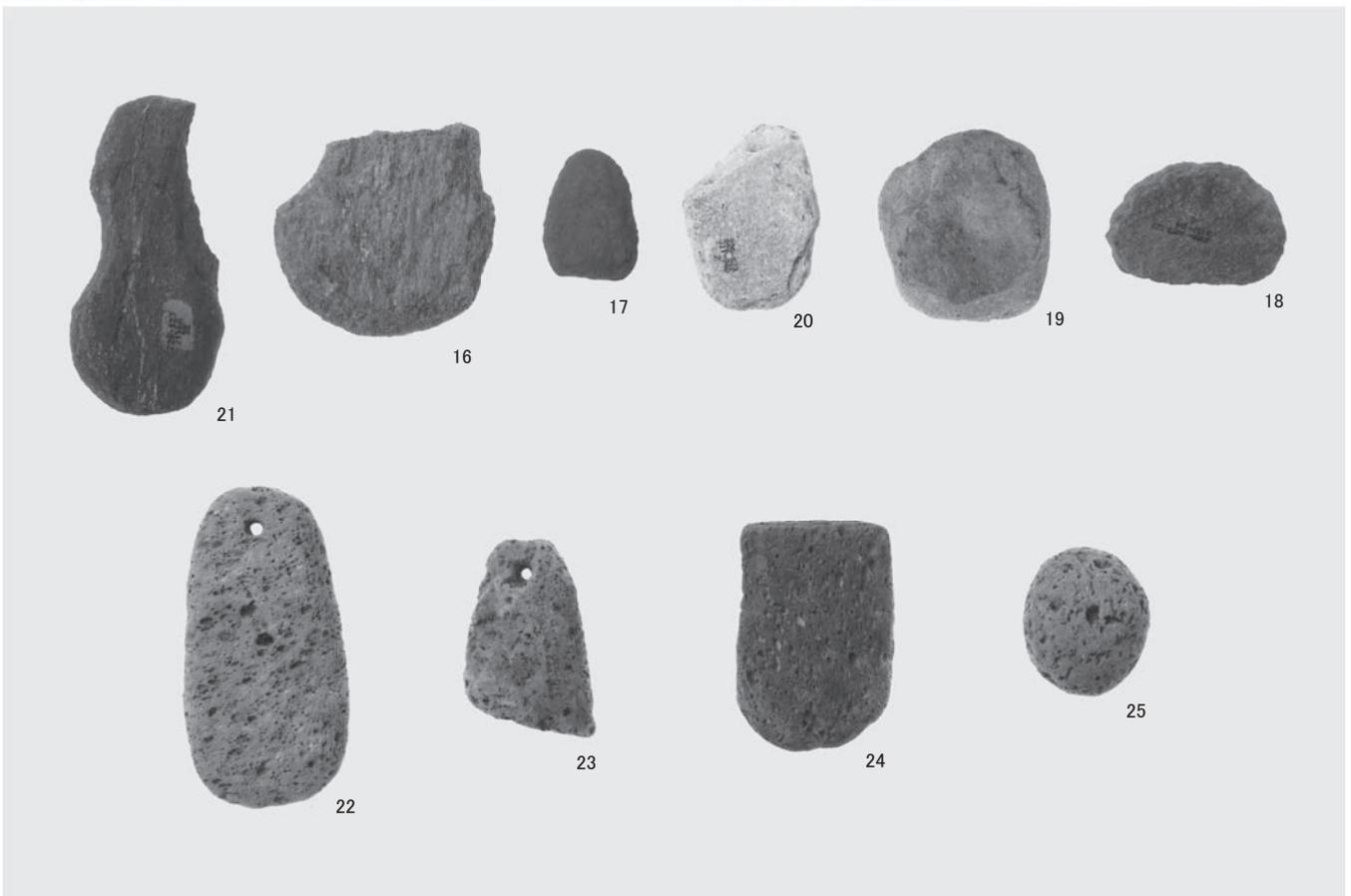
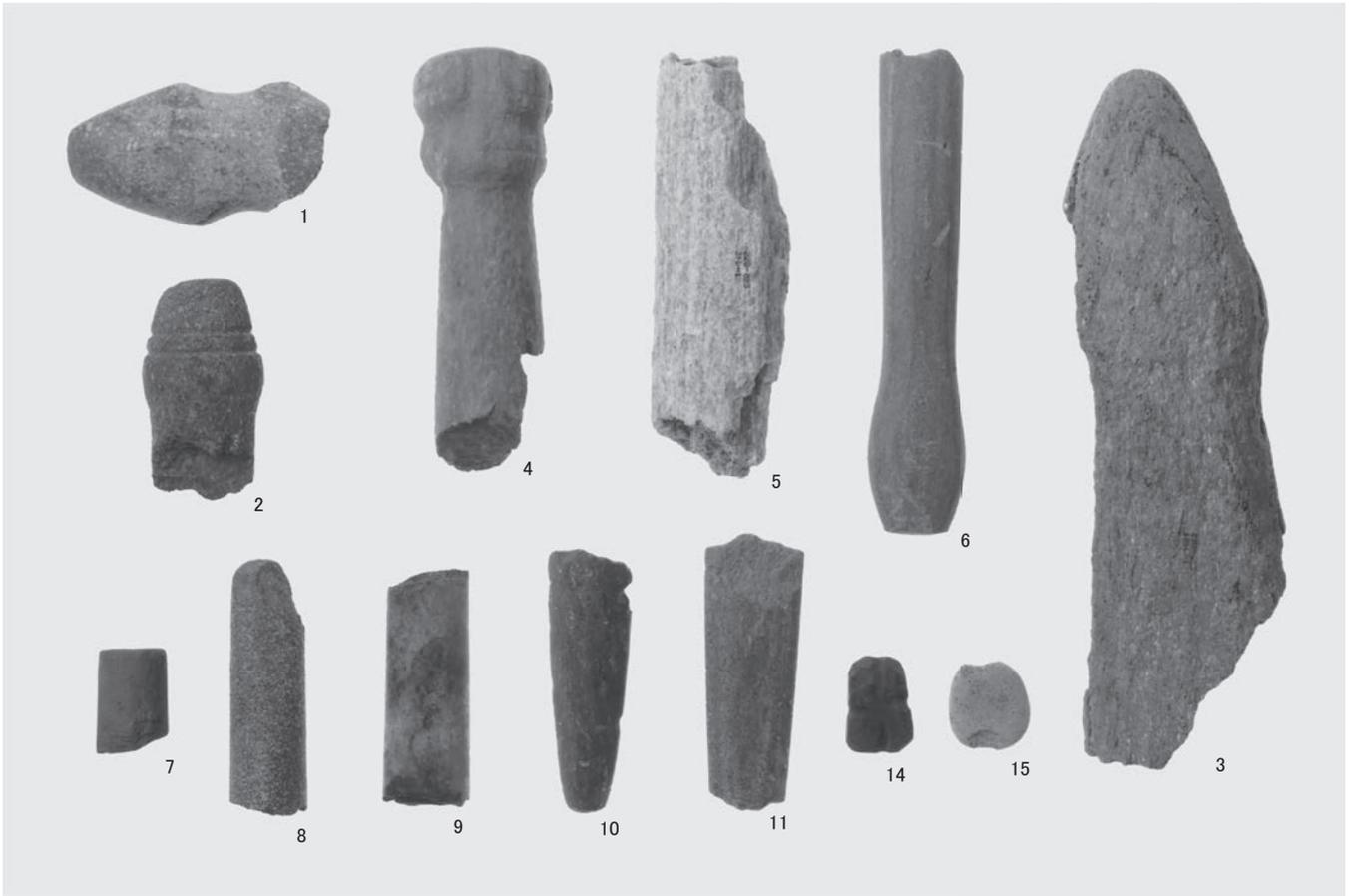
縄文時代石器（6）砥石



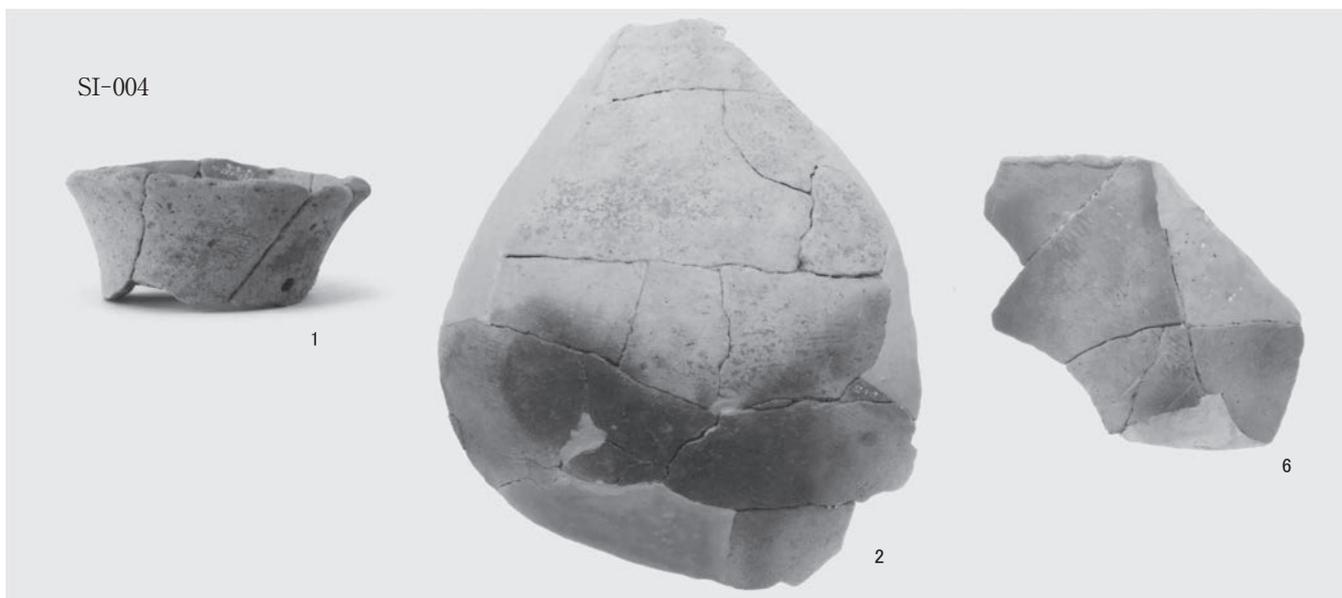
縄文時代石器 (7) 石皿



縄文時代石器（8）石皿・台石



縄文時代（9）石製品



弥生時代 SI-004, 遺構外出土遺物

報告書抄録

ふりがな	よつかいどうししまこしいせき（2）きゅうせっきじだい～やよいじだいへん							
書名	四街道市嶋越遺跡（2）旧石器時代～弥生時代編							
副書名	物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	XX							
シリーズ名	千葉県教育振興財団調査報告							
シリーズ番号	第749集							
編著者名	池田大助、宮 重行							
編集機関	公益財団法人 千葉県教育振興財団							
所在地	〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡809番地の2 TEL 043-424-4848							
発行年月日	平成28年3月14日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しまこしいせき 嶋越遺跡	よつかいどうしものい 四街道市物井 あざしまこし 字嶋越464ほ か	228	023	35度 41分 06秒	140度 11分 55秒	20090216～ 20090325 20090406～ 20090520 20090701～ 20100226 20100701～ 20100730 20100831～ 20101208	1,652㎡ 990㎡ 5,850㎡ 6,100㎡	土地区画整理 事業に伴う埋 蔵文化財発掘 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
嶋越遺跡	包蔵地 集落跡 包蔵地	旧石器時代 縄文時代 弥生時代	竪穴住居跡 1軒	1軒	石器（ナイフ型石 器・槍先形尖頭器・ 有舌尖頭器・石核・ 搔器・削器・楔形 石器） 早期～晚期土器、 土製品（土偶・土 版・耳飾り・耳栓・ スタンプ形土製 品・土器片錘・土 製円板）、石器（石 鏃・石匙・搔器・ 尖頭状石器・石核・ 石斧・磨石・砥石・ 石皿・台石） 弥生土器	縄文時代後期を 中心に大量の土器 の出土が特徴的 である。縄文時代 早期後半においては 出土例の少ない東 海系土器、晩期に おいては大洞系土 器の出土も見ら れ、遺跡の多様性 が知られる。多量 の土偶の出土も注 目される。		
要約	縄文時代早期～晩期にかけての土器が斜面部に大量に投棄された状態で出土しており、縄文時代～弥生時代中・後期にかけての集落の存在も想定されるが、古墳時代～奈良・平安時代～中世にかけての集落と共に、削平されており、その痕跡を残すのみであった。							

千葉県教育振興財団調査報告第749集

四街道市嶋越遺跡(2)

旧石器時代～弥生時代編

－物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書XX－

平成28年3月14日発行

編 集	公益財団法人	千葉県教育振興財団
発 行	独立行政法人	都市再生機構 首都圏ニュータウン本部 東京都新宿区西新宿6-5-1
	公益財団法人	千葉県教育振興財団 四街道市鹿渡809番地の2
印 刷	株式会社	ラ イ フ 成田市東和田595
